

一般廃棄物実態調査  
報告書

平成 17 年 3 月

三重県



# 目次

I.	県民アンケート調査(県民意識調査)	1
1.	調査の概要	3
(1)	調査の目的	3
(2)	調査対象	3
(3)	調査方法	3
(4)	調査期間	3
(5)	回答状況	3
2.	調査結果	4
(1)	暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について	4
(2)	現在行っているごみ減量やリサイクルの取り組みについて	22
(3)	今後の方策に対する意向について	34
(4)	「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加について	45
(5)	回答者や世帯について	52
3.	意識・行動分析	64
(1)	点数化の方法	64
(2)	点数の分布	64
4.	自由記入	69
5.	アンケート調査原票	83
II.	家庭ごみ組成分析調査	93
1.	調査の概要	95
(1)	調査目的	95
(2)	調査内容	95
(3)	調査手順	97
(4)	分類項目	99
2.	調査結果	103
(1)	可燃ごみ(市町村別分析結果)	103
(2)	可燃ごみ(地域別分析結果)	112
(3)	紙製容器包装	120
(4)	プラスチック製容器包装	121
3.	可燃ごみ分析調査詳細	122
(1)	品目別組成	122
(2)	可燃ごみに含まれる容器包装	158
(3)	分別状況	170
4.	資料編	176
(1)	可燃ごみ	176
(2)	紙製容器包装(菰野町)	189
(3)	プラスチック製容器包装(伊勢市)	190
III.	事業所アンケート調査	191
1.	事業者意識調査	193
(1)	調査の概要	193
(2)	調査結果	194
(3)	自由記入	219
2.	事業系ごみ組成調査	222
(1)	調査の概要	222
(2)	調査結果	223
3.	アンケート調査原票	237

IV. 市町村ごみ処理状況調査.....	245
1. 調査の概要.....	247
(1) 調査の目的 .....	247
(2) 調査対象.....	247
(3) 調査方法.....	247
(4) 調査期間.....	247
(5) 回答状況.....	247
2. 調査結果.....	248
(1) 家庭系ごみの減量・リサイクル施策について .....	248
(2) 分別ルールについて.....	259
(3) 家庭系可燃ごみの有料制について .....	263
(4) 戸別収集について .....	266
(5) 事業系ごみ(産廃除く)の減量・リサイクル施策について.....	270
(6) 住民・事業者との連携等について.....	280
(7) 県に期待する役割について .....	284
3. アンケート調査原票.....	285

# I. 県民アンケート調査（県民意識調査）

---



## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

「ごみゼロ社会実現プラン」の策定に当たって、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、県民の意識や考え方について調査した。

### (2) 調査対象

地域特性などを考慮して選んだ県内 15 市町村から 500 名ずつ、合計 7,500 名を無作為抽出し調査対象とした。

### (3) 調査方法

郵送によって調査票を発送、回収した。回収期限直前にはがきによる督促を行った。

### (4) 調査期間

平成 16 年 9 月 9 日に調査票を発送し、9 月 24 日を投函期限として回収した。なお、督促により投函期限後も回答があったため、10 月 15 日を最終回収期限として有効回答に含めた。

### (5) 回答状況

市町村	発送数	宛先不明	有効発送数	有効回収数	有効回収率
1 津市	500	4	496	269	54.2
2 四日市市	500	4	496	239	48.2
3 伊勢市	500	7	493	275	55.8
4 松阪市	500	3	497	246	49.5
5 桑名市	500	7	493	246	49.9
6 鈴鹿市	500	7	493	241	48.9
7 名張市	500	5	495	291	58.8
8 尾鷲市	500	3	497	219	44.1
9 鳥羽市	500	4	496	206	41.5
10 熊野市	500	10	490	223	45.5
11 菰野町	500	6	494	265	53.6
12 三雲町	500	8	492	232	47.2
13 南島町	500	0	500	198	39.6
14 阿児町	500	5	495	221	44.6
15 青山町	500	2	498	272	54.6
不明	-	-	-	192	-
全体	7,500	75	7,425	3,835	51.6

「不明」の 192 件は、設問での「住まいの市町村」が無回答の分である。

## 2. 調査結果

### (1) 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について

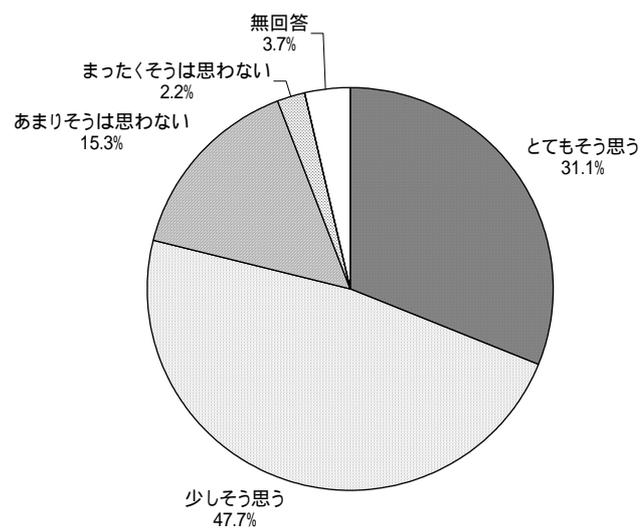
問1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？（ は1つずつ）

#### (1) 家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う

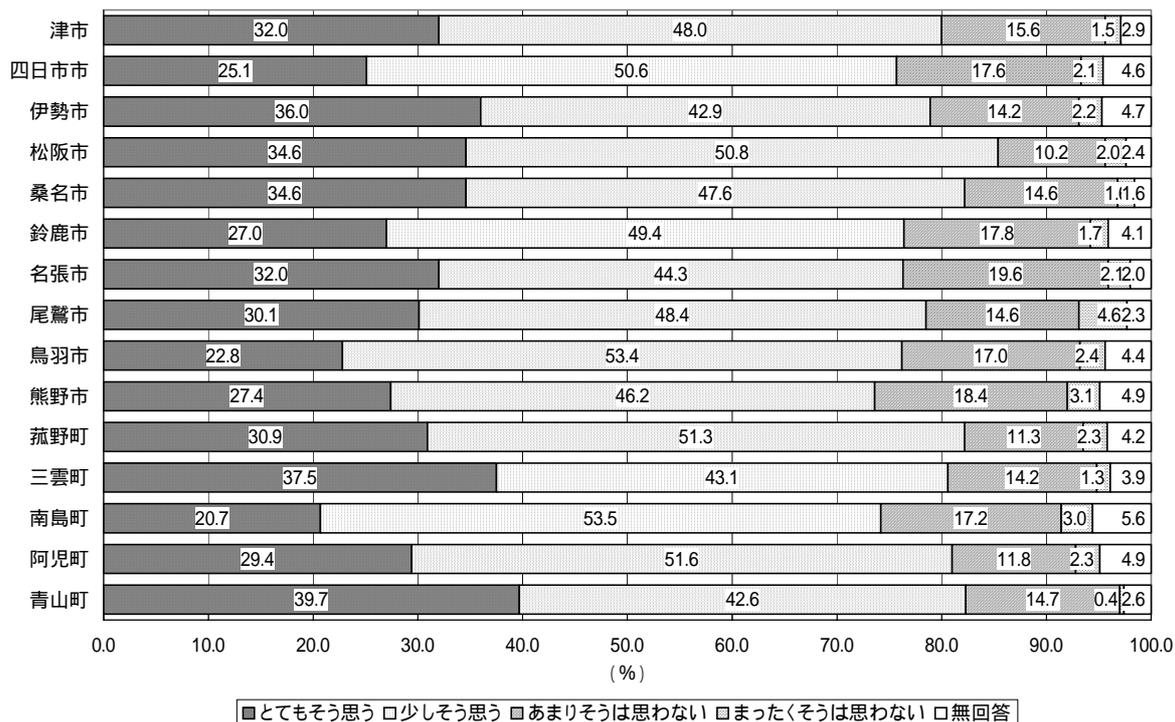
暮らしの中に「不要物が多い」と感じている人が約79%を占める。「とてもそう思う」とする割合を市町村別に見ると、最も高い青山町と最も低い南島町では、おおよそ2倍の開きがある。

図表 1-1 不要物に囲まれた暮らし意識

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1192	31.1
2 少しそう思う	1831	47.7
3 あまりそうは思わない	587	15.3
4 まったくそうは思わない	83	2.2
無回答	142	3.7
全体	3835	100.0



図表 1-2 市町村 × 不要物に困られた暮らし意識

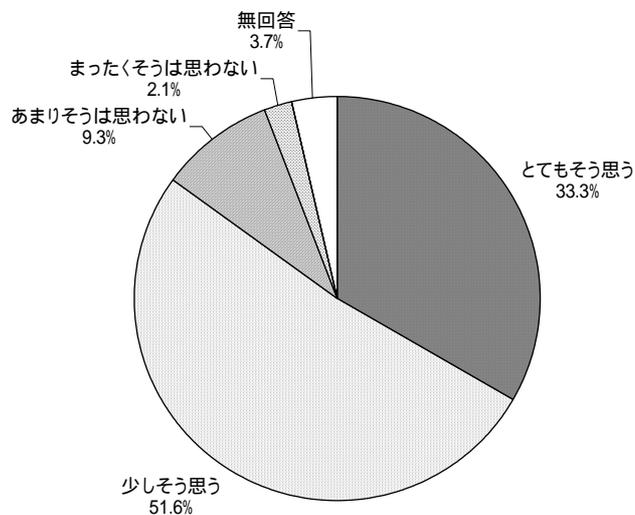


(2) ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう

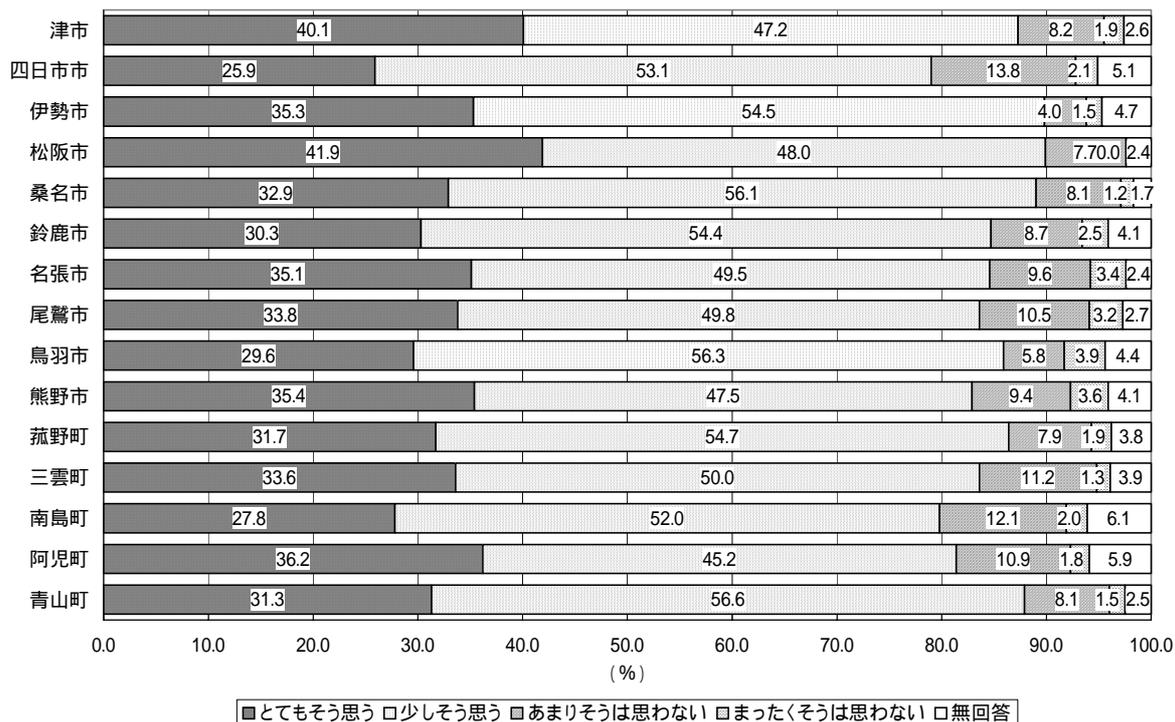
ものを捨てることに対し「もったいない」と感じる人が約 85%を占める。「とてもそう思う」とする割合を市町村別に見ると、最も高い松阪市と最も低い四日市市では、16ポイントの差が見られる。

図表 1-3 捨てるときの「もったいない」意識

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1277	33.3
2 少しそう思う	1980	51.6
3 あまりそうは思わない	355	9.3
4 まったくそうは思わない	79	2.1
無回答	144	3.7
全体	3835	100.0



図表 I-4 市町村 × 捨てるときの「もったいない」意識

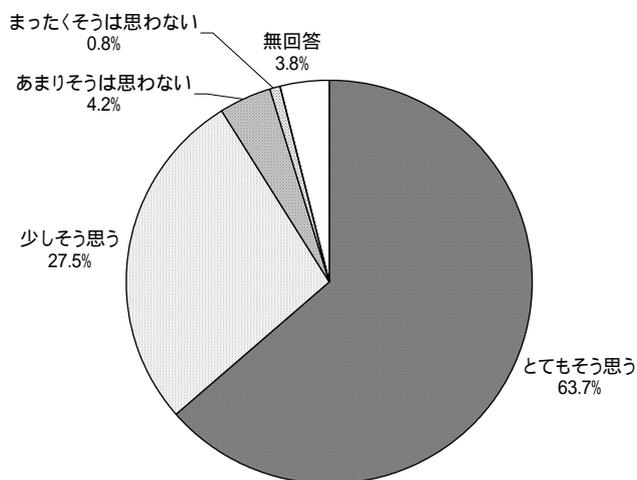


(3) 商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う

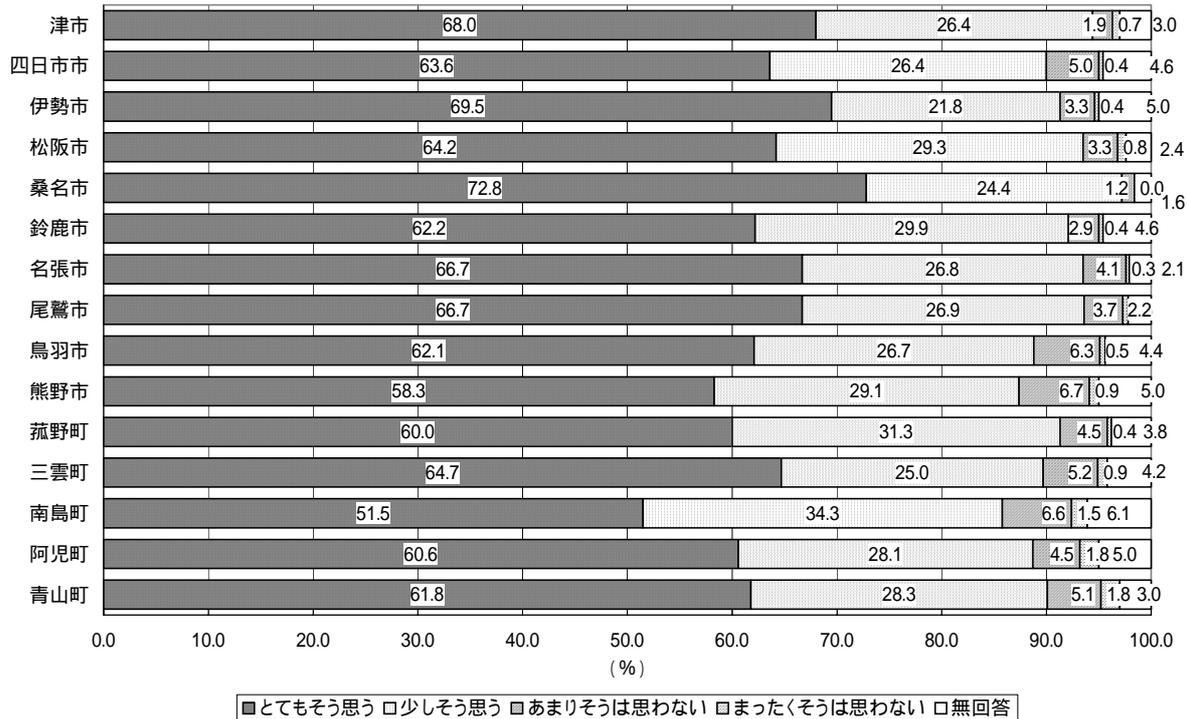
商品の過剰包装については、「とてもそう思う」が約 64% を占める。「とてもそう思う」とする割合を市町村別に見ると、最も高い桑名市では約 73% を占め、その他ほとんどの市町村で 60% を超えている。

図表 I-5 商品の過剰包装感

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	2444	63.7
2 少しそう思う	1055	27.5
3 あまりそうは思わない	161	4.2
4 まったくそうは思わない	29	0.8
無回答	146	3.8
全体	3835	100.0



図表 I-6 市町村 × 商品の過剰包装感

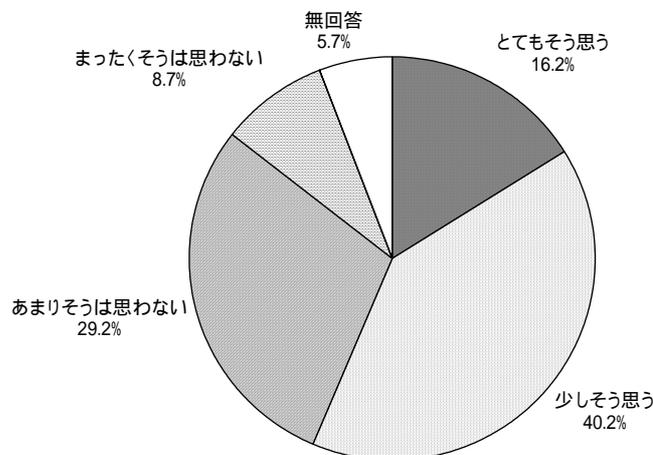


(4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない

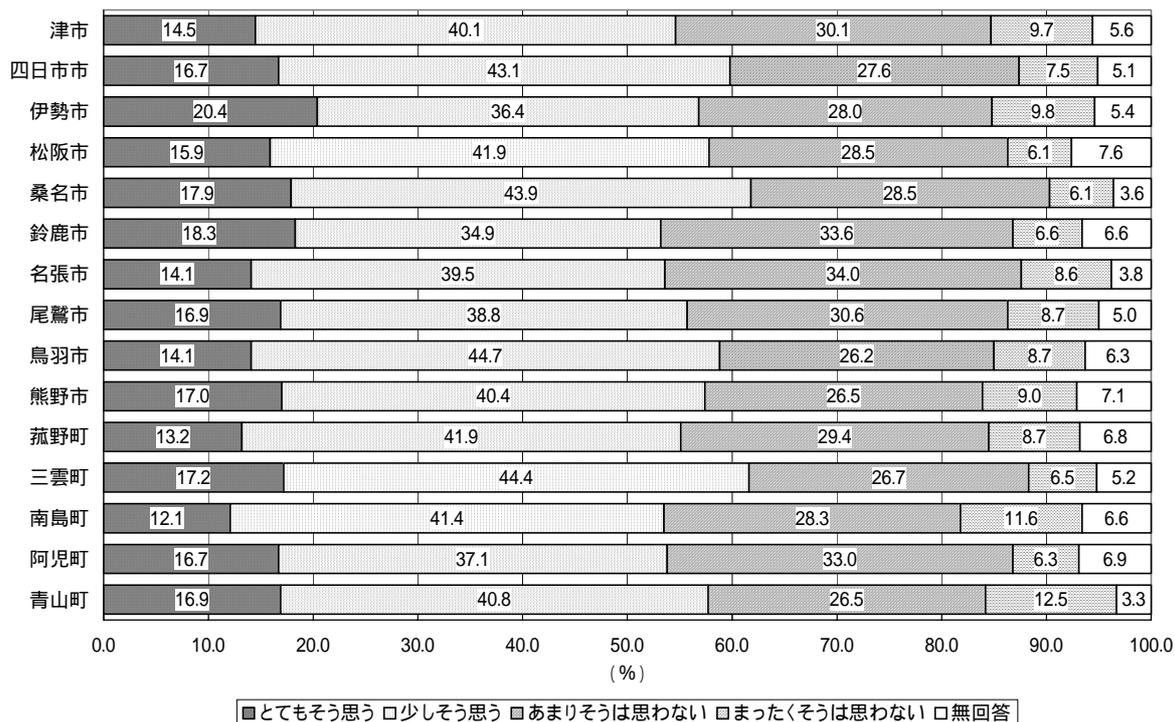
多くの人が使いまわすものについて「抵抗感はない」と感じる人が約56%を占める。この割合を市町村別に見ると、いずれも5～6割程度とよく似た傾向を示している。

図表 I-7 レンタル等リユース利用への抵抗感の希薄さ

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	622	16.2
2 少しそう思う	1543	40.2
3 あまりそうは思わない	1118	29.2
4 まったくそうは思わない	334	8.7
無回答	218	5.7
全体	3835	100.0



図表 1-8 市町村×レンタル等リユース利用への抵抗感の希薄さ



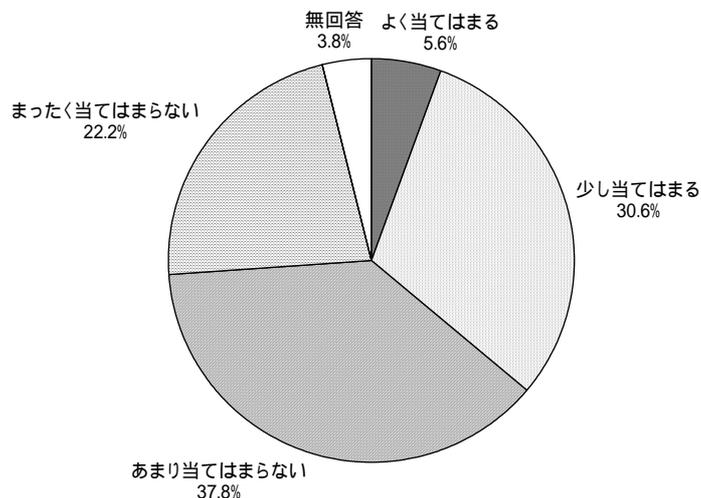
問2 次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？（ は1つずつ）

(1) 特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ

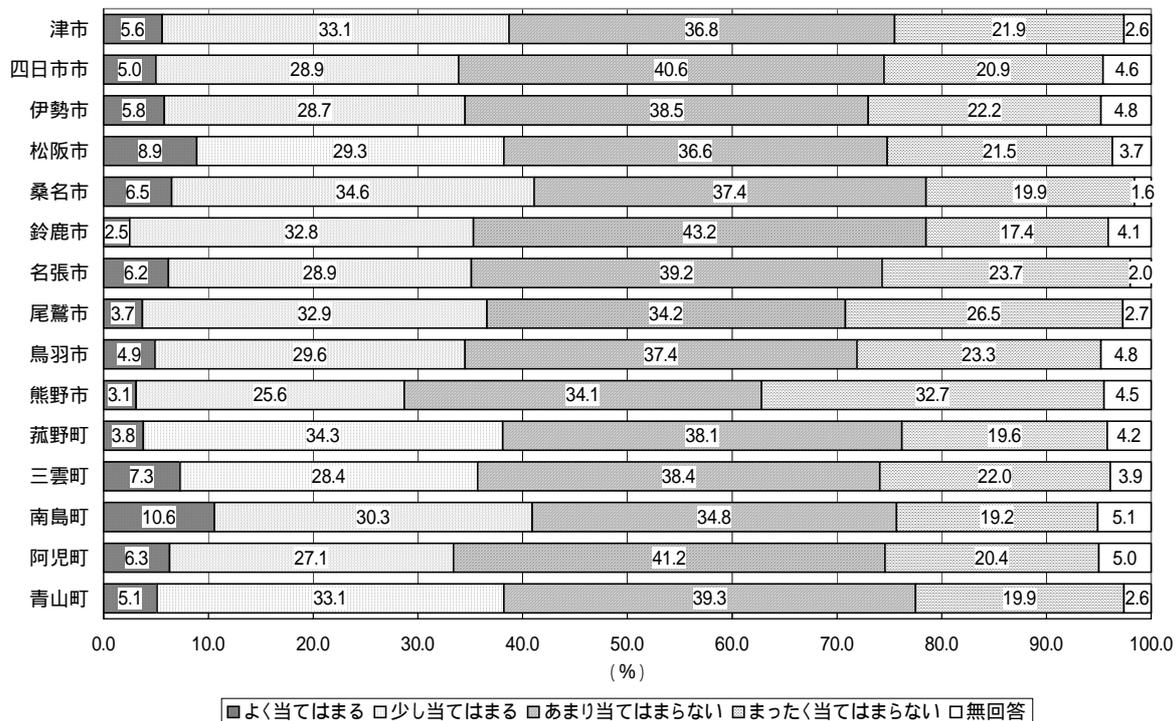
特価品や新製品に対する衝動買いについては、「少し当てはまる」が約 31%、「よく当てはまる」は約 6%に止まっている。この「当てはまる」とする割合を市町村別に見ると、最も高い桑名市で約 41%、最も低い熊野市で約 29%となっている。「当てはまる」とする割合は年齢層との強い相関が見られ、年齢層が低くなるほど高くなる傾向がある。

図表 1-9 特価品や新製品の衝動買い

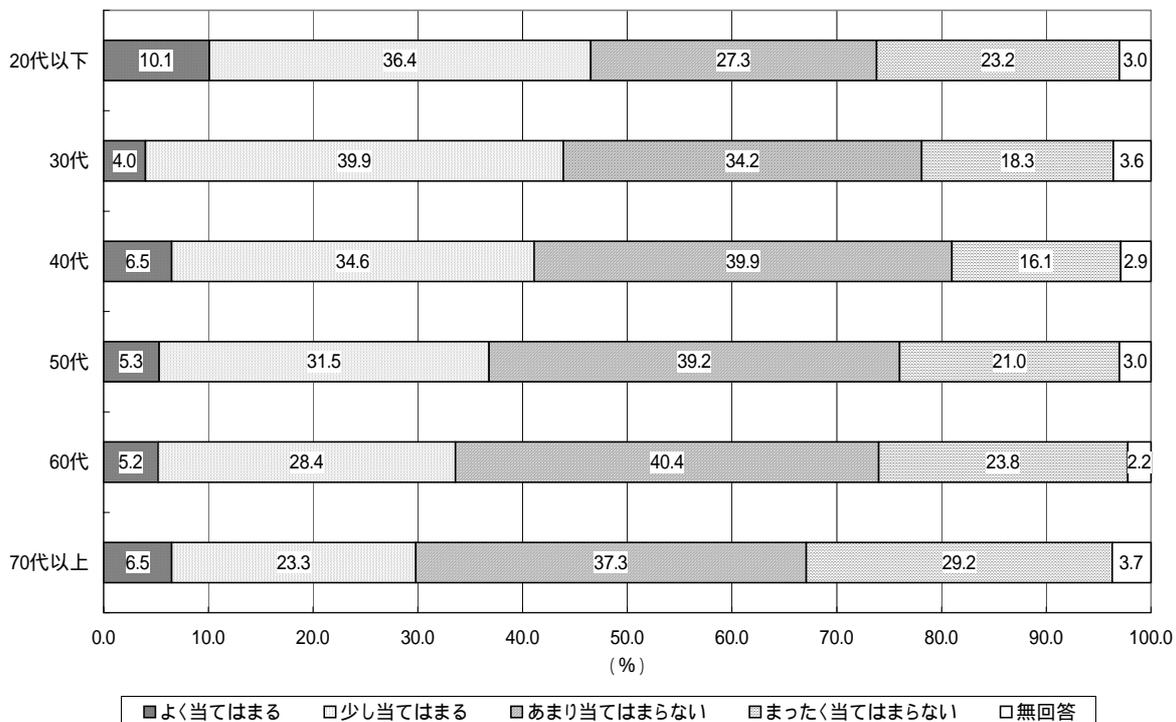
選択肢	件数	割合(%)
1 よく当てはまる	215	5.6
2 少し当てはまる	1174	30.6
3 あまり当てはまらない	1450	37.8
4 まったく当てはまらない	852	22.2
無回答	144	3.8
全体	3835	100.0



図表 I-10 市町村 × 特価品や新製品の衝動買い



図表 I-11 年齢 × 特価品や新製品の衝動買い

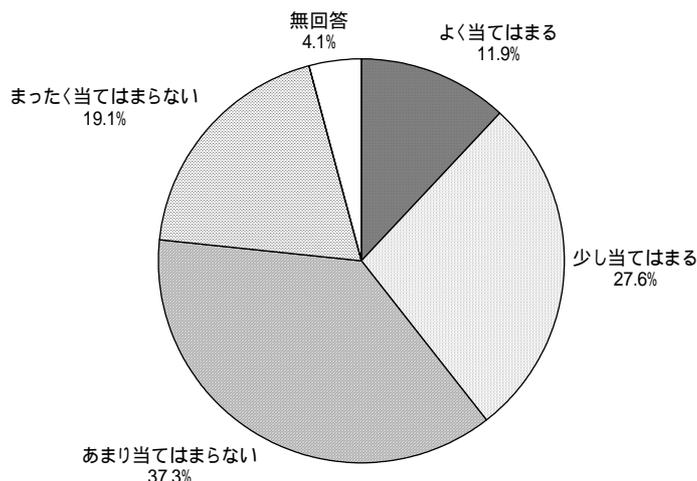


(2) 買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える

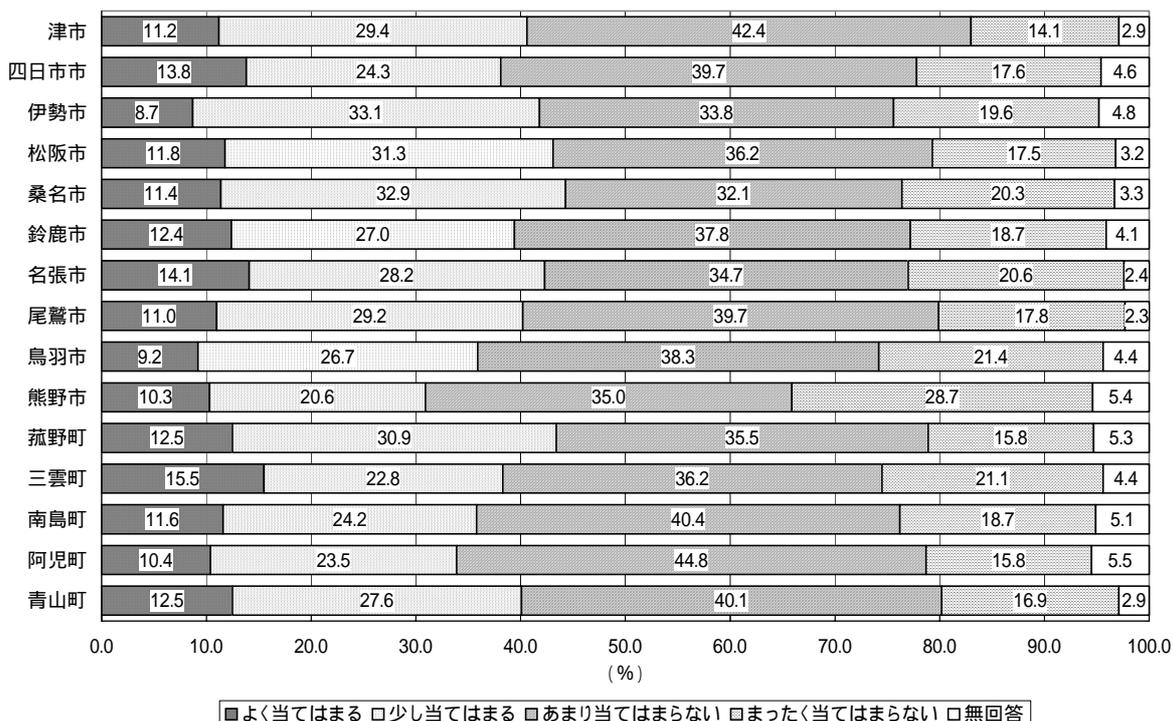
修理より買い替え志向については、「少し当てはまる」が約28%あり、「よく当てはまる」は約12%と1割を超える。この「当てはまる」とする割合を市町村別に見ると、最も高い桑名市で約44%、最も低い熊野市で約31%となっている。年齢層別による差はあまり見られない。

図表 I-12 修理より買い替え志向

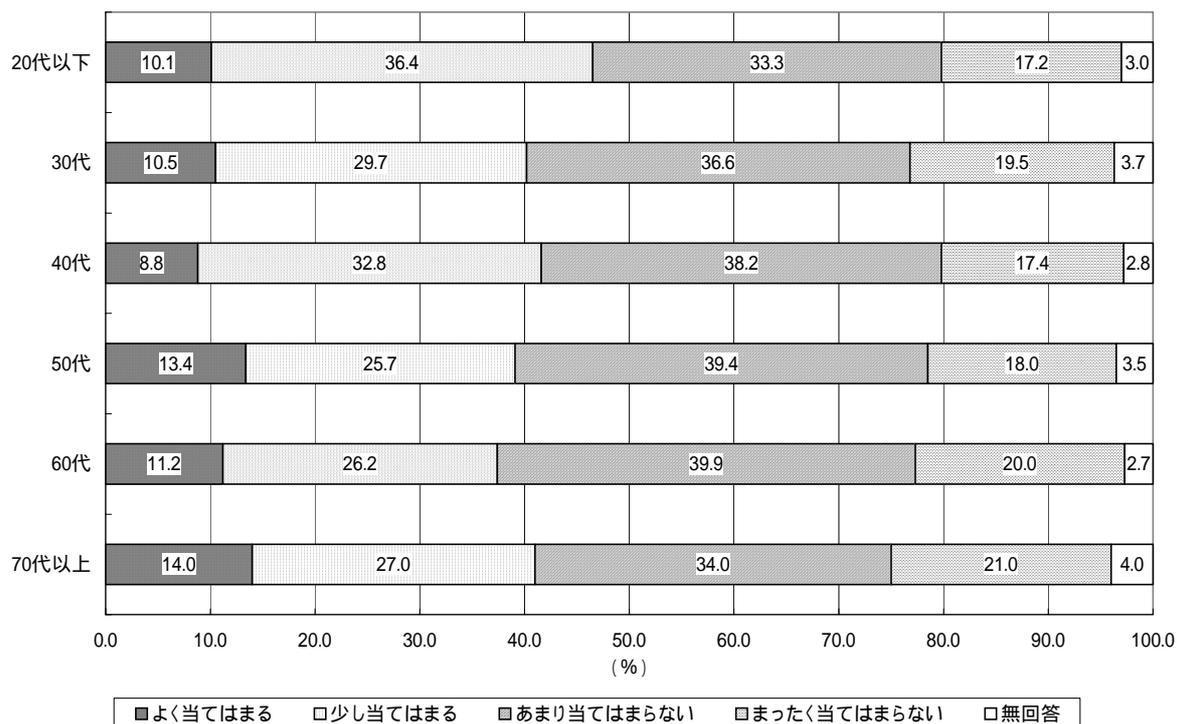
選択肢	件数	割合(%)
1 よく当てはまる	455	11.9
2 少し当てはまる	1060	27.6
3 あまり当てはまらない	1432	37.3
4 まったく当てはまらない	734	19.1
無回答	154	4.1
全体	3835	100.0



図表 I-13 市町村 × 修理より買い替え志向



図表 I-14 年齢×修理より買い替え志向

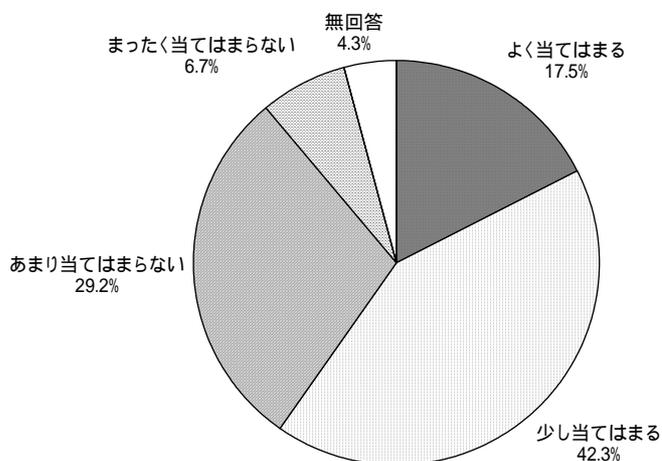


(3) お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ

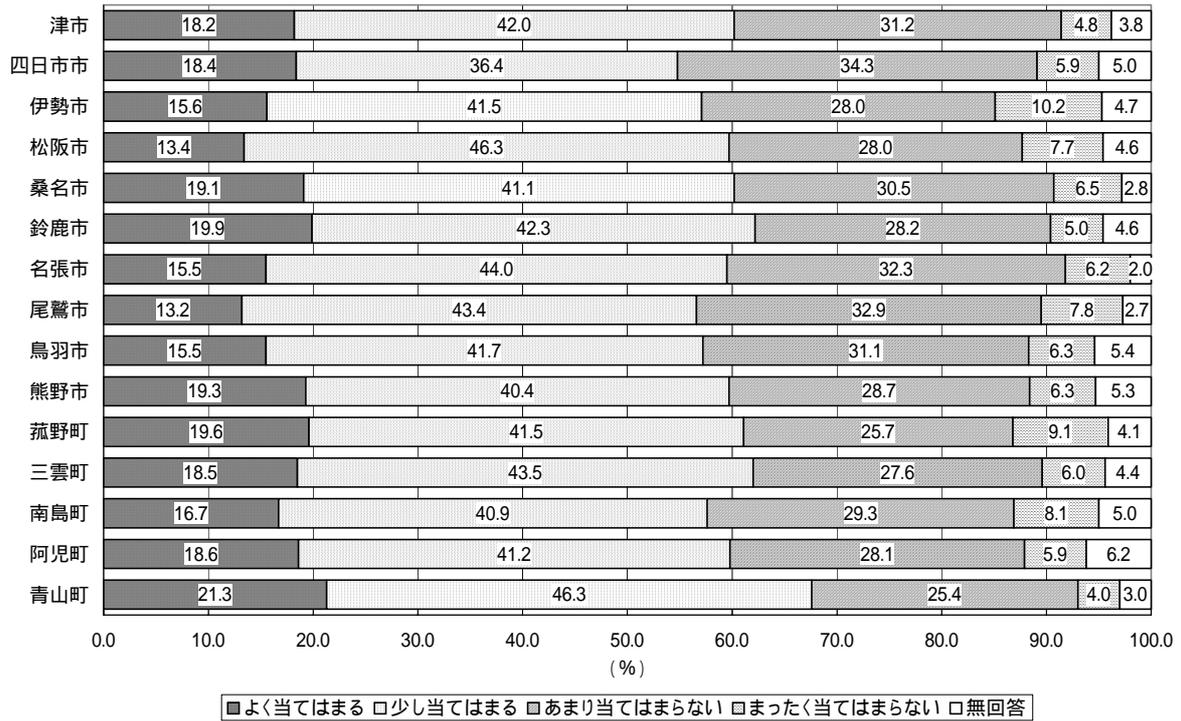
環境やごみのことを考えずに商品を選ぶかという問いに対しては、「少し当てはまる」が約 42%、「よく当てはまる」は約 18%あり、両者で約 60%を占める。「よく当てはまる」とする割合を市町村別に見ると、最も高い青山町で約 21%、最も低い尾鷲市で約 13%となっている。年齢層別には、30代、40代、70台以上で低くなっている。

図表 I-15 環境を考えない商品選び

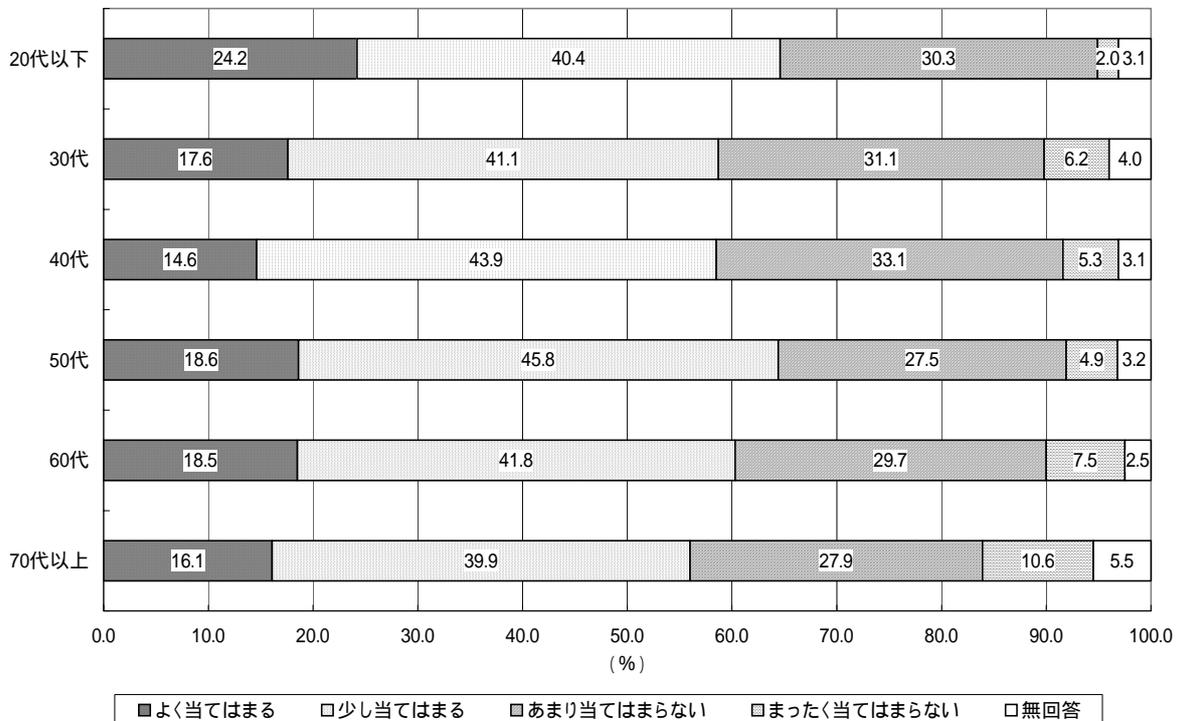
選択肢	件数	割合(%)
1 よく当てはまる	670	17.5
2 少し当てはまる	1624	42.3
3 あまり当てはまらない	1121	29.2
4 まったく当てはまらない	256	6.7
無回答	164	4.3
全体	3835	100.0



図表 I-16 市町村 × 環境を考えない商品選び



図表 I-17 年齢 × 環境を考えない商品選び

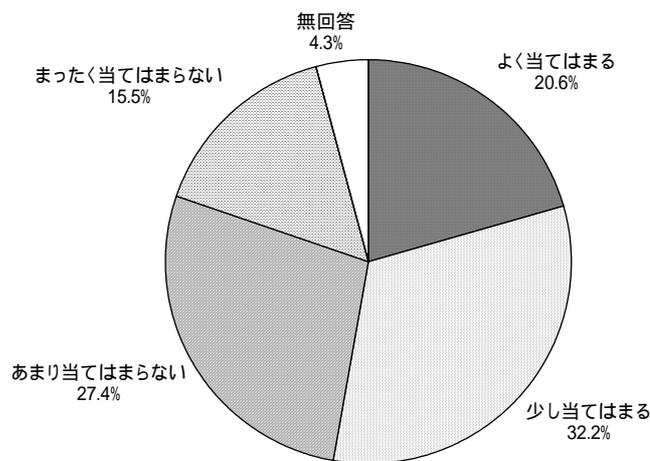


(4) 一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する

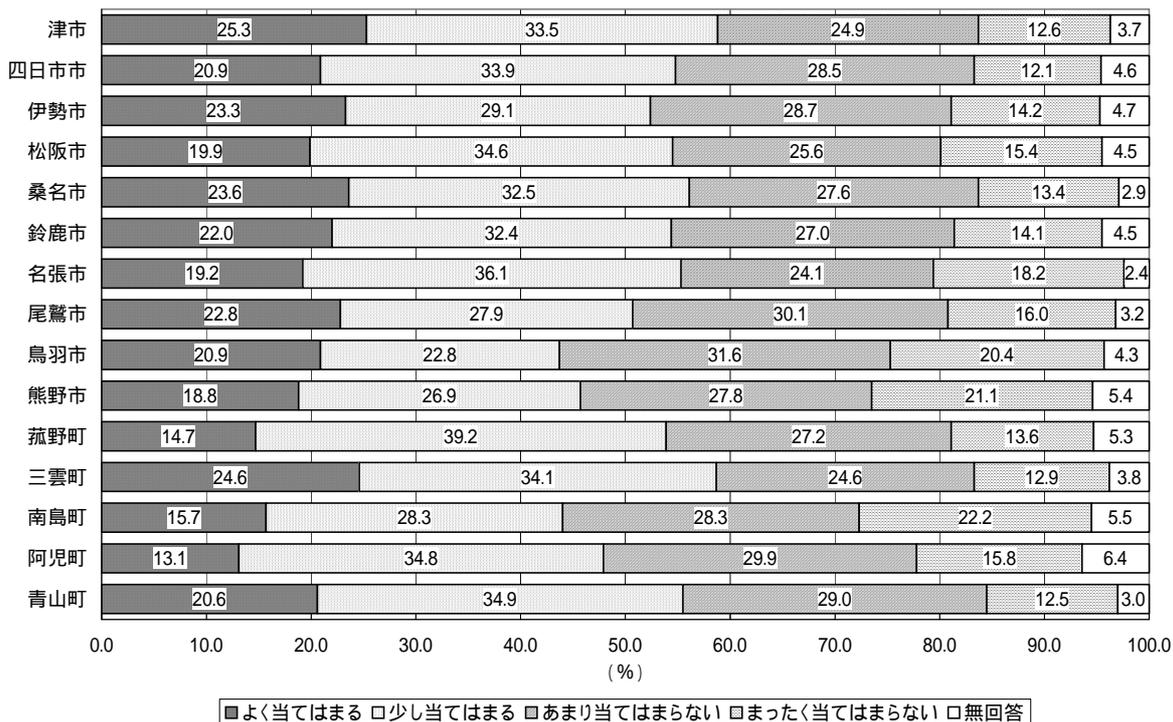
レンタル品より新品という志向については、「少し当てはまる」が約 32%あり、「よく当てはまる」も約 21%と2割を超える。この「当てはまる」とする割合を市町村別に見ると、津市や三雲町で高く6割近くを占める一方、鳥羽市、南島町、熊野市では低く45%程度に止まる。年齢層別では、70代以上で「当てはまる」とする割合が約43%と平均より10ポイント低くなっている。

図表 I-18 レンタル品等より新品志向

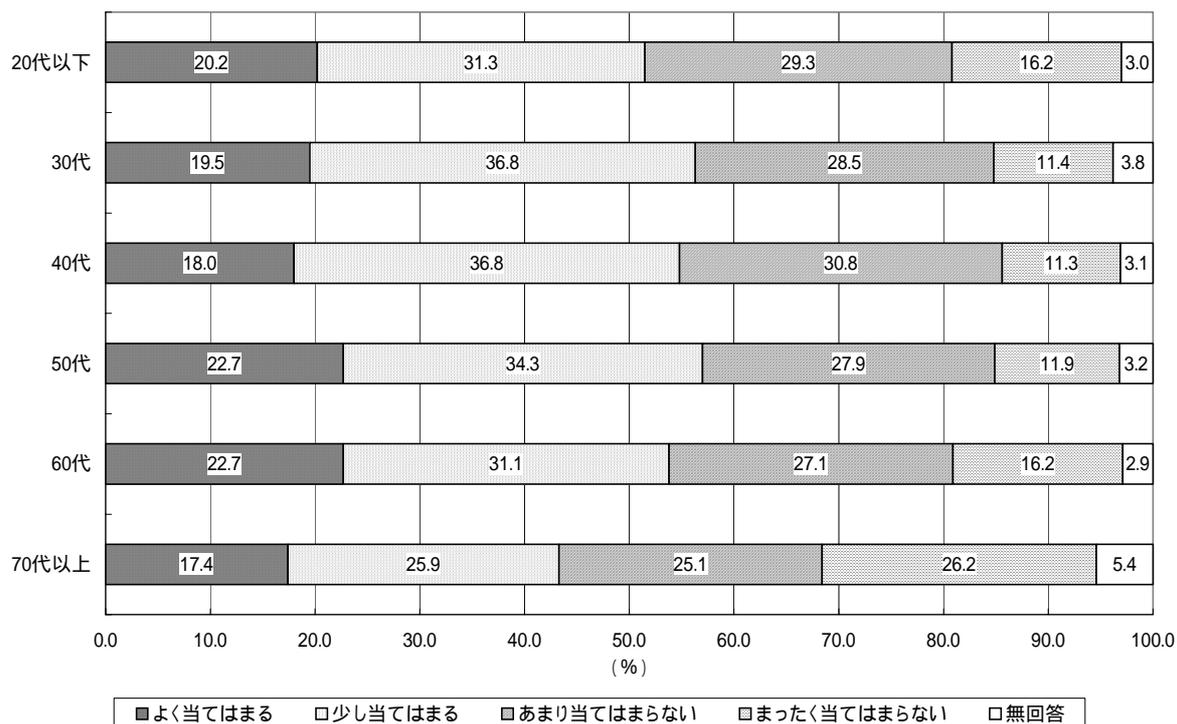
選択肢	件数	割合(%)
1 よく当てはまる	789	20.6
2 少し当てはまる	1235	32.2
3 あまり当てはまらない	1050	27.4
4 まったく当てはまらない	595	15.5
無回答	166	4.3
全体	3835	100.0



図表 I-19 市町村×レンタル品等より新品志向



図表 I-20 年齢×レンタル品等より新品志向



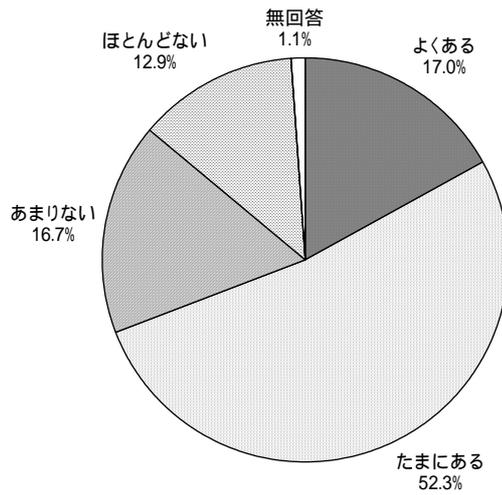
問3 食べ物のごみについてお聞きします。( は1つずつ)

(1) 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

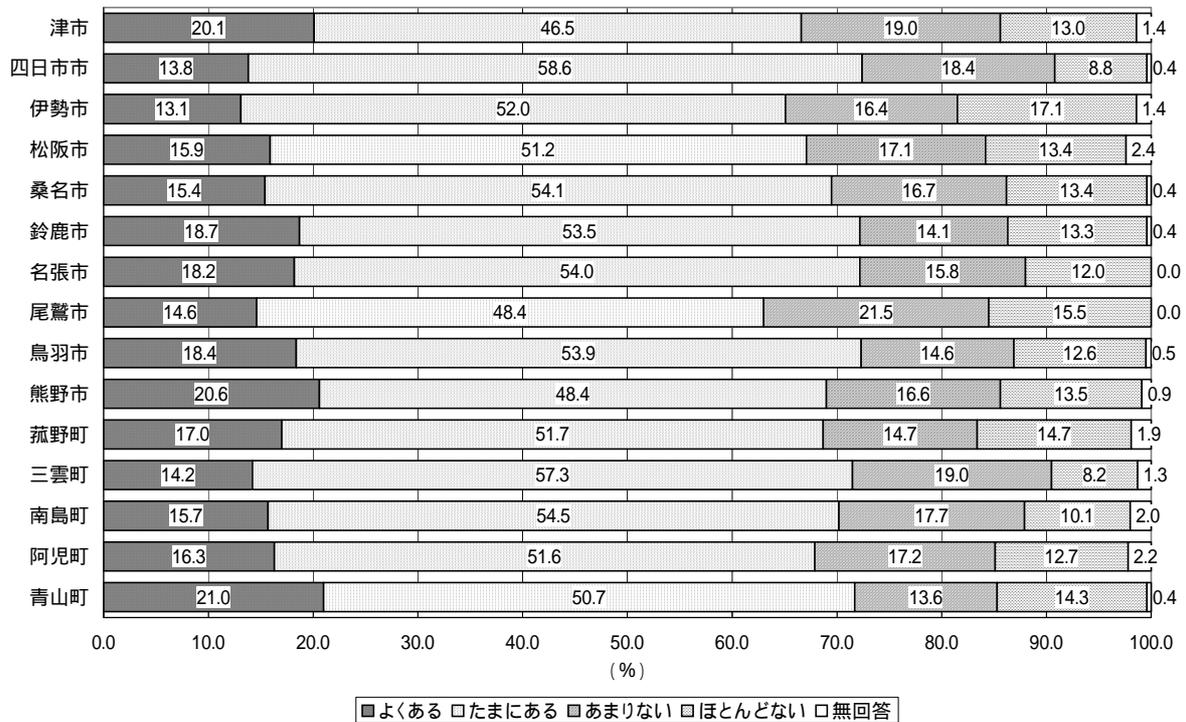
賞味期限切れ等による食材廃棄については、「たまにある」が約52%、「よくある」が約17%と、両者で約69%を占める。この「ある」とする割合を市町村別に見ると、最も低い尾鷲市でも約63%を占める。また、この割合は年齢層が上がるほど低くなり、世帯人数が多くなるほど高くなる傾向にある。

図表 I-21 使い残りや賞味期限切れによる食材廃棄

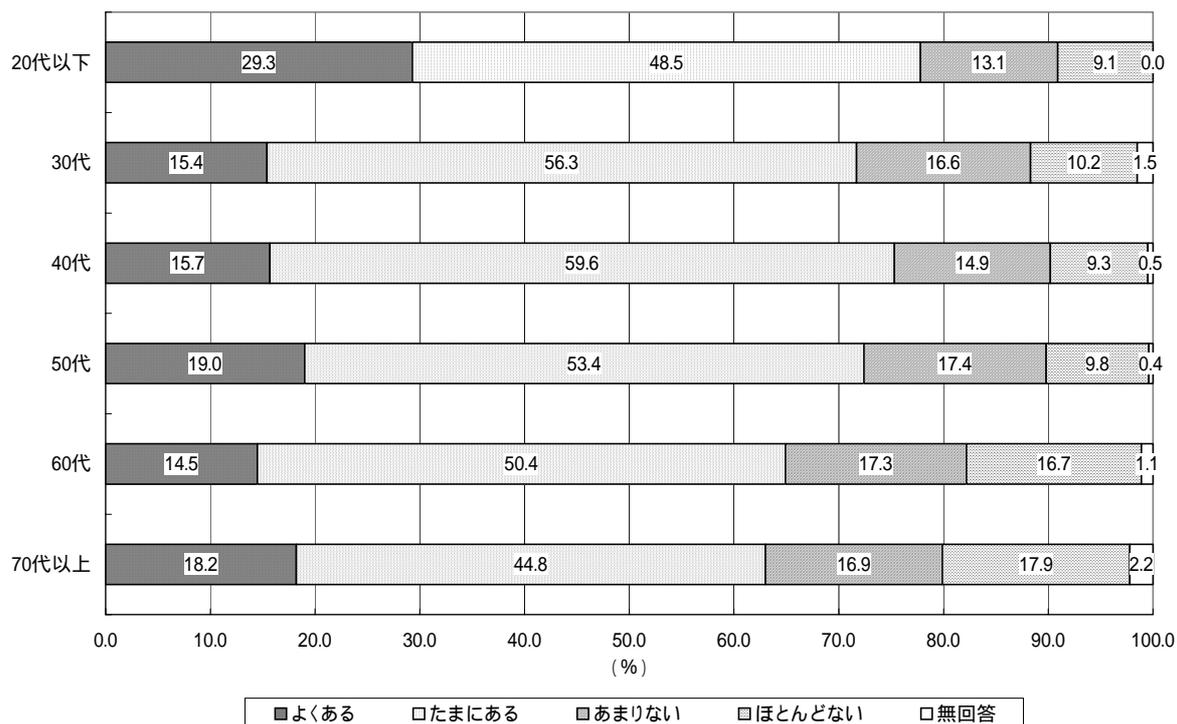
選択肢	件数	割合(%)
1 よくある	651	17.0
2 たまにある	2004	52.3
3 あまりない	642	16.7
4 ほとんどない	494	12.9
無回答	44	1.1
全体	3835	100.0



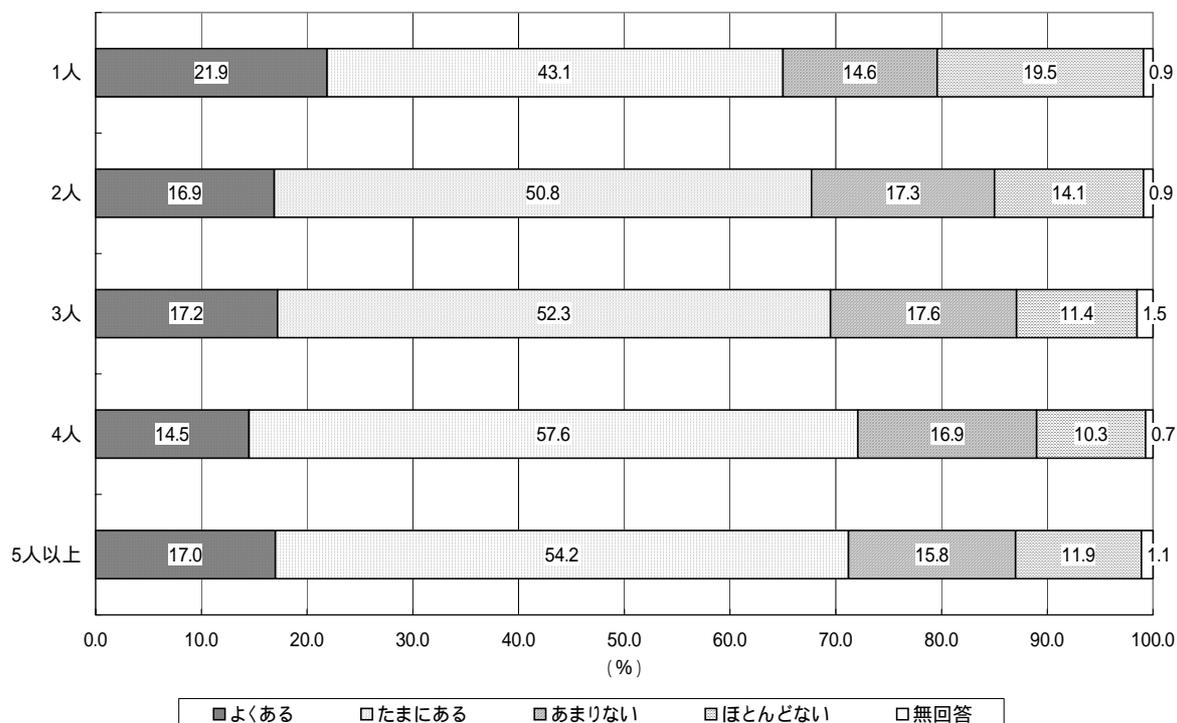
図表 I-22 市町村 × 使い残りや賞味期限切れによる食材廃棄



図表 1-23 年齢×使い残りや賞味期限切れによる食材廃棄



図表 1-24 世帯人数×使い残りや賞味期限切れによる食材廃棄

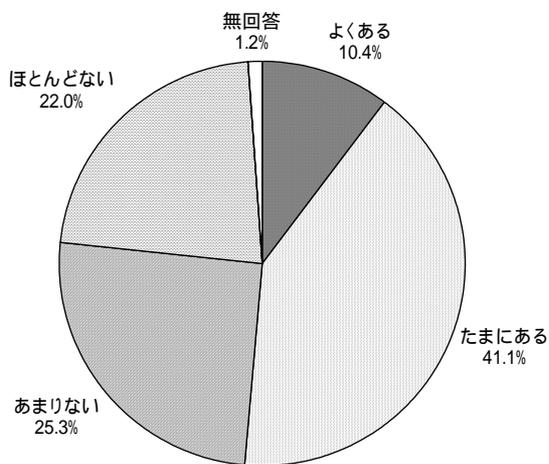


(2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

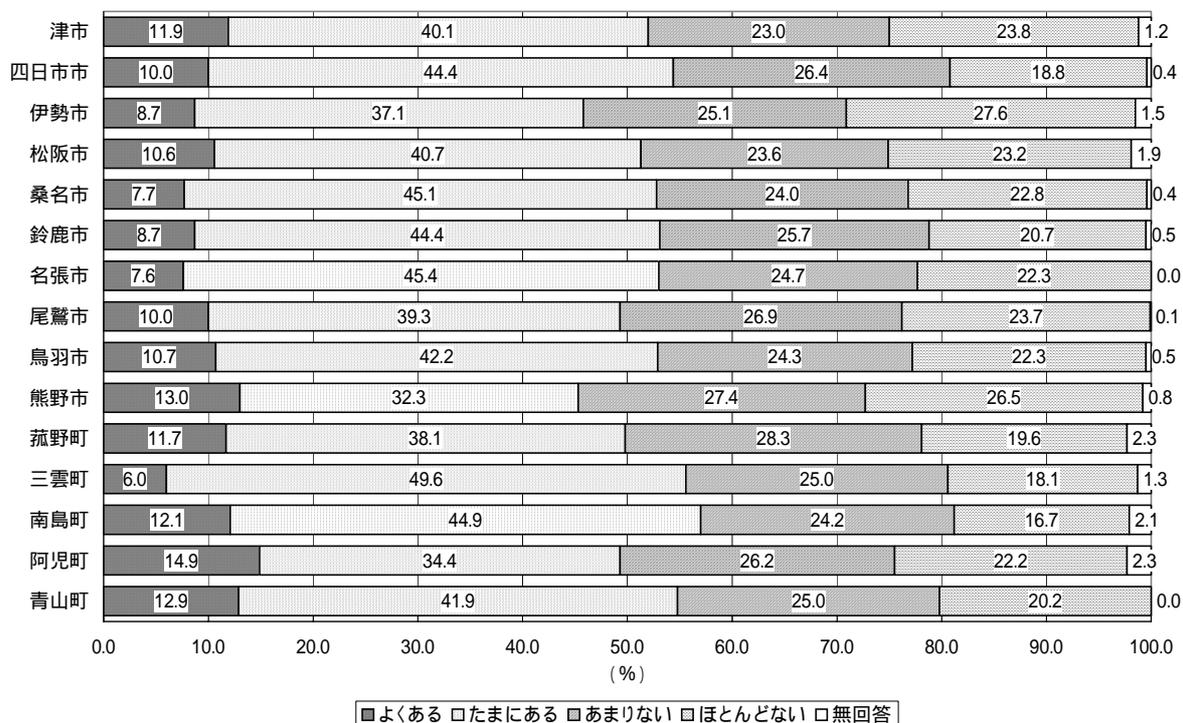
食べ残しによる食品廃棄については、「たまにある」が約 41%、「よくある」が約 10%と、両者で約 51%を占める。この「ある」とする割合を市町村別に見ると、最も低い熊野市でも約 45%となっている。

図表 1-25 食べ残しによる食品廃棄

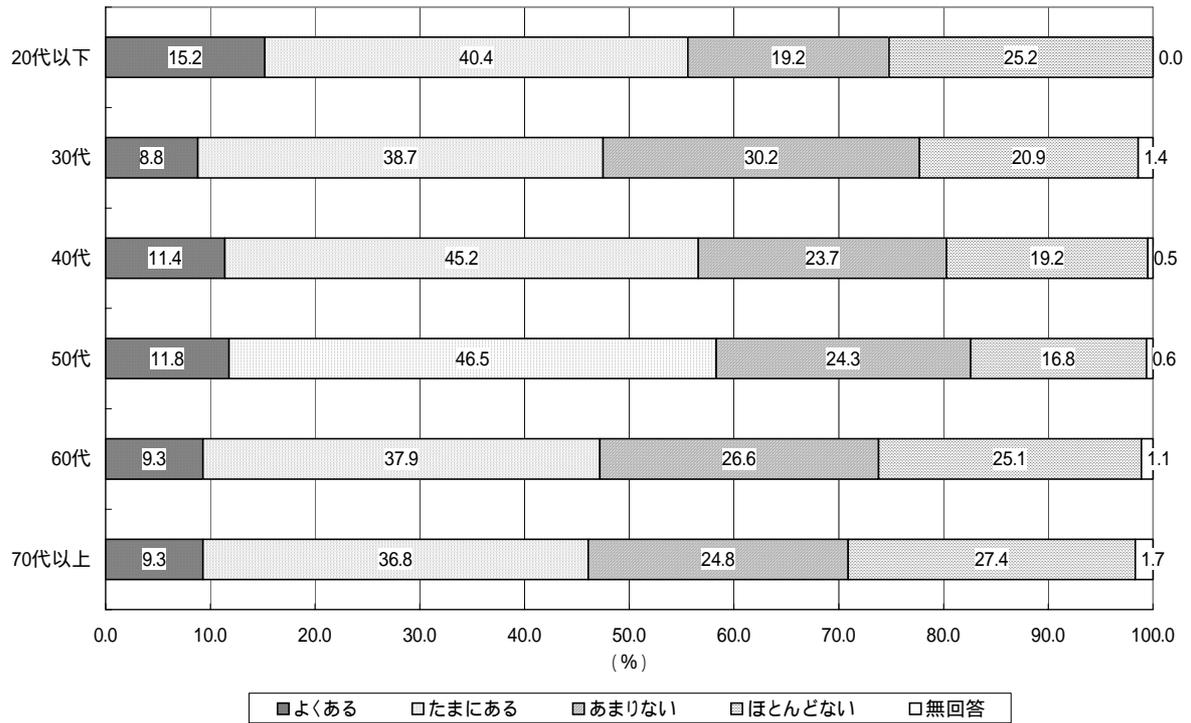
選択肢	件数	割合(%)
1 よくある	400	10.4
2 たまにある	1578	41.1
3 あまりない	970	25.3
4 ほとんどない	845	22.0
無回答	42	1.2
全体	3835	100.0



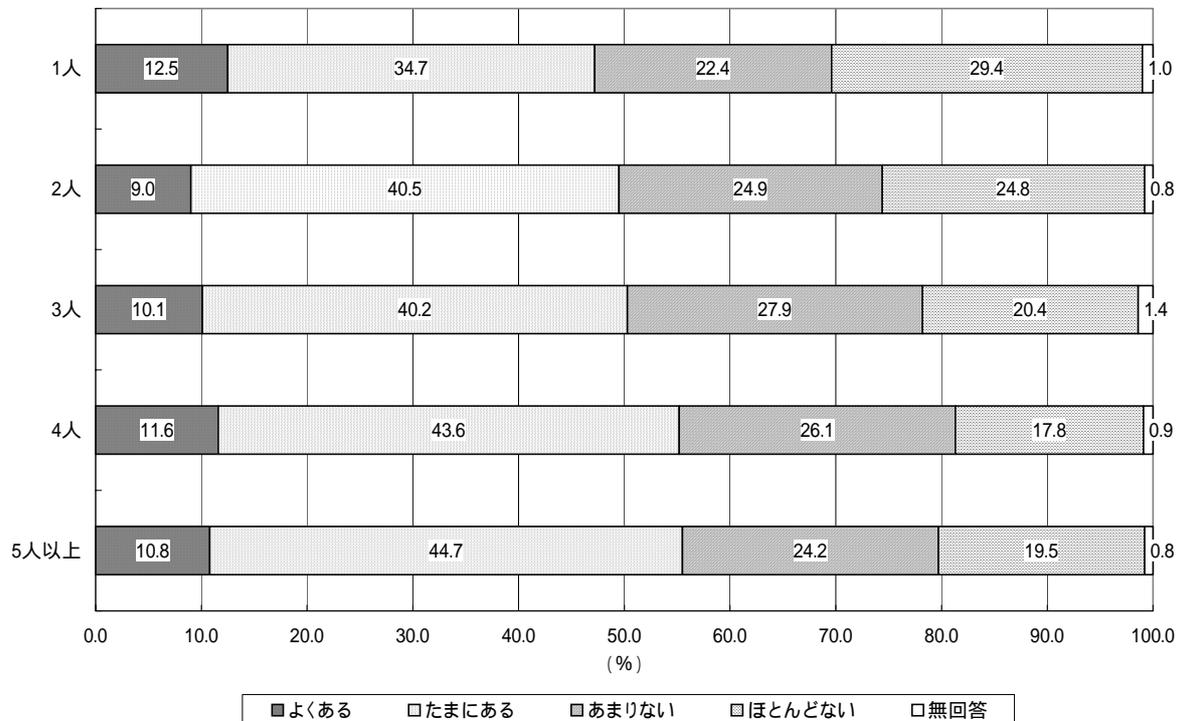
図表 1-26 市町村 × 食べ残しによる食品廃棄



図表 1-27 年齢 × 食べ残しによる食品廃棄



図表 1-28 世帯人数 × 食べ残しによる食品廃棄

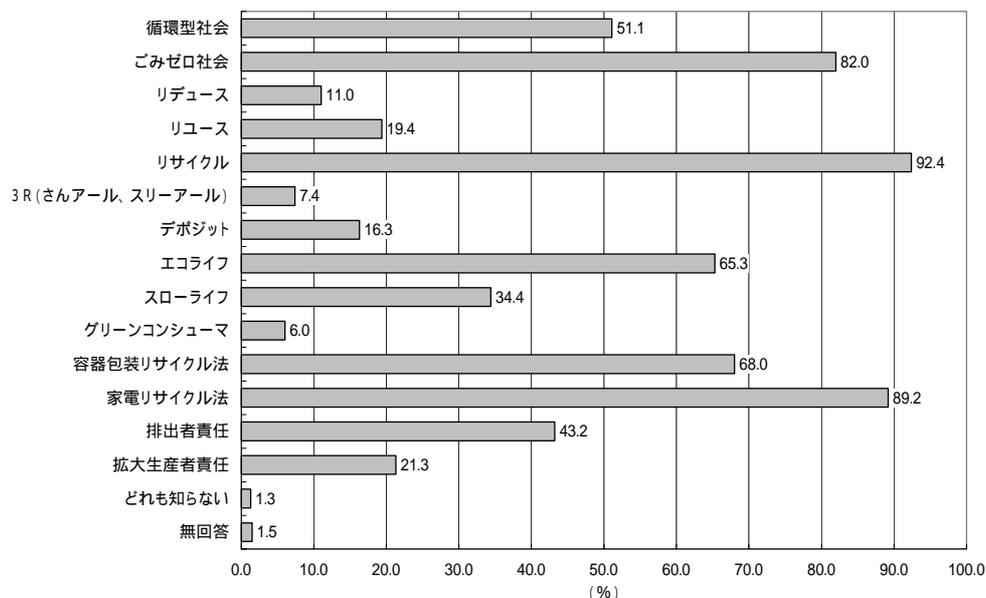


問4 次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？（はいくつでも）

認知度の高い言葉の上位は「リサイクル」(約 92%)、「家電リサイクル法」(約 89%)、「ごみゼロ社会」(約 82%)となっている。一方、下位は「グリーンコンシューマ」(約 6%)、「3R」(約 7%)、「リデュース」(約 11%)となっている。

図表 I-29 言葉の認知(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 循環型社会	1960	51.1
2 ごみゼロ社会	3146	82.0
3 リデュース	420	11.0
4 リユース	743	19.4
5 リサイクル	3542	92.4
6 3R(さんアール、スリーアール)	284	7.4
7 デポジット	625	16.3
8 エコライフ	2504	65.3
9 スローライフ	1319	34.4
10 グリーンコンシューマ	232	6.0
11 容器包装リサイクル法	2606	68.0
12 家電リサイクル法	3419	89.2
13 排出者責任	1655	43.2
14 拡大生産者責任	815	21.3
15 どれも知らない	48	1.3
無回答	58	1.5

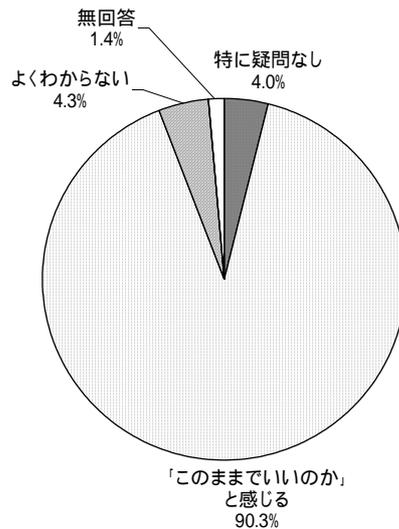


問5 使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？（もっとも考えの近いもの1つに）

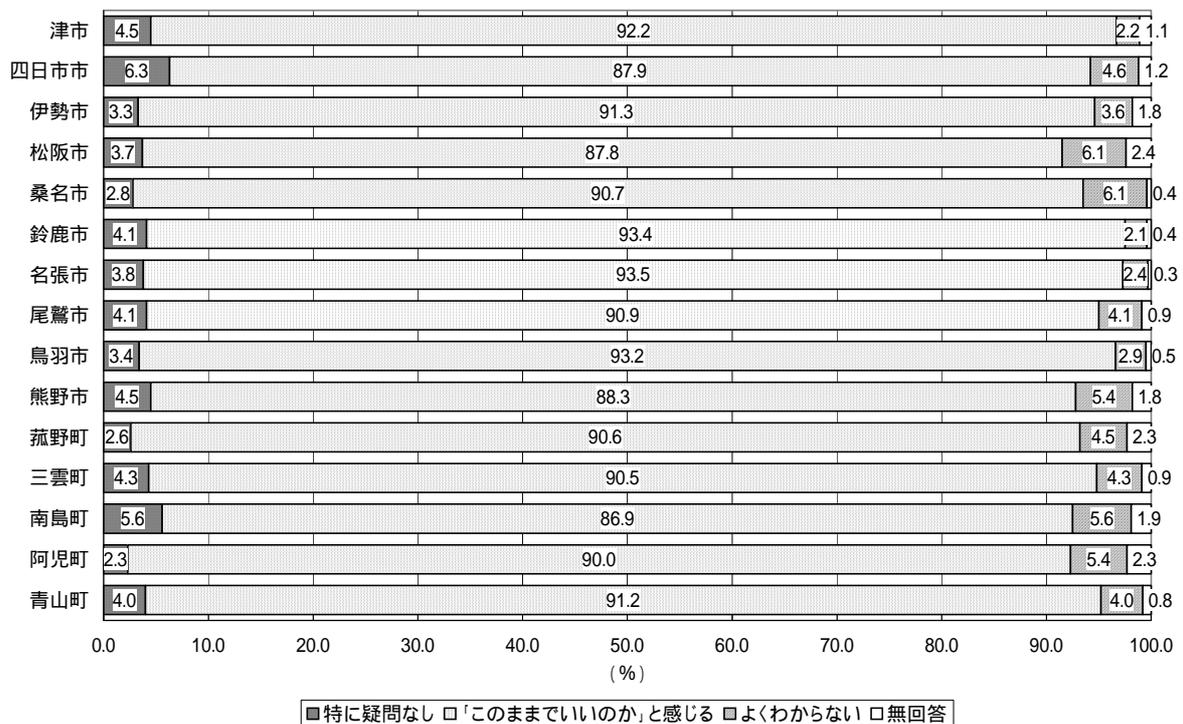
大量生産、大量消費、大量廃棄の社会経済活動に対し疑問を感じている割合が約 90%を占める。どの市町村でも同様の傾向が見られる。

図表 I-30 使い捨て社会への危機感

選択肢	件数	割合(%)
1 特に疑問なし	152	4.0
2 「このままでいいの」と感じる	3463	90.3
3 よくわからない	166	4.3
無回答	54	1.4
全体	3835	100.0



図表 I-31 市町村 × 使い捨て社会への危機感

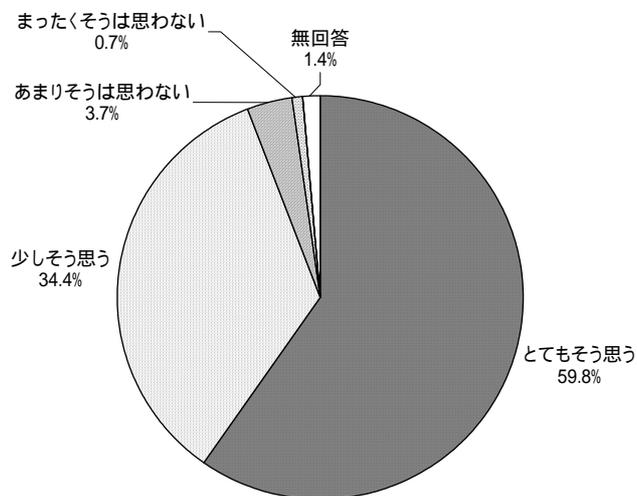


問6 ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？（は1つ）

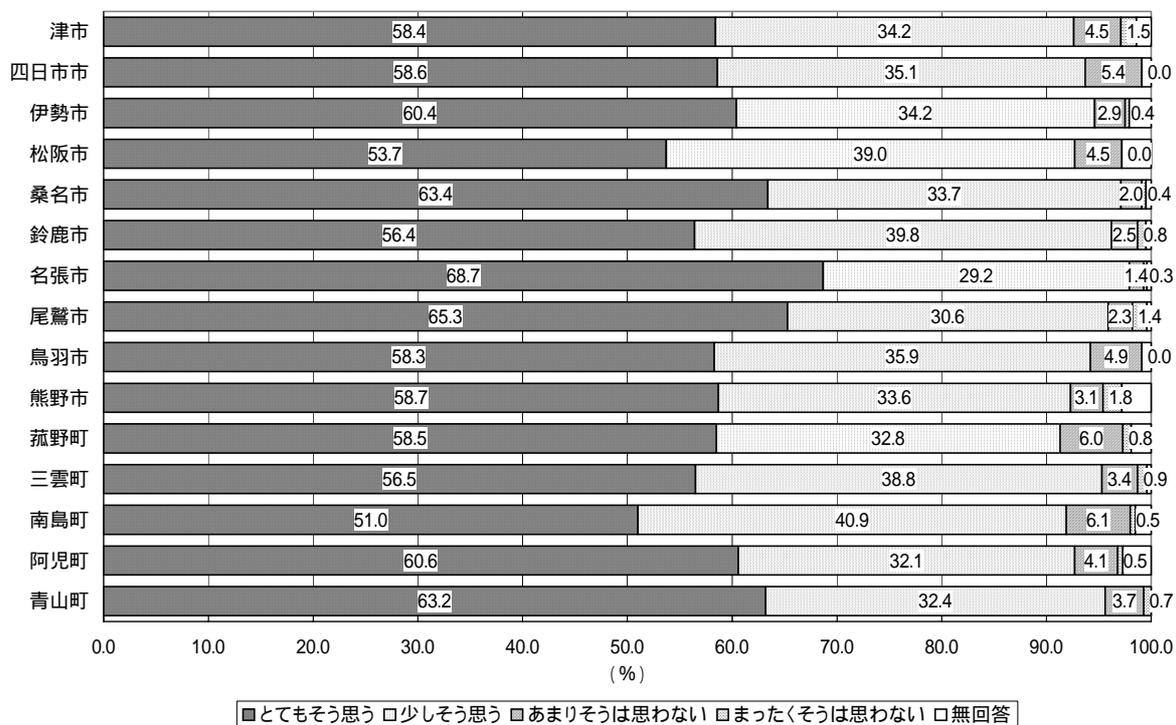
ごみに手間やコストをかけてでも資源化することに対し、「そう思う」とする割合が約 94%を占める。「とてもそう思う」とする割合を市町村別に見ると、最も高い名張市で約 69%と平均を 9 ポイント上回る一方、南島町では約 51%と平均を 9 ポイント下回っている。

図表 I-32 資源としての有効利用への意見

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	2293	59.8
2 少しそう思う	1320	34.4
3 あまりそうは思わない	142	3.7
4 まったくそうは思わない	28	0.7
無回答	52	1.4
全体	3835	100.0



図表 I-33 市町村 × 資源としての有効利用への意見



(2) 現在行っているごみ減量やリサイクルの取り組みについて

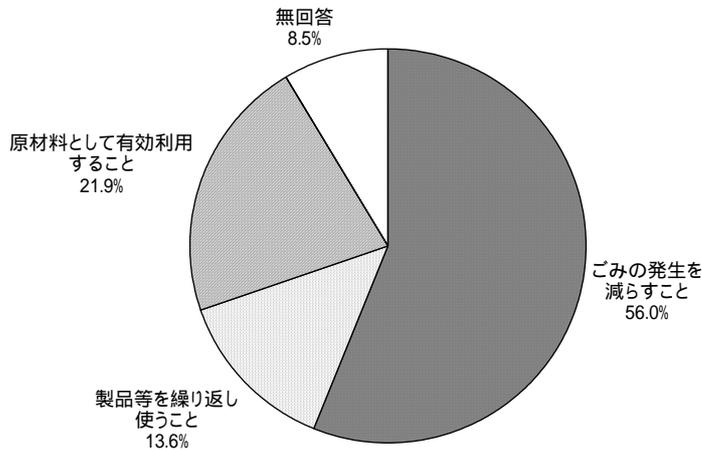
問7 ごみを減らす取り組みの中でどれが大切だと思いますか？（それぞれの枠内に番号を記入）

ごみ減量化に当たって、最も大切だと思う取り組みについては、「ごみの発生を減らすこと(リデュース)」が約 56%と最も高く、「製品等を繰り返し使うこと(リユース)」の約 14%を加えると約 70%と、「原材料として有効利用すること(リサイクル)」の約 22%を大きく上回る。「ごみの発生を減らすこと」とする割合は桑名市で最も高く、約 64%と平均を 8 ポイント上回っている。

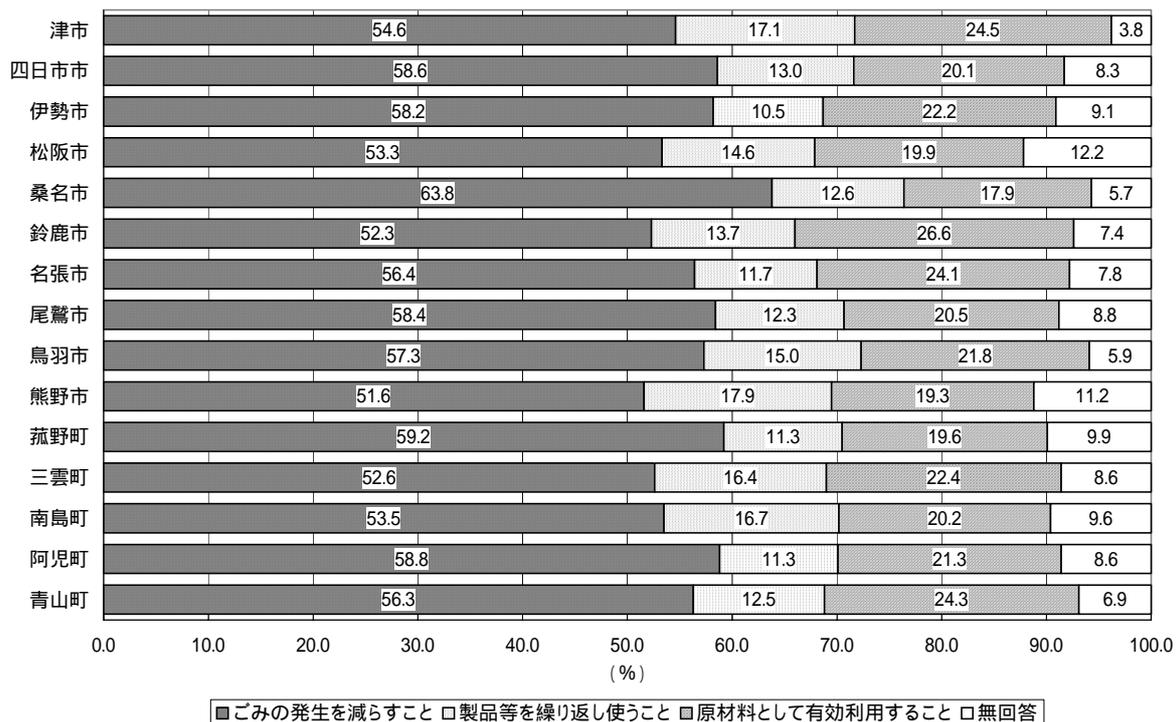
【最も大切だと思う】

図表 I-34 最も大切だと思う取り組み

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみの発生を減らすこと	2146	56.0
2 製品等を繰り返し使うこと	522	13.6
3 原材料として有効利用すること	838	21.9
無回答	329	8.5
全体	3835	100.0



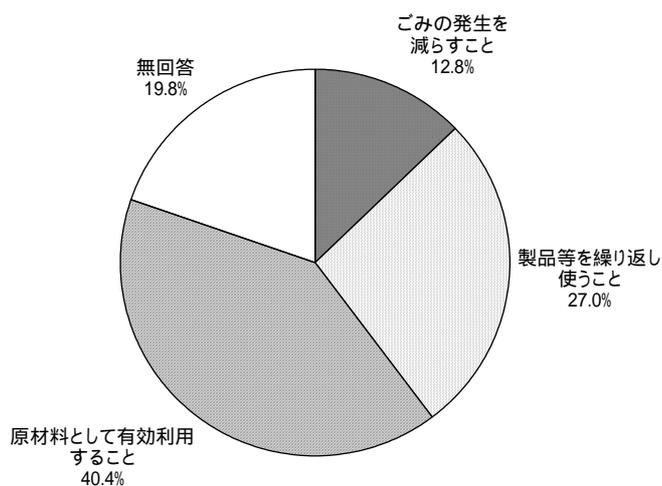
図表 I-35 市町村 × 最も大切だと思う取り組み



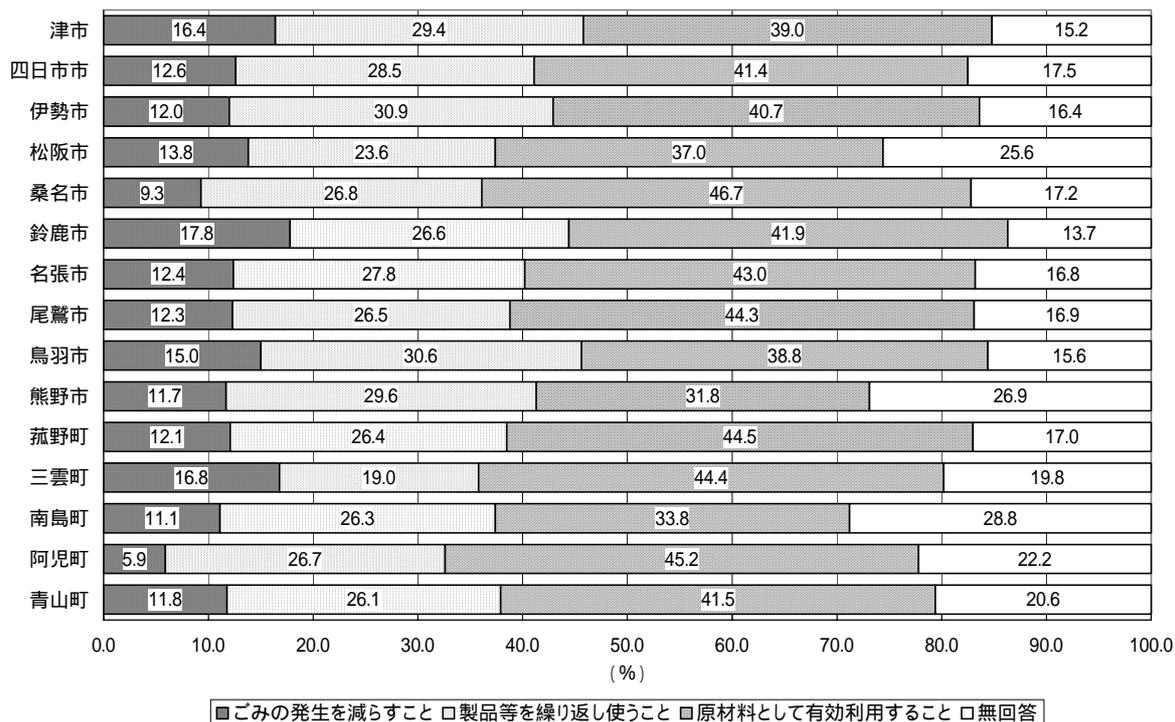
【次に大切だと思う】

図表 I-36 次に大切だと思う取り組み

選択肢	件数	割合(%)
1  ごみの発生を減らすこと	491	12.8
2  製品等を繰り返し使うこと	1036	27.0
3  原材料として有効利用すること	1551	40.4
無回答	757	19.8
全体	3835	100.0



図表 I-37 市町村×次に大切だと思う取り組み

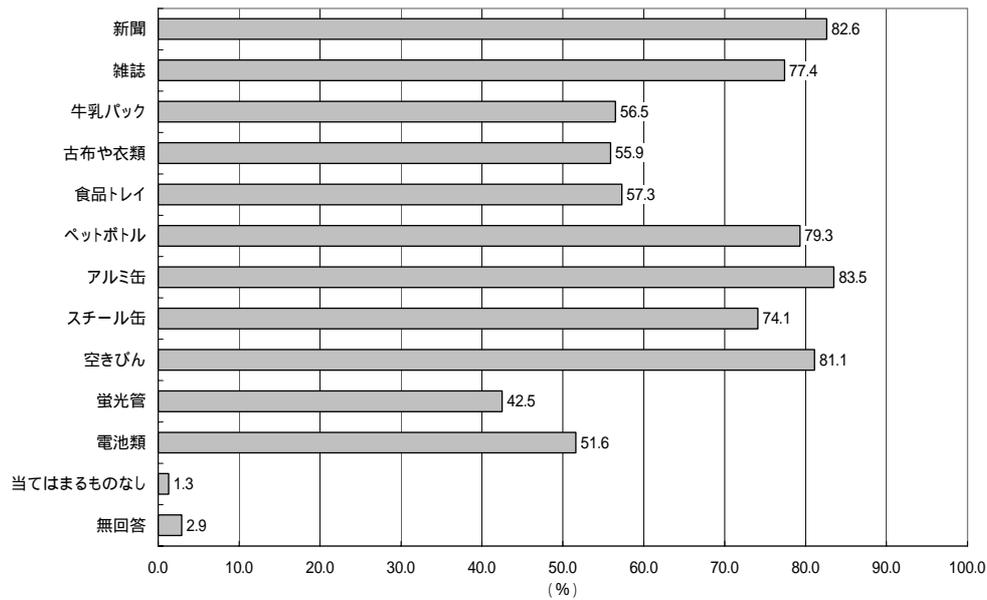


問 8 あなたの家庭では、次のうち、資源ごみとして市町村の収集に出している品目はどれですか？  
（当てはまるものすべてに ）

市町村が行っている資源ごみ収集に出している品目については、「アルミ缶」「新聞」「空きびん」が 8 割以上、「ペットボトル」「雑誌」「スチール缶」も 7 割を超えている。「食品トレイ」「牛乳パック」「古布や衣類」「電池類」は 5 割台に止まっている。

図表 I-38 市町村実施の資源ごみ収集への分別排出品目(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 新聞	3168	82.6
2 雑誌	2967	77.4
3 牛乳パック	2165	56.5
4 古布や衣類	2144	55.9
5 食品トレイ	2197	57.3
6 ペットボトル	3042	79.3
7 アルミ缶	3201	83.5
8 スチール缶	2841	74.1
9 空きびん	3111	81.1
10 蛍光管	1630	42.5
11 電池類	1977	51.6
12 当てはまるものなし	50	1.3
無回答	112	2.9

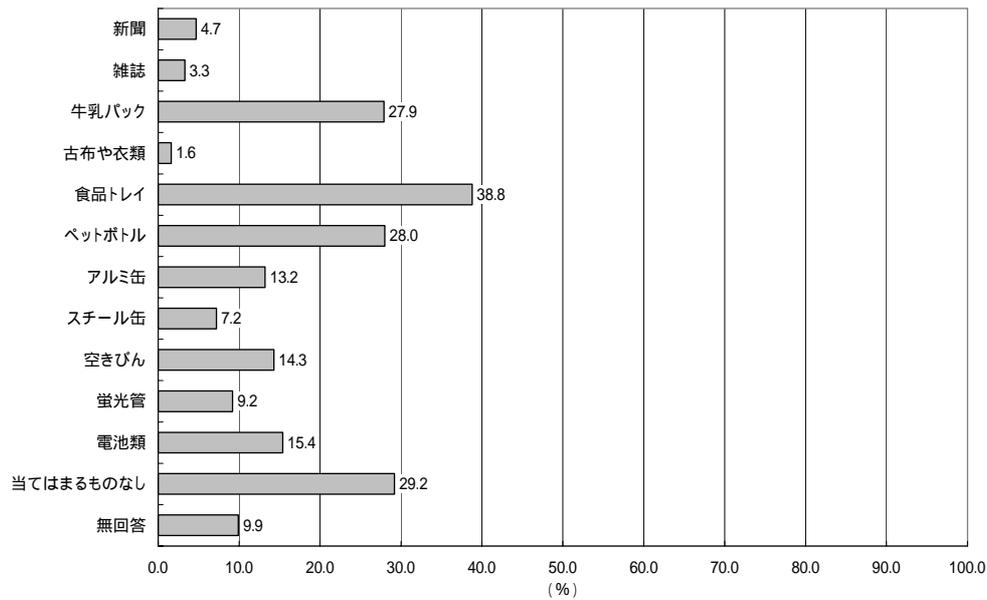


問9 あなたの家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？  
（当てはまるものすべてに ）

小売店等の店頭回収に出している品目については、「食品トレイ」が約 39%と最も高く、「ペットボトル」「牛乳パック」の約 28%が続く。「当てはまるものなし」も約 29%ある。

図表 I-39 店頭回収への分別排出品目（複数回答）

選択肢	件数	割合 (%)
1 新聞	179	4.7
2 雑誌	126	3.3
3 牛乳パック	1070	27.9
4 古布や衣類	60	1.6
5 食品トレイ	1487	38.8
6 ペットボトル	1073	28.0
7 アルミ缶	507	13.2
8 スチール缶	277	7.2
9 空きびん	549	14.3
10 蛍光管	354	9.2
11 電池類	592	15.4
12 当てはまるものなし	1119	29.2
無回答	378	9.9

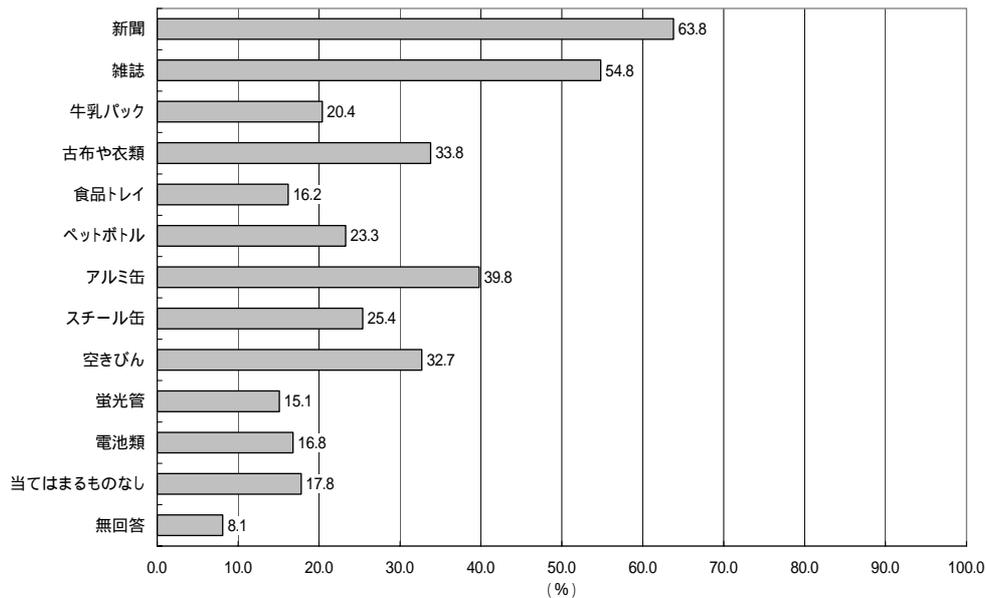


問 10 あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収（集団回収）に出している品目はどれですか？（当てはまるものすべてに ）

地域の廃品回収（集団回収）に出している品目については、「新聞」が約 64%と最も高く、以下、「雑誌」の約 55%、「アルミ缶」の約 40%、「古布や衣類」の約 34%、「空きびん」の約 33%と続く。「蛍光灯」や「乾電池」は 15%程度に止まっている。

図表 I-40 地域の集団回収への分別排出品目（複数回答）

選択肢	件数	割合(%)
1 新聞	2445	63.8
2 雑誌	2102	54.8
3 牛乳パック	783	20.4
4 古布や衣類	1295	33.8
5 食品トレイ	621	16.2
6 ペットボトル	893	23.3
7 アルミ缶	1528	39.8
8 スチール缶	976	25.4
9 空きびん	1255	32.7
10 蛍光灯	579	15.1
11 電池類	644	16.8
12 当てはまるものなし	684	17.8
無回答	312	8.1

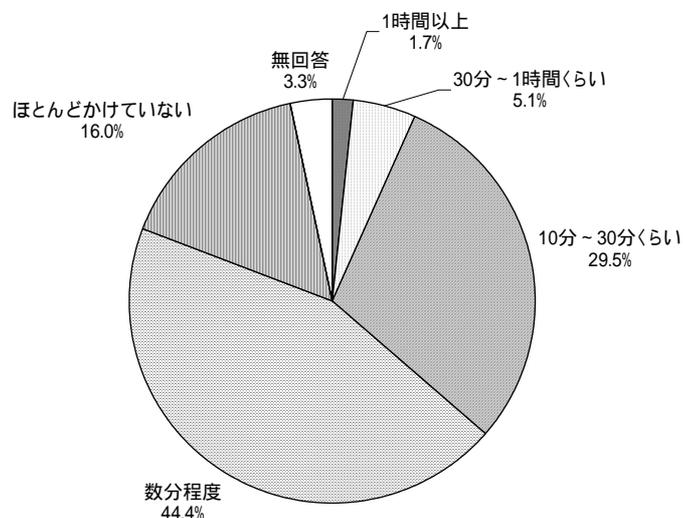


問 11 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？（ は1つ）

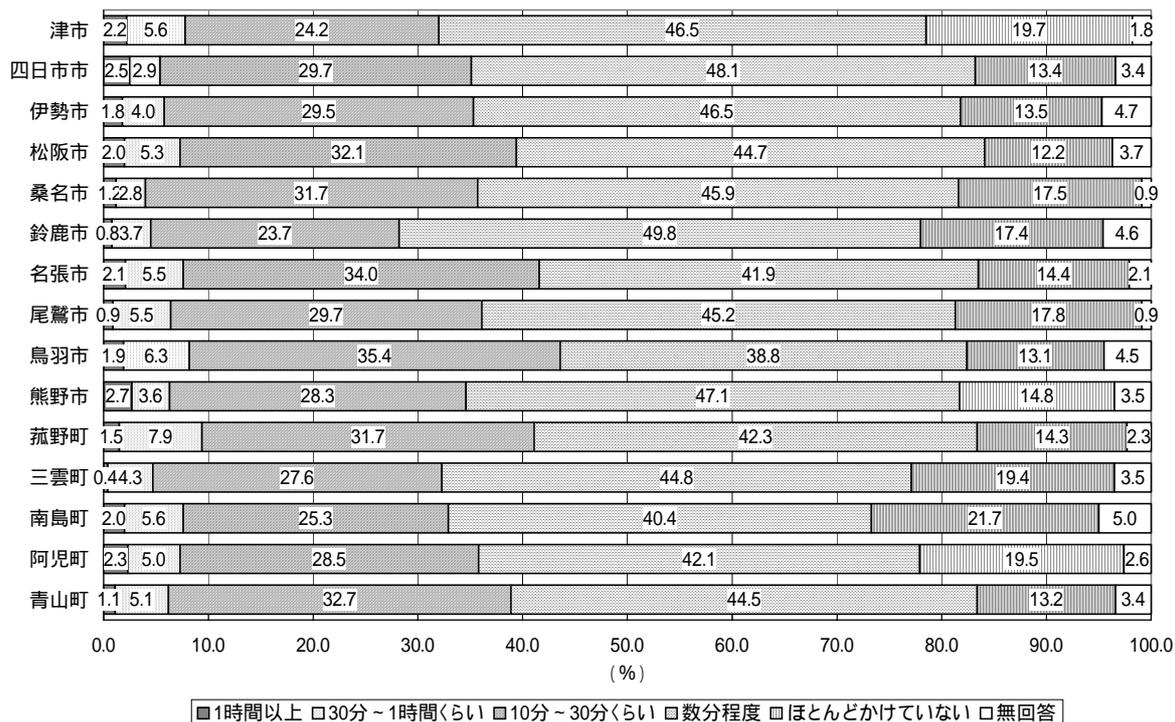
家庭内でごみの分別に要している時間は、「数分程度」が約 44%と最も高く、「ほとんどかけていない」の約 16%を加えると、数分以内で済ませている割合が約 60%を占める。全体にどの市町村も似た傾向を示しているが、分別に「10分以上かけている」割合で比較してみると、鳥羽市、名張市、菰野町で4割を超えている。

図表 I-41 1日あたりの分別作業時間

選択肢	件数	割合 (%)
1 1時間以上	66	1.7
2 30分～1時間くらい	195	5.1
3 10分～30分くらい	1131	29.5
4 数分程度	1704	44.4
5 ほとんどかけていない	615	16.0
無回答	124	3.3
全体	3835	100.0



図表 I-42 市町村×1日あたりの分別作業時間



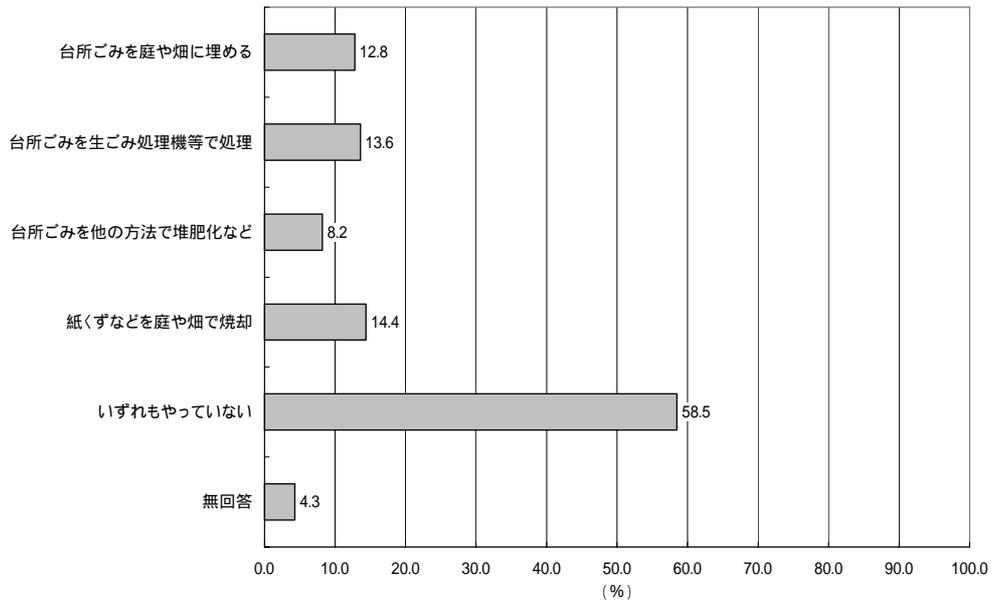
問 12 次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？（当てはまるものすべてに ）

「紙くずなどを庭や畑で焼却」、「台所ごみを生ごみ処理機等で処理」が約 14%、「台所ごみを庭や畑に埋める」は約 13%となっている。「いずれもやっていない」は約 59%と高く、市町村別に見ると、伊勢市、尾鷲市、四日市市、桑名市で 7 割前後に及び一方、阿児町、菰野町、三雲町、熊野市では 3～4 割台と低く、都市部の方が高くなる傾向を示している。

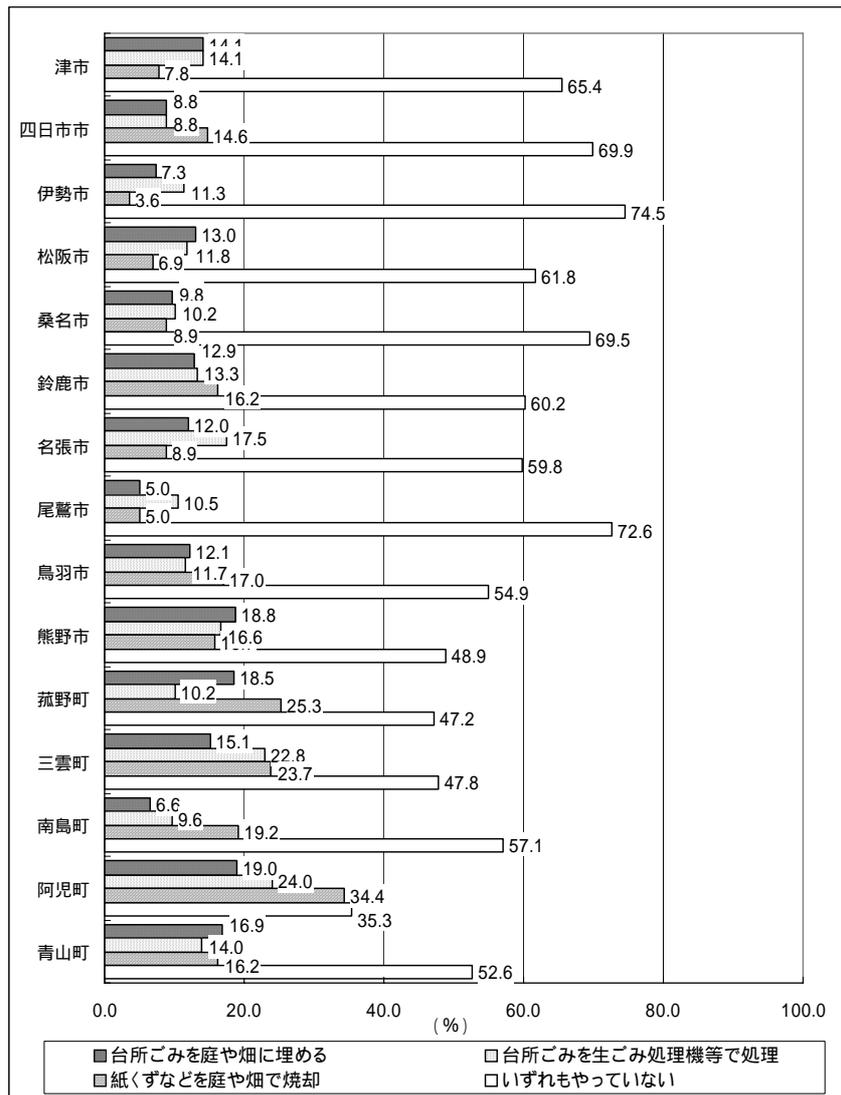
年齢層別には、年齢層が高くなるほど、取り組む割合が増える傾向が見られる。

図表 I-43 家庭で実施しているごみ減量の取り組み(複数回答)

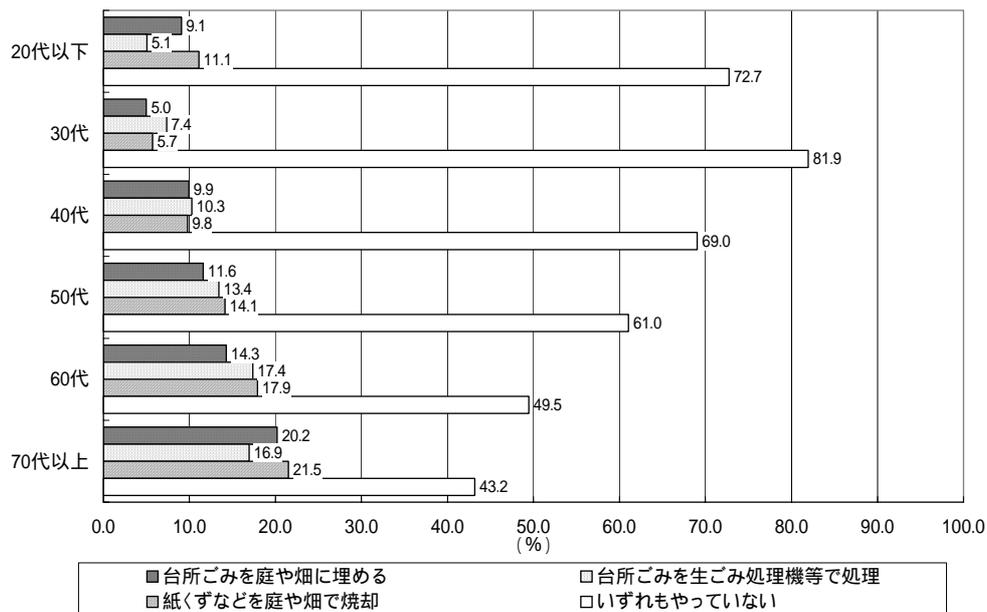
選択肢	件数	割合(%)
1 台所ごみを庭や畑に埋める	491	12.8
2 台所ごみを生ごみ処理機等で処理	520	13.6
3 台所ごみを他の方法で堆肥化など	314	8.2
4 紙くずなどを庭や畑で焼却	551	14.4
5 いずれもやっていない	2244	58.5
無回答	164	4.3



図表 I-44 市町村 × 家庭で実施しているごみ減量の取り組み (一部選択肢のみ) (複数回答)



図表 I-45 年齢×家庭で実施しているごみ減量の取り組み(一部選択肢のみ)(複数回答)



問 13 あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？( は3つまで)

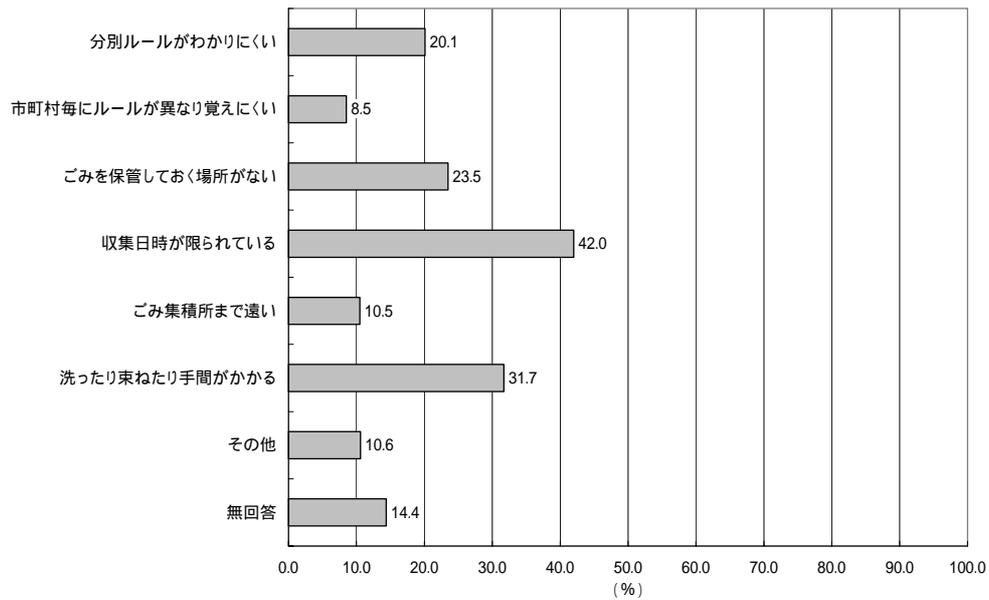
ごみを出すに当たり困ることについては、「収集日時が限られている」が最も高く約 42%を占める。以下、「洗ったり束ねたり手間がかかる」が約 32%、「ごみを保管しておく場所がない」が約 24%と続く。

市町村別に見ると、「収集日時が限られている」は阿児町、三雲町で、「洗ったり束ねたり手間がかかる」は菰野町、鳥羽市で、「ごみを保管しておく場所がない」は桑名市で高くなっている。また、「分別ルールがわかりにくい」は津市、四日市市で高くなっている。

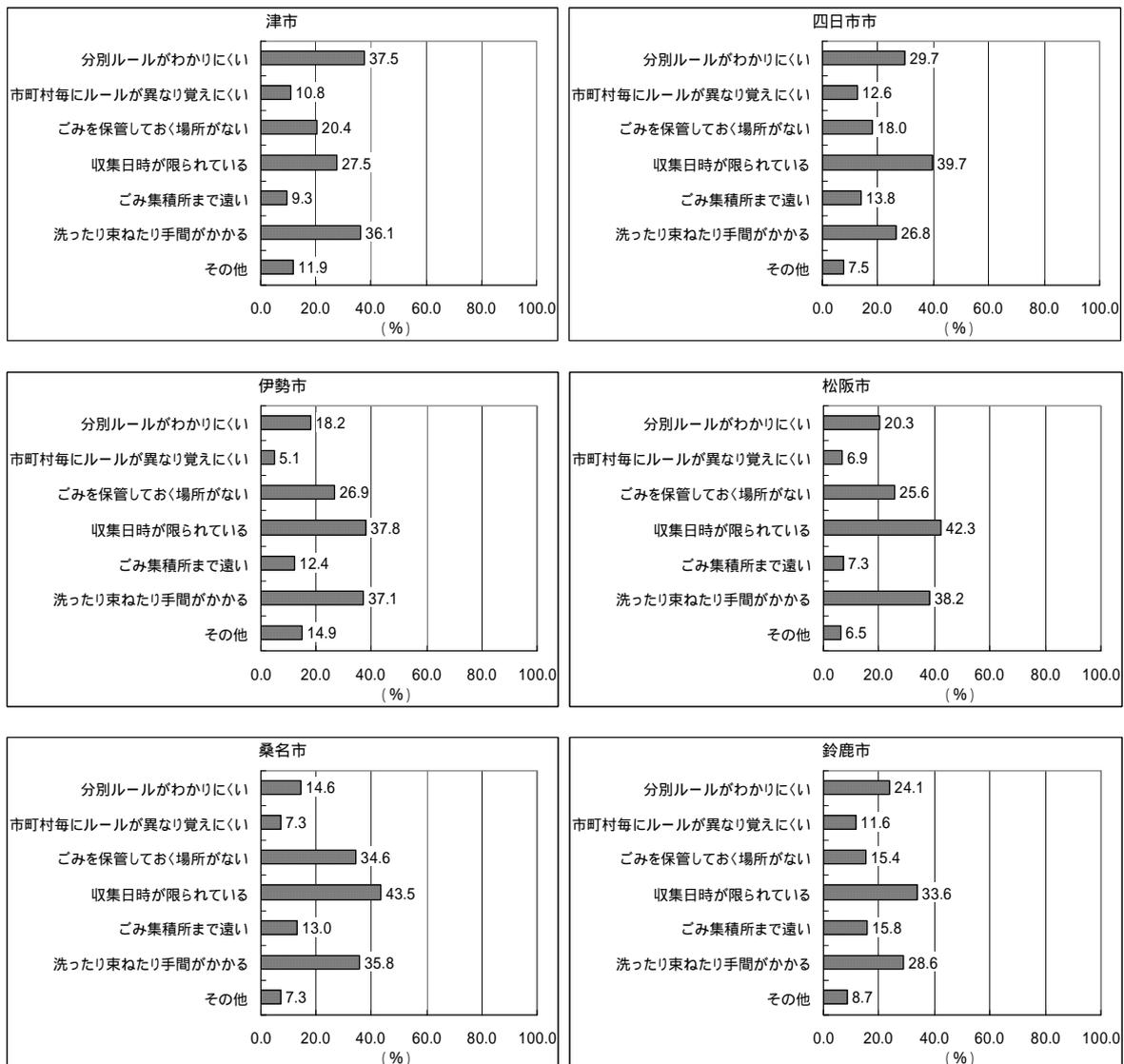
年齢別では、「収集日時が限られている」は 20 代以下を除くすべての年代で 4 割程度を占める。「洗ったり束ねたり手間がかかる」は 40 代、50 代で高く 4 割弱となっている。「ごみを保管しておく場所がない」は年齢層が下がるほど高くなる傾向があり、20 代以下では約 40%となっている。

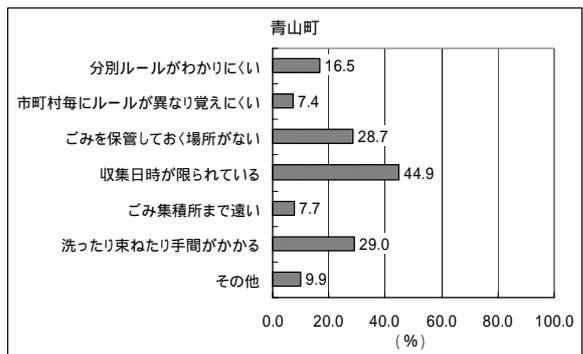
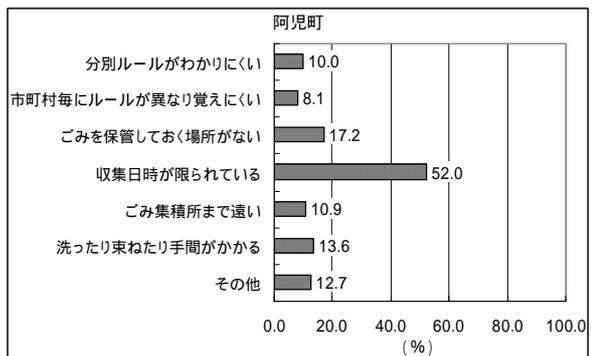
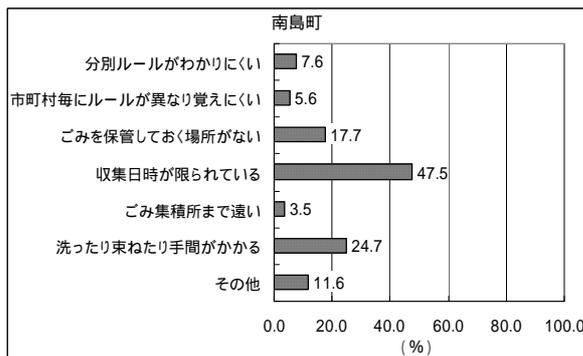
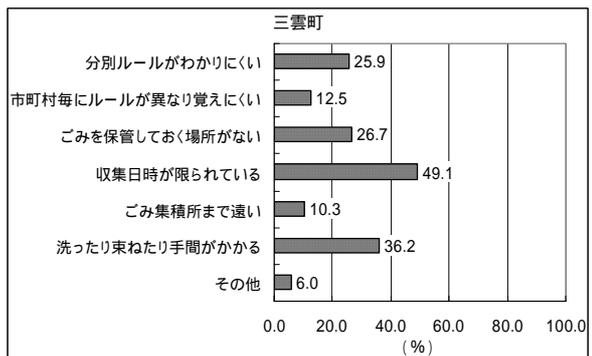
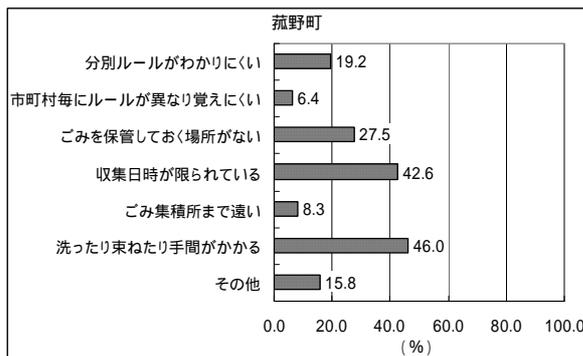
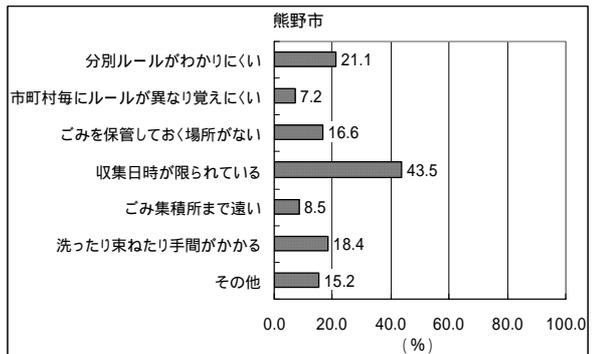
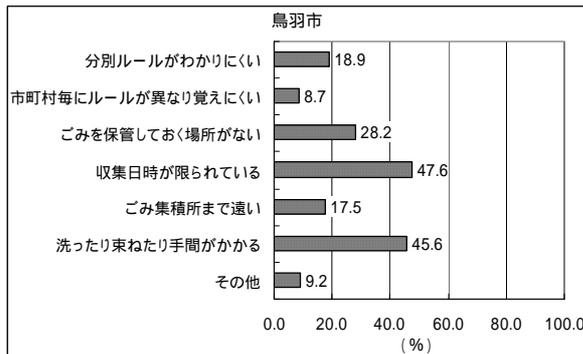
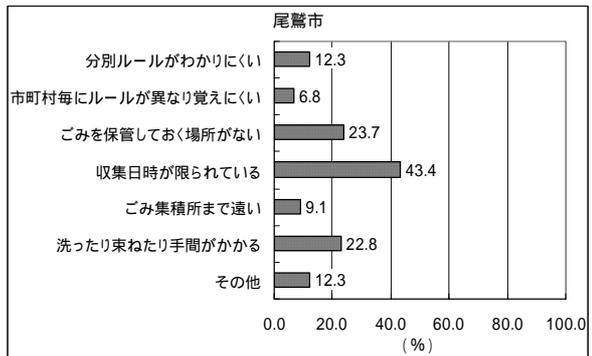
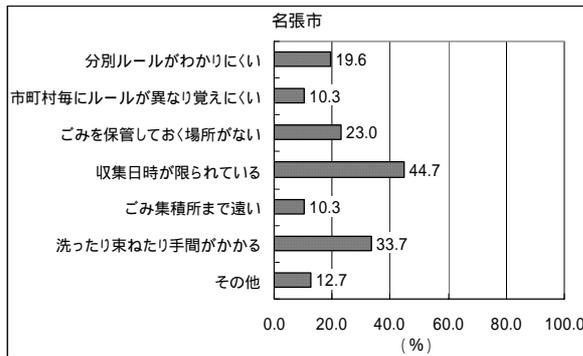
図表 I-46 ごみ出しで困ること(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 分別ルールがわかりにくい	770	20.1
2 市町村毎にルールが異なり覚えにくい	327	8.5
3 ごみを保管しておく場所がない	900	23.5
4 収集日時が限られている	1609	42.0
5 ごみ集積所まで遠い	401	10.5
6 洗ったり束ねたり手間がかかる	1216	31.7
7 その他	408	10.6
無回答	554	14.4

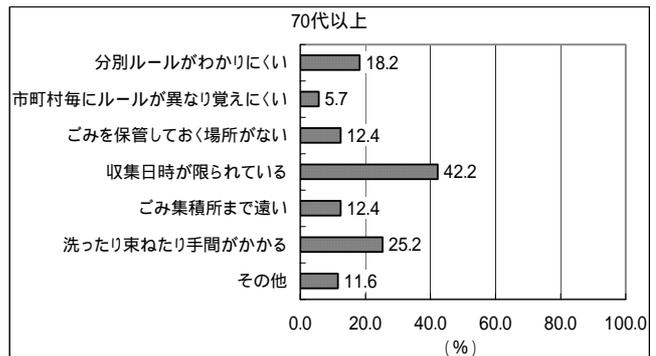
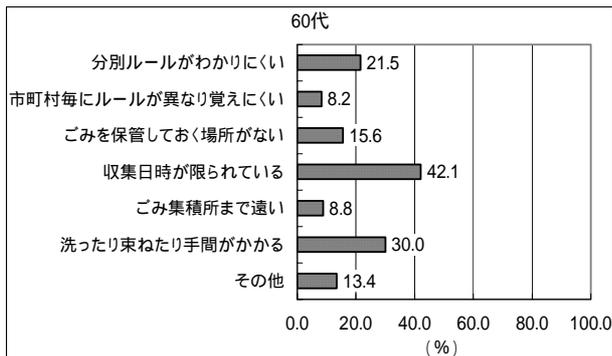
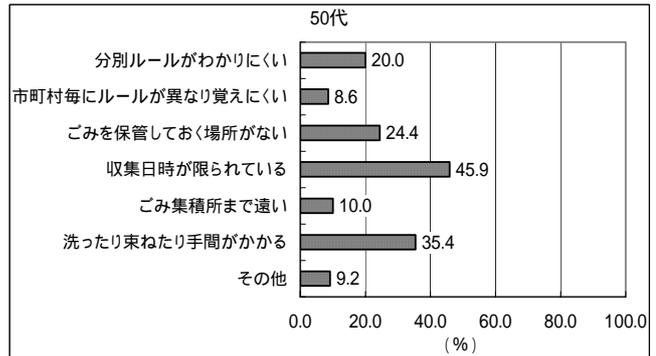
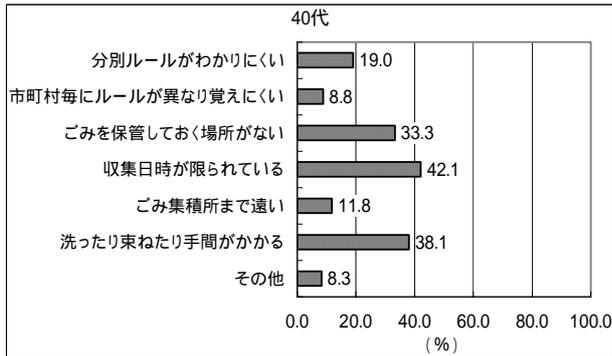
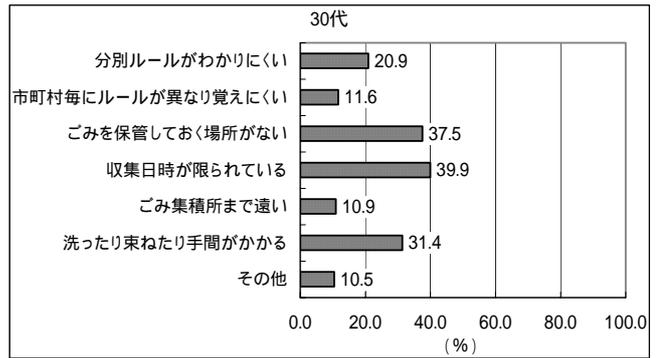
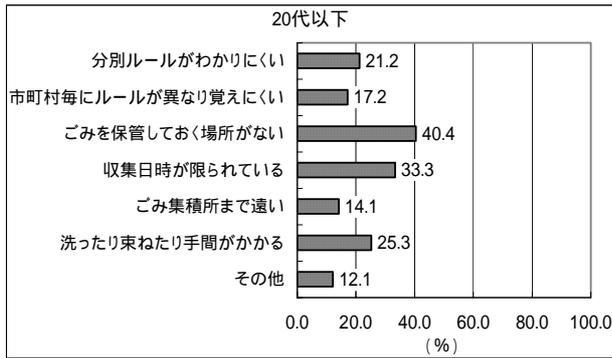


図表 I-47 市町村×ごみ出しで困ること(複数回答)





図表 1-48 年齢×ごみ出しで困ること(複数回答)



(3) 今後の方策に対する意向について

問 14 今後、あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？（ は当てはまるものすべて）

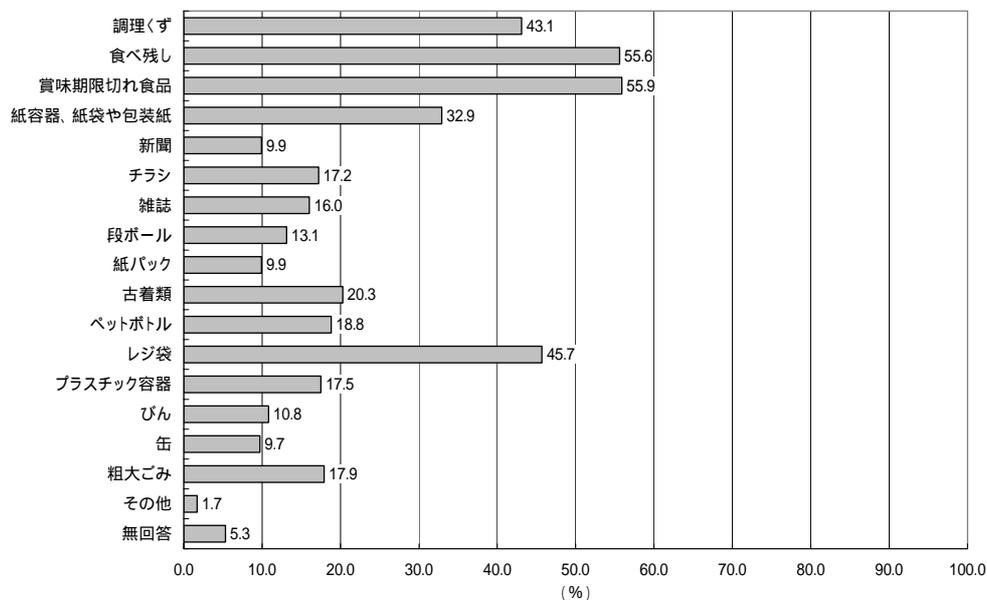
今後、家庭内で減らせると思うごみについては、「食べ残し」や「賞味期限切れ食品」（いずれも約 56%）、「調理くず」（約 43%）といった台所ごみが最も高くなっている。「レジ袋」も約 46%とおおよそ半分以上が「減らせる」と回答している。

台所ごみについて年齢層別に見ると、「調理くず」については差が見られないが、「食べ残し」「賞味期限切れ食品」については年齢層が低いほど「減らせる」とする割合が高くなっている。

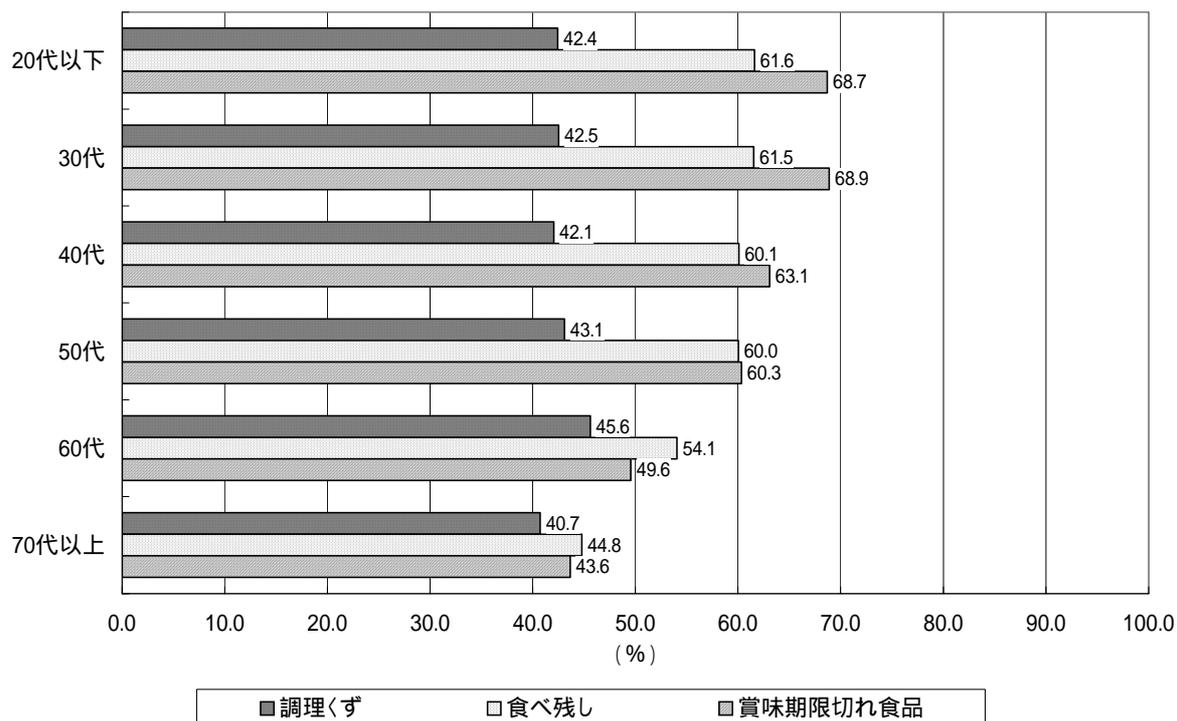
世帯人数別でも「調理くず」では差が見られないが、「食べ残し」「賞味期限切れ食品」については、人数が多くなるほど、わずかではあるが「減らせる」とする割合が増える傾向が見られる。

図表 I-49 暮らしの工夫で減らせるごみ(複数回答)

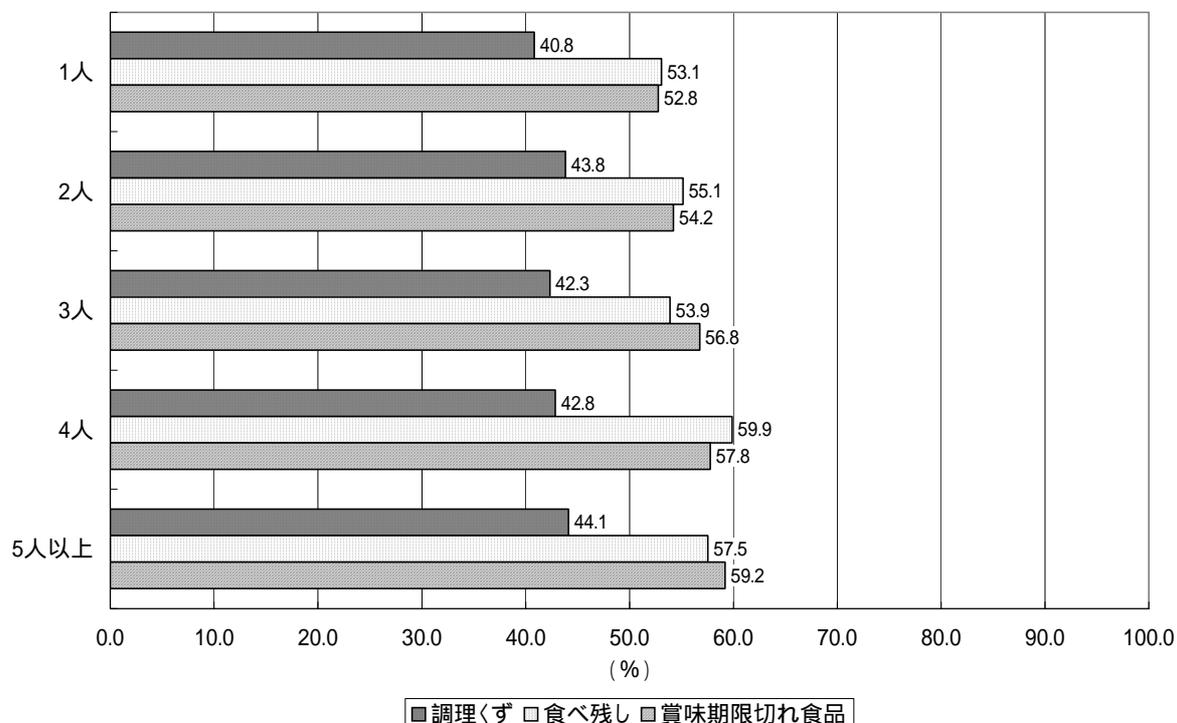
選択肢	件数	割合(%)
1 調理くず	1653	43.1
2 食べ残し	2131	55.6
3 賞味期限切れ食品	2143	55.9
4 紙容器、紙袋や包装紙	1262	32.9
5 新聞	381	9.9
6 チラシ	658	17.2
7 雑誌	613	16.0
8 段ボール	501	13.1
9 紙パック	381	9.9
10 古着類	780	20.3
11 ペットボトル	722	18.8
12 レジ袋	1754	45.7
13 プラスチック容器	671	17.5
14 びん	414	10.8
15 缶	372	9.7
16 粗大ごみ	686	17.9
17 その他	64	1.7
無回答	202	5.3



図表 I-50 年齢×暮らしの工夫で減らせるごみ(一部選択肢のみ)(複数回答)



図表 I-51 世帯人数×暮らしの工夫で減らせるごみ(一部選択肢のみ)(複数回答)

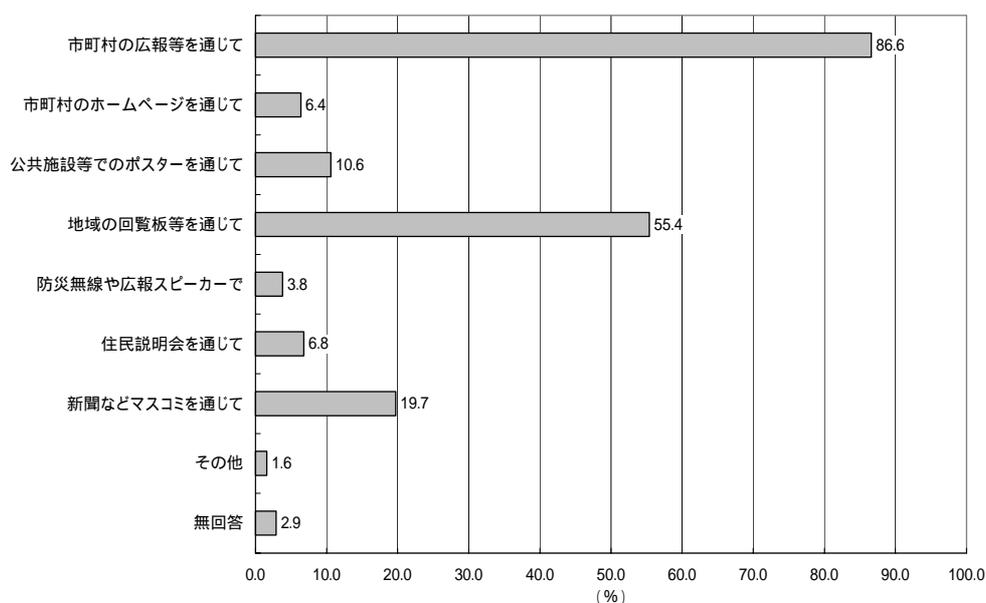


問 15 ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？( は3つまで)

ごみ情報の入手方法については、「市町村の広報等を通じて」が最も高く約87%を占めている。以下、「地域の回覧板等を通じて」が約55%、「新聞などマスコミを通じて」が約20%と続く。

図表 I-52 ごみ関連情報の入手方法(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 市町村の広報等を通じて	3323	86.6
2 市町村のホームページを通じて	247	6.4
3 公共施設等でのポスターを通じて	408	10.6
4 地域の回覧板等を通じて	2123	55.4
5 防災無線や広報スピーカーで	147	3.8
6 住民説明会を通じて	260	6.8
7 新聞などマスコミを通じて	754	19.7
8 その他	60	1.6
無回答	112	2.9



問 16 仮に、いつも買い物をするお店で、「レジ袋は1枚10円です」といわれたとします。次回の買い物から、あなたの行動はどう変わるとおもいますか？( は1つ)

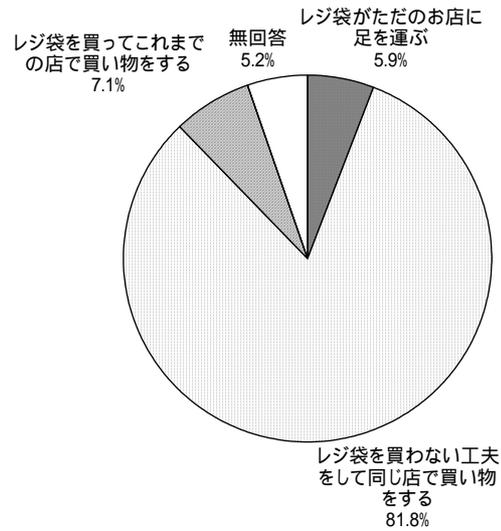
仮にレジ袋が有料となった場合の行動変化については、「レジ袋を買わない工夫をして同じ店で買い物をする」という行動をする割合が最も高く約 82%を占める。「レジ袋を買ってこれまでの店で買い物をする」とする割合は約 7%、「レジ袋がただのお店に足を運ぶ」は約 6%となっている。

市町村別に見ると、「レジ袋を買わない工夫をして同じ店で買い物をする」は、尾鷲市が約 87%と最も高く、最も低い熊野市と 10 ポイントの差が見られる。

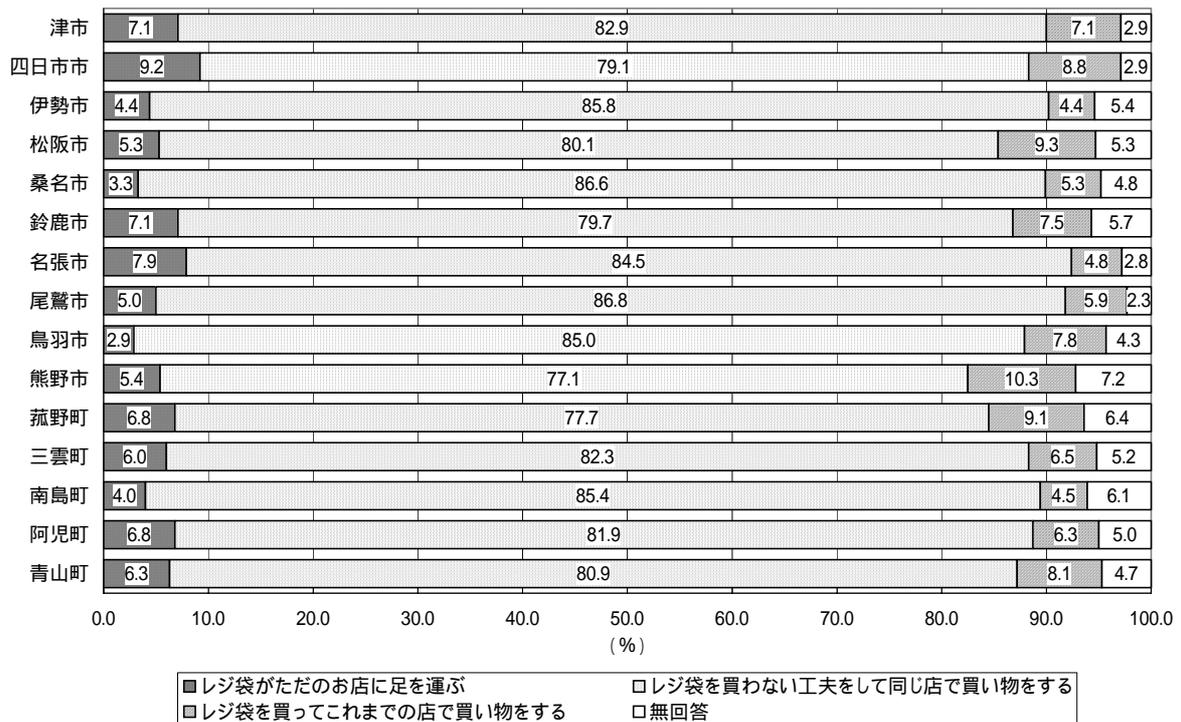
年齢層別では、20 代以下、30 代は「レジ袋がただのお店に足を運ぶ」が若干高くなっている。

図表 I-53 レジ袋有料化による行動変化

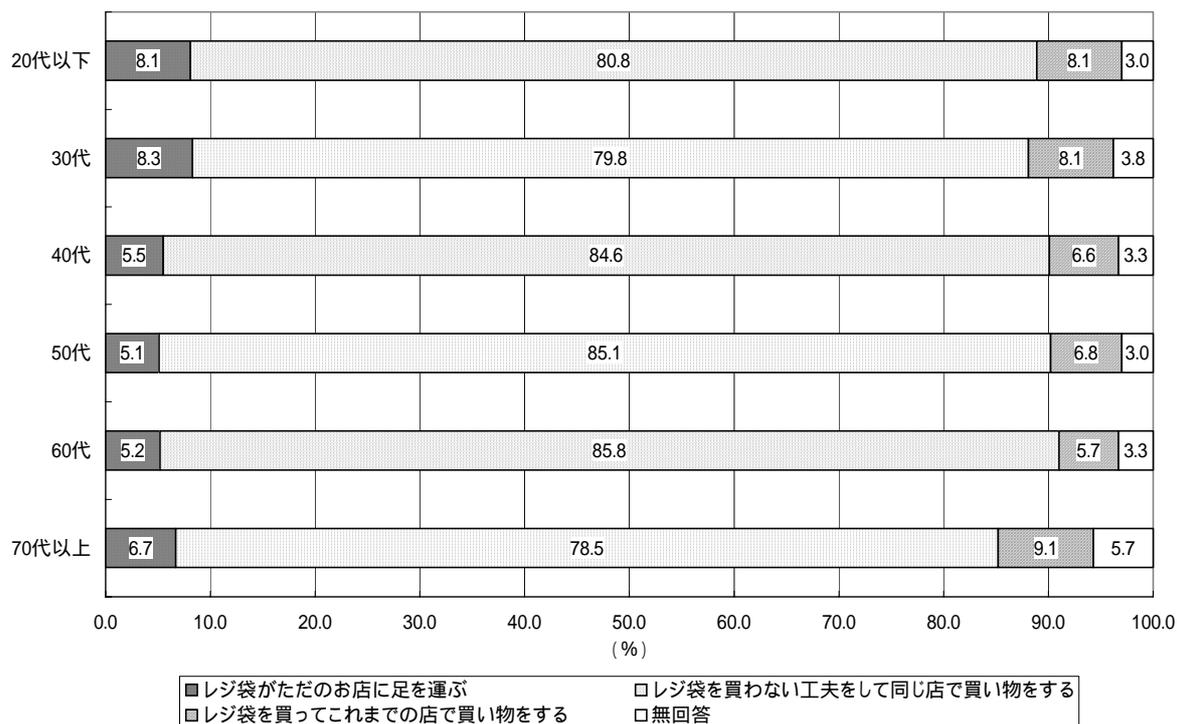
選択肢	件数	割合(%)
1 レジ袋がただのお店に足を運ぶ	227	5.9
2 レジ袋を買わない工夫をして同じ店で買い物をする	3137	81.8
3 レジ袋を買ってこれまでの店で買い物をする	273	7.1
無回答	198	5.2
全体	3835	100.0



図表 I-54 市町村 × レジ袋有料化による行動変化



図表 I-55 年齢×レジ袋有料化による行動変化



ごみの有料化についておたずねします。  
 増え続けるごみを減らすため、ごみ（可燃ごみ）の排出に料金を課す市町村が増えています。

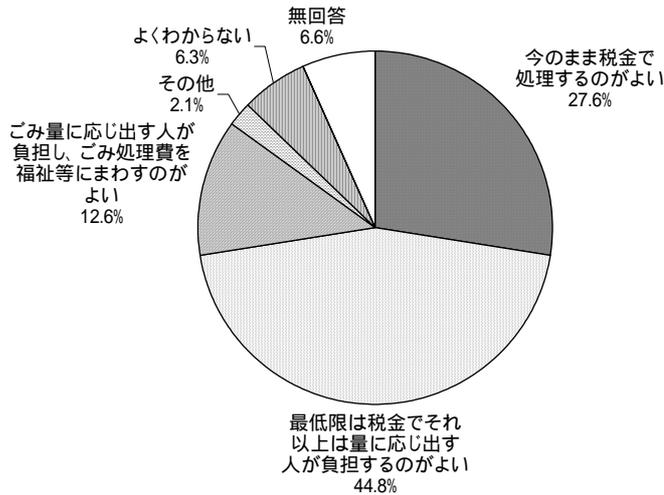
問 17 税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか。（ は1つ）

ごみ処理に対する負担のあり方については、「最低限は税金で、それ以上は量に応じ出す人が負担するのがよい」とする意見が約 45%と最も多く、「今のまま税金で処理するのがよい」の約 28%を大きく上回っている。

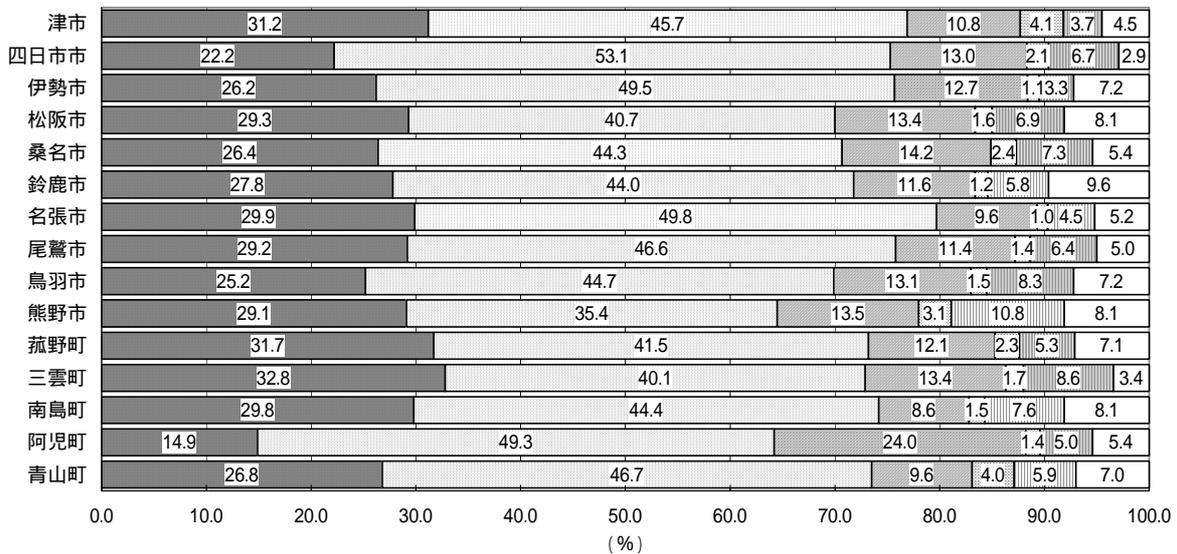
市町村別に見ると、既に有料化している阿児町では、「ごみ量に応じ出す人が負担し、ごみ処理費を福祉等にまわすのがよい」とする意見が約 24%と平均を 11 ポイント上回る一方、「今のまま税金で処理するのがよい」とする意見は約 15%と平均を 13 ポイント下回っており、有料化していない他の 14 市町村と大きな違いを見せている。

図表 I-56 税金によるごみ処理への意見

選択肢	件数	割合(%)
1 今のまま税金で処理するのがよい	1058	27.6
2 最低限は税金でそれ以上は量に応じ出す人が負担するのがよい	1718	44.8
3 ごみ量に応じ出す人が負担し、ごみ処理費を福祉等にまわすのがよい	485	12.6
4 その他	80	2.1
5 よくわからない	241	6.3
無回答	253	6.6
全体	3835	100.0



図表 I-57 市町村 × 税金によるごみ処理への意見



■今のまま税金で処理するのがよい  
 □最低限は税金でそれ以上は量に応じ出す人が負担するのがよい  
 □ごみ量に応じ出す人が負担し、ごみ処理費を福祉等にまわすのがよい  
 □その他  
 □よくわからない  
 □無回答

問 18 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？  
( は 1 つ )

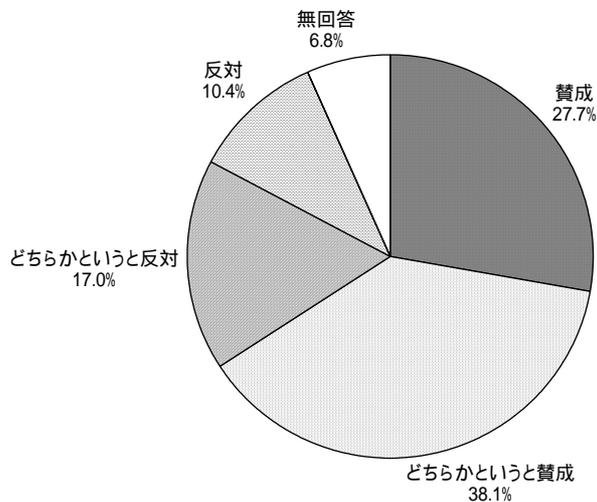
ごみの有料化については、「賛成」と「どちらかという賛成」の合計が約 66%と 2/3 を占め、「反対」と「どちらかという反対」をあわせた約 27%を大きく上回っている。

市町村別では、既に有料化している阿児町で「賛成」が約 48%と約半数を占め、平均を 20 ポイントと大幅に上回っている。阿児町では、「どちらかという賛成」も約 39%を占め、両者をあわせると約 87%と 9 割近くが有料化を肯定的にとらえている。

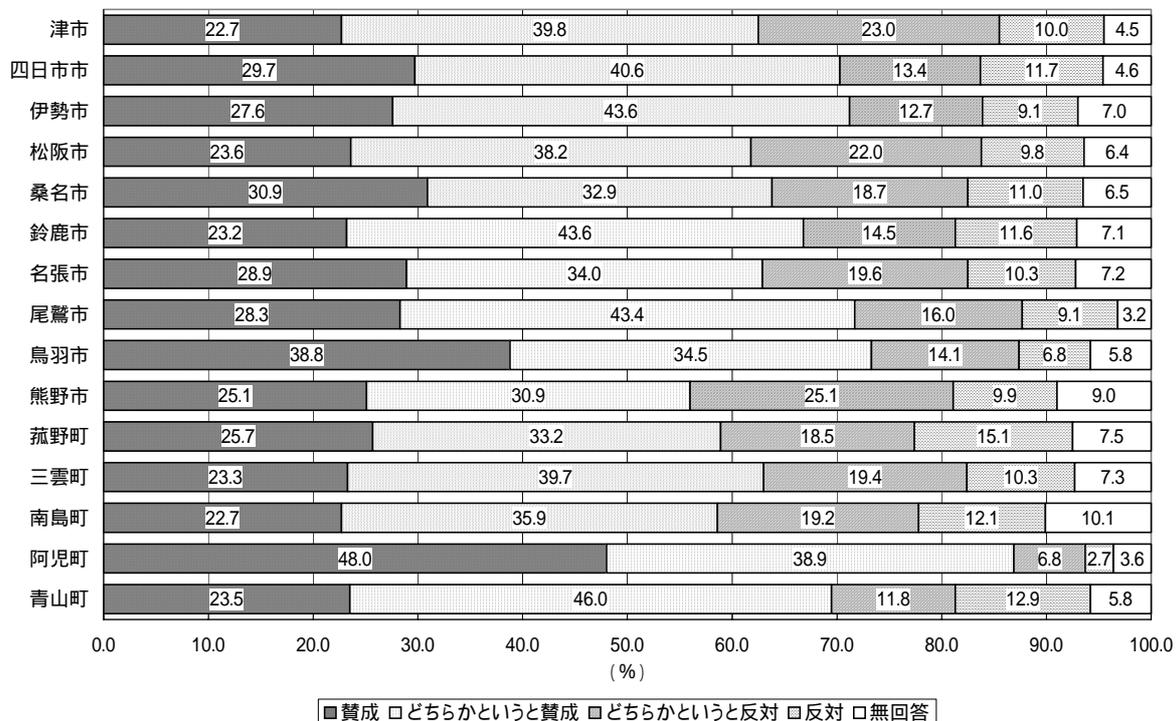
また、阿児町に近い鳥羽市でも「賛成」が約 39%、「どちらかという賛成」が約 35%と、約 74%が有料化に対し、肯定的な考えを示している。

図表 I-58 ごみ有料化に対する賛否

選択肢	件数	割合(%)
1 賛成	1064	27.7
2 どちらかという賛成	1460	38.1
3 どちらかという反対	653	17.0
4 反対	400	10.4
無回答	258	6.8
全体	3835	100.0



図表 I-59 市町村 × ごみ有料化に対する賛否

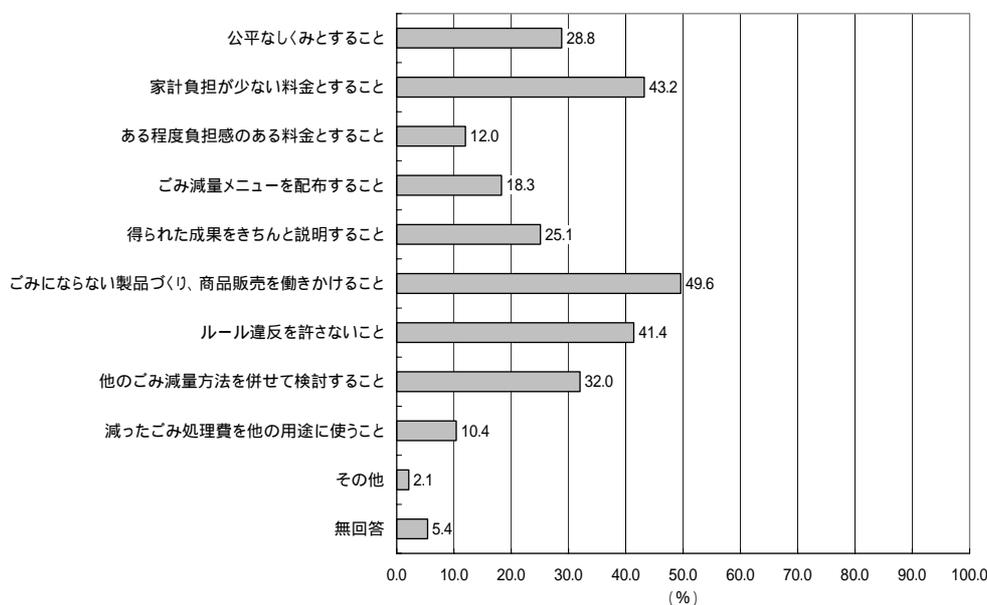


問 19 ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？  
 ( は特に重要と思うこと3つまで)

有料化を検討するうえで重視すべきことについては、「ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」が約 50%と最も高く、以下、「家計負担が少ない料金とすること」(約 43%)、「ルール違反を許さないこと」(約 41%)、「他のごみ減量方法を併せて検討すること」(約 32%)と続く。

図表 I-60 ごみ有料化を検討するうえでの重視事項(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 公平なくみとすること	1104	28.8
2 家計負担が少ない料金とすること	1655	43.2
3 ある程度負担感のある料金とすること	459	12.0
4 ごみ減量メニューを配布すること	702	18.3
5 得られた成果をきちんと説明すること	961	25.1
6 ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	1901	49.6
7 ルール違反を許さないこと	1589	41.4
8 他のごみ減量方法を併せて検討すること	1227	32.0
9 減ったごみ処理費を他の用途に使うこと	399	10.4
10 その他	82	2.1
無回答	206	5.4



ごみ処理を有料化した市町村では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。

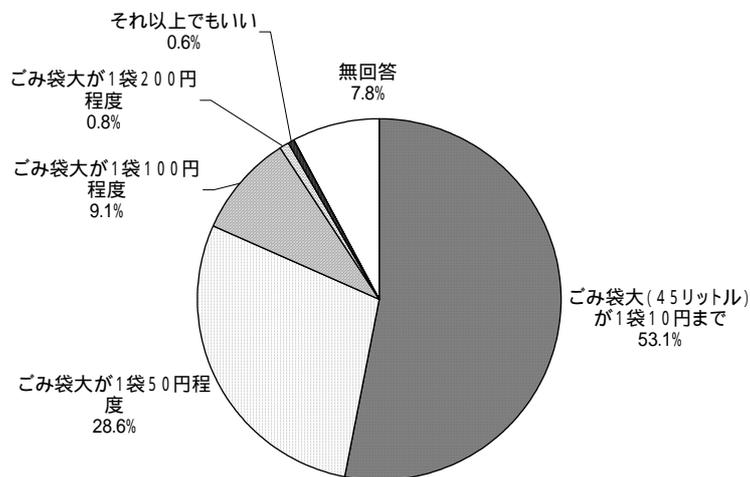
問 20 有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？ ( は1つ)

料金の許容範囲については、「ごみ袋大(45リットル)が1袋10円まで」が最も高く約 53%を占め、全体の約 82%が 50円程度までと回答している。

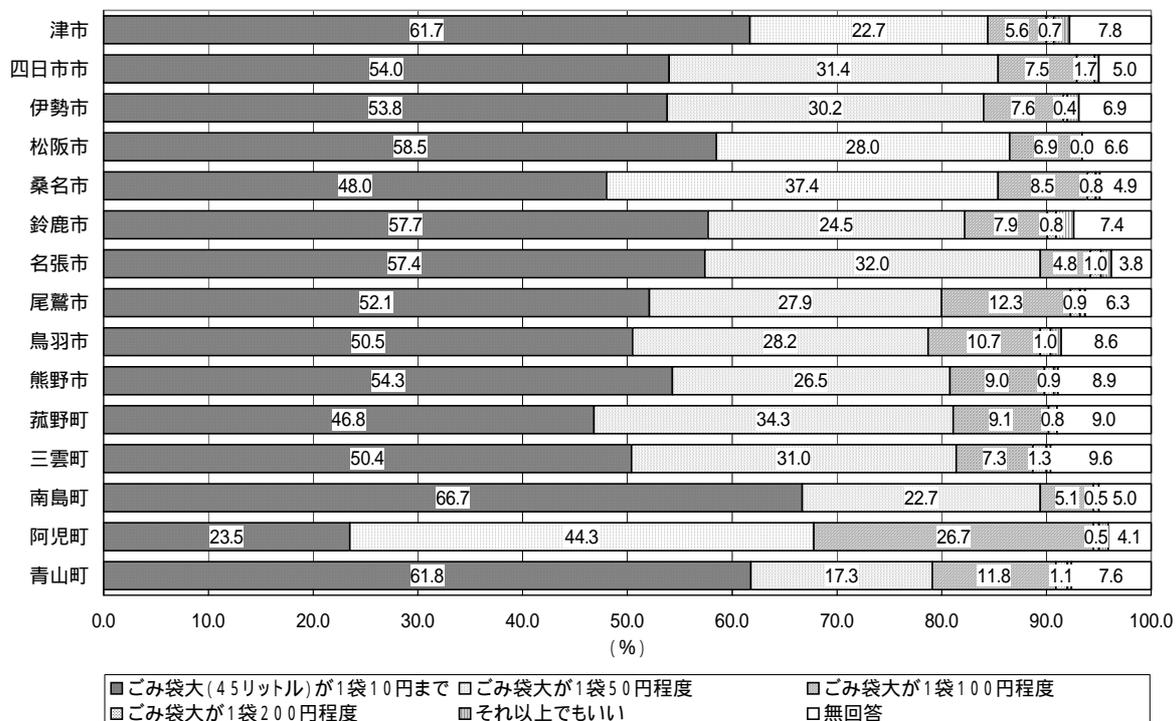
市町村別では、有料化している阿児町において他の市町村と異なる傾向が見られ、「ごみ袋大が1袋50円程度」が約 44%と平均を15ポイント上回り、「ごみ袋大が1袋100円程度」も約 27%と平均を18ポイント上回っている。一方、「ごみ袋大(45リットル)が1袋10円まで」は約 24%と平均を29ポイント下回る結果となっている。

図表 I-61 ごみ有料化での受け入れ可能金額

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみ袋大(45リットル)が1袋10円まで	2038	53.1
2 ごみ袋大が1袋50円程度	1097	28.6
3 ごみ袋大が1袋100円程度	349	9.1
4 ごみ袋大が1袋200円程度	32	0.8
5 それ以上でもいい	24	0.6
無回答	295	7.8
全体	3835	100.0



図表 I-62 市町村×ごみ有料化での受け入れ可能金額

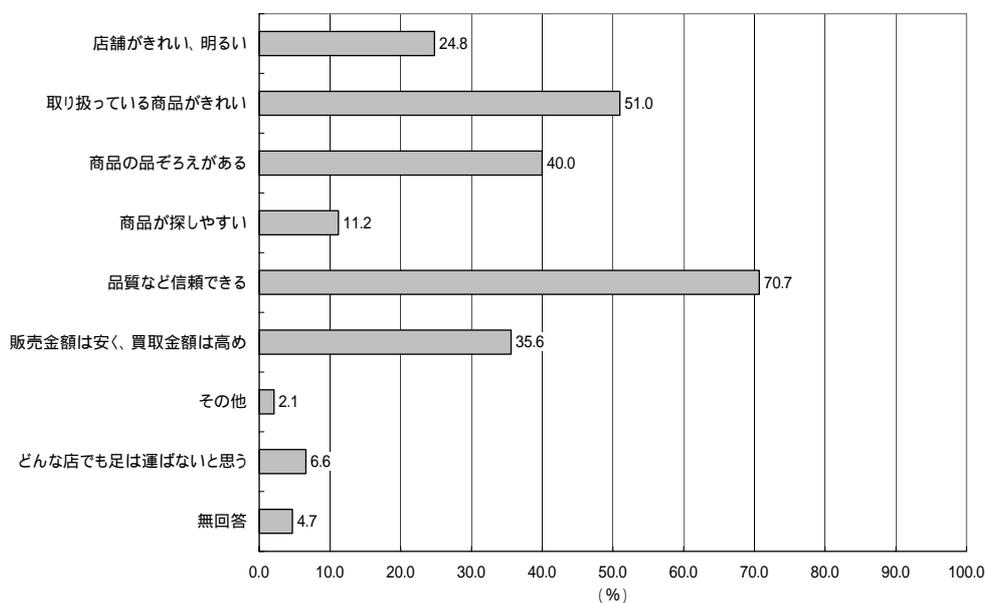


問 21 あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店(リサイクルショップ)ができたとします。この店がどんな店だったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？(は3つまで)

リサイクルショップの条件としては、「品質など信頼できる」が約 71%と最も高く、次いで「取り扱っている商品がきれい」が約 51%、「商品の品ぞろえがある」が約 40%となっている。

図表 I-63 利用したいリサイクルショップの条件(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 店舗がきれい、明るい	950	24.8
2 取り扱っている商品がきれい	1954	51.0
3 商品の品ぞろえがある	1533	40.0
4 商品が探しやすい	430	11.2
5 品質など信頼できる	2713	70.7
6 販売金額は安く、買取金額は高め	1366	35.6
7 その他	80	2.1
8 どんな店でも足は運ばないと思う	253	6.6
無回答	180	4.7

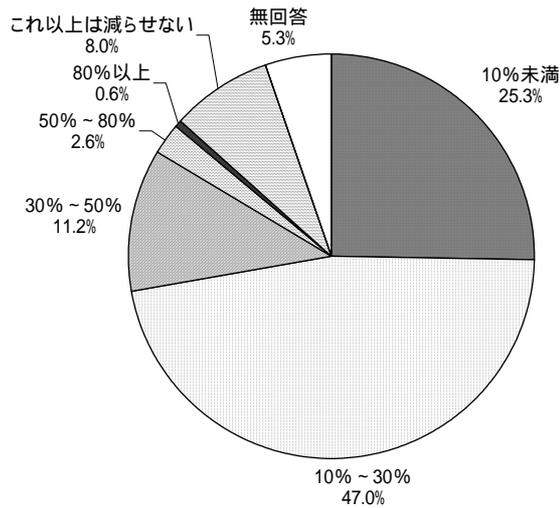


問 22 あなたのご家庭から出る可燃ごみに限って言えば、努力によりどれだけ減らせるとお考えですか？(は1つ)

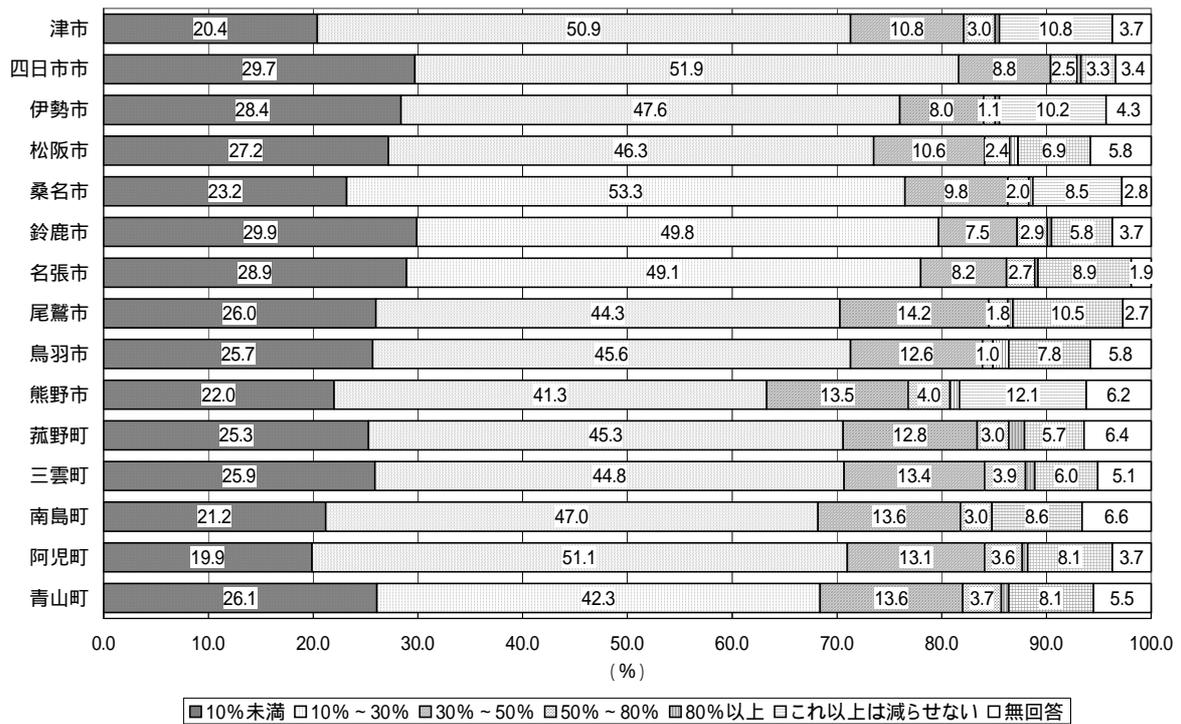
可燃ごみについて、どの程度減らせるかについては、「10%~30%」が最も高く約 47%、以下、「10%未満」が約 25%、「これ以上は減らせない」が約 8%と、30%以下で約 80%を占めている。

図表 I-64 可燃ごみの減量可能度合い

選択肢	件数	割合(%)
1 10%未満	969	25.3
2 10%~30%	1802	47.0
3 30%~50%	430	11.2
4 50%~80%	99	2.6
5 80%以上	24	0.6
6 これ以上は減らせない	306	8.0
無回答	205	5.3
全体	3835	100.0



図表 I-65 市町村 × 可燃ごみの減量可能度合い



(4) 「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加について

県では現在、暮らしや事業活動のあり方を見直し、ごみの出ない、また出されたごみはできるだけ資源として利用される「ごみゼロ社会」を目指して、「ごみゼロ社会実現プラン」を作っています。

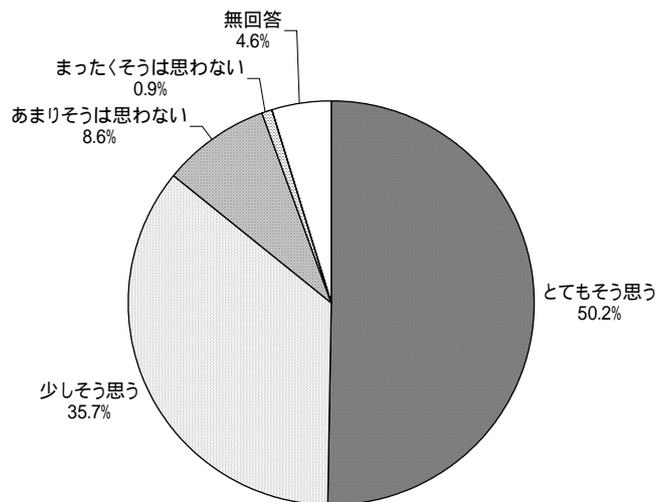
問 23 「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加について、あなたの意見をお聞きます。( は 1 つずつ)

(1) プラン作りには、できるだけ多くの県民が参加することが必要だと思いますか？

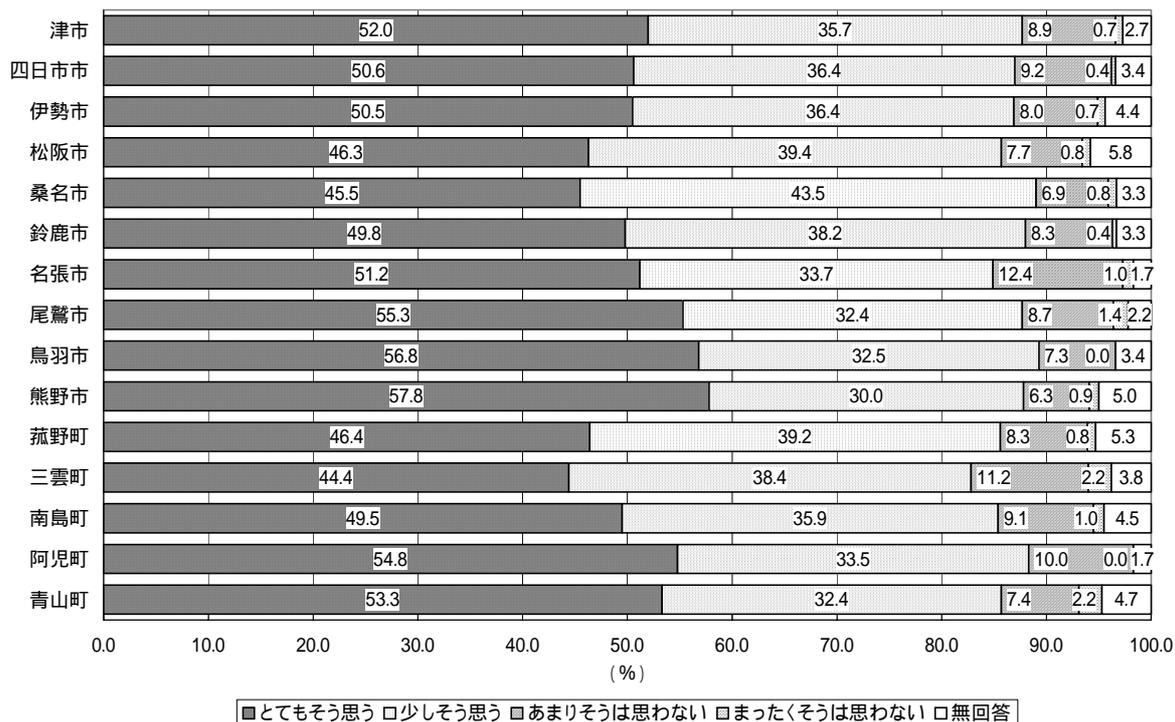
「そう思う」とする意見が約 86%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は熊野市、鳥羽市、尾鷲市、阿児町で高く、三雲町、桑名市、松阪市、菰野町で低くなっている。

図表 I-66 プラン作りへの県民参加の必要性

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1925	50.2
2 少しそう思う	1369	35.7
3 あまりそうは思わない	329	8.6
4 まったくそうは思わない	35	0.9
無回答	177	4.6
全体	3835	100.0



図表 I-67 市町村 × プラン作りへの県民参加の必要性

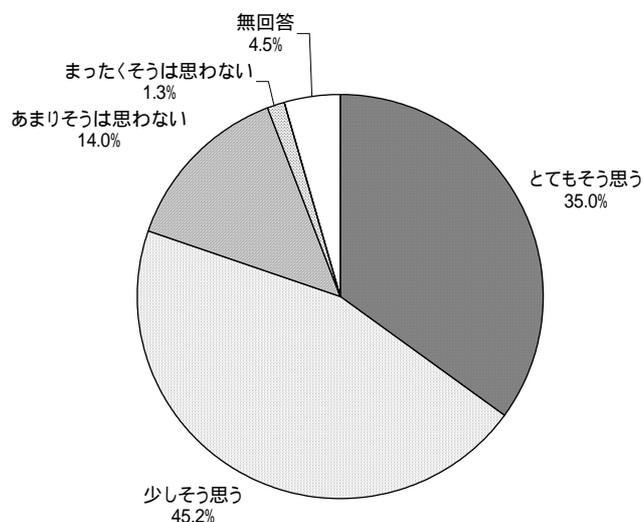


(2) プラン作りに県民が参加すれば、県民の要望や意見を反映できると思いますか？

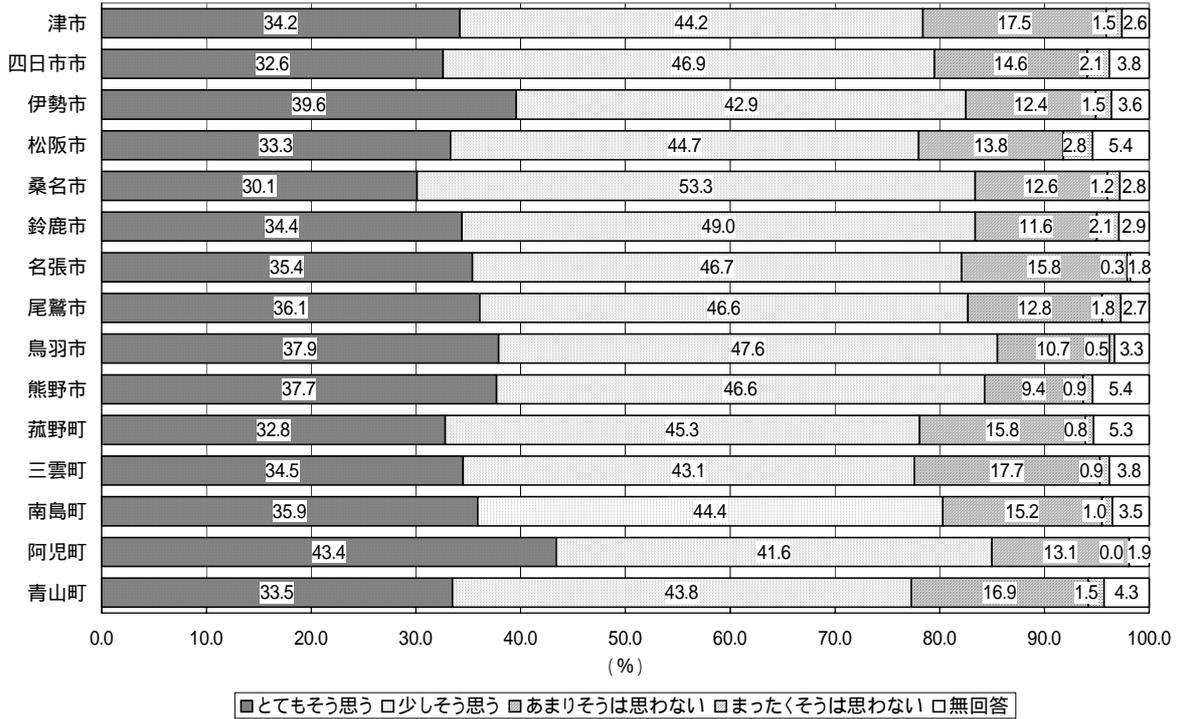
「そう思う」とする意見が約 80%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は阿児町、伊勢市で高く、阿児町では約 43%となっている。

図表 I-68 県民参加のプラン作りでの県民意見の反映

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1342	35.0
2 少しそう思う	1734	45.2
3 あまりそうは思わない	535	14.0
4 まったくそうは思わない	50	1.3
無回答	174	4.5
全体	3835	100.0



図表 I-69 市町村 × 県民参加のプラン作りでの県民意見の反映

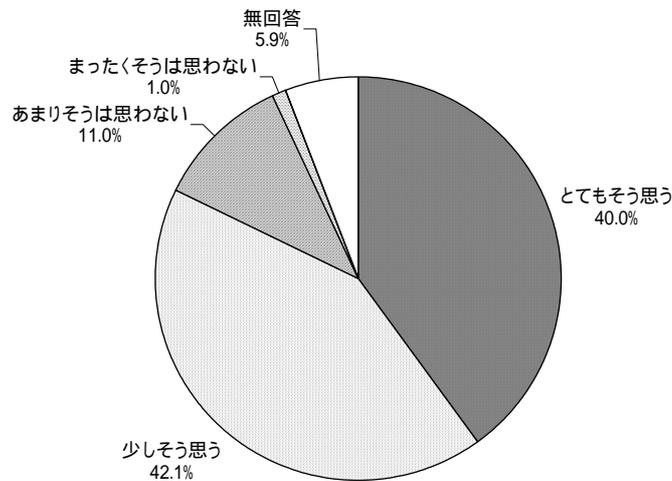


(3) プラン作りに県民が参加したほうが、ごみ減量に県民の協力が得られやすいと思いますか？

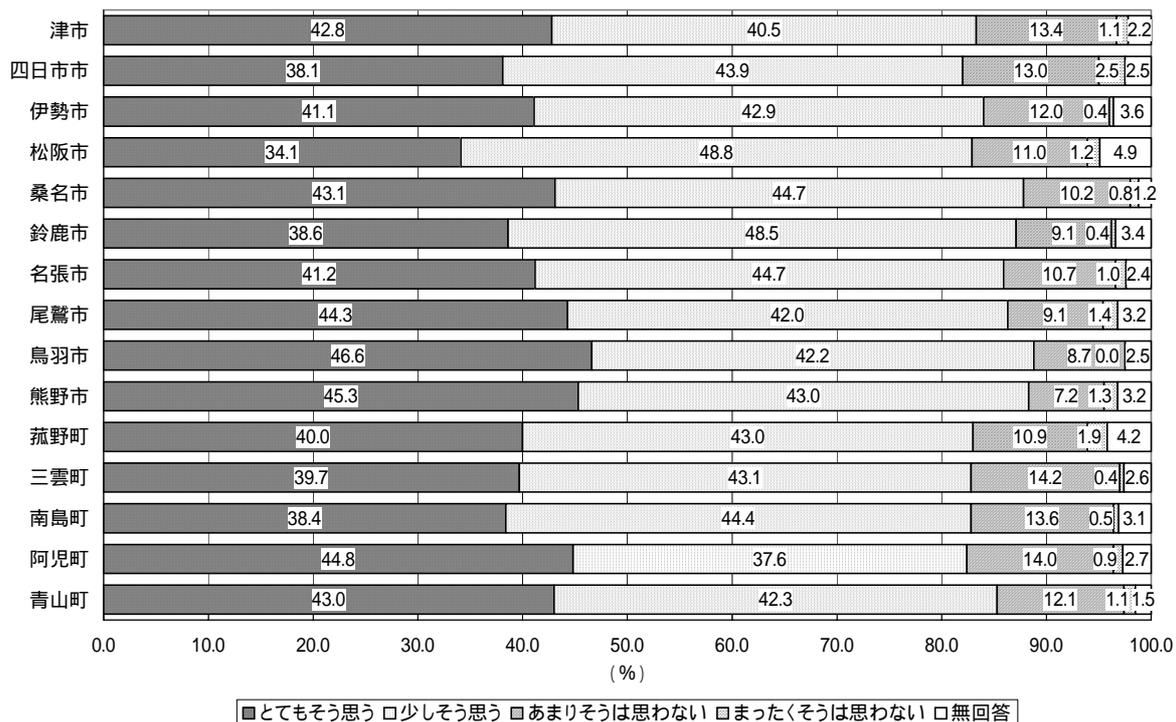
「そう思う」とする意見が約 82%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は鳥羽市、熊野市、阿児町、尾鷲市で高く、鳥羽市では約 47%となっている。

図表 I-70 県民参加のプラン作りによる協力の得られやすさ

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1534	40.0
2 少しそう思う	1613	42.1
3 あまりそうは思わない	420	11.0
4 まったくそうは思わない	40	1.0
無回答	228	5.9
全体	3835	100.0



図表 1-71 市町村 × 県民参加のプラン作りによる協力の得られやすさ

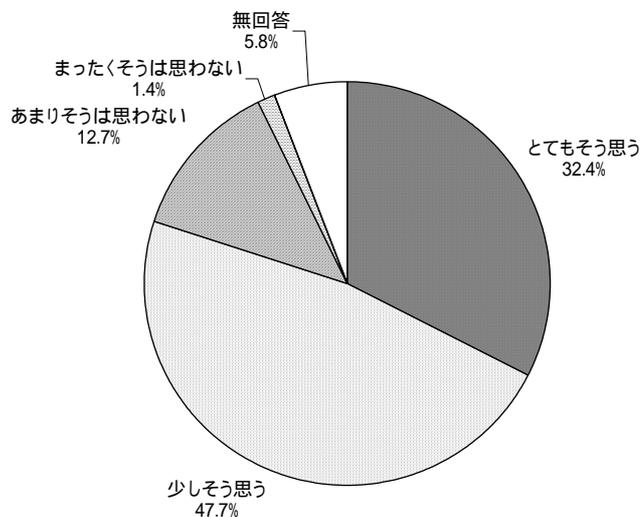


(4) プラン作りに県民が参加すれば、実行しやすいごみ減量のルールが作れると思いますか？

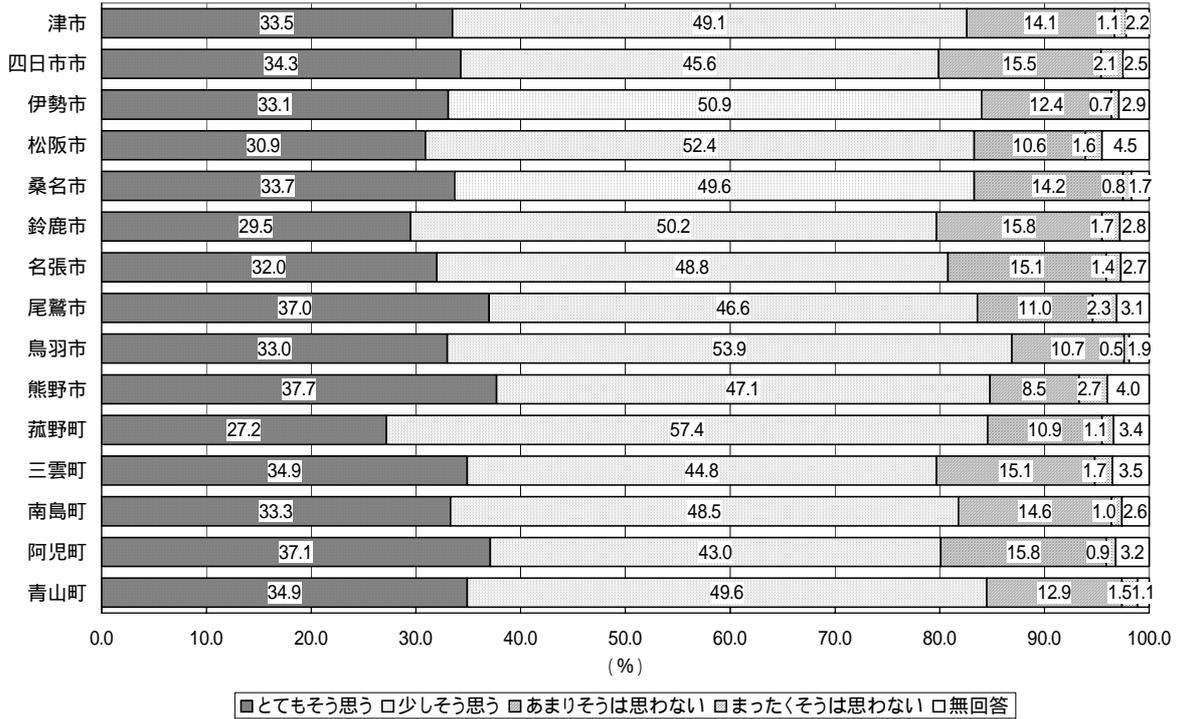
「そう思う」とする意見が約 80%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は熊野市、阿児町、尾鷲市で高く、熊野市では約 38%となっている。

図表 1-72 県民参加のプラン作りによる実行しやすいルール作り

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1242	32.4
2 少しそう思う	1828	47.7
3 あまりそうは思わない	486	12.7
4 まったくそうは思わない	53	1.4
無回答	226	5.8
全体	3835	100.0



図表 1-73 市町村×県民参加のプラン作りによる実行しやすいルール作り

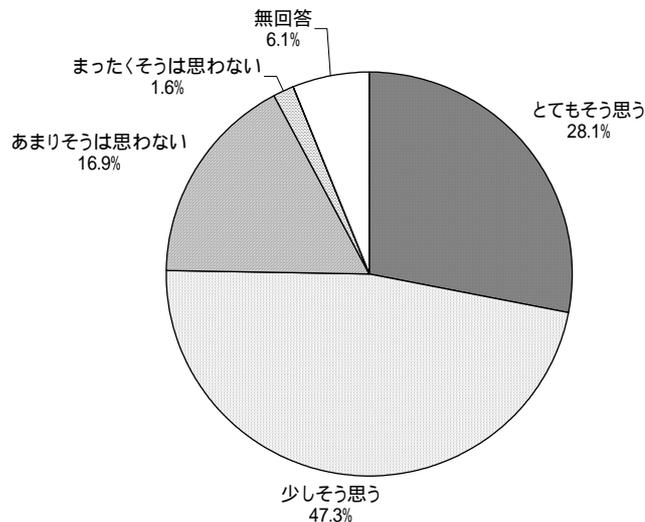


(5) プラン作りに県民が参加すれば、みんなが納得できるごみ減量のルールが作れると思いますか？

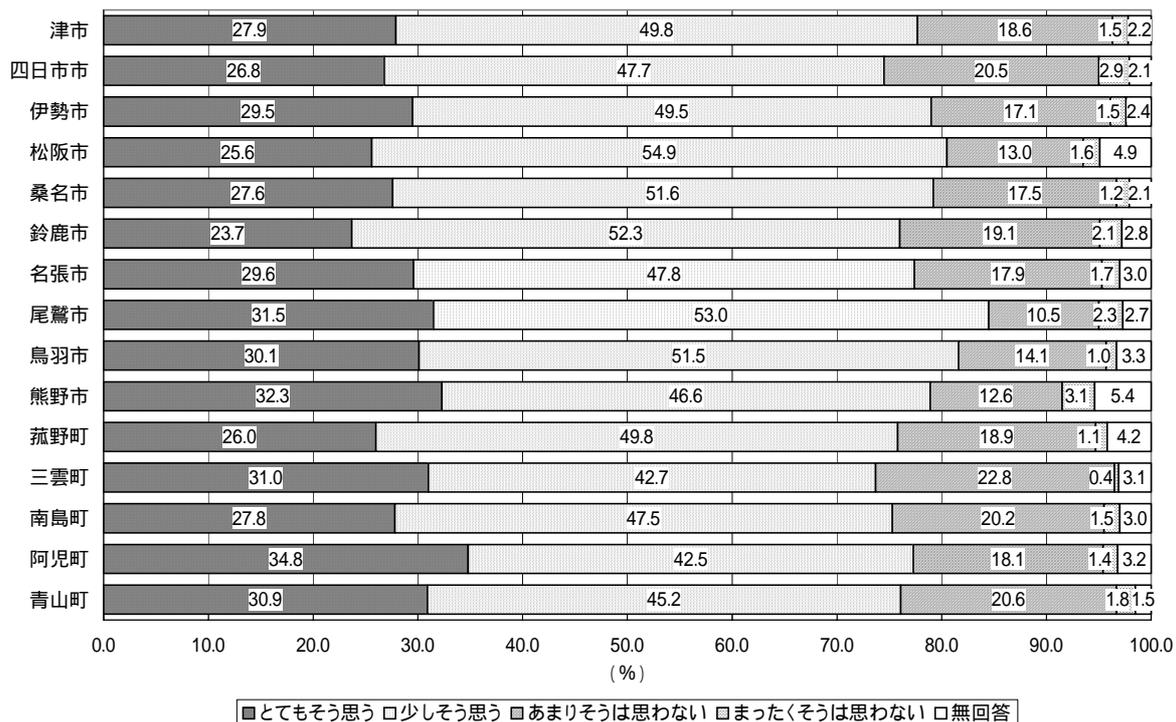
「そう思う」とする意見が約 75%を占めている。「とてもそう思う」とする割合は阿児町で高く、約 35%となっている。

図表 1-74 県民参加のプラン作りによる納得できるルール作り

選択肢	件数	割合(%)
1 とてもそう思う	1076	28.1
2 少しそう思う	1814	47.3
3 あまりそうは思わない	647	16.9
4 まったくそうは思わない	63	1.6
無回答	235	6.1
全体	3835	100.0



図表 1-75 市町村 × 県民参加のプラン作りによる納得できるルール作り

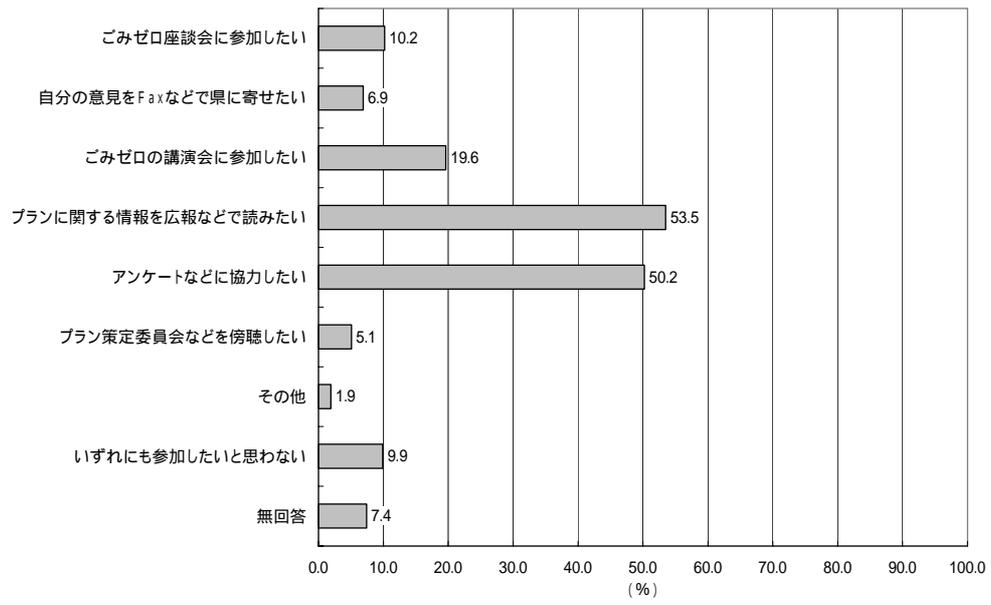


問 24 あなたご自身は「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参加の催しに参加したいと思いませんか？（ は当てはまるものすべて）

「プランに関する情報を広報などで読みたい」が約 54%、「アンケートなどに協力したい」が約 50%と高く、「いずれにも参加したいと思わない」は約 10%となっている。

図表 1-76 県民参加の催しへの参加意向(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみゼロ座談会に参加したい	392	10.2
2 自分の意見をFaxなどで県に寄せたい	265	6.9
3 ごみゼロの講演会に参加したい	750	19.6
4 プランに関する情報を広報などで読みたい	2051	53.5
5 アンケートなどに協力したい	1926	50.2
6 プラン策定委員会などを傍聴したい	197	5.1
7 その他	74	1.9
8 いずれにも参加したいと思わない	381	9.9
無回答	282	7.4



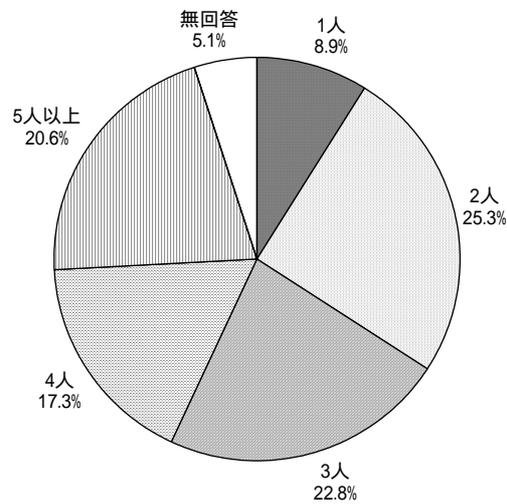
(5) 回答者や世帯について

問 25 いっしょに住んでいる家族の人数は？（ は1つ）

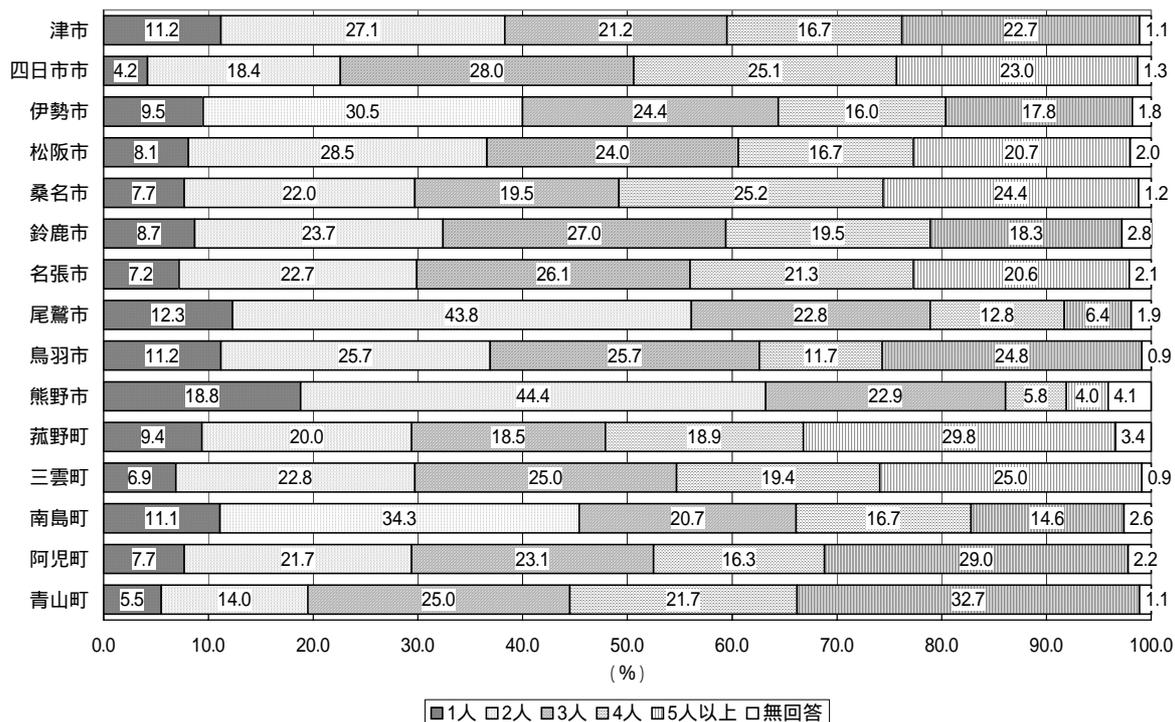
世帯人数は、「2人」が約25%、「3人」が約23%、「5人以上」が約21%、「4人」が約17%、「1人」が約9%となっている。熊野市、尾鷲市では2人以下世帯が多く、青山町、四日市市では3人以上世帯が多くなっている。

図表 1-77 世帯人数

選択肢	件数	割合(%)
1 1人	343	8.9
2 2人	972	25.3
3 3人	874	22.8
4 4人	663	17.3
5 5人以上	789	20.6
無回答	194	5.1
全体	3835	100.0



図表 I-78 市町村×世帯人数

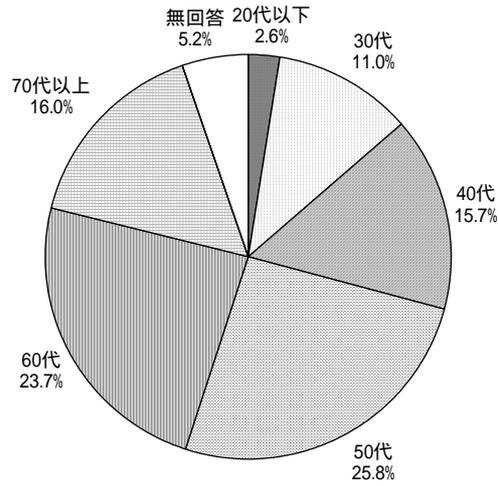


問 26 あなたの年齢は？（ は1つ）

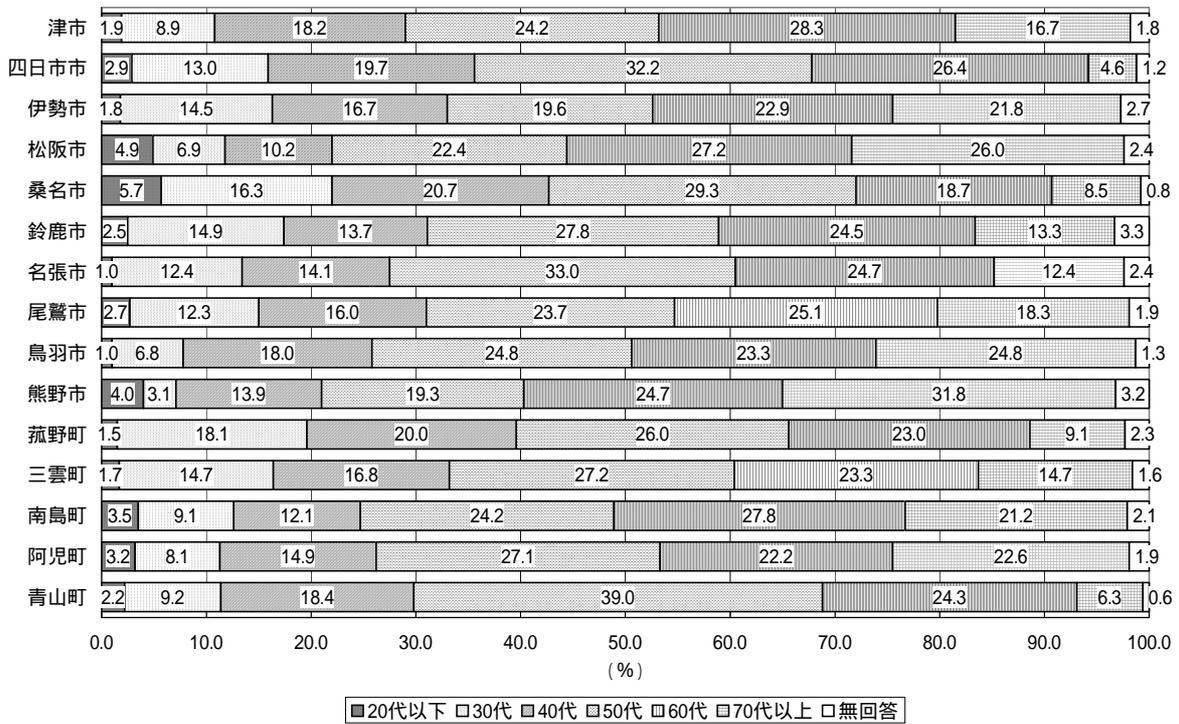
「50代」が約26%、「60代」が約24%、「70代以上」と「40代」が約16%、「30代」が約11%、「20代以下」が約3%となっている。40代以下は桑名市、菰野町で多く、50代以上は熊野市、松阪市で多くなっている。「30代」から「50代」にかけて世帯人数が多く、若年層あるいは高齢層に向かうほど世帯人数が少なくなる。

図表 I-79 年齢層

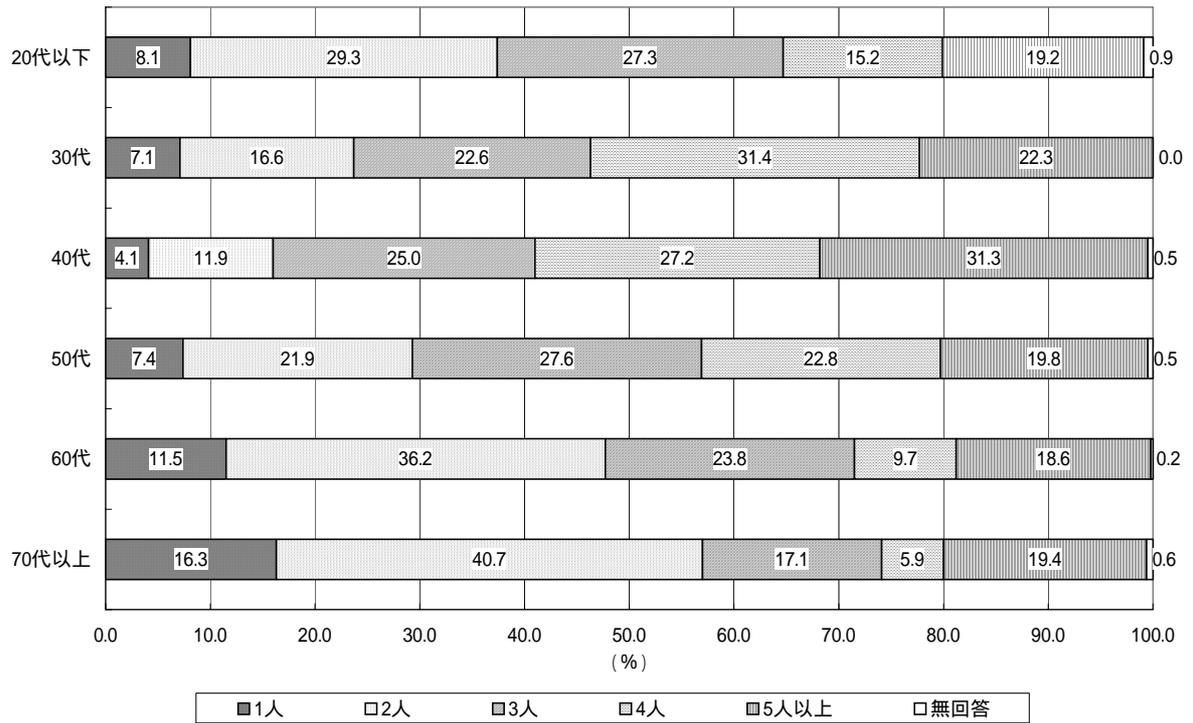
選択肢	件数	割合(%)
1 20代以下	99	2.6
2 30代	421	11.0
3 40代	604	15.7
4 50代	991	25.8
5 60代	910	23.7
6 70代以上	614	16.0
無回答	196	5.2
全体	3835	100.0



図表 I-80 市町村 × 年齢層



図表 I-81 年齢層×世帯人数

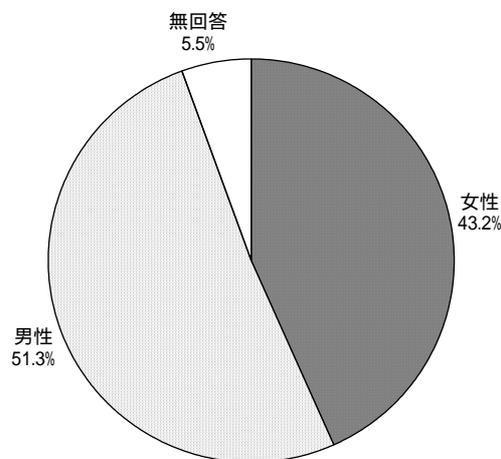


問 27 性別は？（ は1つ）

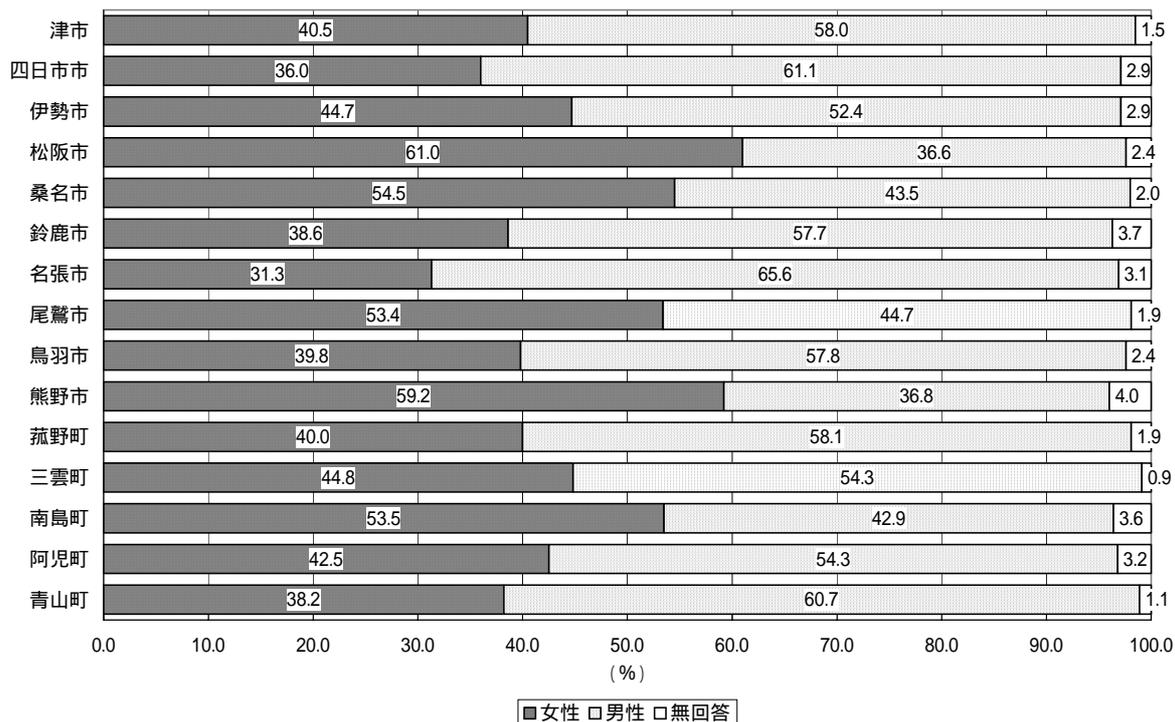
「男性」が約 51%、「女性」が約 43%を占める。女性による回答は松阪市、熊野市で多く、男性による回答は名張市、四日市市、青山町で多い。

図表 I-82 性別

選択肢	件数	割合(%)
1 女性	1655	43.2
2 男性	1966	51.3
無回答	214	5.5
全体	3835	100.0



図表 I-83 市町村 × 性別

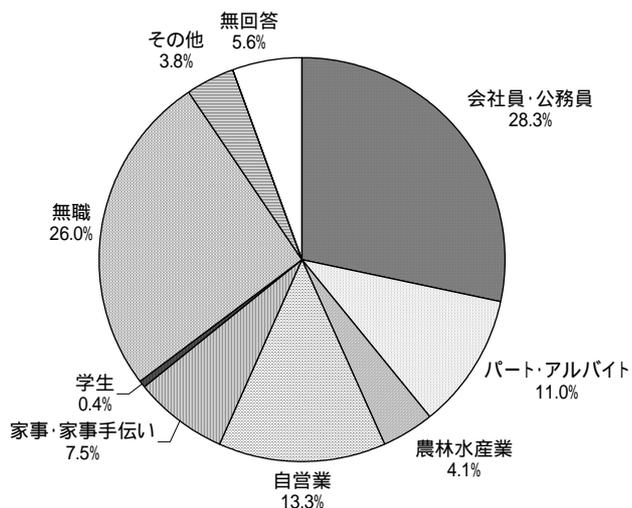


問 28 あなたのお仕事は？（ は1つ）

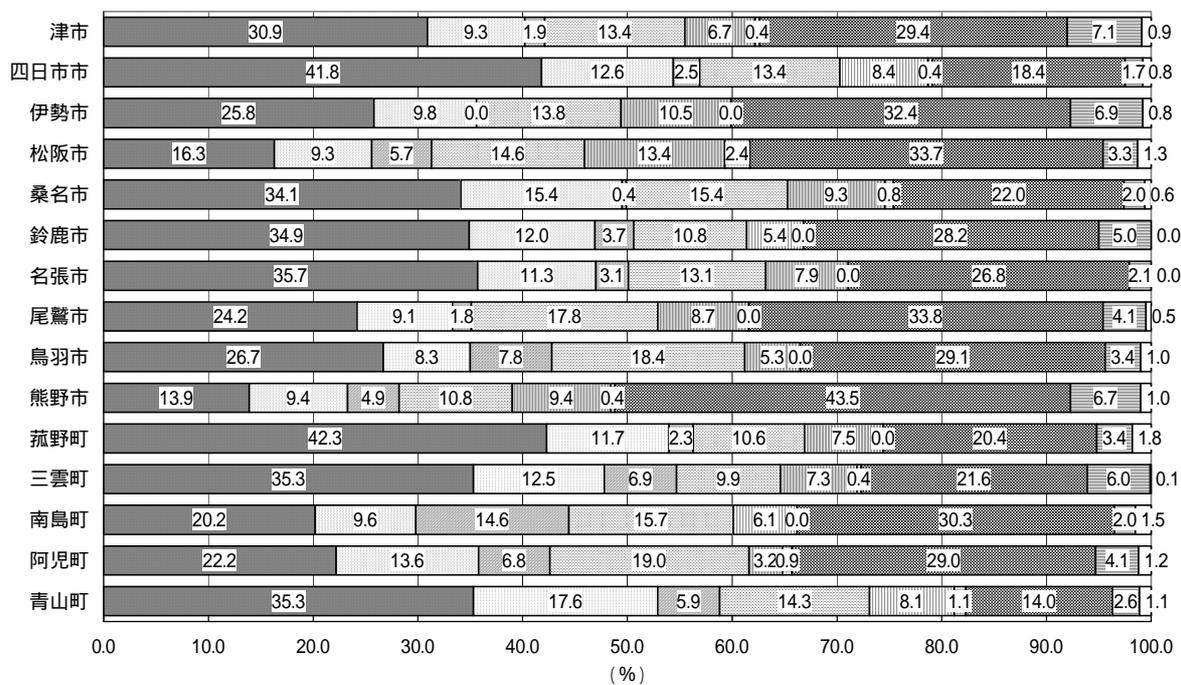
「会社員・公務員」が約 28%と最も高く、以下、「無職」(約 26%)、「自営業」(約 13%)、「パート・アルバイト」(約 11%)と続く。菰野町、四日市市では「会社員・公務員」の割合が 4 割を超える。熊野市では「無職」の割合が 4 割を超える。

図表 I-84 仕事

選択肢	件数	割合(%)
1 会社員・公務員	1087	28.3
2 パート・アルバイト	421	11.0
3 農林水産業	157	4.1
4 自営業	510	13.3
5 家事・家事手伝い	288	7.5
6 学生	17	0.4
7 無職	996	26.0
8 その他	147	3.8
無回答	212	5.6
全体	3835	100.0



図表 I-85 市町村 × 仕事



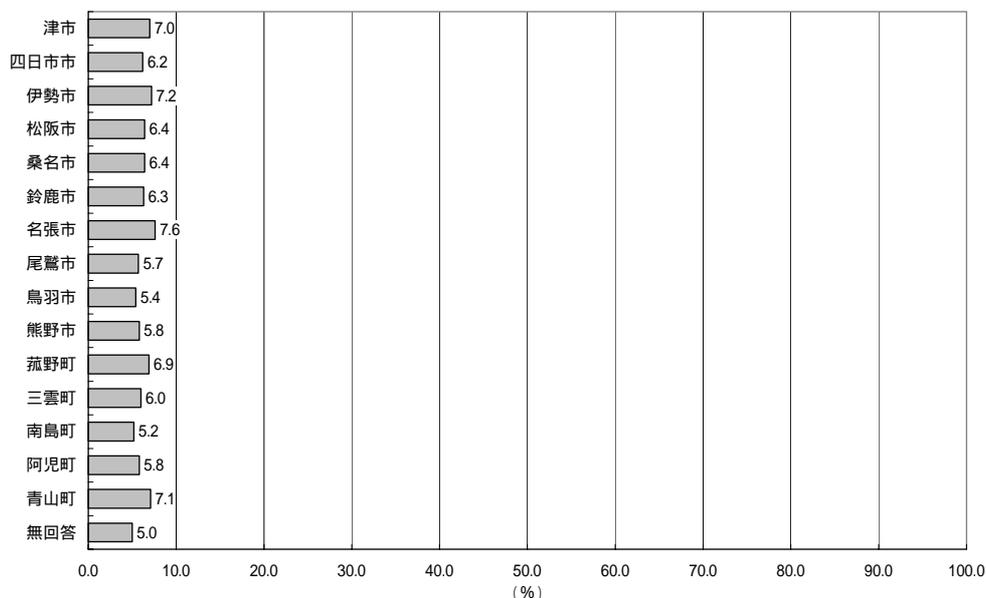
■会社員・公務員 □パート・アルバイト □農林水産業 □自営業 □家事・家事手伝い □学生 ■無職 □その他 □無回答

問 29 お住まいの市町村は？（ は1つ）

各市町村とも5～7%台であるが、回収率の関係から、南島町、鳥羽市で若干低い。

図表 I-86 住まいの市町村

選択肢	件数	割合(%)
1 津市	269	7.0
2 四日市市	239	6.2
3 伊勢市	275	7.2
4 松阪市	246	6.4
5 桑名市	246	6.4
6 鈴鹿市	241	6.3
7 名張市	291	7.6
8 尾鷲市	219	5.7
9 鳥羽市	206	5.4
10 熊野市	223	5.8
11 菟野町	265	6.9
12 三雲町	232	6.0
13 南島町	198	5.2
14 阿児町	221	5.8
15 青山町	272	7.1
無回答	192	5.0
全体	3835	100.0

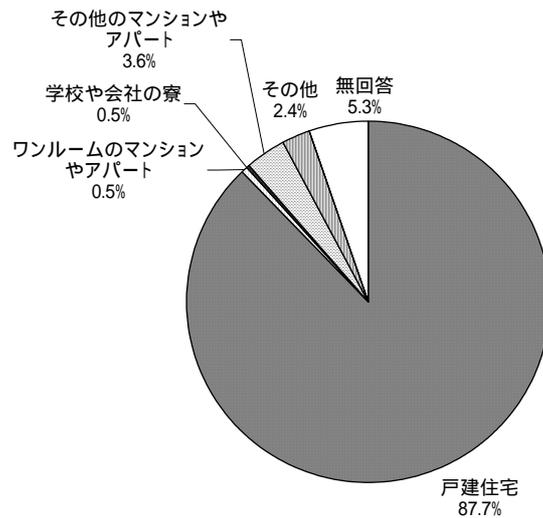


問 30 お住まいの形態は？（ は1つ）

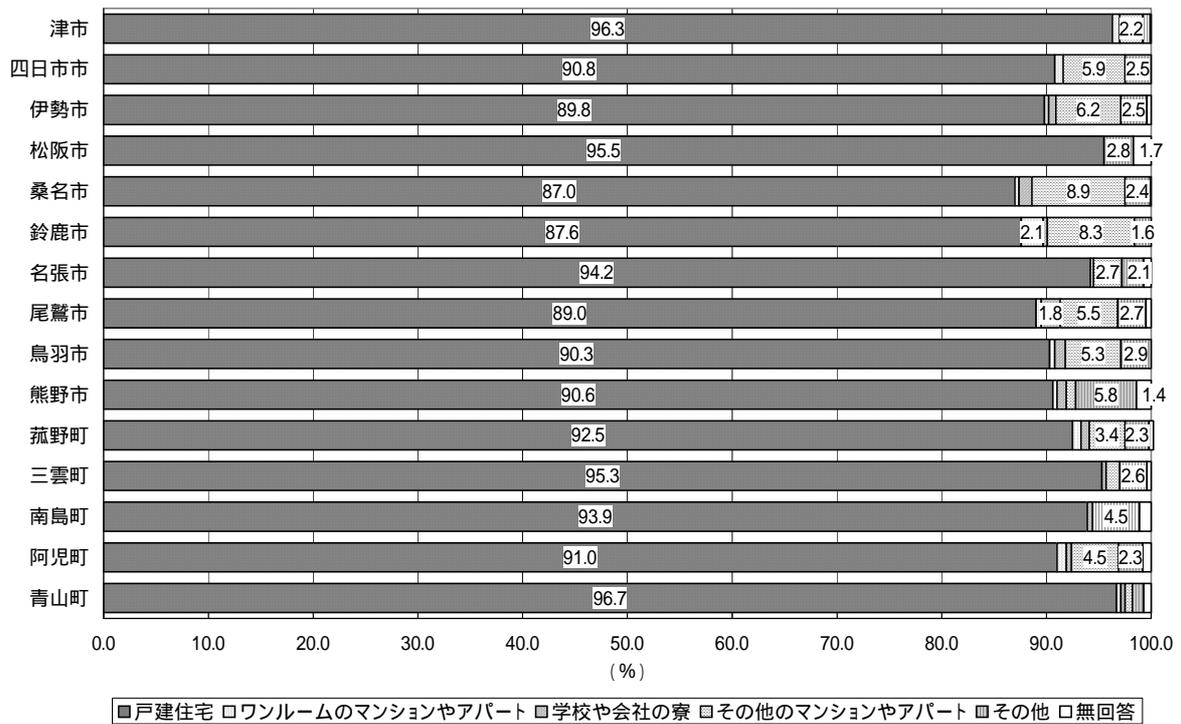
約88%を戸建住宅が占める。この割合は、青山町、津市で若干高くなっている。

図表 I-87 住まいの形態

選択肢	件数	割合(%)
1 戸建住宅	3364	87.7
2 ワンルームのマンションやアパート	20	0.5
3 学校や会社の寮	20	0.5
4 その他のマンションやアパート	137	3.6
5 その他	92	2.4
無回答	202	5.3
全体	3835	100.0



図表 I-88 市町村 × 住まいの形態

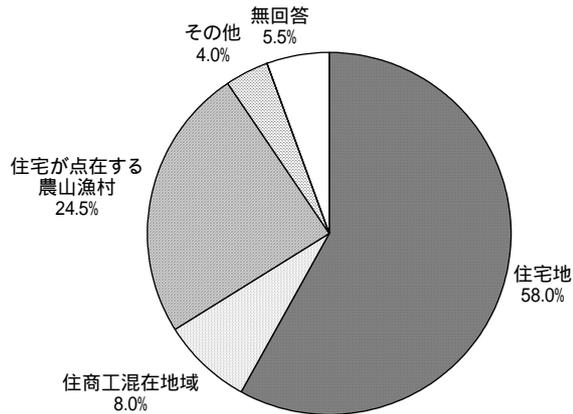


問 31 お住まいの周辺の様子は？（ は1つ）

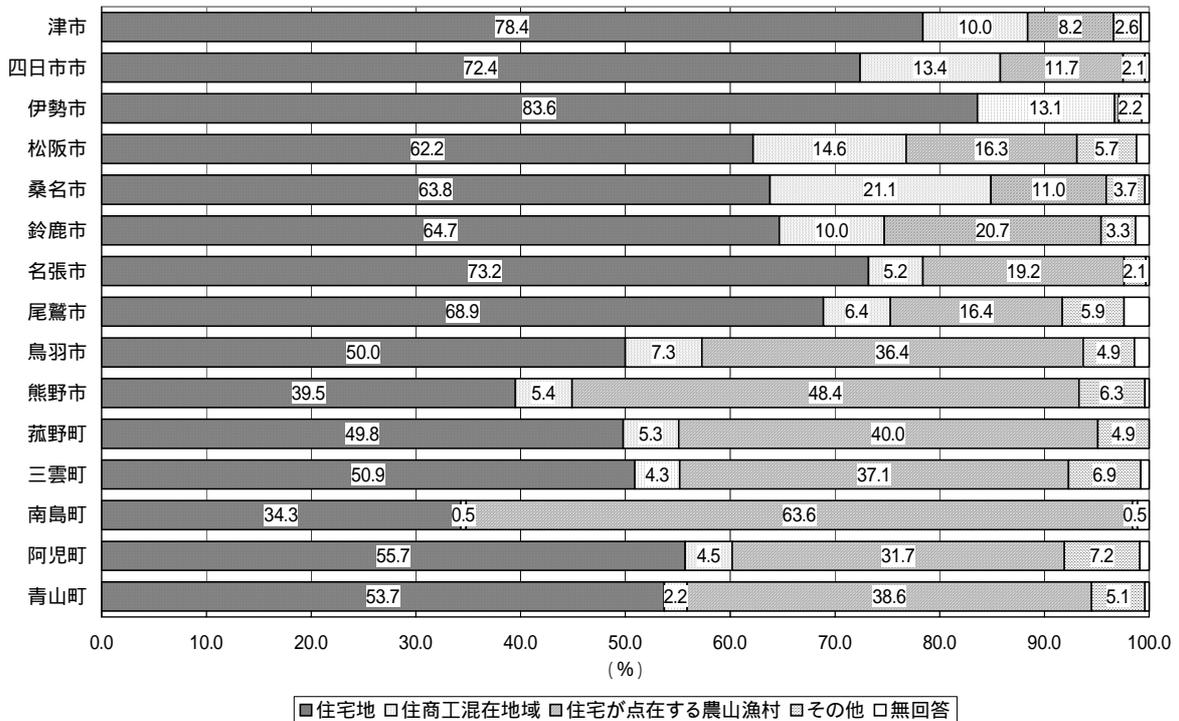
「住宅地」が約 58%、「住宅が点在する農山漁村」が約 25%を占める。「住宅地」は伊勢市、津市で高く、「住宅が点在する農山漁村」は南島町、熊野市で高くなっている。

図表 I-89 住まい周辺の様子

選択肢	件数	割合(%)
1 住宅地	2226	58.0
2 住商工混在地域	306	8.0
3 住宅が点在する農山漁村	939	24.5
4 その他	152	4.0
無回答	212	5.5
全体	3835	100.0



図表 I-90 市町村×住まい周辺の様子

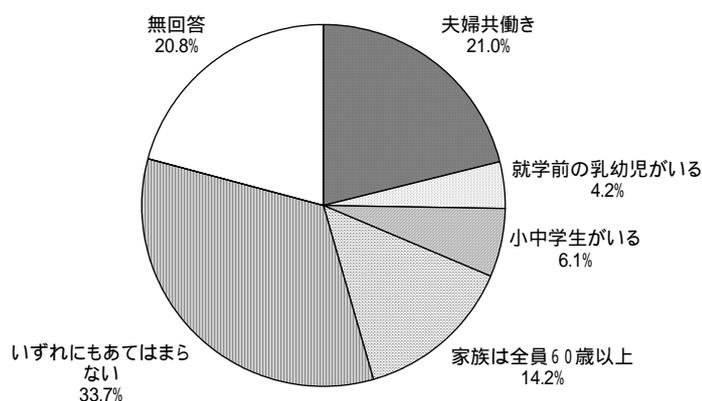


問 32 次のうち、あなたの家庭に当てはまることはありますか？（ は当てはまるものすべて）

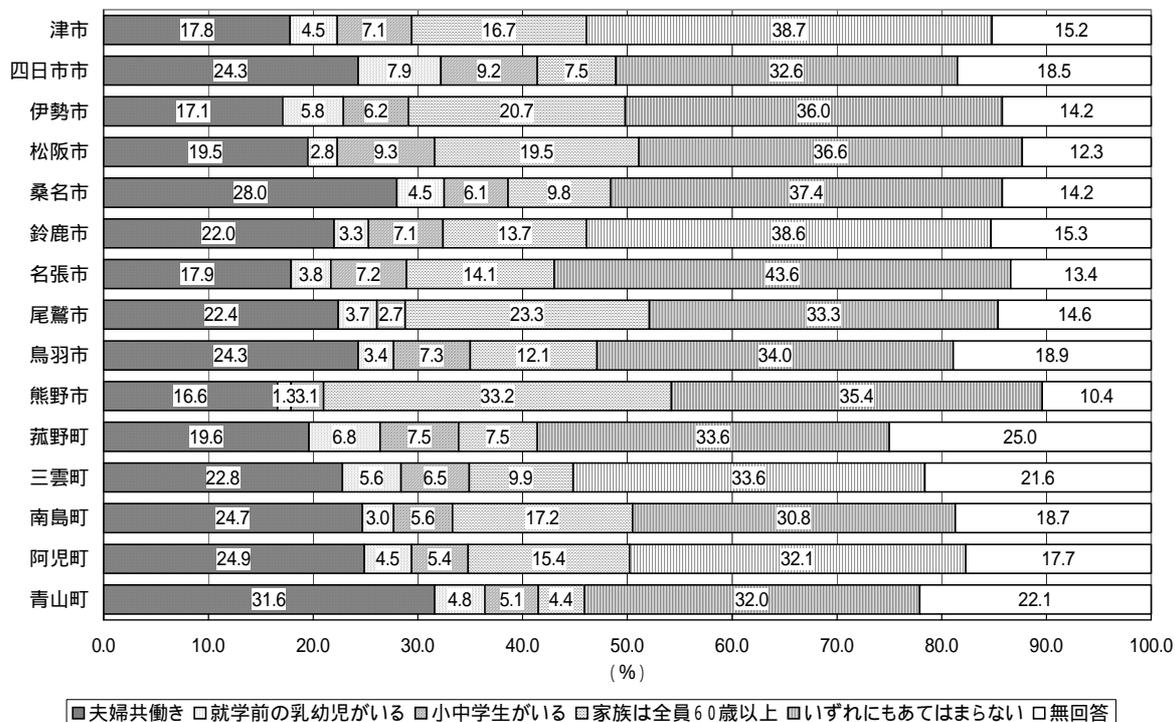
「夫婦共働き」が約 21%、「家族は全員 60 歳以上」が約 14%を占める。「夫婦共働き」は青山町、桑名市で高く、「家族は全員 60 歳以上」は熊野市、尾鷲市で高い。

図表 I-91 世帯の特徴

選択肢	件数	割合(%)
1 夫婦共働き	807	21.0
2 就学前の乳幼児がいる	162	4.2
3 小中学生がいる	234	6.1
4 家族は全員60歳以上	543	14.2
5 いずれにもあてはまらない	1294	33.7
無回答	795	20.8
全体	3835	100.0



図表 I-92 市町村×世帯の特徴

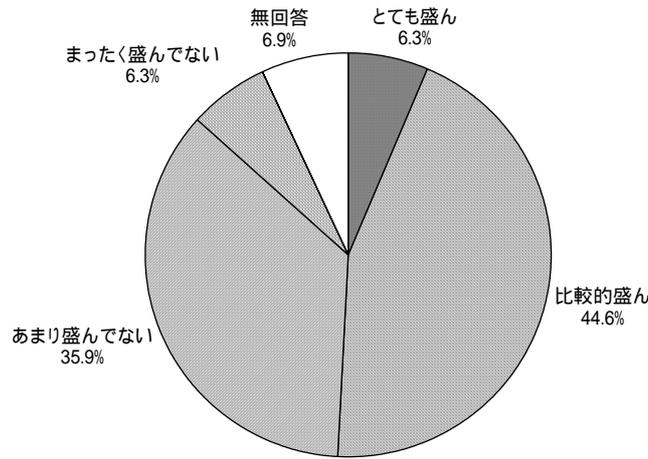


問 33 あなたの住んでいる地域では、自治会や子ども会などの地域活動は盛んですか？（ は1つ）

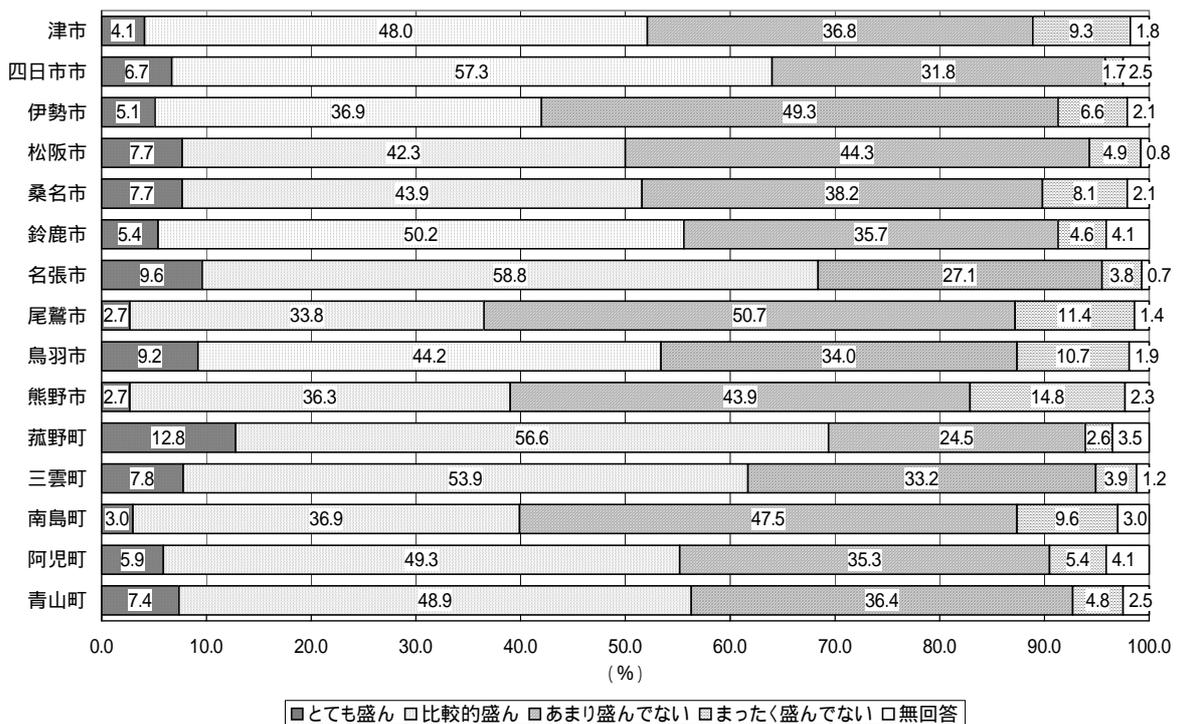
地域活動については、「盛ん」が約 51%と、「盛んでない」の約 42%を上回る。特に地域活動が「盛ん」な市町村は、菟野町、名張市、四日市市、三雲町である。

図表 I-93 地域活動の様子

選択肢	件数	割合(%)
1 とても盛ん	242	6.3
2 比較的盛ん	1710	44.6
3 あまり盛んでない	1376	35.9
4 まったく盛んでない	242	6.3
無回答	265	6.9
全体	3835	100.0



図表 I-94 市町村 × 地域活動の様子

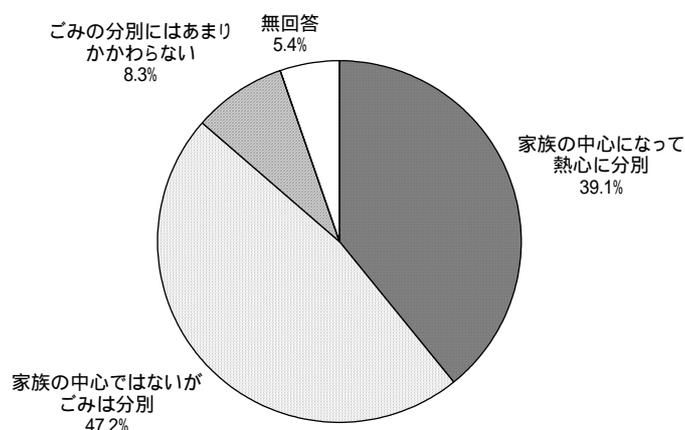


問 34 あなた自身は家庭でごみの分別にどうかかっていますか？（ は1つ）

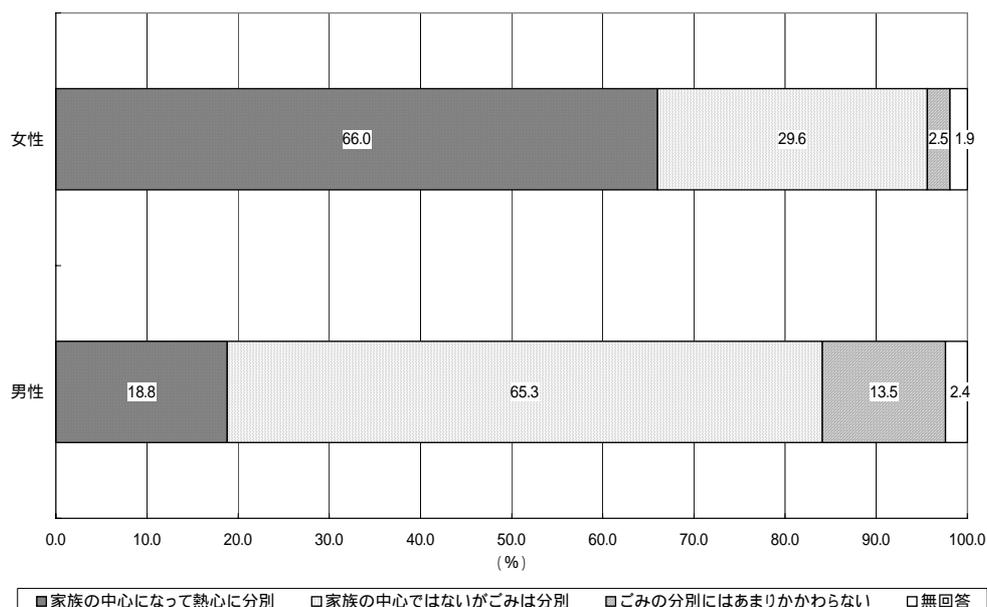
「家族の中心になって熱心に分別」が約 39%、「家族の中心ではないがごみは分別」が約 47%と、約 86%が家庭でごみの分別にかかっている。「家族の中心になって熱心に分別」する割合は、女性約 66%、男性約 19%と、男女の間で 47 ポイントの開きがある。これに「家族の中心ではないがごみは分別」を加え、分別へのかかわりという点で比較すると、女性約 96%、男性約 84%と、その差が 12 ポイントまで縮まる。

図表 I-95 ごみ分別へのかかわり

選択肢	件数	割合(%)
1 家族の中心になって熱心に分別	1501	39.1
2 家族の中心ではないがごみは分別	1812	47.2
3 ごみの分別にはあまりかかわらない	318	8.3
無回答	204	5.4
全体	3835	100.0



図表 I-96 性別 × ごみ分別へのかかわり



### 3. 意識・行動分析

#### (1) 点数化の方法

意識について設問した問 1 および行動について設問した問 2 を用いて、得られた結果を点数化することで、意識と行動の差の分析を行った。点数化は次の方法によった。

問 1 にある(1)～(4)までの設問について、次の通り点数化した。

- ・「とてもそう思う」..... 4 点
- ・「少しそう思う」..... 3 点
- ・「あまりそうは思わない」..... 2 点
- ・「まったくそうは思わない」..... 1 点
- ・無回答 ..... 0 点

問 2 にある(1)～(4)までの設問について、次の通り点数化した。

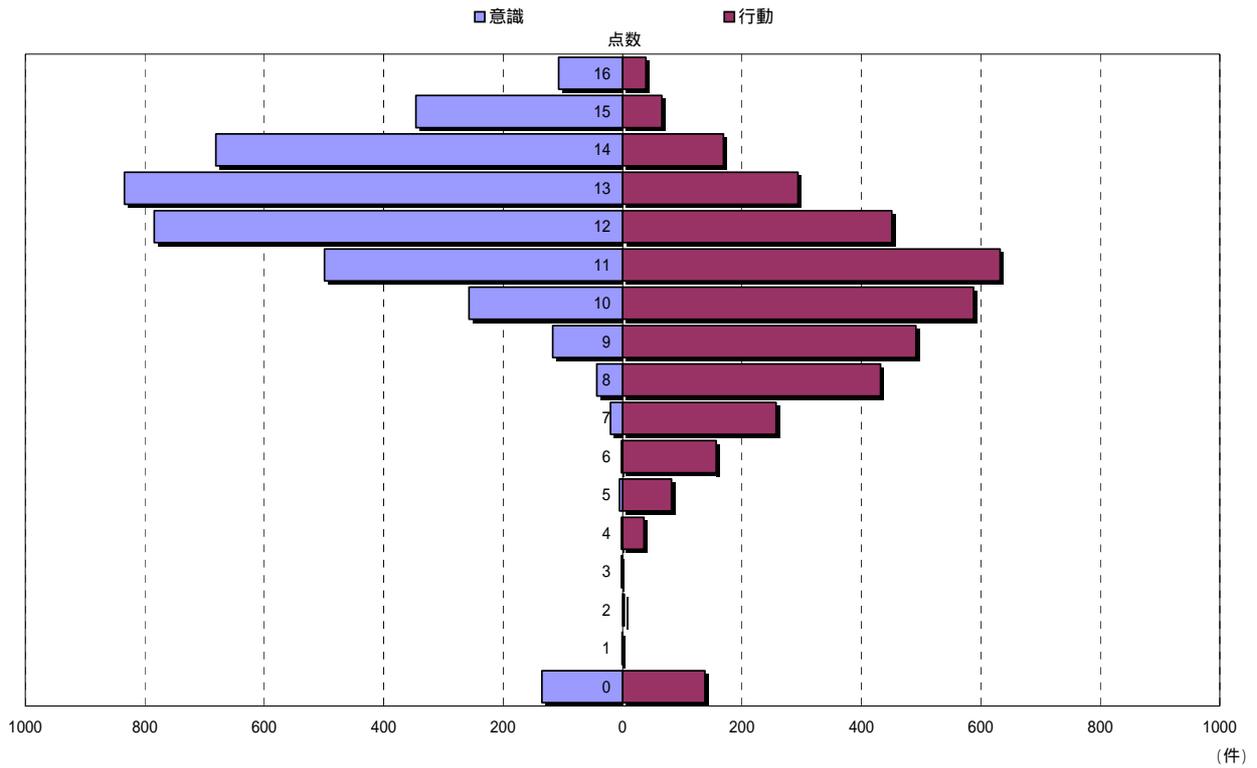
- ・「とてもそう思う」..... 1 点
- ・「少しそう思う」..... 2 点
- ・「あまりそうは思わない」..... 3 点
- ・「まったくそうは思わない」..... 4 点
- ・無回答 ..... 0 点

回答ごとに点数を合計し、全体集計を行った。

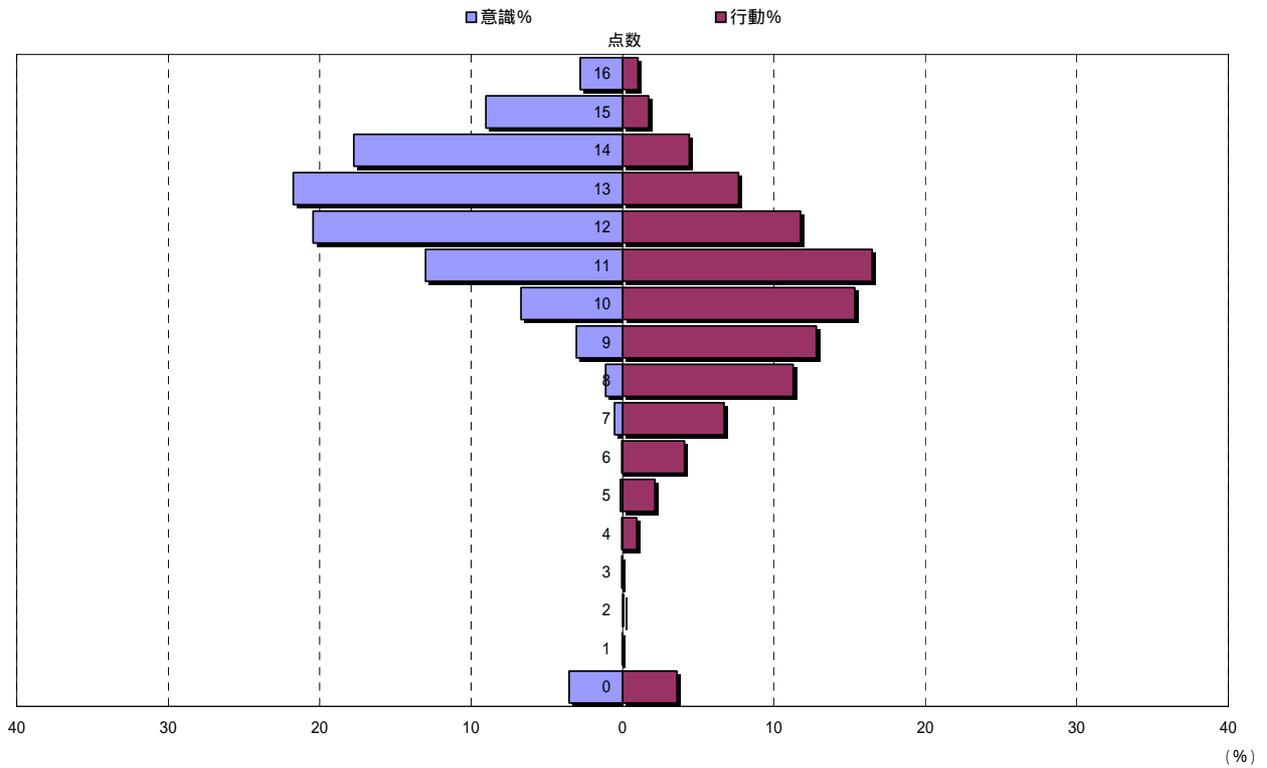
#### (2) 点数の分布

全体平均では、意識は 12.5 点、行動は 10.1 点であり、その差は約 2.4 点となった。意識と行動の間に開きの大きい市町村は桑名市で 3.0 点、小さい市町村は南島町の 1.7 点となった。いずれの市町村も、意識の点数が行動の点数を上回っている。

図表 I-97 意識と行動の点数分布(件数)



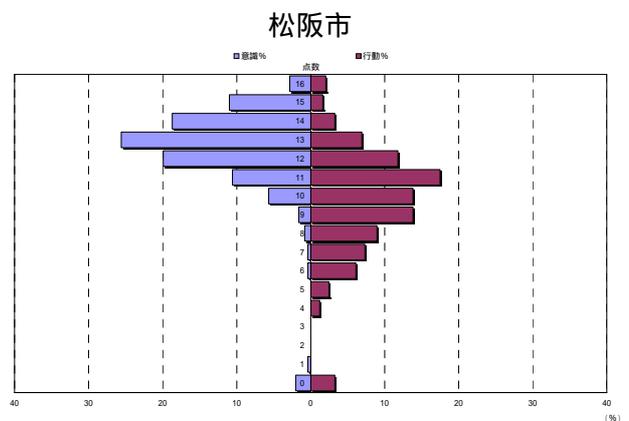
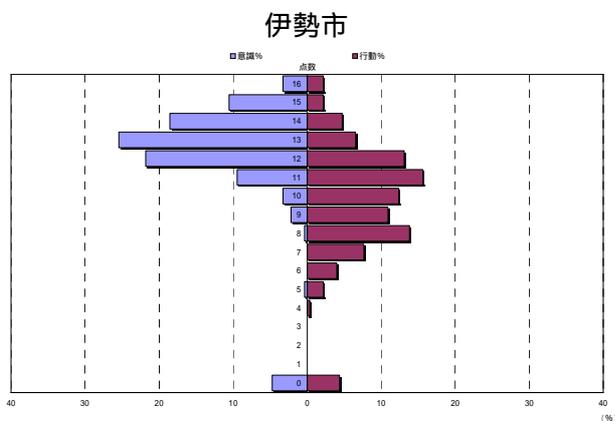
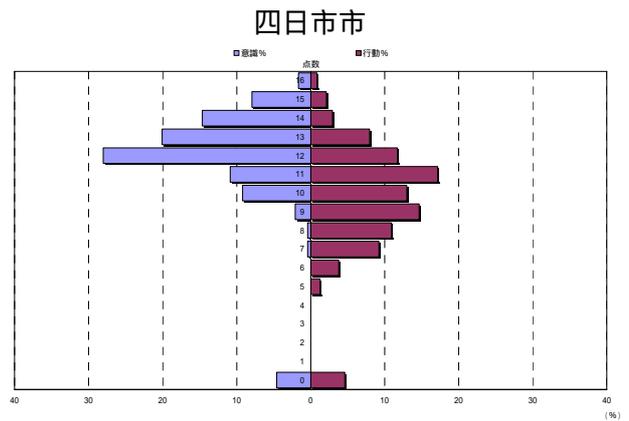
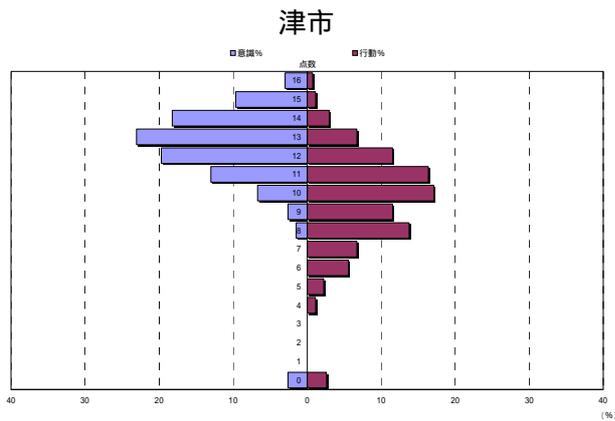
図表 I-98 意識と行動の点数分布(割合)



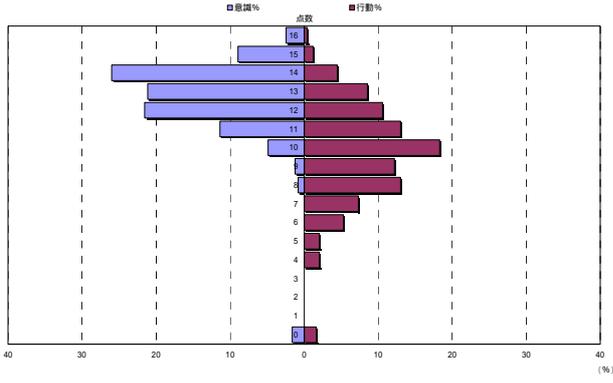
図表 I-99 意識点・行動点の市町村別平均と偏差

	意識			行動			意識・行動 の差
	平均値	偏差	最頻値	平均値	偏差	最頻値	
1 津市	12.6183	2.6198	13	9.8168	2.7941	10	2.8015
2 四日市市	12.4254	3.0416	12	10.0658	3.0755	11	2.3596
3 伊勢市	12.8473	3.1485	13	10.1445	3.2147	11	2.7028
4 松阪市	12.6971	2.5608	13	9.9748	3.0452	11	2.7223
5 桑名市	12.8306	2.2295	14	9.8223	2.7233	10	3.0083
6 鈴鹿市	12.4545	3.0359	12	9.9610	3.0752	9	2.4935
7 名張市	12.4632	2.5875	13	10.1579	2.8553	11	2.3053
8 尾鷲市	12.4579	2.6487	14	10.2383	2.6981	11	2.2196
9 鳥羽市	12.3807	3.0184	13	10.3807	3.1234	11	2.0000
10 熊野市	12.3037	3.1528	14	10.5280	3.2802	11	1.7757
11 菰野町	12.4784	2.8998	13	9.9567	2.9630	10	2.5217
12 三雲町	12.7354	2.9823	13	9.9058	2.9891	10	2.8296
13 南島町	11.9947	3.2156	12	10.2500	3.3726	11	1.7447
14 阿児町	12.5286	3.3105	13	10.1571	3.1335	10	2.3714
15 青山町	12.6113	2.6238	12	9.8340	2.7918	11	2.7774
全体	12.5227	2.9023	13	10.0682	3.0167	11	2.4545

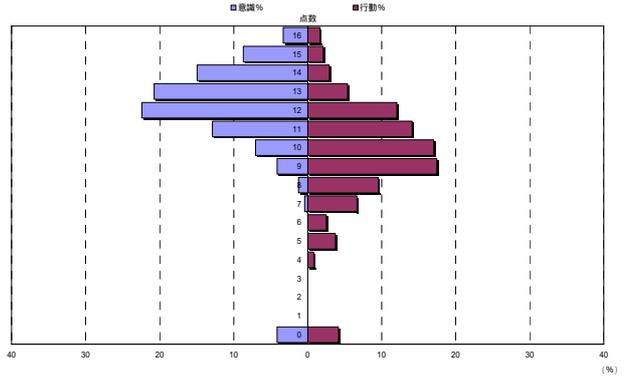
図表 I-100 意識と行動の点数分布(市町村別)



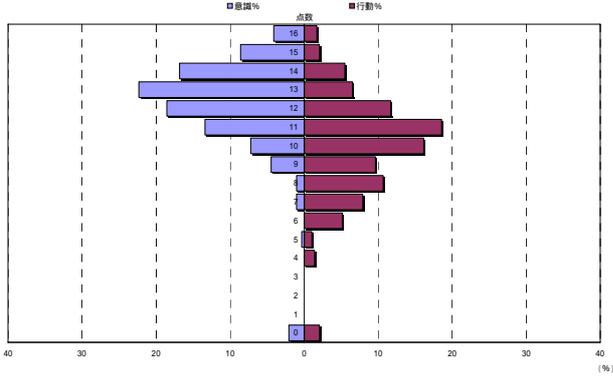
桑名市



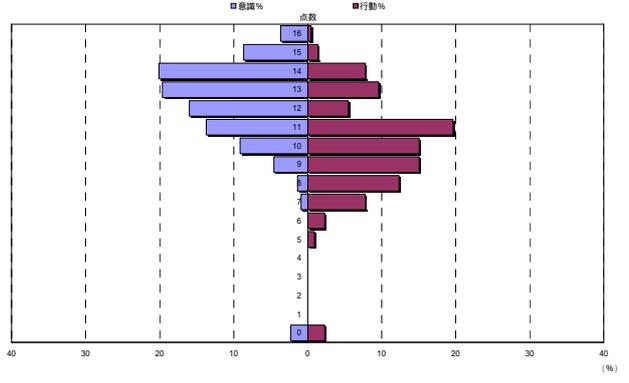
鈴鹿市



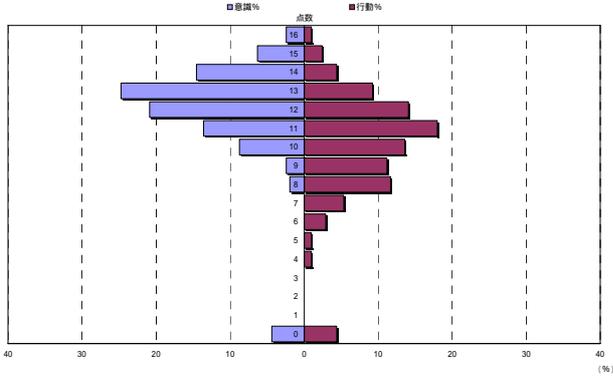
名張市



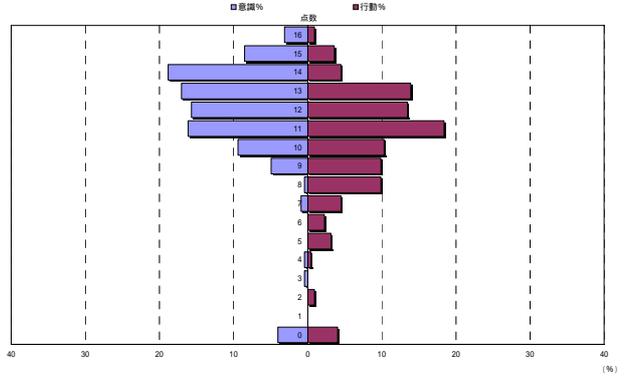
尾鷲市



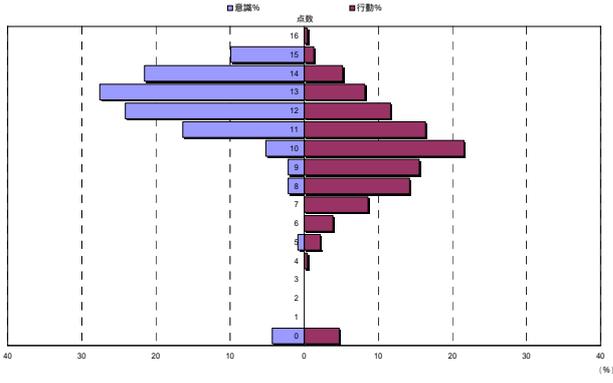
鳥羽市



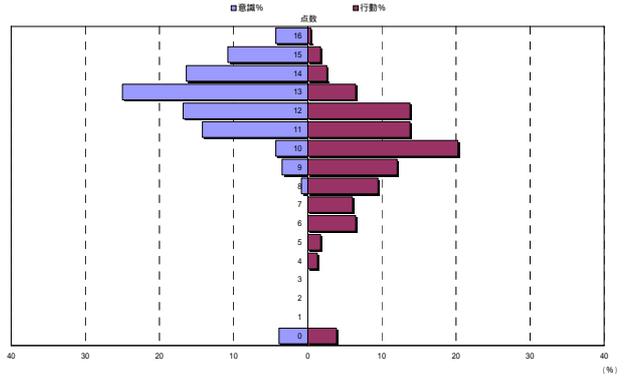
熊野市



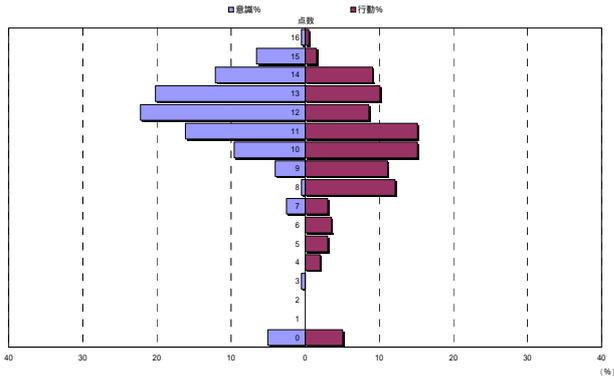
菰野町



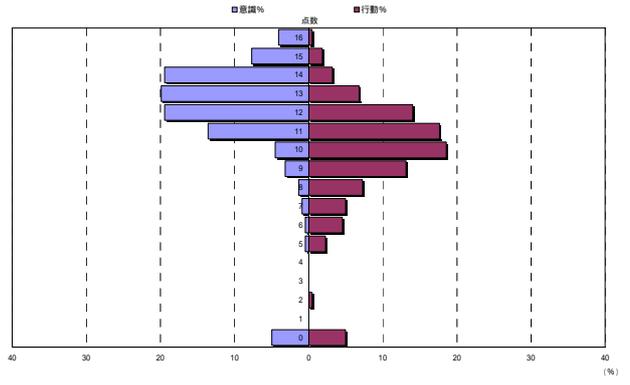
三雲町



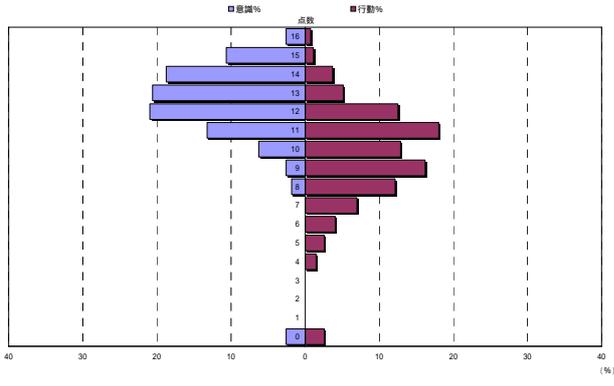
### 南島町



### 阿児町



### 青山町



## 4. 自由記入

### 1 発生・排出抑制

ゴミゼロに通じる問題として、大型店舗の24時間営業に私は疑問を感じます。特に、最近、みんなガマンができなさすぎだと思う。それは資源のムダ使いとなり、ゴミも増え、その処理に困ることにつながっていると思う。安いものを買えば、いつでも買い物ができるという利便性を重視するのではなく、ものを大切に、生活、環境、人間そのものを大切に考えれば、もっと根本から変わることができると思う。便利になりすぎて、みんなおかしいと思う。(30代/女性/菰野町)

物がたくさんあふれて、何でもすぐに手に入る時代、いかに質素にムダのない暮らしをしていくか日々考えています。家電製品は、修理代金と買い替える場合に、値段の差があまりないことが多く、つい買い替えてしまうことがあります。修理をもう少し安くできればいいと思います。(30代/女性/伊勢市)

ごみは最終的に家庭から出るが(会社・職場もあるが)、商品や食品、家具等の製造段階から最後を考えた工夫が大事。使用者側の意識の変化も大切だが、売らんがためのごみにつながる無駄が多い社会になっている。もっと車や家電のように最終処分に必要な費用を全ての商品に上乘せし、製造者側とその商品を買う側の責任で最終を考えた消費生活をしなくては。(50代/男性/伊勢市)

物が少ない方が暮らしやすい。(50代/女性/尾鷲市)

分別を細かくする。そのためにも分かり易い表を作成してほしい。コンビニなどで買物をする時も包装が必要か、箸などが必要か聞くようにしてほしい。スーパーの袋は店員さんが多めに入れることが多いので、自分で必要な分だけ取れるようにする。(20代以下/女性/桑名市)

戦時中のきびしい物不足の時代に生きて参りました者にとりまして、今の時代の恵まれた生活は本当に夢のようです。でもこのような日々が何時まで続くのかわかりません。心して物資は大切に出来るだけごみを出さぬよう心掛けて生きて行きたいものです。(70代以上/女性/尾鷲市)

お金がかかっても、地球環境を守るためごみを減らす方法を優先すべき。不景気といえども日本は世界レベルで見れば格段に裕福でぜいたくをしているのだから。消費者はそのような努力をしている優良企業の製品を少し高くても買うようにすべきだと思う。(60代/女性/四日市市)

何かを購入する時は、家にすでにある物を処分するか、まだ使えるかを考えてからにしています。なるべくムダな物は置かないようにしています。(60代/女性/阿児町)

無くても暮らしていけるような商品があふれている(買っている)。そういうものは、すぐごみになってしまう。そういう商品が淘汰されていくようなライフスタイルを社会全体に浸透させれば！(50代/男性/青山町)

高度成長化社会がごみ大量化社会を作ってしまった。もっとのんびりの社会、人生であって良いと思う。このことがゴミゼロ社会であろうと思う。(50代/男性/青山町)

物に対する愛情が乏しいのが現代だと思う。又、修理をしたら却って高くついたりする場合も多く矛盾を感じる。"もったいない"ということを大切にしていた時代を皆でもう一度振り返る必要性を思います。廃棄物利用派の私としては、質素儉約を声高らかに訴えたい。(40代/女性/名張市)

保育士をしていますが、今の若い母親達が布おむつを使わなくなった事には驚きます。保育園に入園した時にオムツカバーを持っていないので、買う気持ちもなくオムツがはずれるまですべて紙です。ゴミの量もすごいです。夜や出かける時には紙を他は布をこまめに使い分ければいいのになーいつも思っています。アイデアではなくてすみません。(40代/女性/津市)

必要でないものは購入しない。物を出来る限り少なくする。学校のバザーなどの時に出来るだけ協力して

出して参加すること。自分の持ち物の中で人に着られ喜んでもらえるものは利用してもらうよう心掛ける。再利用。食品を購入の時 1 日～2 日分は良いが多く購入しない。どうしてもごみとして出す場合、出来るだけ資源として利用出来るよう分別をしっかりと行う。(70 代以上/女性/鳥羽市)

なるべく必要でないものは買わない、もらわない(レジ袋、包み紙)小さい事から。衣類は再利用して使う等心掛けております。家具等、大きな物は大切に代々使うようにする。又人に使ってもらう。なるべく捨てない様に心掛けて居ります。自分なりに…。一人ひとり、責任を持つ事?(70 代以上/男性/鈴鹿市)

過剰包装が多い様に思います。スーパーのレジ袋などもいららないと思います。レジ袋ももらえないと思ったら袋を持って買物に行くと思います。(50 代/女性/熊野市)

伊勢市では指定ごみ袋、買い物時のマイバッグなどが指定されていますが、とても使いやすく、毎日毎日利用しています。休日にはドライブによく出かけますが、ごみのポイ捨てが余りにも多くとても見苦しく思います。ごみの分別など、規制が多くなるほど、ポイ捨ても増えるのではないかと思います。各自治体の回収車は指定回収場所以外のところのごみも気をつけて片付けていただければと思います。(50 代/女性/伊勢市)

買い物のレジ袋など有料にするか希望者だけで良いと思う。(60 代/男性/尾鷲市)

アンケートは女性の目から記入させていただきました。地域のルールに協力し、又、分別、ごみ袋(指定)など利用しています。ただ家族も少人数になってくると、指定ごみ袋に対し、ごみが 1/3 くらい(1回出し)になると、高いものに付きます。スーパーの袋で良い(1回出し量)の声もあるので、その辺も考えてほしい。(40 代/女性/青山町)

レジ袋は大変重宝しています。肌着入れ、靴下入れ等に使い、その袋が古くなったら可燃、不燃ゴミ等に丁度良い大きさです。ふつうのゴミ袋では大きすぎるので不経済。/電化製品の修理代が高く新しく買った方が安くつく場合もあります。(70 代以上/女性/松阪市)

ごみ処理を有料化した市町村での有料のごみ袋の購入は、金額もさることながら、わざわざごみ袋のごみ一つ増やしているようなものだと思います。指定の袋がなければスーパーの買物袋でも充分間に合います。(-/南島町)

我が家では残飯は常に愛犬が食べてくれるし、野菜の調理くずや魚類は生ごみ処理機で処理して家庭菜園用の畑に肥料として用いているので、生ごみはほとんど出ない。しかし、これがマンション住まいやアパート住まいだとしたら、毎日出る生ごみはおそらく燃えるごみとして出さざるを得ないと思われる。いかに生ごみを減らすかが課題になると思う。(60 代/男性/阿児町)

昔、自分が小さい頃よくおばあさんが紙くずや食べ物の残り物などは畑の隅に穴を掘り、燃やしていたことを覚えております。今の時代も昔のように各家で紙くずや食べ物の残りかすを畑で焼き、それが出来ない所には市町村で処理機を安く買えるよう便宜を図れば、各自の家のごみは必ず減ることは間違いなしだと思います。(30 代/男性/伊勢市)

以前は自宅でカットした植木や刈り草、紙など焼却していたのができなくなったのでゴミの回収日に出すゴミの量はふえていると思います。(50 代/女性/鳥羽市)

まわりが田園ですのでもえる物はなるべく家でもやりたい。又、木、葉なので家で処理したいと思う。(70 代以上/女性/三雲町)

台所の生ごみは生ごみ処理機を使って堆肥化して野菜作りに利用したらよいと思います。(60 代/女性/四日市市)

婦人会での講習を受けて、生ごみは衣装ケースを使って堆肥化しています。(6 年前より)(60 代/女性/熊野市)

生ごみ処理機の市の負担分を多くして、もう少し私達の買いやすい価格にしてほしい。(50 代/女性/鈴鹿市)

市)

あたりは住宅地で緑も多いため、草木の可燃ごみが大変多く感じられます。各家庭に一個でなく、地域に草木だけを集め肥料化できるシステムがあればと思います。(40代/女性/菰野町)

町内の清掃(公園の草取りなどを含む)や家庭(戸建て)の庭などから出る小枝や木の葉、草などについては、安全な方法による「焼却処理」を認めるべきである。何から何までプラスチックの袋に入れて回収に出すというのは如何なものか。その地域の状況に応じて判断すべきだと思う。(60代/男性/名張市)

ごみゼロ社会は難しいと思うが、生ごみを減らすことは今自治会でモデルケースで取り組んでいる。すごく良いのでみなさんに取り組んでもらいたいと思う。(堆肥化容器に堆肥、生ごみ、堆肥とサンドイッチにしていく、においが無く台所でしている)(50代/女性/青山町)

缶ジュース、ペットボトルなどのデポジット制を全国的に行えば良いのでは。三重県がさきがけて実行してはどうでしょう。(50代/男性/津市)

びんは、ビールのように一定の規格のものとし、リユースする。焼酎、ワインなど色つきや、形がしゃれた物は、作らせない方向に法律改正を。カタログ、チラシもコーティングしてリサイクルしにくい物が多い。華美な物は作らず、リサイクルしやすい紙でよいと思う。(50代/女性/菰野町)

ビールビンのように再利用していくシステムがいろいろな物にも適用されれば良いと思う。食品もパッケージではなく量り売り方式のところをもっと多くなれば、無駄な買いものもせず、ゴミも減ると思う。(20代以下/男性/四日市市)

ティッシュ、トイレトペーパー等、リサイクル商品を使用しています。コストが少し高いですけど、利用するようにしています。(50代/女性/青山町)

家計の事を考えると、ごみ有料化は反対です。(苦しい)ごみの分別もあまり複雑にするとかえってめんどくさいなって思うことがあります。みんなにわかりやすく、細かすぎない方法を考えてほしい。(30代/女性/菰野町)

私の住んでいる町は、ゴミ袋大100円です。かなり高い設定になっています。したがってゴミはなるべく少なめにするよう努力しています。しかし、みんながゴミを少なくしようとしなにかぎり、減らないと思います。又、なぜ減らさなければいけないかを、もっとくわしく説明していかなければいけないと思います。(40代/男性/阿児町)

ごみ処理の有料化の方向は否めないと思うが、県民税、市民税に多くのお金を支払っている。また給料も低く抑えられ減額される中で、簡単に有料化にして欲しくない。もっと税金の使い方をチェックし、無駄遣いを止め、その分を回すようにしたい。(40代/男性/名張市)

ごみ袋を有料化にしたらごみ袋小も作ってほしい。我が家ではごみを分別(リサイクルごみ・資源ごみ・燃えるごみ)するようになってから、燃えるごみが減り、スーパーの袋一つで足りるときもあります。だからごみ袋は大と小があればいいと思っています。(家族は二人です。)(50代/女性/三雲町)

ゴミ有料化は当然の事と思いますが、介護などのおむつなど、年々増えていきます。ゴミ袋の値段が高くなると不公平な気がします。(50代/女性/桑名市)

消費者だけでなく、メーカーもごみがなるべく出ないようにしてもらわないと。とまどいと苦勞が消費者に重くのしかかってくる。又、有料化については、老齡年金も少なくされている今日、この上の負担を強いられることは、本当に苦しい。(70代以上/男性/熊野市)

ゴミ処理有料化にする場合、少人数家庭用の小袋を作り、料金を安くして欲しい。不法投棄は厳しく取締って欲しい。(50代/女性/四日市市)

私としては有料になるのは仕方がないと思って居ります。生活費にひびきます。だから一番身にしみて減量するようになると思います。口や、パンフレットでゴミゼロといっても、痛みがわかってないと、なかなか実

行できないと思います。(50代/女性/南島町)

ごみ処理有料化には大賛成ですが、有料化に伴いますます不法投棄する者が増えると思うので、飲酒運転を従来より厳罰化した様に今よりもっともっと一層厳しくしてもらいたい。懲役刑、罰金刑共に。特に山間地などへ行くと人目につかない所に大量のごみを見ることがあります。(60代/男性/桑名市)

資源を大切にと言う意味でのごみの有料化は必要と思います。現在無料の為不用になったものは捨てられています。有料化により商品の購入から商品を選び、不必要なもの又リサイクル可能な商品しか買わなくなると思います。これだけでも排出するごみに責任を持つようになるのではないのでしょうか。(50代/男性/菰野町)

私の家には高齢者がおり、紙おむつ、紙パンツ、尿パッドなどのごみが多く、その為に多額の有料化をされると困るナーと思います。また、今から高齢者社会になり、そう感じる方も多いと思います。何か良い案があればと思います。(30代/女性/鳥羽市)

ごみ有料化は必要と考えるが、これによって不法投棄が増大する心配がある。この対策をキチッとやらないと失敗と思う。一部の不心得者によって大多数の正直者の住民の意思、意欲が損なわれない仕組みづくりが重要と思います。(60代/男性/名張市)

## 2 意識・モラル、県民参加

私達が生活していく上で、全くごみを出さない生活は無理と言えます。しかし、ゴミを出さないようにしようという心構えは、大切だと思います。県民がこぞってゴミゼロを意識するだけでもゴミの量は減ると思います。スーパーなどにも働きかけてごみが出ないような工夫をしていただくのも一つの方法かと思います。(50代/女性/松阪市)

県民がこぞってごみゼロ社会を創って行こうと意識を持って実践して行くことにより、良くなると思う。老人社会になる傾向にあるので、ごみ収集場所が遠い様では困りますので、増やして欲しいと思う。(70代以上/女性/熊野市)

ごみをなくすことは大変なことです、一人一人が意識を持っていくことで少しずつでも減らしていくことは出来ると思います。子どものうちから認識させることも大切ではないかと思います。(20代以下/女性/尾鷲市)

行政側が何らかの対策を講じてくれるだろう。若しくは行政側がするのが当然との考えがあり、自己の責任を回避する人がいる限り、「ごみゼロ社会」の日は果てしなく遠い。消費者への意識の向上を粘り強く運動と実績を種々つみ重ねていかなければならない。(-/-/)

私は常々不要品や衝動買いをしないようにしています。又食料品はほかす事無く自分自身が食べ切れる量を購入しています。私自身の親から“もったいない”という言葉が教えられて育ったせいかもしれませんが物を大切にする気持ちがあればごみゼロ社会を作っていくことが出来ると思います。(40代/女性/尾鷲市)

便利さを第一に考えるような社会になってきた。昔はお豆腐を買いに行くのでもボールを持って買いに行ったし、卵も容器を持って買いに行った。スーパーでは袋がいらない時はスタンプを押して何個か集まると品物に交換してもらえます。ゴミをゼロにするには生産・消費・排出のそれぞれの意識レベルの向上も必要だと思う。(40代/男性/四日市市)

ごみは生活する上でゼロにすることは出来ないと思います。しかし少なくする努力は誰にでも出来ます。一人一人が私一人くらいやってもしょうがないという気持ちにならないで欲しい。分別はもっともっと細かくてもいい。(40代/男性/桑名市)

県民一人一人がごみを出さない努力が必要だと思います。メーカー側も少しでもごみが出ないような梱包、荷造りを心がけて欲しい。スーパー、食料品店のレジ袋などをあまり使用しないようにすることも大切かと思っています。(---)

自分だけならいいだろうという気持ちを持たず、一人一人がごみゼロ社会を考え自覚して、関心を持っていく事が大事だと思う。(---)

ごみの問題は市民一人一人の意識、知識のレベルに関わっている。ルールを知らない、知ろうとしない人々に対してはある種のペナルティーさえ必要と考える。(60代/男性/松阪市)

私は大東亜戦争時代を生きて来た者ですが、物の満ち溢れている今の世の中が、もったいなくてもったいなくてなりません。昔はごみなんて一つも出ませんでしたよ。それは時代ですから仕方がないといえはいるでしょうが、若い人達のこれが当たり前と思っている事がとてもこわいです。きっとこの反動は来ると思います。どうかがんばってこの運動に取り組んでください。切にお願いします。(70代以上/女性/松阪市)

私の地域では毎週月・木曜日可燃ゴミ、第1・3・4水曜日は不燃ゴミの収集日です。にもかかわらず、色々なゴミを出す人がいます。三度、注意しても実行しない人は、ごみゼロ社会に無関心、無頓着な人です。ごみゼロ社会実現は、家族が協力して、個々が意識を持って行うより道はなしだと思います。(70代以上/男性/名張市)

毎日必ず出るごみ、朝目がさめてから夜床に入るまで本当にどれくらいのごみにかかわるのでしょうか。毎日毎日悩みます。道にいろんな場所に捨てられるごみを毎日拾ってはこれまた悩んでいます。法をきびしく、分別が細かくなりすぎてもマイナス効果になります。行政ばかりにまかせず、県民の一人一人の意識がもっと向上するよう何とかしなくてはと思っています。よろしくご指導をお願い申し上げます。(50代/女性/菰野町)

もちろん、ごみゼロ社会を創っていくという動きは、今後の地球においてもとても大切なことだと思うし、必然的に社会がそういう体制を作っていくんだと思うけれど、一番大切なのは、それを実行する個人一人一人だし、各々個人の心の持ち方に温度差みたいなものがあっては何も成功しないと思う。皆の気持ちを一緒のレベルにまで引き上げて、同じ気持ちの中でごみゼロ社会を創る動きに入れるとよいと思う。(20代以下/女性/松阪市)

昔の生活と違って、ずいぶんごみが増え、我が家も週2回の回収に結構な量を出していますが、ごみ集めの場の状態をみると、相当な量です。少しでも減らせることができると、それにかかる施設の維持もできますので、まず我が家からごみを減らす努力をしなければと思います。冷蔵庫の中味のチェックで捨てる物をなくしたいと思いました。乳児の孫がいますので、衣服は他の方からおさがりをいただいております。小さな子どもたちにもごみ問題・環境についての教育はとても大切だと思いました。(50代/女性/津市)

一人一人が資源を大切に人様に迷惑のかからないように決められたことを守って行きたいと思います。リデュース、使い捨て品や不用品をあまり求めず、物を長く使ってほしいです。(70代以上/女性/伊勢市)

何でもそうですが、自分だけやらなくても...と言う気持ちが積もればゴミも多くなると思うので、まず自分からと言う気持ちに変えていかなければと思います。ゴミ有料化も賛成ではありますが、不法投棄が増えるのではと心配になります。(30代/男性/伊勢市)

最低限のゴミ出しのルールを個人でよく守り、自覚を持って毎回の収集にそなえたいと思う。小さな事が大きな輪となり良い結果が得られる日が来ればよいと思う。(40代/女性/桑名市)

みんなが納得できるごみ減量にしていくにはみんなが協力をし、アイデアを出していかななくてはならないし、歩きながらごみをポイすて、車の窓からポイすてなどもなくさなければならぬと思う。(50代/女性/津市)

自治会で決められた場所にごみを出す様守っていても、他の地区から出勤の途中に捨てたり、しかも決められた区別なく捨て、結局「警告」の黄紙を張られ、残されている現状である。とても納得がいけない。特にアパート周辺は特にむちゃくちゃである。その状態が続くので他からも捨てにくるのである。おかしい。(40代/女性/津市)

鈴鹿市は比較的早くから分別収集を行っているが、各町の収集所に他の町から来て分別せずに捨てていく者がいるため、交代で朝早くから監視しなければならない状態が続いているのが現状、困っている。(70代以上/男性/鈴鹿市)

近年とみにモラルの低下が懸念されます。地道な啓蒙活動は大切ですが、「犬猫の糞」に見られるごとく、守る人は守る、守らない人は確信犯的に守らない、の二極化しています。やはりルールを破る人にはそれなりの罰則を課すべきだと考えます。善意と自覚を促すだけでは現実社会は良くなりません!!(60代/男性/青山町)

独身の多いアパートのごみ集積所では、分別されずに出されたり、リサイクル品は別の集積所を知らないのか面倒なのか、とにかくマナーが悪い。小学生の通学路でHな本がそのまま捨ててあったりする。家主や管理者に責任をもって2~3日おきに清掃してもらいたい。小学校低学年の総合学習でごみの分別の仕方を各家庭でどう実行しているか?と宿題を出された。親子でいい勉強になりました。もっと昔からごみについて考えていたら、今のマナーの悪い大人は減っていたかもしれませんね。(40代/女性/鈴鹿市)

まだまだごみ問題に対する意識が低く、自分の家さえきれいにすれば良いと考えている人が多いと感じる。収集日以外でも平気で出す。プラ容器や紙製品の収集ネットへごみを入れた後、口を開けっ放しにしてカラスの被害に遭うなど日常茶飯事だ。小さな住宅街で自治会もなく、気まづくなりたくないので注意できず、ただ見つけた時には掃除をする。馬鹿馬鹿しくなる。(30代/女性/鳥羽市)

特大の袋にダンボール、新聞紙、カップラーメン、もえないごみ、何もかもいっしょに入れて夜中に捨てに来る人がいるかぎりゴミはへりません。この様な人達をどの様に注意したらいいのかおたずねします。(60代/女性/菰野町)

ごみの減量化は、住民一人ひとりの意識化と努力によるものだと思う。住みよい環境づくりのために、考え、実践することが重要でしょう。同時に今の社会では、生産者の過剰包装や安価な容器などで、ごみをふやしている側面もあるように思います。そのためにも、生産者に対しても、ごみの減量化にむけた企業責任を果させることが重量なのではないでしょうか。(40代/男性/津市)

私の所においては、ゴミが有料化されている。そのためか道路に捨てる人が多く、観光地であるのに非常に汚れている現状である。自分の家はきれいにしているが、他のところは、どうでもいいといった自分勝手な人が多くなったことは非常にかなし。今の日本の現状をみると、新しいものを売ることに力を入れて、修理したり、リサイクルしたりすることに目を向けていない。商品は次ぎ次ぎと新しいものが出てくるが、修理を頼んでも品物がなく、結局新しい物を求めてしまう。消費者も考えなければならないが、企業においても自分の所で作ったものは最後まで責任をもってほしいと思う。(50代/女性/阿児町)

家電製品の不法投棄が多い。廃棄料金は絶対に販売価格に含むこと。そうでなければいつ返たっても不法投棄はなくなるし、結局税金で処理することになってしまう。(60代/男性/松阪市)

家庭内で減らす努力と平行して、家庭外、公園、道路へのごみのポイ捨てなどへの取り組みも重要と考えます。家庭内のごみが有料なら、ポイ捨てへの法的な罰金も必要。(50代/男性/桑名市)

私達の住宅地では、資源ごみ1ヶ月1回、可燃ごみ1週間2回、不燃ごみ1ヶ月3回収集されています。自治会を中心にごみ当番を作っています。資源ごみは1ステーションに4名、可・不燃ごみは1名で1週間交替で状況並びに処理等をノートに記載して次の当番に回していますが、最近はルール違反のごみ「分別できていない」又「町指定以外のごみ袋使用」等が数多くありましたが、だんだん少なくなってきています。

ごみゼロは無理でも少しずつでも少なくなることを願っております。(60代/男性/青山町)

家庭のごみを個人で減らすのは当然ですが、それ以前に買う時からその様にするべきだと思います。ごみを出さない様な包装の仕方とか販売の仕方を見るとか、家庭・販売者・生産者全ての人が考えなければ出来ない事だと思います。(50代/女性/名張市)

ごみを出さない商品作りを、又消費者も過剰な包装の品物を買わない心掛けが必要。又、リサイクル商品を利用する事も必要だと思います。コストがかかってリサイクル商品を作り、資源を大切にすることが大切だと思う。(50代/女性/三雲町)

### 3 経済活動

浪費をあおるような TV コマーシャル等、社会全体の意識を根底から変えないとどうにもならない。これからの社会を担う子ども達も浪費社会にどっぷりついている。(40代/男性/伊勢市)

特に身近で感じるムダなゴミは、生活に欠かせない食品類の容器、例えばしょうゆ、洗濯用の柔軟剤などが気になります。詰め替え用の商品も最近は増えましたが、まだまだ企業側も努力が必要だし、少々値段が高くなってもゴミを少なくするために消費者も負担すべきだと思います。(30代/女性/尾鷲市)

お店に並んでいる商品(食品関係)で、外包装と内包装と2重に商品が包装されていたりする。例えば、外側が紙箱で内側の袋包装を開けるというのは、実際ごみが増える。メーカーは商品を安全に売る考えがあるかもしれないが、もっと工夫してほしい。(20代以下/女性/津市)

各家庭において、ごみを減らす工夫や努力はとても大切だと思うが、消費者の立場で言えば、容器や包装材をもう少し簡易なものにする等の工夫をしてほしいと思う。(30代/男性/津市)

家庭から出るごみは資源別に分けているつもりですが、本来ならごみを出さない様にするのが一番だと思います。スーパー・店屋さんの包装、とても多く感じます。そちらの方の考え方をもう一度見直してほしいものです。(50代/女性/伊勢市)

スーパーマーケット等による商店が大型化し、家より距離的に遠いところに有ります。「普段着で、下駄履きで」といったところに店があれば買いためしなくても良くなり、買い物籠で少量買うことが出来、便利であると思います。(捨てることもなくなる)高齢化社会になりつつある現代とても必要だと思います。(津市)

設問にもありましたが、ごみを少しでも少なくするには昔の買い物の時等、今のようにパック式でなく計り売り、個体売り等をするか、販売方法を検討し直す事も必要かと思ひます。便利なだけが良いのではなく、自分達の考え方を見直すよう、どうすればそうなるかも考える必要があるように思ひます。拡大生産者責任、大賛成です。(60代/女性/松阪市)

どの商品にも、包装、ラップ etc、多すぎると思ひます。衛生面ではラップは必要ですが、二重にしかも底上げ。見た目が大事だとは思ひますが、度がすぎていると思う。きれいなものしか買わないという消費者にも問題があると思ひますが。(60代/女性/伊勢市)

私の市では今年より本格的に可燃ごみとプラと分別するに当たり、いかにプラスチックごみが多いかわかりました。食品等はトレーに盛り、ラップをかけて包装するといったやり方で、過剰包装だと思ひます。消費者も心掛けますが、もっと店側の方がごみゼロ意識を高めてもらいたいです。(60代/女性/桑名市)

企業が商品を作る段階で、消費者の手元にわたったとき、明らかにごみになると予想できるものが多すぎる。考えなければいけない事は、まず、ごみにならない商品作り。再生できるものなら責任を持って商品を回収するシステムを作るべきだ。ごみが出たからどうしようでは遅すぎる。(50代/女性/鳥羽市)

いろんな商品を購入するたびにむだな包装が多いと思ひます。必要なのは商品であって包装ではないので、もっと簡素な包装にするべきだと思ひます。(40代/男性/阿児町)

スーパーで野菜を買うと、ほとんどの物が袋に入っている。マヨネーズやケチャップも袋に入っている。まず、物を売る店、作っている企業が、ゴミを減らす努力をして欲しい。(40代/女性/南島町)

今一番多いプラスチック容器、製造元に問題があると思います。外袋の中に個包装、そして下に枠まで入っていますね。これって無くていいものではないでしょうか？(40代/女性/津市)

商品化する製造段階から、消費者である家庭でゴミとしてあつかわなくてもよい方法(対策)を検討いただきたい。ゴミの処理の有料化も負担が軽ければ取り組むべきと思う。(40代/男性/菰野町)

スーパー等、売り手側の包装とかをシンプルにすると考えてほしい。買ってきたものの、包装をゴミとして出すことが多いので、これを省略できれば、大分ゴミは減らせると思います。(-/-/)

勿論、消費者側も流されないで、考えて選ぶ買い方をしなければいけないと思いますが、生産過多で必然的にゴミを増やすような物作りの仕方を考え直してもらいたい。少し修理すれば使える、捨てるのにしのびない物があっても買い替えを勧めるような売り手側の考え方を、やめてもらいたいし、少しでも変えてほしいと思います。両者の歩み寄り、話し合いが必要だと思います。(60代/女性/津市)

ごみそのものを減らす様にすべきだと思います。昔に比べペットボトル、アルミ缶が増え、捨てられています。食品の包装も簡易にすべき。売る側も考えるべきだと思う。電化製品でも、直すより、買った方が安かったりするし、やはりむずかしい問題。真剣に取りくんでいかなければと思います。(40代/女性/津市)

むずかしい問題ではあるが、今まで言われてきたような過剰包装の禁止や、自前の買物袋の持参など、小さな事のみかさねが大事だと思う。(40代/男性/鳥羽市)

私の家のごみはプラごみが一番多い様に思います。スーパーで買って来た物、殆ど”プラごみ”になってしまいます。いつも”もっと簡易包装でいいのに…”。”とったり、時には”袋はいりません。シールを貼って下さい。”と言ってます。もっとスーパー自体でのごみ減量化に取り組んでほしいです。家で使う物に過剰包装は必要ありません。スーパー自体がごみを出さない努力をして欲しいです。(30代/女性/桑名市)

ごみゼロ社会と言いますが、昔と違い今の社会では、物を一つとってもごみにつながる品ばかりです。ごみゼロ社会と言うには、ごみになる物を少なく、出さない事です。スーパーに行っても皆パック包装されたものばかりです。買物をするにも、品物を買って来るよりもごみを買って来るようなものです。まずはそのあたりから改善しなければならぬのではないだろうか…。(50代/女性/菰野町)

ごみ分別が面倒だと思う包装があります。リサイクル紙とプラスチックごみがくっついていてごみなど。紙なら紙、プラスチックならプラスチックの包装にしてもらったほうが分別する気にもなります。重要なのは中の商品です。ぱっと見たとき包装してあるものがきれいだとすると、捨てるものになります。企業が「見た目で見せたい」のもわかりますが、これからは企業からごみゼロ社会を創って欲しいです。消費者は面倒ながらも分別したり協力しています。(20代以下/女性/桑名市)

ペットボトルやビンなどのふたやキャップやラベルなどがはがしにくく分別しにくいので、メーカーが分別しやすいようにした商品を販売すべきだ。(70代以上/男性/四日市市)

スーパーなどで買い物すると必ず商品には箱や袋がついている。見た目もあるけど、その時点ですでに大量のごみを発生させている。過大な包装こそごみだと思う。なかなかごみゼロという社会は創ることができないと思う。ごみ袋の有料でも生ごみをいつまでも家の中で保管することも出来ず、必ず袋に余裕があるまま出している。小さめのごみ袋を出して欲しい。(20代以下/男性/桑名市)

昔みないに量り売りがあると良いと思います。しょうゆ、酒など、一升びんを持って行くと入れてくれる事や、弁当箱持参で肉、魚を入れてもらうなどする事で、食品トレイも少なくてすむ。(30代/女性/阿見町)

資源ゴミの回収日には相変わらずペットボトル、パック詰め容器が多く、手軽さ優先の食生活の影響もある様です。そこで行政にお願いしたいのですが、ペットボトル、パック容器をある程度規格化してほしいと思います。形、大きさ等、決まっていればラベルを外したり、折り重ねたりしやすく、又、嵩ばることもなく、

住民ももっと協力しやすくなると思います。月一回の回収では、どこの家庭でも置き場所に困るので、いつでも持って行ける様、資源ゴミステーションを設置してほしいです。(50代/女性/松阪市)

消費者に対してごみ問題(分別など)を提示するだけでなく、生産者側、販売者側に対してもごみ問題に対しての意識の強化が必要ではないかと思います。お中元、お歳暮、通販などは特に過剰包装が目立つ様な気がします。現在ごみ問題が深刻になってきている中、まだまだ見た目重視の傾向があるのではないのでしょうか？もっとシンプルに…私が子供の頃の様(60～70年代の)それ以前の時代の原点に戻って考える点もある様な気がします。生活が便利になる程、ごみも多くなりますよね。(40代/女性/菰野町)

以前電化製品を修理に出したら、部品を今製造していないので修理出来ないと言われた。リサイクルばかりでなくリユースにより力を入れては？部品を足したり換えたりするだけでバージョンアップできるようにすればいいと思う。傘も昔は修理して使っていたが、修理屋もなく安くなった事もあり新しく買うようになった。衣類にしても、おむつだってそう。古い物が恥ずかしいと思う使い捨てを何とかするべきだと思う。(30代/女性/尾鷲市)

安易に新品を出さないでほしい。子供に学校で環境の事、自然、命の大切さなどの教育を熱心にしてほしい。全ての製品のリサイクルを可能に。使い捨ての時代は終わり地域全体で。(30代/女性/菰野町)

簡易包装などにより、ゴミ発生を少なくすることが分別手間などを考えるも最も重要だと思います。しかし、これらの方法には「貧乏くささ」が常に付きまとい一般市民が取り組む上での障害になっているような気がします。「貧乏くさくない」ゴミ減量化の方法があれば、大ヒットするのではないのでしょうか？(20代以下/男性/菰野町)

家電製品等の修理代が高く、それに反して家電品の価格が下がっているため、小さな家電品(ポット・蛍光灯・トースター等)なら、迷わず新品を購入してしまうので、修理代をもう少し安くしていただきたい。昨年、扇風機の羽根が割れたので、部品で羽根だけの購入をお店にお願いしたところ、お店の方が、このサイズなら新規購入のほうがお得ですよと言われました。お店の方がもう少し修理や部品購入をすすめるような行動をしていただきたいです。(40代/女性/桑名市)

電気商品がこわれて修理に出しても新しい品物を買った方が得などと言って新品を買ってしまいます。メーカーもどんどん修理をします(という)様なサービスをしてもらいたい。(-/-/)

私の家庭から排出するゴミの多く(自分の責任以外でたまるもの)は、雑紙関係である(他はゴミ分別で対応している)。業者(案内、チラシ、広告、通販等)からの強制的に送付されてくるものが多い。対処方法を考えて下さい。”我が家は広告は一切辞退出来る”ことが出来れば、ゴミは大幅に減少すると思います。(50代/男性/青山町)

包装紙、広告チラシが多すぎる。新聞本紙よりチラシの方が多い。(70代以上/男性/鳥羽市)

新聞広告の多さに閉口しています。ひとつの新聞に入れる広告の枚数を制限したり、広告ゼロの日があってもいいなと思っています。白紙にせず、組み合わせれば枚数は減ると思います。(50代/女性/伊勢市)

新聞のチラシが毎日多いのにびっくり。紙がもったいない様に思う。(70代以上/女性/南島町)

家庭ごみは分別するようにして、それが大分定着してきていますが、事業系のごみは分別しておいても、持っていくときには全部同じパッカー車の中に放り込んでいます。事業系のごみ分別をもっと厳しくしてもらわないと、分別している意味がないと思います。(40代/女性/青山町)

簡易包装の推進。ファーストフード店の店内消費分の皿、カップの利用、推進。(40代/男性/菰野町)

市町村の収集ごみとして出さずに、料金を支払って業者の人が収集していく商店とかがありますが、そういうのはごみの分別がされていなくてもよいと聞きました。しかし最終、処理場へ持っていかれるのは同じ場所なのにお金さえ支払えば分別しなくてもいいと言うのはおかしいと思います。どういう立場であろうと

市町村で決められたことは全員に徹底すべきだと思います。(40代/女性/伊勢市)

特別に発生したごみ(雑草等)の処理の方法、直接処理場へ持っていくなどが、なじみがなく利用しにくい。事業所ごみを一般ごみに出している所が多い(当社は業者に頼んでますが、月7~8万円かかってます)。(40代/男性/鈴鹿市)

#### 4 環境学習、広報・啓発

保育園、幼稚園、小中学校など、小さい時からゴミの分別やリサイクルについて関心のもてる授業などを行なう。お年寄りも分別がわからない様なので地域で分別のしかた等親切に教えていく。(40代/女性/四日市市)

消費者だけが参加するのではなく商品を作っている企業、コンビニ、店舗など、多くの人たちで創らないと限界があると思います。主婦の立場として買い物をする際、分別しやすい商品を探してしまいます。(分別作業は手間のかかるものもあるので)このままごみが増えていくとどうなるだろうといつも思っていました。が「ごみゼロ社会」を作るには小さい子どもの頃からの親の姿も大切。なんでも責任は家庭、とまでは言い過ぎかもしれませんが、子どもたちにも教育の中で「自分が出したごみの行く先」がどうなるのかを見せ、大人が考え、行動することが大切だと思います。(40代/女性/菰野町)

ごみゼロ対策は、ごみそのものの発生を減らすことにもっと知恵を絞るべきで、スーパーから買物して帰って来た商品の包装を解くと、買って来た以上のボリュームのごみというか廃棄物が出る。この異常な状況を、もっと真剣に考えるべきだ。過剰な包装、過大な広告物、こんな社会でゴミゼロの意識が芽生えるはずもなく、まずは根本的な物を大切にするという教育というか意識付けからじっくりと取り組むべきだ。(50代/男性/青山町)

色々な物が豊富になってきたので、子供達もたくさんの品を買い与えられ、失っても物価が安いせいもあるのか、新しい品をすぐ買う。もっと我慢する事も教えるとよい。スーパー等も昔の様に紙などで包み、トレーやパックを少なくするとよいと思う。(60代/女性/津市)

これからの社会を担う子どもたちへの指導を学校教育を始め、家庭でも行っていくことが大切かと思う。いい大人が平気でゴミを捨てる姿は、見ていて、この人の教養と生活環境を疑います。悲しい事です。大人ひとり一人がもっと自覚を持ち住みよい環境づくりがしていける社会を望みます。(30代/女性/鳥羽市)

人間が生活してゆくには、ごみゼロ社会は不可能です。ただ、通念としては限りなくゼロに近づける努力は必要です。一人一人のモラルの徹底とか、小さい時からの教育によって、各自の取り組み方が変わってくるのでは、このままだといけないという危機感がまだまだ少な過ぎるのでは。(40代/男性/名張市)

ごみ問題は生活に密着しています。過剰包装をなくすように各販売会社に働きかけることも重要だし、私達の意識改革するための講習や働きかけをプランすべきです。地球環境の温暖化は深刻だし不安になります。私達の子孫のことも考えて資源の無駄遣いはやめなければならない。物あまりの今の日本の現状を当たり前とは思わず、世界の貧困な人々の生活を思えば、贅沢を慎む気持ちを持つことが出来るように、幼児の頃からの教育、育児が重要だと思います。(50代/女性/鈴鹿市)

長い目でみて、学校、家庭などで小さな子供のころからのごみについての教育をしっかりする。楽しく覚えていける様に！分別などもしつけの中に取り入れて親が覚えさせていけたらと思う。(50代/女性/津市)

私たちの町内に限って言えば各組当番制で紙、プラ、ビンの収集日には立会いしてありましてその時汚れたプラや紙、ビンなどきれいに洗ってくる人もいますが、そうでない人もいて困ります。注意することで人間関係がおかしくなることも多々ありこの様なことは、自治体の広報などで充分指導して欲しいと思っています。(70代以上/男性/鳥羽市)

ごみゼロ社会を実現する為に、もっと県民にアピールすべく、努力をしていただきたい。難しい横文字ばかり使わないで、老人にも子供達にも判り易い単語を使って下さい。(60代/男性/名張市)

資源ごみ回収は地域で進んできてはいるが、中身が入ったままや、汚れたままのごみを見かける。一人一人の意識がまだ薄いのが原因ではないでしょうか。広報やリサイクルセンター内での掲示を増やして理解してもらおうとよいのではないのでしょうか。(30代/女性/三雲町)

リデュースとか英語での言葉が多すぎ、分りにくいと思います。もっと日本語で誰でも分かる言葉を使えばと思います。(50代/女性/鳥羽市)

ごみ問題は身近なことなのに、けっこう無関心な人が多い。もっと行政の方、マスメディアなども積極的に取り組み啓発を図る必要があると思う。分別などは企業など品物を売る側にも更に努力してもらって再利用・再生利用をしやすい型にするなど工夫してほしい。次の世代に何もかもしわ寄せがいく社会では困る。(50代/男性/青山町)

## 5 分別・収集

以前からゴミの分別などはある程度自分なりにやって来ましたが、最近、自治会が力を入れて取り組む様になり、一層そういう気持ちも強くなり、微力ながら協力したいと思っています。(50代/女性/四日市市)

分別を始める前は大変だと思いましたが、それぞれに分別箱を作ったら毎日一日分ずつ入れると数分もかからなかったので苦にならないですよ。できるだけトレイや包装されてないものを買っています。(40代/女性/熊野市)

分別をしなくても処理できる方法を考えてほしいと思います。たとえば、何でも燃やせるような焼却炉を作るとか。まとめてごみを集めて、機械で分別できるようなところを作っていただきたいと思います。(40代/女性/鳥羽市)

ごみの分類はのみこんでしまえば楽なものです。(70代以上/女性/伊勢市)

分別がごちゃごちゃしていてわかりにくいのでわかりやすく、簡単に出来る方法があればよいと思います。(60代/女性/松阪市)

自治会でゴミ減量推進委員を4年間やりました。当初ゴミの分別に色々な意見がありましたが、会合の度にお話しし、理解していただき今では当地区ではゴミの分別には何の問題もなくなりました。要は皆で話し合うことです。(70代以上/男性/伊勢市)

ごみの分別も、慣れてしまえば、さほど苦にはなりません。でも、企業の側にも、もっと分別をしやすくする努力をしてほしいと思います。最近は調味料等のピンのキャップなど、はがしやすくできている商品もありますが、まだまだもっと改良してほしいと思うので、行政の側から要望してほしいと思います。例えば、500mlのペットボトル等のラベルをはがすための点々はありますが、ほとんど役に立っていません。実用的にしてほしいです。(30代/女性/伊勢市)

分別が難しいものもあるし、地域によってあまり分別しなくてもいい所もあるそうなので頑張っても意味があるのかと思う時もあります。全国统一して自分たちのやっていることに意義が見出せるようになるといいのですが...。(40代/女性/四日市市)

可燃性ゴミの中にも、もっと時間をかけて分類すれば、資源となるものが含まれている様に思う。この点をもう少し考えれば(時間をかければ)更に資源として活用出来るものが得られ、通常のゴミの日に出されるものが減るのではないのでしょうか。(70代以上/男性/松阪市)

ゴミの分別は面倒だけど、限りある資源なので、一人一人が責任を持って、やるべきだと思う。家では、子供にも分別はさせています。(30代/女性/三雲町)

ごみの分別がわかりにくい時にごみごとの項目で引けるごみの出し方テキストの様なものがあればわかりやすい。例として 卵パック プラスチック資源ごみ 資源ごみの出し方 出す曜日など 電池 回収箱 どこにあるかなど(20代以下/女性/松阪市)

同じ家庭用ごみなのに市町村によって分別の仕方が違うのはいかなるものでしょうか。県で統一した分別方法を指導して欲しい。不法投棄には厳重なる罰則を与えること。(60代/女性/-)

菰野町の町民です。月一度資源物回収の日があります。ビン、缶、ペットボトル、プラスチックなどラベルを取り、中、外をきれいに洗い何十種類に分けて、ちょっと厳しいかなと思いますが、皆守って出しております。どうして他の市町村は出来ないのかなと思います。やれば出来ます。ぜひやってもらいたい。(60代/男性/菰野町)

家庭から出るごみについてはすごく気をつけ分別したりして、ごみがまた資源となって有効利用できることにやりがいがあると思っています。が家の横には田んぼがあり、かん、犬のふん、ふんのあとのティッシュ、タバコ、タバコの空箱、コンビニで買った商品を食べた後の袋などいっぱい捨てられています。本当にそれらを拾いながら悲しくなることがあります。大人のマナーの悪さにあきれるたびに、子どもたちにはしっかりした教育が小さいうちから必要だと思います。(40代/女性/松阪市)

私の住む町では資源ごみの分別で例えばビンのごみは紙のラベルをきちんとはがさなくてはなりません。かなりはがしづらい物もあり、かなり労力が必要と思いつつも時間かけても分別している。大都市のように単に燃えるごみ、燃えないごみのみの簡単な分別地域もあり、同じ国民でありながら住むところにより違いすぎる様に思います。全国统一してしっかり分別していく制度が確立できれば国民の意識ももっと変わるのではないかと思います。(30代/男性/菰野町)

不燃物を出すとき、カゴの中へ放り込んでぐしゃぐしゃにして、後でリサイクルするのでしょうかカゴの中へ入れる少し前に並べてもらえればこの不燃物、持ち帰って家で使いたいと思った事が多々あります。カゴの中に無造作に放り込んである為、持ち帰れなかったことがある人も少なくないと思います。(30代/男性/三雲町)

住民の協力、努力も必要と考えますが、各企業側、店側も同じように包装の仕方、パック詰め方法など、なるべく、家庭のゴミを増やさないような、企業努力も考えていただきたいと思います。また、1ヶ月1度のリサイクルの日までゴミをためておくことができません。もっといろいろなお店で回収をしていただけたらと思います。老人のお宅では、ゴミをリサイクルの日に持っていけない方もおられます。そのような方に対しての回収方法を分りやすくして下さい。みなさん不安に思っている方がみえます。(30代/女性/菰野町)

曜日、日を指定した分別収集では都合が悪いと捨てられない(収集に出せない)場合があるので、地域ごとにいつでも収集可能なリサイクルステーションを作って収集する。(20代以下/男性/鳥羽市)

最終的にはプライバシーの保護について危惧する意見も出るでしょうが、それは見当違い。『ごみ袋に固有の番号若しくは名前を入れて』分別して出す。現地点では分別もせず知らぬ顔して放り出したものの勝ちでは...?(60代/女性/津市)

地域によって異なるかもわかりませんが、分別ごみの集積所があふれている事が多く、困る事があります。出す人がごみを少なくする努力が必要だと思いますが回数が少ないように思います。一部地域には、いつでも出せる所があると聞きます。家族の多い少ないで、ずいぶん異なると思います。そして老人のみの家庭や一人住まいの人にとっては分別することが困難な場合があると思われれます。近所の手助け、自治会の手助けやボランティアが必要なケースがあると思います。(40代/男性/伊勢市)

とにかく毎日家に入って来る紙類が多くて...。もっと多く回収ルートを作っていただけたらと思う。1ヶ月も家に置いておくのがいやで、つい可燃ゴミに出してしまうことがあります。(50代/女性/青山町)

資源ゴミの回収日を多くしてほしい。回収場所が遠いことも分別した物を持って行く負担が多いので困る。

長く続けていけるように毎日の生活の中にとけこめる回収を目指していただきたい。(30代/女性/松阪市)  
私の区では可燃及び不燃ごみを出すに当たり平成14年1月から袋に名前を書いて出している。できるだけ資源ごみが入らないように思い実施している。(-/ /名張市)

資源ごみの収集日を多くしてほしい。今は資源ごみの方が多いのに。収集日まで置いておく場所がなく、ついプラ袋・卵のパック・牛乳パックなどは可燃ごみに捨ててしまう。(20代以下/男性/三雲町)

全てにおいてリサイクルは大賛成です。分別ごみも面倒だと思いつつも、リサイクルする為に頑張っています。ただ、回収日が月に1回、2回と少ないので、その間集めて置く場所があるので、それだけがちょっと…という感じです。ごみゼロの為に頑張ります。(40代/女性/熊野市)

ゴミ収集(不燃ゴミ・可燃ゴミに関してのみ)車に関して、各自門の前(家の前)に出せるようにしてほしい。収集する際、各自が自覚して出していけば各家庭ごとの責任感も出てくると思います。(まちがった出し方をしていけばその家庭のゴミは収集しない)現代社会はゴミに対する意識が低下しているのでゴミゼロ社会運動の意義等をもっと促してほしい。生ゴミ用回収システムを作してほしい。(40代/女性/青山町)

可燃物より不燃のごみの方が多くなっている今、ごみ回収回数は不燃の方を多くしてほしい。過剰包装をやめてほしい。(50代/男性/名張市)

ごみ集積所に出すと、ルールを守らなかったり、分からない出し方をする事になるので、回収車が一軒ずつ回り、ルール通り出してないごみは持っていかない様にすれば、分別の意識が高くなると思う。(30代/女性/四日市市)

地区の不燃物収集は月一回の朝一時間のみで、町は月二回9時～16時です。子供が小さいので、町のリサイクルセンターまで行きますが、遠いですし、もっとみんなが気軽に捨てることのできる方法を考えてほしい。スーパーなどが回収してくれているのもとても便利。買い物ついでにいつでも捨てられます。家にためておかずすみずみ。トレイ、ペットボトル、アルミ缶、牛乳パックの回収がほとんどですが、空ビンや蛍光灯、電池など回収の種類を増やしていただきたいです。スーパーでの回収をもっと広げていただくと、今まで以上に助かります。(30代/女性/三雲町)

いつでも資源ごみが分別して出せる場所があればいいなと思います。(30代/女性/三雲町)

私の住んでいる町では、缶・びん・紙類の分別は月1回の朝だけです。出来ればいつでも出せる分別ステーションを設置して貰えるととてもありがたいです。(30代/女性/尾鷲市)

資源ごみを回収する施設が市の中に数多くあれば、市民は最大限に利用すると思う。(50代/男性/桑名市)

お店によって火・水と2日間プラスチック類と紙類の回収をしています。とても助かっているのですが、出来ればもう1日増やすか、火と金のように日にちをずらしていただければ、可燃ごみは減ると思います。あと、役場とかコミュニティーセンターにびんとペットボトルの集積所を作ってほしい。宜しくお願いします。(30代/女性/菰野町)

野菜くず等を狭い庭に埋めてみた事もありますが、なかなか土には返らず、場所もなくなり、リタイア。洗剤、シャンプーなど詰換用を買うようにしているが、特売品などは本体共の物の方が多く、つい要らない本体を買ってしまう。ごみを減らしたいとはいつも思っていますが、月2回収のプラスチックゴミの多さには驚きと共にうんざりしてしまいます。事業者の包装等をもっと簡素化して欲しいと思います。桑名市の資源ゴミ、スーパーの駐車場で回収していただけるのは本当にありがたいです。地域のステーションは朝時間が短くて忙しいので、分別分別と気にはかけています。面倒ですが、毎日の暮らしの一部にしなくてはと家族みんなが思っています。(40代/女性/桑名市)

トレーなどの回収をしていただきたい。ペットボトルもスーパーなどで手が届く出来れば助かります。スーパーさんが商品を売るならば、入れ物を回収する必要はありえると思います。(-/ /)

地域・学校の催す廃品回収は PTA 中心にリサイクル運動として定着し、回収による費用もまともれば相当の費用が還元できるし、ありがたいことだ。もっと推進してやって欲しい。(60 代/男性/桑名市)

町の中にいつでも分別処理できるステーションを作ると良いと思う(いつもきれいに維持された)。家の中に置いておくのは結構大変です。今、公園とかが分別の場となっていますが、見た目にはあまり美しいとは言えない状況であると思います。やはり、大型スーパーなどでも収集する仕組みづくりが必要ではないでしょうか。それと、高齢化社会を迎えて、必要に応じた訪問収集も今後必要になると考えます。便利な世の中になった反面、循環型社会のシステムの実現を望みます。(30 代/男性/伊勢市)

## 5. アンケート調査原票

### 「ごみゼロ社会」をめざす県民アンケート調査

#### ○はじめに

「環境の世紀」といわれる 21 世紀になり 4 年半が経過しました。この間、暮らしのさまざまな場面で「環境」や「エコ」に触れる機会が多くなってきました。なかでも、増え続けるごみとその処理は、地球温暖化や資源の枯渇など、私たちの生活様式や経済活動に大きな問題を投げかけています。

三重県では現在、ごみを出さない暮らし方や事業活動によってごみを減らし、出されたごみは資源としてできるだけ利用する「ごみゼロ社会」を目指し、県民参画のもと「ごみゼロ社会実現プラン」を策定しています。

この調査は、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や、実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、県民のみなさんに普段の取り組みや考えをお聴きするものです。

#### ○調査対象

このアンケート調査は、地域特性などを考慮して選んだ県内 15 市町村から 500 名ずつ、合計 7,500 名の方を無作為に選びお送りしています。

#### ○回答方法

回答はこの調査票に直接記入してください。

当てはまる番号を 1 つ選ぶもの、複数選ぶもの、文章で記入するものなどいろいろな問いがあります。設問をよく読んでお答えください。

#### ○回答の返送方法

同封の返信用封筒を使い、切手を貼らずまた名前を書かずに、平成 16 年 9 月 24 日（金）までに投函ください。

#### ○プライバシー

返送いただいた調査票はコンピュータを使って集計し、その結果を基礎資料として活用することになります。したがって、記入いただいた調査票をそのまま活用したり公表することは一切ありません。また、集計の段階で個人を特定することはありません。

なお、返信用封筒の郵便番号下に印刷してある番号、あるいは返送先下に印刷してあるバーコードはすべて、郵便局が返送先を判断する時に用いるもので、個人を特定するものではありません。

#### ○問合せ先

##### [調査内容について]

株式会社循環社会研究所 担当：勝畑（かつはた）、小山 電話 03-5363-0183



##### [三重県担当部署]

三重県環境森林部ごみゼロ推進室 電話 059-224-3126

◎ 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動についてお聞きします。

問1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は1つずつ）

(1) 家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う    | 2 少しそう思う      |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

(2) ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う    | 2 少しそう思う      |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

(3) 商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う    | 2 少しそう思う      |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

(4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う    | 2 少しそう思う      |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |

問2 次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は1つずつ）

(1) 特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 よく当てはまる    | 2 少し当てはまる     |
| 3 あまり当てはまらない | 4 まったく当てはまらない |

(2) 買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 よく当てはまる    | 2 少し当てはまる     |
| 3 あまり当てはまらない | 4 まったく当てはまらない |

(3) お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 よく当てはまる    | 2 少し当てはまる     |
| 3 あまり当てはまらない | 4 まったく当てはまらない |

(4) 一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 よく当てはまる    | 2 少し当てはまる     |
| 3 あまり当てはまらない | 4 まったく当てはまらない |

問3 食べ物のごみについてお聞きします。(〇は1つずつ)

(1) 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 よくある  | 2 たまにある  |
| 3 あまりない | 4 ほとんどない |

(2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 よくある  | 2 たまにある  |
| 3 あまりない | 4 ほとんどない |

問4 次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？(〇はいくつでも)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1 循環型社会       | 2 ごみゼロ社会           |
| 3 リデュース       | 4 リユース             |
| 5 リサイクル       | 6 3R(さんアール、スリーアール) |
| 7 デポジット       | 8 エコライフ            |
| 9 スローライフ      | 10 グリーンコンシューマ      |
| 11 容器包装リサイクル法 | 12 家電リサイクル法        |
| 13 排出者責任      | 14 拡大生産者責任         |
| 15 どれも知らない    |                    |

問5 使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？(もっとも考えの近いもの1つに〇)

- |   |
|---|
| 1 どちらかという、便利で暮らしやすく、特に疑問は感じていない           |
| 2 どちらかという、将来のことを考えると、「このままでいいのか」という疑問を感じる |
| 3 よくわからない                                 |

問6 ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？

(〇は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 とてもそう思う    | 2 少しそう思う      |
| 3 あまりそうは思わない | 4 まったくそうは思わない |



◎ 現在行っているごみ減量やリサイクルの取り組みについてお聞きします。

問7 ごみを減らす取り組みの中でどれが大切だと思いますか？  
(それぞれの枠内に番号を記入)

- 1 ごみそのものの発生を減らすこと
- 2 まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと
- 3 ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること

○をつけず、右のらんに番号を記入してください。

最も大切だと思う⇒	
次に大切だと思う⇒	

問8 あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町村の収集に出している品目はどれですか？(当てはまるものすべてに○)

- |         |         |              |
|---------|---------|--------------|
| 1 新聞    | 2 雑誌    | 3 牛乳パック      |
| 4 古布や衣類 | 5 食品トレイ | 6 ペットボトル     |
| 7 アルミ缶  | 8 スチール缶 | 9 空きびん       |
| 10 蛍光管  | 11 電池類  | 12 当てはまるものなし |

※市町村によっては資源ごみとして扱っていない品目が含まれています。

問9 あなたのご家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？(当てはまるものすべてに○)

- |         |         |              |
|---------|---------|--------------|
| 1 新聞    | 2 雑誌    | 3 牛乳パック      |
| 4 古布や衣類 | 5 食品トレイ | 6 ペットボトル     |
| 7 アルミ缶  | 8 スチール缶 | 9 空きびん       |
| 10 蛍光管  | 11 電池類  | 12 当てはまるものなし |

※市町村によっては店頭で回収していない品目が含まれています。

問10 あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収(集団回収)に出している品目はどれですか？(当てはまるものすべてに○)

- |         |         |              |
|---------|---------|--------------|
| 1 新聞    | 2 雑誌    | 3 牛乳パック      |
| 4 古布や衣類 | 5 食品トレイ | 6 ペットボトル     |
| 7 アルミ缶  | 8 スチール缶 | 9 空きびん       |
| 10 蛍光管  | 11 電池類  | 12 当てはまるものなし |

※市町村によっては廃品回収されていない品目が含まれています。

問11 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？(○は1つ)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1 1時間以上         | 2 30分～1時間くらい |
| 3 10分～30分くらい    | 4 数分程度       |
| 5 ほとんど時間はかけていない |              |

問12 次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？

(当てはまるものすべてに○)

- 
- 1 台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている
  - 2 台所ごみを、市町村の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している
  - 3 台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている
  - 4 紙くずなどを庭や畑で焼却している
  - 5 これらいずれもやっていない

問13 あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？(○は3つまで)

- 
- 1 分別ルールが複雑でわかりにくい
  - 2 市町村毎にルールが異なり覚えにくい
  - 3 次の収集日までごみを保管しておく場所がない
  - 4 収集日時が限られている
  - 5 ごみ集積所(ステーション)まで遠い
  - 6 洗ったり束ねたり手間がかかる
  - 7 その他 (具体的に )

◎ 今後の方策に対する意向についてお聞きします。

問14 今後、あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？(○は当てはまるものすべて)

- 
- |              |                |            |
|--------------|----------------|------------|
| 1 調理くず       | 2 食べ残し         | 3 賞味期限切れ食品 |
| 4 紙容器、紙袋や包装紙 | 5 新聞           | 6 チラシ      |
| 7 雑誌         | 8 段ボール         | 9 紙パック     |
| 10 古着類       | 11 ペットボトル      | 12 レジ袋     |
| 13 プラスチック容器  | 14 びん          | 15 缶       |
| 16 粗大ごみ      | 17 その他 (具体的に ) |            |

問15 ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？(○は3つまで)

- 
- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1 市町村の広報や分別マニュアルを通じて   | 2 市町村のホームページを通じて |
| 3 公共施設などでのポスターやチラシを通じて | 4 地域の回覧板や掲示物を通じて |
| 5 防災無線や広報スピーカーで        | 6 住民説明会を通じて      |
| 7 新聞などマスコミを通じて         |                  |
| 8 その他 (具体的に )          |                  |

問16 仮に、いつも買い物をするお店で、「レジ袋は1枚10円です」といわれたとします。次回の買い物から、あなたの行動はどう変わると思いますか？（○は1つ）

- 1 少しらいお店が遠くても、ただでレジ袋がもらえる別のお店に足を運ぶと思う
- 2 少しらいめんどうでも、買い物袋を持参するなどできるだけレジ袋を買わなくて済む工夫をして、同じお店で買い物をすると思う
- 3 1枚10円くらいならレジ袋を買って、これまでのお店で買い物をする

※ ごみの有料化についておたずねします。

増え続けるごみを減らすため、ごみ(可燃ごみ)の排出に料金を課す市町村が増えています。

問17 税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか。（○は1つ）

- 1 ごみ処理は公共サービスなので、今のまま税金で処理するのがよい
- 2 最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい。
- 3 ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担するしくみとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい
- 4 その他（具体的に
- 5 よくわからない

問18 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？（○は1つ）

- 1 賛成
- 2 どちらかという賛成
- 3 どちらかという反対
- 4 反対

問19 ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？（○は特に重要と思うこと3つまで）

- 1 ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること
- 2 家計への負担が少ない料金とすること
- 3 ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること
- 4 一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること
- 5 有料化によって得られた成果をきちんと説明すること
- 6 ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること
- 7 ルール違反(不法投棄など)を許さないこと
- 8 有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること
- 9 有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途(福祉や教育等)に使うことを検討すること
- 10 その他（具体的に



※ ごみ処理を有料化した市町村では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。

問20 有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？（○は1つ）

- |   |                      |   |               |
|---|----------------------|---|---------------|
| 1 | ごみ袋大(45リットル)が1袋10円まで | 2 | ごみ袋大が1袋50円程度  |
| 3 | ごみ袋大が1袋100円程度        | 4 | ごみ袋大が1袋200円程度 |
| 5 | それ以上でもいい             |   |               |

問21 あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店（リサイクルショップ）ができたとします。この店がどんな店だったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？

（○は3つまで）

- |   |                 |   |                 |
|---|-----------------|---|-----------------|
| 1 | 店舗がきれい、明るい      | 2 | 取り扱っている商品がきれい   |
| 3 | 商品の品ぞろえがある      | 4 | 商品が探しやすい        |
| 5 | 品質など信頼できる       | 6 | 販売金額は安く、買取金額は高め |
| 7 | その他（具体的に        |   |                 |
| 8 | どんな店でも足は運ばないと思う |   |                 |

問22 あなたのご家庭から出る可燃ごみに限っていえば、努力によりどれだけ減らせると思いますか？（○は1つ）

- |   |         |   |            |
|---|---------|---|------------|
| 1 | 10%未満   | 2 | 10%～30%    |
| 3 | 30%～50% | 4 | 50%～80%    |
| 5 | 80%以上   | 6 | これ以上は減らせない |

### ◎ 「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加についてお聞きます

※ 県では現在、暮らしや事業活動のあり方を見直し、ごみの出ない、また出されたごみはできるだけ資源として利用される「ごみゼロ社会」を目指して、「ごみゼロ社会実現プラン」を作っています。

問23 「ごみゼロ社会実現プラン」作りへの県民参加について、あなたの意見をお聞きます。（○は1つずつ）

(1) プラン作りには、できるだけ多くの県民が参加することが必要だと思いますか？

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う    | 2 | 少しそう思う      |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

(2) プラン作りに県民が参加すれば、県民の要望や意見を反映できると思いますか？

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う    | 2 | 少しそう思う      |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

(3) プラン作りに県民が参加したほうが、ごみ減量に県民の協力が得られやすいと思いますか？

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う    | 2 | 少しそう思う      |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

(4) プラン作りに県民が参加すれば、実行しやすいごみ減量のルールが作れると思いますか？

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う    | 2 | 少しそう思う      |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

(5) プラン作りに県民が参加すれば、みんなが納得できるごみ減量のルールが作れると思いますか？

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | とてもそう思う    | 2 | 少しそう思う      |
| 3 | あまりそうは思わない | 4 | まったくそうは思わない |

問24 あなたご自身は「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参加の催しに参加したいと思いますか？（○は当てはまるものすべて）

- |   |                  |   |                     |
|---|------------------|---|---------------------|
| 1 | ごみゼロの座談会に参加したい   | 2 | 自分の意見をFaxなどで県に寄せたい  |
| 3 | ごみゼロの講演会に参加したい   | 4 | プランに関する情報を広報などで読みたい |
| 5 | アンケートなどに協力したい    | 6 | プラン策定委員会などを傍聴したい    |
| 7 | その他(具体的に         |   | )                   |
| 8 | いずれにも参加したいとは思わない |   |                     |

◎ あなた自身や世帯についてお聞きします。

問25 いっしょに住んでいる家族の人数は？（○は1つ）

- |   |    |   |      |   |    |
|---|----|---|------|---|----|
| 1 | 1人 | 2 | 2人   | 3 | 3人 |
| 4 | 4人 | 5 | 5人以上 |   |    |

問26 あなたの年齢は？（○は1つ）

- |   |       |   |     |   |       |
|---|-------|---|-----|---|-------|
| 1 | 20代以下 | 2 | 30代 | 3 | 40代   |
| 4 | 50代   | 5 | 60代 | 6 | 70代以上 |

問27 性別は？（○は1つ）

- |   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| 1 | 女性 | 2 | 男性 |
|---|----|---|----|

問28 あなたのお仕事は？（○は1つ）

- 
- |           |             |         |
|-----------|-------------|---------|
| 1 会社員・公務員 | 2 パート・アルバイト | 3 農林水産業 |
| 4 自営業     | 5 家事・家事手伝い  | 6 学生    |
| 7 無職      | 8 その他       |         |

問29 お住まいの市町村は？（○は1つ）

- 
- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1 津市   | 2 四日市市 | 3 伊勢市  |
| 4 松阪市  | 5 桑名市  | 6 鈴鹿市  |
| 7 名張市  | 8 尾鷲市  | 9 鳥羽市  |
| 10 熊野市 | 11 菰野町 | 12 三雲町 |
| 13 南島町 | 14 阿児町 | 15 青山町 |

問30 お住まいの形態は？（○は1つ）

- 
- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 1 戸建住宅    | 2 ワンルームのマンションやアパート |
| 3 学校や会社の寮 | 4 その他のマンションやアパート   |
| 5 その他     |                    |

問31 お住まいの周辺の様子は？（○は1つ）

- 
- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 1 住宅地         | 2 住宅とお店や工場などが混在している地域 |
| 3 住宅が点在する農山漁村 | 4 その他                 |

問32 次のうち、あなたの家庭に当てはまることはありますか？（○は当てはまるものすべて）

- 
- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 夫婦共働き        | 2 就学前の乳幼児がいる |
| 3 小中学生がいる      | 4 家族は全員60歳以上 |
| 5 いずれにもあてはまらない |              |

問33 あなたの住んでいる地域では、自治会や子ども会などの地域活動は盛んですか？（○は1つ）

- 
- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 とても盛ん    | 2 比較的盛ん     |
| 3 あまり盛んでない | 4 まったく盛んでない |

問34 あなた自身は家庭でごみの分別にどうかかかわっていますか？（○は1つ）

- 
- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 家族の中心になって熱心に分別   | 2 家族の中心ではないがごみは分別 |
| 3 ごみの分別にはあまりかかわらない |                   |

●ごみゼロ社会を創っていくにあたってご意見やご要望、アイデア等あれば、自由にご記入ください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----



質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、どうもありがとうございました。

なお、三重県のごみゼロホームページ (<http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomi0/zero/>) もぜひご覧ください。ホームページには、「ごみゼロ社会実現プラン」の策定状況や県民参加の催しに関する情報を掲載しています。

?

トピックス ～次の言葉の意味、知ってますか？～

**循環型社会** ごみの発生そのものを減らし、出たごみはできるかぎり資源として有効利用しうえでごみの適正な処理を行うことで、天然資源を有効利用し環境負荷を小さくする社会を言います。

**ごみゼロ社会** 三重県がめざす、ごみを出さない生活様式やごみが出にくい事業活動が定着することで、ごみの発生や排出が極力抑えられ、また排出された不用物は最大限資源として有効利用される社会を言います。

**リデュース(発生抑制)** ごみの発生量そのものを減らすことを言います。使い捨て品や不用品を買わない、よい物を長く使うなどが当てはまります。

**リユース(再使用)** 一度使われた製品や部品、容器などをくり返し使うことを言います。中古品の利用、ビールびんのような生きびんなどが当てはまります。

**リサイクル(再生利用)** 製品や容器などをもう一度原材料として有効利用することを言います。広い意味では、焼却によって熱エネルギーを回収することも含みます。

**3R(さんアール・スリーアール)** リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3つのRを言います。

**デポジット** デポジットは「預かり金」の意味で、商品を買う時にあらかじめお店に預かり金を払い、返却した時にそれを返してもらいしきみを言います。ビールびんなどで

行われています。

**エコライフ** 暮らしのいろいろな場面で環境に配慮する生活様式(ライフスタイル)を言います。

**スローライフ** 量やスピード、効率性を重視するこれまでの暮らし方から、「いそがずゆっくりと」をキーワードに質やゆとりを重視する暮らし方を言います。

**グリーンコンシューマ** 暮らしのいろいろな場面で環境に配慮する消費者(コンシューマ)を言います。「グリーン」とは環境に配慮する姿勢を意味しています。

**容器包装リサイクル法** 消費者、事業者、行政の役割分担によって、家庭から出る容器や包装材をリサイクルすることを定めた法律です。

**家電リサイクル法** 家庭から出るテレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機について、小売店が引き取り、メーカーがリサイクルすることを定めた法律です。

**排出者責任** ごみは出した者がリサイクルや適正な処理がされるよう責任を負うべきとする考え方を言います。

**拡大生産者責任** 生産者は、製品を作って売ったらおしまいではなく、リサイクルや適正な処理がされるよう製品がごみとなった後にまで責任を負うべき、とする考え方を言います。

## II. 家庭ごみ組成分析調査

---



## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

地域特性や住居特性に着目して抽出した集積所に出された家庭ごみについて、その組成を分析し、ごみ質や分別状況等を詳細に把握することにより、「ごみゼロ社会実現プラン」策定の際の基礎資料とする。

### (2) 調査内容

#### ア 調査対象ごみ

可燃ごみ、紙製容器包装、プラスチック製容器包装

#### イ 調査対象市町村

津市、伊勢市、名張市、尾鷲市、菰野町、阿児町

平成13年度の家庭ごみ排出量の実績に基づき、県内の市町村をごみ排出量の多い市町村(1人1日当たり901g以上)、中程の市町村(1人1日当たり701g～900g)、少ない市町村(1人1日当たり700g以下)の3つのタイプに分け、その中から地域性等を考慮して、人口10万人程度3市、人口3万人程度3市町を抽出した。

#### ウ 調査時期

市町村	収集日	分析日	分析場所
津市	9月28日(火)	9月29日(水)	津市西部クリーンセンター
伊勢市	可燃ごみ 10月28日(木)～29日(金) プラ製容器包装 10月19日(火)～28日(木)	10月28日(木)～29日(金)	伊勢市清掃センター
名張市	10月4日(月)～5日(火)	10月5日(火)	伊賀南部環境衛生組合
尾鷲市	9月13日(月)～14日(火)	9月14日(火)	尾鷲市清掃工場
菰野町	可燃ごみ 9月27日(月)～28日(火) 紙製容器包装 9月13日(月)、27日(月)	9月28日(火)	菰野町清掃センター
阿児町	9月16日(木)	9月16日(木)	阿児町清掃センター

## エ 検体数とその内訳

### (ア) 可燃ごみ(30 検体)

市町村	住宅地域 (旧来)	住宅地域 (郊外)	農村(漁村) 地域	住商混在 地域	集合住宅 (家族世帯)	集合住宅 (単身世帯)
津市	一身田	緑の街	大里小野田	桜橋	上津部田	栗真
伊勢市	一之木	鹿海町 A 柏町 B	小川	本町	船江	通町
名張市	朝日町	南百合が丘 A 桔梗が丘 B	東田原	平尾	瀬古口	夏見
尾鷲市	南陽町	大曽根浦	九鬼町	栄町		
菰野町	藩内	大羽根園	潤田			
阿児町	鵜方	うらじろ団地	立神			

印は戸別収集地域、その他はステーション収集地域である。「2 調査結果」以降において、伊勢市鹿海町はA、柏町はB、名張市南百合が丘はA、桔梗が丘はBとして表記する。

### (イ) 紙製容器包装(3 検体)

市町村	住宅地域 (旧来)	住宅地域 (郊外)	農村地域	住商混在 地域	集合住宅 (家族世帯)	集合住宅 (単身世帯)
菰野町	藩内	大羽根園	潤田			

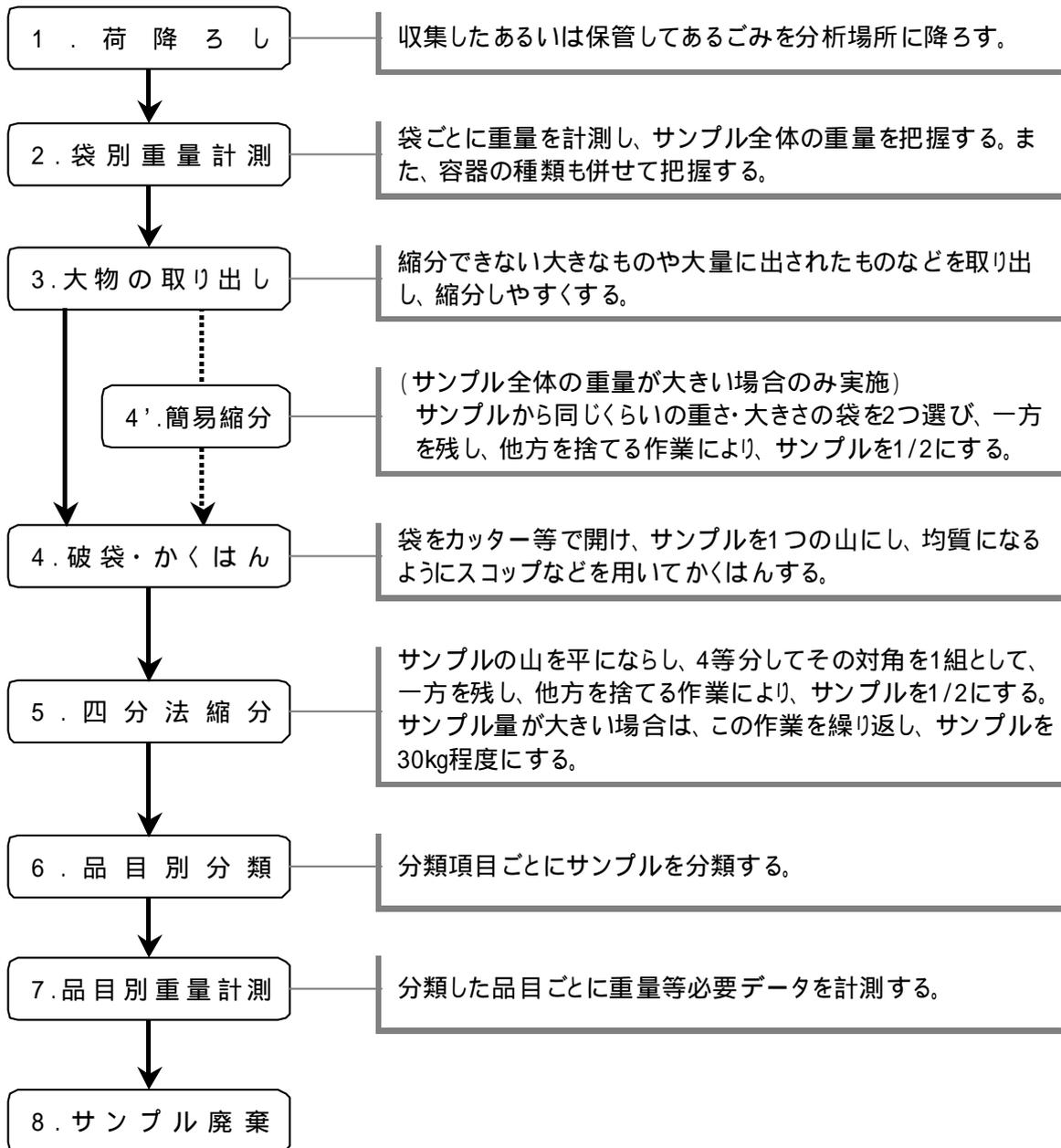
### (ウ) プラスチック製容器包装(7 検体)

市町村	住宅地域 (旧来)	住宅地域 (郊外)	農村地域	住商混在 地域	集合住宅 (家族世帯)	集合住宅 (単身世帯)
伊勢市	一之木	鹿海町 柏町	小川	本町	船江	通町

## オ その他

紙製容器包装については、菰野町は容器包装リサイクル法により可燃ごみとは別途収集している。プラスチック製容器包装については、津市、伊勢市、菰野町は容器包装リサイクル法により、名張市は「燃やさないごみ」として、可燃ごみとは別途収集している。

(3) 調査手順



可燃ごみにおける一連の作業



破袋



かくはん



縮分後



品目別分類



分類後計測



未利用品

## (4) 分類項目

### ア 可燃ごみ

分類項目			代表品目
大分類	中分類	細分類	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	肉、魚、漬け物等のパックや缶詰で中身の半分以上が未利用のもの。野菜、卵、パン等ほとんど原型のまま裸で捨てられているもの
		調理くず、残飯	上記以外
	草木類	剪定枝	剪定枝、木の葉、刈り草等
		使い捨て用品	割り箸、ようじ等
		その他	木箱、麻ひも、コルク等
紙類	容器包装	ダンボール	ボール紙製の緩衝芯のあるもの
		紙パック	牛乳、ジュース等の紙パック(500cc、1,000cc)
		食料品容器	菓子箱等
		日用品容器	ティッシュ、石鹸等の箱
		その他容器包装	紙袋、包装紙等
		容器包装(汚れのひどいもの)	内容物の付着した容器包装で汚れのひどいもの
	容器包装以外	新聞紙	
		チラシ	折込広告、パンフレット等
		雑誌	週刊誌、月刊誌、ノート等
		書籍	単行本、新書本、文庫本等
		OA用紙	コピー用紙、伝票等
		OA用紙(シュレッダー後)	
		雑紙	ダイレクトメール、はがき、封筒等名刺以上の大きさのあるもの
		汚れた新聞、チラシ	
		使い捨て用品(ティッシュ等)	ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、紙ふきん、紙コップ、紙皿、使い捨てマスク等
その他紙類	レシート、シール、写真、値札、トイレトペーパーの芯等		
紙おむつ等	紙おむつ	乳幼児用紙おむつ、大人用紙おむつ	
	生理用品		
繊維類	衣類等	Y シャツ、T シャツ、ブラウス、下着、肌着、ズボン、G パン、セーター、着物、ゆかた、背広、ジャンパー、ハンカチ、シーツ、タオル、タオルケット、毛布等で汚れの著し(ないもの)リユース、リサイクルできる可能性の高いもの	
	その他繊維類	座布団、カーペット、玄関マット、ぬいぐるみ、上記のうち汚れの著しいもの等	
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	飲料、醤油等のペットボトル
		その他のボトル	シャンプー、洗剤、調味料等のボトル
		チューブ類	マヨネーズ、歯磨き粉等のチューブ
		白色トレイ	発泡系トレイ(白色のみ)
		色付トレイ	発泡系トレイ(色・柄付き)
		持ち帰り弁当の容器	コンビニ弁当の容器、弁当屋使い捨て容器
		食料品の容器・袋	玉子パック、豆腐、ヨーグルト、カップめん等の容器、菓子、ラーメン等の袋
		日用品の容器・袋	衣類、トイレトペーパー、コピー用紙等の袋
		レジ袋(中身なし)	そのまま、ごみとして出されたレジ袋
		レジ袋(中身あり)	ごみを入れる中袋として使われたレジ袋
		その他プラスチック容器	ペットボトルのキャップ等
		その他プラスチック包装	ラップ、フィルム、果物の緩衝材やネット、錠剤包装等
	容器包装以外	使い捨て用品	インスタントカメラ、使い捨てスプーン等
	その他プラスチック用品	CD ケース、歯ブラシ、ストロー、ブレンダー、バケツ等のプラスチック製品	
金属類	容器	アルミ缶	飲料用、食料用アルミ缶
		スチール缶	飲料用、食料用スチール缶
		その他金属容器	スプレー缶、カセット式ガスボンベ等
容器以外		ハンガー、アルミホイール、安全ピン、クリップ等	
びん類		リターナブルびん	ビールびん、一升びん等
		無色雑びん	
		茶色雑びん	
		その他色雑びん	
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋	ごみ袋として指定された特定の袋(指定袋の自治体のみ)
		市販の袋(透明、半透明)	市販のごみ袋(特定の指定袋以外)
		レジ袋	ごみを排出する外袋として使われたレジ袋
		その他	他の市町村の指定袋等
	その他	ゴム・皮革類	かばん、くつ、ベルト、ゴム手袋等
		ガラス・陶磁器(くず)	窓ガラス、コップ、茶碗等の破片、ブロック、タイル等のがれき類
		土砂・残土・灰	園芸用土、焼却灰等
		ペット砂	樹脂製等
		ペット砂	紙製等
		蛍光管	
		電池	筒型乾電池、角型乾電池、ボタン電池、充電式電池、リチウム電池等
		体温計・温度計	
		危険物	農薬・劇薬、中身の入っているスプレー缶、カセット式ガスボンベ等
		医療廃棄物	注射器、点滴用具、薬等
		製品廃棄物	木製家具等
		その他	いずれにも当てはまらないもの

また、「2 調査結果」以降における可燃ごみの紙類、プラスチック類、容器包装については、下表のように分類し、掲載している。

### 紙類

容器包装	ダンボール
	紙パック
	食料品容器
	日用品容器
	その他容器包装
使い捨て用品	容器包装 (汚れのひどいもの)
	ティッシュ等 紙おむつ等
その他紙類	新聞紙
	チラシ
	雑誌
	書籍
	OA用紙
	OA用紙(シュレッダー後)
	雑紙
	汚れた新聞、チラシ
	その他紙類

### プラスチック類

ボトル類	ペットボトル
	その他のボトル
チューブ類	チューブ類
発泡トレイ	白色トレイ
	色付トレイ
食料品容器等	持ち帰り弁当の容器 食料品の容器・袋
	日用品容器等
レジ袋	日用品の容器・袋
	レジ袋(中身なし) レジ袋(中身あり)
その他	その他プラ容器
	その他プラ包装

### 容器包装

紙製容器包装	ダンボール	
	紙パック	
	食料品容器	
	日用品容器	
	その他容器包装	
	容器包装 (汚れのひどいもの)	
	プラ製容器包装	ペットボトル
		その他のボトル
		チューブ類
		白色トレイ
色付トレイ		
持ち帰り弁当の容器 食料品の容器・袋		
日用品の容器・袋		
レジ袋(中身なし)		
レジ袋(中身あり)		
その他プラ容器 その他プラ包装		
金属類	アルミ缶	
	スチール缶	
	その他金属容器	
びん類	リターナブルびん	
	無色雑びん	
	茶色雑びん	
	その他色雑びん	
	飲料用以外のびん	

イ 紙製容器包装(菰野町)

分類項目		代表品目
大分類	細分類	
紙パック	紙パック(裏側白・開)	ジュース、牛乳等の紙パック(主に 500ml 以上。開いて洗ってあるもの)
	紙パック(裏側白・未開)	ジュース、牛乳等の紙パック(主に 500ml 以上。開口部のみ開いて洗ってあるもの)
	紙パック(裏側アルミ)	ジュース等の紙パック(主に 200ml 前後。開いて洗ってあるもの)
食料品容器	食料品	カレー、シチュー、調味料、果物等の箱 鰹節、サラダ油、海苔等主に贈答品の箱 栄養調整食品等の箱 コーヒー、紅茶等の箱 たばこの箱 ヨーグルト等の紙カップ コーヒー等の紙コップ カップめん等のふた プリン、ヨーグルト等の台紙 紙製卵パック
	菓子類	チョコレート、キャラメル、クッキー、ビスケット、アイスクリーム等の箱 アイスクリーム等の紙カップ、ふた
	飲料品	日本酒、ワイン、ウイスキー等の箱 缶ビール等のケース
日用品容器	生活用品	歯磨き粉、石鹸、入浴剤、洗剤、化粧品等の箱 タオル、ハンカチ、靴等の箱 陶磁器、フィルム、おもちゃ等の箱 ペットフード等の箱 鉛筆、ホッチキスの針、カッターナイフ、シャーペンの芯等文房具の箱 コンタクトレンズ洗浄液の箱 OA 周辺機器、時計等電気製品の箱、台紙 ワイシャツの中の台紙、歯ブラシ等を入れた台紙
	薬品	胃薬、目薬等の箱
	ティッシュ	ティッシュの箱
紙袋・包装紙等	紙袋	百貨店、書店、ファーストフード等でもらう紙袋
	包装紙	菓子(特に土産物)、コピー用紙等の包装紙 贈答品等の包装紙
	小袋等	紅茶、菓子等の小袋等
	その他	上記の何れにも属さない包装
その他	その他容器	上記の何れにも属さない容器
	段ボール	家電製品、蛍光管等の箱
	紙パック(汚れのひどいもの)	内容物が付着するなど汚れのひどいもの
	紙パック以外( " )	上記「飲食容器」「日用品容器」「紙袋・包装紙等」のうち、内容物が付着するなど汚れのひどいもの
	紙製品	それ自体が商品として売られている紙袋、紙コップ、紙皿等
	雑紙	ダイレクトメールの封筒、はがき、名刺等
	のし紙	
	その他紙類	レシート、シール、値札、トイレトペーパーの芯、ティッシュ等
	容リ法対象外品目	新聞、チラシ、プラスチック製容器包装等
	その他	

ウ プラスチック製容器包装(伊勢市)

分類項目			代表品目	
大分類	中分類	細分類		
ボトル類		食料品	食用油、ソース、ドレッシング等のボトル	
		日用品	シャンプー、リンス、洗剤等のボトル	
チューブ類		食料品	マヨネーズ、ケチャップ、ねりわさび、バター、マーガリン等のチューブ	
		日用品	歯磨き粉、靴クリーム、のり等のチューブ	
発泡トレイ		白色	発泡系白色トレイ	
		色付	発泡系色付トレイ	
食料品容器等	容器類	持帰弁当の容器	コンビニ、スーパー、弁当屋等で売られている弁当等のケース	
		その他	卵、豆腐、惣菜等のパック・非発泡系トレイ カレー、紅茶等の非発泡系トレイ チョコレート、煎餅等の非発泡系トレイ カップめん等のカップ ヨーグルト、プリン、コーヒー等のカップ(非発泡系) バター、マーガリン等のケース	
	袋類	外袋	パン、米等の袋 野菜、果物等の袋 ラーメン、海苔等の外袋 煎餅、スナック菓子等の外袋	
		小袋・内袋	煎餅、ビスケット等の小袋 紅茶、コーヒー等の小袋	
日用品容器等	容器類		シャープの芯等のケース はさみ等の外装ケース 綿棒、楊枝等のケース	
	袋類		石鹸、入浴剤等の小袋 衣類、トイレトーパー、コピー用紙等の袋 ペン等の外装袋 ポケットティッシュ等の袋	
レジ袋			スーパー、コンビニ等でもらうレジ袋	
その他	フィルム・ラベル類	食料品	ペットボトル、納豆等のラベル 3連ヨーグルト・納豆等の包装用フィルム カップめん等の包装用フィルム	
		日用品	ビデオ、カセットテープ等の外装フィルム	
	その他プラ製容器	食料品	ペットボトル、コーヒー等のキャップ 本体とキャップの分別区分が異なるもの	
		日用品		
	その他プラ製包装	食料品	ラップ、果物の緩衝材やネット、錠剤包装等	
		日用品	割り箸、ストロー、スプーン等の袋	
	違反品目	ペットボトル		飲料、醤油等のペットボトル
		汚れのひどい容器法 対象プラスチック		
		容器法対象外 プラスチック		それ自身が商品として売られているプラ製袋・コップ等 CD ケース、ストロー、PP バンド、洗面器、歯ブラシ等
		容器法対象外品目		紙類、金属類、衣類・布類等

## 2. 調査結果

### (1) 可燃ごみ(市町村別分析結果)

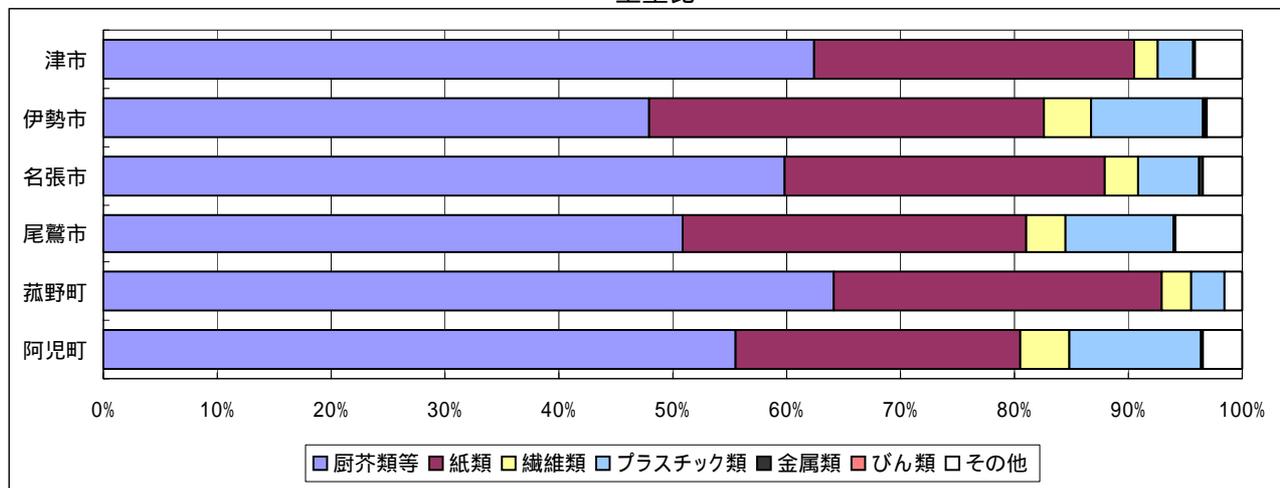
#### ア 品目別組成

##### (ア) 全体の組成

可燃ごみの組成については、重量比で「厨芥類等」が5～6割、「紙類」が3割前後、「プラスチック類」が多いところで1割程度と、各市町村とも「厨芥類等」、「紙類」、「プラスチック類」で全体の9割以上を占めている。容積比では、「紙類」と「プラスチック類」の割合が高く全体の5～7割を占めている。

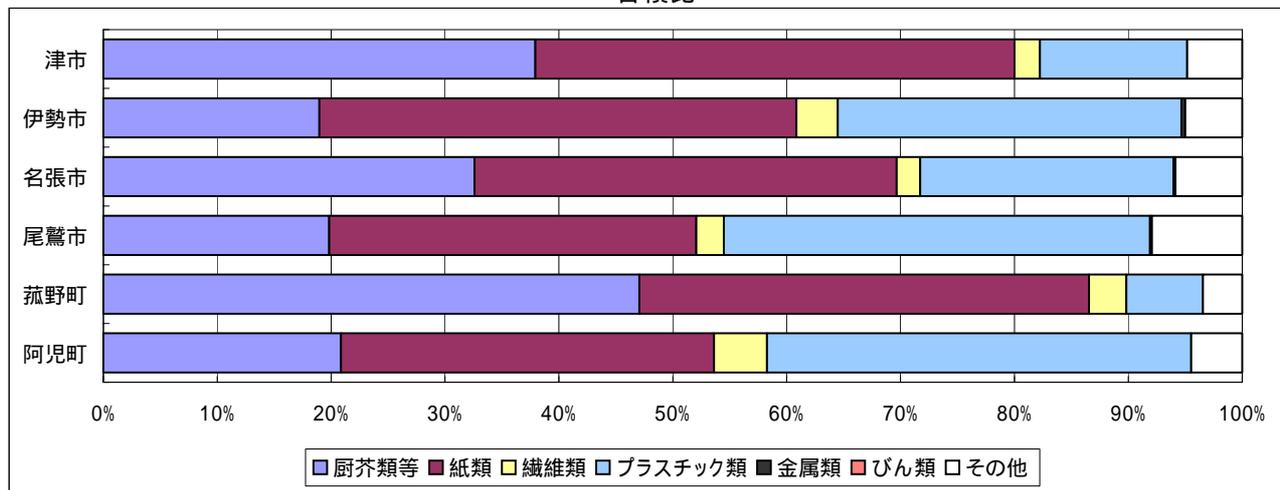
容器包装リサイクル法により「プラスチック類」を別途収集している津市、菰野町で特に「プラスチック類」の割合が低くなっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
厨芥類等	62.4	47.9	59.9	50.8	64.1	55.5
紙類	28.1	34.7	28.1	30.2	28.8	25.1
繊維類	2.1	4.1	2.9	3.4	2.7	4.2
プラスチック類	3.1	9.9	5.3	9.6	2.8	11.6
金属類	0.1	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1
びん類	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
その他	4.2	3.1	3.4	5.8	1.5	3.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

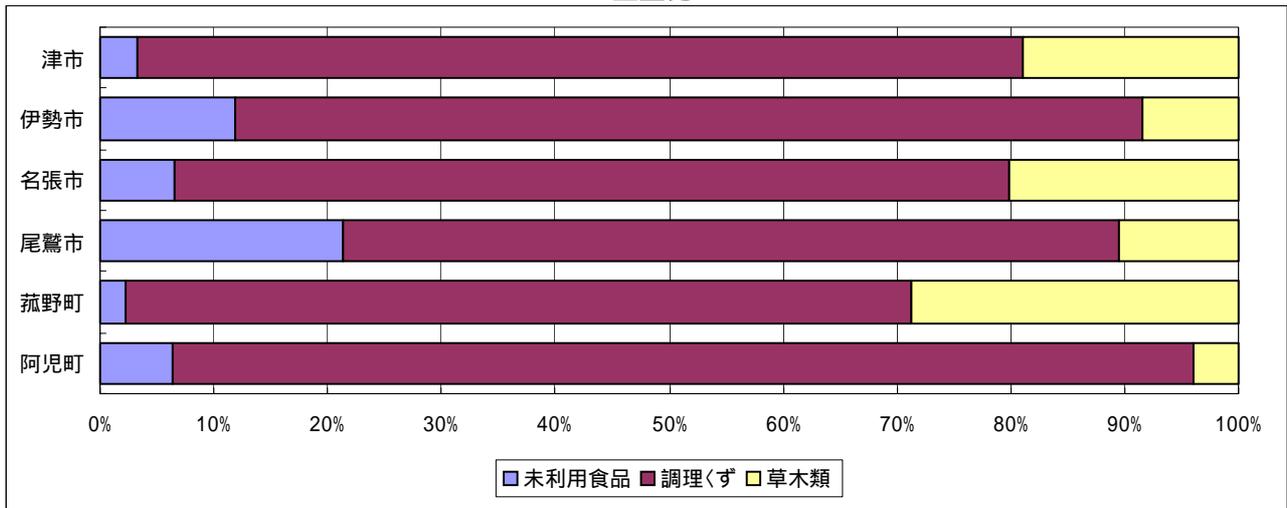


容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
厨芥類等	37.9	18.9	32.6	19.8	47.0	20.8
紙類	42.1	41.9	37.0	32.3	39.5	32.9
繊維類	2.3	3.7	2.1	2.3	3.4	4.6
プラスチック類	12.8	30.2	22.3	37.5	6.6	37.3
金属類	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.8	5.0	5.8	7.9	3.4	4.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(1) 厨芥類等の組成

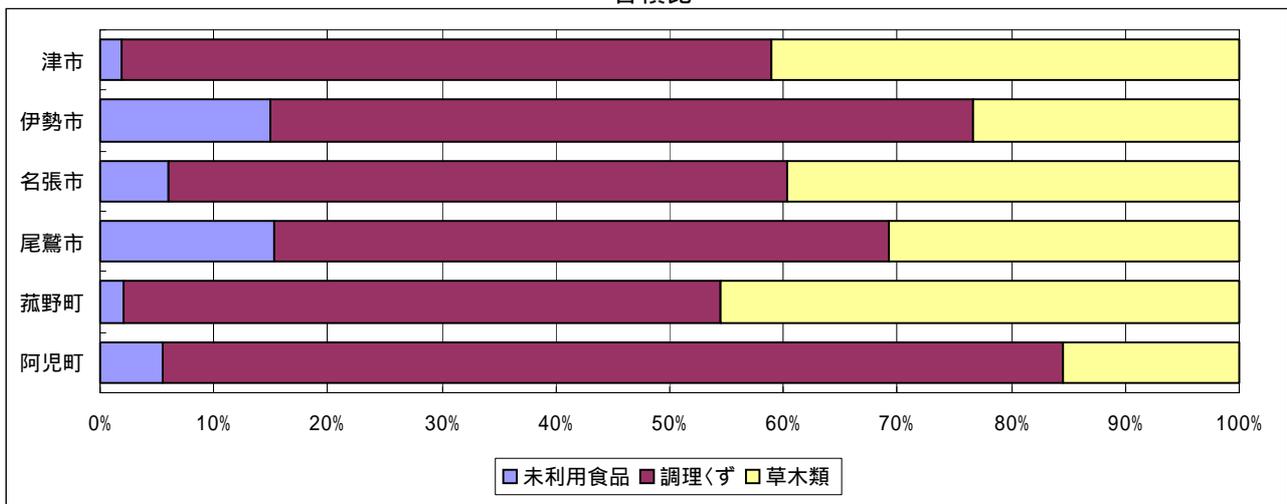
可燃ごみに含まれる厨芥類等を、「未利用食品」、「調理くず等」、「草木類」の3つに分けると、重量比では、「未利用食品」、「調理くず等」の台所ごみが7~9割程度を占める。「草木類」は1~3割程度となっているが、阿児町ではわずか4%に止まっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
未利用食品	3.3	11.8	6.6	21.3	2.2	6.3
調理くず	77.8	79.7	73.2	68.2	69.1	89.7
草木類	18.9	8.5	20.2	10.5	28.7	4.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比



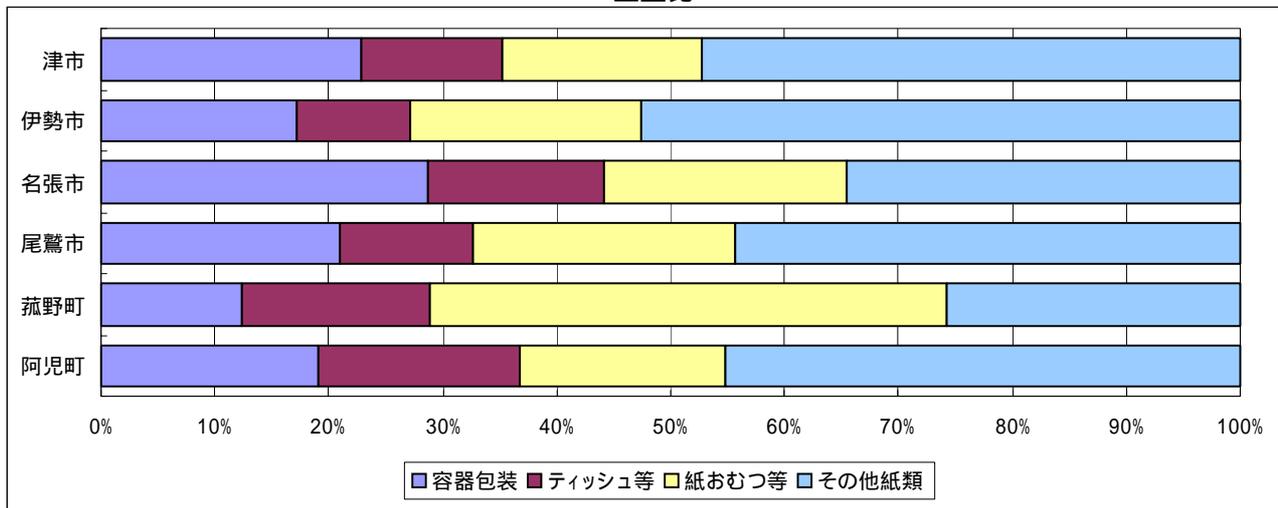
容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
未利用食品	1.9	14.9	6.0	15.3	2.0	5.5
調理くず	57.0	61.7	54.3	53.9	52.4	79.1
草木類	41.1	23.4	39.7	30.8	45.6	15.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(ウ) 紙類の組成

可燃ごみに含まれる紙類をさらに「容器包装」と「使い捨て用品」（「ティッシュ等」、「紙おむつ等」、「その他紙類」に分けると、重量比では「使い捨て用品」が3～6割を占め、「容器包装」は1～3割となっている。容積比では、「容器包装」が3～4割を占め、「使い捨て用品」は2～4割となっている。

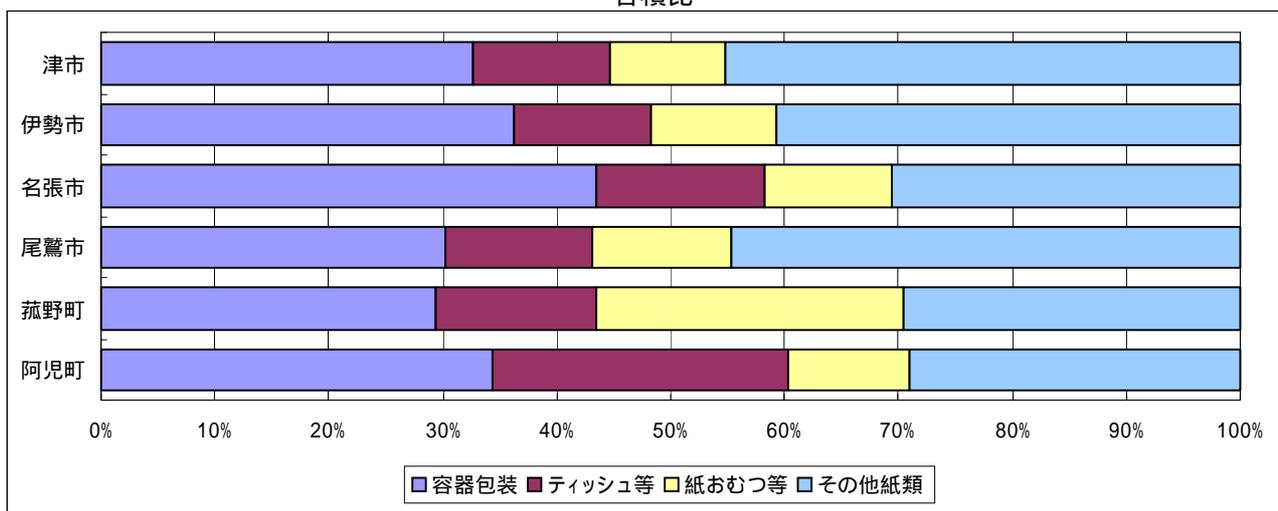
容器包装リサイクル法により、紙製容器包装を別途収集している菰野町では、「容器包装」の割合が低く、重量比では「紙類」の1割程度に止まっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
容器包装	22.8	17.1	28.7	21.0	12.4	19.0
ティッシュ等	12.4	10.0	15.5	11.7	16.4	17.8
紙おむつ等	17.6	20.4	21.3	23.0	45.4	18.0
その他紙類	47.2	52.5	34.5	44.3	25.8	45.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比



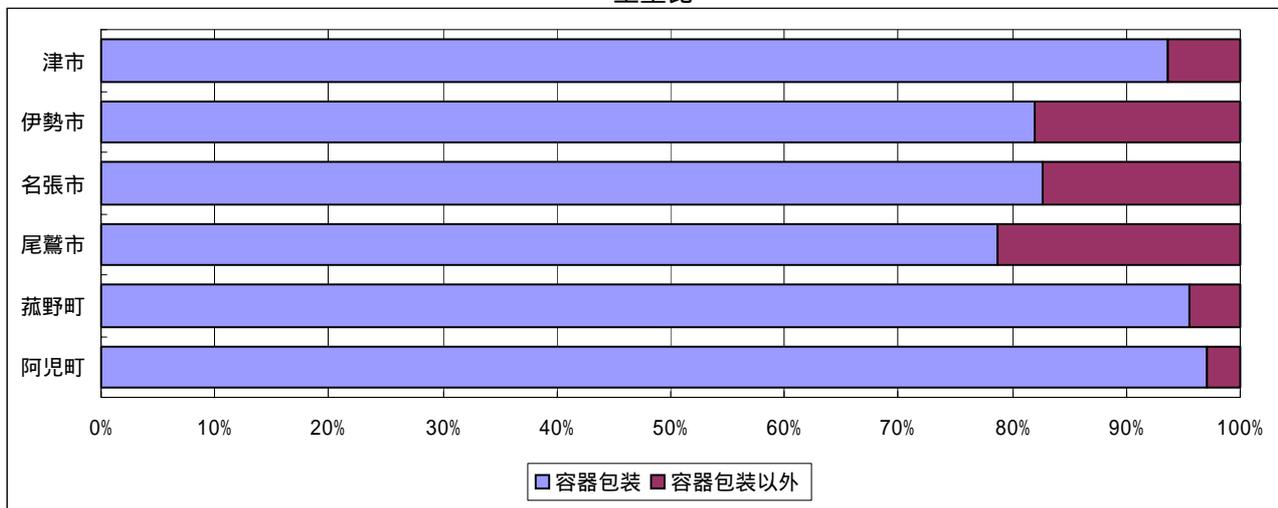
容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
容器包装	32.7	36.3	43.4	30.3	29.3	34.3
ティッシュ等	12.0	11.9	14.8	12.9	14.2	26.0
紙おむつ等	10.1	11.0	11.2	12.2	27.0	10.7
その他紙類	45.2	40.8	30.6	44.6	29.5	29.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(工) プラスチック類の組成

a 容器包装と容器包装以外

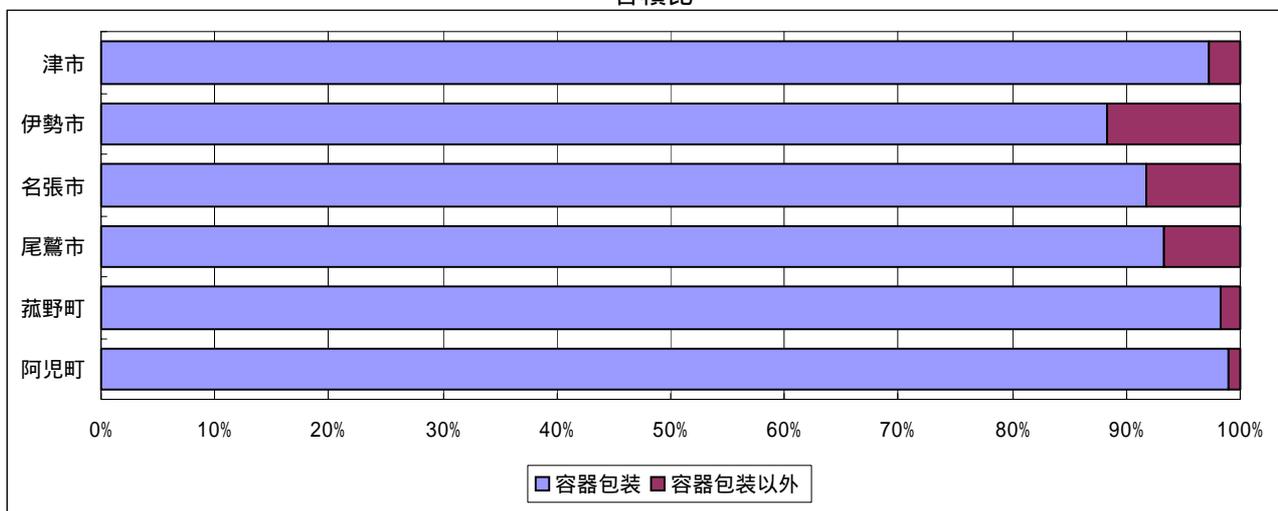
可燃ごみに含まれるプラスチック類を「容器包装」と「容器包装以外」の2つに分けると、「容器包装」が重量比ではほぼ8割以上、容積比ではほぼ9割以上とプラスチック類の殆どを占めている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
容器包装	93.7	82.0	82.6	78.7	95.5	97.0
容器包装以外	6.3	18.0	17.4	21.3	4.5	3.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

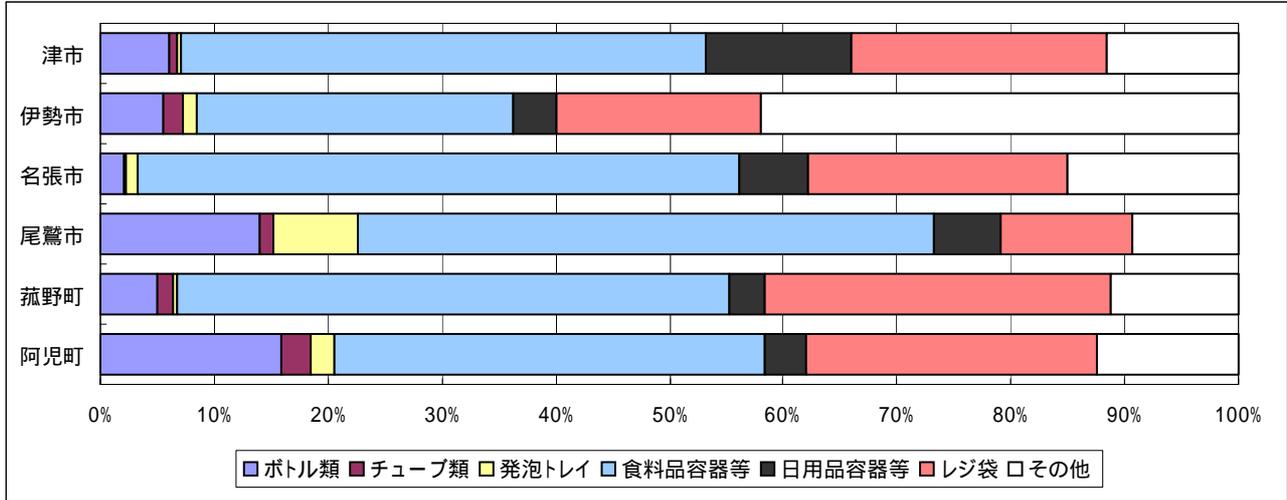


容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
容器包装	97.3	88.3	91.8	93.3	98.3	99.0
容器包装以外	2.7	11.7	8.2	6.7	1.7	1.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

b 容器包装の組成

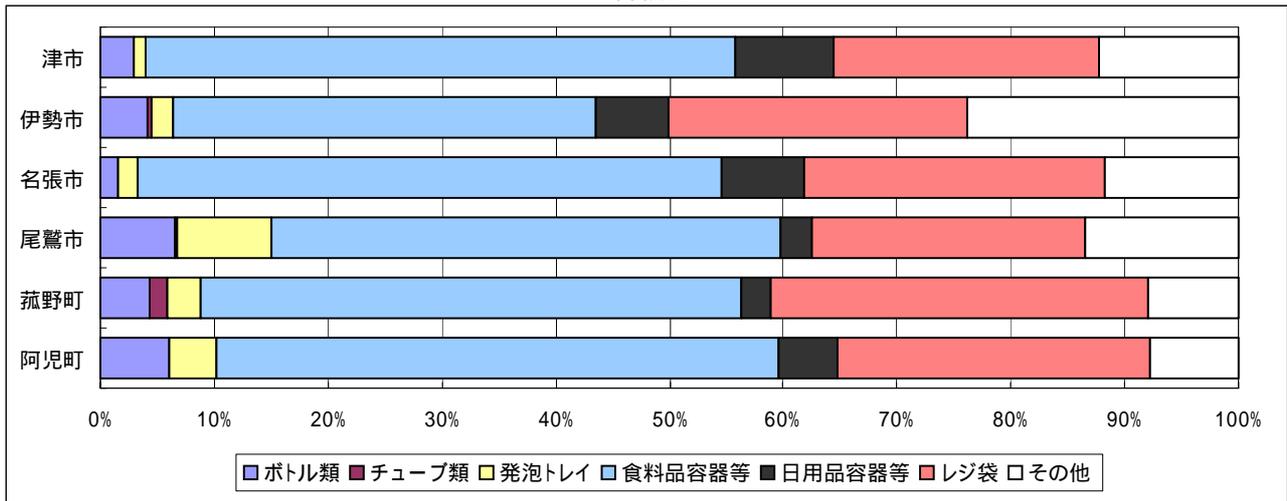
上記容器包装についてその組成を見ると、「食料品容器等」が最も多く、3～5割を占めている。「レジ袋」も1～3割を占め、4市町村で2番目に多くなっている。尾鷲市と阿児町では「ボトル類」が15%前後となっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菟野町	阿児町
ボトル類	6.1	5.5	2.1	14.0	5.0	15.9
チューブ類	0.6	1.7	0.2	1.2	1.4	2.5
発泡トレイ	0.3	1.2	0.9	7.4	0.3	2.1
食料品容器等	46.2	27.8	52.9	50.7	48.6	37.8
日用品容器等	12.7	3.8	6.0	5.8	3.0	3.7
レジ袋	22.6	18.0	22.8	11.5	30.4	25.5
その他	11.5	42.0	15.1	9.4	11.3	12.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

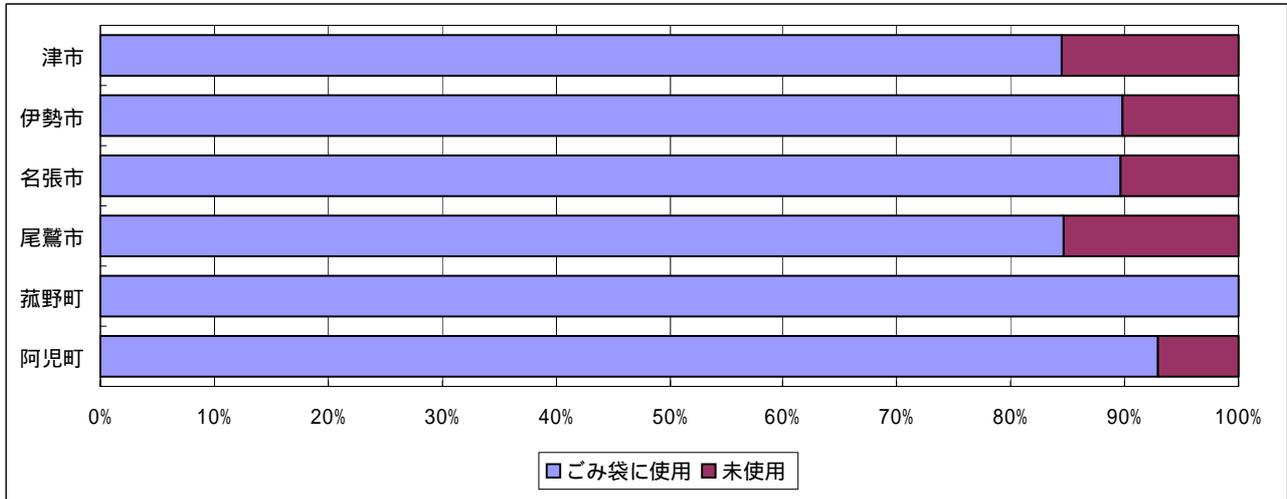


容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菟野町	阿児町
ボトル類	2.9	4.2	1.5	6.6	4.4	6.0
チューブ類	0.1	0.3	0.1	0.2	1.5	0.1
発泡トレイ	0.9	1.9	1.7	8.3	2.9	4.1
食料品容器等	51.9	37.2	51.3	44.6	47.5	49.4
日用品容器等	8.7	6.3	7.2	2.9	2.6	5.1
レジ袋	23.3	26.2	26.5	24.0	33.2	27.6
その他	12.2	23.9	11.7	13.4	7.9	7.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

c レジ袋の排出状況

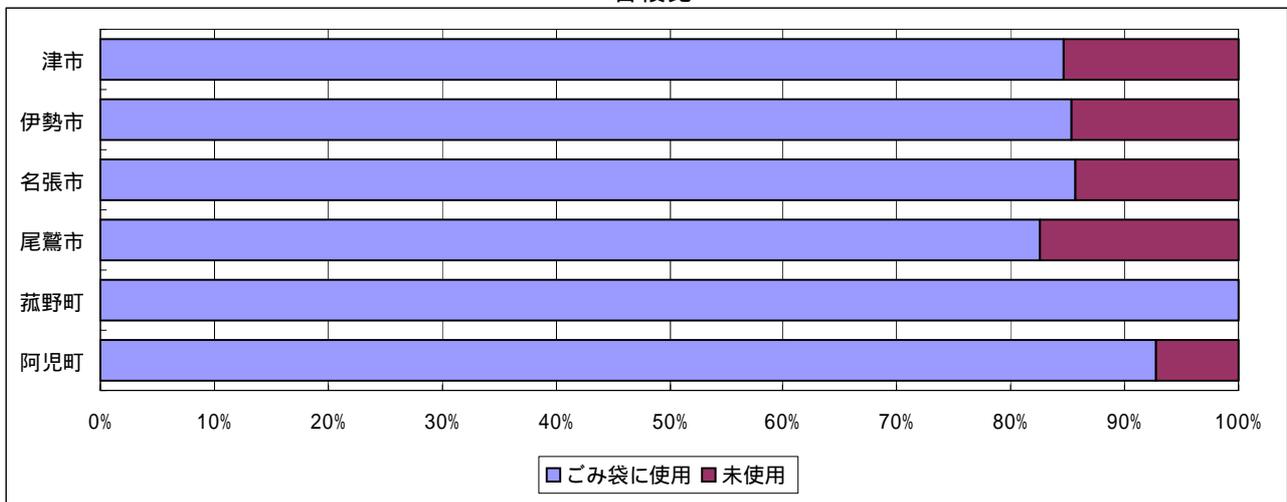
排出されたごみ袋(外袋)の中に含まれるレジ袋について見てみると、ごみ袋等何らかの形で使用されているものが8割以上を占めている。そのままごみとして出されたレジ袋は津市、尾鷲市で15%台となっているが、阿児町では7%、菰野町ではほとんど見られない。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
ごみ袋に使用	84.5	89.8	89.7	84.7	100.0	93.0
未使用	15.5	10.2	10.3	15.3	0.0	7.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比



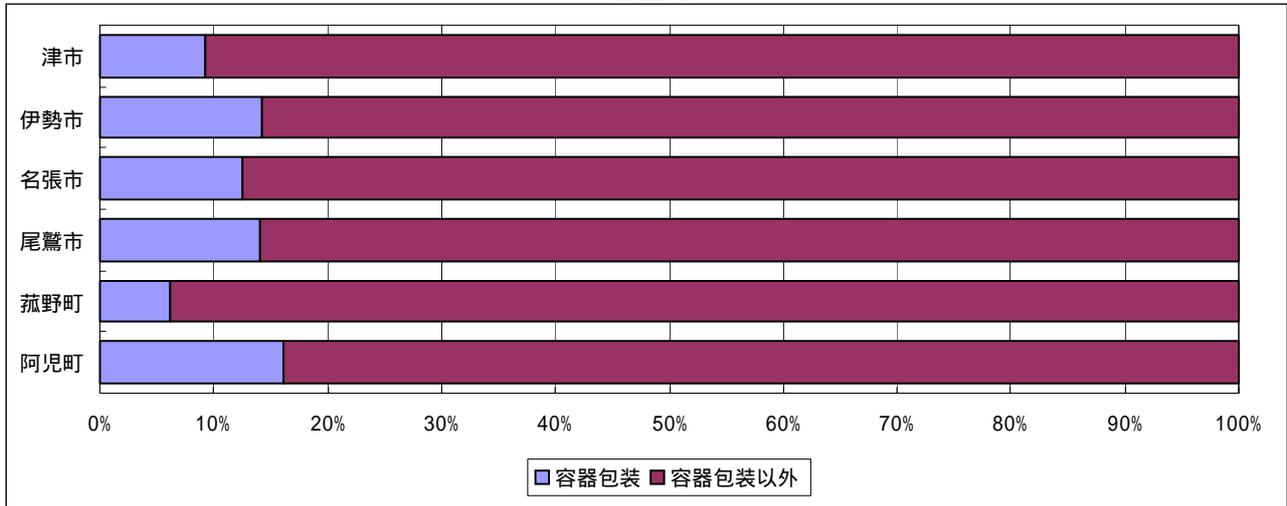
容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
ごみ袋に使用	84.7	85.4	85.6	82.5	100.0	92.7
未使用	15.3	14.6	14.4	17.5	0.0	7.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

イ 可燃ごみに含まれる容器包装

(ア) 容器包装と容器包装以外

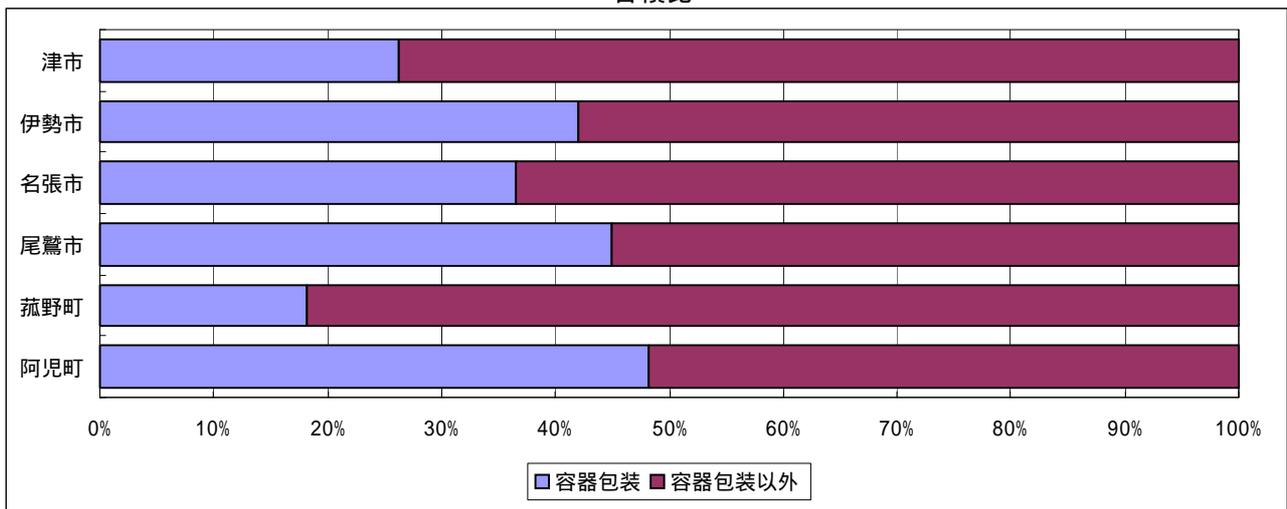
可燃ごみに含まれる「容器包装」について見てみると、重量比では多いところでも15%前後であるが、容積比では2~5割とその割合が高くなる。容器包装リサイクル法により、紙製容器包装とプラスチック製容器包装の分別収集をしている菰野町では、重量比で約6%と低くなっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
容器包装	9.3	14.3	12.6	14.1	6.2	16.1
容器包装以外	90.7	85.7	87.4	85.9	93.8	83.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

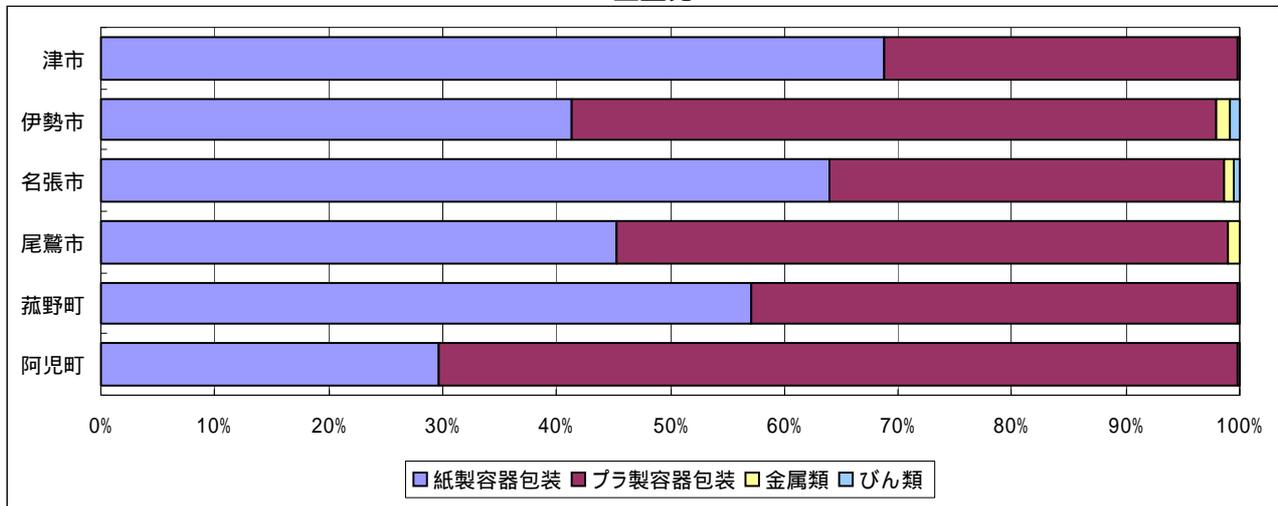


容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
容器包装	26.3	42.0	36.6	44.9	18.1	48.2
容器包装以外	73.7	58.0	63.4	55.1	81.9	51.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(イ) 容器包装の組成

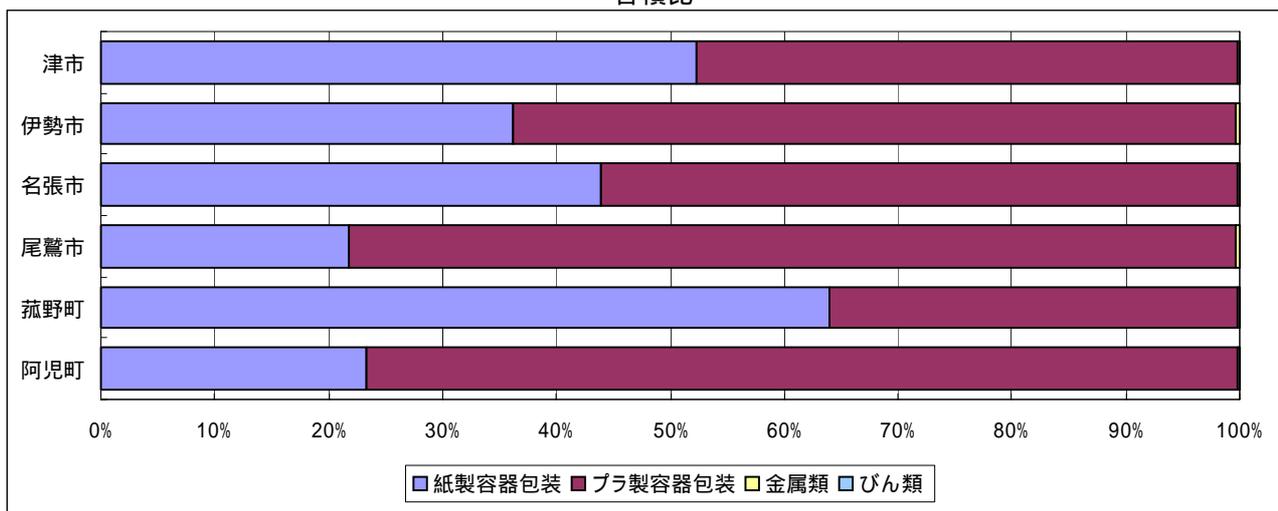
上記容器包装を「紙製容器包装」、「プラスチック製容器包装」、「金属類」、「びん類」の4つに分けると、重量比では「紙製容器包装」と「プラスチック製容器包装」で100%近くになっている。津市、名張市、菰野町では「紙製容器包装」が、伊勢市、尾鷲市、阿児町では「プラスチック製容器包装」の割合が最も高くなっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
紙製容器包装	68.8	41.3	63.9	45.2	57.1	29.7
プラ製容器包装	31.1	56.7	34.8	53.7	42.8	70.1
金属類	0.1	1.1	0.7	1.1	0.1	0.2
びん類	0.0	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

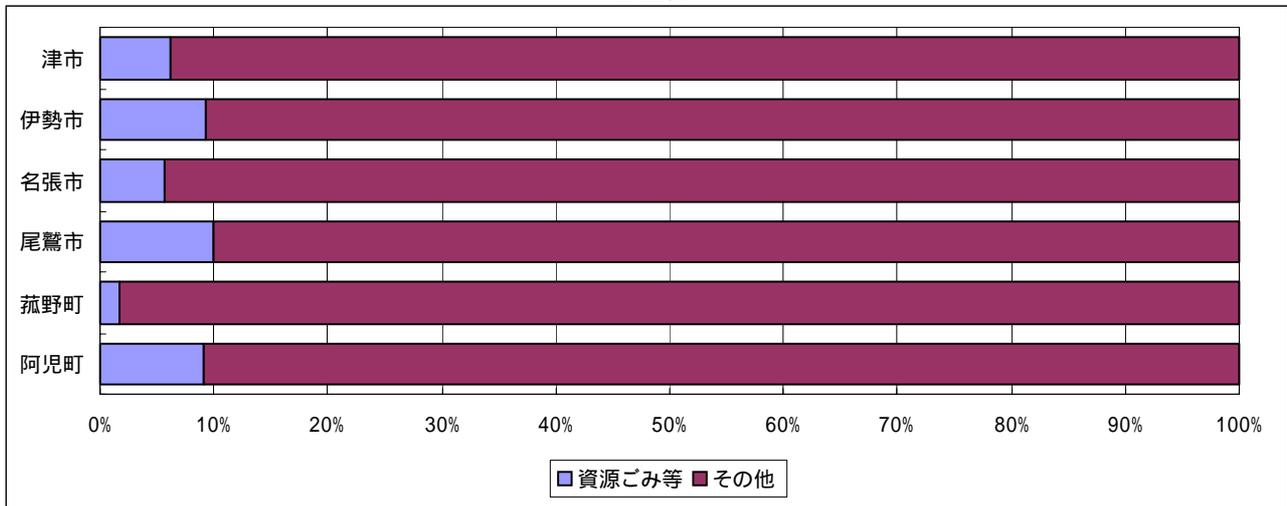


容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
紙製容器包装	52.4	36.2	43.9	21.8	64.0	23.4
プラ製容器包装	47.5	63.4	55.9	77.9	35.9	76.5
金属類	0.1	0.4	0.2	0.3	0.1	0.1
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## ウ 分別状況

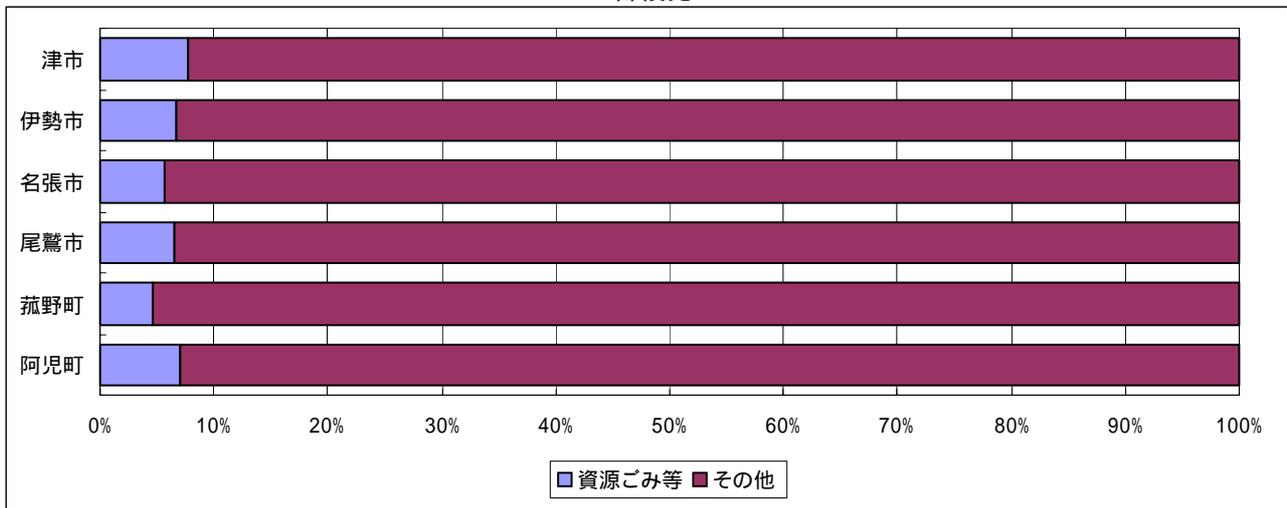
可燃ごみの中に含まれる「ダンボール」「紙パック」「新聞」「チラシ」「雑誌」「書籍」「ペットボトル」「金属類」「びん類」といった可燃ごみとは別に収集されている品目を「資源ごみ等」としてその割合を見ると、重量比で1割未満と、どの市町村でもおおむね分別が適正に行われていることを示している。特に菰野町で1.8%と低く、津市、名張市では6%程度となっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
資源ごみ等	6.1	9.3	5.7	9.9	1.8	9.1
その他	93.9	90.7	94.3	90.1	98.2	90.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比



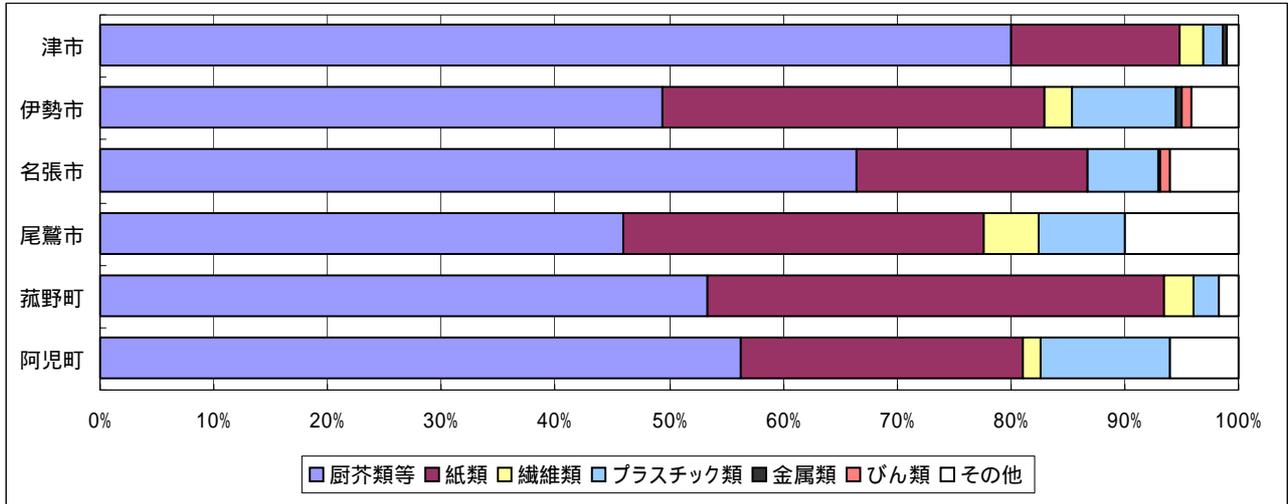
容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
資源ごみ等	7.7	6.7	5.7	6.6	4.6	7.0
その他	92.3	93.3	94.3	93.4	95.4	93.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 可燃ごみ(地域別分析結果)

ア 住宅地域(旧来)

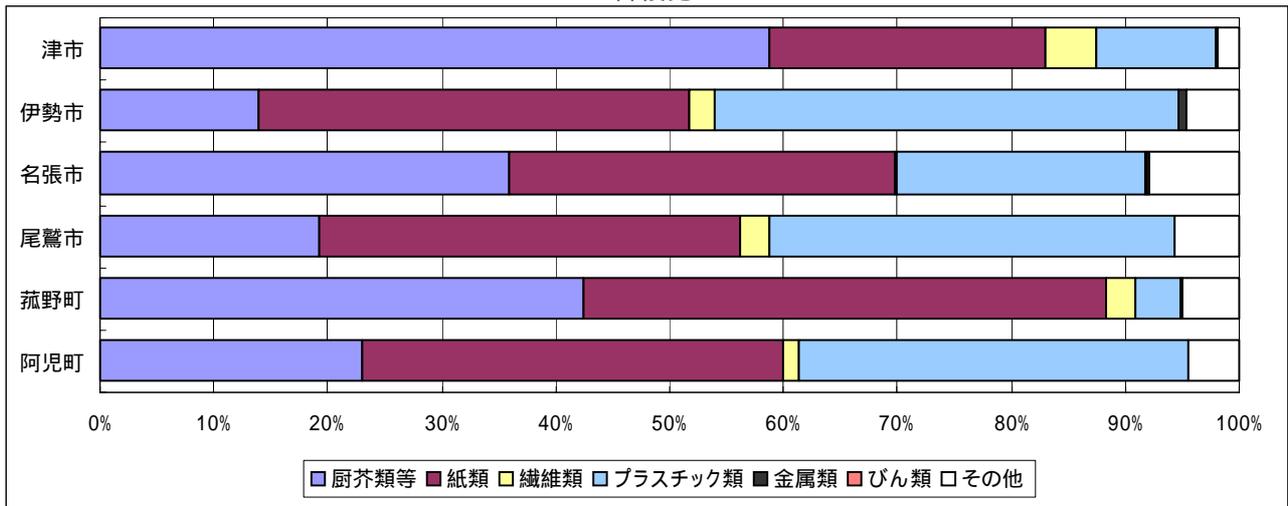
重量比では「厨芥類等」が津市、名張市で多く、津市では8割に達している。「紙類」は伊勢市、尾鷲市、菰野町で3～4割を占めている。容積比では「プラスチック類」が伊勢市、尾鷲市、阿児町で3～4割と多くなっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
厨芥類等	80.0	49.4	66.4	46.0	53.3	56.2
紙類	14.8	33.5	20.3	31.6	40.2	24.9
繊維類	2.1	2.5	0.1	4.8	2.6	1.5
プラスチック類	1.8	9.1	6.1	7.7	2.1	11.4
金属類	0.2	0.5	0.3	0.0	0.1	0.0
びん類	0.0	0.9	0.7	0.0	0.0	0.0
その他	1.1	4.1	6.1	9.9	1.7	6.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

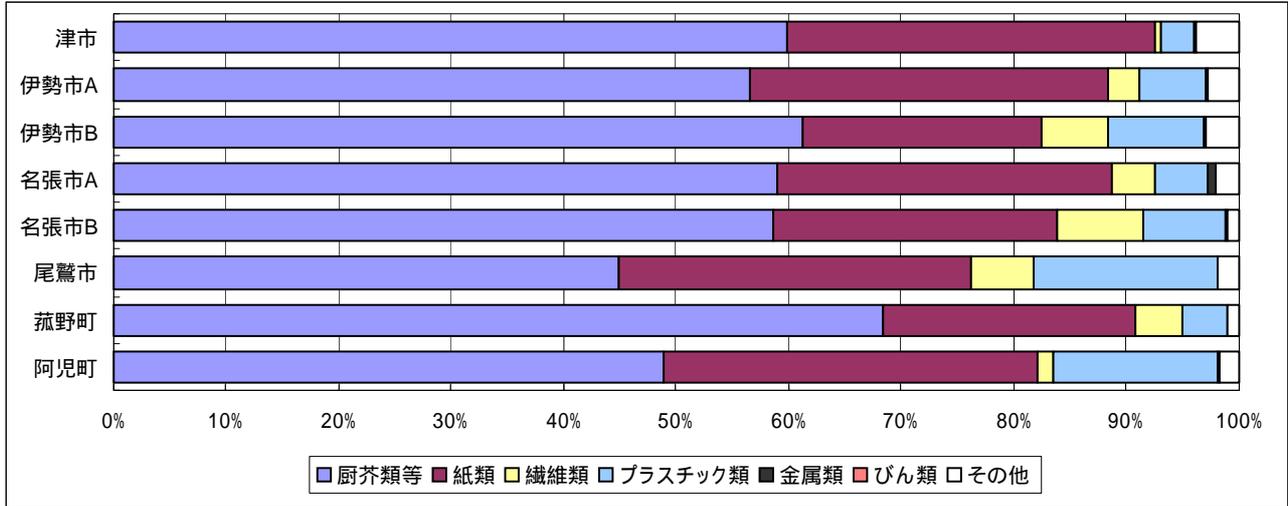


容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
厨芥類等	58.7	13.9	35.9	19.3	42.5	23.0
紙類	24.3	37.9	33.9	36.9	45.9	37.0
繊維類	4.5	2.2	0.1	2.6	2.5	1.4
プラスチック類	10.4	40.7	21.9	35.6	4.0	34.1
金属類	0.2	0.7	0.2	0.0	0.1	0.0
びん類	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
その他	1.9	4.6	7.9	5.6	5.0	4.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

イ 住宅地域(郊外)

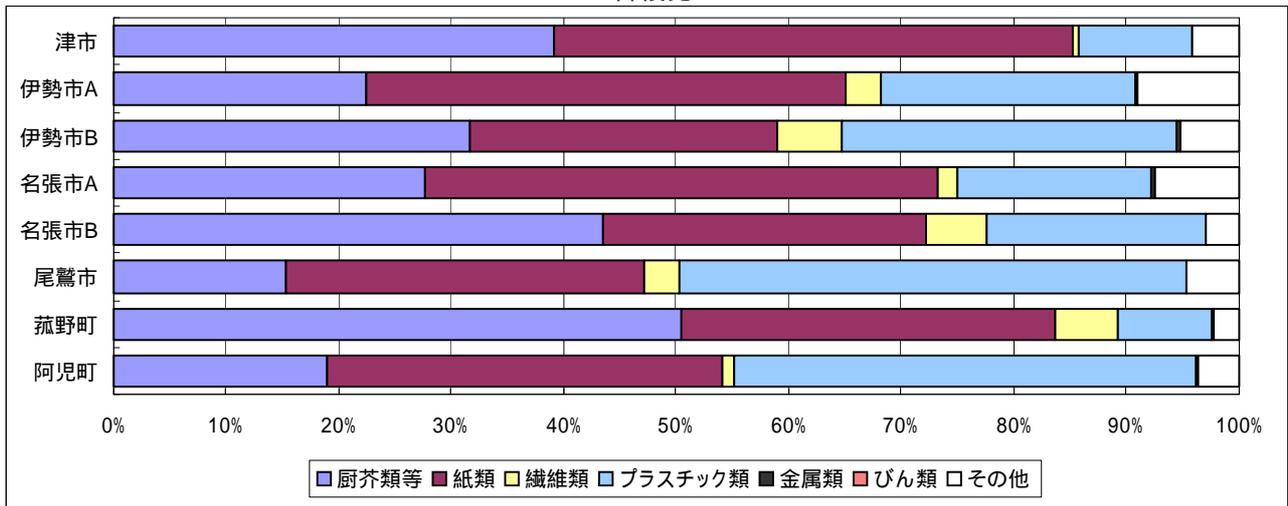
重量比では「厨芥類等」が津市、伊勢市、名張市、菰野町で6～7割と多くなっている。「紙類」は3割前後のところが多い。容積比では「プラスチック類」が尾鷲市、阿児町で4割を超えている。

重量比



重量比	津市	伊勢市A	伊勢市B	名張市A	名張市B	尾鷲市	菰野町	阿児町
厨芥類等	59.9	56.5	61.3	58.9	58.6	44.9	68.4	48.9
紙類	32.6	31.8	21.1	29.8	25.3	31.2	22.4	33.2
繊維類	0.6	2.9	5.9	3.8	7.6	5.7	4.2	1.4
プラスチック類	2.9	5.9	8.6	4.8	7.3	16.3	4.0	14.6
金属類	0.1	0.2	0.1	0.7	0.1	0.0	0.0	0.2
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	3.9	2.7	3.0	2.0	1.1	1.9	1.0	1.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

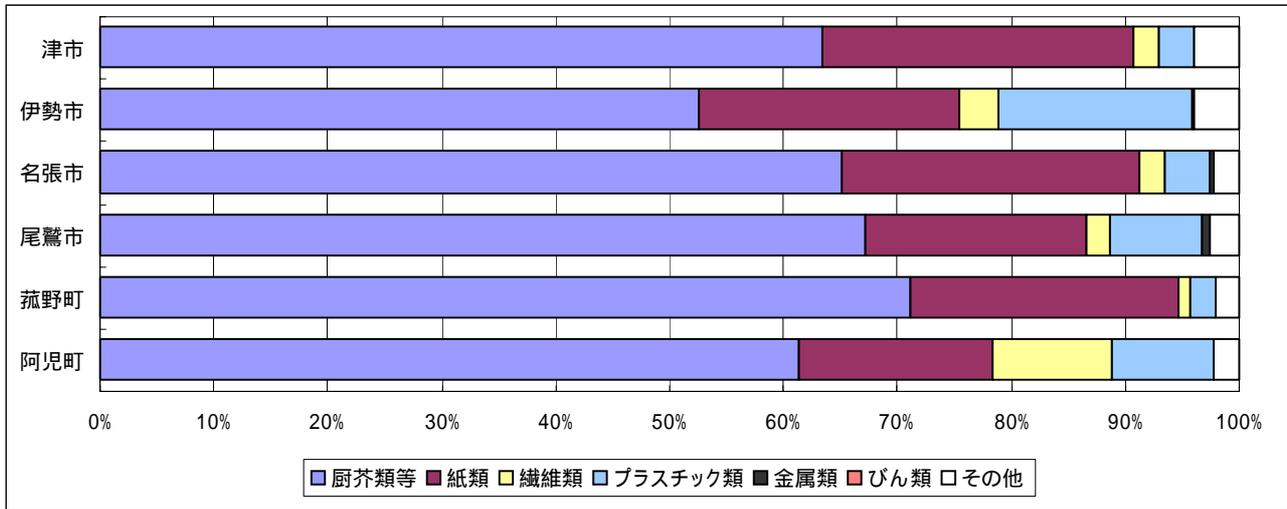


容積比	津市	伊勢市A	伊勢市B	名張市A	名張市B	尾鷲市	菰野町	阿児町
厨芥類等	39.2	22.5	31.7	27.6	43.4	15.3	50.4	19.0
紙類	46.0	42.6	27.3	45.7	28.7	31.9	33.2	35.1
繊維類	0.5	3.1	5.7	1.7	5.5	3.0	5.7	1.1
プラスチック類	10.1	22.5	29.8	17.1	19.4	45.1	8.3	41.0
金属類	0.0	0.3	0.3	0.5	0.0	0.0	0.1	0.1
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.2	9.0	5.2	7.4	3.0	4.7	2.3	3.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

ウ 農村(漁村)地域

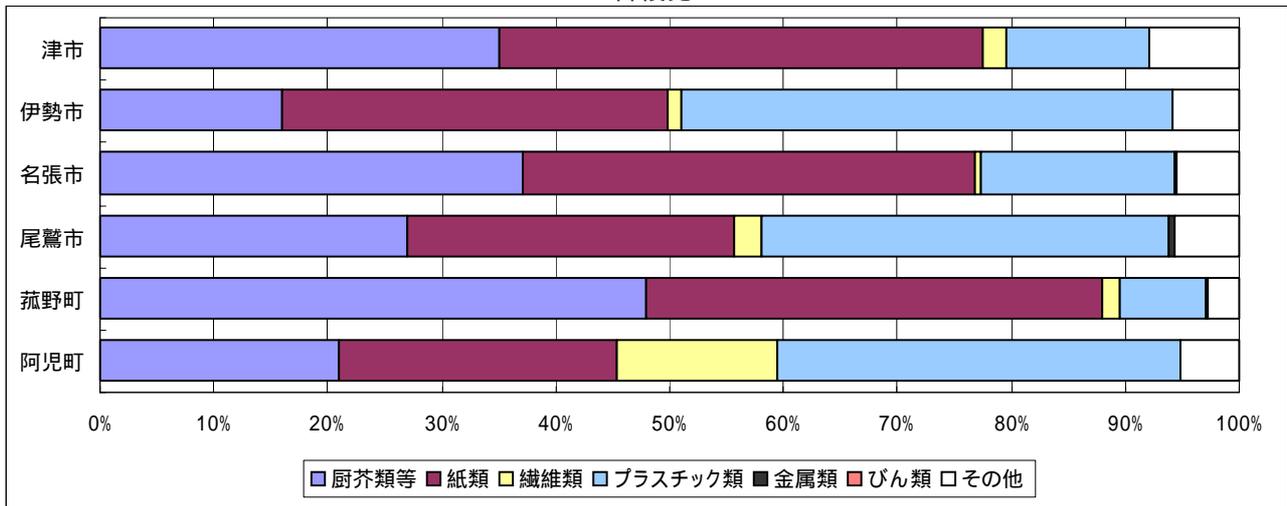
重量比では「厨芥類等」が5～7割を占めている。「紙類」は25%前後のところが多い。容積比では「プラスチック類」が伊勢市、尾鷲市、阿児町で多く、伊勢市では43%と最も多くなっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
厨芥類等	63.4	52.5	65.2	67.2	71.2	61.3
紙類	27.3	23.0	26.1	19.4	23.5	17.1
繊維類	2.3	3.4	2.1	2.0	1.0	10.4
プラスチック類	3.0	17.0	4.0	8.2	2.3	8.9
金属類	0.0	0.1	0.3	0.7	0.0	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.0	4.0	2.3	2.5	2.0	2.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

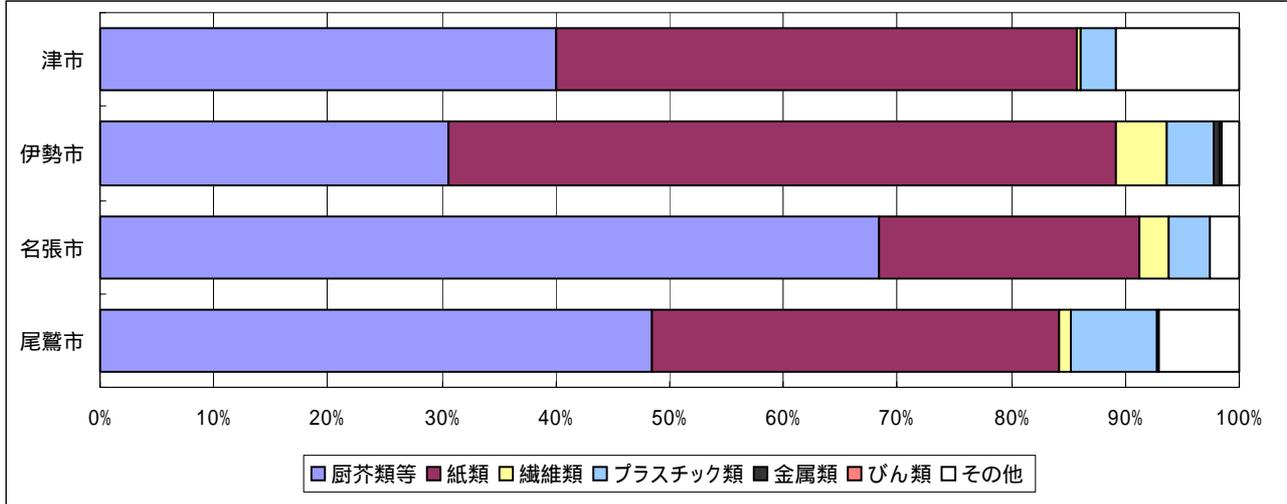


容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市	菰野町	阿児町
厨芥類等	35.1	16.0	37.1	27.0	48.0	21.0
紙類	42.4	33.8	39.7	28.6	40.0	24.4
繊維類	2.0	1.3	0.6	2.5	1.5	14.0
プラスチック類	12.6	43.0	16.9	35.8	7.6	35.5
金属類	0.0	0.0	0.2	0.4	0.1	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.9	5.9	5.5	5.7	2.8	5.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 工 住商混在地域

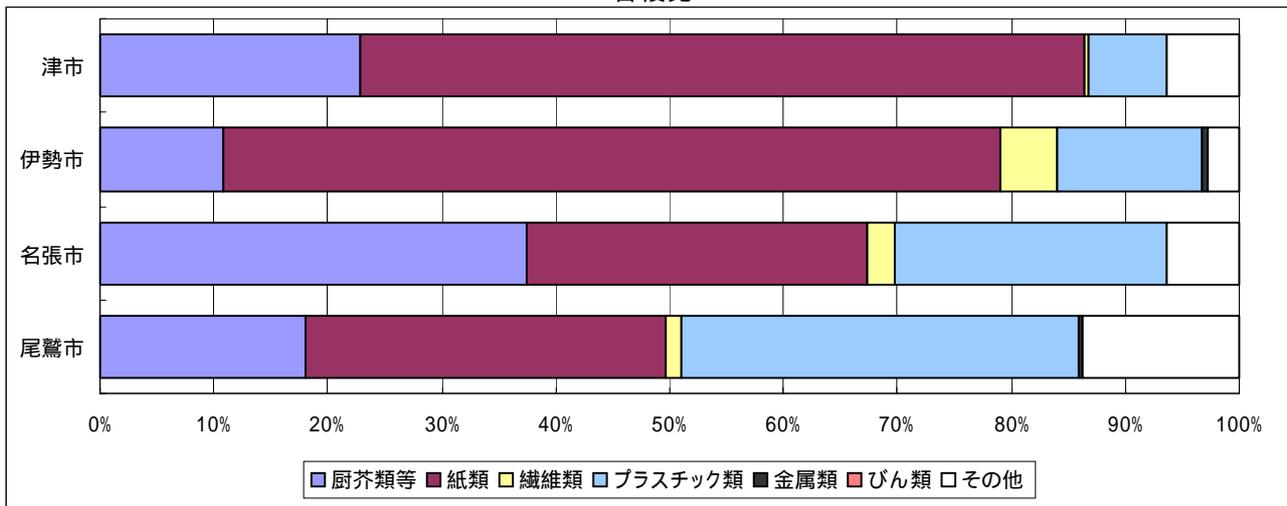
重量比では「紙類」が伊勢市で約59%、津市で約46%と多く、何れも「厨芥類等」を上回っている。容積比でも「紙類」が津市、伊勢市で多く、共に6割を超えている。「プラスチック類」では尾鷲市が約35%と多くなっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市
厨芥類等	40.1	30.5	68.4	48.5
紙類	45.6	58.6	22.9	35.7
繊維類	0.4	4.6	2.6	1.1
プラスチック類	3.0	4.1	3.6	7.4
金属類	0.0	0.5	0.0	0.2
びん類	0.0	0.2	0.0	0.0
その他	10.9	1.5	2.5	7.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

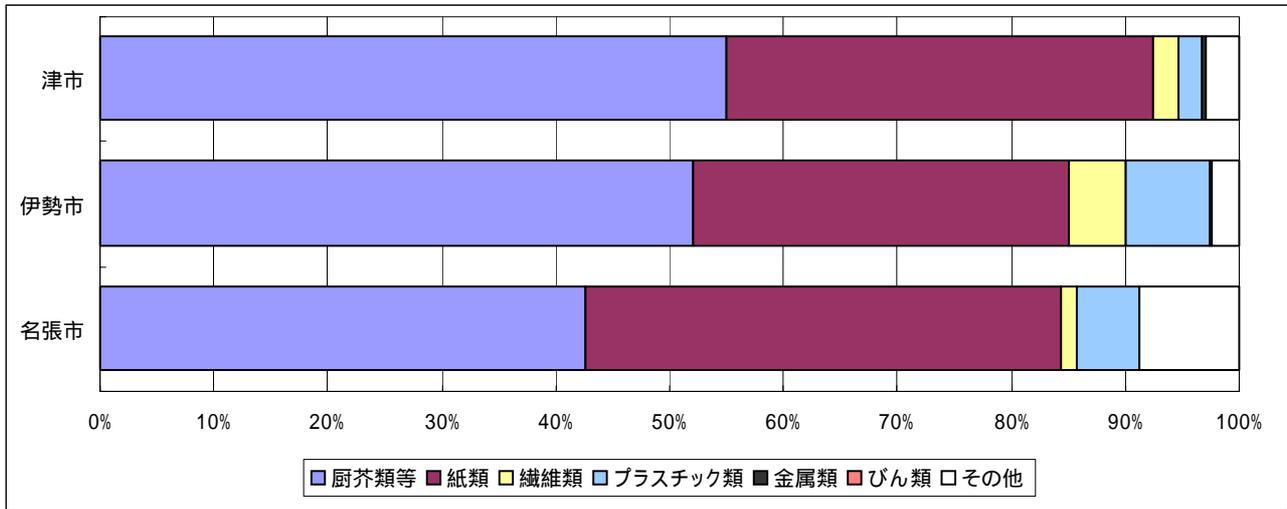


容積比	津市	伊勢市	名張市	尾鷲市
厨芥類等	22.9	10.8	37.4	18.1
紙類	63.6	68.3	30.0	31.6
繊維類	0.2	5.0	2.4	1.4
プラスチック類	6.9	12.6	23.8	34.8
金属類	0.0	0.5	0.1	0.3
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.4	2.8	6.3	13.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

オ 集合住宅(家族世帯)

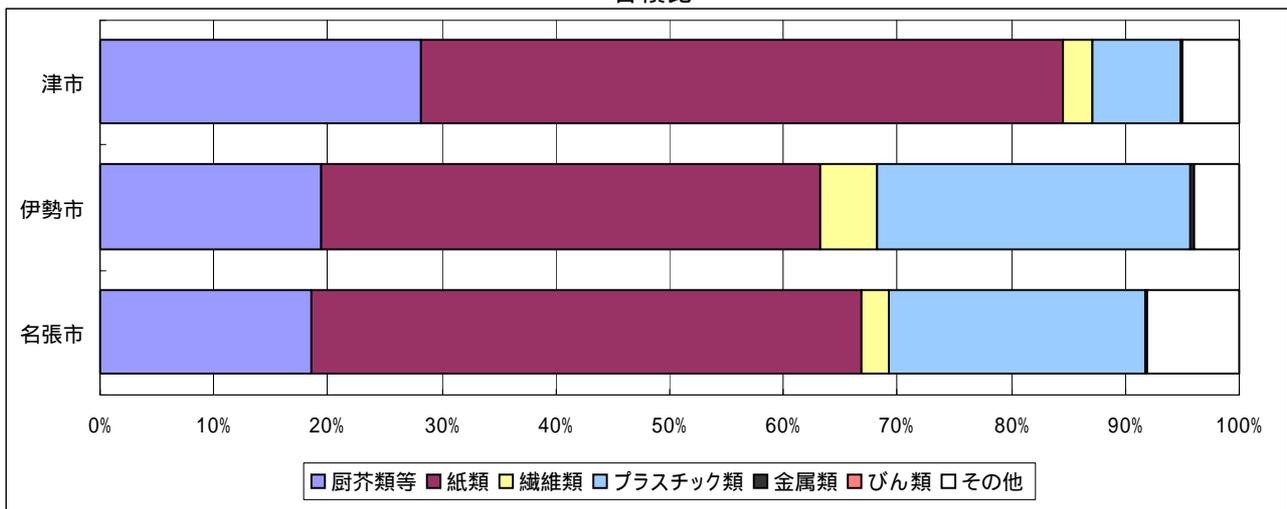
重量比では「厨芥類等」が4～5割、「紙等」が3～4割とその差が小さくなっている。容積比では、「紙類」が4～6割、「プラスチック類」が伊勢市、名張市で2割を超えている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市
厨芥類等	54.9	52.0	42.6
紙類	37.5	33.1	41.8
繊維類	2.3	4.9	1.4
プラスチック類	2.1	7.5	5.4
金属類	0.2	0.1	0.1
びん類	0.0	0.0	0.0
その他	3.0	2.4	8.7
合計	100.0	100.0	100.0

容積比

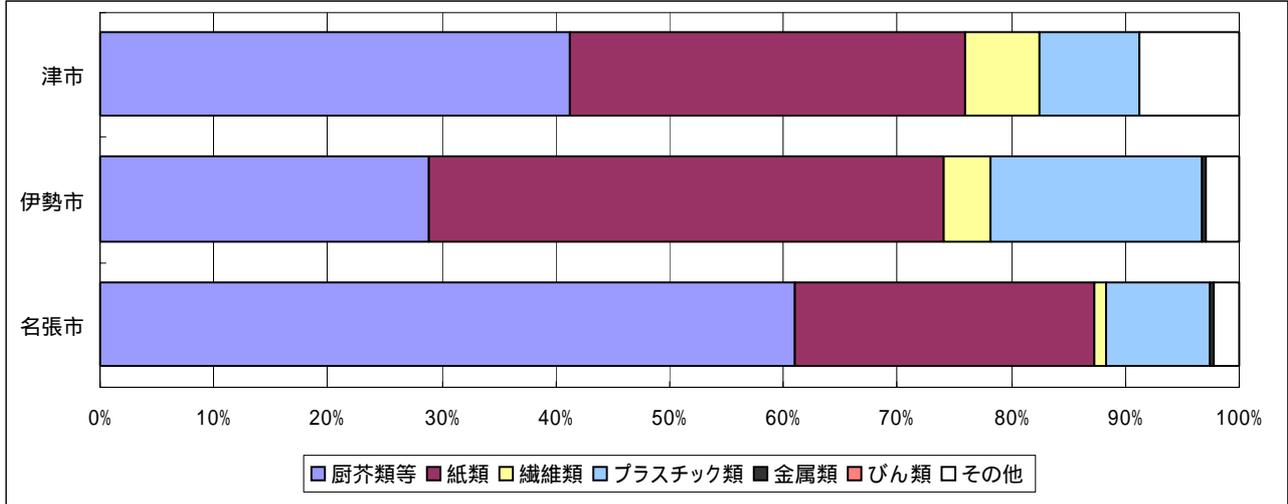


容積比	津市	伊勢市	名張市
厨芥類等	28.1	19.5	18.6
紙類	56.4	43.8	48.2
繊維類	2.6	4.9	2.4
プラスチック類	7.8	27.5	22.6
金属類	0.1	0.4	0.1
びん類	0.0	0.0	0.0
その他	5.0	3.9	8.1
合計	100.0	100.0	100.0

カ 集合住宅(単身世帯)

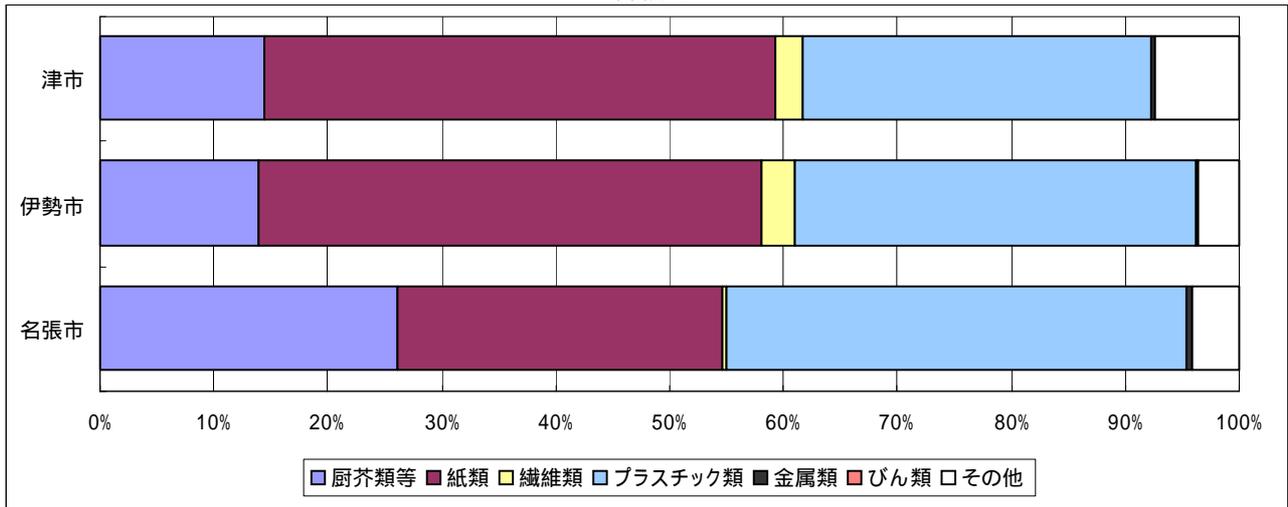
重量比では「紙類」が伊勢市で約45%、津市で約35%と多く、伊勢市では「厨芥類等」を上回っている。容積比では、「紙類」が津市、伊勢市で多く、共に4割を超えている。「プラスチック類」は3~4割となっている。

重量比



重量比	津市	伊勢市	名張市
厨芥類等	41.3	28.8	61.0
紙類	34.6	45.2	26.2
繊維類	6.5	4.2	1.1
プラスチック類	8.8	18.6	9.1
金属類	0.1	0.2	0.3
びん類	0.0	0.0	0.0
その他	8.7	3.0	2.3
合計	100.0	100.0	100.0

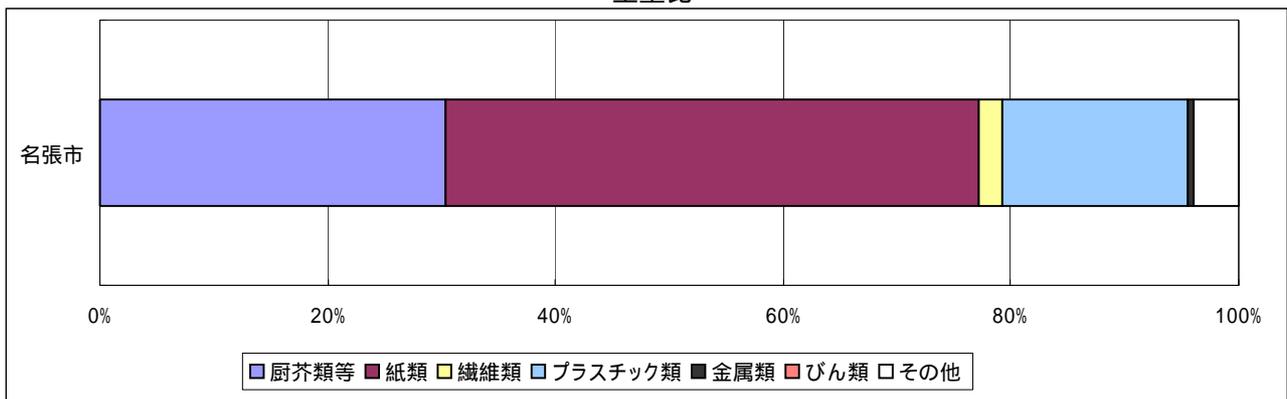
容積比



容積比	津市	伊勢市	名張市
厨芥類等	14.5	14.0	26.1
紙類	44.7	44.1	28.6
繊維類	2.5	2.9	0.3
プラスチック類	30.6	35.3	40.4
金属類	0.3	0.1	0.4
びん類	0.0	0.0	0.0
その他	7.4	3.6	4.2
合計	100.0	100.0	100.0

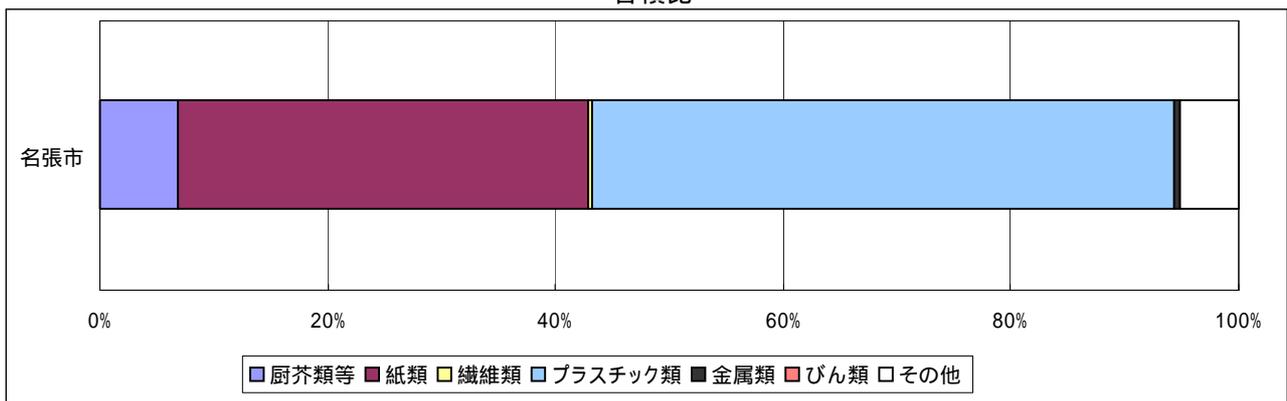
名張市の集合住宅(単身世帯)については、重量比で「厨芥類等」が61%と多くなっているが、住宅敷地内の剪定枝が収集当日大量に排出されたため、これが「厨芥類等」の大半を占めている。そこで、剪定枝を除いたうえで全体の組成を再度見てみると、重量比では「紙類」が約47%、「厨芥類等」は約30%、「プラスチック類」は約16%と伊勢市によく似た組成となる。容積比では「プラスチック類」が5割を超え、「紙類」と合わせると全体の9割近くにまで達している。

重量比



重量比	名張市
厨芥類等	30.4
紙類	46.8
繊維類	2.0
プラスチック類	16.3
金属類	0.6
びん類	0.0
その他	3.9
合計	100.0

容積比

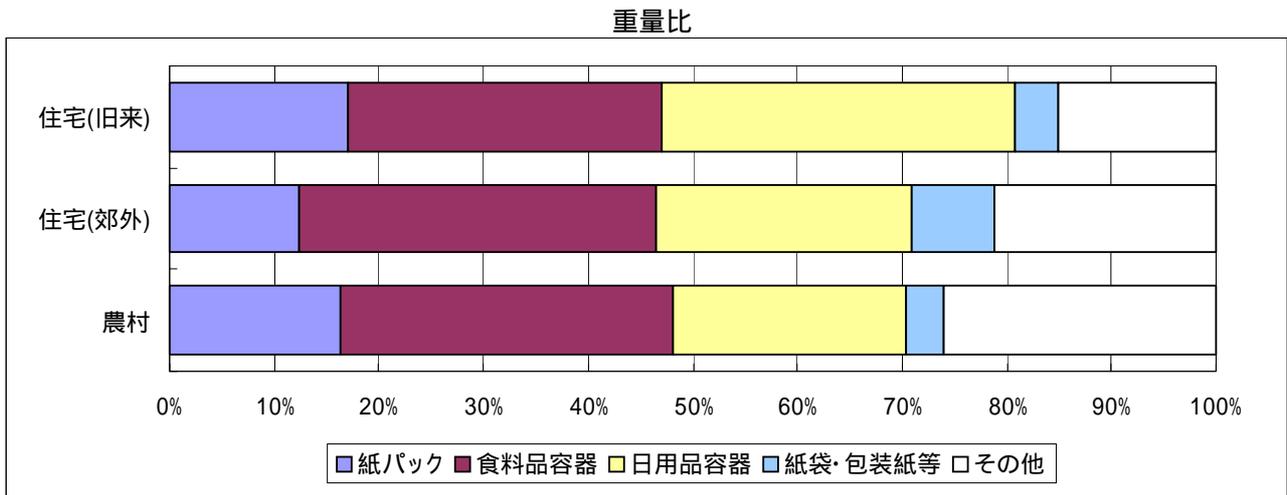


容積比	名張市
厨芥類等	6.8
紙類	36.1
繊維類	0.4
プラスチック類	51.0
金属類	0.5
びん類	0.0
その他	5.2
合計	100.0

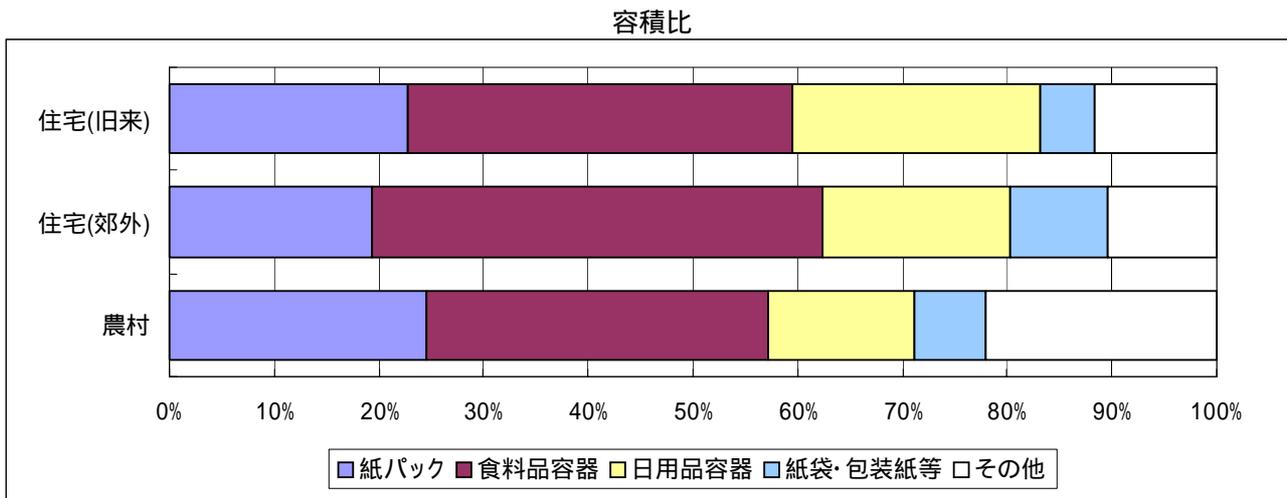
### (3) 紙製容器包装

容器包装リサイクル法により紙製容器包装の分別収集をしている菰野町について、紙製容器包装の組成を地域別に見ると、重量比では「食料品容器」が約3割、「日用品容器」が2割～3割を占め、紙パックは10%台、紙袋・包装紙等は10%未満に止まっている。容積比では「食料品容器」が最も多く3～4割を占め、「紙パック」が2割、「日用品容器」が1～2割となっている。

【菰野町における紙製容器包装の組成】



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
紙パック	17.0	12.4	16.3
食料品容器	30.0	34.1	31.8
日用品容器	33.8	24.4	22.3
紙袋・包装紙等	4.1	7.9	3.5
その他	15.1	21.2	26.1
合計	100.0	100.0	100.0



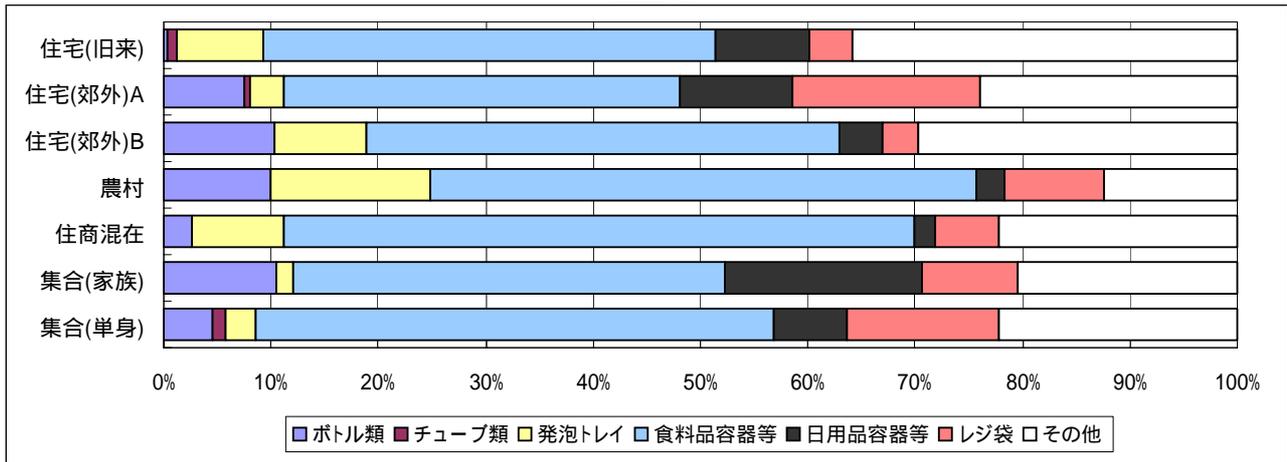
容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
紙パック	22.8	19.4	24.6
食料品容器	36.7	43.0	32.6
日用品容器	23.6	17.9	13.9
紙袋・包装紙等	5.3	9.3	6.8
その他	11.6	10.4	22.1
合計	100.0	100.0	100.0

#### (4) プラスチック製容器包装

容器包装リサイクル法によりプラスチック製容器包装の分別収集をしている伊勢市について、プラスチック製容器包装の組成を地域別に見ると、重量比では「食料品容器等」が4～6割、容積比では5割前後のところが多くなっている。チューブ類は含まれていないところが多く、含まれているところでも、重量比、容積比とも1%未満となっている。

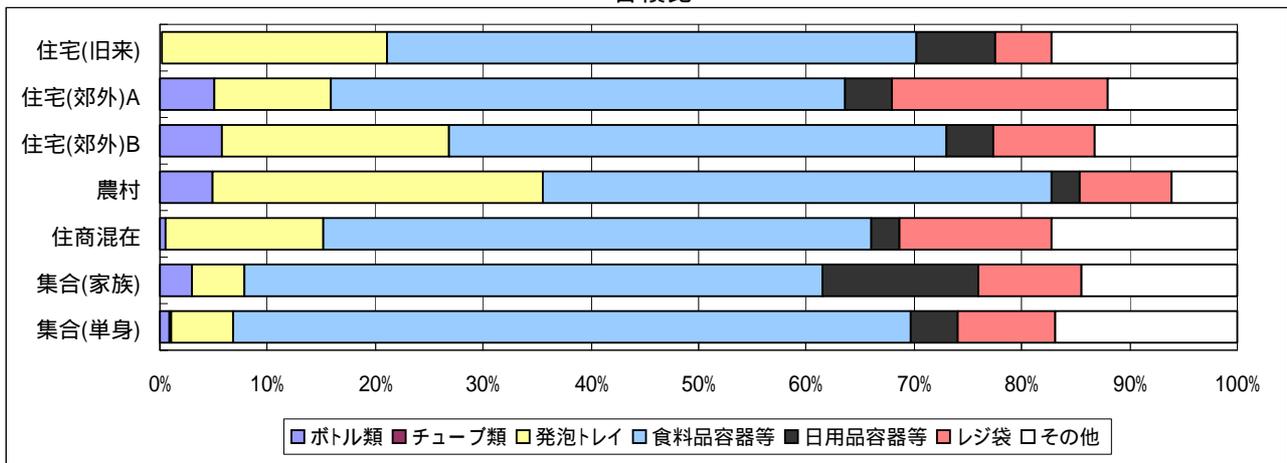
【伊勢市におけるプラスチック製容器包装の組成】

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
ボトル類	0.4	7.6	10.3	9.9	2.6	10.5	4.6
チューブ類	0.9	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	1.2
発泡トレイ	7.9	3.2	8.5	14.9	8.6	1.6	2.7
食料品容器等	42.2	36.9	44.1	50.9	58.7	40.2	48.3
日用品容器等	8.7	10.4	4.0	2.6	2.0	18.3	6.9
レジ袋	4.1	17.6	3.3	9.3	5.9	8.9	14.1
その他	35.8	23.9	29.8	12.4	22.2	20.5	22.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
ボトル類	0.0	5.0	5.7	4.9	0.5	2.9	0.9
チューブ類	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
発泡トレイ	21.0	10.8	21.2	30.7	14.6	5.0	5.8
食料品容器等	49.1	47.8	46.1	47.1	50.9	53.6	62.8
日用品容器等	7.4	4.4	4.4	2.6	2.7	14.4	4.5
レジ袋	5.2	19.9	9.4	8.6	14.1	9.6	9.0
その他	17.2	12.1	13.2	6.1	17.2	14.5	16.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

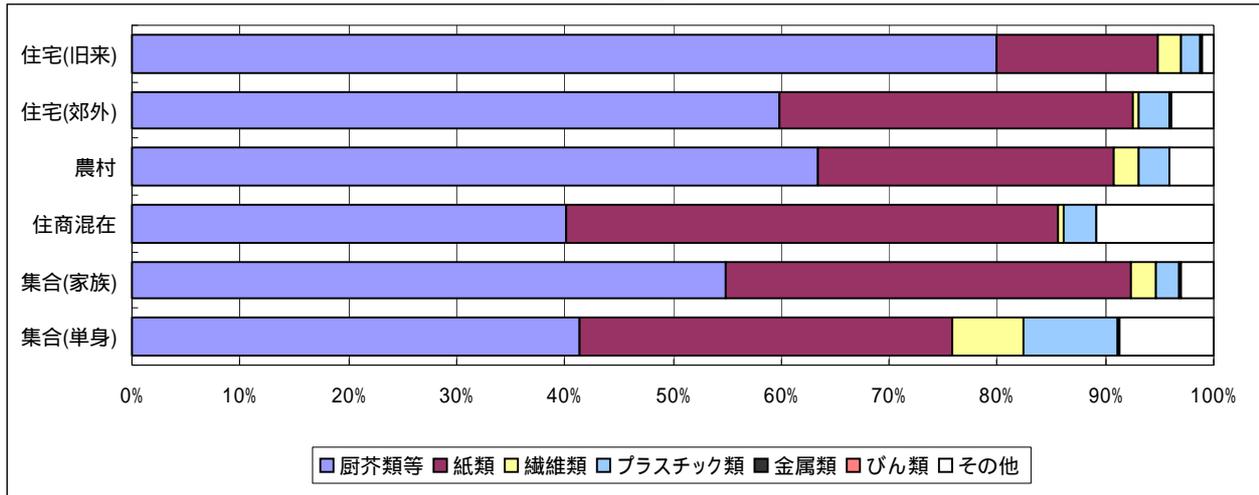
### 3. 可燃ごみ分析調査詳細

#### (1) 品目別組成

##### ア 全体の組成

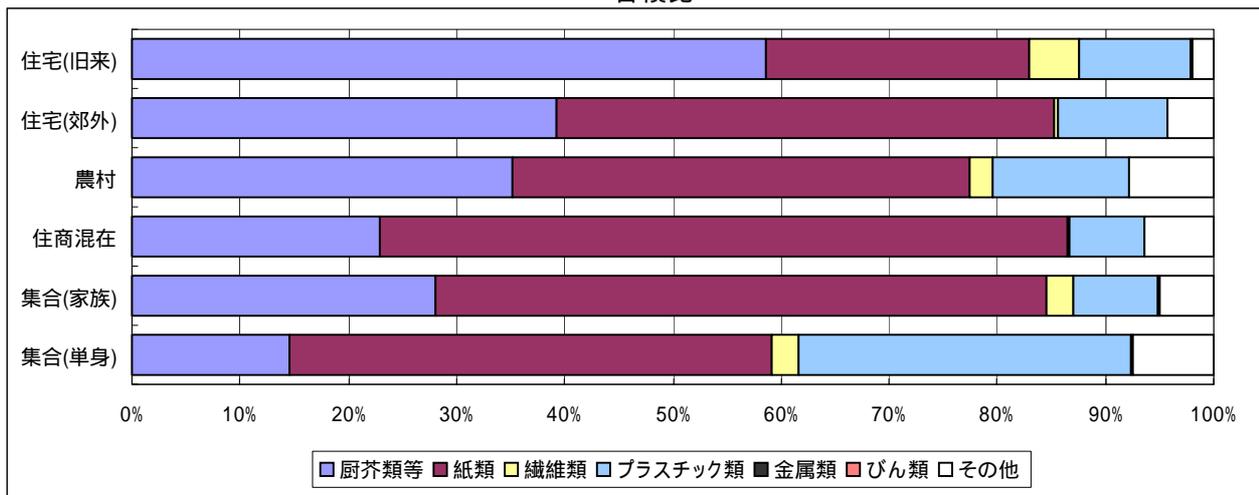
##### (ア) 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
厨芥類等	80.0	59.9	63.4	40.1	54.9	41.3
紙類	14.8	32.6	27.3	45.6	37.5	34.6
繊維類	2.1	0.6	2.3	0.4	2.3	6.5
プラスチック類	1.8	2.9	3.0	3.0	2.1	8.8
金属類	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.1	3.9	4.0	10.9	3.0	8.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

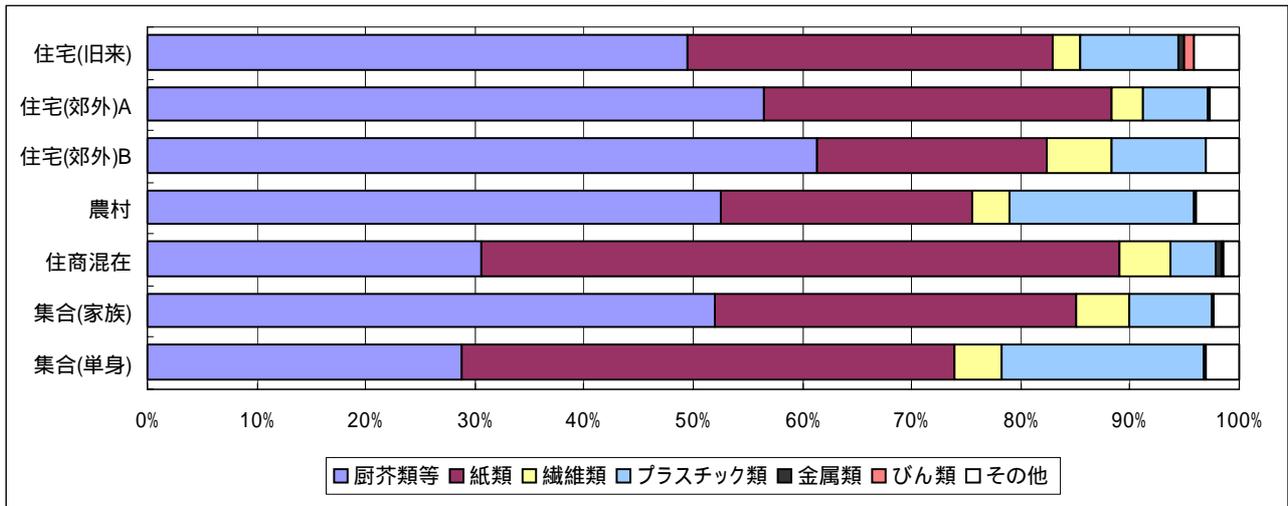
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
厨芥類等	58.7	39.2	35.1	22.9	28.1	14.5
紙類	24.3	46.0	42.4	63.6	56.4	44.7
繊維類	4.5	0.5	2.0	0.2	2.6	2.5
プラスチック類	10.4	10.1	12.6	6.9	7.8	30.6
金属類	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.9	4.2	7.9	6.4	5.0	7.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

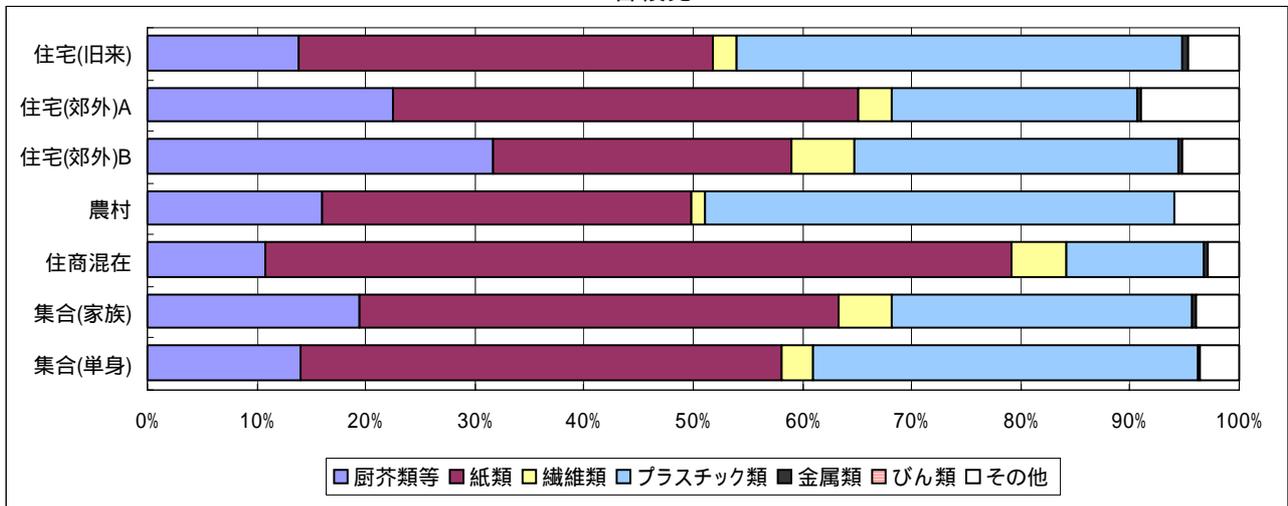
(イ) 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
厨芥類等	49.4	56.5	61.3	52.5	30.5	52.0	28.8
紙類	33.5	31.8	21.1	23.0	58.6	33.1	45.2
繊維類	2.5	2.9	5.9	3.4	4.6	4.9	4.2
プラスチック類	9.1	5.9	8.6	17.0	4.1	7.5	18.6
金属類	0.5	0.2	0.1	0.1	0.5	0.1	0.2
びん類	0.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
その他	4.1	2.7	3.0	4.0	1.5	2.4	3.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

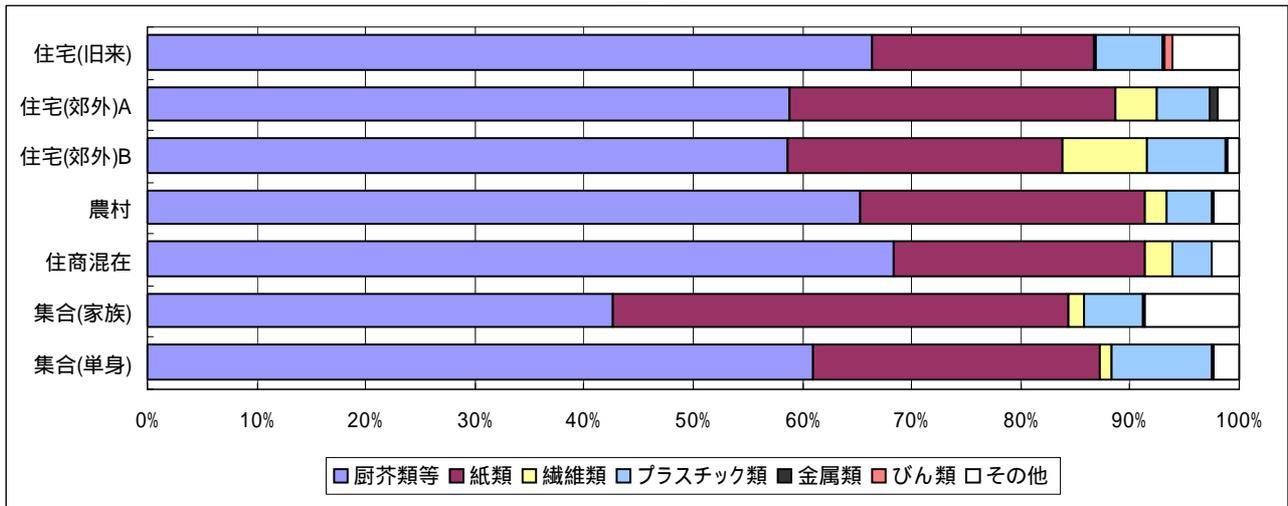
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
厨芥類等	13.9	22.5	31.7	16.0	10.8	19.5	14.0
紙類	37.9	42.6	27.3	33.8	68.3	43.8	44.1
繊維類	2.2	3.1	5.7	1.3	5.0	4.9	2.9
プラスチック類	40.7	22.5	29.8	43.0	12.6	27.5	35.3
金属類	0.7	0.3	0.3	0.0	0.5	0.4	0.1
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.6	9.0	5.2	5.9	2.8	3.9	3.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

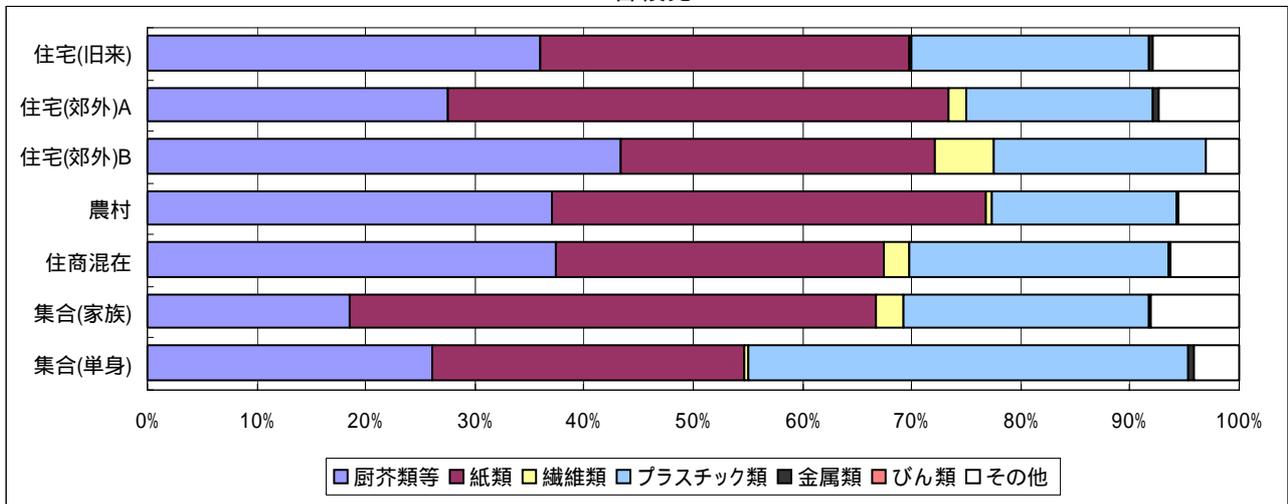
(ウ) 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
厨芥類等	66.4	58.9	58.6	65.2	68.4	42.6	61.0
紙類	20.3	29.8	25.3	26.1	22.9	41.8	26.2
繊維類	0.1	3.8	7.6	2.1	2.6	1.4	1.1
プラスチック類	6.1	4.8	7.3	4.0	3.6	5.4	9.1
金属類	0.3	0.7	0.1	0.3	0.0	0.1	0.3
びん類	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.1	2.0	1.1	2.3	2.5	8.7	2.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

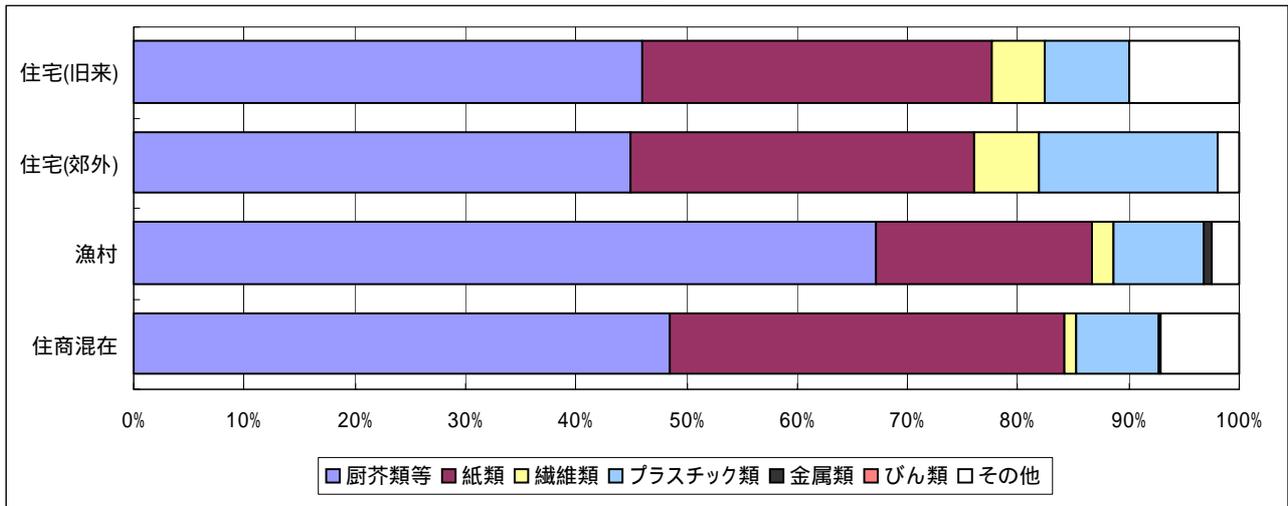
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
厨芥類等	35.9	27.6	43.4	37.1	37.4	18.6	26.1
紙類	33.9	45.7	28.7	39.7	30.0	48.2	28.6
繊維類	0.1	1.7	5.5	0.6	2.4	2.4	0.3
プラスチック類	21.9	17.1	19.4	16.9	23.8	22.6	40.4
金属類	0.2	0.5	0.0	0.2	0.1	0.1	0.4
びん類	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.9	7.4	3.0	5.5	6.3	8.1	4.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

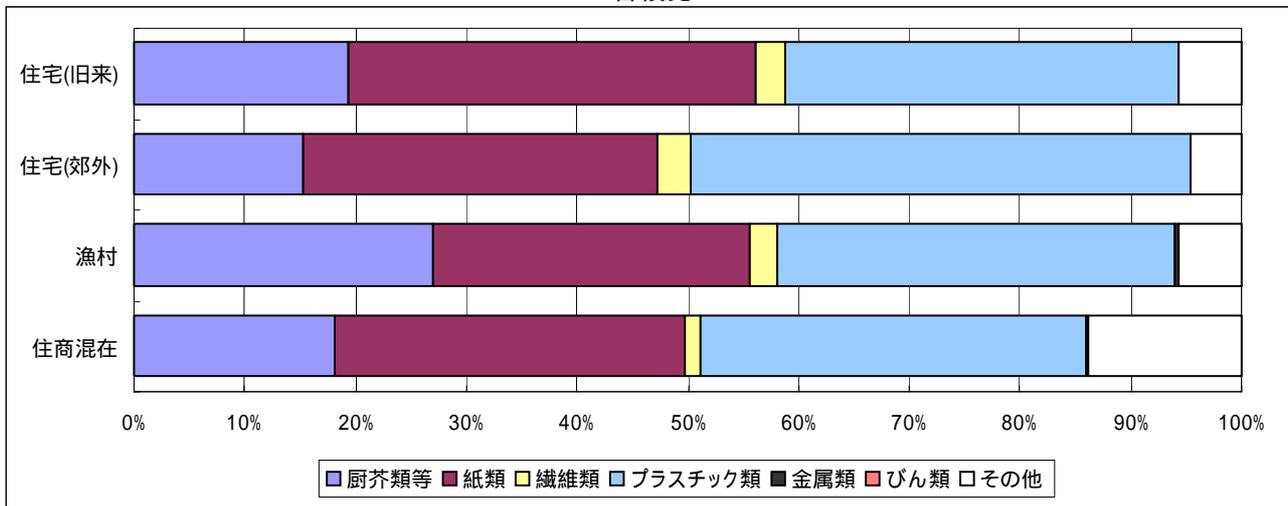
(工) 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
厨芥類等	46.0	44.9	67.2	48.5
紙類	31.6	31.2	19.4	35.7
繊維類	4.8	5.7	2.0	1.1
プラスチック類	7.7	16.3	8.2	7.4
金属類	0.0	0.0	0.7	0.2
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9.9	1.9	2.5	7.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

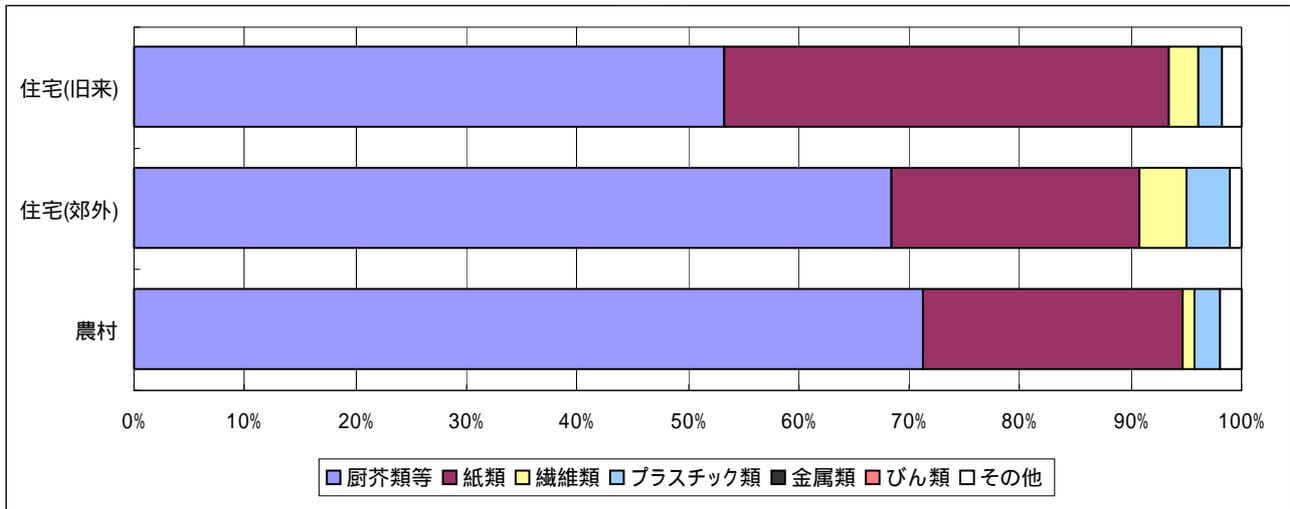
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
厨芥類等	19.3	15.3	27.0	18.1
紙類	36.9	31.9	28.6	31.6
繊維類	2.6	3.0	2.5	1.4
プラスチック類	35.6	45.1	35.8	34.8
金属類	0.0	0.0	0.4	0.3
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.6	4.7	5.7	13.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

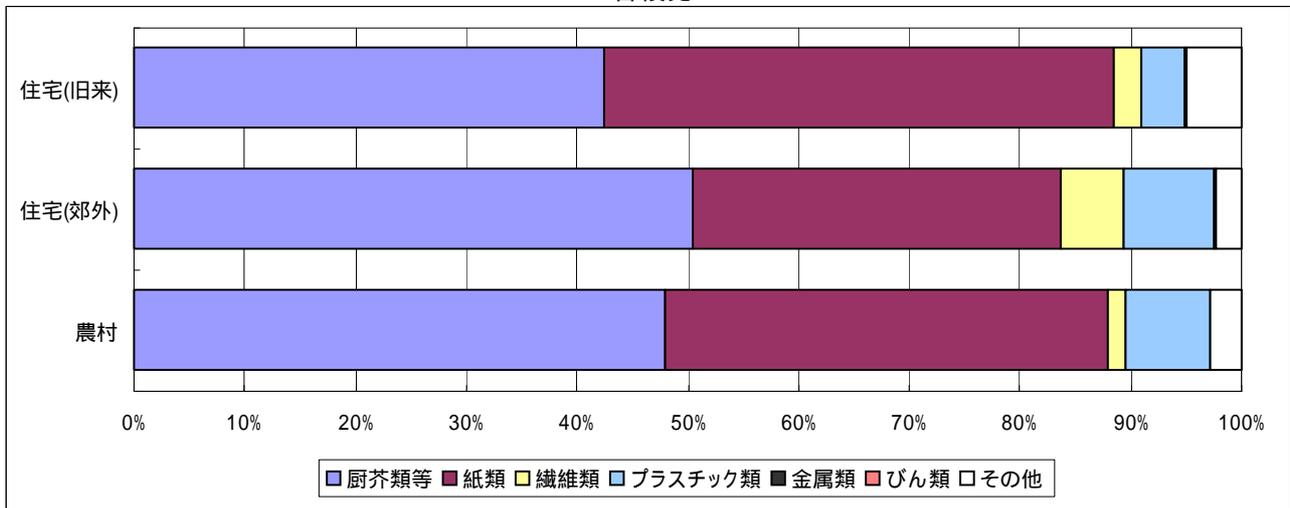
(オ) 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
厨芥類等	53.3	68.4	71.2
紙類	40.2	22.4	23.5
繊維類	2.6	4.2	1.0
プラスチック類	2.1	4.0	2.3
金属類	0.1	0.0	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0
その他	1.7	1.0	2.0
合計	100.0	100.0	100.0

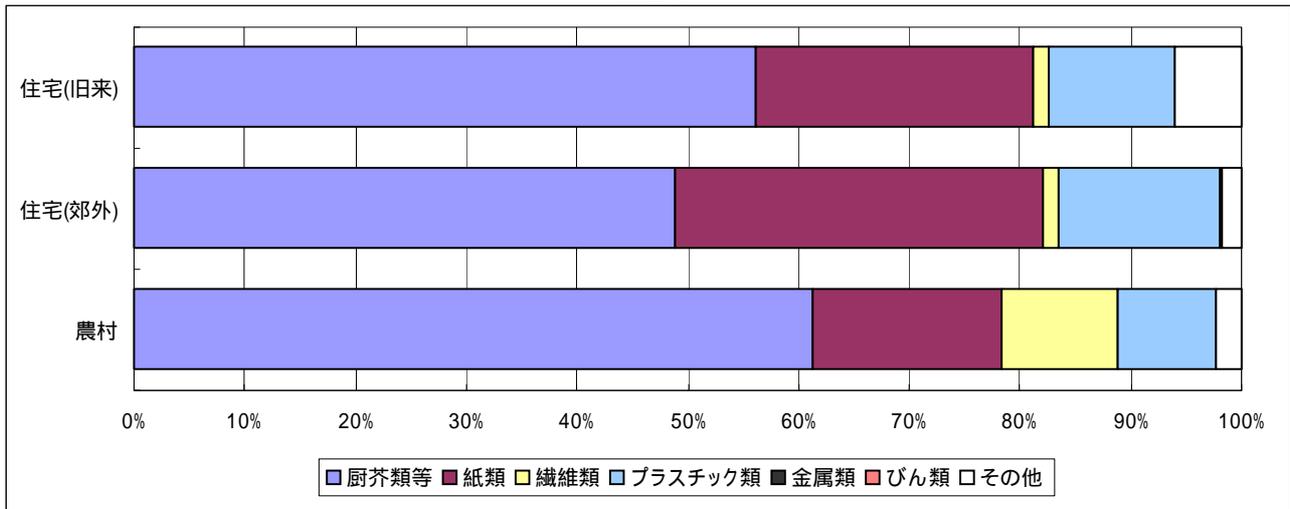
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
厨芥類等	42.5	50.4	48.0
紙類	45.9	33.2	40.0
繊維類	2.5	5.7	1.5
プラスチック類	4.0	8.3	7.6
金属類	0.1	0.1	0.1
びん類	0.0	0.0	0.0
その他	5.0	2.3	2.8
合計	100.0	100.0	100.0

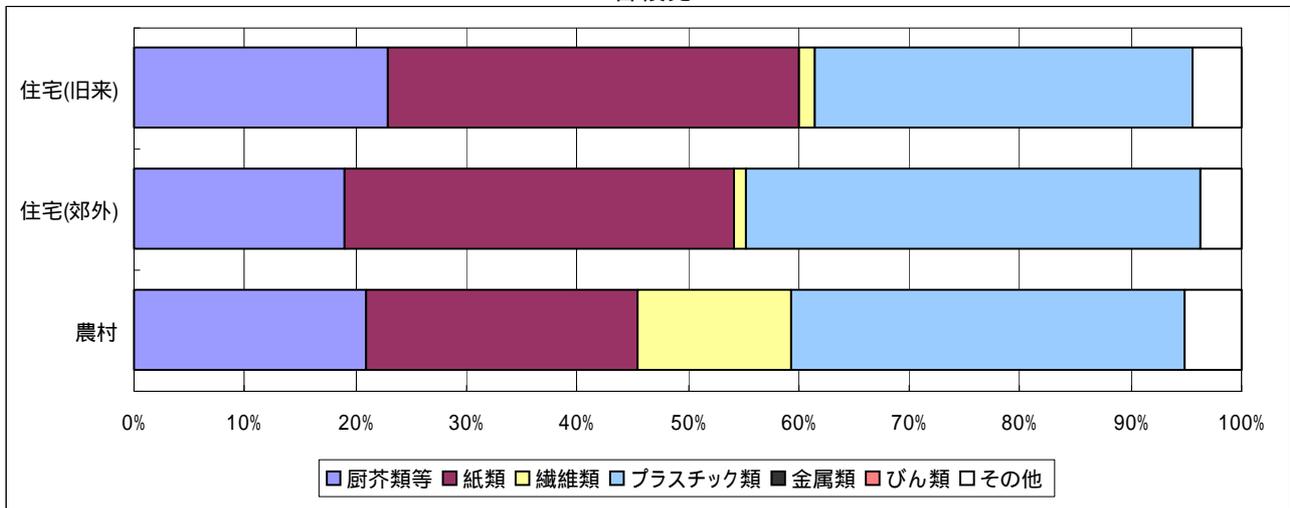
(カ) 阿児町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
厨芥類等	56.2	48.9	61.3
紙類	24.9	33.2	17.1
繊維類	1.5	1.4	10.4
プラスチック類	11.4	14.6	8.9
金属類	0.0	0.2	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0
その他	6.0	1.7	2.3
合計	100.0	100.0	100.0

容積比

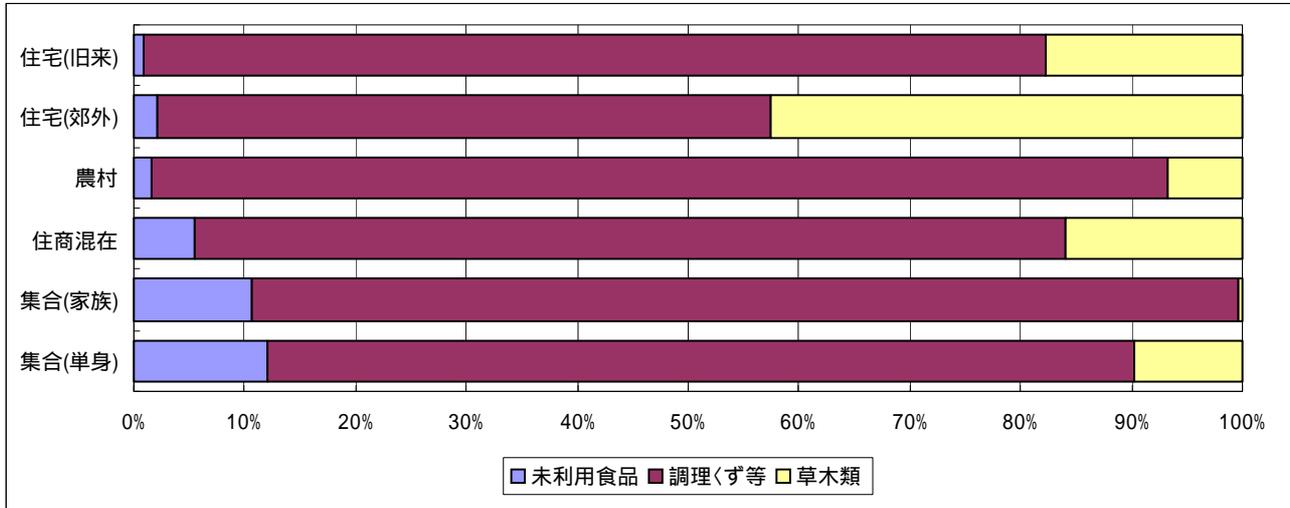


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
厨芥類等	23.0	19.0	21.0
紙類	37.0	35.1	24.4
繊維類	1.4	1.1	14.0
プラスチック類	34.1	41.0	35.5
金属類	0.0	0.1	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0
その他	4.5	3.7	5.1
合計	100.0	100.0	100.0

イ 厨芥類等の組成

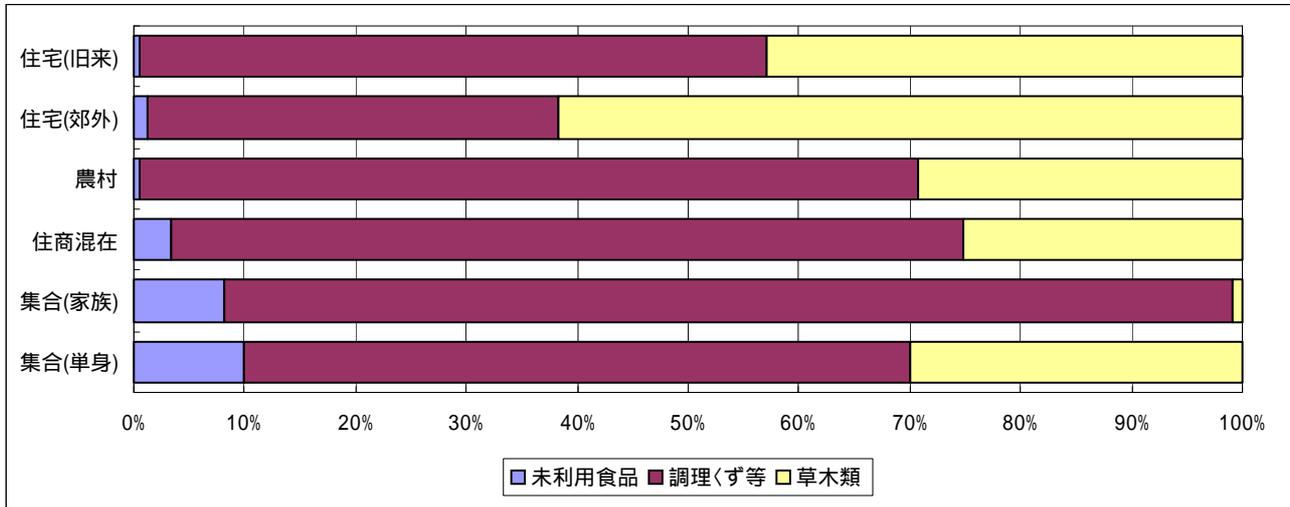
(ア) 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
未利用食品	0.8	2.1	1.6	5.5	10.6	12.1
調理くず等	81.5	55.3	91.6	78.6	89.0	78.2
草木類	17.7	42.6	6.8	15.9	0.4	9.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

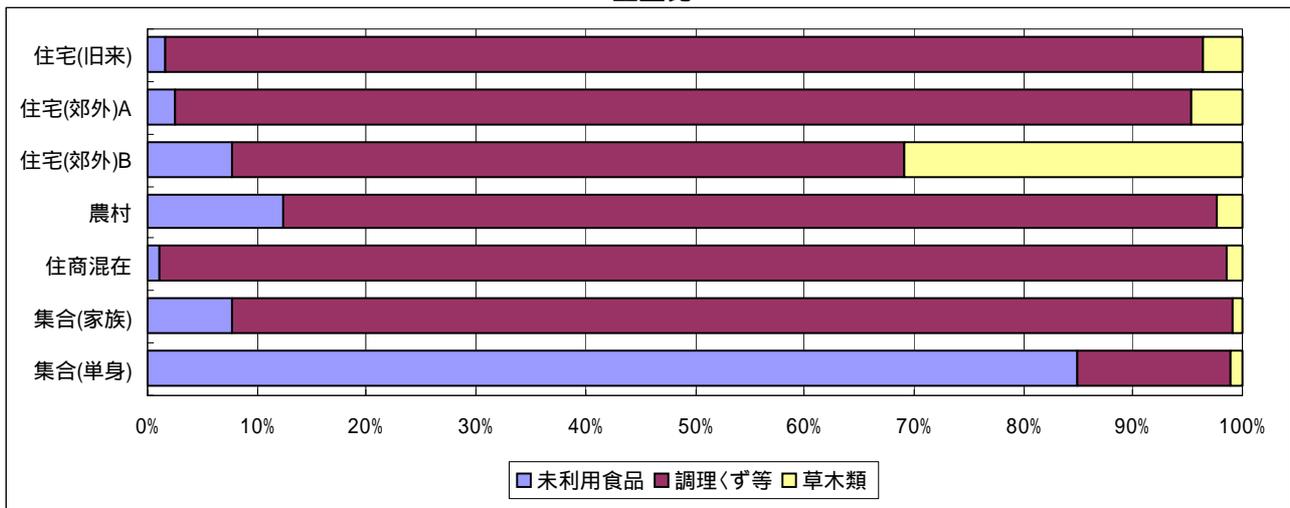
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
未利用食品	0.5	1.2	0.6	3.3	8.1	10.0
調理くず等	56.6	37.1	70.2	71.6	91.1	60.1
草木類	42.9	61.7	29.2	25.1	0.8	29.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

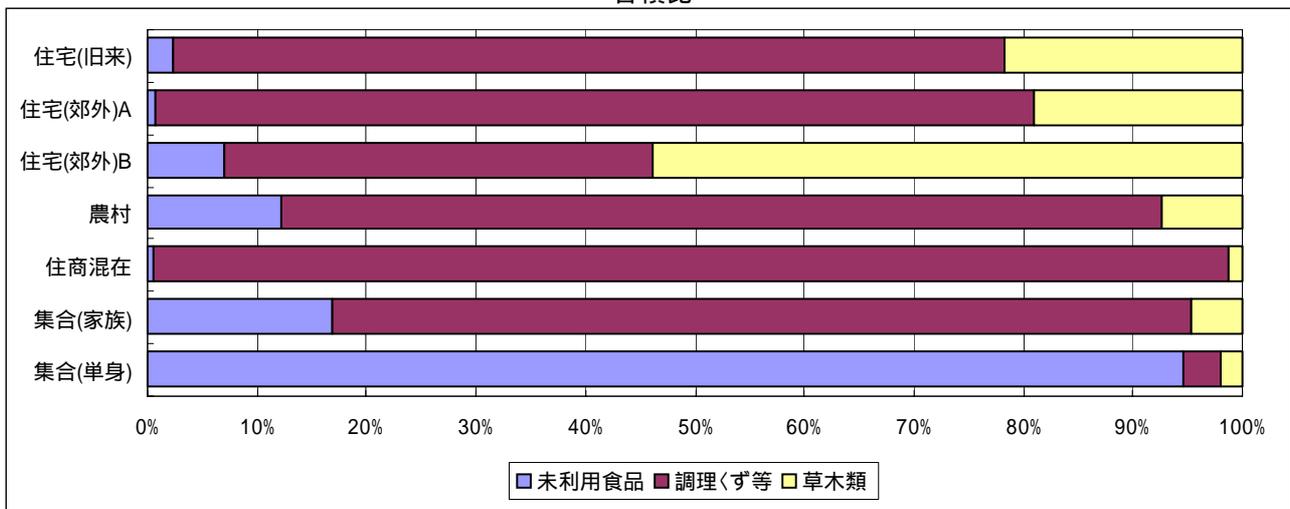
(1) 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
未利用食品	1.6	2.6	7.8	12.3	1.1	7.8	85.0
調理くず等	94.8	92.7	61.3	85.4	97.4	91.3	14.0
草木類	3.6	4.7	30.9	2.3	1.5	0.9	1.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

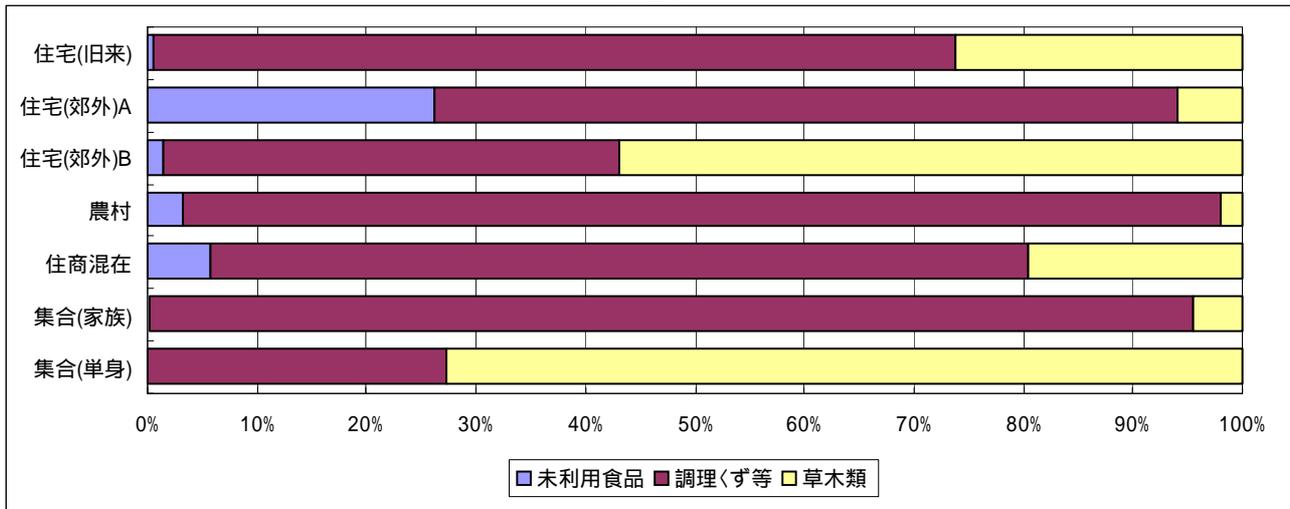
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
未利用食品	2.3	0.8	7.0	12.2	0.6	16.8	94.7
調理くず等	75.9	80.1	39.1	80.4	98.2	78.5	3.4
草木類	21.8	19.1	53.9	7.4	1.2	4.7	1.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

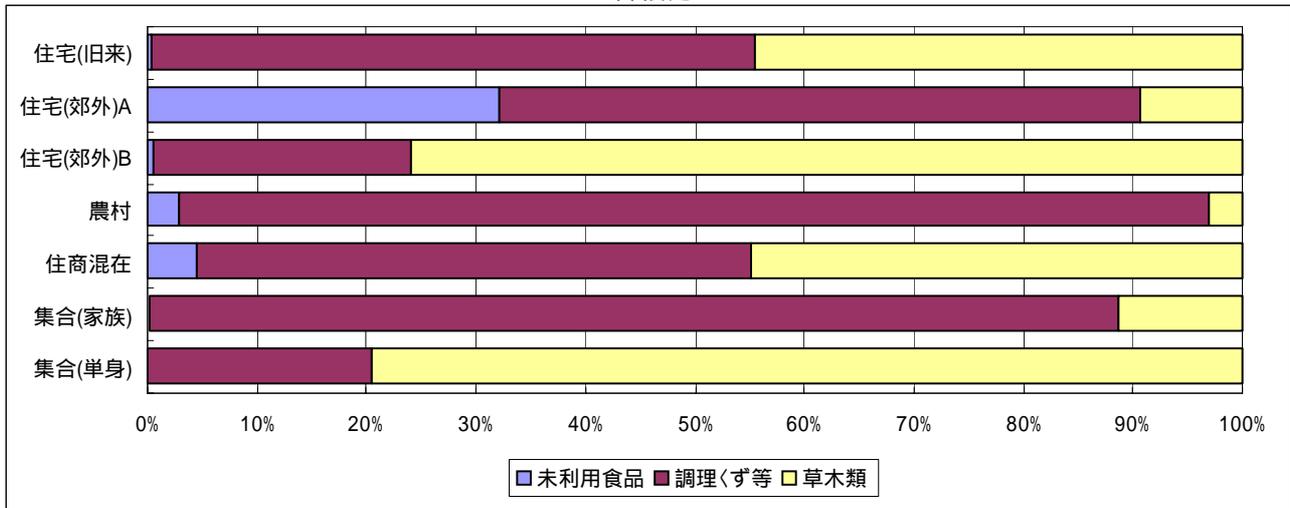
(ウ) 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
未利用食品	0.6	26.2	1.4	3.2	5.7	0.2	0.0
調理くず等	73.1	67.9	41.7	94.8	74.7	95.4	27.2
草木類	26.3	5.9	56.9	2.0	19.6	4.4	72.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

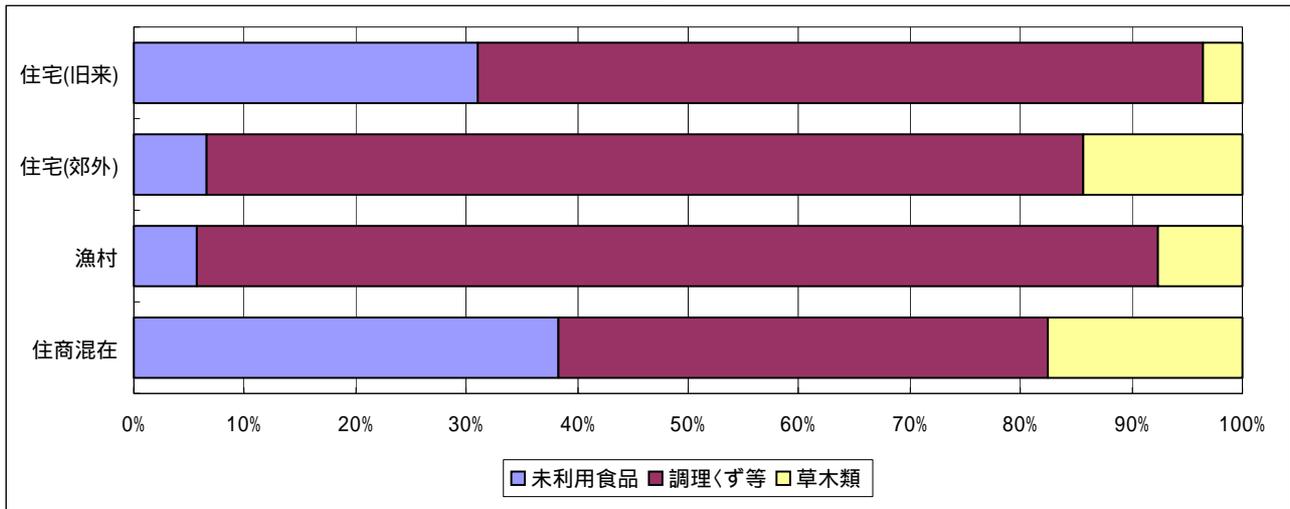
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
未利用食品	0.3	32.1	0.5	2.8	4.4	0.1	0.0
調理くず等	55.2	58.5	23.5	94.1	50.7	88.5	20.5
草木類	44.5	9.4	76.0	3.1	44.9	11.4	79.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

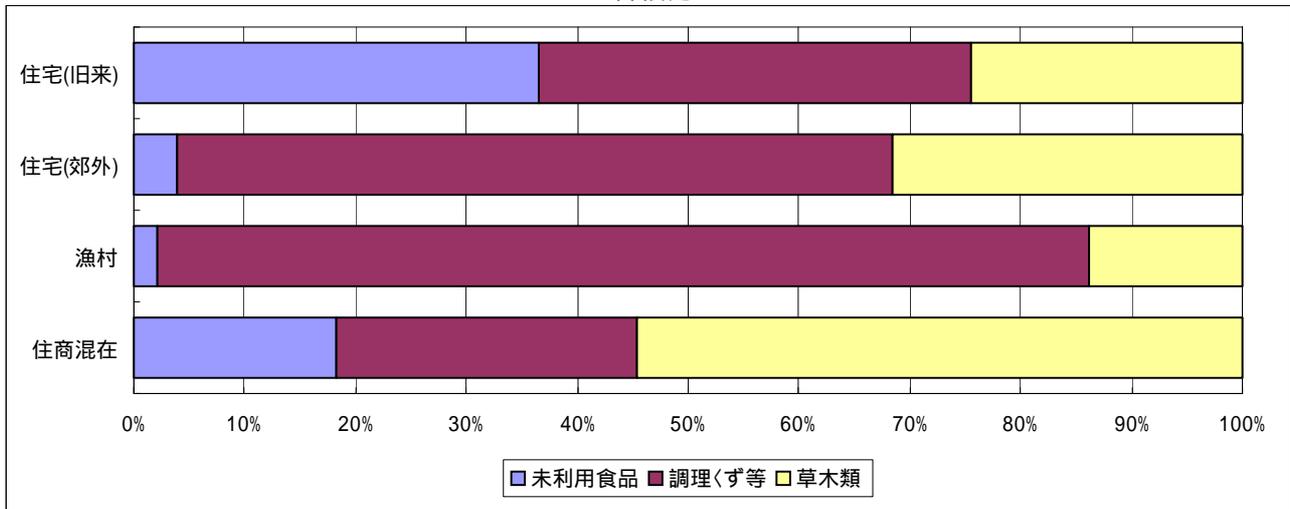
(工) 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
未利用食品	31.0	6.5	5.6	38.3
調理くず等	65.4	79.1	86.7	44.1
草木類	3.6	14.4	7.7	17.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

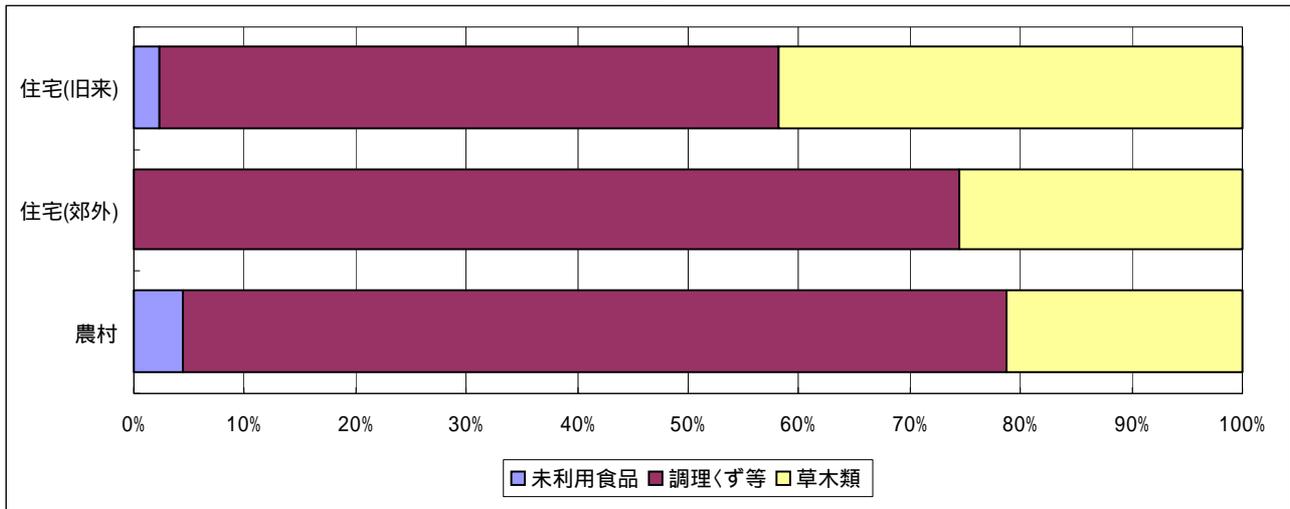
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
未利用食品	36.6	3.9	2.2	18.2
調理くず等	39.0	64.6	84.0	27.2
草木類	24.4	31.5	13.8	54.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

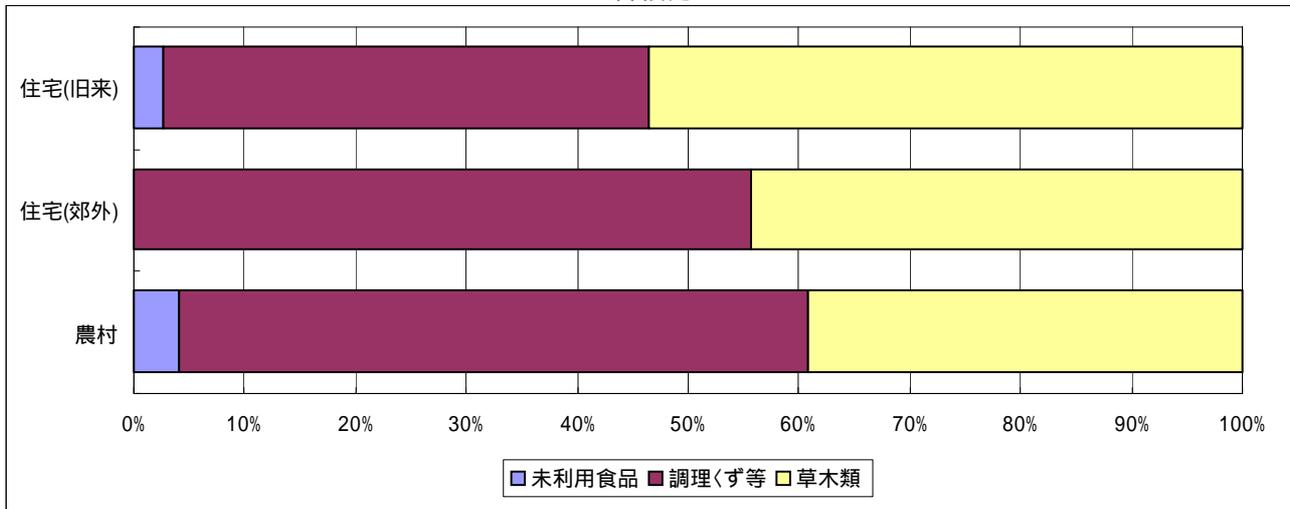
(才) 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
未利用食品	2.3	0.0	4.5
調理くず等	55.9	74.5	74.2
草木類	41.8	25.5	21.3
合計	100.0	100.0	100.0

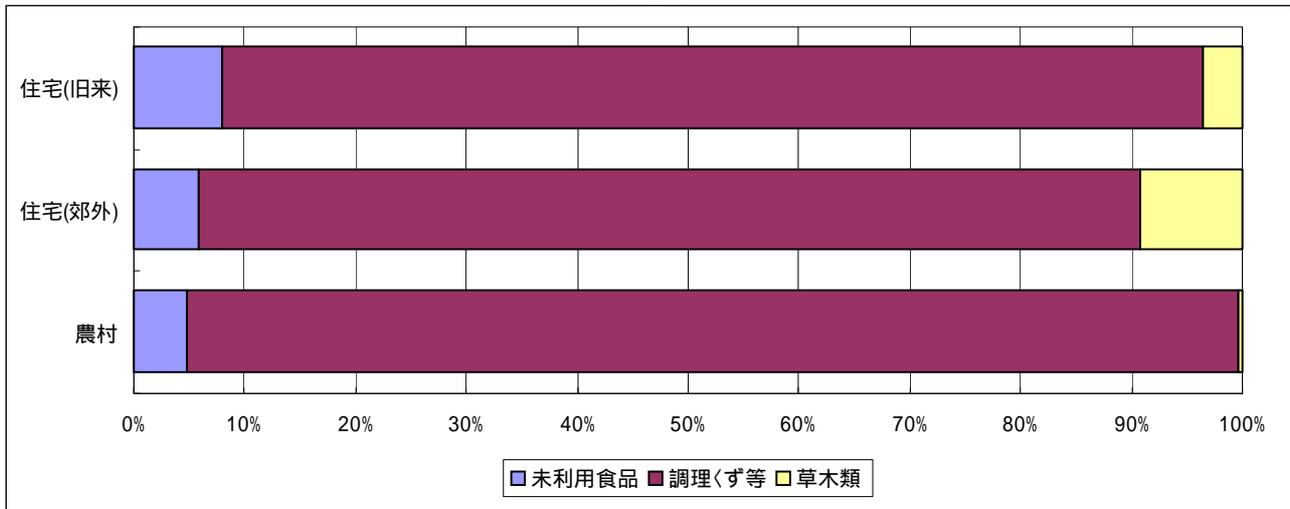
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
未利用食品	2.7	0.0	4.1
調理くず等	43.8	55.6	56.8
草木類	53.5	44.4	39.1
合計	100.0	100.0	100.0

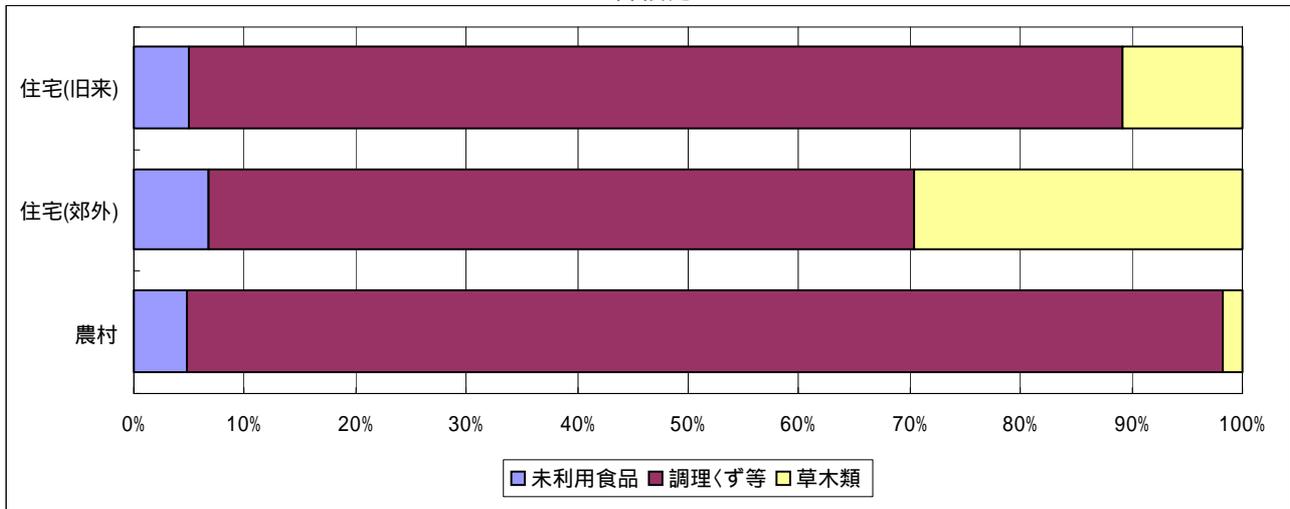
(カ) 阿児町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
未利用食品	7.9	5.9	4.7
調理くず等	88.6	84.9	94.9
草木類	3.5	9.2	0.4
合計	100.0	100.0	100.0

容積比

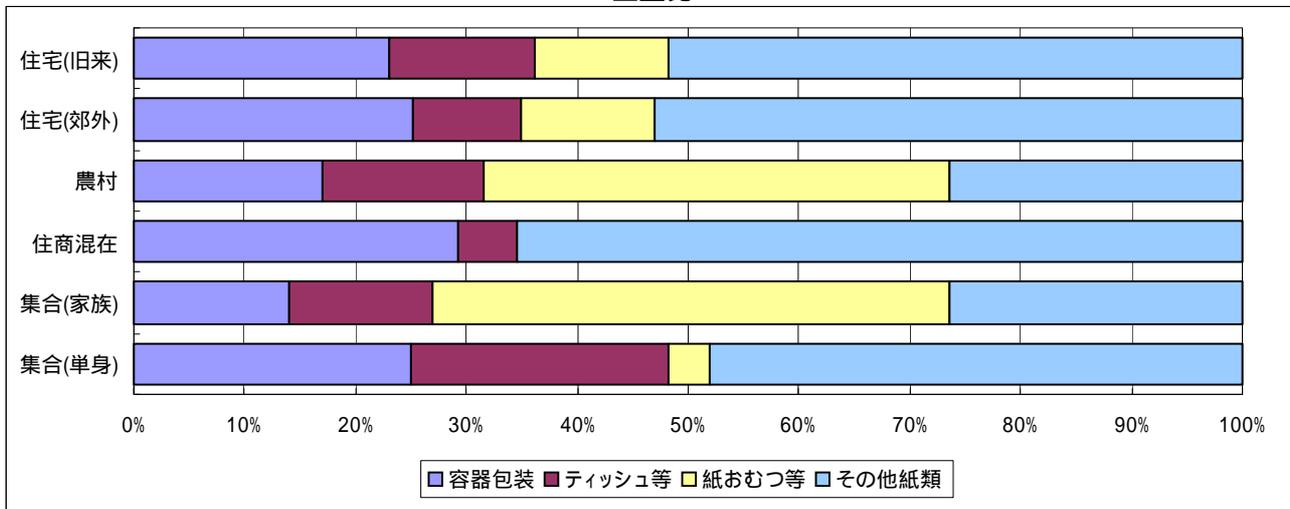


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
未利用食品	4.9	6.7	4.7
調理くず等	84.3	63.7	93.5
草木類	10.8	29.6	1.8
合計	100.0	100.0	100.0

ウ 紙類の組成

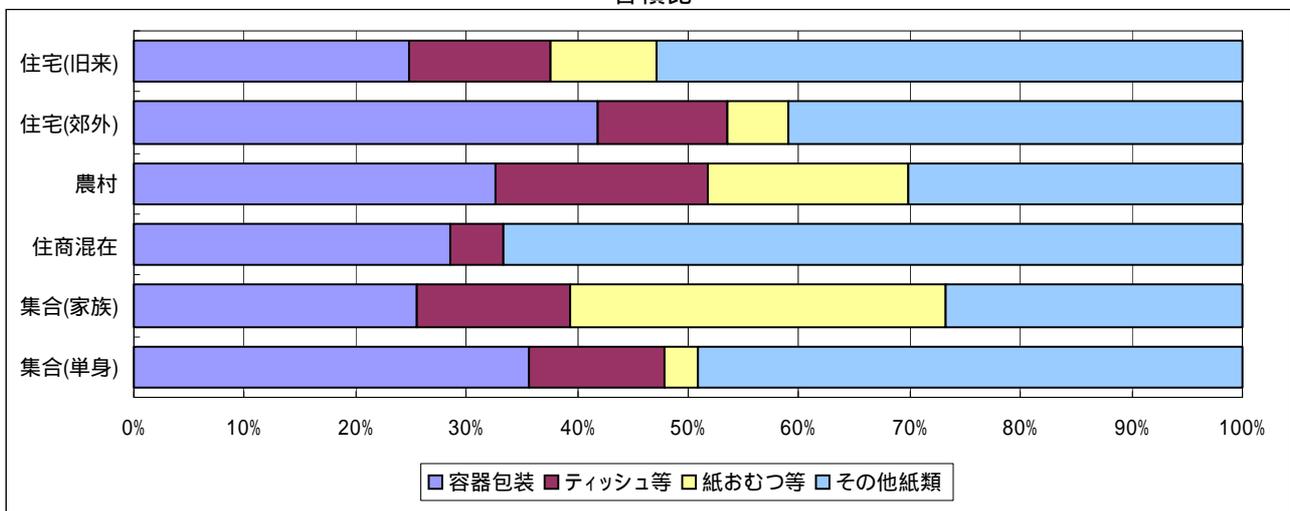
(ア) 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
容器包装	23.0	25.1	17.1	29.2	14.0	25.0
ティッシュ等	13.1	9.9	14.5	5.4	12.9	23.3
紙おむつ等	12.1	11.9	42.0	0.0	46.7	3.6
その他紙類	51.8	53.1	26.4	65.4	26.4	48.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

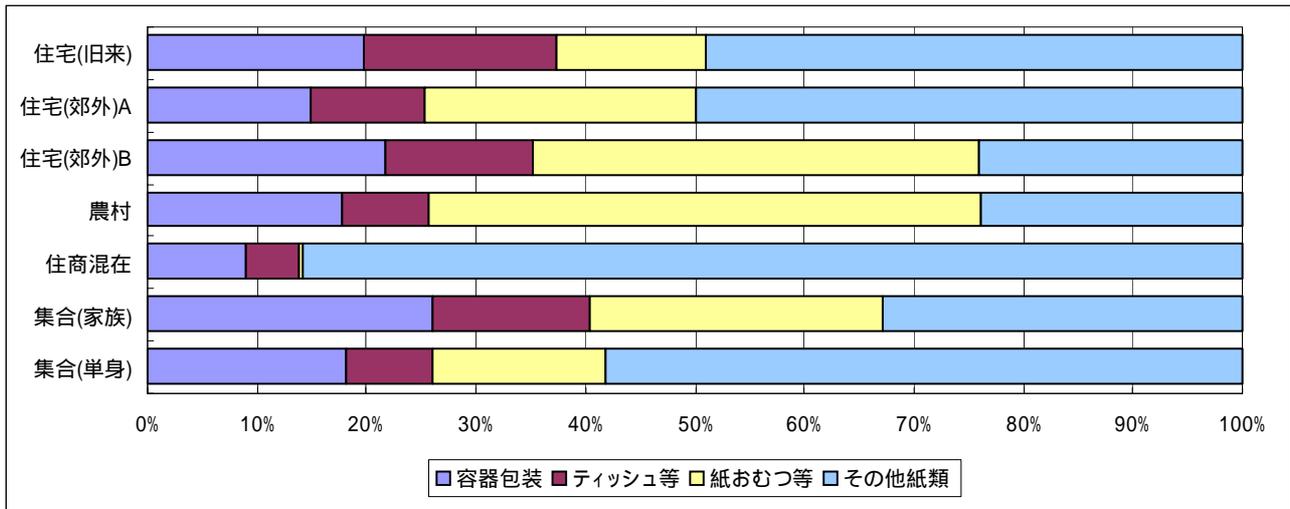
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
容器包装	24.9	41.8	32.7	28.6	25.6	35.6
ティッシュ等	12.7	11.8	19.0	4.7	13.8	12.2
紙おむつ等	9.5	5.4	18.2	0.0	33.8	3.1
その他紙類	52.9	41.0	30.1	66.7	26.8	49.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

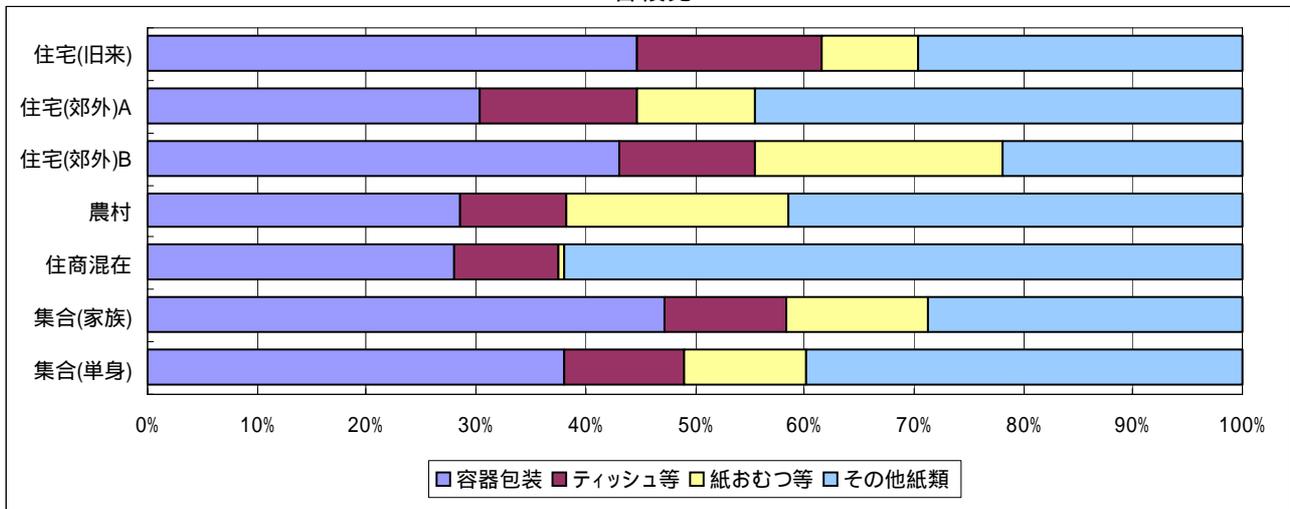
(イ) 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	19.7	14.9	21.7	17.7	9.0	26.0	18.2
ティッシュ等	17.6	10.4	13.5	7.9	4.8	14.4	7.8
紙おむつ等	13.6	24.7	40.8	50.5	0.4	26.7	15.9
その他紙類	49.1	50.0	24.0	23.9	85.8	32.9	58.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

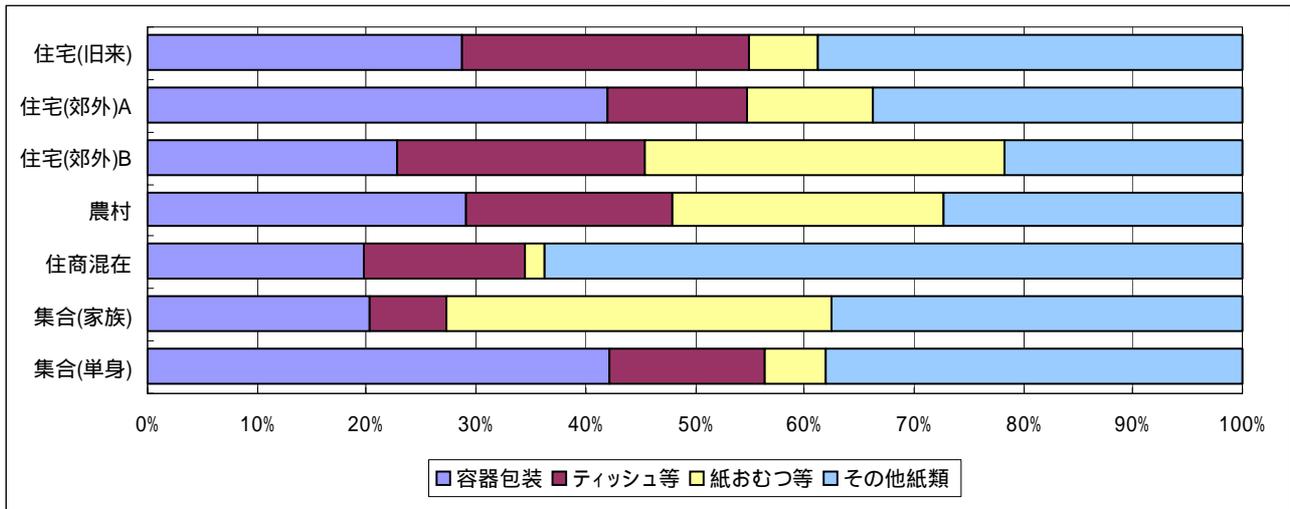
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	44.7	30.4	43.1	28.5	28.0	47.3	38.0
ティッシュ等	16.8	14.3	12.3	9.7	9.6	11.0	11.1
紙おむつ等	8.8	10.8	22.7	20.4	0.5	12.9	11.1
その他紙類	29.7	44.5	21.9	41.4	61.9	28.8	39.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

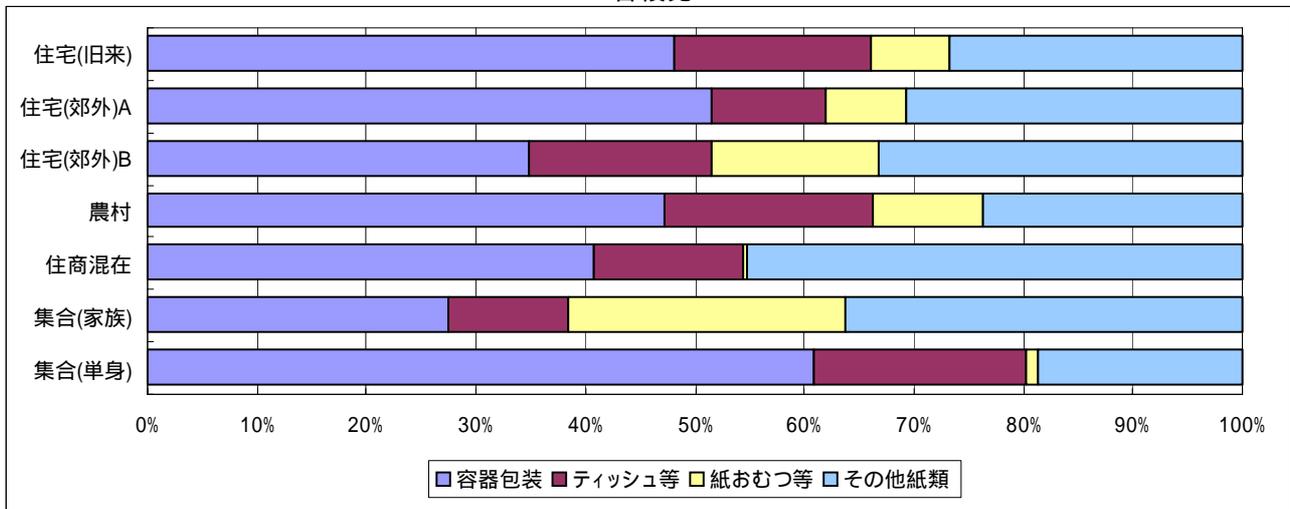
(ウ) 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	28.8	42.0	22.8	29.1	19.8	20.3	42.2
ティッシュ等	26.2	12.8	22.6	18.9	14.7	7.0	14.1
紙おむつ等	6.3	11.4	32.9	24.8	1.8	35.1	5.6
その他紙類	38.7	33.8	21.7	27.2	63.7	37.6	38.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

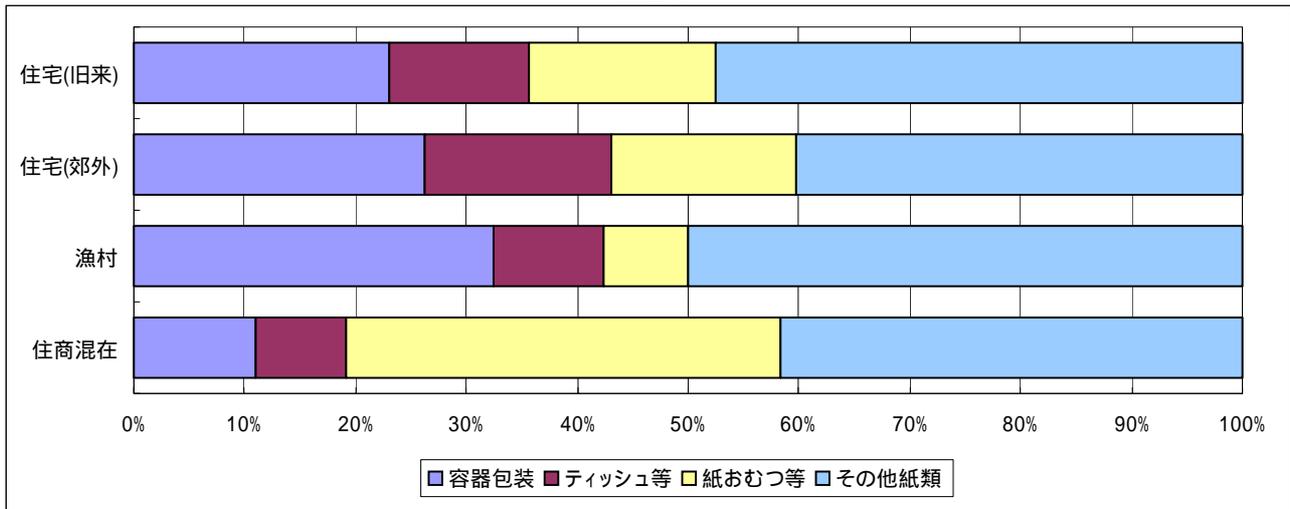
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	48.1	51.5	34.8	47.2	40.8	27.5	60.9
ティッシュ等	18.0	10.5	16.8	19.0	13.6	11.0	19.3
紙おむつ等	7.1	7.3	15.1	10.1	0.3	25.3	1.2
その他紙類	26.8	30.7	33.3	23.7	45.3	36.2	18.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

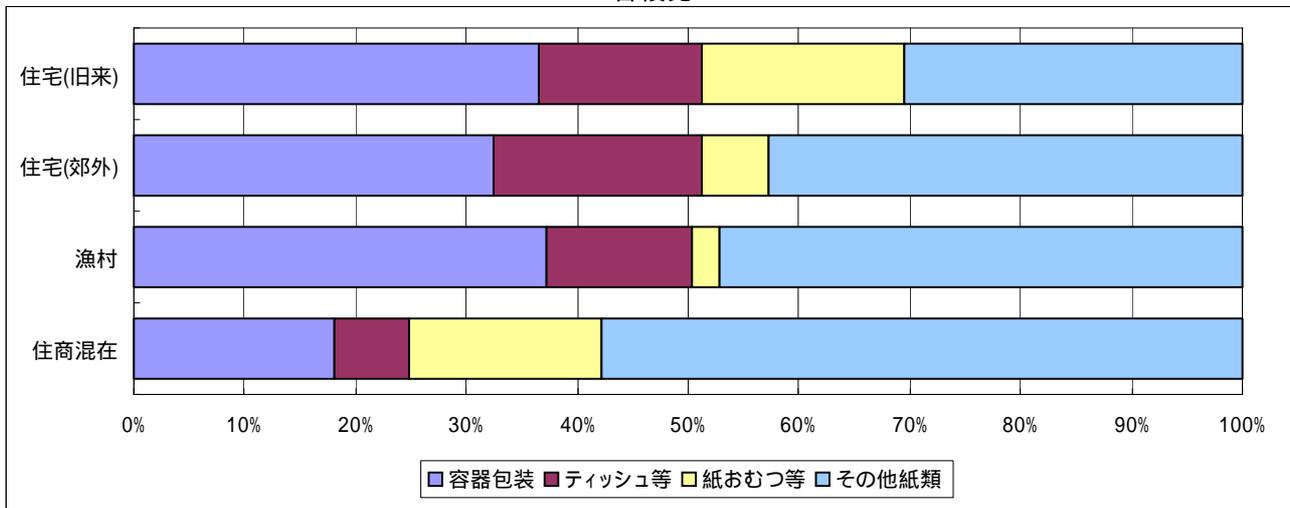
(工) 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
容器包装	23.1	26.2	32.4	11.0
ティッシュ等	12.6	16.9	9.9	8.1
紙おむつ等	16.8	16.7	7.7	39.3
その他紙類	47.5	40.2	50.0	41.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

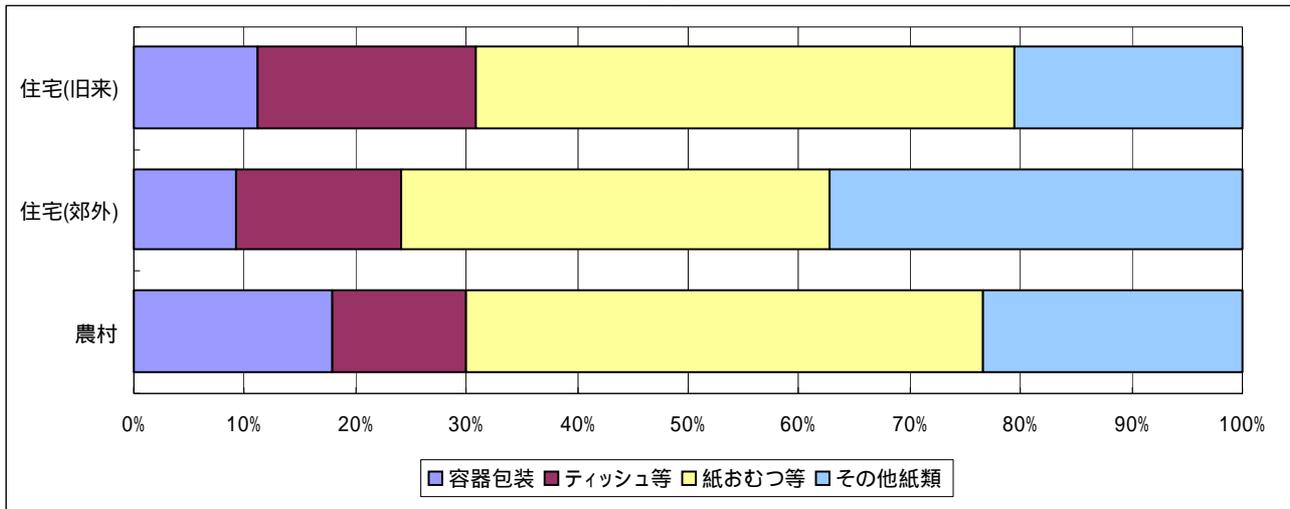
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
容器包装	36.5	32.5	37.3	18.0
ティッシュ等	14.7	18.8	13.0	6.9
紙おむつ等	18.3	5.9	2.6	17.3
その他紙類	30.5	42.8	47.1	57.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

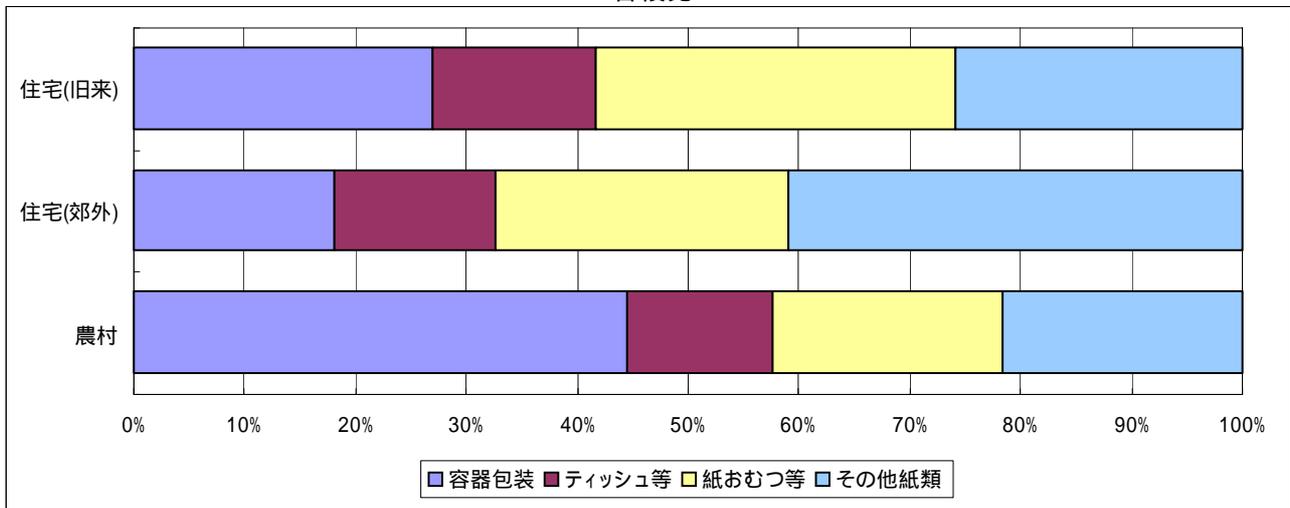
(オ) 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	11.2	9.3	17.9
ティッシュ等	19.6	14.8	12.0
紙おむつ等	48.7	38.6	46.7
その他紙類	20.5	37.3	23.4
合計	100.0	100.0	100.0

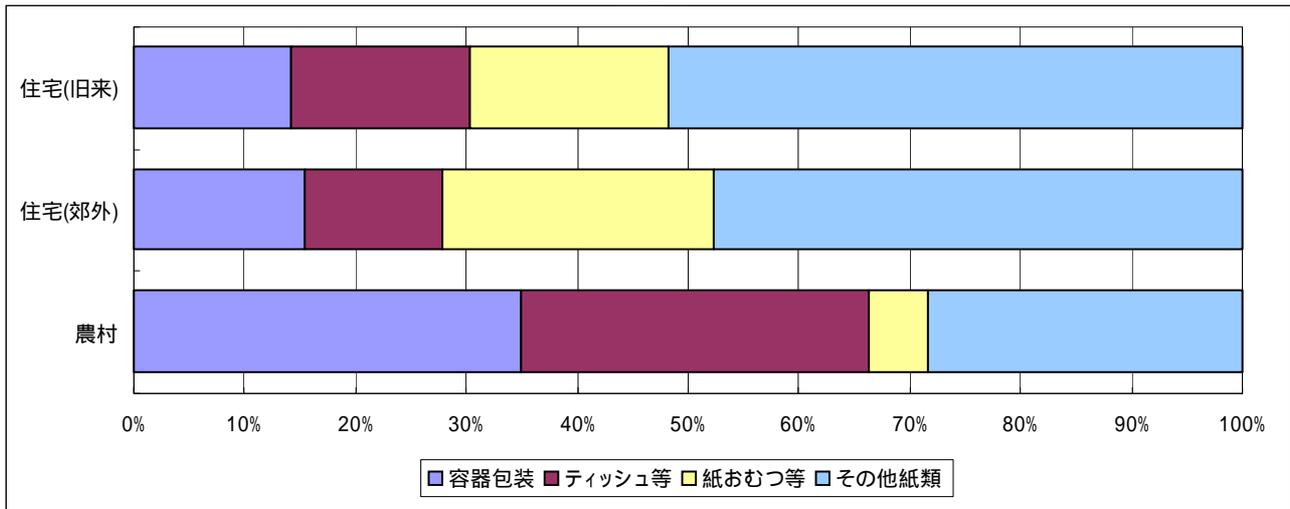
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	26.9	18.0	44.5
ティッシュ等	14.8	14.7	13.1
紙おむつ等	32.4	26.3	20.8
その他紙類	25.9	41.0	21.6
合計	100.0	100.0	100.0

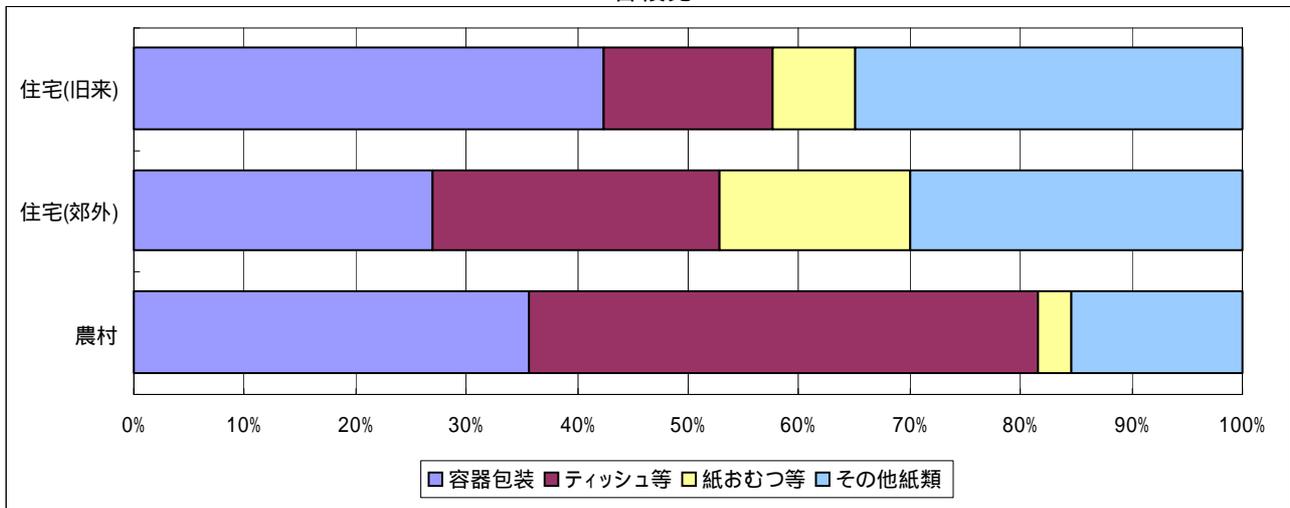
(カ) 阿児町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	14.1	15.4	35.0
ティッシュ等	16.3	12.5	31.3
紙おむつ等	17.9	24.4	5.4
その他紙類	51.7	47.7	28.3
合計	100.0	100.0	100.0

容積比



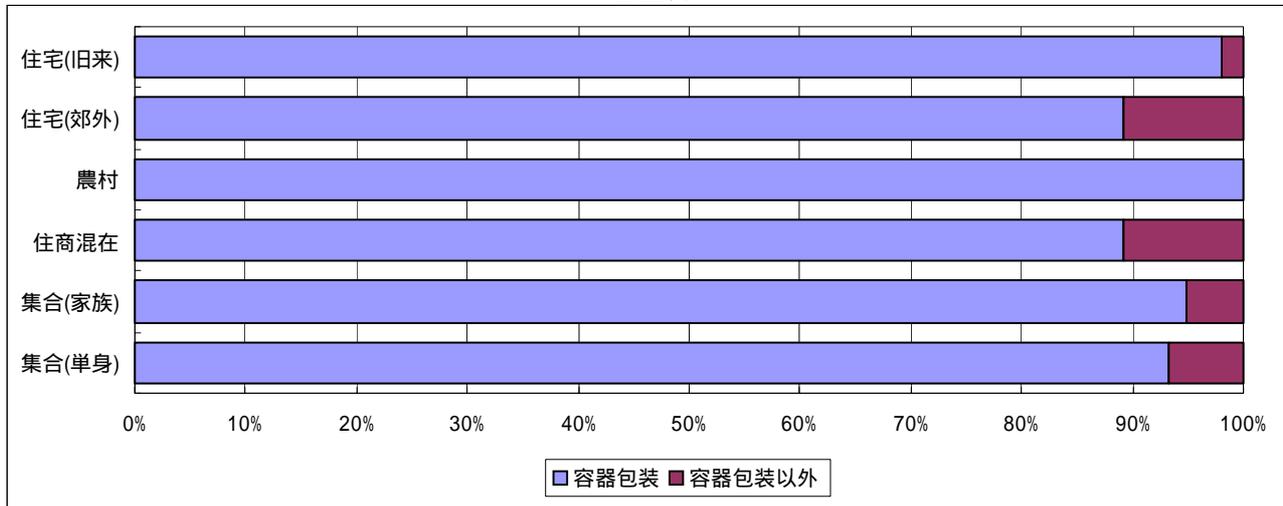
容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	42.4	27.0	35.6
ティッシュ等	15.3	25.9	46.0
紙おむつ等	7.3	17.1	2.9
その他紙類	35.0	30.0	15.5
合計	100.0	100.0	100.0

エ プラスチック類の組成

(ア) 容器包装と容器包装以外

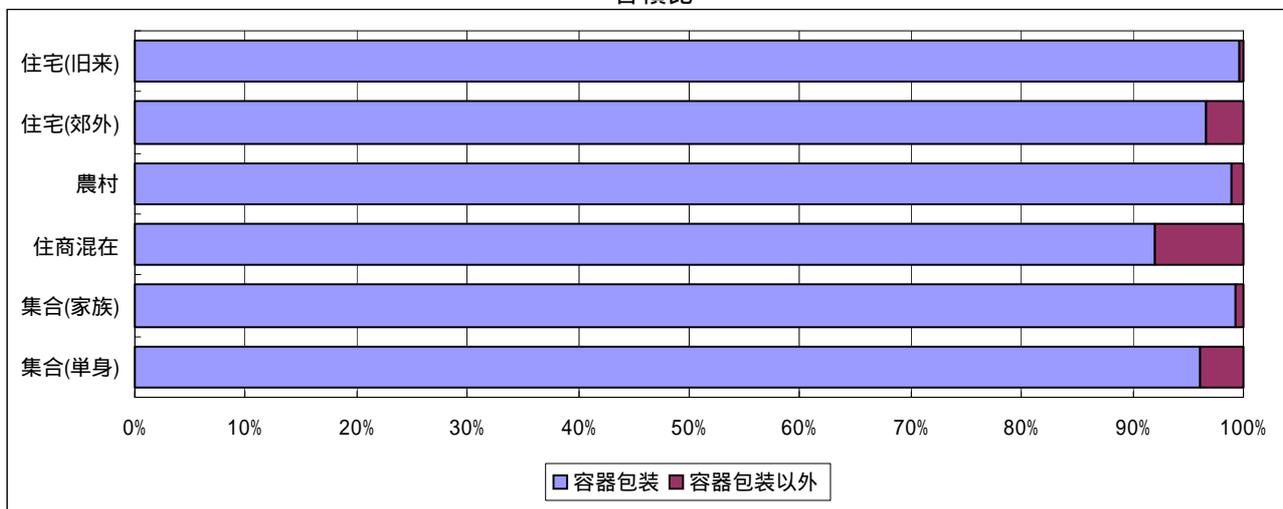
a 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	98.0	89.1	100.0	89.1	94.9	93.2
容器包装以外	2.0	10.9	0.0	10.9	5.1	6.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

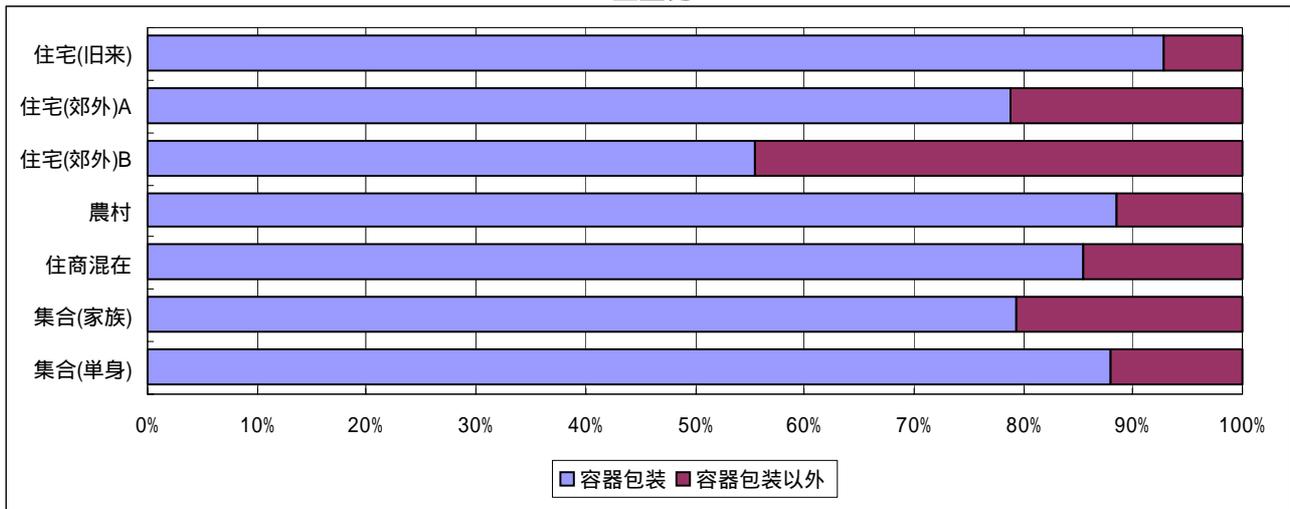
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	99.6	96.6	98.9	92.0	99.3	96.1
容器包装以外	0.4	3.4	1.1	8.0	0.7	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

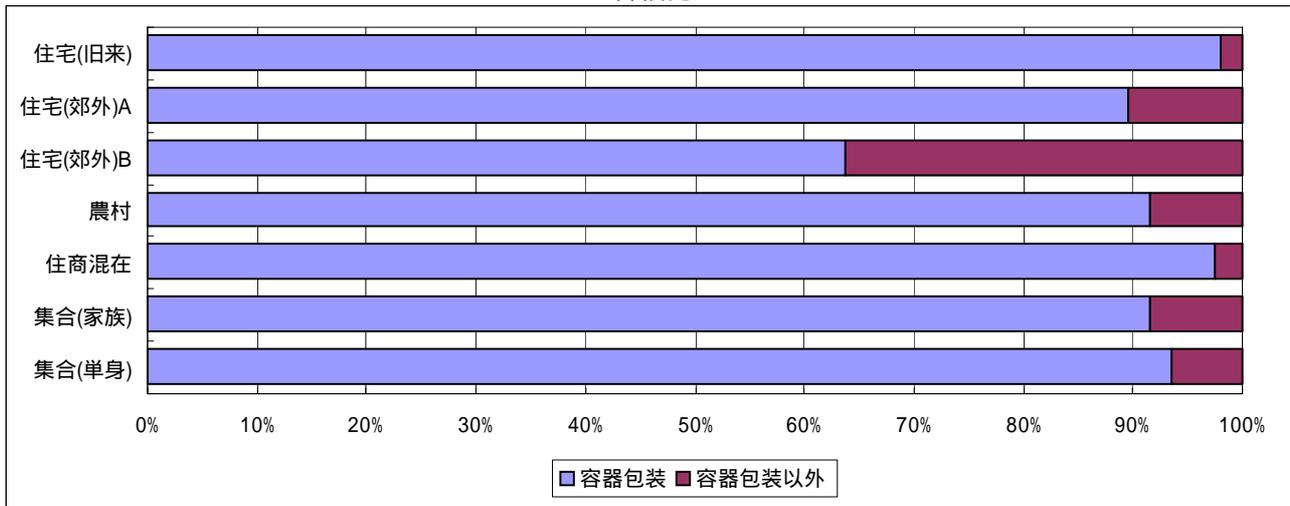
b 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	92.8	78.8	55.4	88.5	85.4	79.3	87.9
容器包装以外	7.2	21.2	44.6	11.5	14.6	20.7	12.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

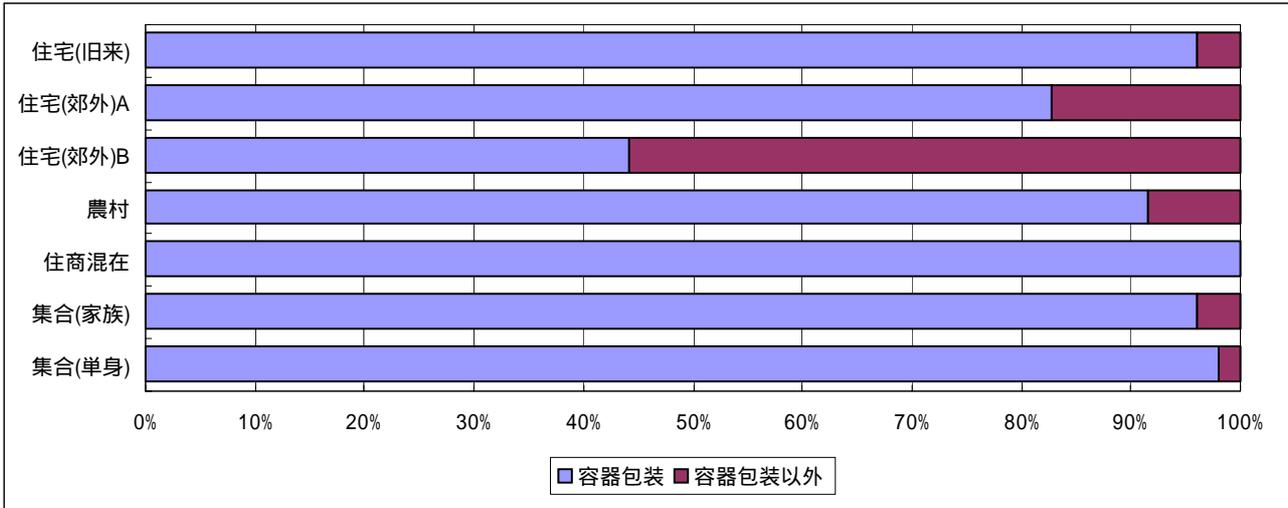
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	98.0	89.5	63.7	91.6	97.4	91.6	93.5
容器包装以外	2.0	10.5	36.3	8.4	2.6	8.4	6.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

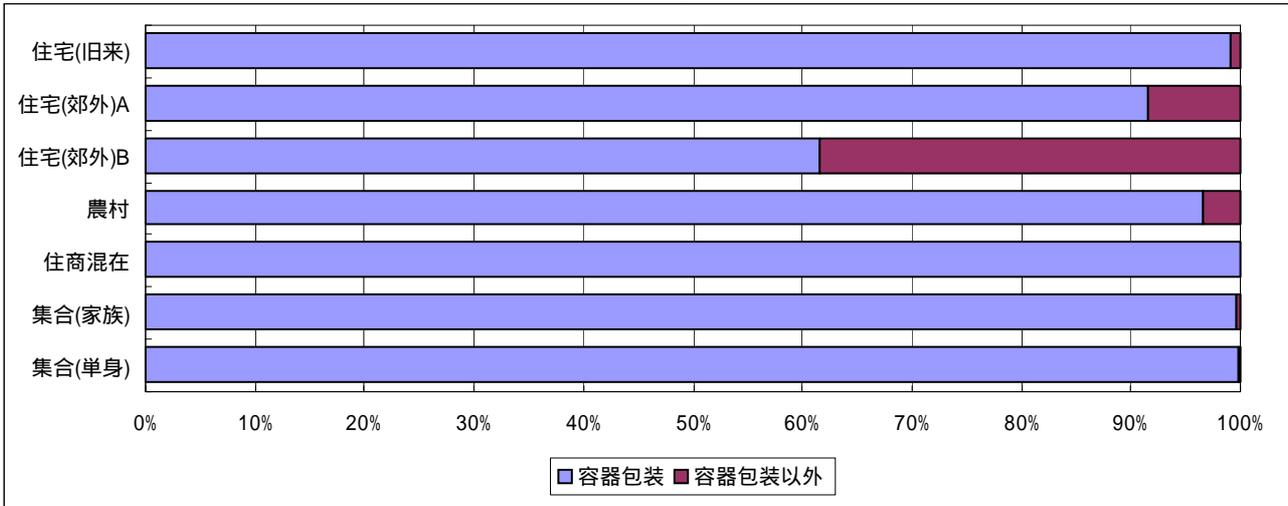
c 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	96.1	82.8	44.2	91.5	100.0	96.1	98.0
容器包装以外	3.9	17.2	55.8	8.5	0.0	3.9	2.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

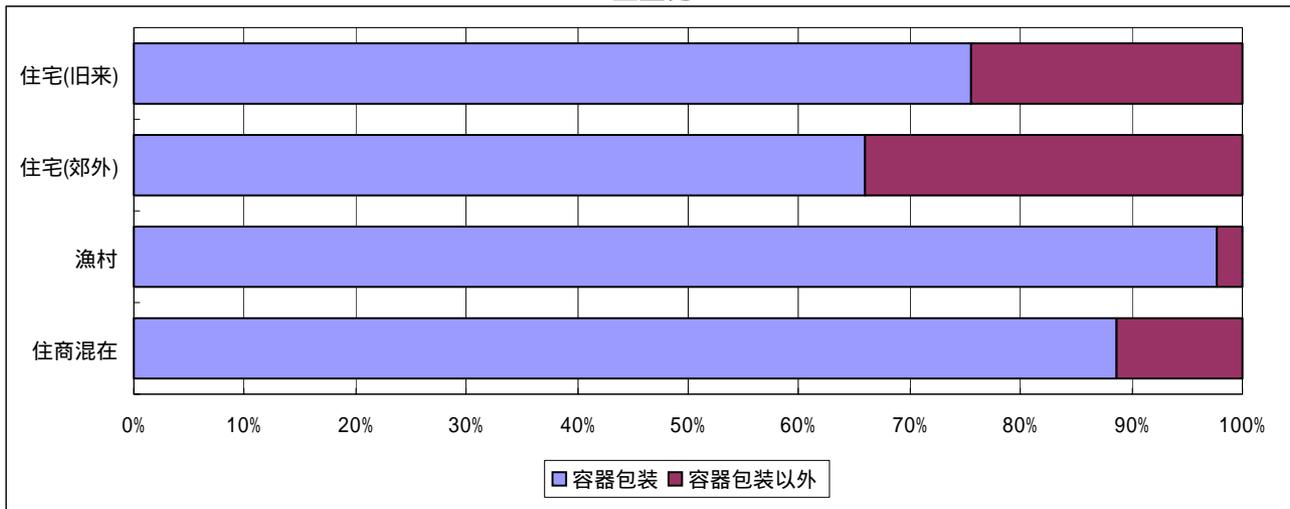
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	99.1	91.6	61.6	96.6	100.0	99.7	99.8
容器包装以外	0.9	8.4	38.4	3.4	0.0	0.3	0.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

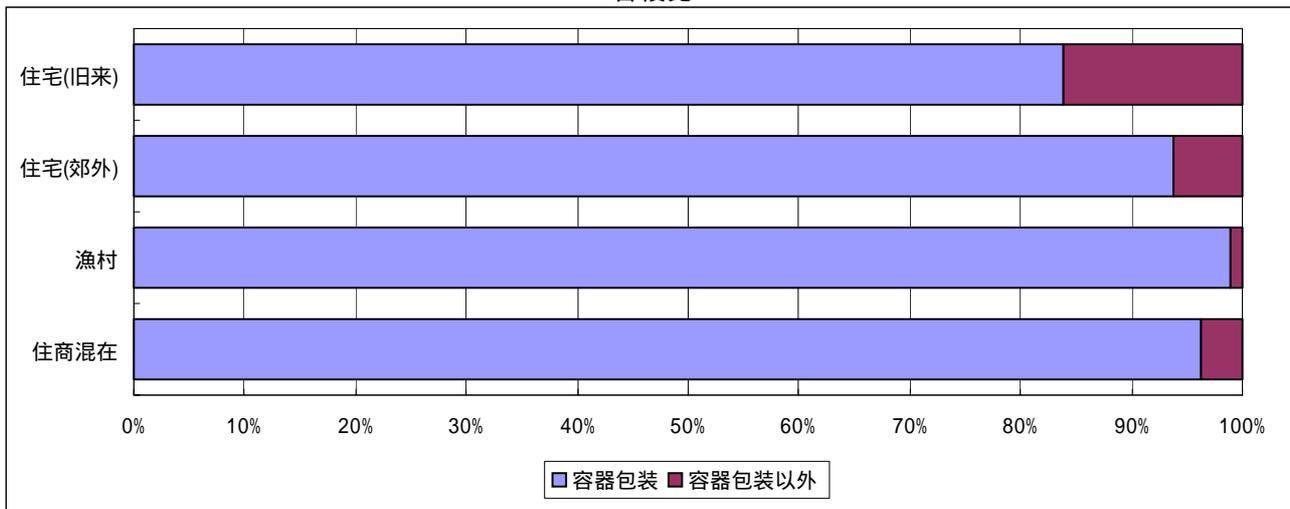
d 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
容器包装	75.6	66.0	97.7	88.6
容器包装以外	24.4	34.0	2.3	11.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

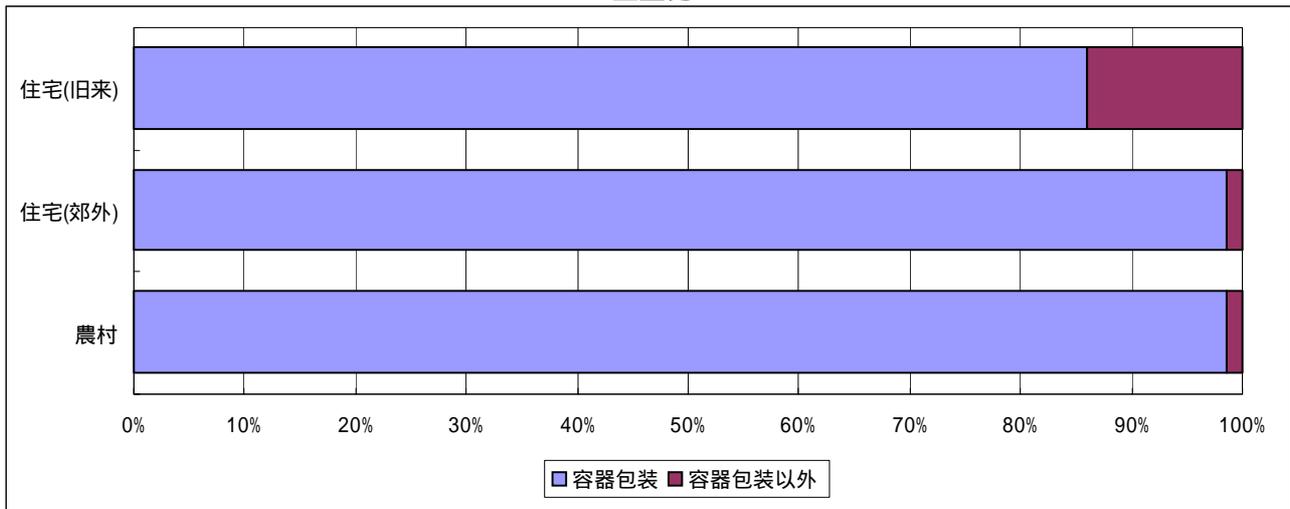
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
容器包装	83.9	93.8	99.0	96.2
容器包装以外	16.1	6.2	1.0	3.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

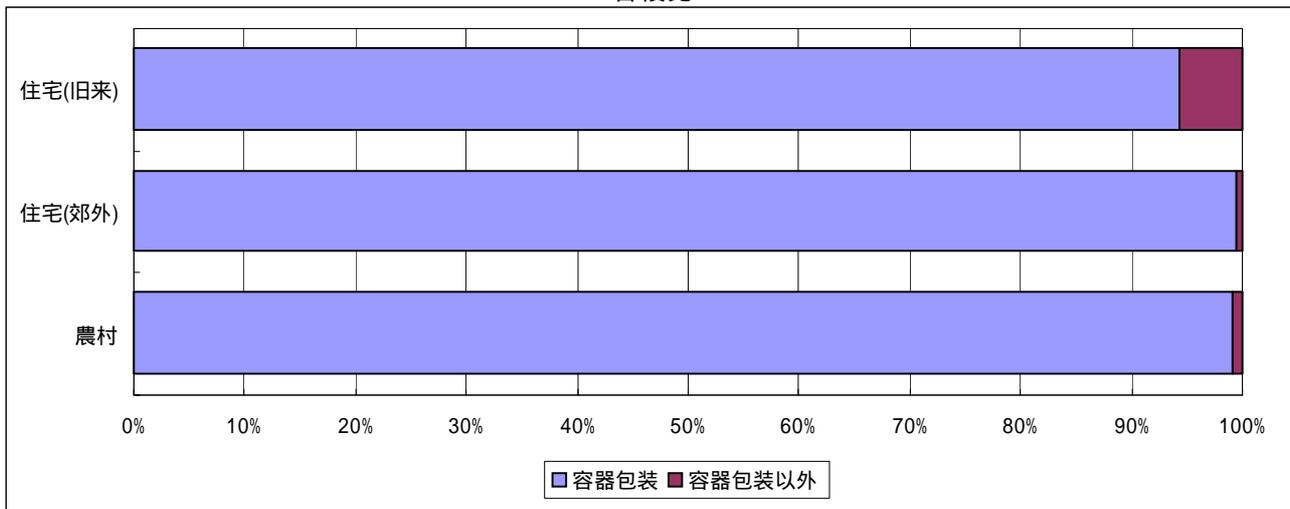
e 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	86.0	98.6	98.6
容器包装以外	14.0	1.4	1.4
合計	100.0	100.0	100.0

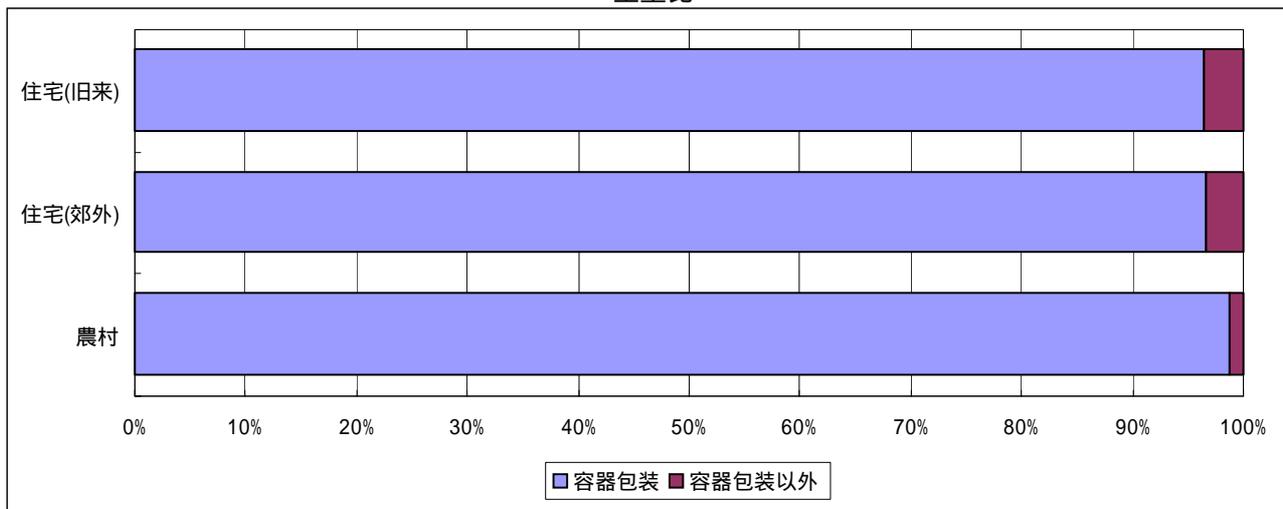
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	94.3	99.4	99.1
容器包装以外	5.7	0.6	0.9
合計	100.0	100.0	100.0

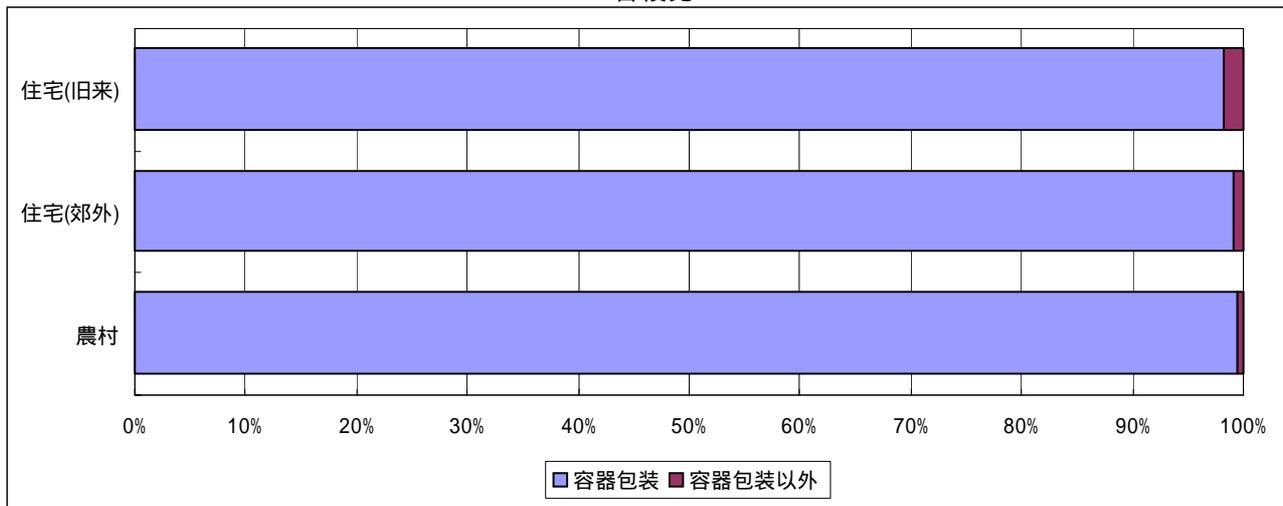
f 阿兒町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	96.4	96.7	98.8
容器包装以外	3.6	3.3	1.2
合計	100.0	100.0	100.0

容積比

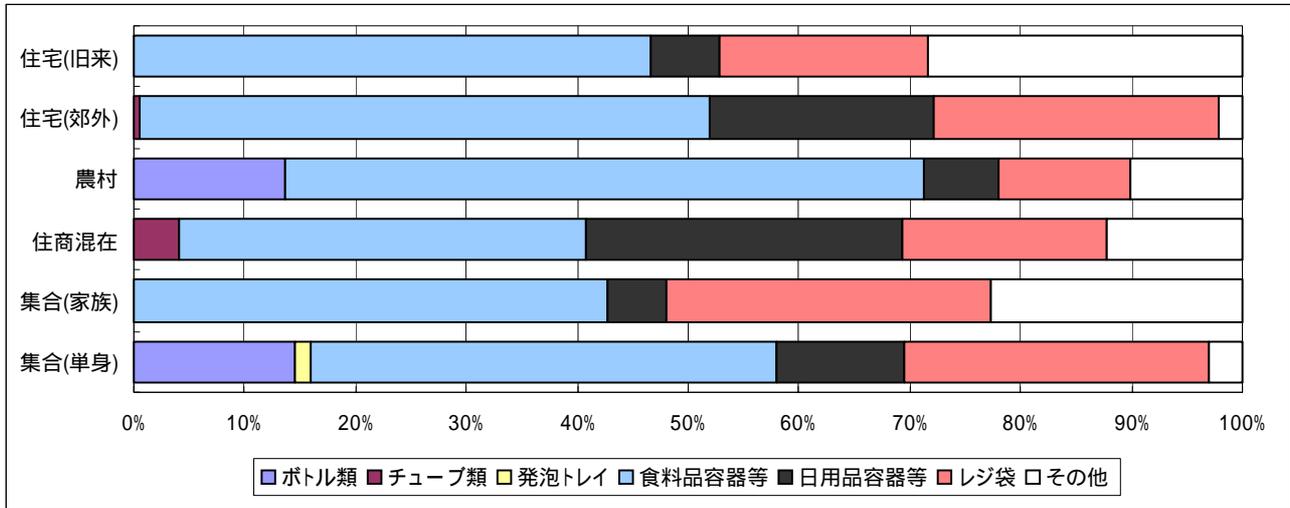


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	98.3	99.1	99.5
容器包装以外	1.7	0.9	0.5
合計	100.0	100.0	100.0

(イ) 容器包装の組成

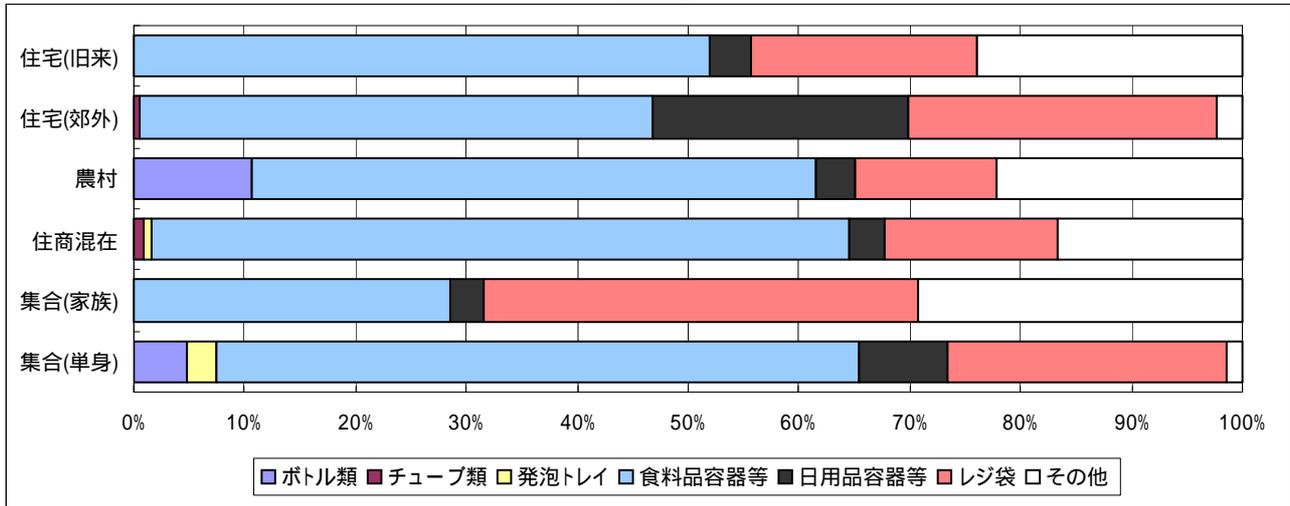
a 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
ボトル類	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	14.5
チューブ類	0.0	0.6	0.0	4.1	0.0	0.0
発泡トレイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
食料品容器等	46.7	51.4	57.6	36.7	42.7	42.0
日用品容器等	6.1	20.1	6.8	28.6	5.3	11.6
レジ袋	18.8	25.7	11.9	18.4	29.3	27.5
その他	28.4	2.2	10.1	12.2	22.7	3.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

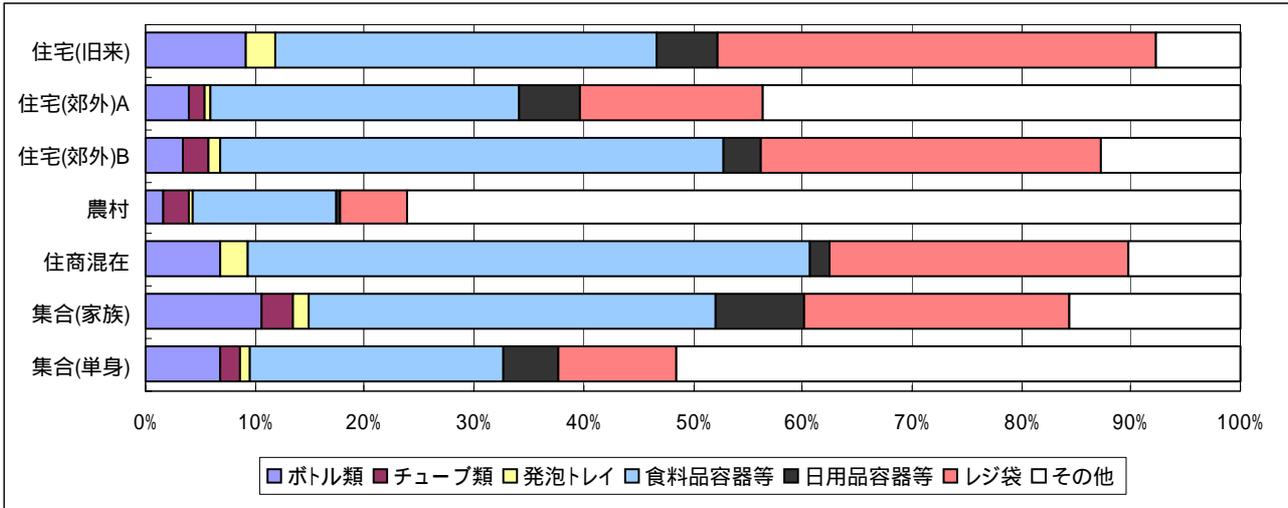
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
ボトル類	0.0	0.0	10.7	0.0	0.0	4.8
チューブ類	0.0	0.5	0.0	0.8	0.0	0.0
発泡トレイ	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	2.6
食料品容器等	51.9	46.3	50.8	63.0	28.6	58.1
日用品容器等	3.7	23.1	3.6	3.1	2.9	7.9
レジ袋	20.4	27.8	12.7	15.7	39.3	25.1
その他	24.0	2.3	22.2	16.6	29.2	1.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

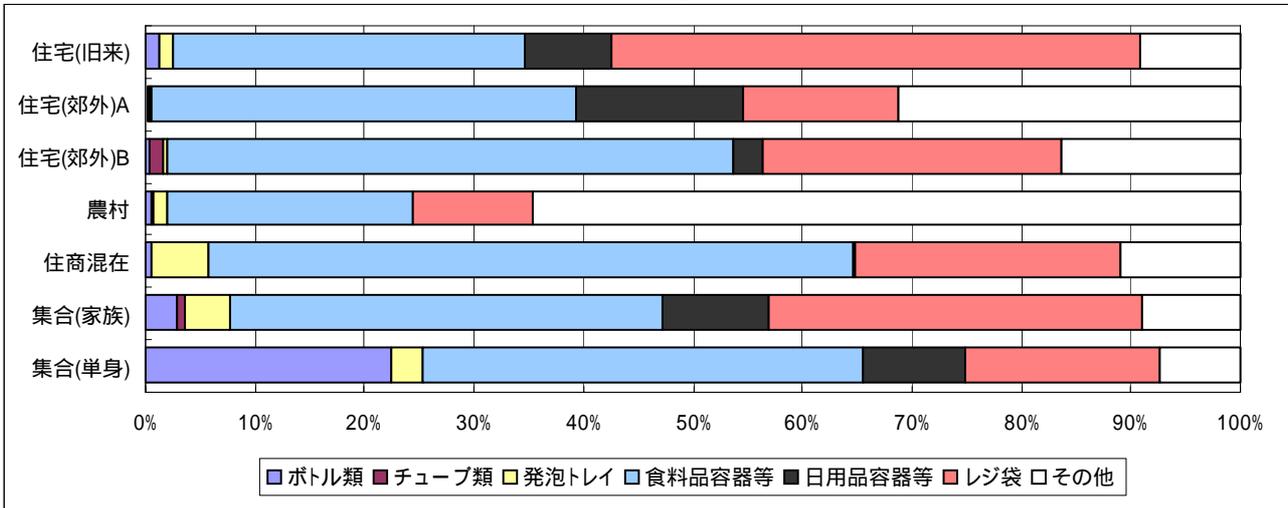
b 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
ボトル類	9.2	4.0	3.4	1.6	6.8	10.6	6.9
チューブ類	0.0	1.3	2.3	2.3	0.0	2.9	1.8
発泡トレイ	2.7	0.7	1.1	0.4	2.6	1.4	0.9
食料品容器等	34.8	28.2	46.0	13.2	51.3	37.2	23.0
日用品容器等	5.5	5.4	3.4	0.2	1.7	8.0	5.1
レジ袋	40.0	16.8	31.0	6.2	27.4	24.2	10.8
その他	7.8	43.6	12.8	76.1	10.2	15.7	51.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

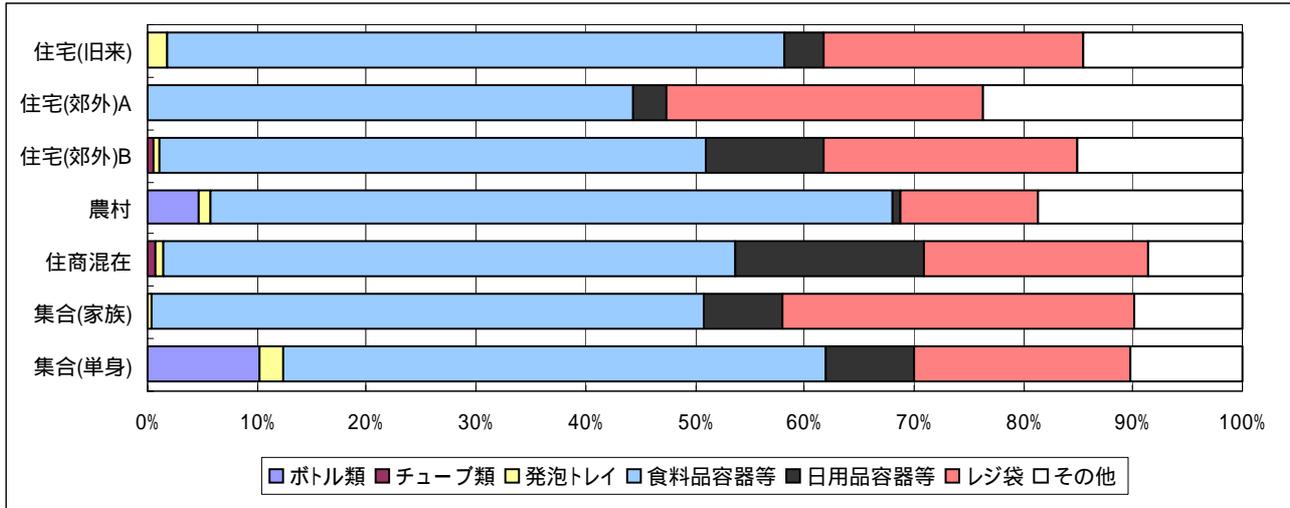
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
ボトル類	1.2	0.2	0.3	0.6	0.5	2.9	22.4
チューブ類	0.0	0.2	1.4	0.1	0.0	0.7	0.1
発泡トレイ	1.3	0.2	0.3	1.3	5.3	4.1	2.9
食料品容器等	32.1	38.7	51.7	22.4	58.8	39.6	40.2
日用品容器等	8.0	15.2	2.7	0.1	0.3	9.6	9.2
レジ袋	48.2	14.3	27.2	10.8	24.1	34.1	17.8
その他	9.2	31.2	16.4	64.7	11.0	9.0	7.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

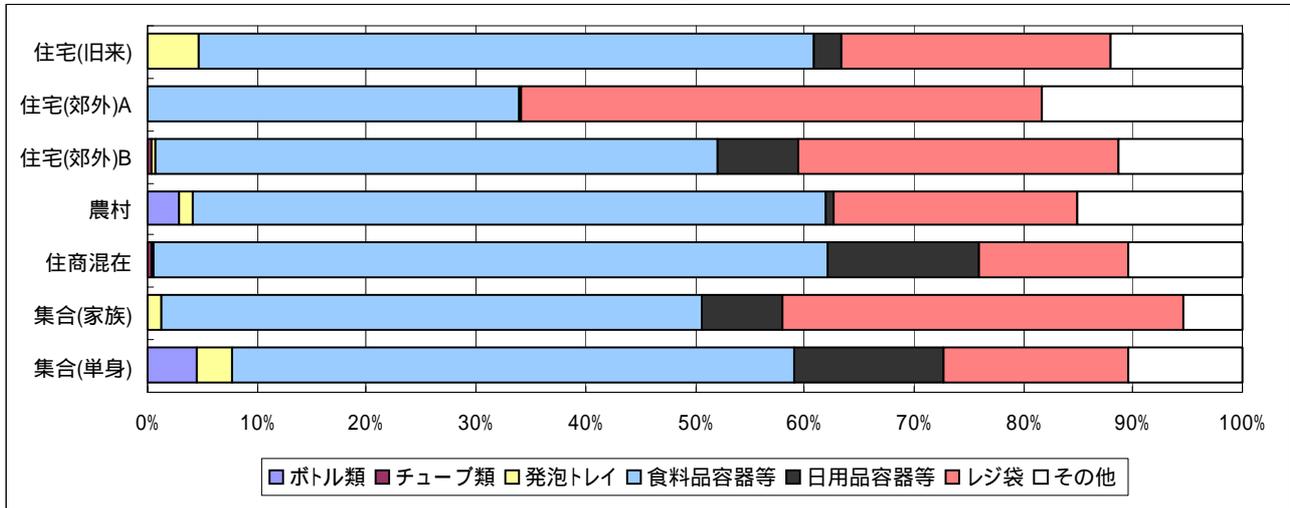
c 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
ボトル類	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	0.0	10.3
チューブ類	0.0	0.0	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0
発泡トレイ	1.8	0.0	0.5	1.2	0.7	0.3	2.1
食料品容器等	56.4	44.4	50.0	62.3	52.2	50.5	49.5
日用品容器等	3.6	3.0	10.8	0.6	17.4	7.2	8.2
レジ袋	23.6	28.9	23.1	12.7	20.3	32.1	19.6
その他	14.6	23.7	15.1	18.6	8.7	9.9	10.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

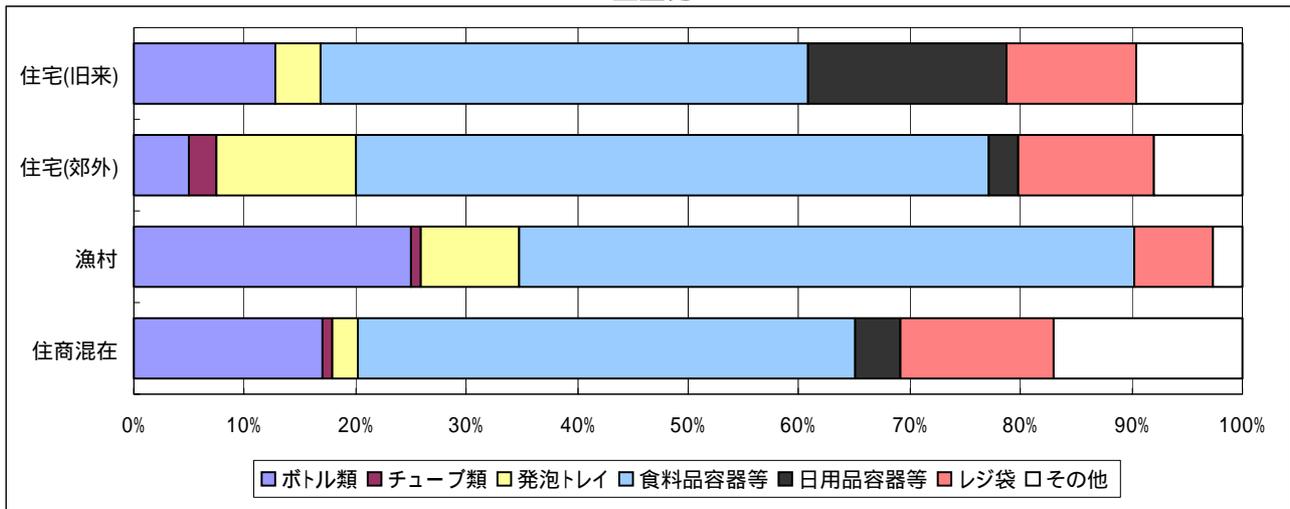
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
ボトル類	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	4.4
チューブ類	0.0	0.0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0
発泡トレイ	4.7	0.0	0.4	1.2	0.3	1.3	3.4
食料品容器等	56.1	33.9	51.3	57.9	61.6	49.4	51.3
日用品容器等	2.5	0.3	7.3	0.6	13.7	7.2	13.7
レジ袋	24.6	47.4	29.3	22.3	13.7	36.7	16.7
その他	12.1	18.4	11.3	15.1	10.4	5.4	10.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

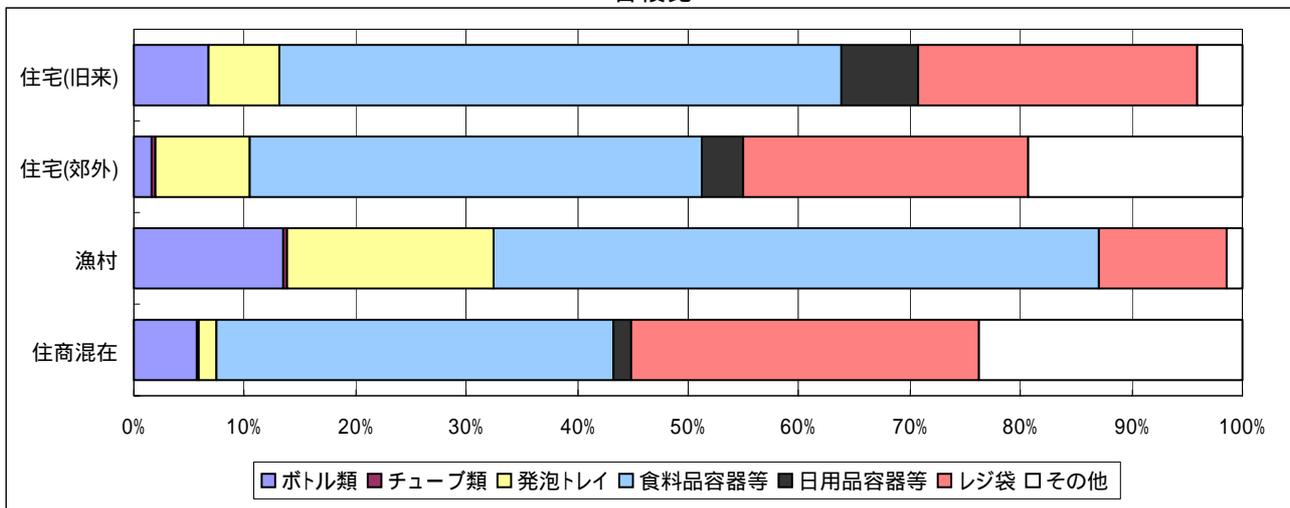
d 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
ボトル類	12.7	5.0	25.0	17.1
チューブ類	0.0	2.5	0.9	0.8
発泡トレイ	4.2	12.6	8.9	2.4
食料品容器等	44.0	57.1	55.4	44.7
日用品容器等	17.8	2.5	0.0	4.1
レジ袋	11.8	12.4	7.1	13.8
その他	9.5	7.9	2.7	17.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

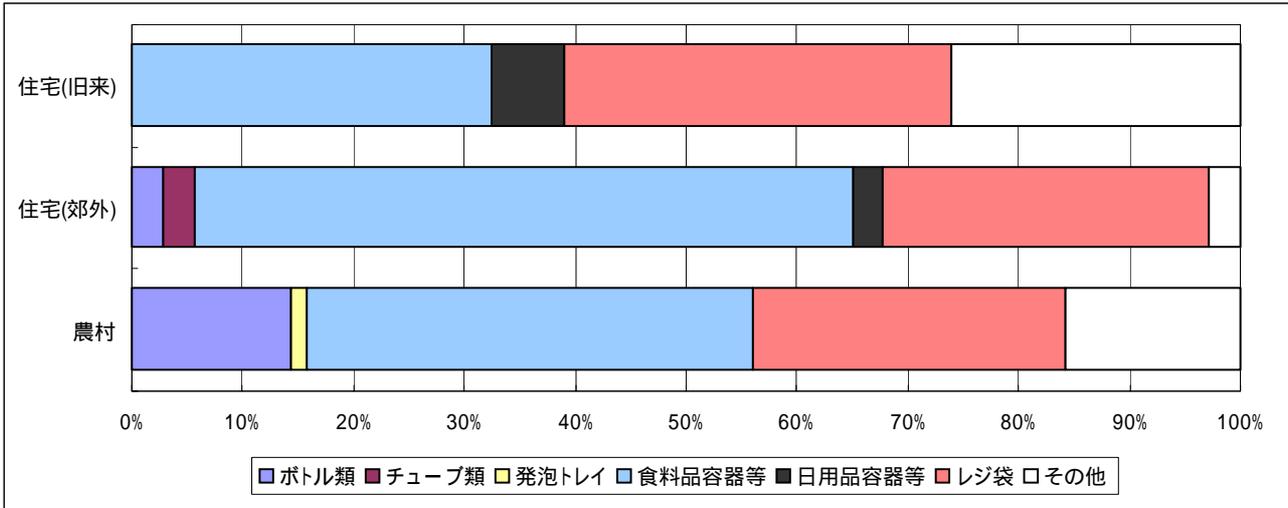
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
ボトル類	6.8	1.6	13.5	5.7
チューブ類	0.0	0.4	0.4	0.1
発泡トレイ	6.3	8.5	18.5	1.6
食料品容器等	50.8	40.8	54.7	35.9
日用品容器等	6.8	3.6	0.0	1.6
レジ袋	25.3	25.7	11.4	31.3
その他	4.0	19.4	1.5	23.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

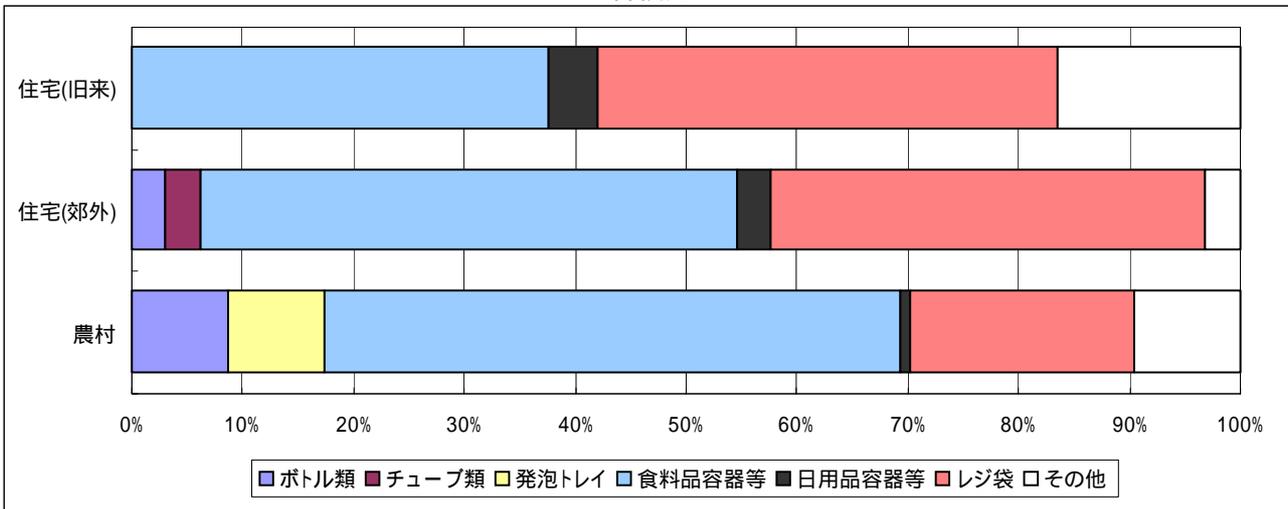
e 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
ボトル類	0.0	2.8	14.4
チューブ類	0.0	2.8	0.0
発泡トレイ	0.0	0.0	1.4
食料品容器等	32.5	59.4	40.3
日用品容器等	6.5	2.8	0.0
レジ袋	35.0	29.3	28.1
その他	26.0	2.9	15.8
合計	100.0	100.0	100.0

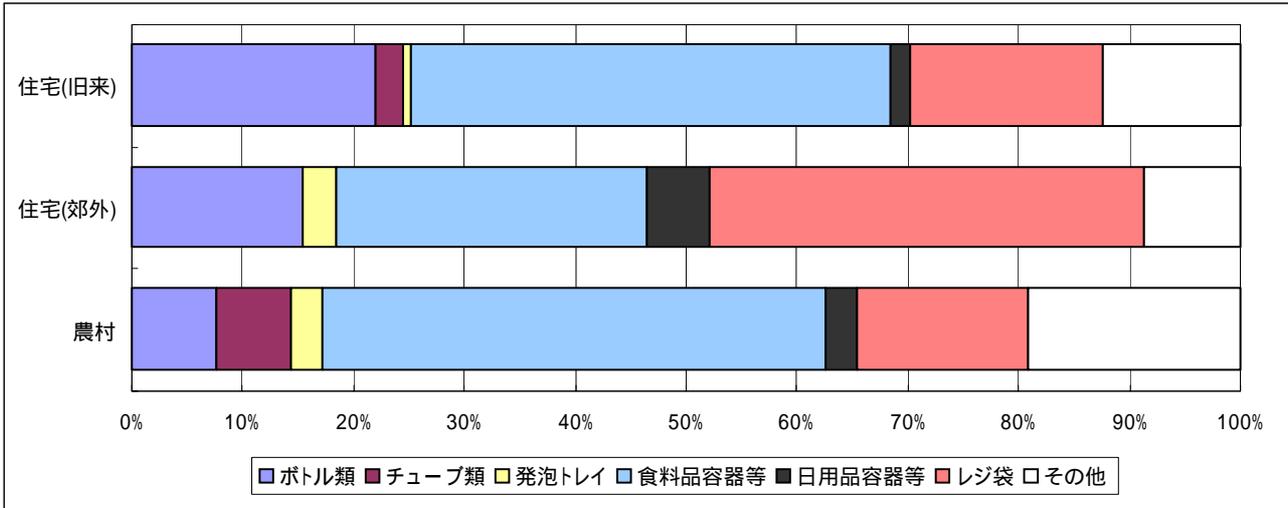
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
ボトル類	0.0	3.1	8.7
チューブ類	0.0	3.1	0.0
発泡トレイ	0.0	0.0	8.7
食料品容器等	37.6	48.4	51.9
日用品容器等	4.5	3.1	0.9
レジ袋	41.4	39.1	20.3
その他	16.5	3.2	9.5
合計	100.0	100.0	100.0

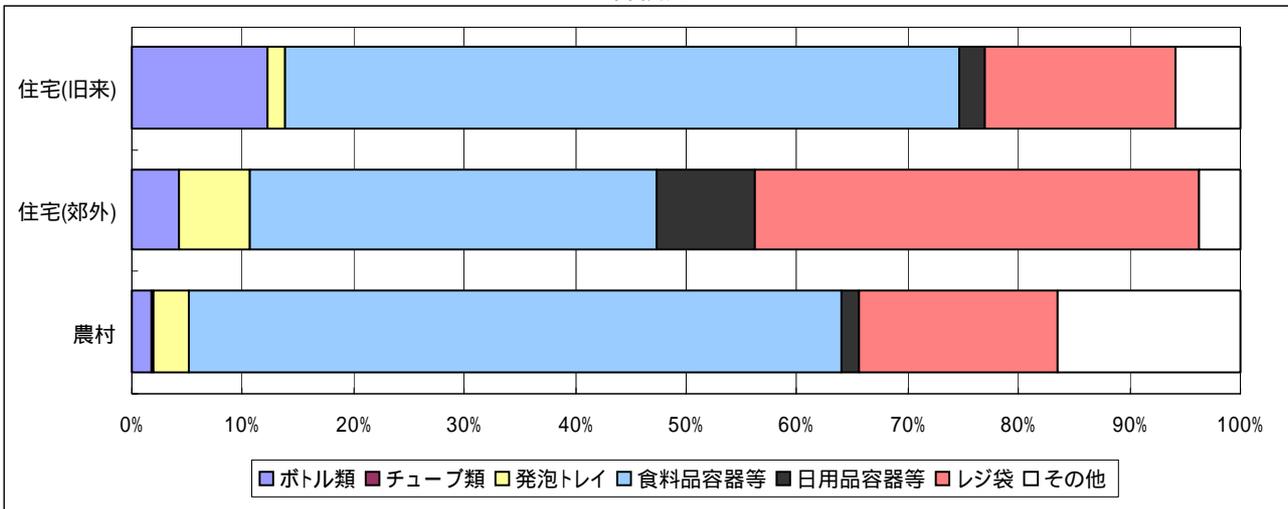
f 阿児町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
ボトル類	21.9	15.5	7.6
チューブ類	2.5	0.0	6.7
発泡トレイ	0.8	2.9	2.9
食料品容器等	43.2	28.1	45.4
日用品容器等	1.9	5.7	2.9
レジ袋	17.2	39.2	15.4
その他	12.5	8.6	19.1
合計	100.0	100.0	100.0

容積比

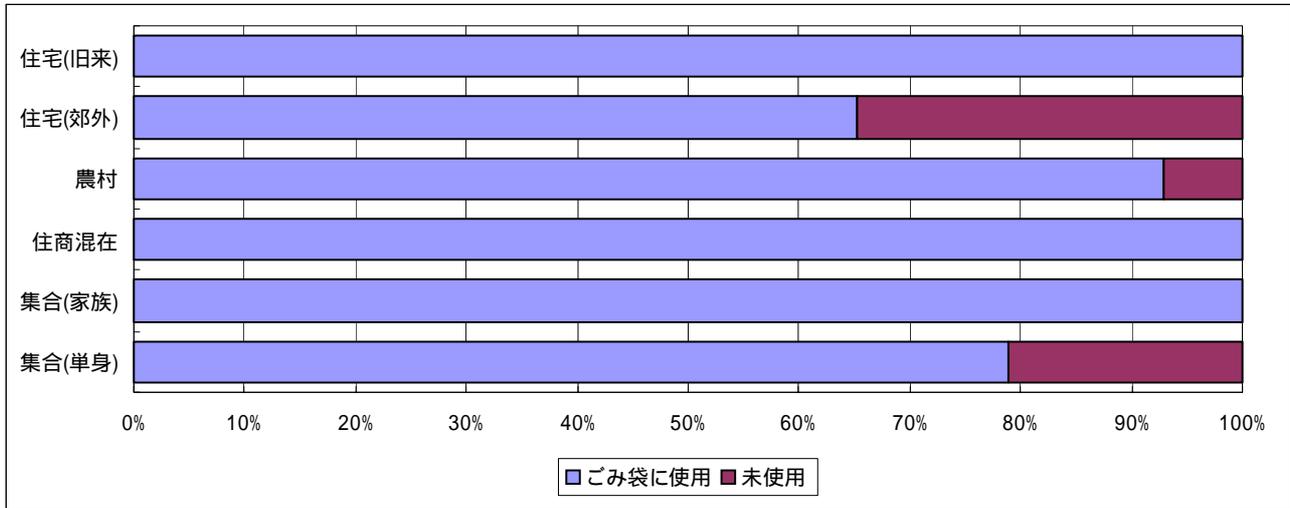


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
ボトル類	12.2	4.3	1.7
チューブ類	0.1	0.0	0.2
発泡トレイ	1.5	6.3	3.3
食料品容器等	60.8	36.7	58.8
日用品容器等	2.4	8.9	1.6
レジ袋	17.2	40.0	17.9
その他	5.8	3.8	16.5
合計	100.0	100.0	100.0

(ウ) レジ袋の排出状況

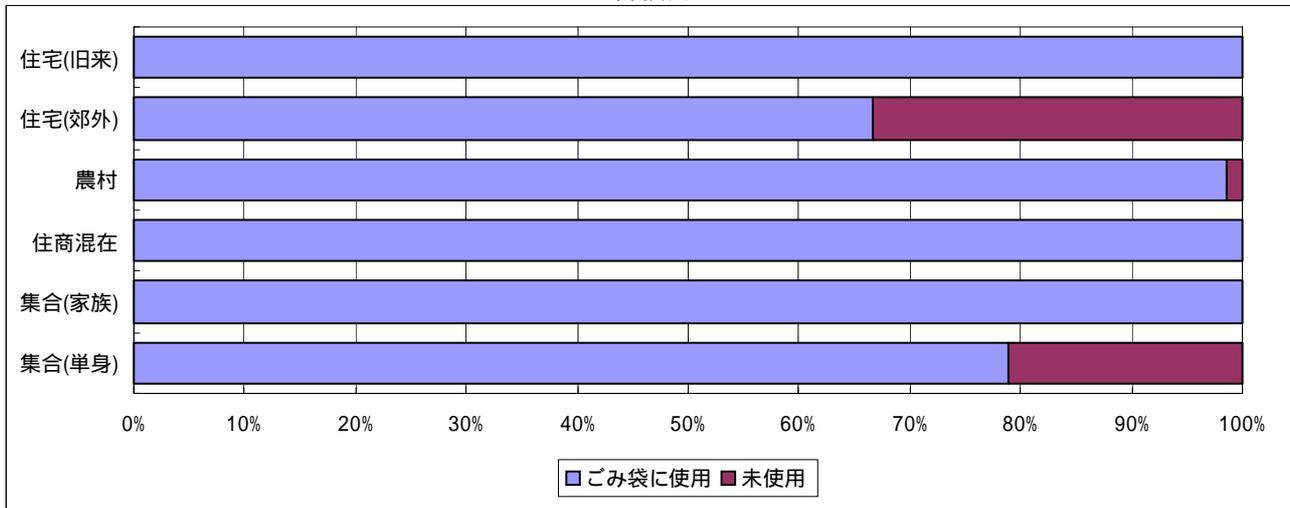
a 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
ごみ袋に使用	100.0	65.2	92.9	100.0	100.0	78.9
未使用	0.0	34.8	7.1	0.0	0.0	21.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

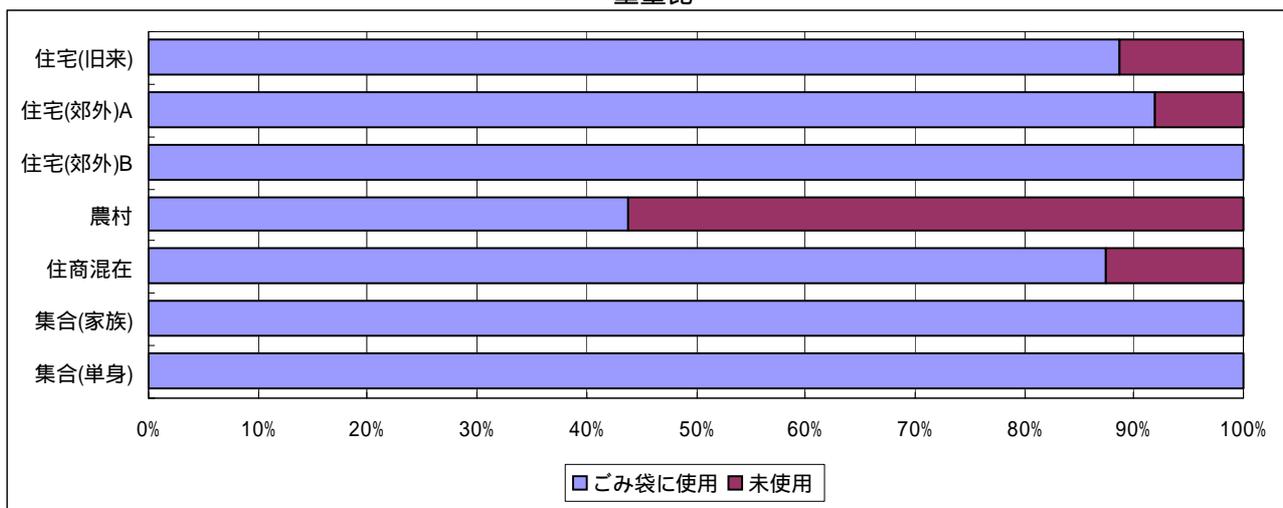
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
ごみ袋に使用	100.0	66.7	98.6	100.0	100.0	78.9
未使用	0.0	33.3	1.4	0.0	0.0	21.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

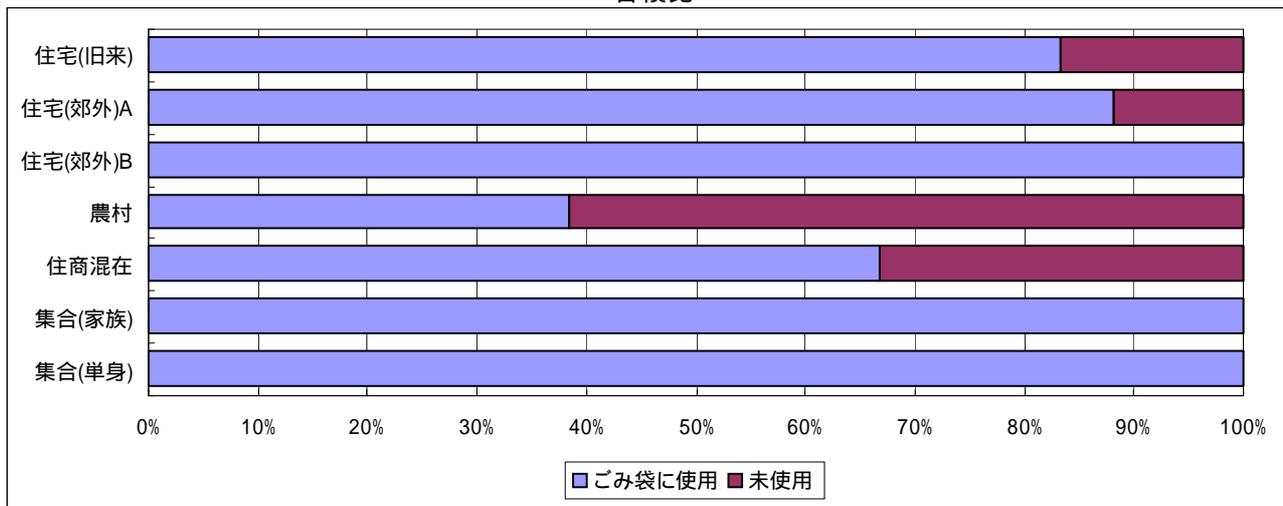
b 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
ごみ袋に使用	88.6	92.0	100.0	43.8	87.5	100.0	100.0
未使用	11.4	8.0	0.0	56.3	12.5	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.1	100.0	100.0	100.0

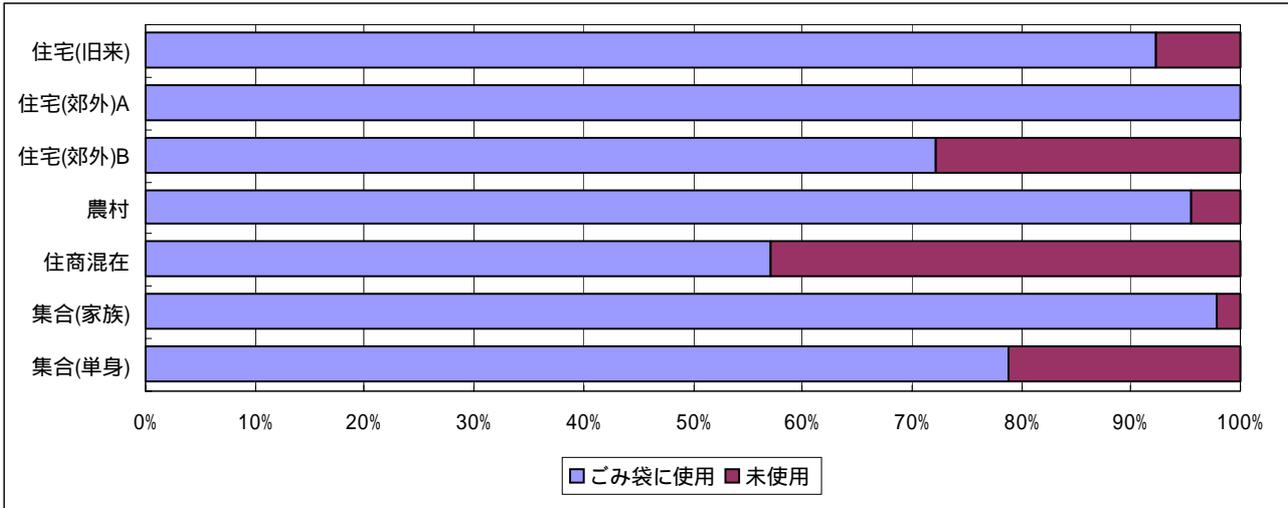
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
ごみ袋に使用	83.3	88.2	100.0	38.5	66.7	100.0	100.0
未使用	16.7	11.8	0.0	61.5	33.3	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

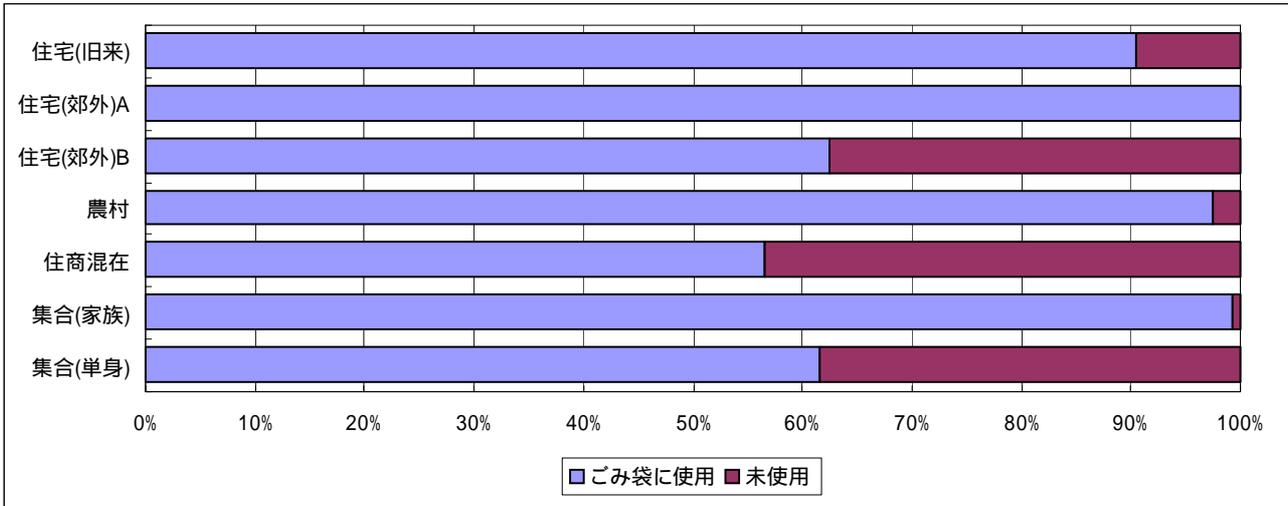
c 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
ごみ袋に使用	92.3	100.0	72.1	95.5	57.1	97.9	78.9
未使用	7.7	0.0	27.9	4.5	42.9	2.1	21.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

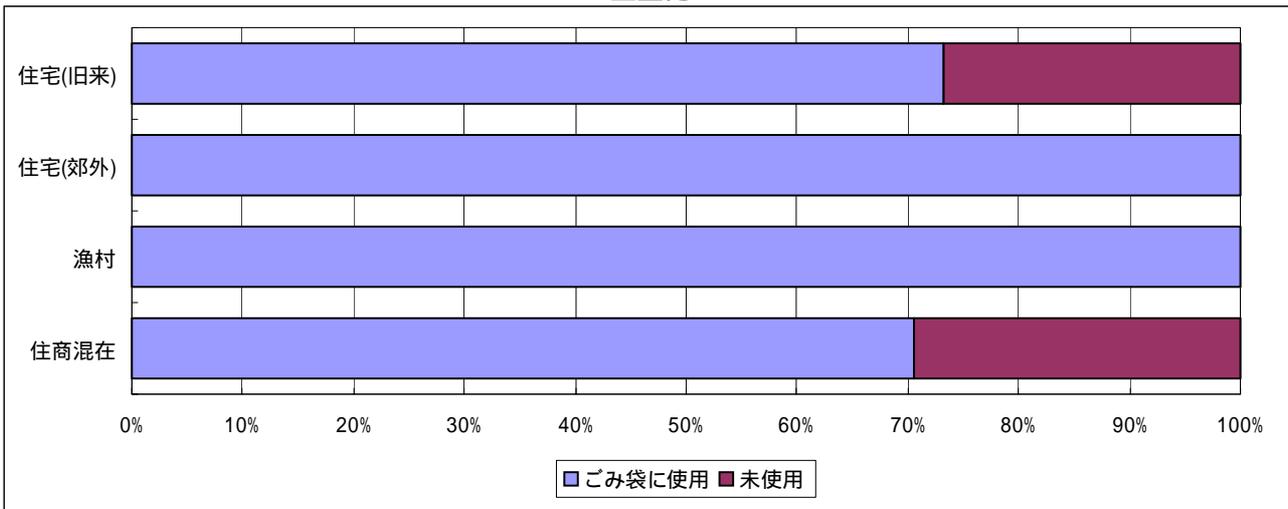
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
ごみ袋に使用	90.5	100.0	62.5	97.4	56.5	99.3	61.5
未使用	9.5	0.0	37.5	2.6	43.5	0.7	38.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

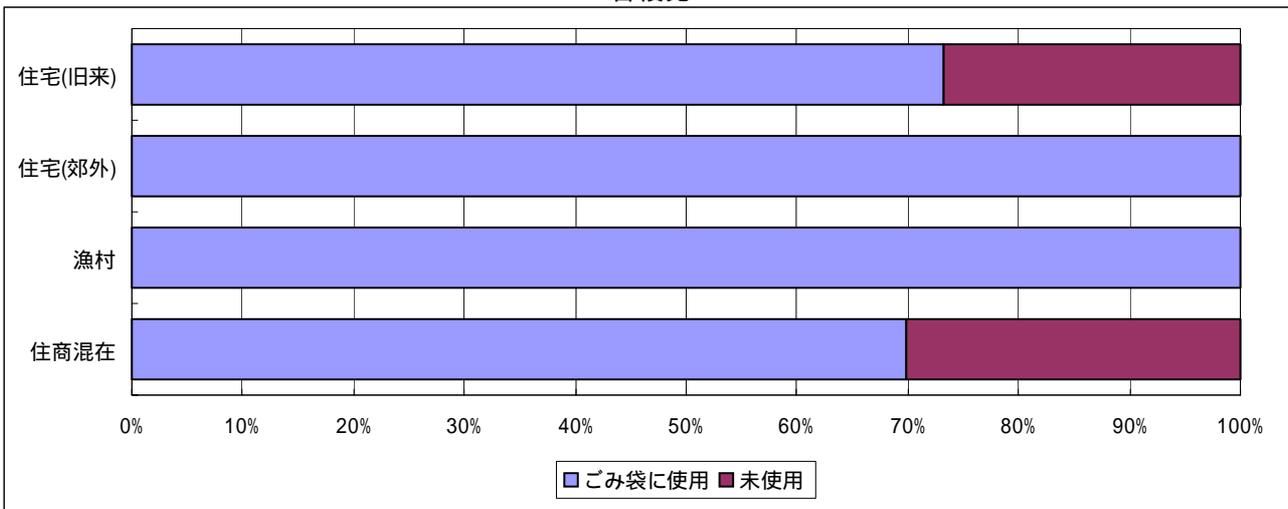
d 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
ごみ袋に使用	73.2	100.0	100.0	70.6
未使用	26.8	0.0	0.0	29.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

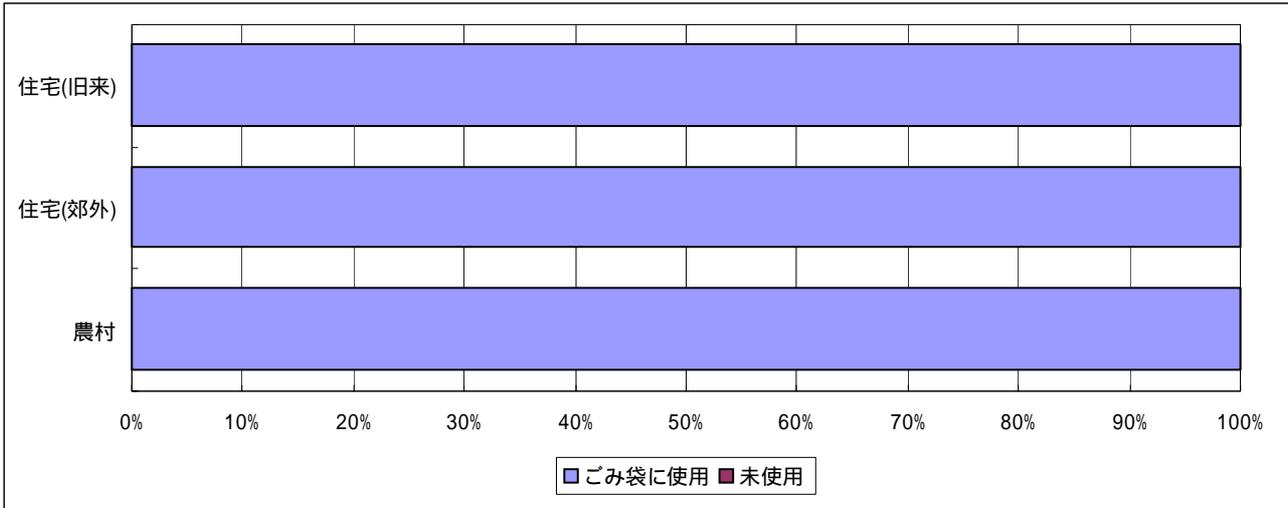
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
ごみ袋に使用	73.2	100.0	100.0	69.8
未使用	26.8	0.0	0.0	30.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

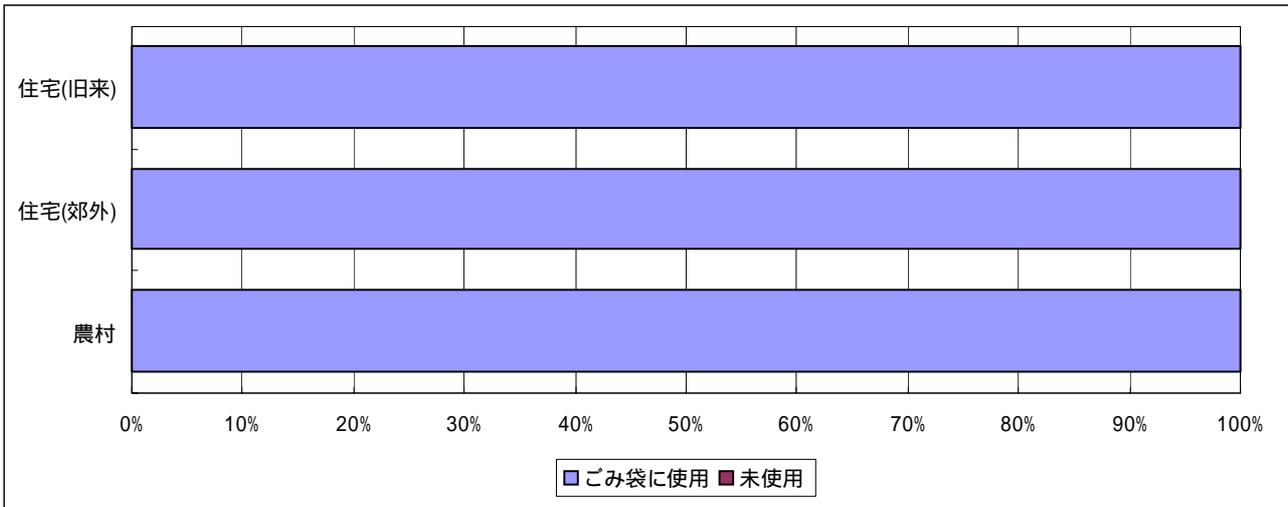
e 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
ごみ袋に使用	100.0	100.0	100.0
未使用	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

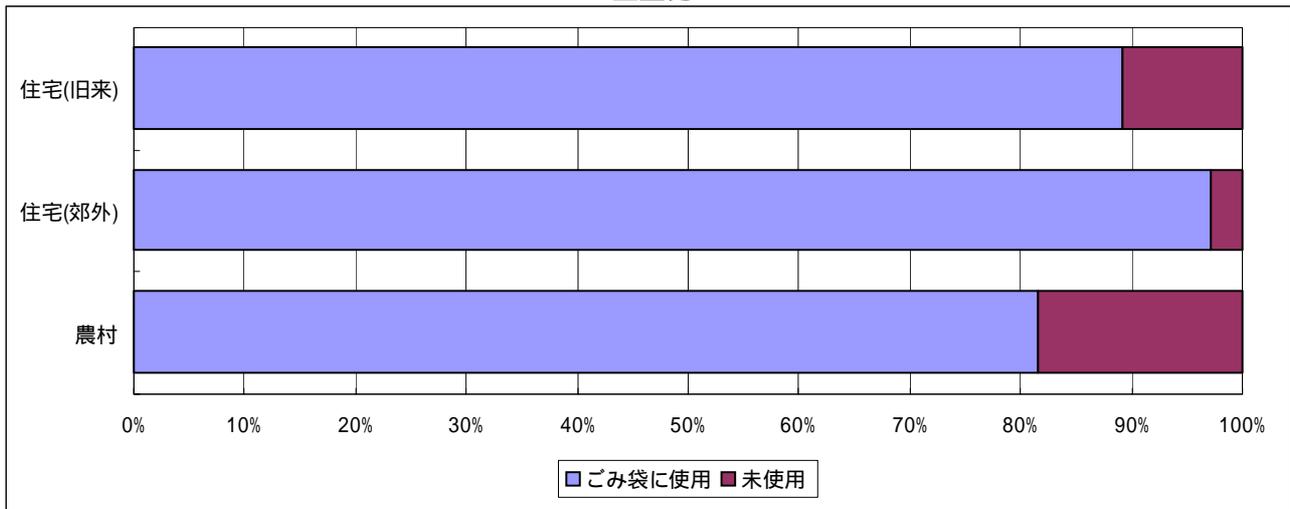
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
ごみ袋に使用	100.0	100.0	100.0
未使用	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

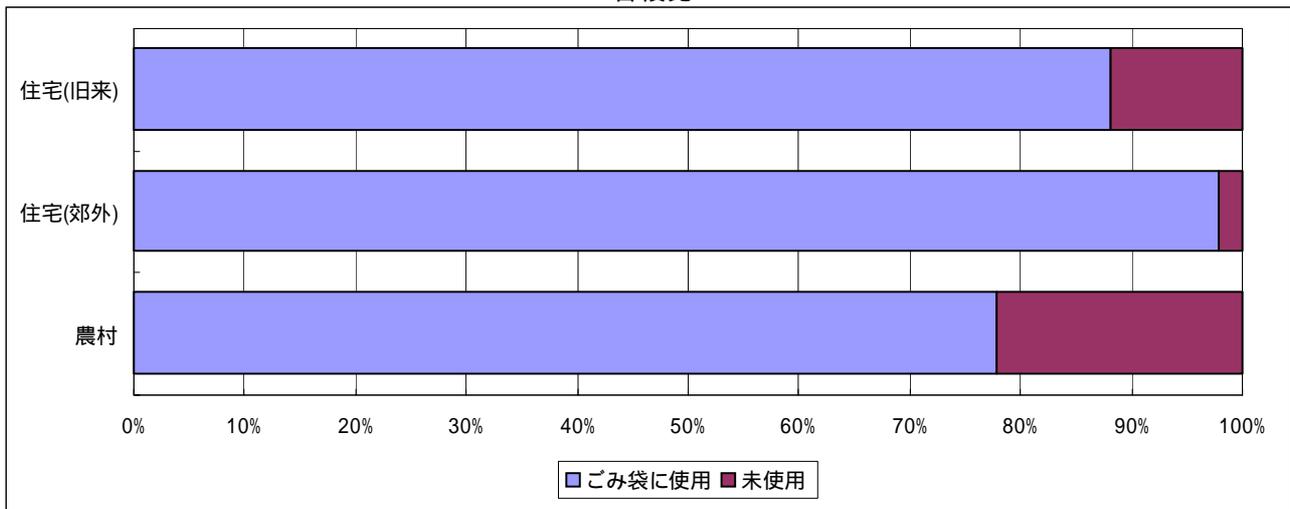
f 阿児町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
ごみ袋に使用	89.1	97.1	81.5
未使用	10.9	2.9	18.5
合計	100.0	100.0	100.0

容積比



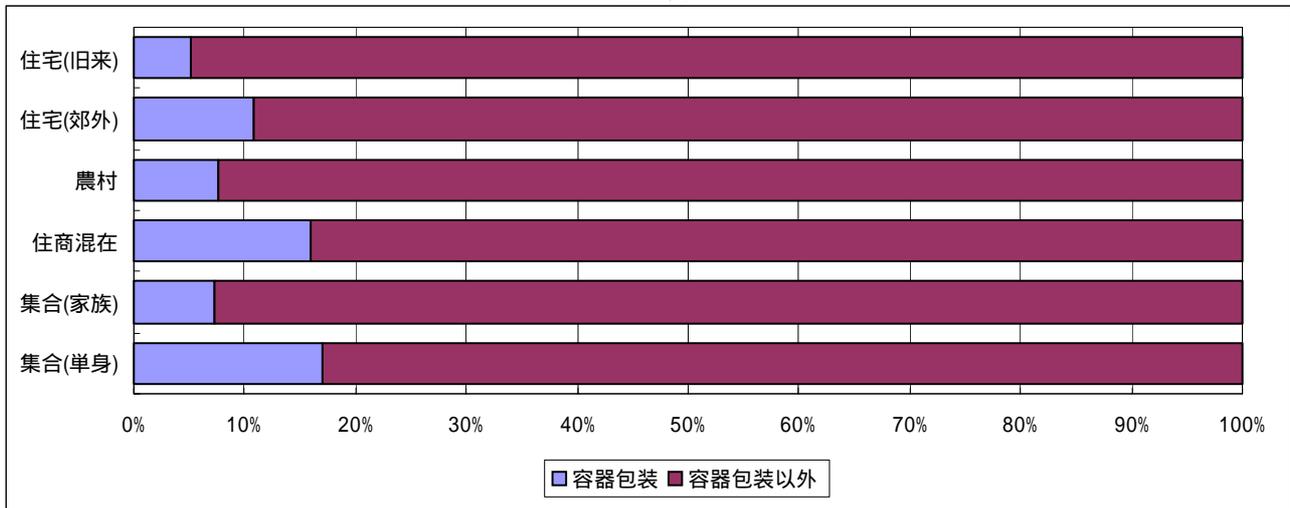
容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
ごみ袋に使用	88.2	97.8	77.8
未使用	11.8	2.2	22.2
合計	100.0	100.0	100.0

(2) 可燃ごみに含まれる容器包装

ア 容器包装と容器包装以外

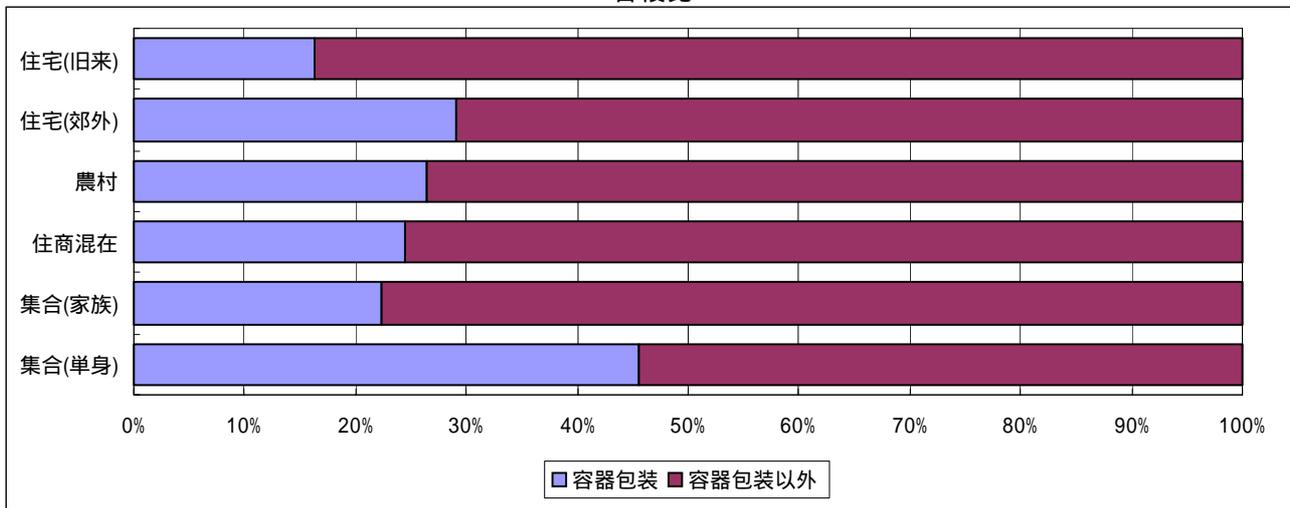
(ア) 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	5.2	10.8	7.7	16.0	7.3	17.0
容器包装以外	94.8	89.2	92.3	84.0	92.7	83.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

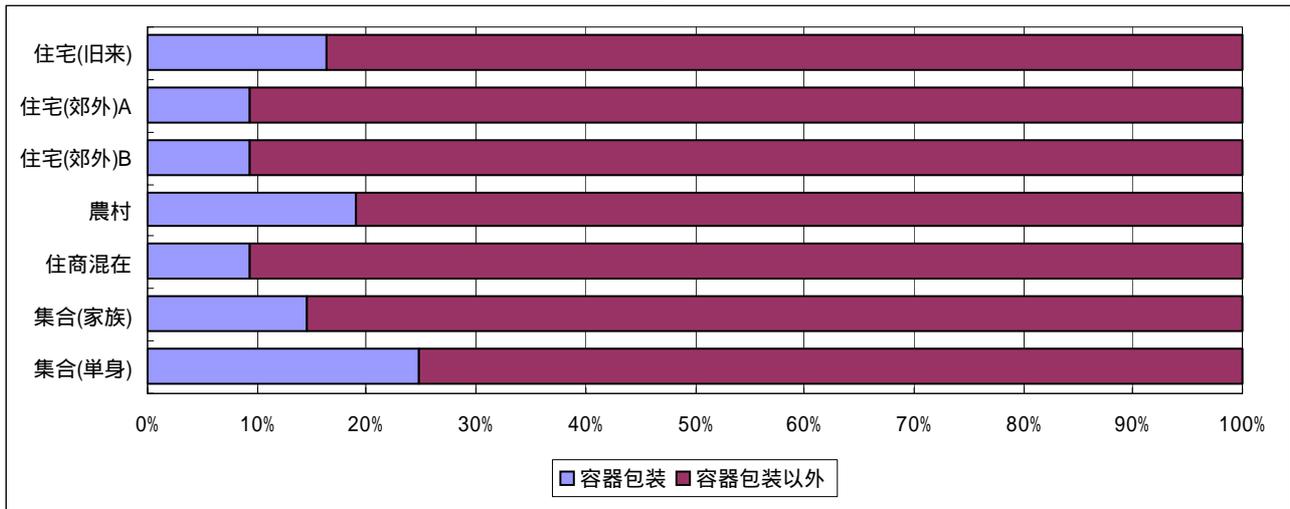
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	16.4	29.0	26.4	24.5	22.3	45.5
容器包装以外	83.6	71.0	73.6	75.5	77.7	54.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

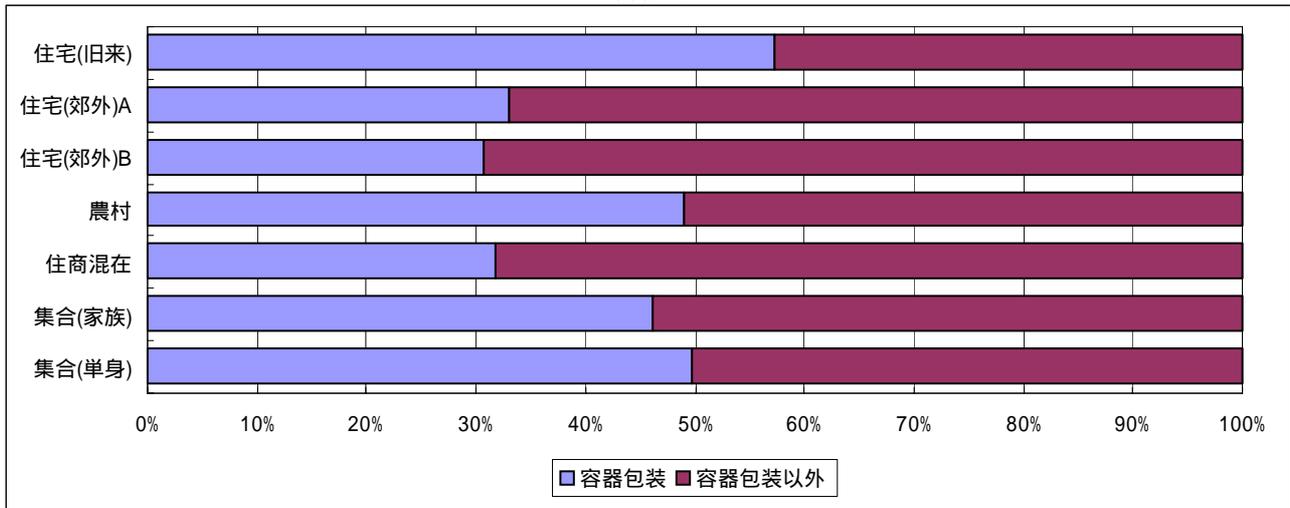
(1) 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	16.3	9.4	9.4	19.1	9.4	14.6	24.7
容器包装以外	83.7	90.6	90.6	80.9	90.6	85.4	75.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

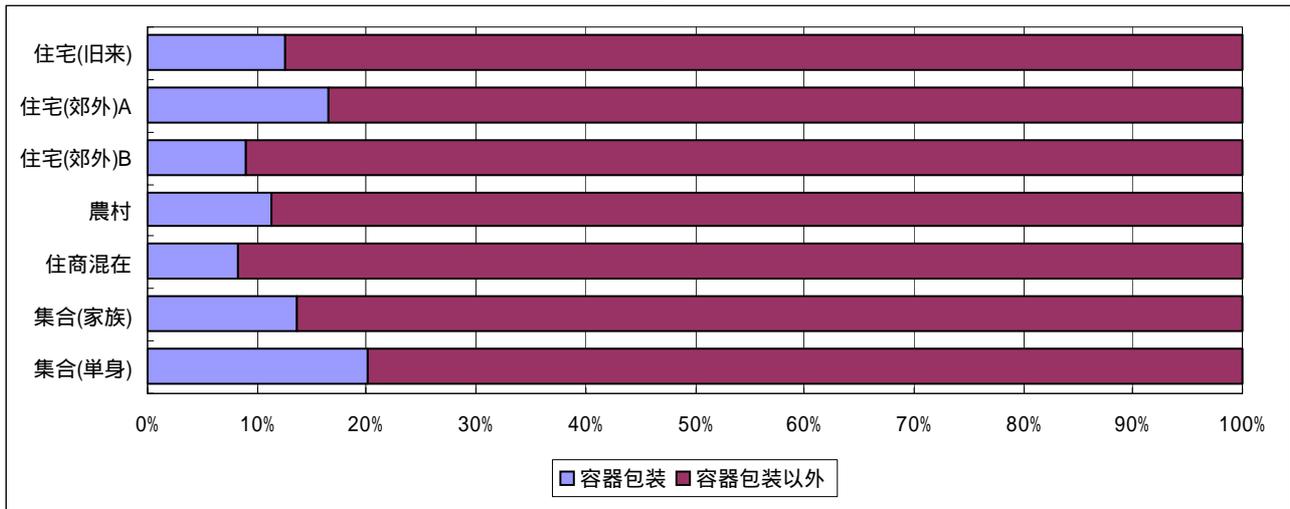
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	57.2	33.1	30.7	49.0	31.8	46.2	49.8
容器包装以外	42.8	66.9	69.3	51.0	68.2	53.8	50.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

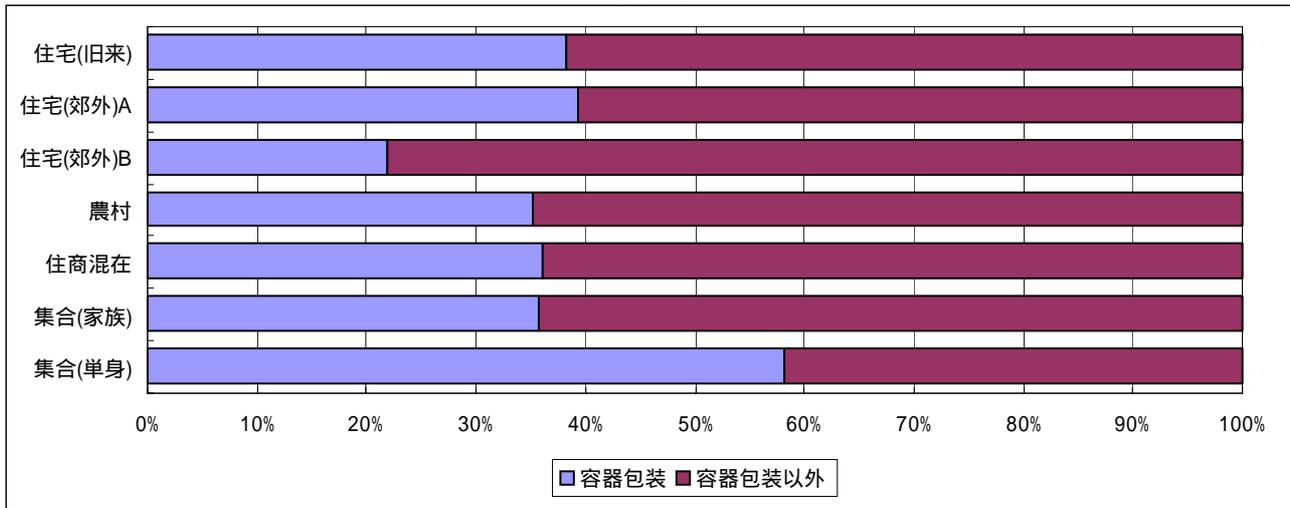
(ウ) 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	12.6	16.6	9.0	11.4	8.2	13.7	20.1
容器包装以外	87.4	83.4	91.0	88.6	91.8	86.3	79.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

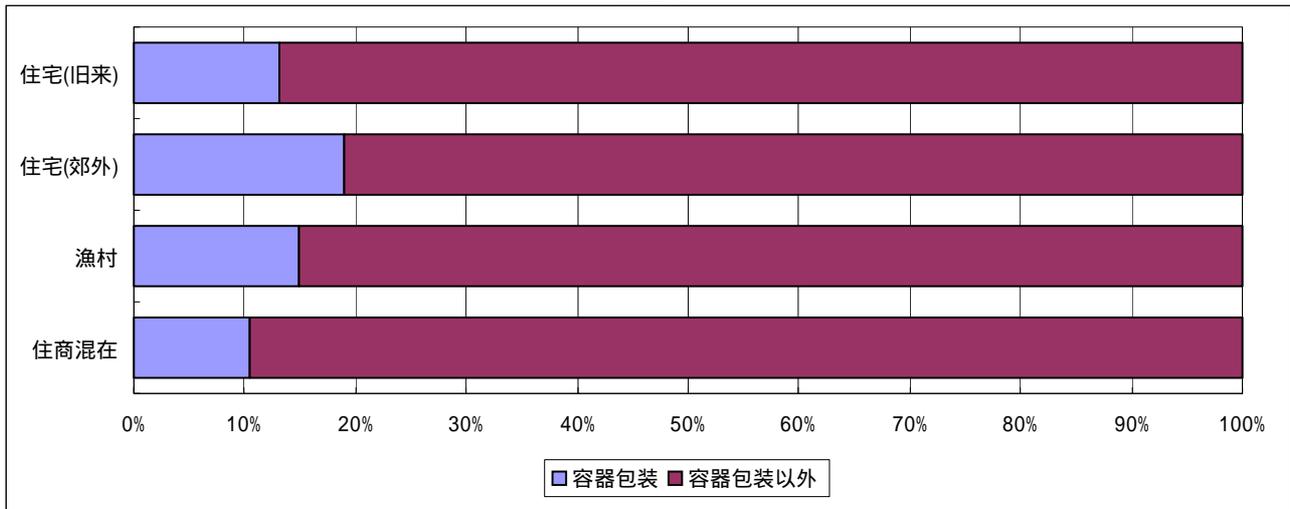
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
容器包装	38.2	39.3	21.9	35.2	36.1	35.8	58.1
容器包装以外	61.8	60.7	78.1	64.8	63.9	64.2	41.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

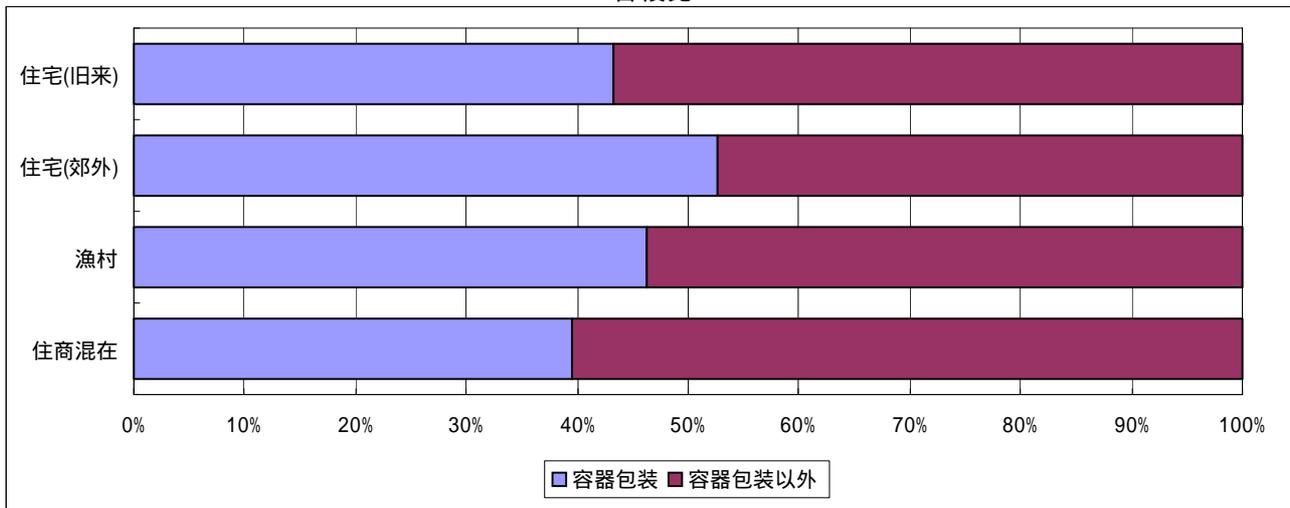
(工) 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
容器包装	13.1	18.9	14.9	10.5
容器包装以外	86.9	81.1	85.1	89.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

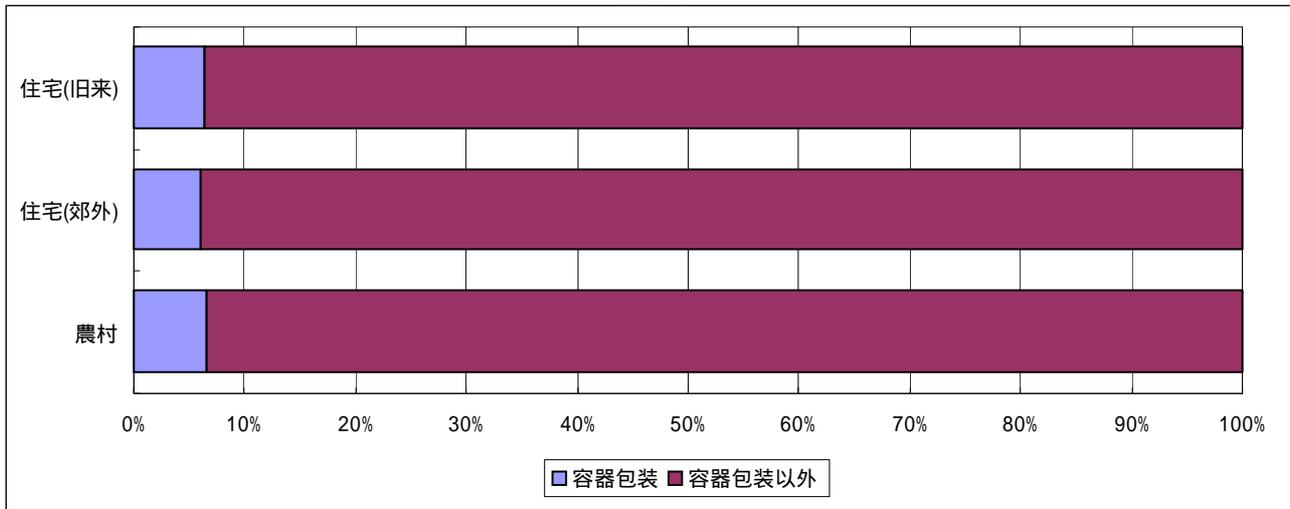
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
容器包装	43.3	52.7	46.3	39.5
容器包装以外	56.7	47.3	53.7	60.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

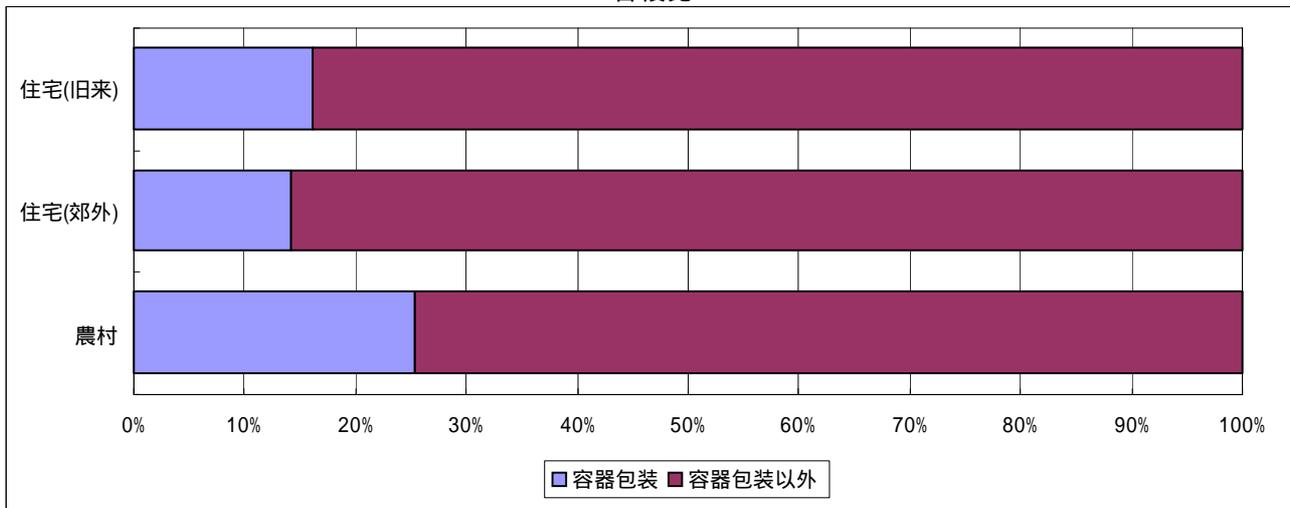
(才) 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	6.3	6.1	6.5
容器包装以外	93.7	93.9	93.5
合計	100.0	100.0	100.0

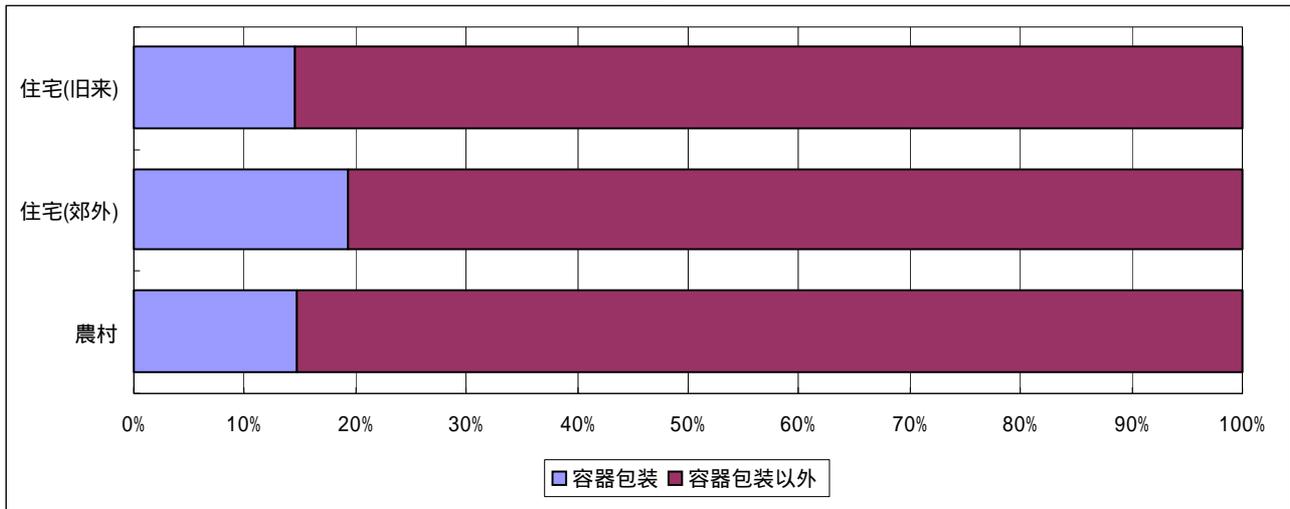
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	16.1	14.2	25.4
容器包装以外	83.9	85.8	74.6
合計	100.0	100.0	100.0

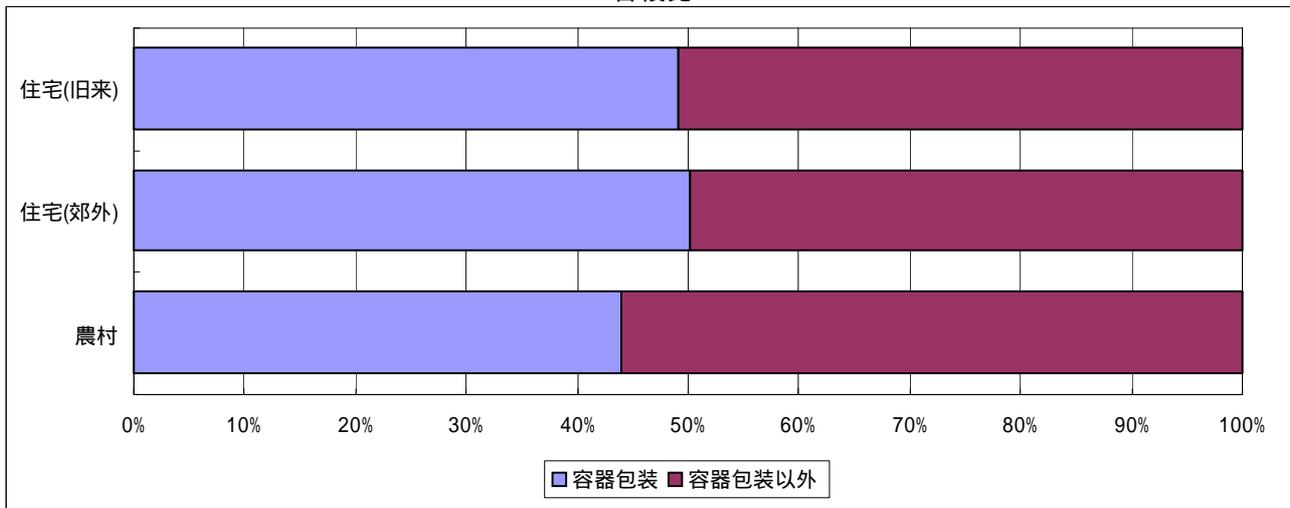
(力) 阿児町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	14.5	19.3	14.8
容器包装以外	85.5	80.7	85.2
合計	100.0	100.0	100.0

容積比

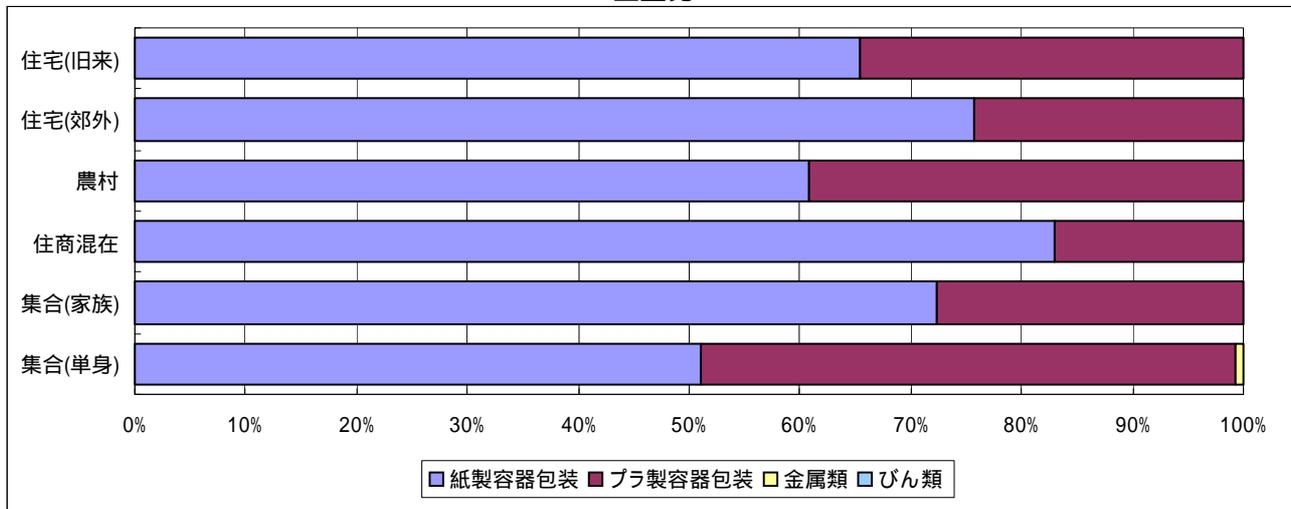


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
容器包装	49.2	50.2	44.0
容器包装以外	50.8	49.8	56.0
合計	100.0	100.0	100.0

# イ 容器包装の組成

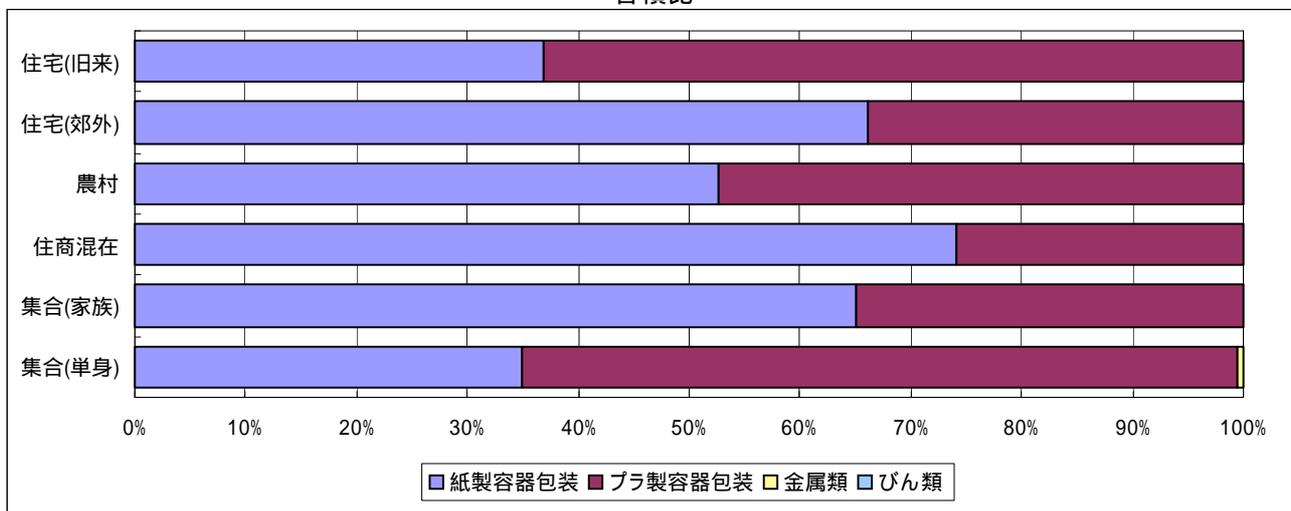
## (ア) 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
紙製容器包装	65.4	75.7	60.9	83.0	72.3	51.0
プラ製容器包装	34.6	24.3	39.1	17.0	27.7	48.3
金属類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

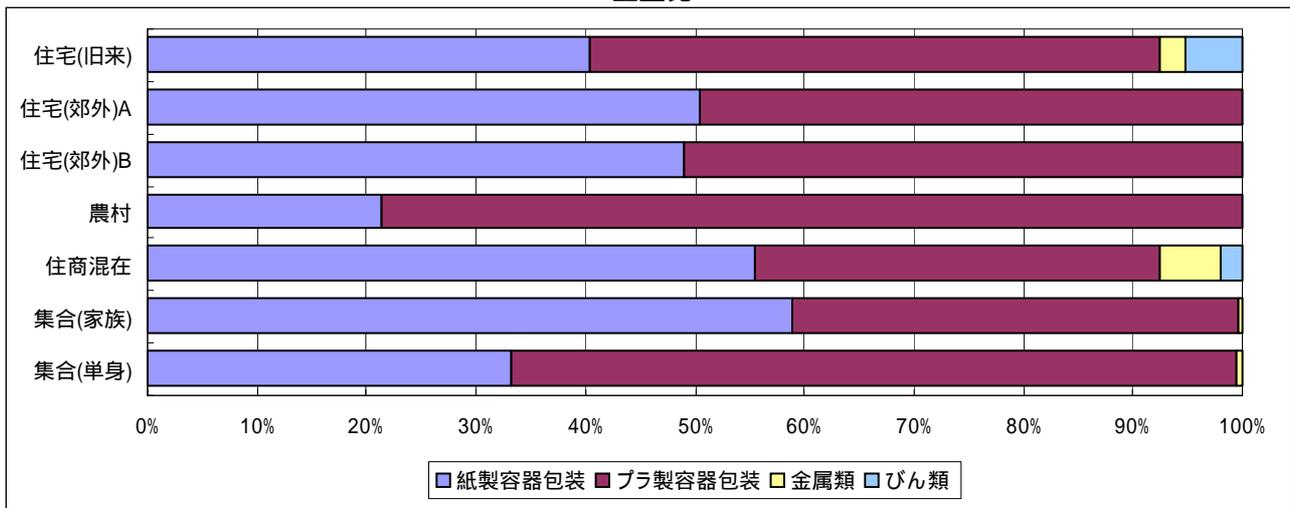
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)
紙製容器包装	36.8	66.2	52.6	74.2	65.0	35.0
プラ製容器包装	63.2	33.8	47.4	25.8	35.0	64.5
金属類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

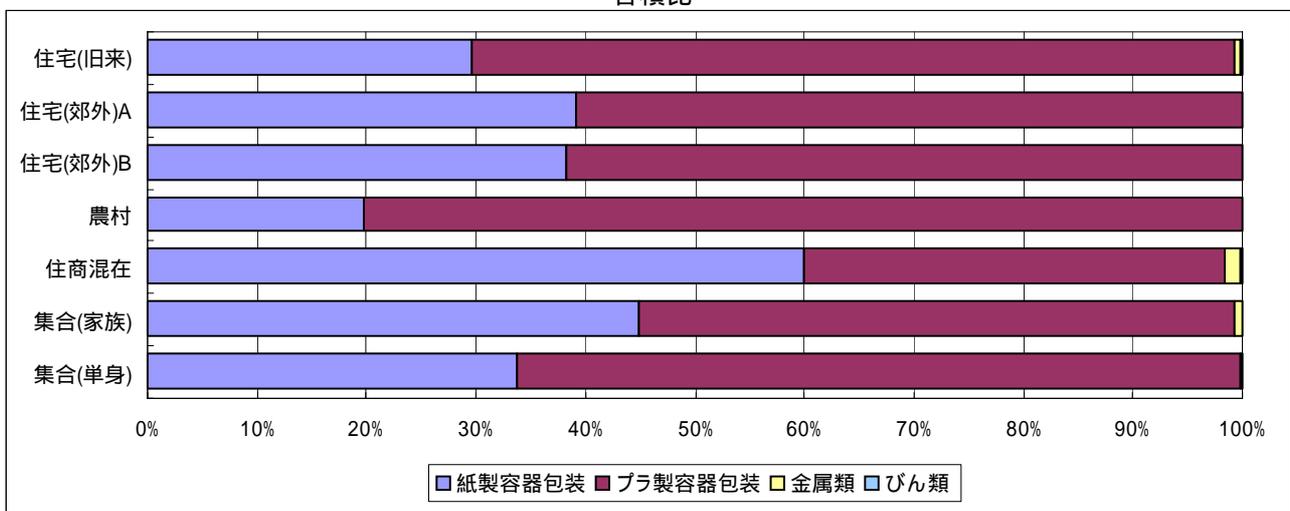
(1) 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
紙製容器包装	40.4	50.5	49.0	21.3	55.5	58.9	33.3
プラ製容器包装	52.0	49.5	51.0	78.7	36.9	40.7	66.1
金属類	2.4	0.0	0.0	0.0	5.7	0.4	0.6
びん類	5.2	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

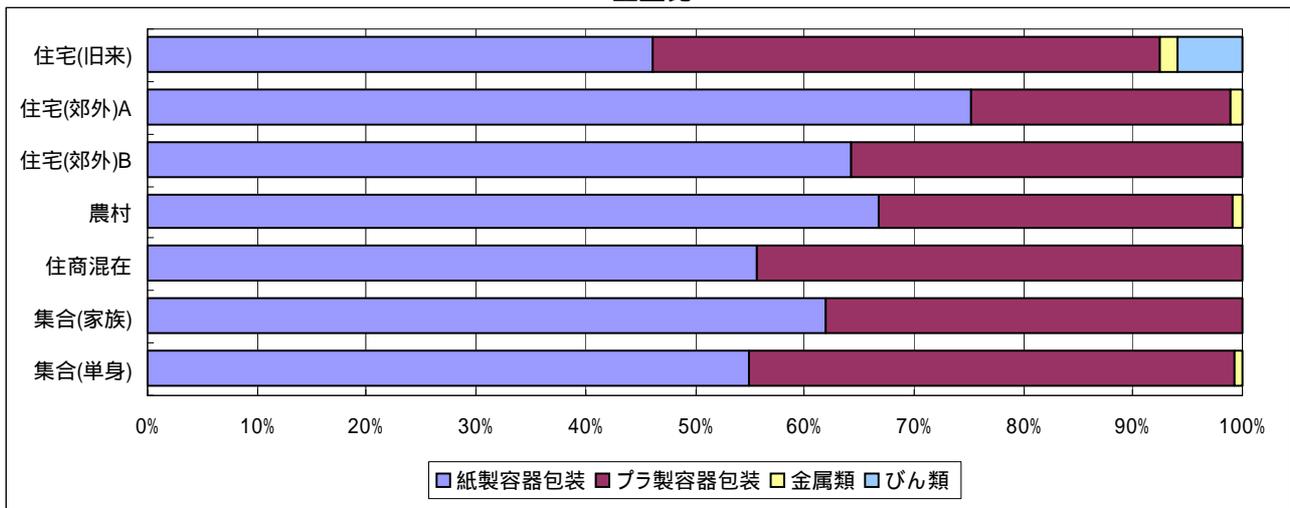
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
紙製容器包装	29.7	39.1	38.2	19.7	59.9	44.8	33.7
プラ製容器包装	69.6	60.9	61.8	80.3	38.4	54.5	66.1
金属類	0.6	0.0	0.0	0.0	1.5	0.7	0.2
びん類	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

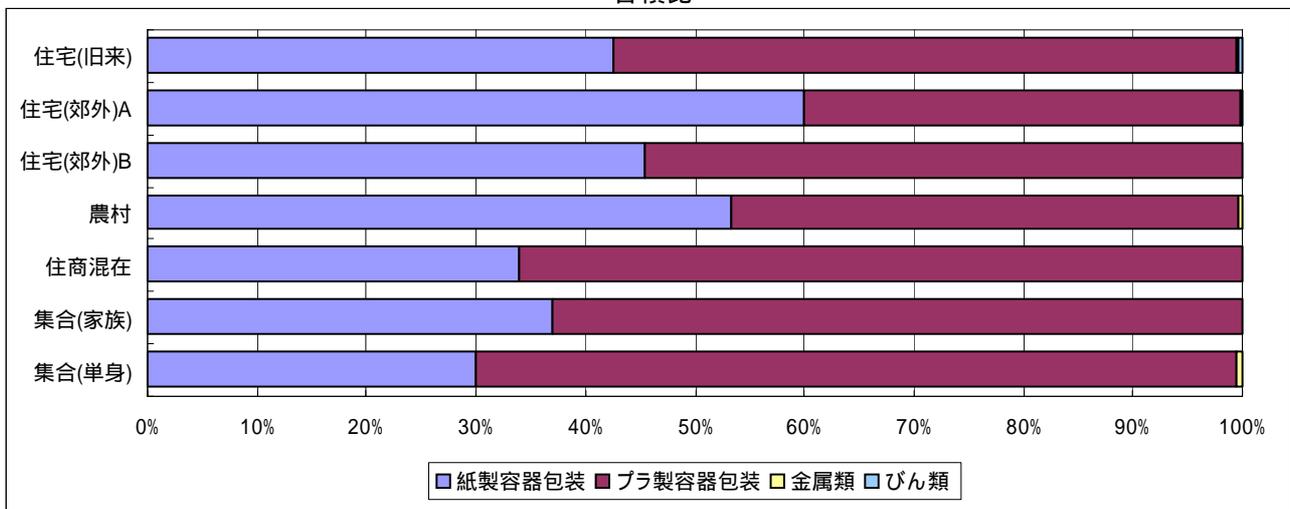
(ウ) 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
紙製容器包装	46.2	75.2	64.3	66.7	55.6	62.0	54.9
プラ製容器包装	46.2	23.7	35.7	32.4	44.4	38.0	44.4
金属類	1.7	1.1	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7
びん類	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

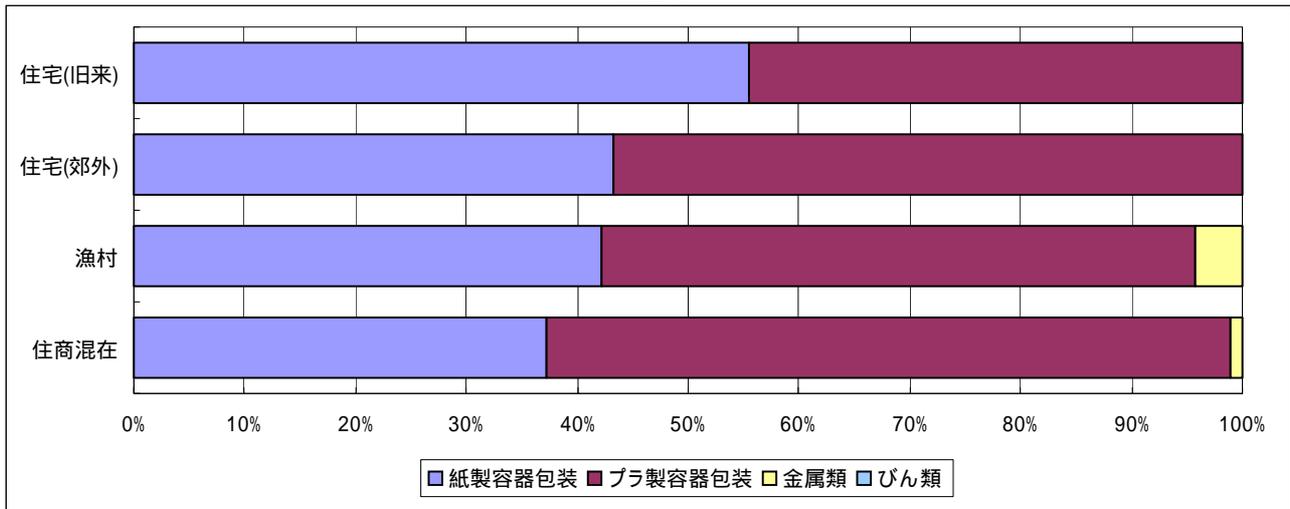
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
紙製容器包装	42.6	60.0	45.4	53.3	33.9	36.9	30.0
プラ製容器包装	56.8	39.9	54.6	46.4	66.1	63.1	69.4
金属類	0.3	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.6
びん類	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

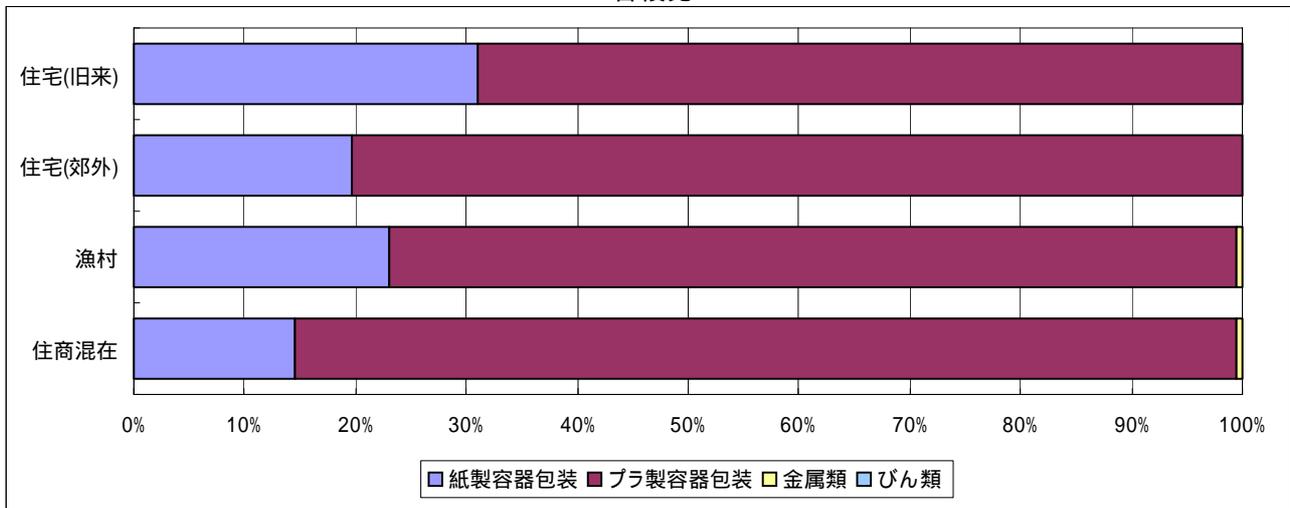
(工) 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
紙製容器包装	55.5	43.2	42.2	37.2
プラ製容器包装	44.5	56.8	53.5	61.8
金属類	0.0	0.0	4.3	1.0
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

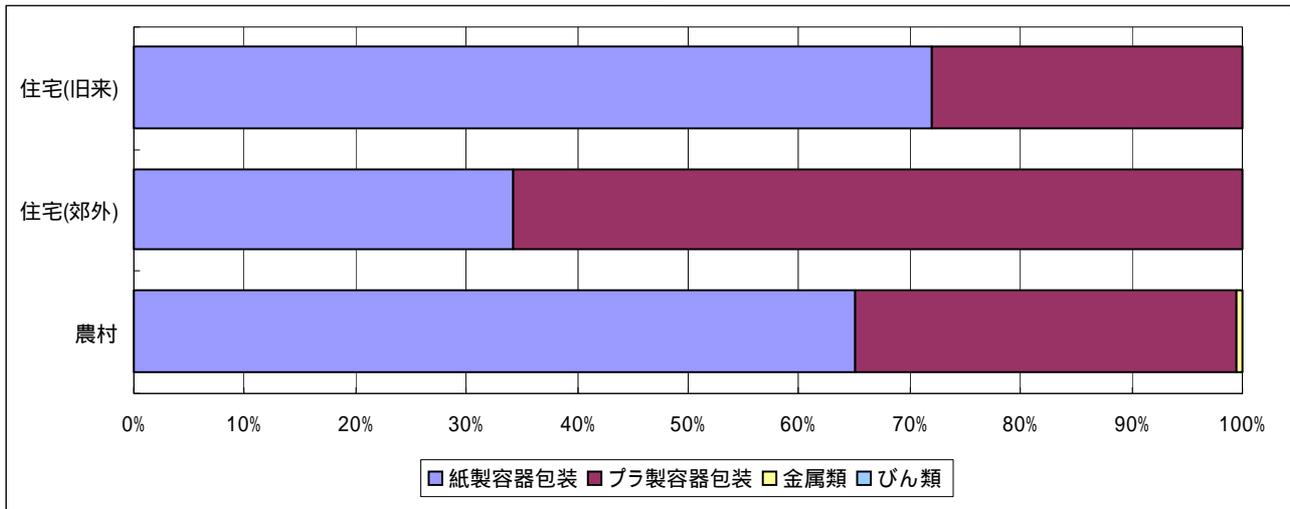
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
紙製容器包装	31.1	19.7	23.0	14.5
プラ製容器包装	68.9	80.3	76.4	84.9
金属類	0.0	0.0	0.6	0.6
びん類	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

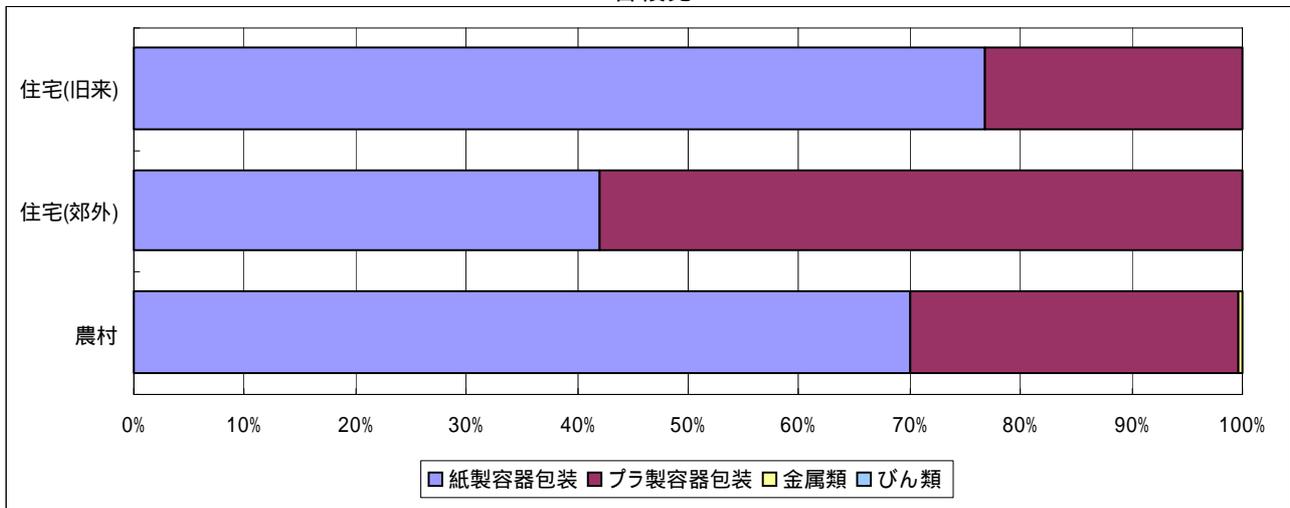
(才) 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
紙製容器包装	71.9	34.3	65.1
プラ製容器包装	28.1	65.7	34.4
金属類	0.0	0.0	0.5
びん類	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

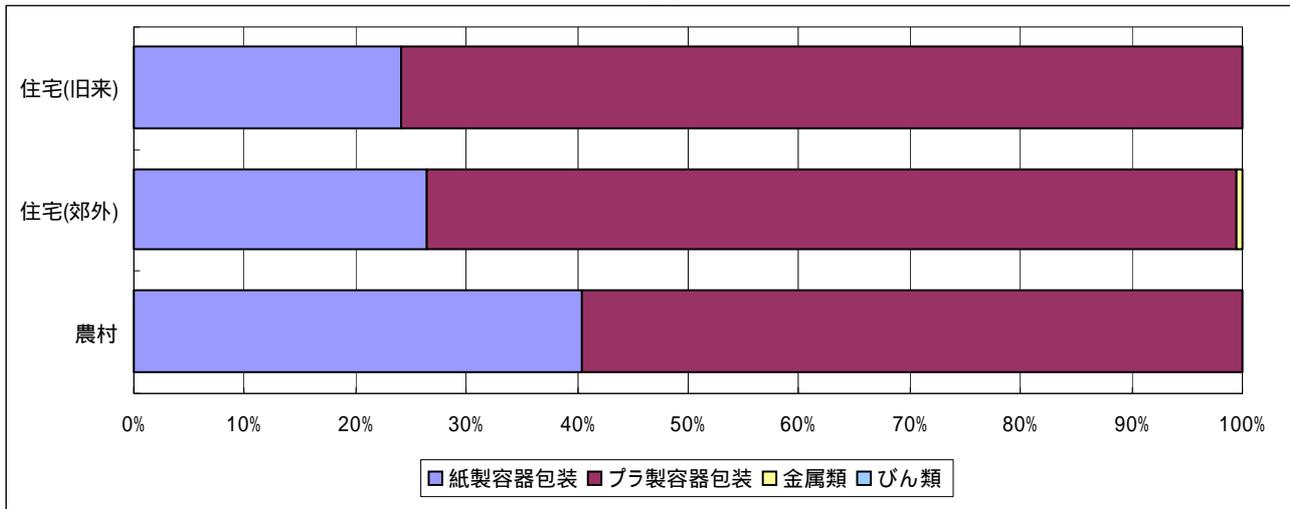
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
紙製容器包装	76.7	42.0	70.0
プラ製容器包装	23.3	58.0	29.7
金属類	0.0	0.0	0.3
びん類	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

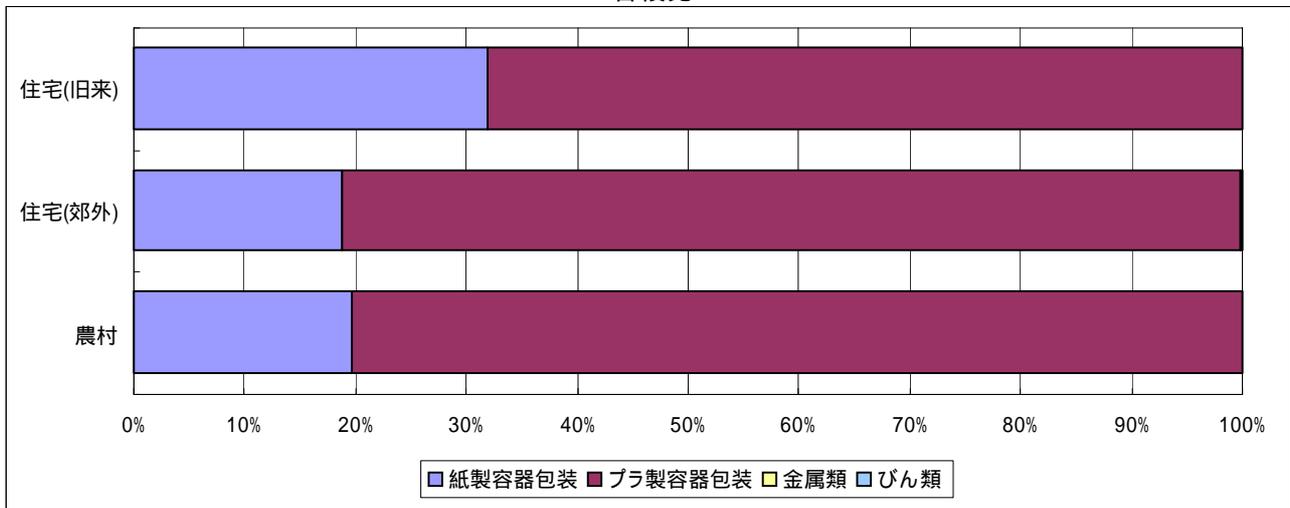
(カ) 阿児町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
紙製容器包装	24.2	26.4	40.5
プラ製容器包装	75.8	73.1	59.5
金属類	0.0	0.5	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

容積比

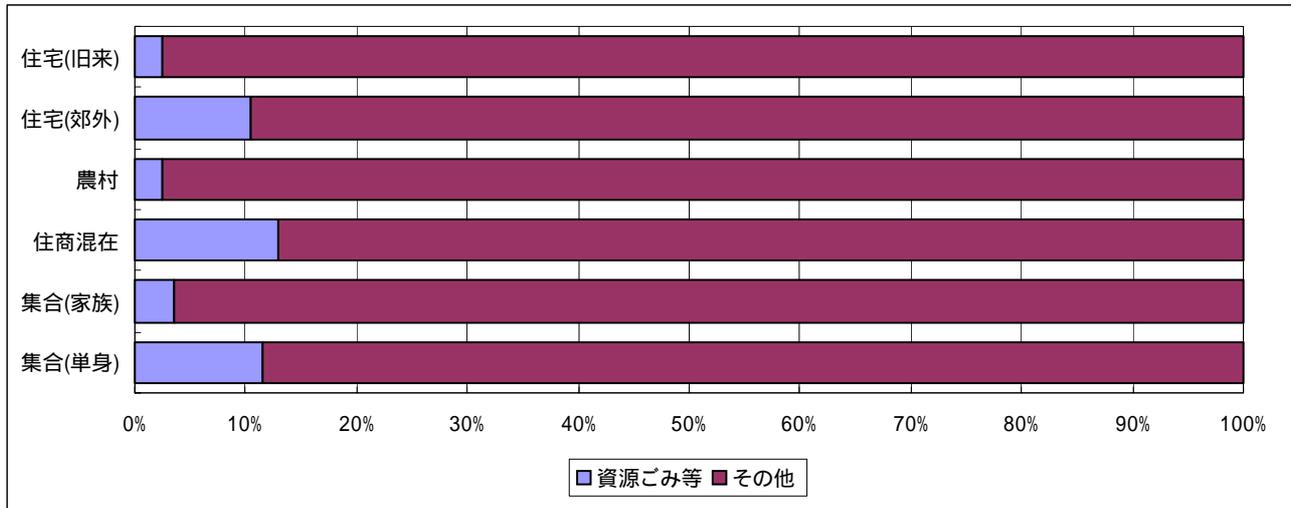


容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
紙製容器包装	31.9	18.8	19.7
プラ製容器包装	68.1	81.0	80.3
金属類	0.0	0.2	0.0
びん類	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

### (3) 分別状況

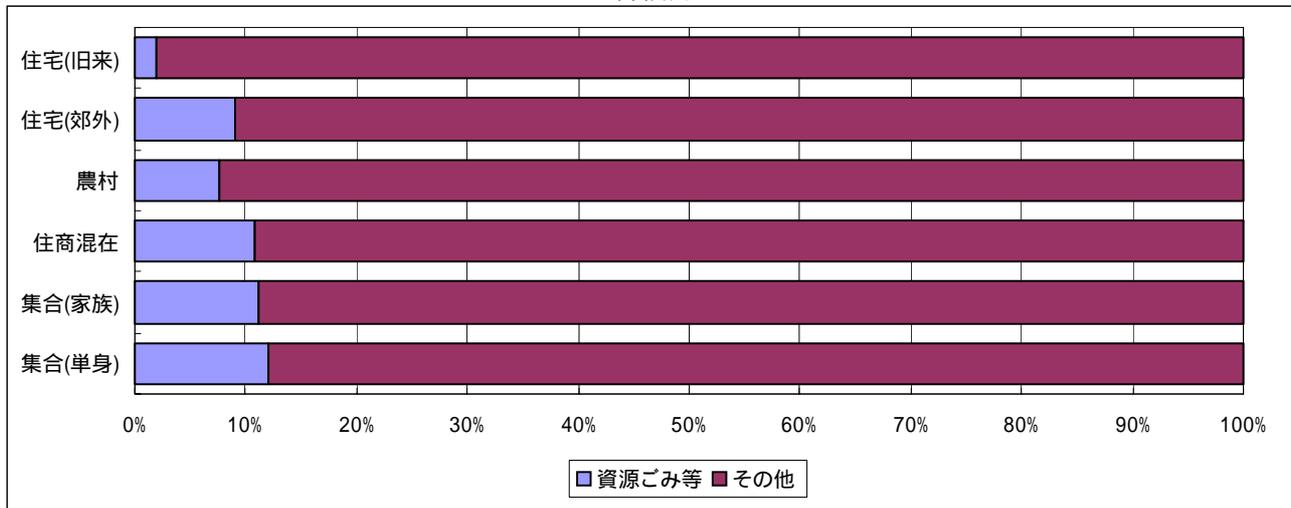
#### (ア) 津市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
資源ごみ等	2.5	10.4	2.4	12.9	3.5	11.5
その他	97.5	89.6	97.6	87.1	96.5	88.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

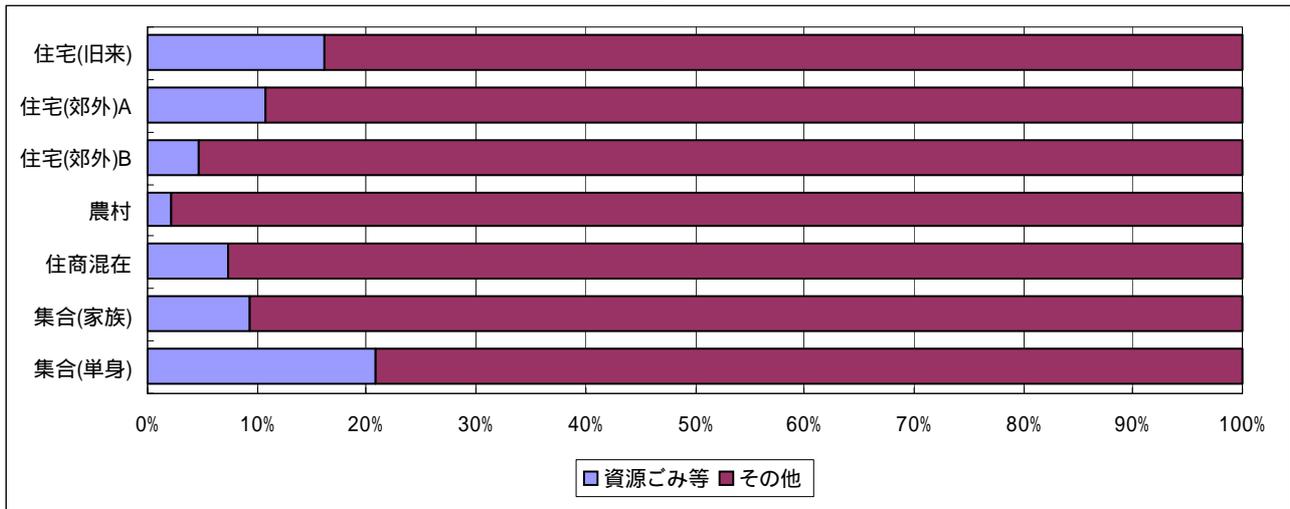
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
資源ごみ等	1.9	9.0	7.7	10.9	11.1	12.0
その他	98.1	91.0	92.3	89.1	88.9	88.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

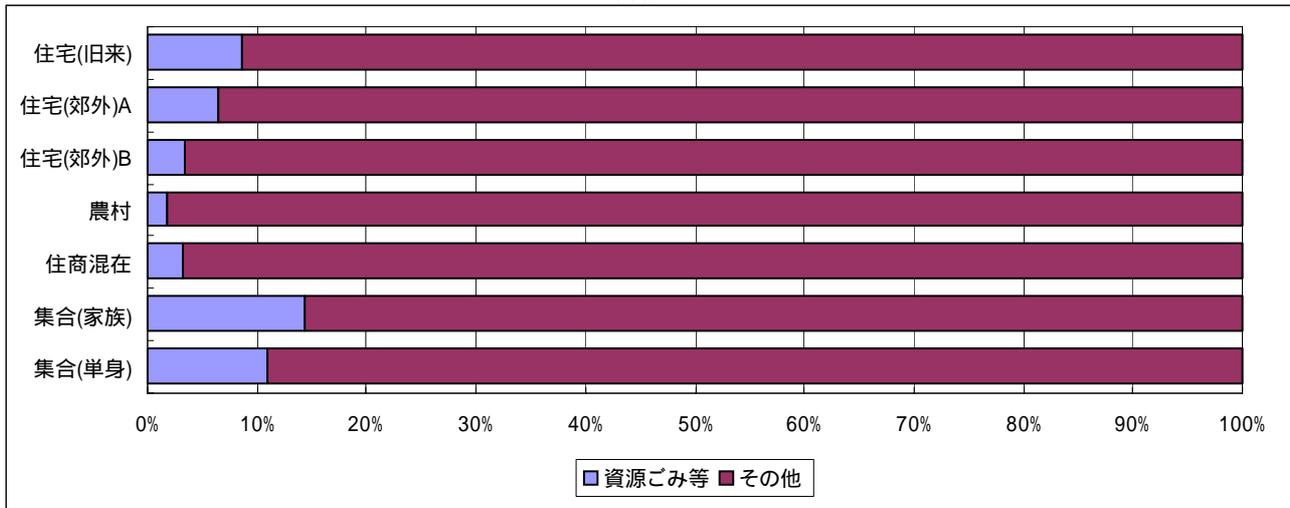
(イ) 伊勢市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
資源ごみ等	16.1	10.8	4.7	2.2	7.3	9.3	20.9
その他	83.9	89.2	95.3	97.8	92.7	90.7	79.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

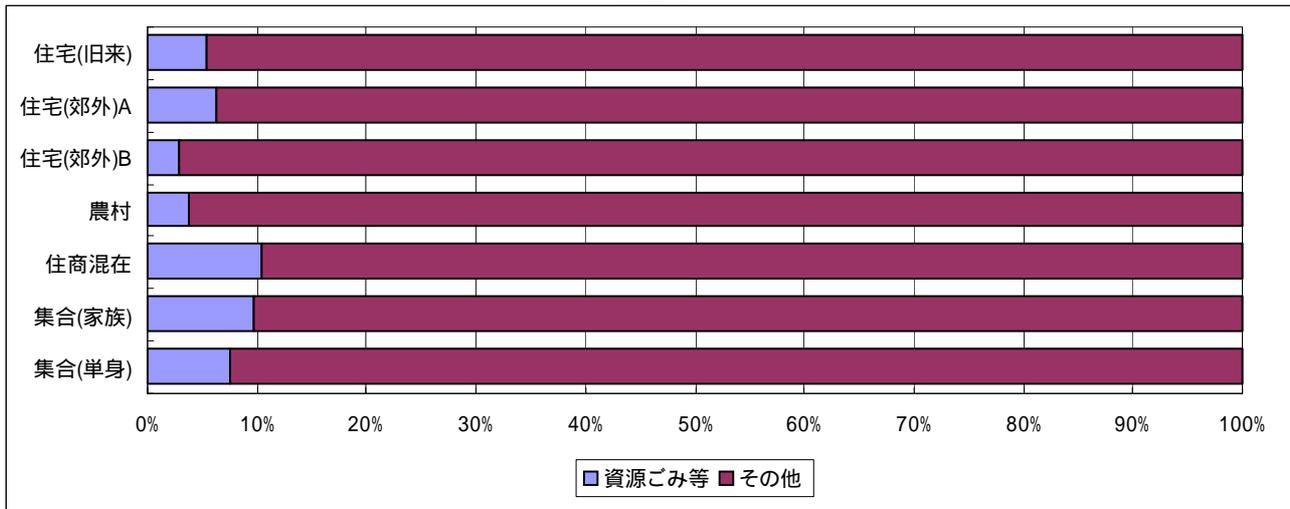
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
資源ごみ等	8.6	6.4	3.5	1.8	3.3	14.3	11.0
その他	91.4	93.6	96.5	98.2	96.7	85.7	89.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

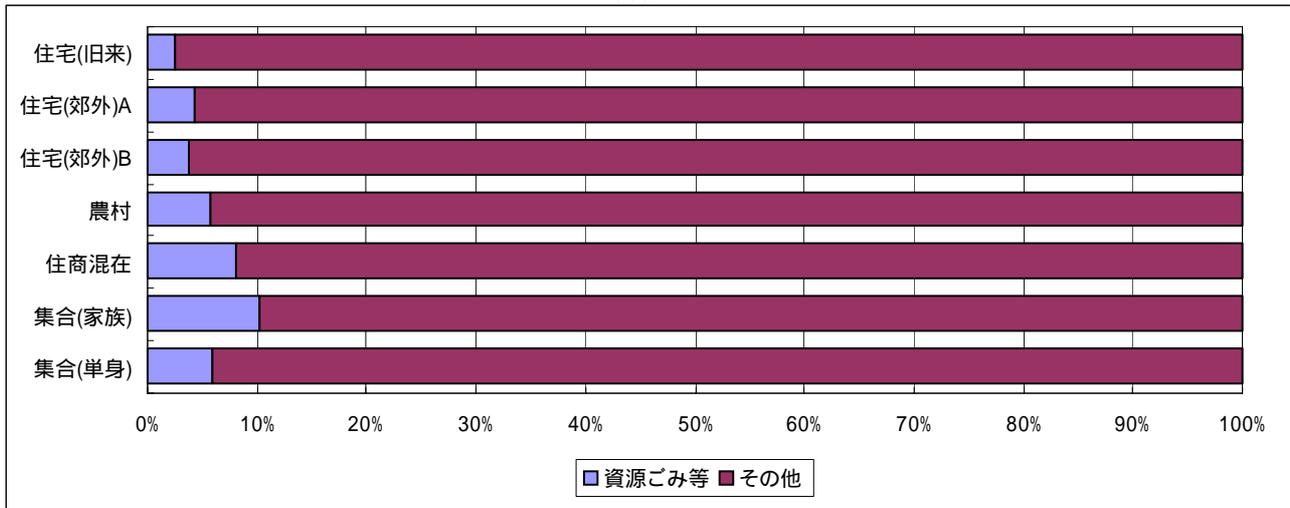
(ウ) 名張市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
資源ごみ等	5.4	6.2	2.8	3.7	10.4	9.7	7.6
その他	94.6	93.8	97.2	96.3	89.6	90.3	92.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

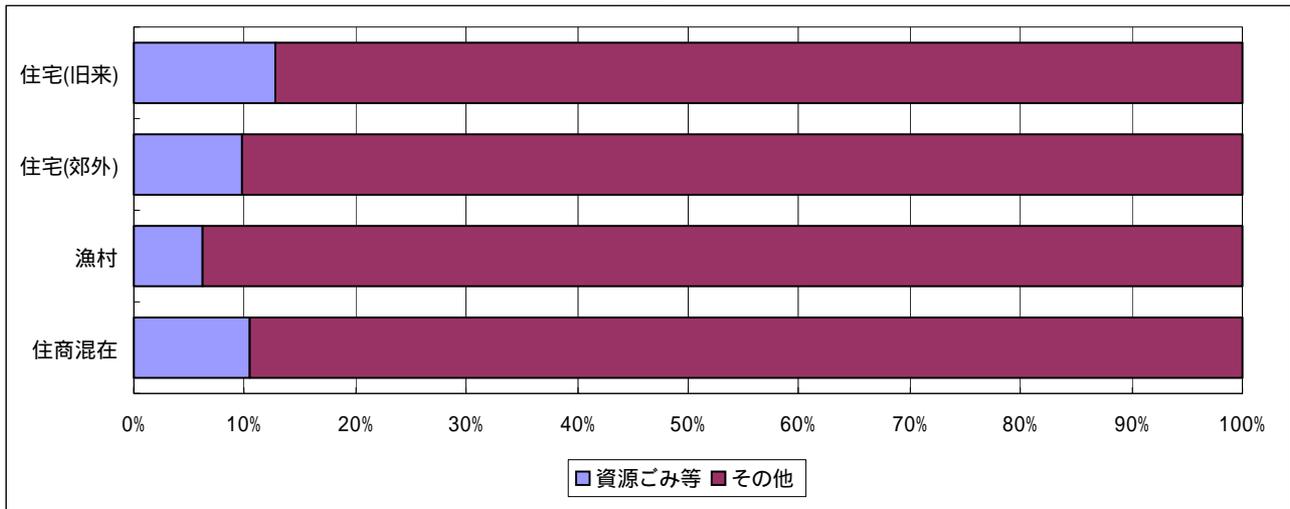
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)
資源ごみ等	2.6	4.3	3.7	5.7	8.0	10.3	6.0
その他	97.4	95.7	96.3	94.3	92.0	89.7	94.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

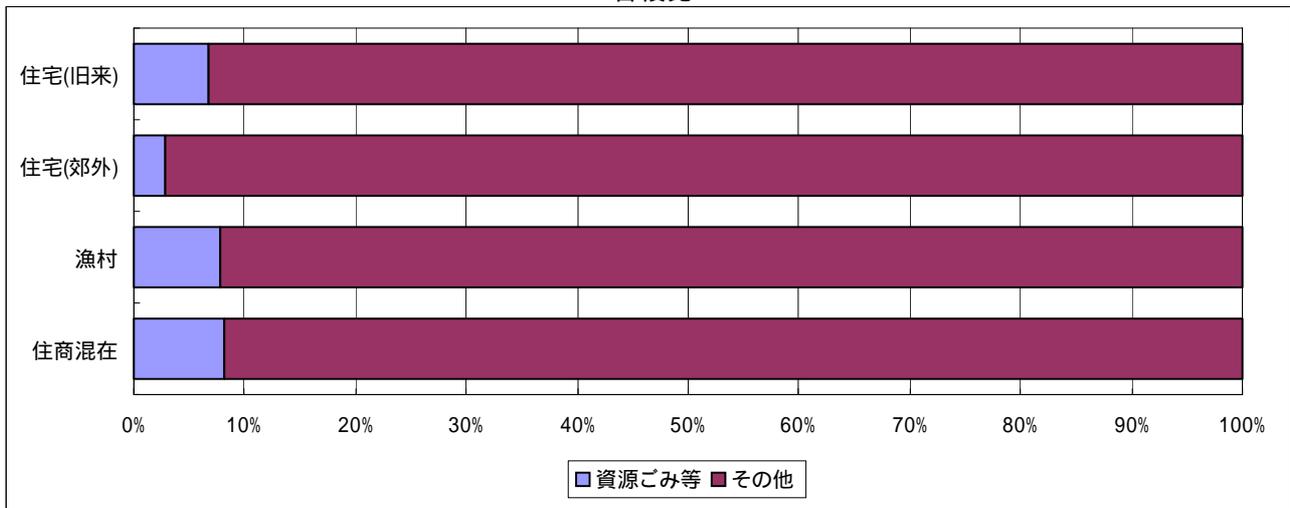
(工) 尾鷲市

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
資源ごみ等	12.7	9.7	6.2	10.5
その他	87.3	90.3	93.8	89.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

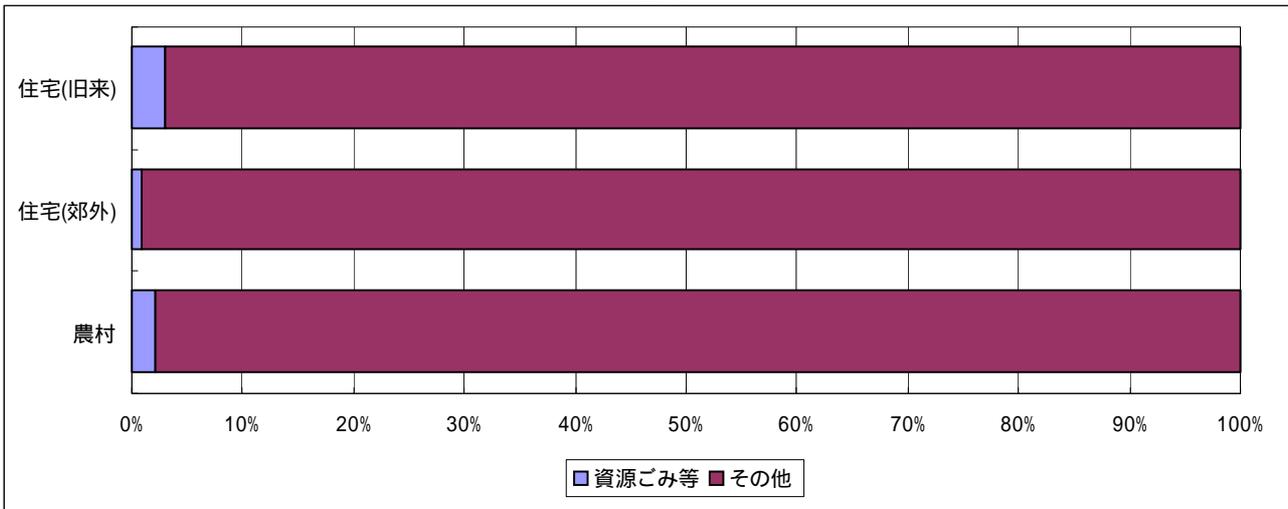
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在
資源ごみ等	6.7	2.9	7.8	8.2
その他	93.3	97.1	92.2	91.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

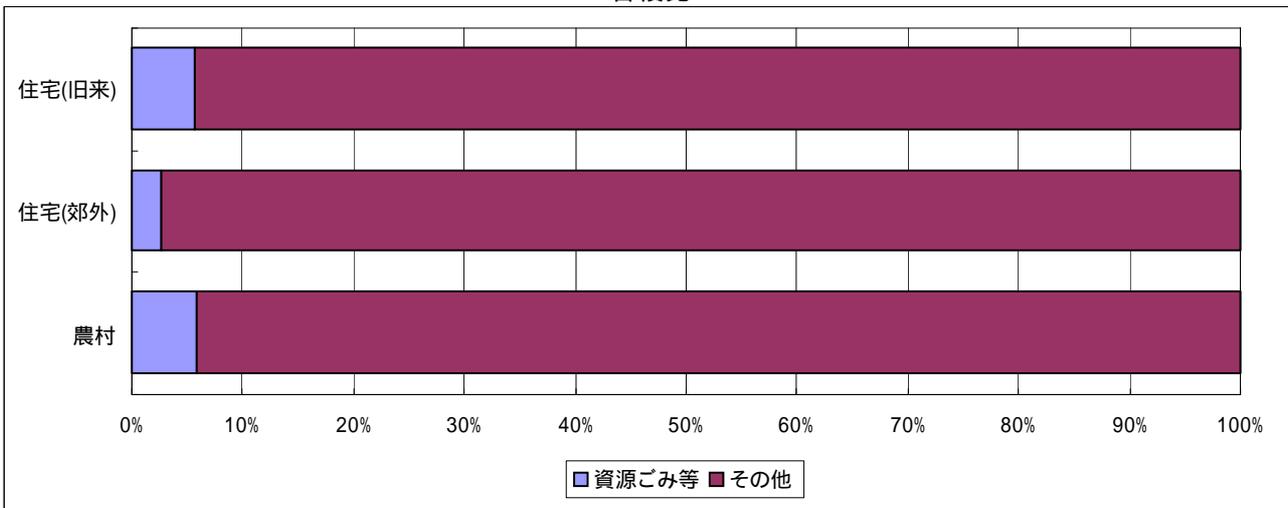
(才) 菰野町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
資源ごみ等	3.1	0.8	2.2
その他	96.9	99.2	97.8
合計	100.0	100.0	100.0

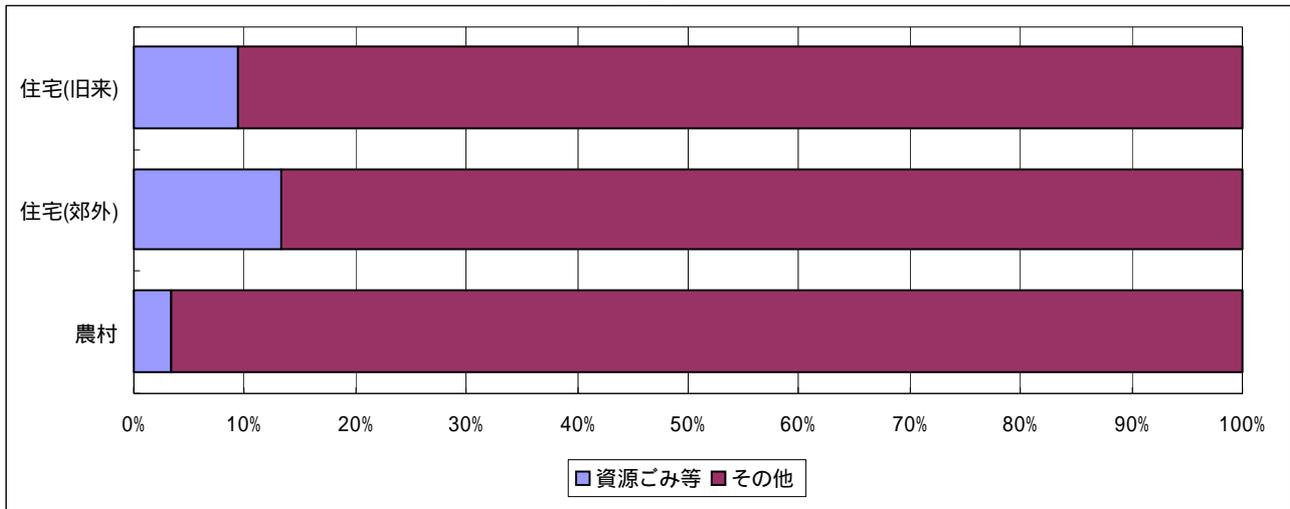
容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
資源ごみ等	5.6	2.6	5.9
その他	94.4	97.4	94.1
合計	100.0	100.0	100.0

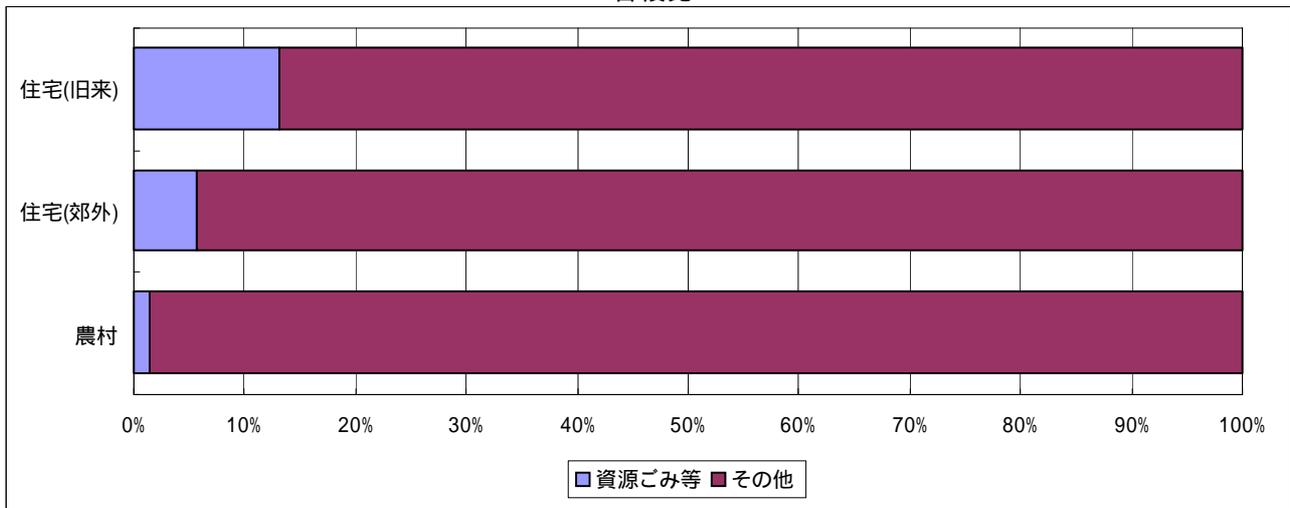
(カ) 阿児町

重量比



重量比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
資源ごみ等	9.4	13.3	3.3
その他	90.6	86.7	96.7
合計	100.0	100.0	100.0

容積比



容積比	住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村
資源ごみ等	13.1	5.7	1.5
その他	86.9	94.3	98.5
合計	100.0	100.0	100.0

## 4. 資料編

### (1) 可燃ごみ

#### ア 津市

#### 重量比

(単位:%)

大分類	分類項目		住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)	
	中分類	細分類	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	0.7	1.3	1.0	2.2	5.8	5.0	
		調理くず、残飯	65.2	33.1	58.1	31.6	48.9	32.3	
	草木類	剪定枝	13.5	24.0	4.0	5.9	0.1	3.8	
		使い捨て用品 その他	0.1 0.5	1.5	0.1	0.0	0.1	0.1	
紙類	容器包装	ダンボール	0.5	0.8		3.7	0.0	2.0	
		紙パック	0.4	1.4	1.4	1.0	1.5	2.4	
		食料品容器	0.9	1.6	1.7	1.3	2.0	1.9	
		日用品容器	0.5	1.8	0.9	0.4	1.5	0.7	
		その他容器包装	0.8	2.0	0.4	6.8		0.9	
		容器包装(汚れのひどいもの)	0.3	0.7	0.2	0.1	0.2	0.7	
		容器包装以外	新聞紙	0.1	2.5				
			チラシ		3.9	0.1	6.2	2.0	1.4
	雑誌		1.5	1.7	0.5			5.1	
	書籍								
	OA用紙		0.3	1.0	0.5	4.7	0.2	3.7	
	OA用紙(シュレッダー後)			0.4		7.4			
	雑紙		0.5	3.2	0.7	3.0	1.3	0.8	
	汚れた新聞、チラシ 使い捨て用品(ティッシュ等) その他紙類		4.4 1.9 0.9	2.9 3.2 1.6	2.2 4.0 3.1	0.3 2.4 8.3	1.1 4.8 5.3	1.4 8.3 4.1	
	紙おむつ等	紙おむつ	1.8	3.5	11.4		17.5	0.8	
		生理用品		0.4	0.2		0.1	0.4	
	繊維類	衣類等	0.5	0.6	2.3	0.4	2.2	1.5	
		その他繊維類	1.6				0.1	5.0	
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル			0.4			0.5
その他のボトル								0.7	
チューブ類				0.0		0.1		0.0	
白色トレイ						0.0		0.1	
色付トレイ									
持ち帰り弁当の容器					0.2	0.3		0.2	
食料品の容器・袋			0.9	1.4	1.6	0.7	0.9	3.3	
日用品の容器・袋			0.1	0.5	0.2	0.8	0.1	0.9	
レジ袋(中身なし)				0.2	0.0			0.5	
レジ袋(中身あり)			0.3	0.4	0.3	0.5	0.6	1.8	
その他プラスチック容器			0.1		0.0	0.0	0.0	0.1	
その他プラスチック包装			0.4	0.1	0.3	0.3	0.4	0.1	
容器包装以外			使い捨て用品 その他プラスチック用品	0.0 0.0	0.3	0.0	0.3	0.1	0.6
金属類		容器包装	アルミ缶						0.1
	スチール缶 その他金属容器								
	容器包装以外		0.2	0.1		0.2	0.0		
びん類		リターナブルびん							
		無色雑びん							
		茶色雑びん							
		その他色雑びん							
		飲料用以外のびん							
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋							
		市販の袋(透明、半透明)	0.3	0.8	0.4	0.6	0.6	0.7	
		レジ袋	0.1	0.0	0.3	0.3	0.0	0.4	
		その他						0.0	
	その他		ゴム・皮革類		1.1	1.5	1.1	1.5	1.0
			ガラス・陶磁器くず						
			土砂・残土・灰						
			ペット砂(樹脂製)						
			ペット砂(紙製)						
			蛍光管 電池 体温計・温度計 危険物 医療廃棄物 製品廃棄物 その他			0.0			
0.2 0.5			1.8	8.9	0.9	6.5			
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		



容積比

(単位:%)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)	
大分類	中分類	細分類	容積比	容積比	容積比	容積比	容積比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	0.3	0.5	0.2	0.7	2.3	1.5	
		調理くず、残飯	33.2	14.5	24.6	16.4	25.5	8.7	
	草木類	剪定枝	25.0	23.8	10.1	5.6	0.1	4.3	
		使い捨て用品	0.0		0.1	0.1	0.1	0.0	
		その他	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	
紙類	容器包装	ダンボール	0.3	0.4		4.0	0.0	2.3	
		紙パック	1.0	4.1	6.3	2.0	6.7	7.0	
		食料品容器	1.2	4.5	4.5	1.0	4.5	3.1	
		日用品容器	1.2	2.7	1.8	0.2	2.2	0.8	
		その他容器包装	1.7	4.3	0.9	10.9		0.4	
		容器包装(汚れのひどいもの)	0.8	3.2	0.4	0.1	1.1	2.3	
		新聞紙	0.0	1.6					
		チラシ		2.3	0.0	5.0	4.5	0.6	
	容器包装以外	雑誌	0.6	0.7	0.1			0.8	
		書籍							
		OA用紙	0.0	1.6	0.0	8.0	0.1	3.9	
		OA用紙(シュレッダー後)		0.5		14.4			
		雑紙	0.2	3.2	0.1	4.0	0.6	0.4	
		使い捨て用品(ティッシュ等)	3.1	5.4	8.0	3.0	7.8	5.4	
		汚れた新聞、チラシ	8.8	5.8	4.5	0.1	2.2	0.8	
		その他紙類	3.1	3.2	8.1	10.9	7.8	15.5	
		紙おむつ等	紙おむつ	2.3	1.8	7.6		18.8	0.8
			生理用品		0.7	0.1		0.1	0.6
		繊維類	衣類等	0.8	0.5	2.0	0.2	2.5	1.1
その他繊維類	3.7					0.1	1.4		
プラスチック類	容器包装	ペットボトル			1.3			1.0	
		その他のボトル						0.4	
		チューブ類		0.0		0.0		0.0	
		白色トレイ				0.0		0.8	
		色付トレイ							
		持ち帰り弁当の容器			0.1	1.0		1.6	
		食料品の容器・袋	5.4	4.6	6.3	3.2	2.2	15.5	
		日用品の容器・袋	0.4	2.3	0.4	0.2	0.2	2.3	
		レジ袋(中身なし)		0.9	0.0			1.6	
		レジ袋(中身あり)	2.1	1.8	1.6	1.0	3.0	5.8	
		その他プラスチック容器	0.2		0.1	0.0	0.1	0.0	
		その他プラスチック包装	2.3	0.2	2.7	1.0	2.2	0.4	
		容器包装以外	使い捨て用品			0.0	0.0	0.0	0.0
			その他プラスチック用品	0.0	0.3	0.1	0.5	0.1	1.2
	金属類	容器包装	アルミ缶						0.3
容器包装以外		スチール缶							
		その他金属容器	0.2	0.0			0.1	0.0	
びん類		リターナブルびん							
		無色雑びん							
		茶色雑びん							
		その他色雑びん							
		飲料用以外のびん							
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋							
		市販の袋(透明、半透明)	1.0	2.3	1.8	1.2	2.8	2.3	
		レジ袋	0.2	0.0	1.8	0.7	0.0	1.6	
	その他	その他						0.1	
		ゴム・皮革類		0.5	1.6	0.5	1.5	0.2	
		ガラス・陶磁器くず							
		土砂・残土・灰							
		ペット砂(樹脂製)							
		ペット砂(紙製)							
		蛍光管		0.0					
電池									
体温計・温度計									
危険物									
医療廃棄物	0.0				0.1	0.1			
製品廃棄物									
その他	0.7	1.4	2.7	4.0	0.6	3.1			
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

イ 伊勢市

重量比

(単位: %)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)	
大分類	中分類	細分類	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	0.8	1.5	4.8	6.5	0.3	4.0	24.6	
		調理くず、残飯	46.8	52.3	37.5	44.9	29.7	47.5	4.0	
	草木類	剪定枝	1.2	2.5	18.1	0.9		0.3	0.0	
		使い捨て用品	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	
		その他	0.3		0.8	0.1	0.3	0.1	0.0	
紙類	容器包装	ダンボール	0.1	0.2	0.5	0.5	0.9	2.0	2.6	
		紙パック	0.7	0.2	1.0	0.8	0.8	0.9	0.7	
		食料品容器	3.5	1.9	1.5	1.5	1.7	2.4	2.1	
		日用品容器	1.7	1.9	1.1	0.8	1.1	2.4	2.0	
		その他容器包装	0.5	0.3	0.5	0.4	0.8	0.7	0.5	
		容器包装(汚れのひどいもの)	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	
		容器包装以外	新聞紙	1.9	1.1	0.4		0.2	0.4	2.6
			チラシ	5.9	2.7	0.5	0.4	3.2	3.2	7.4
	雑誌		4.0	2.4	2.3	0.4	1.4	2.2	7.0	
	書籍			4.1						
	OA用紙		0.3	0.5	0.1		8.6	0.4	0.8	
	OA用紙(シュレッダー後)						33.6			
	雑紙		0.6	1.2	0.2	0.1	0.9	1.1	3.4	
	汚れた新聞、チラシ		1.9	2.0	1.0	4.1	1.0	1.7	3.9	
	使い捨て用品(ティッシュ等)		5.8	3.3	2.9	1.8	2.8	4.8	3.5	
	その他紙類		1.9	1.9	0.6	0.5	1.3	1.9	1.1	
	紙おむつ等	紙おむつ	4.2	7.9	7.9	11.5		8.3	7.0	
		生理用品	0.3	0.1	0.5	0.1	0.2	0.5	0.2	
	繊維類	衣類等			0.9		0.2	3.9	4.1	
		その他繊維類	2.5	2.9	5.0	3.4	4.4	1.0	0.1	
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	0.4	
		その他のボトル	0.7	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	
		チューブ類		0.1	0.1	0.4		0.2	0.3	
		白色トレイ	0.2		0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	
		色付トレイ	0.1	0.0	0.0		0.1	0.1	0.1	
		持ち帰り弁当の容器		0.1	0.5	0.1	0.2	0.0	0.3	
		食料品の容器、袋	2.9	1.2	1.6	1.9	1.6	2.0	3.5	
		日用品の容器、袋	0.5	0.2	0.2	0.0	0.1	0.5	0.8	
		レジ袋(中身なし)	0.4	0.1		0.5	0.1			
		レジ袋(中身あり)	2.9	0.7	1.5	0.4	0.8	1.4	1.8	
		その他プラスチック容器	0.0	0.1	0.1	1.1	0.1	0.1	7.5	
		その他プラスチック包装	0.6	2.0	0.5	10.3	0.3	0.9	0.7	
		容器包装以外	使い捨て用品			0.0				0.1
			その他プラスチック用品	0.7	1.2	3.9	2.0	0.6	1.6	2.2
	金属類	容器包装	アルミ缶						0.1	
			スチール缶	0.1				0.5		
容器包装以外		その他金属容器	0.2					0.1		
		0.2	0.2	0.1	0.1		0.0			
びん類		リターナブルびん								
		無色雑びん								
		茶色雑びん	0.9				0.2			
		その他色雑びん								
		飲料用以外のびん								
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋		0.8	1.2	1.4	0.8	0.7	1.0	
		市販の袋(透明、半透明)	1.0						0.0	
		レジ袋	0.0							
			その他							
	その他	ゴム・皮革類		0.5	1.3	1.7		0.2	0.9	
		ガラス・陶磁器くず								
		土砂・残土・灰	2.0					0.5		
		ペット砂(樹脂製)								
		ペット砂(紙製)								
		蛍光管			0.0					
電池										
体温計・温度計										
危険物										
医療廃棄物			0.1	0.0	0.0		0.3			
製品廃棄物										
その他	1.1	1.4	0.4	0.9	0.7	1.0	0.8			
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

容積比

(単位: %)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)	
大分類	中分類	細分類	容積比							
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	0.3	0.2	2.2	2.0	0.1	3.3	13.3	
		調理くず・残飯	10.6	18.0	12.4	12.8	10.5	15.3	0.5	
	草木類	剪定枝	2.4	4.3	16.3	1.0		0.7	0.0	
		使い捨て用品 その他	0.3 0.3	0.0 0.0	0.0 0.8	0.2 0.0	0.1 0.1	0.2 0.0	0.2 0.0	
紙類	容器包装	ダンボール	0.0	0.3	0.6	0.3	0.1	7.2	3.9	
		紙パック	2.2	0.7	1.8	0.5	1.0	2.7	1.9	
		食料品容器	7.4	5.1	3.9	4.9	6.5	4.8	3.8	
		日用品容器	3.8	5.8	3.1	3.3	1.6	3.8	4.2	
		その他容器包装	3.2	1.0	2.1	0.3	9.8	1.5	2.3	
		容器包装(汚れのひどいもの)	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.7	0.8	
		容器包装以外	新聞紙	0.7	0.7	0.3		0.0	0.3	1.0
			チラシ	3.1	2.0	0.3	0.7	1.6	2.3	1.7
	雑誌		1.9	1.2	0.5	0.2	0.0	0.6	1.9	
	書籍			1.4						
	OA用紙		0.0	0.4	0.0		3.3	0.5	0.8	
	OA用紙(シュレッダー後)						28.1			
	雑紙		0.3	2.0	0.3	0.2	1.3	1.7	4.3	
	使い捨て用品(ティッシュ等)		6.5	6.1	3.4	3.3	6.5	4.8	4.8	
	汚れた新聞、チラシ		2.2	4.4	2.3	11.4	3.3	3.0	4.8	
	その他紙類		2.9	6.9	2.3	1.6	4.9	4.1	3.0	
	紙おむつ等	紙おむつ	2.4	4.6	4.7	6.8		5.1	4.7	
		生理用品	1.0	0.0	1.4	0.0	0.3	0.7	0.2	
	繊維類	衣類等			0.4		0.1	3.4	2.9	
その他繊維類		2.2	3.1	5.3	1.3	4.9	1.5	0.0		
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.2		0.0	0.2	0.0	0.7	0.6	
		その他のボトル	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	6.8	
		チューブ類		0.0	0.3	0.0		0.2	0.0	
		白色トレイ	0.5		0.0	0.5	0.2	0.3	0.8	
		色付トレイ	0.0	0.0	0.0		0.5	0.7	0.2	
		持ち帰り弁当の容器		0.7	3.1	0.7	0.7	0.3	0.8	
		食料品の容器・袋	12.8	7.2	6.7	8.2	6.6	9.8	12.4	
		日用品の容器・袋	3.2	3.1	0.5	0.0	0.0	2.4	3.0	
		レジ袋(中身なし)	3.2	0.3		2.6	1.0			
		レジ袋(中身あり)	16.0	2.5	5.2	1.6	2.0	8.6	5.9	
		その他プラ容器	0.2	0.0	0.0	13.1	0.0	0.0	0.2	
		その他プラ包装	3.5	6.3	3.1	12.4	1.3	2.2	2.3	
		容器包装以外	使い捨て用品			0.0				0.0
		その他プラスチック用品	0.8	2.4	10.9	3.6	0.3	2.3	2.3	
金属類	容器包装	アルミ缶							0.0	
		スチール缶	0.0				0.5			
	容器包装以外	その他金属容器	0.4					0.4	0.1	
びん類		リターナブルびん		0.3	0.3	0.0		0.0	0.0	
		無色雑びん								
		茶色雑びん	0.0				0.0			
		その他色雑びん 飲料用以外のびん								
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋		5.1	3.8	4.9	2.5	3.0	3.0	
		市販の袋(透明・半透明)	3.2						0.0	
		レジ袋 その他	0.0							
	その他	ゴム・皮革類		0.2	0.9	0.7		0.2	0.4	
		ガラス・陶磁器くず								
		土砂・残土・灰	0.4					0.4		
		ペット砂(樹脂製)								
		ペット砂(紙製)								
		蛍光灯 電池			0.0					
		体温計・温度計 危険物 医療廃棄物 製品廃棄物 その他	1.0	3.7	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

ウ 名張市

重量比

(単位: %)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(単身)	
大分類	中分類	細分類	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	0.4	15.4	0.8	2.1	3.9	0.1	0.0	
		調理くず、残飯	48.6	40.0	24.4	61.8	51.1	40.6	16.6	
	草木類	剪定枝	17.2	3.2	33.4		12.7	1.6	44.0	
		使い捨て用品 その他	0.0 0.2	0.1 0.2	0.0	1.0 0.3	0.6 0.1		0.3 0.3	
紙類	容器包装	ダンボール		3.6	1.9	0.1	0.2	1.3	3.5	
		紙パック	0.3		0.1	1.2	0.5	0.9		
		食料品容器	2.5	3.4	0.9	3.4	1.8	1.9	0.9	
		日用品容器	0.6	2.4	2.0	1.7	0.5	3.2	2.6	
		その他容器包装	0.5	2.4	0.3	0.8	1.5	0.5	1.8	
		容器包装(汚れのひどいもの)	1.8	0.7	0.6	0.4	0.0	0.7	2.2	
		容器包装以外	新聞紙	0.8	0.5	0.5	0.6	1.3	4.9	
	チラシ	0.7	0.8		0.2	2.1	2.5			
	雑誌	0.5	1.1	0.2	1.3	0.2	0.0	3.2		
	書籍					6.0				
	OA用紙	0.4		0.5	0.2		0.8	0.2		
	OA用紙(シュレッダー後)			0.1			0.4			
	雑紙	1.6	2.9	0.3	1.0	0.1	0.8	1.8		
	汚れた新聞、チラシ	1.2	2.5	0.9	2.4	3.6	4.4	2.8		
	使い捨て用品(ティッシュ等)	5.7	3.8	5.7	4.9	3.4	2.9	3.7		
	その他紙類	2.5	2.3	2.9	1.4	1.3	1.9	2.0		
	紙おむつ等	紙おむつ	紙おむつ	0.4	3.4	8.3	6.1		14.5	
生理用品			0.8		0.1	0.4	0.4	0.2	1.5	
繊維類	衣類等 その他繊維類		0.1	3.6	7.6	1.8	2.6	1.1	1.1	
			0.0	0.2		0.3		0.3		
プラスチック類	容器包装	ペットボトル				0.2			0.7	
		その他のボトル							0.2	
		チューブ類			0.0		0.0			
		白色トレイ	0.1		0.0	0.0		0.0	0.2	
		色付トレイ				0.0	0.0			
		持ち帰り弁当の容器	0.1	0.1	0.0	0.1	0.7		1.7	
		食料品の容器、袋	3.3	1.8	1.6	2.3	1.3	2.7	2.7	
		日用品の容器、袋	0.2	0.1	0.3	0.0	0.6	0.4	0.7	
		レジ袋(中身なし)	0.1		0.2	0.0	0.3	0.0	0.4	
		レジ袋(中身あり)	1.3	1.1	0.5	0.4	0.4	1.6	1.4	
		その他プラスチック容器	0.2		0.1	0.1		0.0	0.2	
		その他プラスチック包装	0.6	0.9	0.4	0.6	0.3	0.5	0.7	
		容器包装以外	使い捨て用品	0.0						0.2
	その他プラスチック用品	0.2	0.8	4.2	0.3		0.2			
金属類	容器包装	アルミ缶							0.1	
		スチール缶								
	容器包装以外	その他金属容器	0.2	0.2		0.1				
びん類		リターナブルびん								
		無色雑びん								
		茶色雑びん								
		その他色雑びん								
		飲料用以外のびん	0.7							
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋								
		市販の袋(透明、半透明)	0.8	0.6	0.5	0.7	0.3	0.7	1.1	
		レジ袋	0.3	0.2	0.0	0.4	0.0	0.1	0.3	
		その他								
	その他		ゴム・皮革類						0.2	
			ガラス・陶磁器くず							
			土砂・残土・灰							
			ペット砂(樹脂製)							
			ペット砂(紙製)							
			蛍光管		0.1					
その他		電池						0.1		
		体温計・温度計								
		危険物								
		医療廃棄物	0.2	0.1	0.3	0.0	0.0			
		製品廃棄物								
		その他	4.8	1.0	0.3	1.2	2.2	7.6	0.9	
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

容積比

(単位: %)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)A	住宅(郊外)B	農村	住商混在	集合(家族)	集合(单身)	
大分類	中分類	細分類	容積比							
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	0.1	8.9	0.2	1.0	1.6	0.0	0.0	
		調理くず・残飯	19.8	16.2	10.2	35.0	19.0	16.4	5.4	
	草木類	剪定枝	15.8	2.5	33.0		15.1	1.8	20.6	
		使い捨て用品 その他	0.1 0.1	0.0 0.0	0.0	1.0 0.1	1.6 0.1	0.4	0.1	
紙類	容器包装	ダンボール		4.1	2.6	0.1	0.1	2.3	3.6	
		紙パック	0.5		0.0	3.8	1.9	1.8		
		食料品容器	7.3	4.8	0.9	8.5	4.9	2.9	1.4	
		日用品容器	1.0	3.8	3.9	2.8	1.6	2.6	2.8	
		その他容器包装	1.5	7.4	1.1	2.1	3.7	1.2	4.1	
		容器包装(汚れのひどいもの)	6.1	3.4	1.3	1.4	0.1	2.3	5.5	
		容器包装以外	新聞紙	0.7	0.0	0.5	0.5	1.0	4.6	
			チラシ	0.7	0.0		0.1	1.6	1.6	
	雑誌		0.5	0.0	0.4	0.7	0.1	0.0	0.3	
	書籍						3.3			
	OA用紙		0.5		0.5	0.1		0.4	0.1	
	OA用紙(シュレッダー後)				0.5			0.3		
	雑紙		1.0	4.8	1.3	1.4	0.1	1.2	0.1	
	使い捨て用品(ティッシュ等) 汚れた新聞、チラシ その他紙類		6.1 1.0 4.6	4.9 4.8 4.3	5.1 1.8 4.4	7.6 3.8 2.8	4.1 5.0 2.4	5.3 4.7 4.7	5.6 0.7 4.1	
	紙おむつ等	紙おむつ	0.5	3.4	4.1	2.8		11.9		
		生理用品	1.9		0.3	1.2	0.1	0.4	0.3	
	繊維類	衣類等	0.0	1.5	5.5	0.5	2.4	1.2	0.3	
その他繊維類		0.1	0.2		0.1		1.2			
プラスチック類	容器包装	ペットボトル				0.5			1.7	
		その他のボトル							0.1	
		チューブ類			0.0		0.1			
		白色トレイ	1.0		0.0	0.1		0.3	1.4	
		色付トレイ				0.1				
		持ち帰り弁当の容器	1.0	0.0	0.4	0.5	9.0		6.9	
		食料品の容器・袋	11.3	5.3	5.7	8.9	5.7	11.0	13.8	
		日用品の容器・袋	0.5	0.0	0.9	0.1	3.3	1.6	5.5	
		レジ袋(中身なし)	0.5		1.3	0.1	1.4	0.1	2.6	
		レジ袋(中身あり)	4.8	7.5	2.2	3.5	1.8	8.2	4.1	
		その他プラ容器	0.1		0.0	0.1		0.1	0.1	
		その他プラ包装	2.5	2.9	1.3	2.4	2.4	1.2	4.1	
	容器包装以外	使い捨て用品 その他プラスチック用品	0.1 0.1		1.4 7.6	0.6		0.1	0.1	
金属類	容器包装	アルミ缶							0.3	
		スチール缶								
	容器包装以外	その他金属容器	0.1	0.0		0.1				
びん類	容器包装以外	リターナブルびん							0.1	
		無色雑びん								
		茶色雑びん								
		その他色雑びん								
		飲料用以外のびん	0.1							
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋								
		市販の袋(透明・半透明)	2.0	6.2	2.9	2.8	2.0	3.6	2.4	
		レジ袋 その他	1.3	0.2	0.1	1.7	0.1	0.7	1.7	
	その他	ゴム・皮革類							0.2	
		ガラス・陶磁器くず								
		土砂・残土・灰								
		ペット砂(樹脂製)								
		ペット砂(紙製)								
		蛍光灯 電池		0.0					0.1	
		体温計・温度計 危険物 医療廃棄物 製品廃棄物 その他	0.1 4.5	0.0 1.0	0.0 0.0	0.1 0.9	0.1 4.1	0.1 3.5	0.1 0.1	
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

工 尾鷲市

重量比

(単位: %)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在	
大分類	中分類	細分類	重量比	重量比	重量比	重量比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	14.3	2.9	3.8	18.6	
		調理くず、残飯	30.1	35.6	58.3	21.4	
	草木類	剪定枝	1.0	3.8	3.0	2.4	
		使い捨て用品	0.3	0.1	0.4	0.1	
		その他	0.3	2.5	1.7	6.0	
紙類	容器包装	ダンボール	1.0	4.0	1.2	0.2	
		紙パック	0.3	0.4	0.5	0.8	
		食料品容器	2.3	1.6	2.3	0.8	
		日用品容器	1.3	1.6	1.4	1.1	
		その他容器包装	1.4	0.5	0.4	0.7	
		容器包装(汚れのひどいもの)	1.0	0.2	0.5	0.4	
		容器包装以外	新聞紙	0.5	3.1	1.6	0.4
	チラシ	3.0	0.9	0.7	3.3		
	雑誌	7.3	1.1		4.4		
	書籍						
	OA用紙		0.3	1.2	0.4		
	OA用紙(シュレッダー後)						
	雑紙	0.7	1.0	0.2	1.3		
	汚れた新聞、チラシ						
	使い捨て用品(ティッシュ等)	4.0	5.3	1.9	2.9		
	その他紙類	3.5	6.0	6.0	5.0		
	紙おむつ等	紙おむつ	5.3	5.2	1.5	14.0	
生理用品							
繊維類	衣類等	4.2	5.7	2.0	0.4		
	その他繊維類	0.6			0.7		
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.7	0.1	1.7	0.5	
		その他のボトル		0.4	0.3	0.6	
		チューブ類		0.3	0.1	0.1	
		白色トレイ	0.2	1.3	0.6	0.2	
		色付トレイ	0.0	0.1	0.1		
		持ち帰り弁当の容器	0.3	0.8	0.4	0.2	
		食料品の容器・袋	2.4	5.3	4.0	2.7	
		日用品の容器・袋	1.0	0.3	0.0	0.3	
		レジ袋(中身なし)	0.2	0.0	0.0	0.3	
		レジ袋(中身あり)	0.5	1.3	0.6	0.6	
		その他プラ容器	0.1	0.2	0.1	0.5	
		その他プラ包装	0.5	0.6	0.1	0.6	
		容器包装以外	使い捨て用品	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他プラスチック用品	1.8	5.6	0.2	0.8	
		金属類	容器包装	アルミ缶			
	スチール缶					0.6	0.1
容器包装以外	その他金属容器				0.1	0.0	
びん類		リターナブルびん					
		無色雑びん					
		茶色雑びん					
		その他色雑びん					
		飲料用以外のびん					
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋					
		市販の袋(透明、半透明)	0.4	0.9	0.7	1.9	
		レジ袋	0.0	0.1	0.2	0.1	
	その他						
	その他		ゴム・皮革類	2.1	0.9	1.6	1.8
			ガラス・陶磁器くず				
			土砂・残土・灰	0.3			
			ペット砂(樹脂製)	3.8			
			ペット砂(紙製)				
			蛍光管				
電池						0.2	
体温計・温度計							
その他		危険物					
		医療廃棄物			0.0	0.1	
		製品廃棄物	0.0				
		その他	3.3			3.0	
		合計		100.0	100.0	100.0	100.0

容積比

(単位:%)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)	漁村	住商混在	
大分類	中分類	細分類	容積比	容積比	容積比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	7.1	0.6	0.6	3.3	
		調理くず、残飯	7.5	9.9	22.7	4.9	
	草木類	剪定枝	3.9	4.2	3.3	5.5	
		使い捨て用品	0.5	0.1	0.1	0.2	
		その他	0.3	0.5	0.3	4.2	
紙類	容器包装	ダンボール	0.7	1.5	1.5	0.1	
		紙パック	0.3	0.9	0.6	1.1	
		食料品容器	5.7	2.3	3.1	1.6	
		日用品容器	2.1	2.3	2.7	1.4	
		その他容器包装	3.4	3.0	1.7	0.7	
		容器包装(汚れのひどいもの)	1.3	0.5	1.1	0.8	
		容器包装以外	新聞紙	0.1	0.2	0.6	0.1
			チラシ	2.7	0.1	0.4	5.5
	雑誌		0.9	0.1		0.4	
	書籍						
	OA用紙			0.2	3.4	0.8	
	OA用紙(シュレッダー後)						
	雑紙		0.7	1.2	0.2	1.6	
	使い捨て用品(ティッシュ等)		5.4	6.0	3.7	2.2	
	汚れた新聞、チラシ						
	その他紙類		6.9	11.7	8.9	9.8	
	紙おむつ等		紙おむつ	6.7	1.9	0.7	5.5
			生理用品				
	繊維類	衣類等		1.9	3.0	2.5	0.3
		その他繊維類		0.7			1.1
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	2.0	0.2	4.5	0.8	
		その他のボトル		0.5	0.3	1.1	
		チューブ類		0.2	0.1	0.0	
		白色トレイ	1.6	3.0	6.0	0.5	
		色付トレイ	0.3	0.6	0.6		
		持ち帰り弁当の容器	1.1	2.3	3.0	1.1	
		食料品の容器・袋	14.2	14.8	16.5	10.9	
		日用品の容器・袋	2.0	1.5	0.0	0.5	
		レジ袋(中身なし)	2.0	0.0	0.0	3.2	
		レジ袋(中身あり)	5.5	10.9	4.0	7.3	
		その他プラ容器	0.1	0.2	0.1	0.3	
		その他プラ包装	1.1	8.1	0.4	7.7	
		容器包装以外	使い捨て用品	0.0	0.2	0.1	0.1
			その他プラスチック用品	5.7	2.6	0.2	1.3
		金属類	容器包装	アルミ缶			
	スチール缶					0.3	0.1
		容器包装以外			0.1	0.1	
びん類		リターナブルびん					
		無色雑びん					
		茶色雑びん					
		その他色雑びん					
		飲料用以外のびん					
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋					
		市販の袋(透明、半透明)	2.3	4.1	3.4	11.1	
		レジ袋	0.1	0.4	1.3	0.0	
		その他					
	その他		ゴム・皮革類	0.6	0.2	0.9	1.1
			ガラス・陶磁器くず				
			土砂・残土・灰	0.0			
			ペット砂(樹脂製)	1.3			
			ペット砂(紙製)				
			蛍光管				
			電池				0.0
			体温計・温度計				
			危険物				
医療廃棄物			0.1	0.0			
製品廃棄物	0.0						
その他	1.3			1.6			
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	

才 菰野町

重量比

(単位: %)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	
大分類	中分類	細分類	重量比	重量比	重量比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1.2		3.2	
		調理くず、残飯	29.8	51.0	52.8	
	草木類	剪定枝	20.3	17.2	14.8	
		使い捨て用品 その他	0.1 1.9	0.2	0.3 0.1	
紙類	容器包装	ダンボール	0.4	0.1	0.2	
		紙パック	0.7	0.6	0.8	
		食料品容器	0.7	0.5	0.4	
		日用品容器	1.0	0.8	1.2	
		その他容器包装	1.0	0.2	0.8	
		容器包装(汚れのひどいもの)	0.7	0.1	0.7	
		容器包装以外	新聞紙	0.1		0.6
	チラシ	1.3		0.5		
	雑誌	0.1				
	書籍					
	OA用紙	0.2				
	OA用紙(シュレッダー後)					
	雑紙	1.8	1.5	0.1		
	汚れた新聞、チラシ	1.6	3.2	1.9		
	使い捨て用品(ティッシュ等)	7.9	3.3	2.8		
	その他紙類	3.2	3.7	2.4		
	紙おむつ等	紙おむつ	19.1	7.9	11.1	
生理用品		0.4	0.7	0.0		
繊維類	衣類等	2.6		1.0		
	その他繊維類			1.1		
プラスチック類	容器包装	ペットボトル		0.1		
		その他のボトル			0.3	
		チューブ類		0.1		
		白色トレイ			0.0	
		色付トレイ				
		持ち帰り弁当の容器		0.6	0.2	
		食料品の容器、袋	0.6	1.7	0.8	
		日用品の容器、袋	0.1	0.1	0.0	
		レジ袋(中身なし)				
		レジ袋(中身あり)	0.6	1.2	0.7	
		その他プラ容器	0.1		0.0	
		その他プラ包装	0.4	0.1	0.3	
		容器包装以外	使い捨て用品	0.1		0.0
	その他プラスチック用品	0.2	0.1			
	金属類	容器包装	アルミ缶			
スチール缶						
その他金属容器				0.0		
容器包装以外		0.1	0.0			
びん類		リターナブルびん				
		無色雑びん				
		茶色雑びん				
		その他色雑びん				
		飲料用以外のびん				
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋	0.8	0.5	0.2	
		市販の袋(透明、半透明)			0.3	
		レジ袋	0.3	0.1	0.0	
		その他	0.2	0.2		
	その他		ゴム・皮革類	0.1	0.1	
			ガラス・陶磁器くず			
			土砂・残土・灰			
			ペット砂(樹脂製)			
			ペット砂(紙製)			
			蛍光管			0.6
電池						
体温計・温度計						
危険物						
医療廃棄物	0.1					
製品廃棄物						
その他	0.2	0.1	0.9			
合計		100.0	100.0	100.0		

容積比

(単位:%)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	
大分類	中分類	細分類	容積比	容積比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1.1		2.0	
		調理くず、残飯	18.6	28.0	27.1	
	草木類	剪定枝	21.5	22.1	17.5	
		使い捨て用品 その他	0.2 1.1	0.3 0.7	0.7 0.7	
紙類	容器包装	ダンボール	0.5	0.1	0.2	
		紙パック	2.8	2.3	4.9	
		食料品容器	1.7	1.5	2.0	
		日用品容器	1.7	1.0	3.9	
		その他容器包装	2.8	0.5	3.6	
		容器包装(汚れのひどいもの)	2.8	0.5	3.3	
		新聞紙	0.3		0.5	
	容器包装以外	チラシ	1.7		0.3	
		雑誌	0.3			
		書籍				
		OA用紙	0.6			
		OA用紙(シュレッダー後)				
		雑紙	1.7	2.8	0.1	
		使い捨て用品(ティッシュ等)	6.8	4.9	5.2	
		汚れた新聞、チラシ その他紙類	2.3 5.1	5.8 5.1	3.3 4.6	
	紙おむつ等	紙おむつ	14.3	7.7	7.8	
		生理用品	0.5	1.0	0.3	
繊維類	衣類等	2.5	4.9	1.5		
	その他繊維類		0.8			
プラスチック類	容器包装	ペットボトル		0.3		
		その他のボトル			0.7	
		チューブ類		0.3		
		白色トレイ			0.7	
		色付トレイ				
		持ち帰り弁当の容器		1.4	1.3	
		食料品の容器、袋	1.4	2.6	2.4	
		日用品の容器、袋	0.2	0.3	0.1	
		レジ袋(中身なし)				
		レジ袋(中身あり)	1.4	3.0	1.5	
		その他プラスチック容器	0.1		0.1	
		その他プラスチック包装	0.6	0.3	0.7	
		容器包装以外	使い捨て用品	0.1		0.1
	その他プラスチック用品		0.2	0.1		
	金属類	容器包装	アルミ缶			
スチール缶 その他金属容器					0.1	
容器包装以外			0.1	0.1		
びん類		リターナブルびん				
		無色雑びん				
		茶色雑びん				
		その他色雑びん				
		飲料用以外のびん				
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋	2.7	1.1	0.7	
		市販の袋(透明、半透明)			0.8	
		レジ袋	1.0	0.4	0.1	
		その他	1.0	0.6		
	その他		ゴム・皮革類	0.1	0.0	
			ガラス・陶磁器くず			
			土砂・残土・灰			
			ペット砂(樹脂製)			
			ペット砂(紙製)			
			蛍光管			0.5
電池						
体温計・温度計						
危険物						
医療廃棄物	0.1					
製品廃棄物						
その他	0.1	0.2	0.7			
合計			100.0	100.0	100.0	

カ 阿児町

重量比

(単位: %)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村		
大分類	中分類	細分類	重量比	重量比	重量比		
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	4.5	2.9	2.9		
		調理くず、残飯	49.8	41.5	58.2		
	草木類	剪定枝	0.8	3.9	0.1		
		使い捨て用品	0.6	0.4	0.1		
		その他	0.5	0.2	0.0		
紙類	容器包装	ダンボール	0.3	0.1	0.1		
		紙パック	1.0	0.7	0.1		
		食料品容器	0.8	1.3	1.5		
		日用品容器	0.5	2.7	0.5		
		その他容器包装	0.8	0.2	0.4		
		容器包装(汚れのひどいもの)	0.1	0.2	3.3		
		容器包装以外	新聞紙	2.9	0.6	0.5	
		チラシ	3.7				
		雑誌	1.9	10.2	2.2		
		書籍		1.2			
		OA用紙	0.0	0.2	0.1		
		OA用紙(シュレッダー後)					
		雑紙	1.6	1.0	0.6		
		汚れた新聞、チラシ	1.3	1.5	0.4		
		使い捨て用品(ティッシュ等)	4.1	4.1	5.5		
		その他紙類	1.4	1.0	1.0		
		紙おむつ等	紙おむつ	4.3	8.0	0.8	
			生理用品	0.2	0.2	0.1	
	繊維類	衣類等		1.4	0.2	5.3	
		その他繊維類		0.1	1.2	5.1	
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.5	0.2	0.3		
		その他のボトル	1.9	1.9	0.3		
		チューブ類	0.3		0.6		
		白色トレイ	0.1	0.1	0.2		
		色付トレイ	0.0	0.3	0.1		
			持ち帰り弁当の容器	0.5	0.2	0.3	
			食料品の容器、袋	4.2	3.8	3.6	
			日用品の容器、袋	0.2	0.8	0.3	
			レジ袋(中身なし)	0.2	0.2	0.3	
			レジ袋(中身あり)	1.7	5.3	1.1	
			その他プラスチック	0.5	0.2	0.2	
			その他プラスチック	0.9	1.1	1.5	
			容器包装以外	使い捨て用品			0.0
				その他プラスチック用品	0.4	0.5	0.1
		金属類	容器包装	アルミ缶			
	スチール缶				0.1		
	容器包装以外		その他金属容器			0.1	
びん類		リターナブルびん					
		無色雑びん					
		茶色雑びん					
		その他色雑びん					
		飲料用以外のびん					
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋	0.6	0.6	0.8		
		市販の袋(透明、半透明)					
		レジ袋					
		その他					
	その他		ゴム・皮革類		0.1	1.5	
			ガラス・陶磁器くず				
			土砂・残土・灰				
			ペット砂(樹脂製)				
			ペット砂(紙製)				
			蛍光管				
			電池				
			体温計・温度計				
			危険物				
医療廃棄物		0.1					
製品廃棄物							
その他		5.4	0.9				
合計		100.0	100.0	100.0			

容積比

(単位:%)

分類項目			住宅(旧来)	住宅(郊外)	農村	
大分類	中分類	細分類	容積比	容積比	容積比	
厨芥類等	厨芥類	未利用食品	1.1	1.3	1.0	
		調理くず、残飯	19.3	12.0	19.6	
	草木類	剪定枝	1.6	5.0	0.3	
		使い捨て用品	0.5	0.3	0.0	
		その他	0.5	0.4	0.1	
紙類	容器包装	ダンボール	5.6	0.4	0.1	
		紙パック	3.4	1.5	0.1	
		食料品容器	1.4	2.2	3.4	
		日用品容器	1.8	3.6	1.4	
		その他容器包装	3.4	1.5	2.8	
		容器包装(汚れのひどいもの)	0.0	0.4	0.8	
		容器包装以外	新聞紙	0.8	0.2	0.6
	チラシ	1.4				
	雑誌	0.5	2.9	0.2		
	書籍		0.4			
	OA用紙	0.0	0.1	0.3		
	OA用紙(シュレッダー後)					
	雑紙	2.7	1.5	1.1		
	使い捨て用品(ティッシュ等)	5.7	9.0	11.2		
	汚れた新聞、チラシ	5.7	3.6	0.6		
	その他紙類	1.8	1.8	1.1		
	紙おむつ等	紙おむつ	2.3	5.5	0.6	
		生理用品	0.5	0.5	0.1	
	繊維類	衣類等	1.4	0.4	4.2	
		その他繊維類	0.0	0.7	9.8	
プラスチック類	容器包装	ペットボトル	1.4	0.3	0.6	
		その他のボトル	2.7	1.5	0.1	
		チューブ類	0.0		0.1	
		白色トレイ	0.5	0.4	1.1	
		色付トレイ	0.0	2.2	0.1	
		持ち帰り弁当の容器	2.3	0.4	1.1	
		食料品の容器、袋	18.0	14.5	19.5	
		日用品の容器、袋	0.8	3.6	0.6	
		レジ袋(中身なし)	0.7	0.4	1.4	
		レジ袋(中身あり)	5.1	15.7	4.9	
		その他プラスチック容器	0.4	0.1	0.1	
		その他プラスチック包装	1.6	1.5	5.8	
		容器包装以外	使い捨て用品			0.0
		その他プラスチック用品	0.6	0.4	0.1	
		金属類	容器包装	アルミ缶		
	スチール缶			0.1		
	容器包装以外	その他金属容器		0.0		
びん類		リターナブルびん				
		無色雑びん				
		茶色雑びん				
		その他色雑びん				
		飲料用以外のびん				
その他	ごみ袋(外袋)	指定袋	3.4	2.8	4.3	
		市販の袋(透明、半透明)				
		レジ袋				
		その他				
	その他		ゴム・皮革類		0.0	0.8
			ガラス、陶磁器くず			
			土砂・残土・灰			
			ペット砂(樹脂製)			
			ペット砂(紙製)			
			蛍光管			
			電池			
			体温計・温度計			
			危険物			
			医療廃棄物		0.0	
			製品廃棄物			
その他	1.1	0.9				
合計		100.0	100.0	100.0		

(2) 紙製容器包装(菰野町)

重量比・容積比

(単位:%)

大分類	分類項目 細分類	住宅(旧来)		住宅(郊外)		農村	
		重量比	容積比	重量比	容積比	重量比	容積比
紙パック	紙パック(裏側白・開)	14.3	14.1	8.1	8.1	7.8	9.5
	紙パック(裏側白・未開)	2.2	8.7	2.7	7.2	7.2	13.5
	紙パック(裏側アルミ)	0.5	0.0	1.6	4.1	1.3	1.6
食料品容器	食料品	15.6	20.1	19.6	32.8	21.9	18.3
	菓子類	9.8	11.4	8.8	6.1	5.5	7.9
	飲料品	4.6	5.2	5.7	4.1	4.4	6.4
日用品容器	生活用品	27.4	20.1	11.9	11.3	17.1	11.9
	薬品	0.1	0.0	0.8	0.5	0.7	0.4
	ティッシュ(箱)	6.3	3.5	11.7	6.1	4.5	1.6
紙袋・包装紙等	紙袋	3.4	5.3	5.8	7.3	2.6	6.4
	包装紙	0.7	0.0	2.1	2.0	0.8	0.4
	小袋等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他	その他						
	その他容器	14.1	10.7	11.7	5.3	7.7	7.1
	段ボール	0.1	0.0	3.0	3.1	12.7	13.6
	紙パック(汚れのひどいもの)			0.2	0.0		
	紙パック以外(〃)						
	紙製品						
	雑紙	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.4
	のし紙	0.0	0.0			0.1	0.0
	その他紙類	0.9	0.9	0.1	0.0	0.3	0.0
	容り法対象外品目	0.0	0.0	6.1	2.0	4.2	1.0
その他	0.0	0.0	0.1	0.0			
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) プラスチック製容器包装(伊勢市)

重量比

(単位:%)

分類項目			住宅 (旧来)	住宅 (郊外)A	住宅 (郊外)B	農村	住商混在	集合 (家族)	集合 (単身)
大分類	中分類	細分類	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比	重量比
ボトル類		食料品		6.0	5.0	1.0	1.3	1.8	0.8
		日用品	0.4	1.6	5.3	8.9	1.3	8.7	3.8
チューブ類		食料品	0.2	0.4					0.8
		日用品	0.7						0.4
発泡トレイ		白色	5.3	2.4	4.7	8.3	6.0	1.4	2.3
		色付	2.6	0.8	3.8	6.6	2.6	0.2	0.4
食料品容器等	容器類	持帰弁当の容器	7.9	4.8	1.0	2.0	4.6	3.2	1.2
		その他	23.7	17.7	27.8	31.0	34.9	23.7	21.2
	袋類	外袋	10.2	13.2	14.0	16.2	18.5	11.9	23.6
		小袋・内袋	0.4	1.2	1.3	1.7	0.7	1.4	2.3
日用品容器等	容器類	5.7	7.2	1.3	1.3	1.3	7.8	1.2	
	袋類	3.0	3.2	2.7	1.3	0.7	10.5	5.7	
レジ袋		4.1	17.6	3.3	9.3	5.9	8.9	14.1	
その他	フィルム・ラベル類	食料品	0.2	0.4	3.8	0.7	0.3	1.8	0.4
		日用品							0.8
	その他プラ製容器	食料品	1.5	2.0	1.8	0.7	0.3	2.7	1.2
		日用品	0.8	0.8	0.8	0.3	1.3	0.2	1.5
	その他プラ製包装	食料品	2.3	0.6	2.5	8.2	2.6	2.3	4.6
		日用品		0.8	13.3		0.3		0.2
	違反品目	ペットボトル	21.0	7.2	1.0	1.0	2.6		
		汚れのひどい容リ法対象プラ	0.8	1.6	5.5	0.3	0.3	0.7	4.6
容リ法対象外プラ		9.0	8.9	0.8	1.0	14.2	10.5	6.6	
容リ法対象外品目		0.2	1.6	0.3	0.2	0.3	2.3	2.3	
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

容積比

(単位:%)

分類項目			住宅 (旧来)	住宅 (郊外)A	住宅 (郊外)B	農村	住商混在	集合 (家族)	集合 (単身)
大分類	中分類	細分類	容積比	容積比	容積比	容積比	容積比	容積比	容積比
ボトル類		食料品		4.4	4.0	0.3	0.3	0.5	0.0
		日用品	0.0	0.6	1.7	4.6	0.2	2.4	0.9
チューブ類		食料品	0.0	0.0					0.1
		日用品	0.1						0.0
発泡トレイ		白色	15.3	8.4	13.5	18.2	9.7	4.8	5.4
		色付	5.7	2.4	7.7	12.5	4.9	0.2	0.4
食料品容器等	容器類	持帰弁当の容器	13.1	3.2	1.3	1.6	6.0	4.8	1.3
		その他	30.1	23.1	30.3	29.7	27.0	33.4	26.9
	袋類	外袋	5.7	19.9	11.8	13.2	16.8	14.4	31.5
		小袋・内袋	0.2	1.6	2.7	2.6	1.1	1.0	3.1
日用品容器等	容器類	3.9	2.0	1.0	0.7	1.1	4.8	0.4	
	袋類	3.5	2.4	3.4	1.9	1.6	9.6	4.1	
レジ袋		5.2	19.9	9.4	8.6	14.1	9.6	9.0	
その他	フィルム・ラベル類	食料品	0.0	0.8	2.0	0.7	0.1	2.4	1.3
		日用品							0.7
	その他プラ製容器	食料品	0.2	0.0	0.3	0.3	0.1	0.5	0.2
		日用品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
	その他プラ製包装	食料品	3.1	1.6	2.4	4.1	3.8	1.4	3.6
		日用品		2.0	6.1		0.1		0.0
	違反品目	ペットボトル	6.5	3.7	0.7	0.3	0.6		
		汚れのひどい容リ法対象プラ	0.2	1.2	1.7	0.0	0.1	0.1	5.5
容リ法対象外プラ		7.2	2.0	0.0	0.7	12.2	9.6	4.5	
容リ法対象外品目		0.0	0.8	0.0	0.0	0.1	0.5	0.9	
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

### III. 事業所アンケート調査

---



# 1. 事業者意識調査

## (1) 調査の概要

### ア 調査の目的

「ごみゼロ社会実現プラン」の策定に当たって、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、事業者の取り組みや考え方について調査した。

### イ 調査対象

業種等を考慮して県内に所在する 2,550 件の事業所を無作為抽出し調査対象とした。

### ウ 調査方法

郵送によって調査票を発送、回収した。回収期限直後にはがきによる督促を行った。

### エ 調査期間

平成 16 年 11 月 12 日に調査票を発送し、11 月 30 日を投函期限として回収した。投函期限直後に督促を行い、12 月 27 日到着分までを有効回答に含めた。

### オ 回収状況

回収状況は次のとおりである。

有効発送数： 2,444 件（発送数：2,550 件 - 宛先不明等による返却数：106 件）  
有効回収数： 1,039 件  
有効回収率： 42.5%

業種ごとに見た調査票の回収状況は次のとおりである。

業種	発送数	回収数	単純回収率
農林漁業	80	46	57.5%
建設業	200	79	39.5%
製造業	600	259	43.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	80	30	37.5%
運輸・情報通信業	150	53	35.3%
卸売・小売業、飲食店	600	123	20.5%
金融・保険・不動産業	160	67	41.9%
サービス業	600	264	44.0%
その他	80	54	-
無回答	-	64	-
合計	2,550	1,039	40.7%

「単純回収率」は、業種別に見た発送数に対する回収数の割合

「サービス業」は、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業を含む。

「その他」は、公務を含む。「発送数」は、公務のみ

## (2) 調査結果

### ア 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)の減量やリサイクルの取り組みについて

問1 あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか。( は1つ)

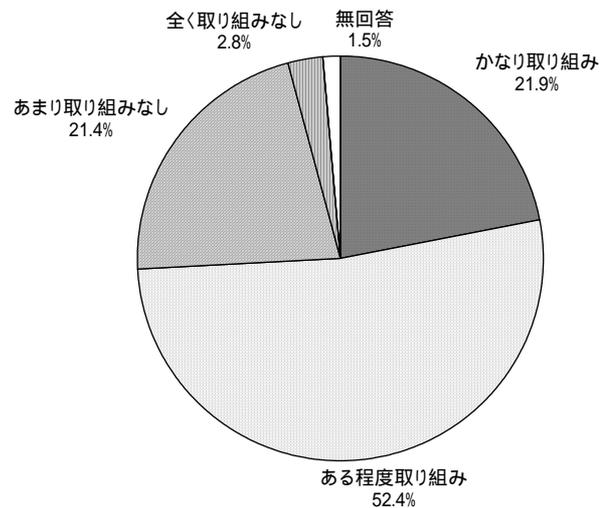
ごみ減量化に「取り組む」事業所が約74%と3/4を占める。

業種別では、「取り組む」割合は電気・ガス・熱供給・水道業、製造業、運輸・情報通信業で高くなっている。「取り組みなし」は農林漁業で高い。

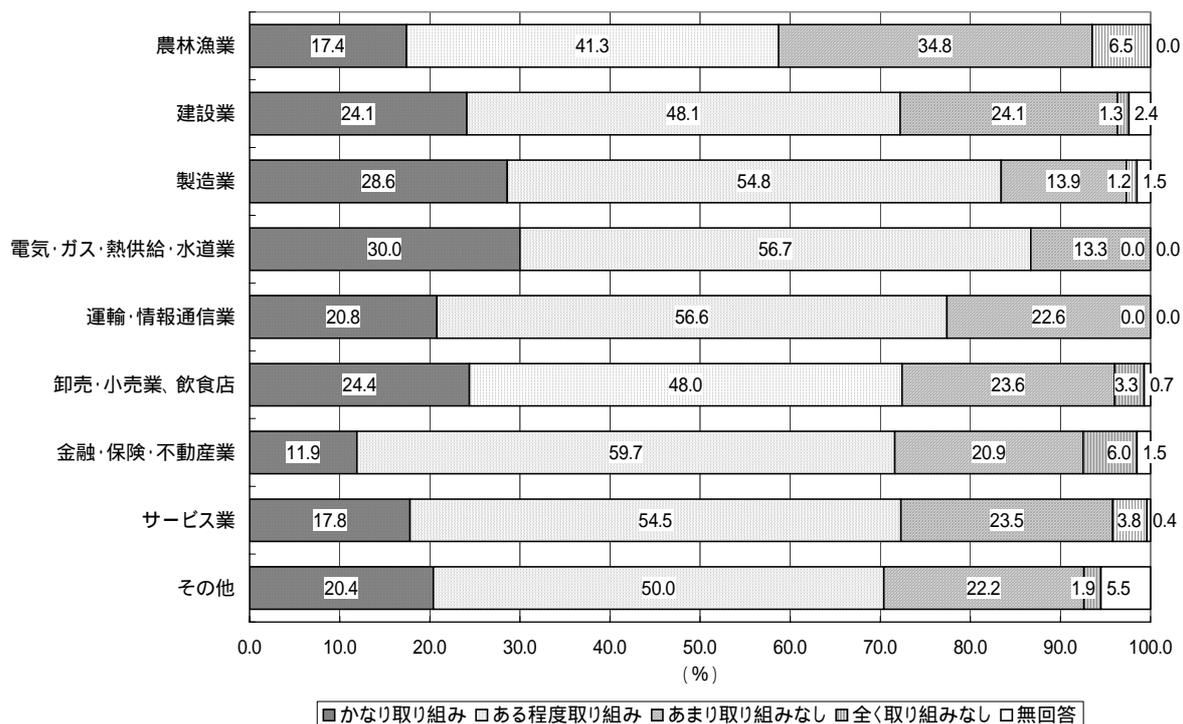
規模別では、従業者数が多くなるほど取り組む傾向が見られる。

図表 III-1 ごみ減量化の取り組み

選択肢	件数	割合(%)
1 かなり取り組み	228	21.9
2 ある程度取り組み	544	52.4
3 あまり取り組みなし	222	21.4
4 全く取り組みなし	29	2.8
無回答	16	1.5
全体	1039	100.0

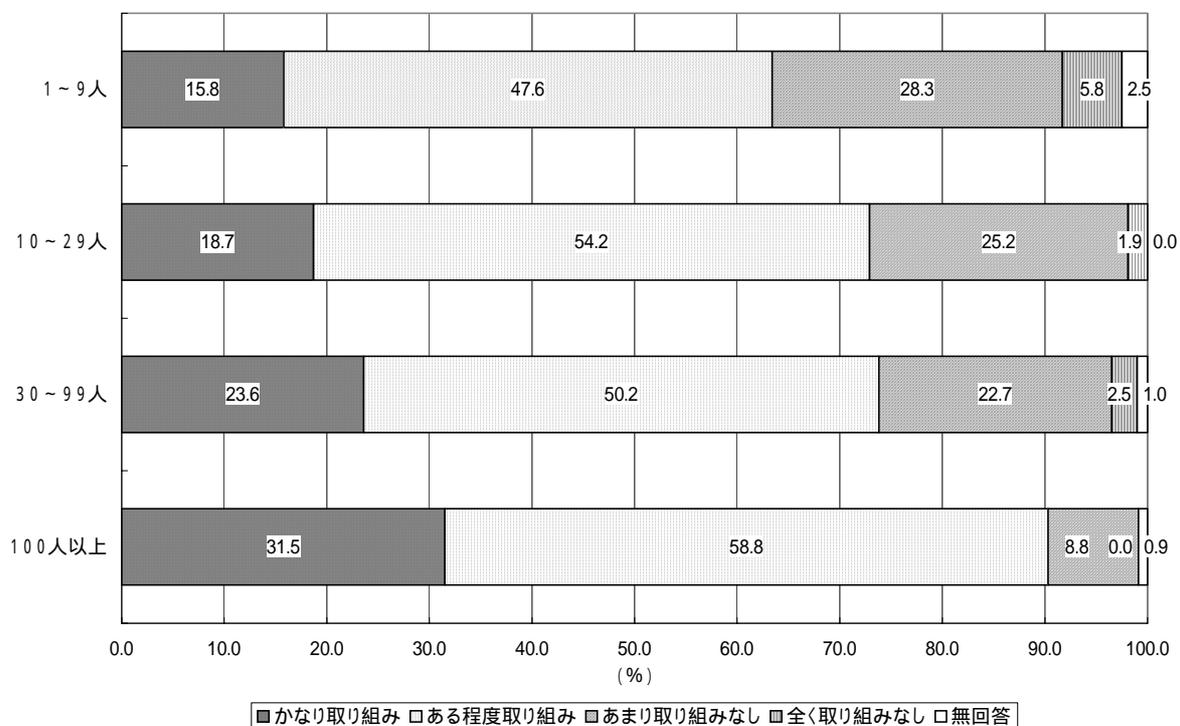


図表 III-2 業種×ごみ減量化の取り組み



「その他」は公務を含む(以下同じ)

図表 III-3 従業員数×ごみ減量化の取り組み

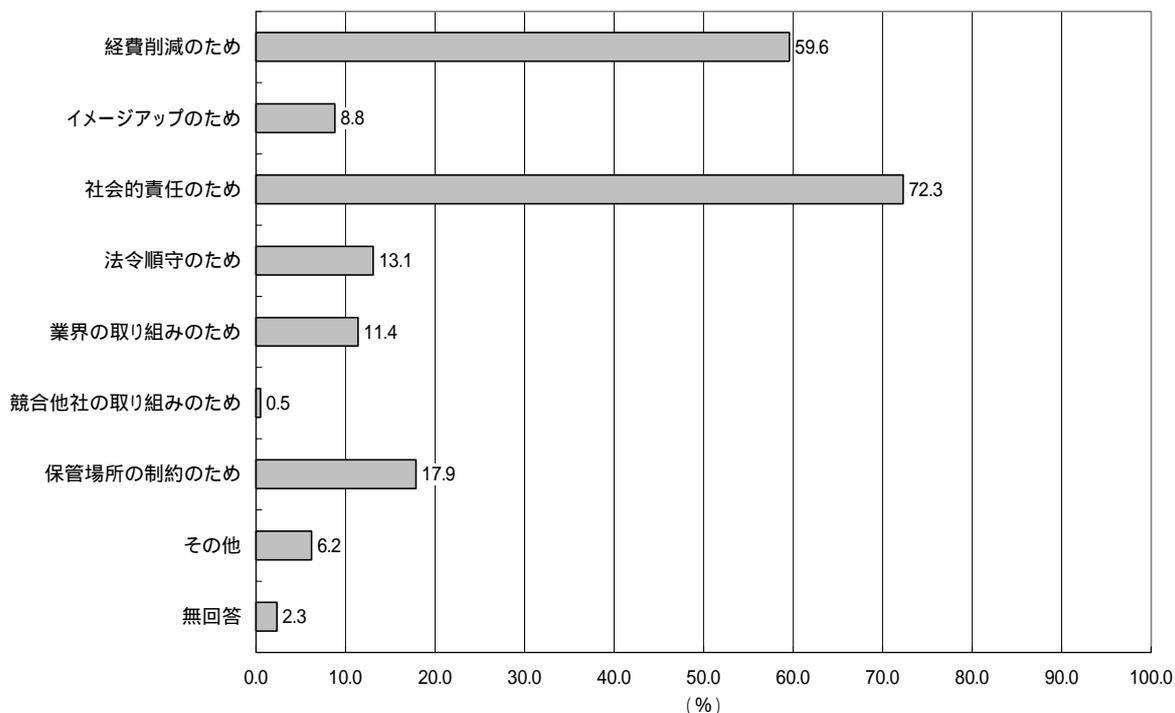


問2 (問1で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ)ごみ減量化に取り組む理由は何ですか。( は3つまで)

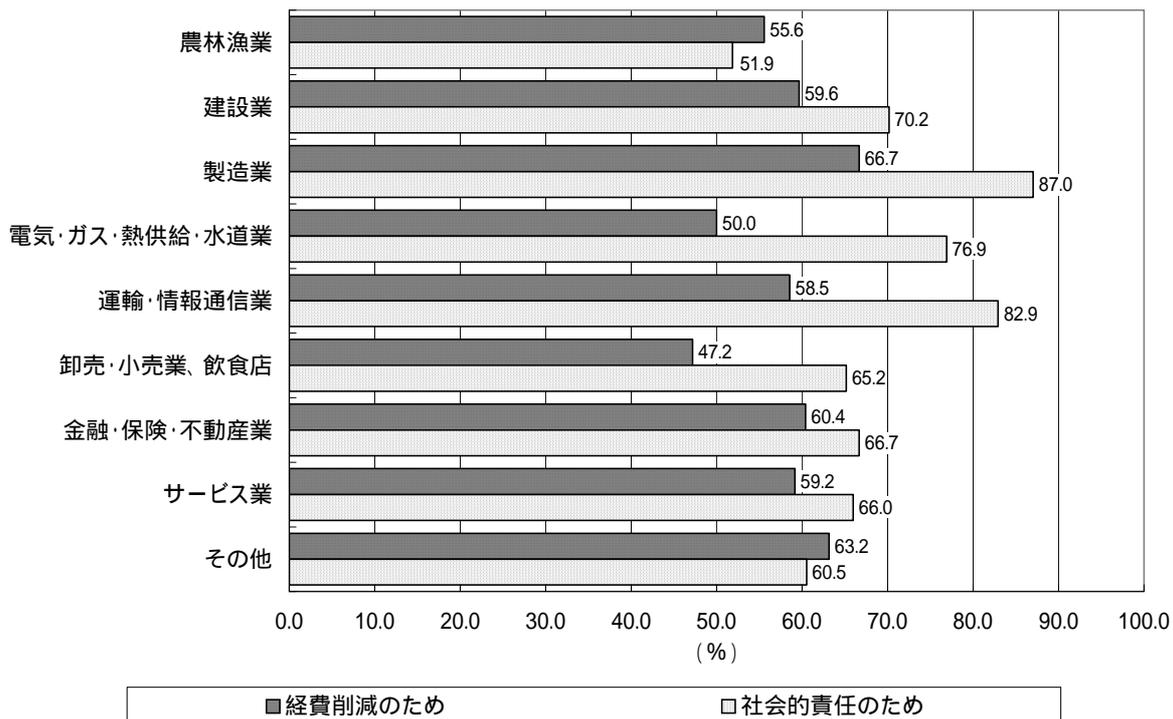
「社会的責任のため」とする回答が約72%と最も多く、「経費節減のため」の約60%を上回る。  
 「社会的責任のため」という意識は、製造業、運輸・情報通信業、電気・ガス・熱供給・水道業で強い。  
 規模別では、従業員数が多くなるほど「社会的責任のため」とする回答が多くなる。従業員数が10人未満の事業所では、「経費節減のため」が「社会的責任のため」を少しではあるが上回っている。

図表 III-4 ごみ減量化に取り組む理由(複数回答)

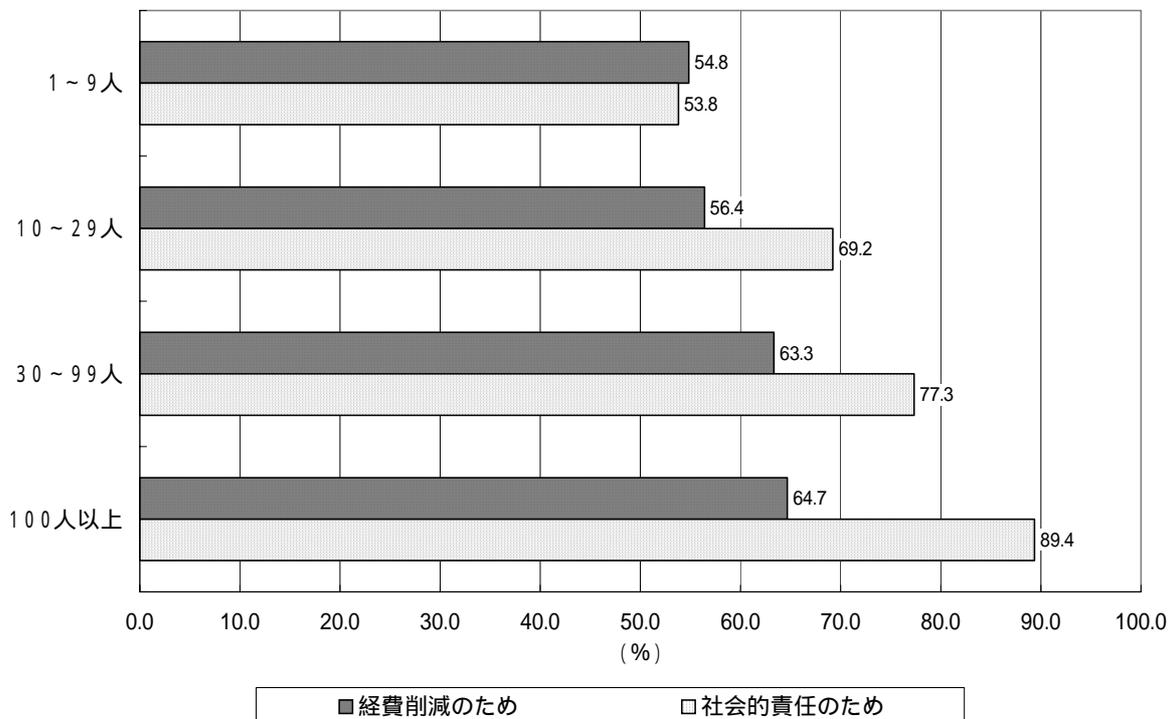
選択肢	件数	割合(%)
1 経費削減のため	460	59.6
2 イメージアップのため	68	8.8
3 社会的責任のため	558	72.3
4 法令順守のため	101	13.1
5 業界の取り組みのため	88	11.4
6 競合他社の取り組みのため	4	0.5
7 保管場所の制約のため	138	17.9
8 その他	48	6.2
無回答	18	2.3



図表 III-5 業種×ごみ減量化に取り組む理由(複数回答)(上位2位まで)



図表 III-6 従業員数×ごみ減量化に取り組む理由(複数回答)(上位2位まで)

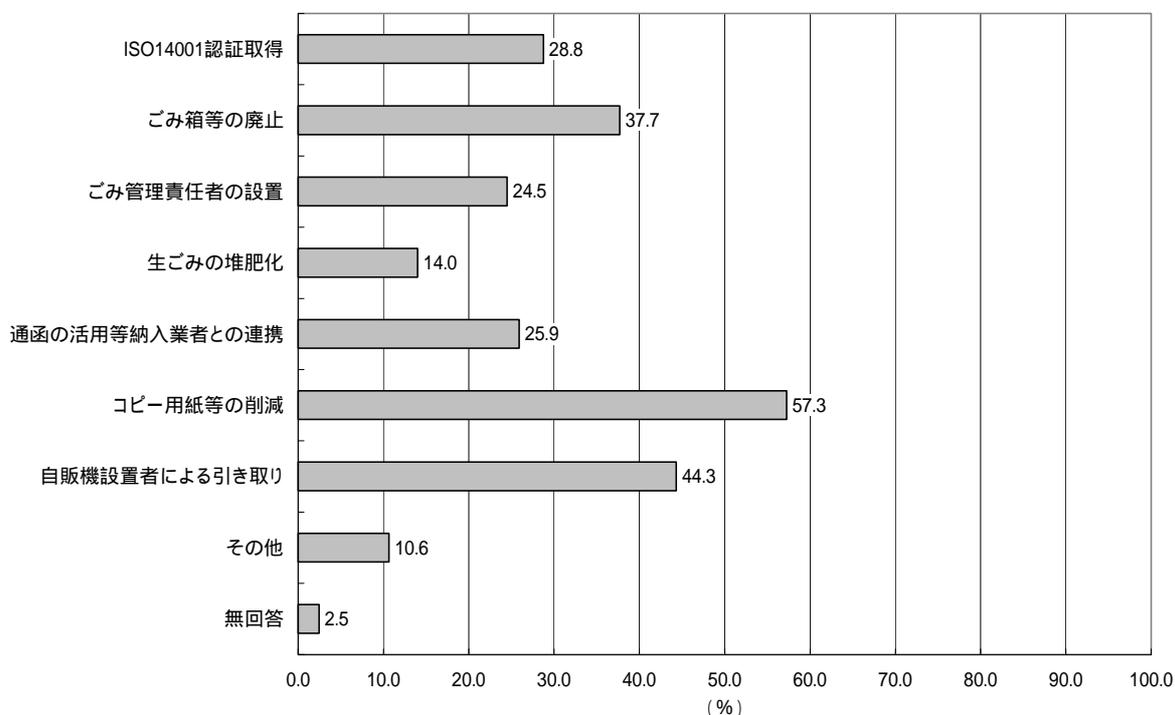


問3 (問1で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ)あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか。(当てはまるすべてに)

「コピー用紙等の削減」が約57%と最も高く、「自販機設置者による引き取り」(約44%)、「ごみ箱等の廃止」(約38%)と続く。

図表 III-7 ごみ減量の取り組み内容(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 ISO14001認証取得	222	28.8
2 ごみ箱等の廃止	291	37.7
3 ごみ管理責任者の設置	189	24.5
4 生ごみの堆肥化	108	14.0
5 通函の活用等納入業者との連携	200	25.9
6 コピー用紙等の削減	442	57.3
7 自販機設置者による引き取り	342	44.3
8 その他	82	10.6
無回答	19	2.5



問4 (問1で「3 あまり取り組んでいない」「4 全く取り組んでいない」と答えた方のみ)あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか。(は3つまで)

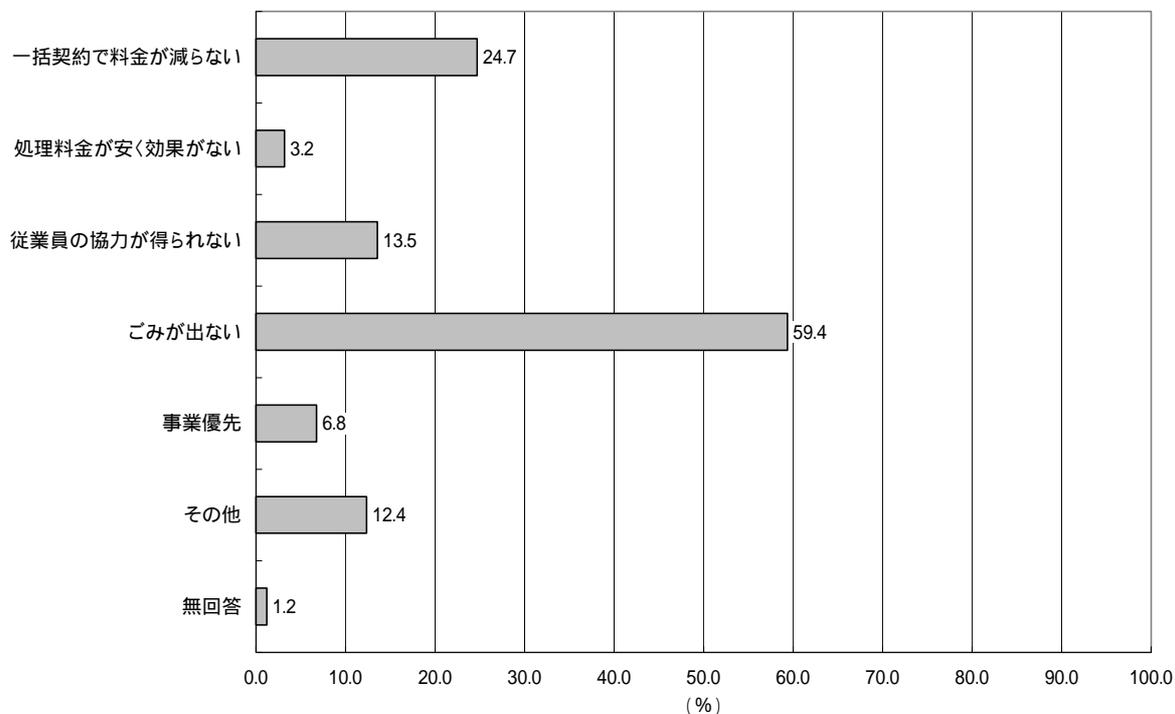
ごみ減量に取り組まない理由は、「ごみが出ない」が約59%と最も高く、次いで「一括契約で料金が減らない」が約25%ある。

業種別では、「ごみが出ない」は建設業、農林漁業で、「一括契約で料金が減らない」は卸売・小売業、飲食店、サービス業、製造業で高くなっている。

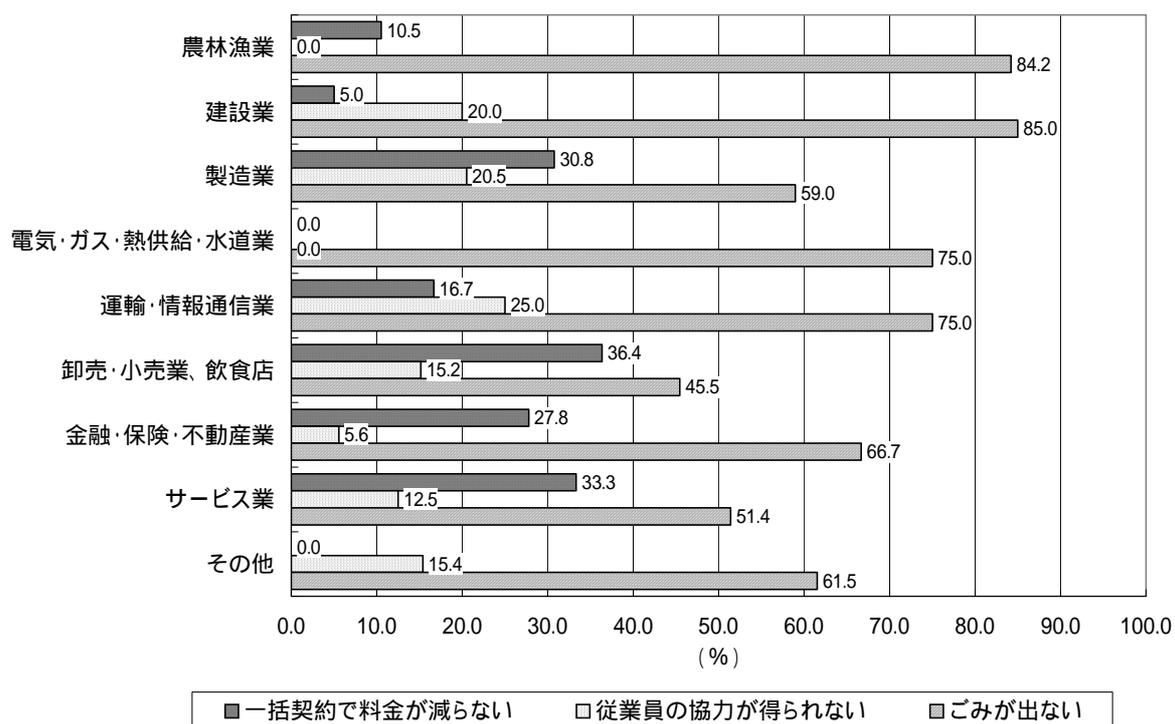
規模別では、従業員数が多くなるほど「ごみが出ない」が減少し、「一括契約で料金が減らない」が増える傾向が見られる。

図表 III-8 ごみ減量化に取り組まない理由(複数回答)

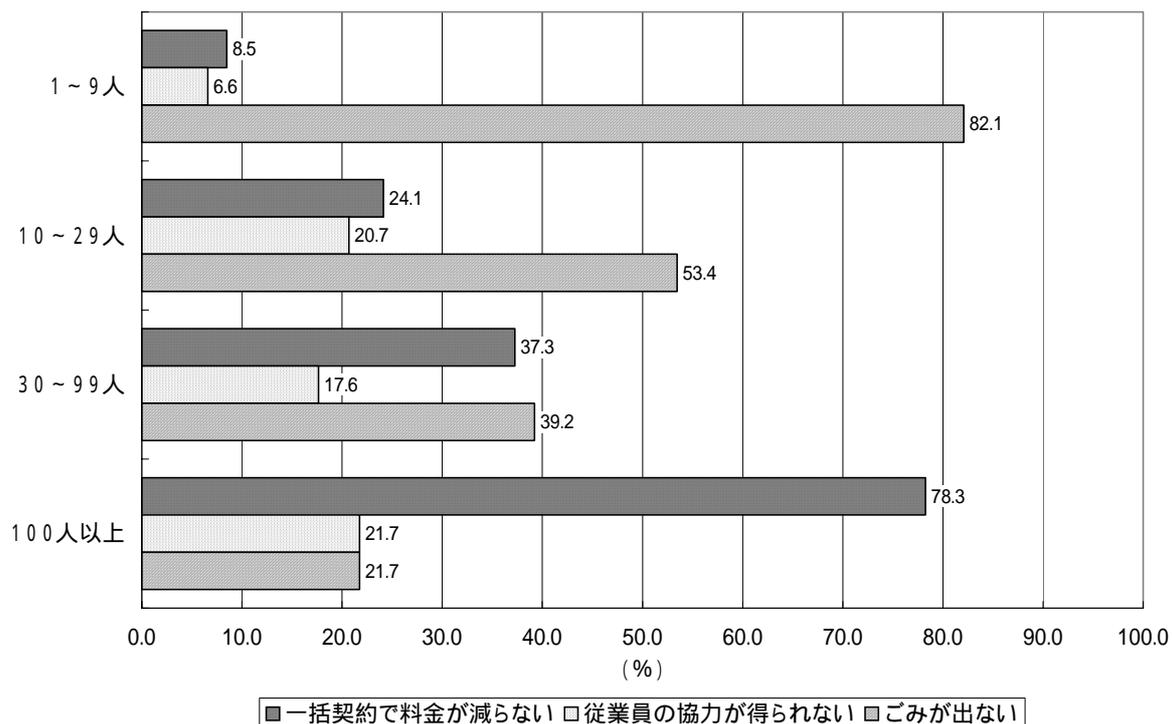
選択肢	件数	割合(%)
1 一括契約で料金が減らない	62	24.7
2 処理料金が安く効果がない	8	3.2
3 従業員の協力が得られない	34	13.5
4 ごみが出ない	149	59.4
5 事業優先	17	6.8
6 その他	31	12.4
無回答	3	1.2



図表 III-9 業種×ごみ減量化に取り組まない理由(複数回答)(上位3位まで)



図表 III-10 従業員数×ごみ減量化に取り組まない理由(複数回答)(上位3位まで)

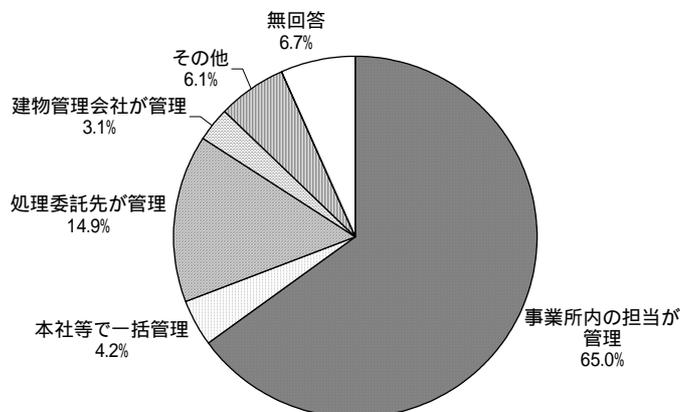


問5 あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？( は1つ)

「事業所内の担当が管理」が65%を、また「処理委託先が管理」も約15%を占める。

図表 III-11 ごみの管理者

選択肢	件数	割合(%)
1 事業所内の担当が管理	675	65.0
2 本社等で一括管理	44	4.2
3 処理委託先が管理	155	14.9
4 建物管理会社が管理	32	3.1
5 その他	63	6.1
無回答	70	6.7
全体	1039	100.0



イ 事業所から出る事業系ごみ(事業系一般廃棄物)について

問 6 あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？ ( は1つ)

「業者委託」が約 49%とほぼ半数を占める。この他、「ごみ集積所に排出」が約 25%、「市町村の処理施設に持ち込み」が約 14%見られる。

業種別では、「業者委託」は製造業(約 72%)、運輸・情報通信業(約 62%)で高く、農林漁業(約 24%)、建設業(約 34%)で低くなっている。

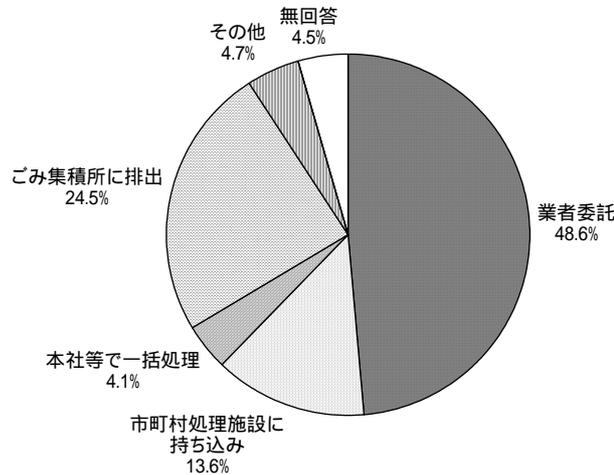
規模別に見ると従業員数が多くなるほど「業者委託」が増加し、「ごみ集積所に排出」が減少する。従業員数が 100 人以上の事業所では「業者委託」が約 82%と大半を占めるのに対し、同 10 人未満の事業所では「ごみ集積所に排出」が約 52%と半数を超える。

収集運搬業者に委託している事業所の内訳を規模別に見ると、従業員数が 100 人以上の事業所が約 42%、30 人以上 100 人未満の事業所が約 25%と、30 人以上の事業所が 7 割近くを占めている。

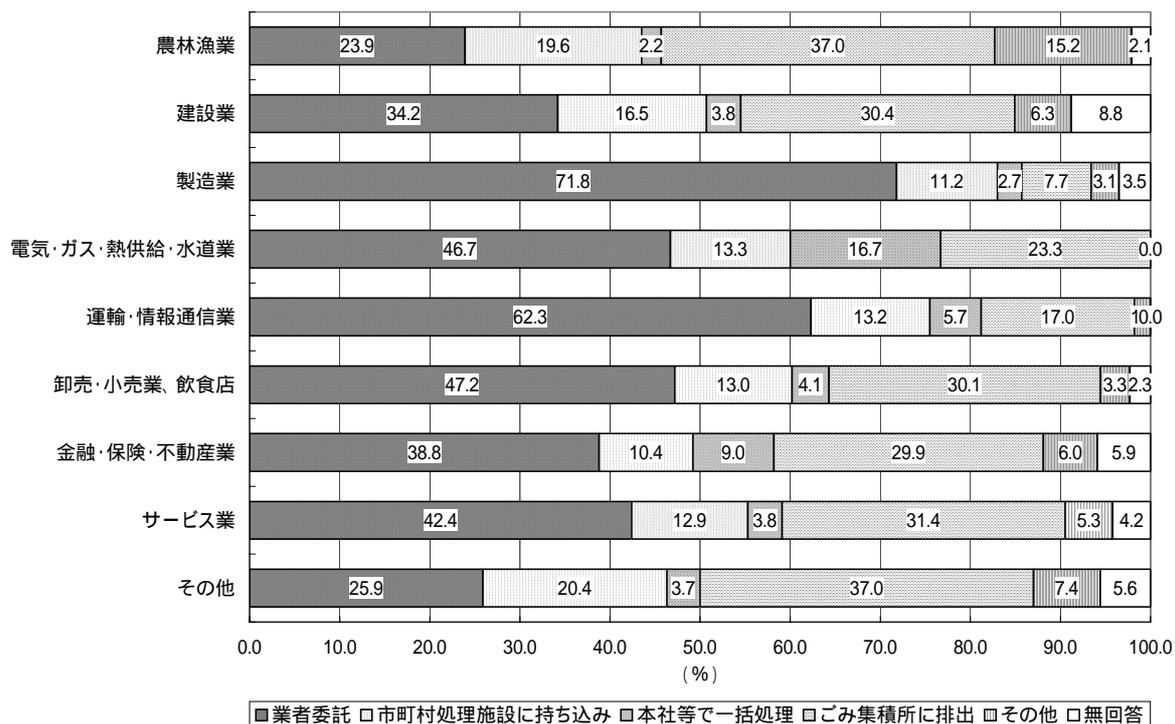
同様にごみ集積所に出している事業所の内訳を規模別に見ると、従業員数が 10 人未満の事業所が約 64%、10 人以上 30 人未満の事業所が約 22%と、30 人未満の事業所が 9 割近くを占めており、業者委託の場合と対照的な傾向を示している。

図表 III-12 ごみの処理方法

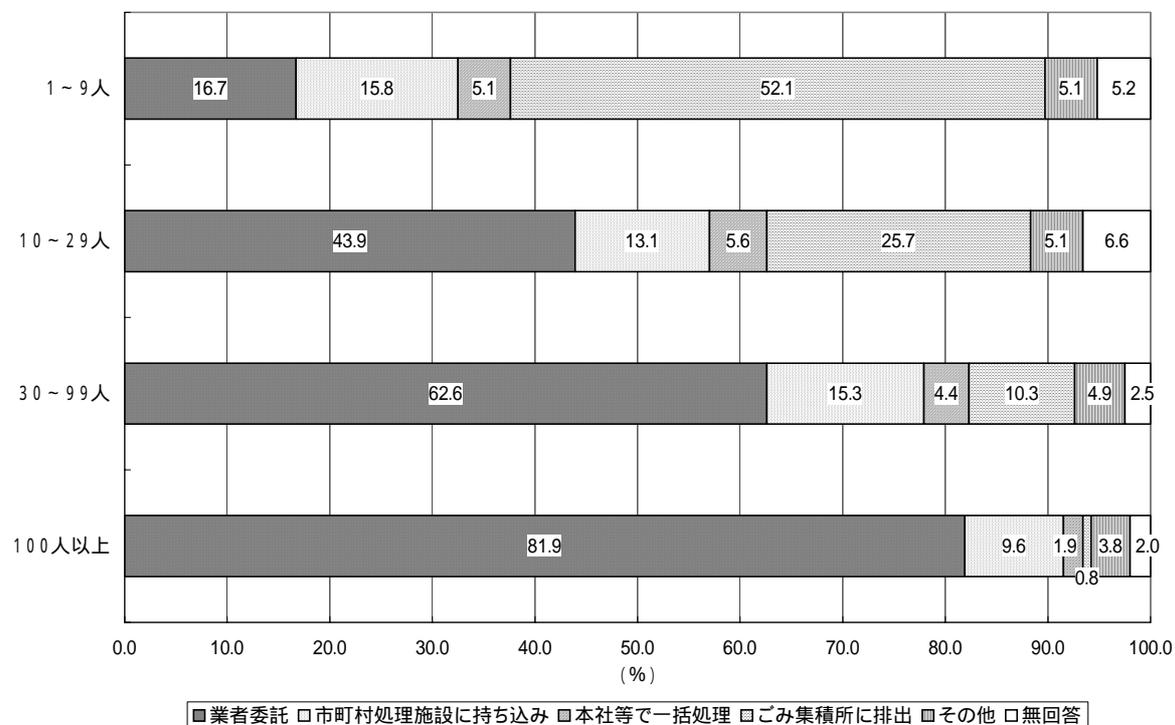
選択肢	件数	割合(%)
1 業者委託	505	48.6
2 市町村処理施設に持ち込み	141	13.6
3 本社等で一括処理	43	4.1
4 ごみ集積所に排出	255	24.5
5 その他	49	4.7
無回答	46	4.5
全体	1039	100.0



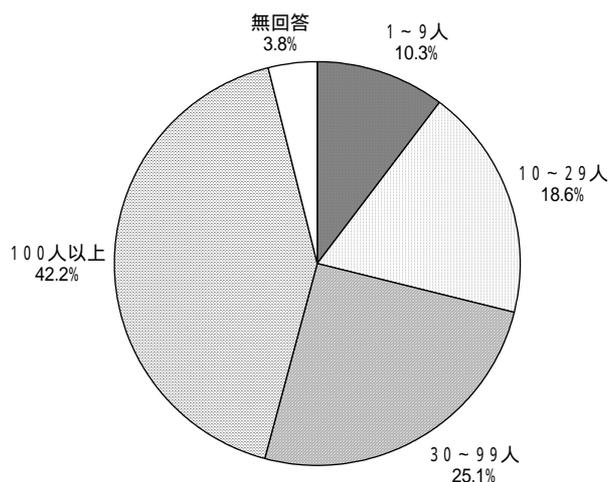
図表 III-13 業種 × ごみの処理方法



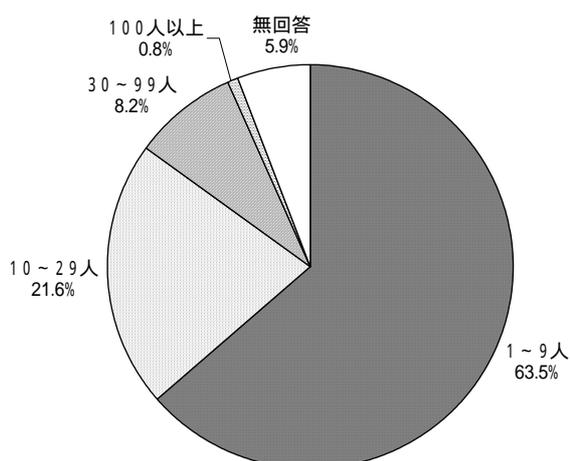
図表 III-14 従業員数 × ごみの処理方法



図表 III-15 業者委託事業所の従業員数別内訳



図表 III-16 集積所排出事業所の従業員数別内訳

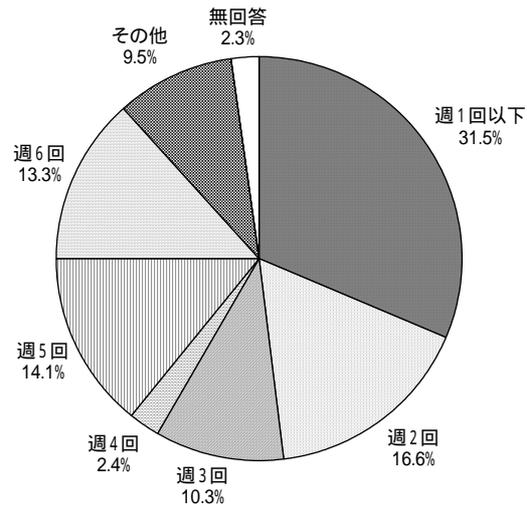


問7 (問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ)  
 収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか。( は1つ)

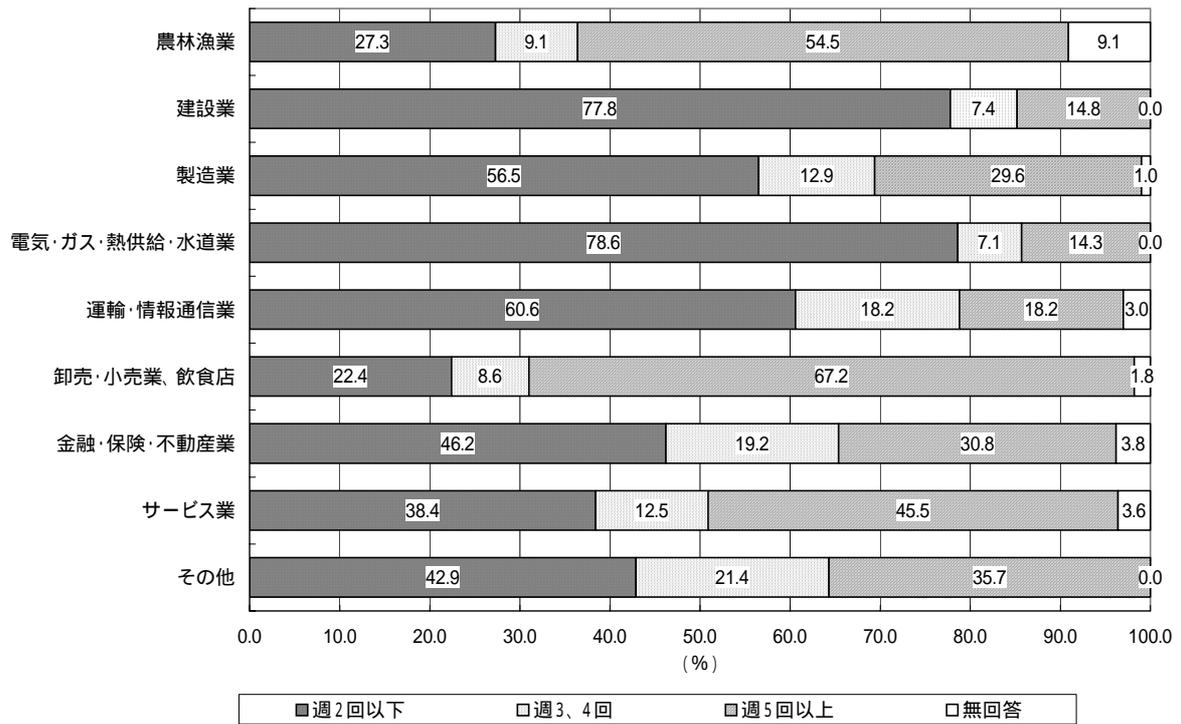
週2回以下が約48%とほぼ半数を占める一方、週5・6回も約27%を占める。  
 業種別では、週2回以下は電気・ガス・熱供給・水道業、建設業で高く、週5回以上は卸売・小売業、飲食店、農林漁業で高くなっている。

図表 III-17 収集運搬業者による収集頻度

選択肢	件数	割合 (%)
1 週1回以下	159	31.5
2 週2回	84	16.6
3 週3回	52	10.3
4 週4回	12	2.4
5 週5回	71	14.1
6 週6回	67	13.3
7 その他	48	9.5
無回答	12	2.3
全体	505	100.0



図表 III-18 業種 × 収集運搬業者による収集頻度

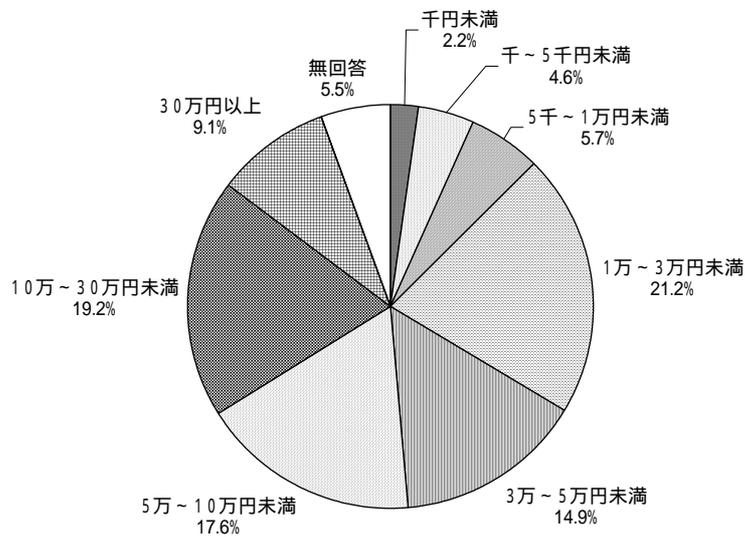


問8 (問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ)  
 あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか。( は1つ)

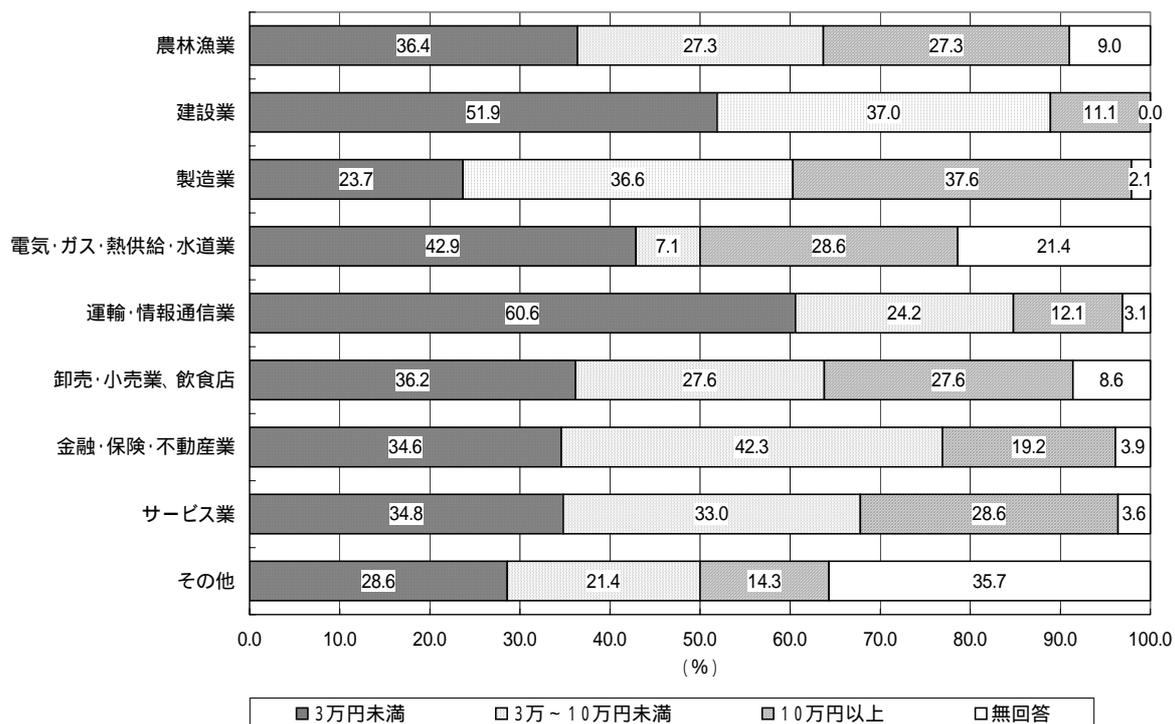
1万円未満は約13%に止まり、5万円以上が約46%と約半数を占める。  
 業種別では、3万円未満は運輸・情報通信業、建設業で高く、10万円以上は製造業で高くなっている。

図表 III-19 収集運搬業者への委託費月額

選択肢	件数	割合(%)
1 千円未満	11	2.2
2 千～5千円未満	23	4.6
3 5千～1万円未満	29	5.7
4 1万～3万円未満	107	21.2
5 3万～5万円未満	75	14.9
6 5万～10万円未満	89	17.6
7 10万～30万円未満	97	19.2
8 30万円以上	46	9.1
無回答	28	5.5
全体	505	100.0



図表 III-20 業種 × 収集運搬業者への委託費月額

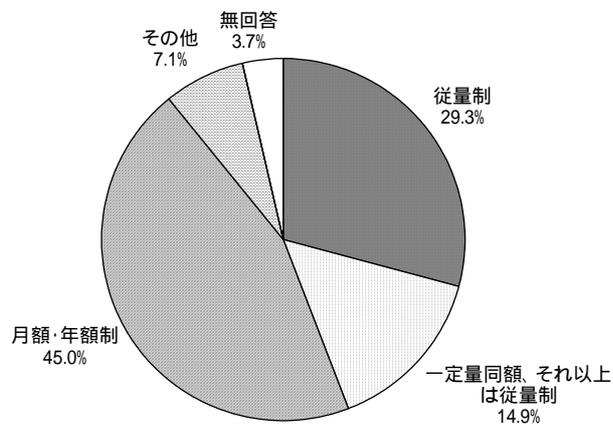


問9 (問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ)  
 ごみの処理料金はどのように決めていますか？ ( は1つ)

「月額・年額制」(定額制)が45%とほぼ半数を占め、「従量制」は約29%、「一定量同額、それ以上は従量制」(併用制)は約15%に止まっている。

図表 III-21 収集運搬業者との委託形態

選択肢	件数	割合(%)
1 従量制	148	29.3
2 一定量同額、それ以上は従量制	75	14.9
3 月額・年額制	227	45.0
4 その他	36	7.1
無回答	19	3.7
全体	505	100.0

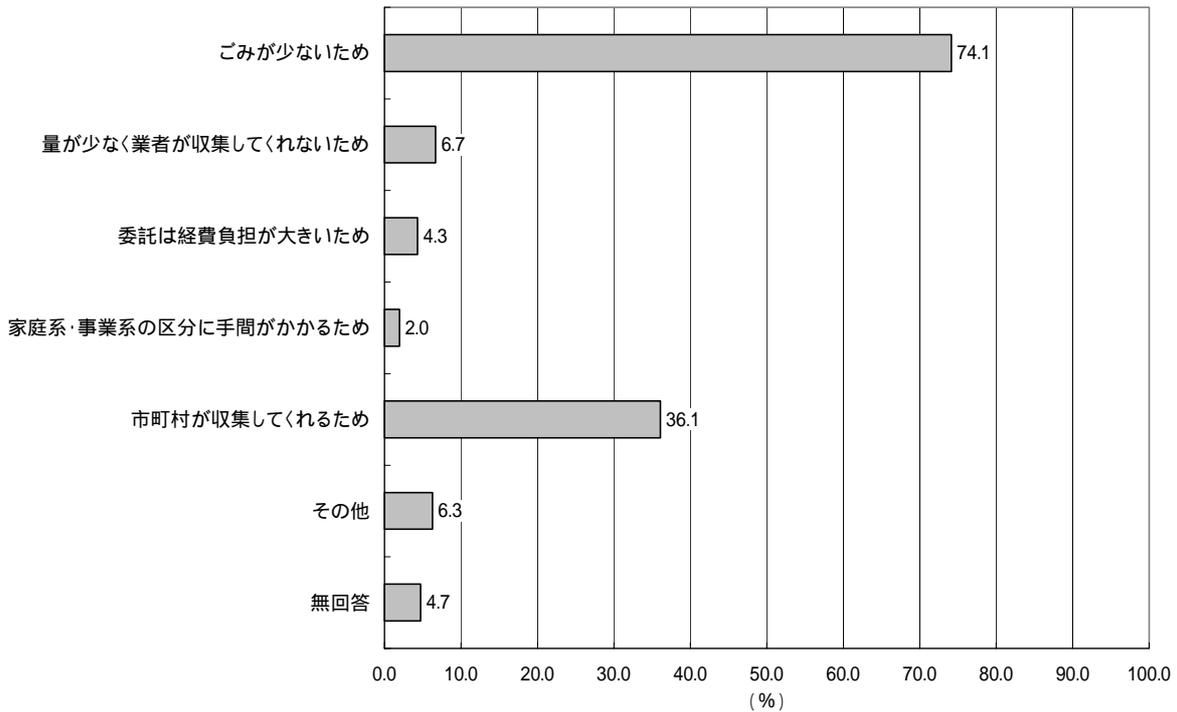


問 10 (問 6 で「4 地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ)  
 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか。( は 2 つまで)

「ごみが少ないため」が約 74%、「市町村が収集してくれるため」が約 36%と高い。

図表 III-22 ごみ集積所に排出する理由(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 ごみが少ないため	189	74.1
2 量が少なく業者が収集してくれないため	17	6.7
3 委託は経費負担が大きい	11	4.3
4 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	5	2.0
5 市町村が収集してくれるため	92	36.1
6 その他	16	6.3
無回答	12	4.7



問 11 1週間あたりのごみ排出量はおおよそどのくらいですか？4 5 リットルのごみ袋に換算して、その個数でお答えください。( は 1 つ)

「それ(7 袋)以上」が 31%と最も多い反面、「ほとんど出ない」を加えた「1 袋未満」も約 20%を占める。

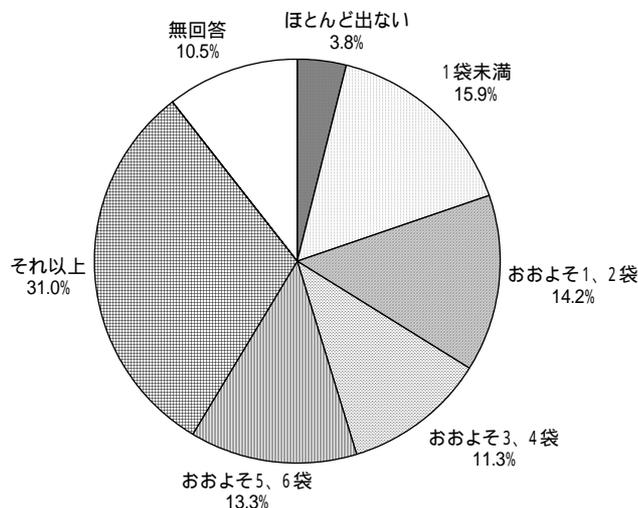
業種別では、「2 袋以下」は農林漁業、金融・保険・不動産業、建設業で高く、「それ(7 袋)以上」は製造業で高くなっている。

規模別に見ると、従業員数が多くなるほどごみの排出量も増え、従業員数が 100 人以上の事業所では「それ(7 袋)以上」が約 67%となっている。一方、従業員数が 10 人未満の事業所では「2 袋以下」が約 72%を占める。

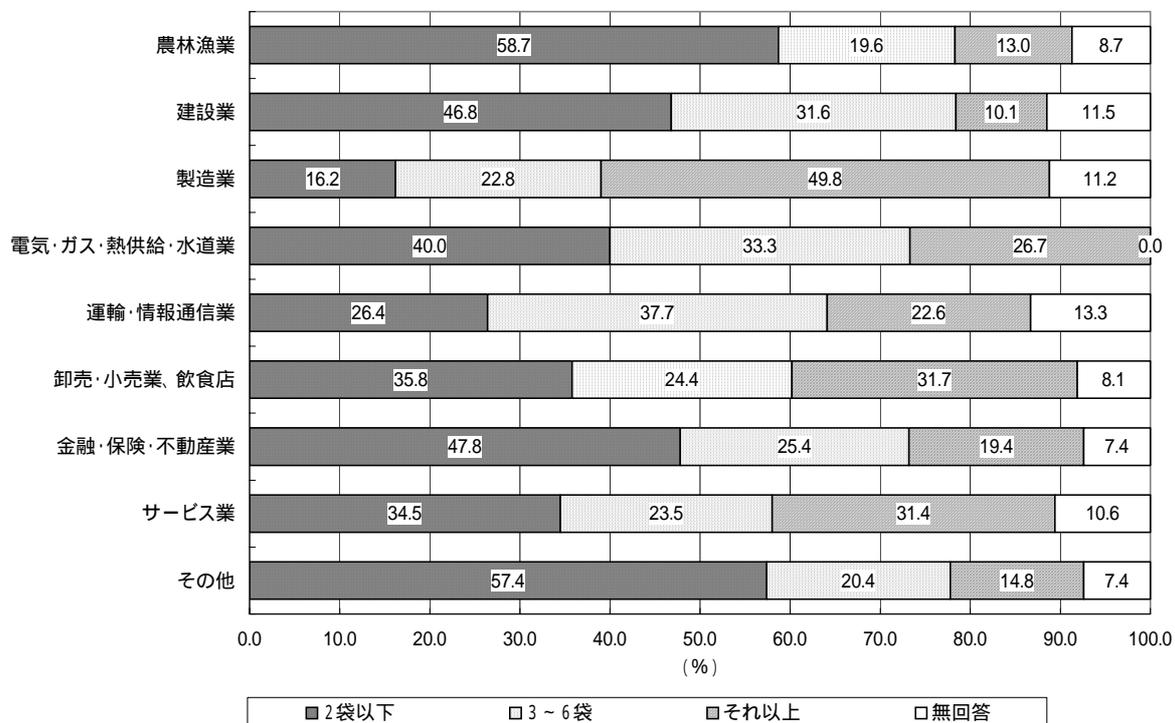
ごみ処理方法別では、「ごみ集積所に排出」の場合は「2 袋以下」が約 75%を占め、「業者委託」の場合は「それ(7 袋)以上」が約 52%を占める。また、ごみの排出量が多くなるほど業者委託で処理する傾向が見られる。

図表 III-23 1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)

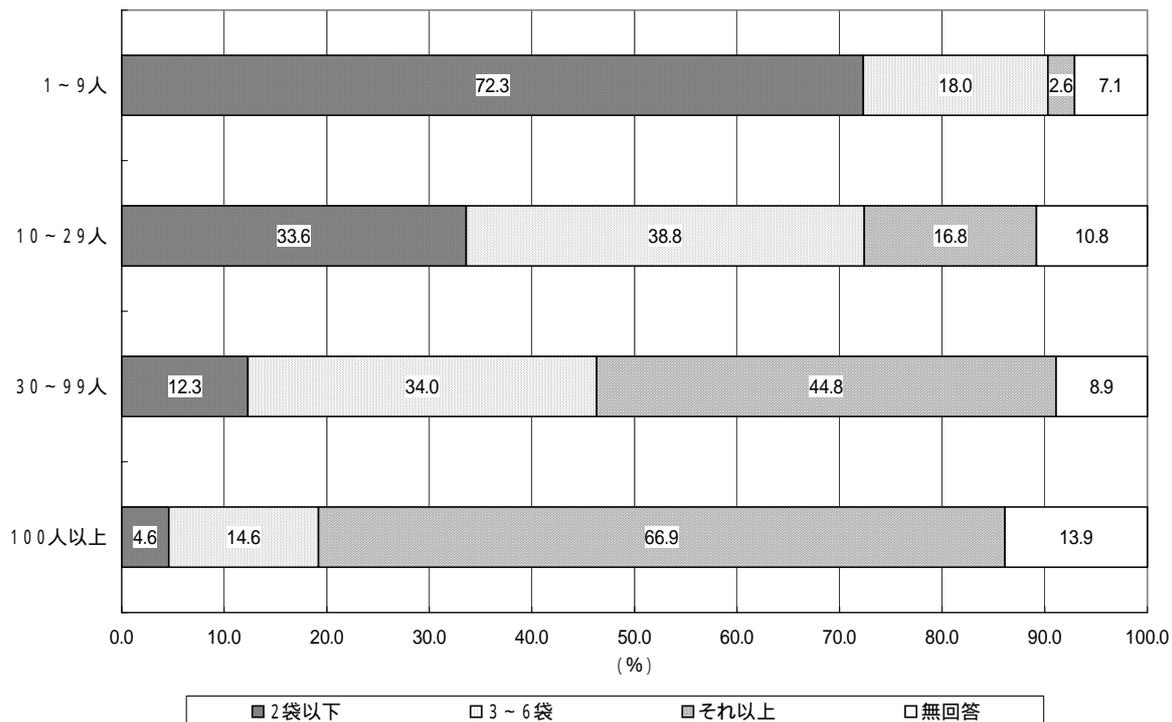
選択肢	件数	割合(%)
1 1袋未満	165	15.9
2 おおよそ1、2袋	148	14.2
3 おおよそ3、4袋	117	11.3
4 おおよそ5、6袋	138	13.3
5 それ以上	322	31.0
6 ほとんど出ない	40	3.8
無回答	109	10.5
全体	1039	100.0



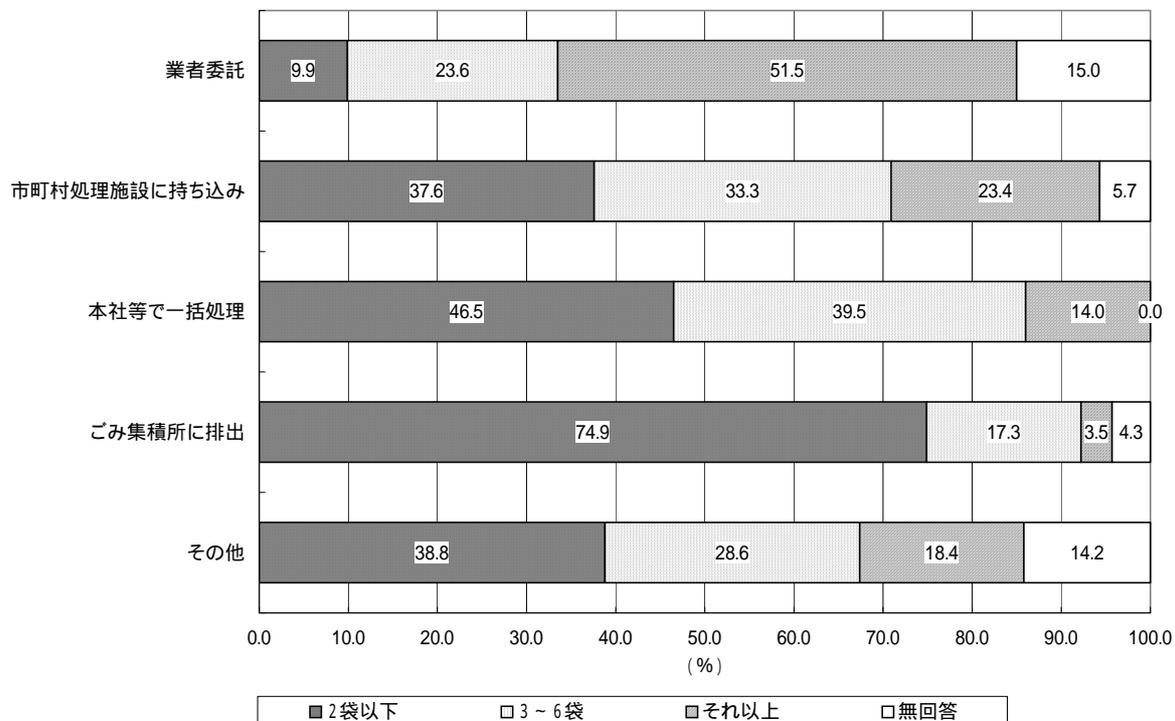
図表 III-24 業種×1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)



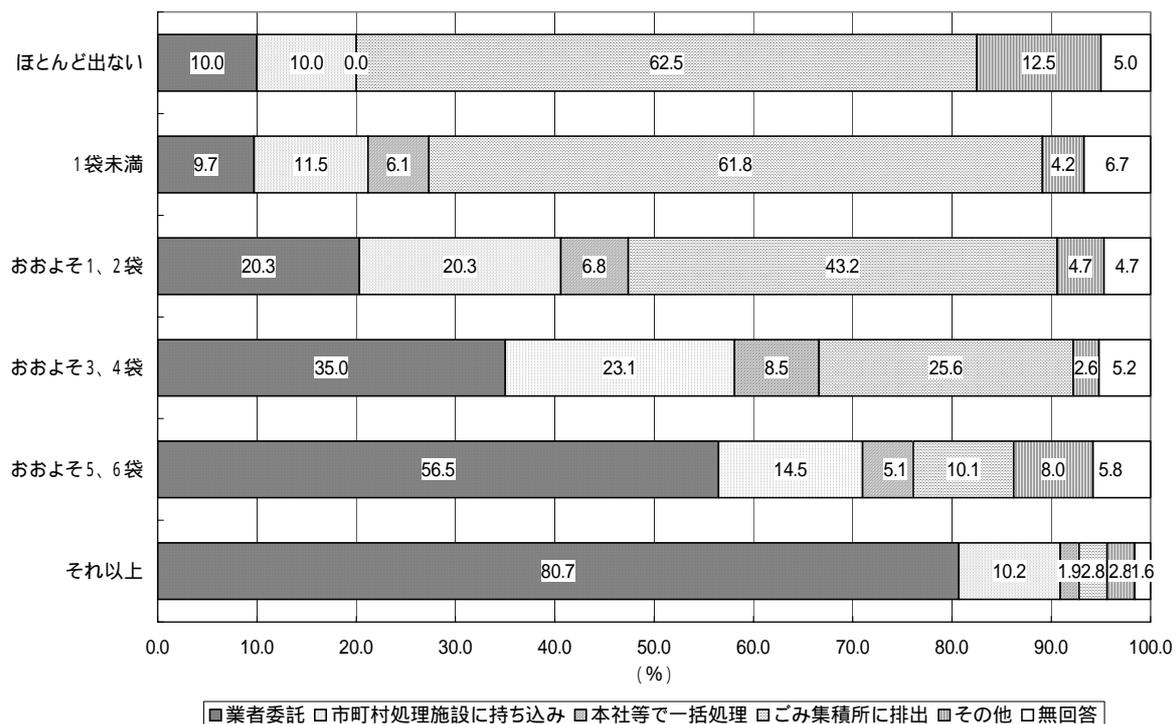
図表 III-25 従業員数 × 1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)



図表 III-26 ごみの処理方法 × 1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算)



図表 III-27 1週間当たりのごみ排出量(45リットルごみ袋換算) × ごみの処理方法



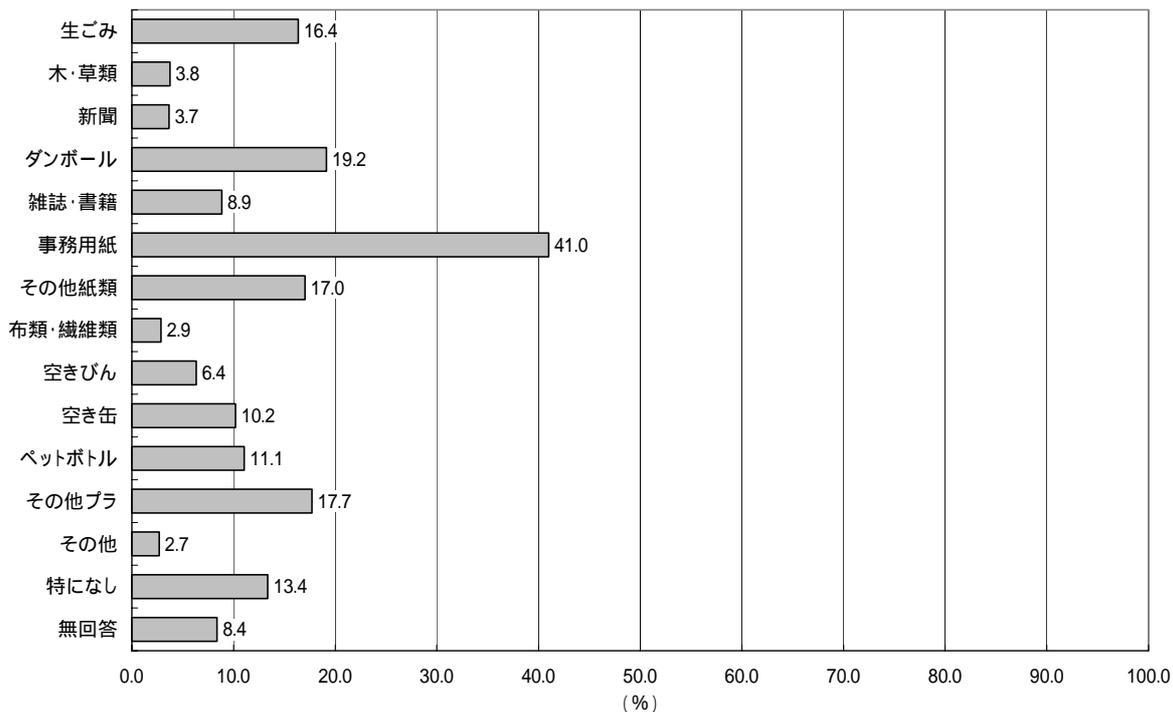
ウ 今後の方策や意向について

問 14 今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか。（当てはまるすべてに ）

「事務用紙」が 41%と最も高く、以下、「ダンボール」の約 19%、「その他プラ」の約 18%、「その他紙類」の 17%、「生ごみ」の約 16%と続く。全体として、紙類、プラスチック類が高い。

図表 III-28 今後減量したいごみ(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 生ごみ	170	16.4
2 木・草類	39	3.8
3 新聞	38	3.7
4 ダンボール	199	19.2
5 雑誌・書籍	92	8.9
6 事務用紙	426	41.0
7 その他紙類	177	17.0
8 布類・繊維類	30	2.9
9 空きびん	66	6.4
10 空き缶	106	10.2
11 ペットボトル	115	11.1
12 その他プラ	184	17.7
13 その他	28	2.7
14 特になし	139	13.4
無回答	87	8.4

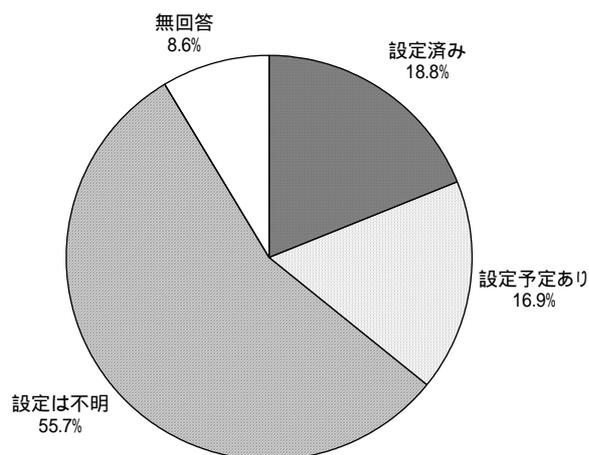


問 15 あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか。（ は1つ）

既に「設定済み」の事業所は約 19%で、「設定予定あり」を含めた積極姿勢を持つ事業所が約 36%見られる。

図表 III-29 ごみ減量目標の設定状況

選択肢	件数	割合(%)
1 設定済み	195	18.8
2 設定予定あり	176	16.9
3 設定は不明	579	55.7
無回答	89	8.6
全体	1039	100.0

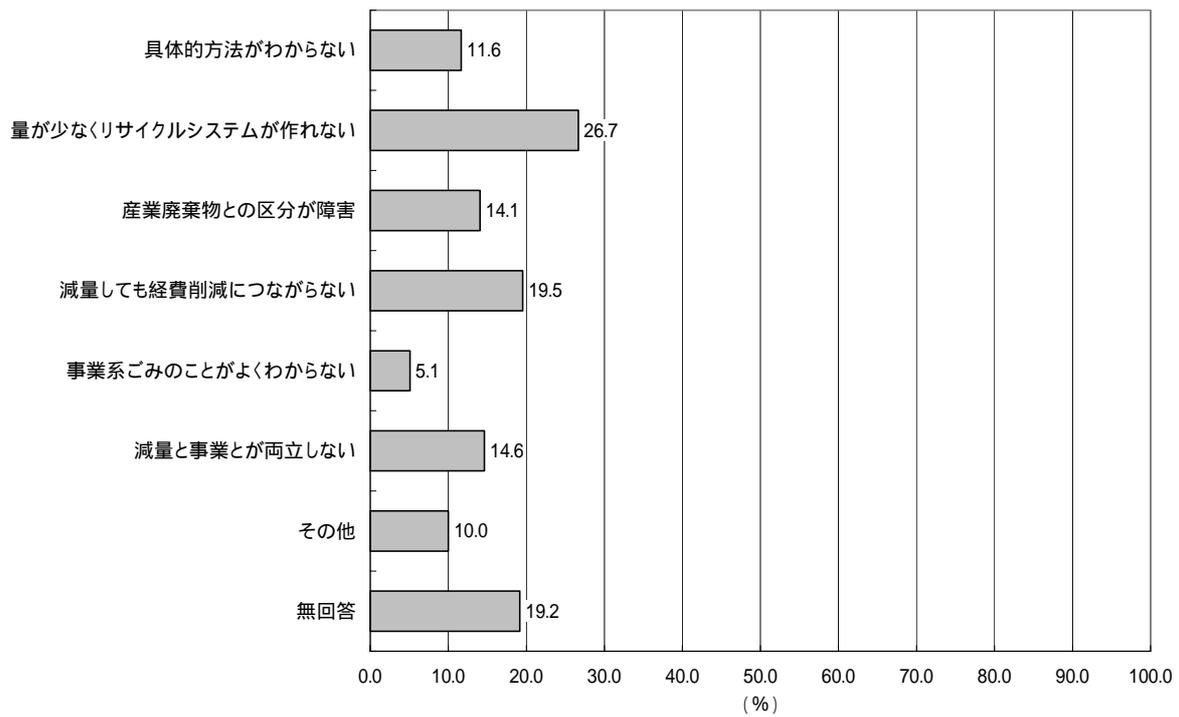


問 16 あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たってどのような問題がありますか。（ は2つまで）

「量が少なくリサイクルシステムが作れない」が約 27%と最も高く、「減量しても経費削減につながらない」(約 20%)、「減量と事業とが両立しない」(約 15%)と続く。

図表 III-30 ごみ減量・リサイクル推進上の問題点(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 具体的方法がわからない	121	11.6
2 量が少なくリサイクルシステムが作れない	277	26.7
3 産業廃棄物との区分が障害	146	14.1
4 減量しても経費削減につながらない	203	19.5
5 事業系ごみのことがよくわからない	53	5.1
6 減量と事業とが両立しない	152	14.6
7 その他	104	10.0
無回答	199	19.2

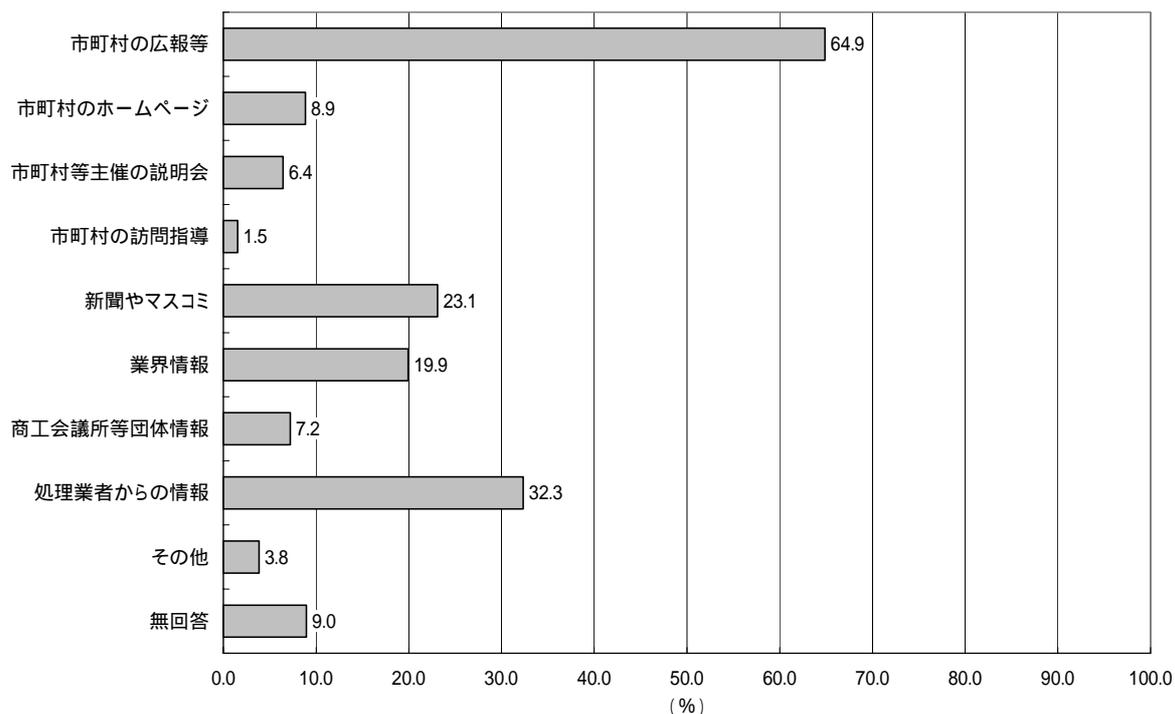


問 17 ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？  
( は3つまで)

「市町村の広報等」が約 65%と最も高く、「処理業者からの情報」が約 32%、「新聞やマスコミ」が約 23%、「業界情報」が約 20%と続く。

図表 III-31 情報入手方法(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 市町村の広報等	674	64.9
2 市町村のホームページ	92	8.9
3 市町村等主催の説明会	67	6.4
4 市町村の訪問指導	16	1.5
5 新聞やマスコミ	240	23.1
6 業界情報	207	19.9
7 商工会議所等団体情報	75	7.2
8 処理業者からの情報	336	32.3
9 その他	40	3.8
無回答	93	9.0



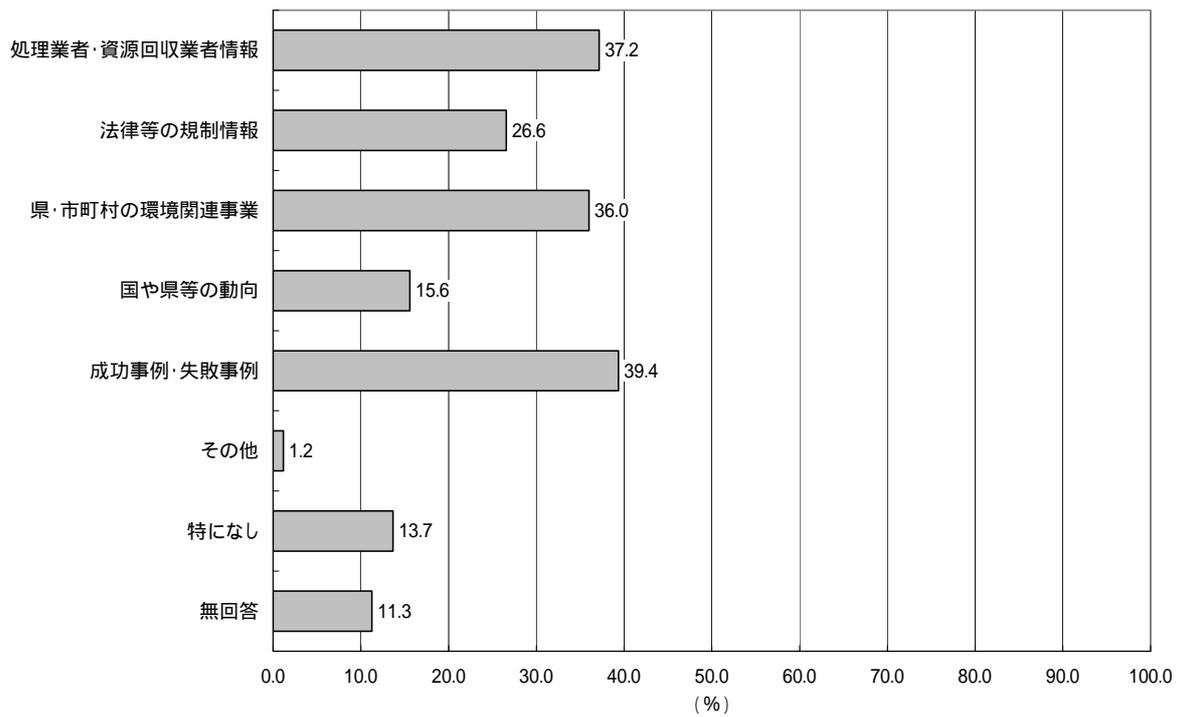
問 18 今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取り組みを検討するうえでぜひ欲しいと思う情報はありますか。( は3つまで)

「成功事例・失敗事例」が約 39%、「処理業者・資源回収業者情報」が約 37%、「県・市町村の環境関連事業」が 36%、「法律等の規制情報」が約 27%となっている。

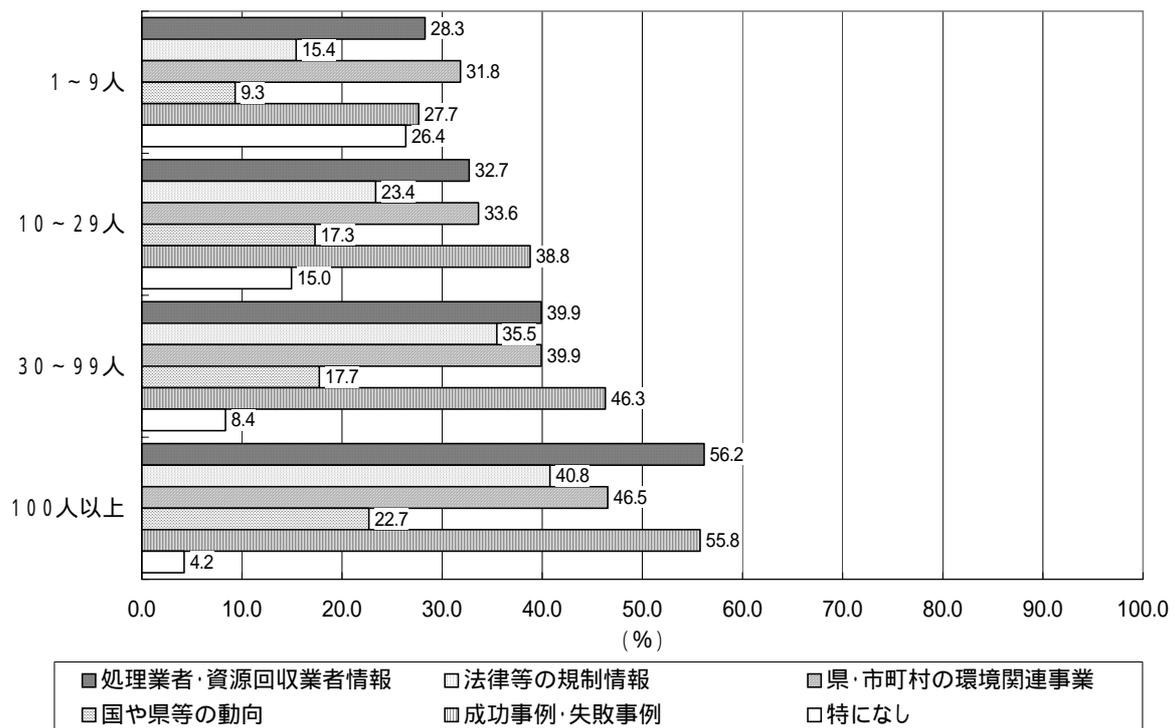
規模別に見ると、従業員数が多くなるほど、いずれの情報についても「欲しい」とする割合が増える。逆に、「特になし」は従業員数が少なくなるほどその割合が増える傾向にある。

図表 III-32 ごみ減量・リサイクルに必要な情報(複数回答)

選択肢	件数	割合(%)
1 処理業者・資源回収業者情報	386	37.2
2 法律等の規制情報	276	26.6
3 県・市町村の環境関連事業	374	36.0
4 国や県等の動向	162	15.6
5 成功事例・失敗事例	409	39.4
6 その他	12	1.2
7 特になし	142	13.7
無回答	117	11.3



図表 III-33 従業員数×ごみ減量・リサイクルに必要な情報(複数回答)



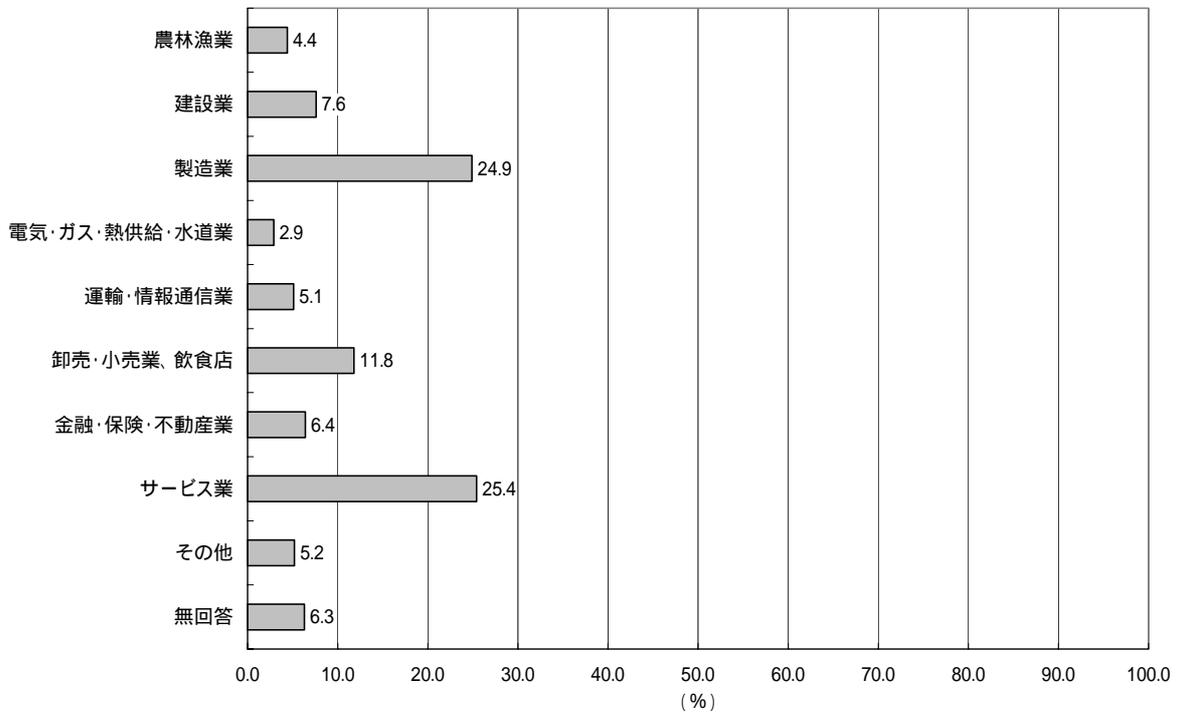
エ 事業所の属性について

問 19 あなたの事業所はどのような業種にあてはまりますか。( は1つ)

サービス業、製造業が約 25%、卸売・小売業、飲食店が約 12%を占める他は、いずれの業種も 1 割未満である。

図表 III-34 業種

選択肢	件数	割合(%)
1 農林漁業	46	4.4
2 建設業	79	7.6
3 製造業	259	24.9
4 電気・ガス・熱供給・水道業	30	2.9
5 運輸・情報通信業	53	5.1
6 卸売・小売業、飲食店	123	11.8
7 金融・保険・不動産業	67	6.4
8 サービス業	264	25.4
9 その他	54	5.2
無回答	64	6.3
全体	1039	100.0

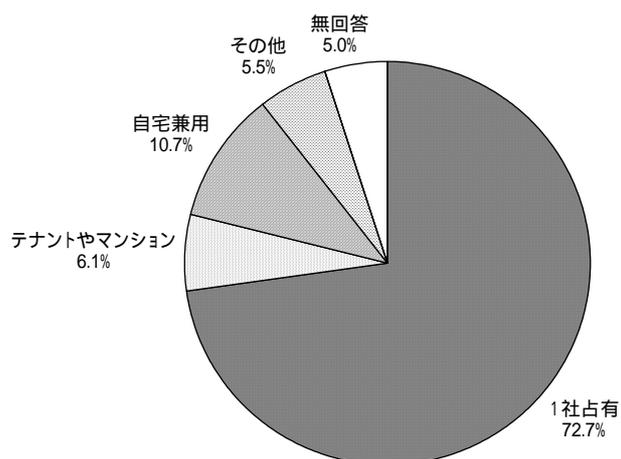


問 20 あなたの事業所はどのような建物形態ですか。( は1つ)

「1 社占有」が約 73%を占め、「自宅兼用」も約 11%見られる。

図表 III-35 建物形態

選択肢	件数	割合(%)
1 1社占有	755	72.7
2 テナントやマンション	63	6.1
3 自宅兼用	111	10.7
4 その他	57	5.5
無回答	53	5.0
全体	1039	100.0

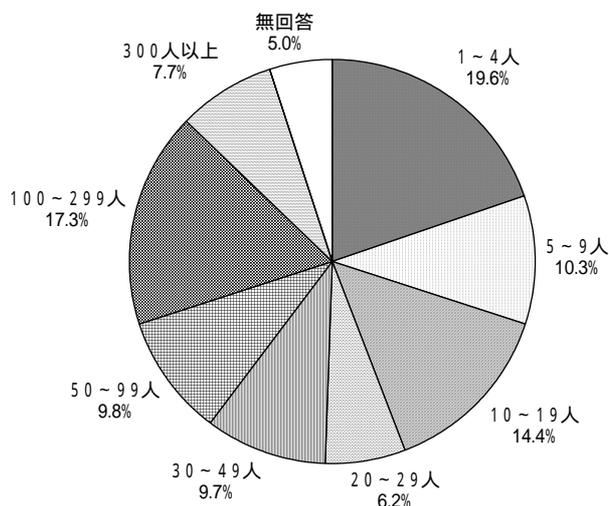


問 21 あなたの事業所の従業員は何名ですか。（ は1つ）

「5人未満」が約20%を占め、「30人未満」で約51%と半数を超える一方、「100人以上」も25%と1/4を占めている。

図表 III-36 従業員数

選択肢	件数	割合(%)
1 1～4人	204	19.6
2 5～9人	107	10.3
3 10～19人	150	14.4
4 20～29人	64	6.2
5 30～49人	101	9.7
6 50～99人	102	9.8
7 100～299人	180	17.3
8 300人以上	80	7.7
無回答	51	5.0
全体	1039	100.0

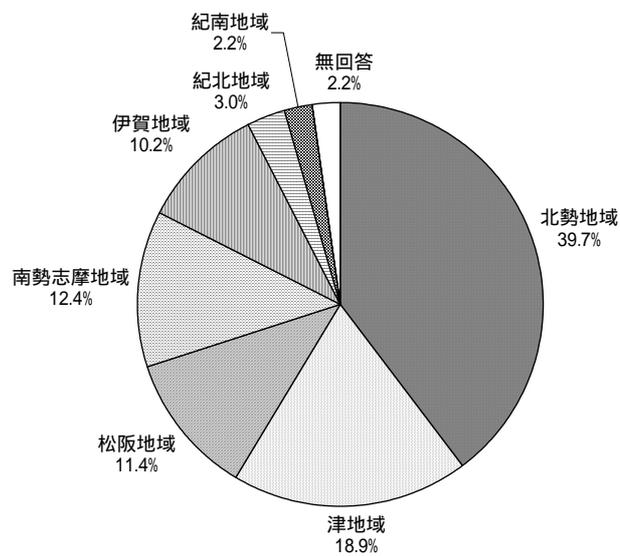


問 22 事業所の所在地はどちらですか。（ は1つ）

「北勢地域」が約40%と最も高く、以下、「津地域」が約19%、「南勢志摩地域」が約12%、「松阪地域」が約11%、「伊賀地域」が約10%となっている。

図表 III-37 所在地

選択肢	件数	割合(%)
1 北勢地域	412	39.7
2 津地域	196	18.9
3 松阪地域	118	11.4
4 南勢志摩地域	129	12.4
5 伊賀地域	106	10.2
6 紀北地域	31	3.0
7 紀南地域	23	2.2
無回答	24	2.2
全体	1039	100.0



### (3) 自由記入

#### 1 発生・排出抑制等

スーパー、コンビニ等かなりの量を廃棄していると聞きます。こうした大手流通業へのコスト負担、又、メーカー側への料金化をしなければ、川下側では限界がある。(四日市市/不動産業)

プラスチックの皿やスチロールの受け皿等、不必要な物が多く、かさ上げの見栄えのよいものが多過ぎ、商品より先に包装に手がかかりすぎるからゴミが多くなると思う。(伊勢市/食品製造業)

飲料系などのゴミが、めだってゴミ化して気になります。購入時に料金に加え、不用になったら、返金するシステムはどうでしょうか。業者も売れば、後は、ノータッチではどうか!! 当社もハンガー代を一時お預かりし、返却時に返金するシステムをとっております(ハンガーは洗浄後、リサイクルで使用しております)。個人の道德心を、早くから家庭、学校等で指導することも必要でしょう。(伊勢市/サービス業)

小さな駄菓子屋でダンボールは子ども会へ出し自販機の缶等は業者が処理しておりごみとして出すものはありません。(津市/-)

商品包装の簡素化。商品配送の合理化。(津市/食品製造業)

少しでもゴミが減るより、入荷する商品の包装を簡素化するなど対処すべき点が多々あります。(津市/小売業)

事務書類に無駄が大変多くみられます。(広告、事務書類の案内文、封筒、FAX、広告等。)(尾鷲市/小売業)

書道教室をしています。墨液の空容器を減らすため中身の墨液を古い容器につめ替えたりする工夫や添削済みの半紙の再利用等でゴミを少なくしています。ごみゼロ社会にするためには子供達の教育に力を入れてほしいと思います。これからの時代は子供たちの意識によって大きく変わるような気がします。(伊勢市/教育・学習支援)

あまり段ボールの中に無駄な詰めものをしたり、新しい段ボールを使わないこと、お古で何度でも使用して送ったり、送られたりするといいと思います。(四日市市/小売業)

できるだけ、リサイクルするためにゴミの分別が必要。分別したゴミの回収システムができていないように思う。(久居市/運輸業)

ISO14001 を将来的には取得してこの中で取り組んでいきたい。分別 リサイクルの認識と実施が更に急務では。(明和町/その他製造業)

会社で出る紙をシュレッダーにかけることなく、印刷面を白紙に戻して、再利用できるインクの開発ができたらいいと思います。(松阪市/サービス業)

事業系一般廃棄物を家庭用廃棄物と一緒に市の方で回収して頂きたい。(桑名市/食品製造業)

市町村も中小企業のゴミを有料でいいから回収してほしい。回収業者は業者によって料金がちがいきすぎる。現状ではどの業者がいいのか判断がつきにくい。(菰野町/その他製造業)

事業体としてごみゼロ社会に挑戦中です。一般廃棄物の削減に数年間取り組んでいるが、分別の徹底化によりリサイクル率が向上しゼロエミッション達成ができましたが更なる改善には壁にあたっている。(松阪市/電気・ガス・熱供給・水道業)

近年、得意先にてグリーン調達、環境問題が言われる様になり、対応に追われています。産廃、一般廃棄物の区別がむずかしく困っているのが正直なところです。何か良い方法があれば教えて下さい。(伊賀市/その他製造業)

処理業者の問題:重量、容量とまちまちである。どちらか一方に統一できないか。市は重量、業者は有利

な方を選択している。(鈴鹿市/その他製造業)

処理業者がちゃんと分別してリサイクルしてくれているのが心配。(久居市/-)

最終廃棄業者がいつになっても問題をおこしている現状を知る時、排出事業所までの関連で問題解決をしていかないと根本的解決にならない。環境・経済・健康(安全)がすべて善循環する技術とシステムをつくらないとごみゼロ社会は構築できない。新しい技術とシステムの開発に真剣に取り組んで欲しい。(津市/農林漁業)

努力はしているのですが、いいアイデアが浮かびません。成功例など教えていただければありがたいです。(津市/医療・福祉)

市町村の処理場での項目毎のリサイクル内容及びおおよそのリサイクル率をホームページで見れるようにしていただきたい。(津市/電気・ガス・熱供給・水道業)

リサイクル化を進めていくため、業者情報やリサイクル化の案などの情報があればご提供いただけると大変ありがたく思います。(菰野町/その他製造業)

ごみの処理にかかる費用、処分場の現状等をもう少し判り易く大きく取上げていく必要があるのではないかと。(伊勢市/その他製造業)

小さな事業所に対する処理方法等のアドバイス規定等ハッキリ情報が欲しいと思います！(嬉野町/サービス業)

これからも成功事例等情報をお願いします。(四日市市/金融・保険業)

## 2 意識・モラル等

同じ職場の人でも、過去の経験などから、一人一人における環境美化意識が異なるので、そのあたりの改善から進めないと、ごみゼロ社会なんて作れないと思います。(勢和村/公務)

最初のごみ箱が無くなったり、分別のごみ箱が設置され大変とまどいがありましたくなれてきますとゴミをゼロにする楽しみができ事務所でも家庭でも環境のために努力するようになってきました。(松阪市/サービス業)

事業所でも家庭でも男性がもっとゴミについて考え理解し協力しないとごみゼロ社会はむづかしいと思う。男性の中にはタバコのすいがらや空缶はゴミと認識していない人がいるようだ。(道路へのポイ捨てがその理由)『自分ひとりくらいは』という考えの人が多すぎる。！！(伊勢市/その他製造業)

廃棄物処理業者に依頼する程、廃棄物は多く出ないので心配していないが特定化学物質等の問題が気になる。社員のモラルの問題だが家庭では可燃物やプラスチック分別ができていたが会社に来ると、“誰かがやってくれるだろう”という気持ちが働いてきっちりやれていないのが実状です。ごみゼロ社会はなかなか難しい。(桑名市/その他製造業)

入院患者様へのお見舞いに見える方の飲食物のゴミの持ち込みや退院患者様の退院時における一般ゴミ等の処理が多くなるもので行政当局よりの今後の指導等についてもよろしく願いたい。(松阪市/医療・福祉)

一般市民に対する意識づけがさらに大切。(病院での事業系ゴミは減量しつつあるものの、患者や見舞客など外部の人たちが排出するゴミが多い。(亀山市/医療・福祉)

ごみゼロ社会をつくることには賛成であるが、具体的に行政としてどのように取り組みをしているのか判らない。基本的には排出元が処理するとは思いますが分別した廃棄物の再生事業者の紹介等を考えてほしい。(四日市市/その他製造業)

購入する段階で長く使用できるものを選ぶ。茶等は水筒持参するようにする。(久居市/その他)

各事業所において社員等のゴミ意識の強化減量及社内は云うに及ばず地域の美化に関心を持つ様育成教育が必要と思う。(三雲町/その他)

行政だけに任せず各事業所あるいは各個人が増え続けるゴミを身近な問題として考え、これからの社会生活の中で環境破壊が重大な影響をもたらすことを意識しながらゴミの減量化に取り組みたい。(津市/宿泊業)

本社で ISO14001 を取得しており、本件テーマについては、よく認識している。社員にも周知を図っている。(川越町/サービス業)

閉店後に無断で分別なしの生ゴミ、缶その他のゴミの投棄で大変困っています。(四日市市/小売業)

当テナントのゴミ集積所には飲食店も入っており、そこから出る生ゴミに悩まされています。いつも私の会社の社員が後片付けをしています。生ゴミをよく出す事業所、店舗に対する指導をしてほしい。(松阪市/サービス業)

事業所、駐車場内に家庭ゴミ、又は処理代有のゴミを捨てていく市民がいて、非常に困っている。どうすればいいものか？すべての費用は事業所持ち、自社で努力しても全体が努力してくれないとごみゼロはならない。(捨てられた物、タイヤ自転車、バッテリー、乾電池、包丁等)(桑名市/小売業)

他人が我家へむちゃむちゃに捨ててくので私が缶は缶ベツはラベルとふたをわけて中は水できれいに洗って出しています。(四日市市/小売業)

美しい清楚な仕事場は楽しい職場環境になる。(四日市市/建設業)

当社も、エコステージ(環境経営評価システム)の認証取得に取り組みはじめております。このシステムを活用して、事業活動にも結びつけていきたいと意気込んでいます。ごみを減らしていくことも、利益をいかに上げるかについても、アイデアをいかに出していくかによろ考えます。(東員町/その他製造業)

ごみゼロ社会をつくるには、まず、官公庁等が率先して取り組むべきと思います。また、ごみゼロに取り組んでいる企業には、何らかの税制面での優遇措置があってもよいのでは、と思います。(津市/金融・保険業)

## 2. 事業系ごみ組成調査

### (1) 調査の概要

#### ア 調査の目的

「ごみゼロ社会実現プラン」の策定に当たって、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、事業所から排出されるごみの組成等について調査した。

#### イ 調査対象

業種等を考慮して県内に所在する 2,550 件の事業所を無作為抽出し調査対象とした。

#### ウ 調査方法

郵送によりアンケート調査票を発送、回収し、得られた数値を集計、解析することで行った。

本調査結果は、事業所アンケート原票の問 11～問 13 を集計、分析することによって得たものである。

#### エ 調査期間

平成 16 年 11 月 12 日に調査票を発送し、11 月 30 日を投函期限として回収した。

投函期限直後に督促を行い、12 月 27 日到着分までを有効回答に含めた。

#### オ 回収状況

回収状況は次のとおりである。

有効発送数： 2,444 件（発送数：2,550 件 - 宛先不明等による返却数：106 件）

有効回収数： 1,039 件

有効回収率： 42.5%

業種ごとに見た調査票の回収状況は次のとおりである。

業種	発送数	回収数	単純回収率
農林漁業	80	46	57.5%
建設業	200	79	39.5%
製造業	600	259	43.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	80	30	37.5%
運輸・情報通信業	150	53	35.3%
卸売・小売業、飲食店	600	123	20.5%
金融・保険・不動産業	160	67	41.9%
サービス業	600	264	44.0%
その他	80	54	-
無回答	-	64	-
合計	2,550	1,039	40.7%

「単純回収率」は、業種別に見た発送数に対する回収数の割合

「サービス業」は、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業を含む。

「その他」は、公務を含む。「発送数」は、公務のみ

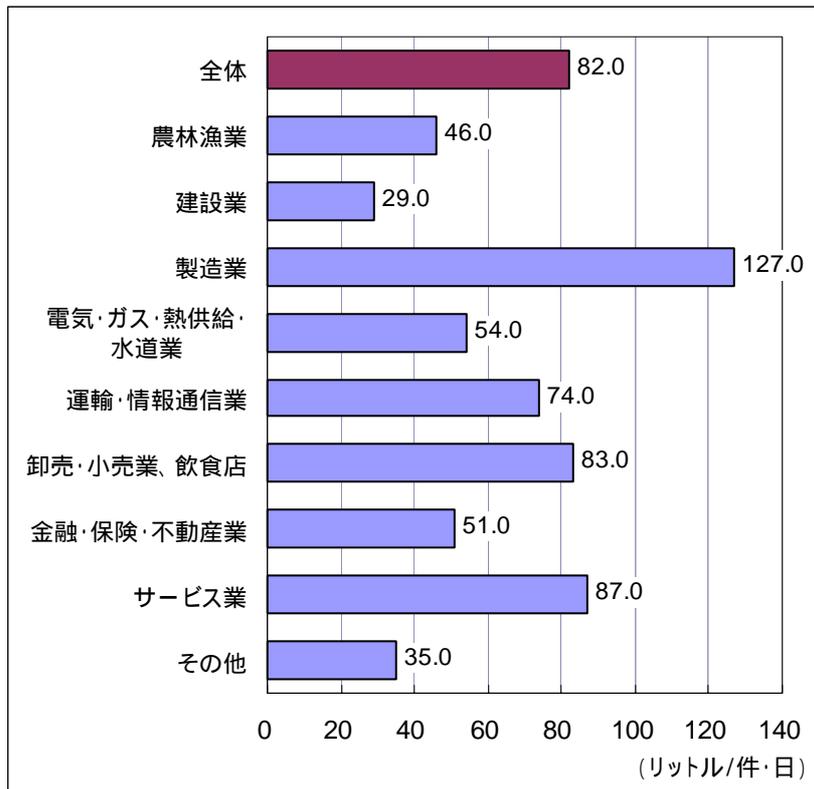
(2) 調査結果

ア ごみとしての排出量

(ア) 業種別ごみ排出量

図表 III-38 業種別 1 社 1 日当たりごみ排出量 (容積)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
厨芥類等	15.0	5.0	4.0	15.0	4.0	14.0	29.0	5.0	20.0	7.0
紙類	45.0	34.0	14.0	70.0	41.0	40.0	33.0	42.0	43.0	22.0
繊維類	2.0	1.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
プラスチック類	12.0	4.0	7.0	20.0	8.0	13.0	12.0	3.0	12.0	5.0
金属類	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	3.0	4.0	1.0	4.0	1.0
びん類	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	2.0	0.0	2.0	0.0
その他	5.0	0.0	3.0	13.0	0.0	3.0	3.0	0.0	5.0	0.0
合計	82.0	46.0	29.0	127.0	54.0	74.0	83.0	51.0	87.0	35.0

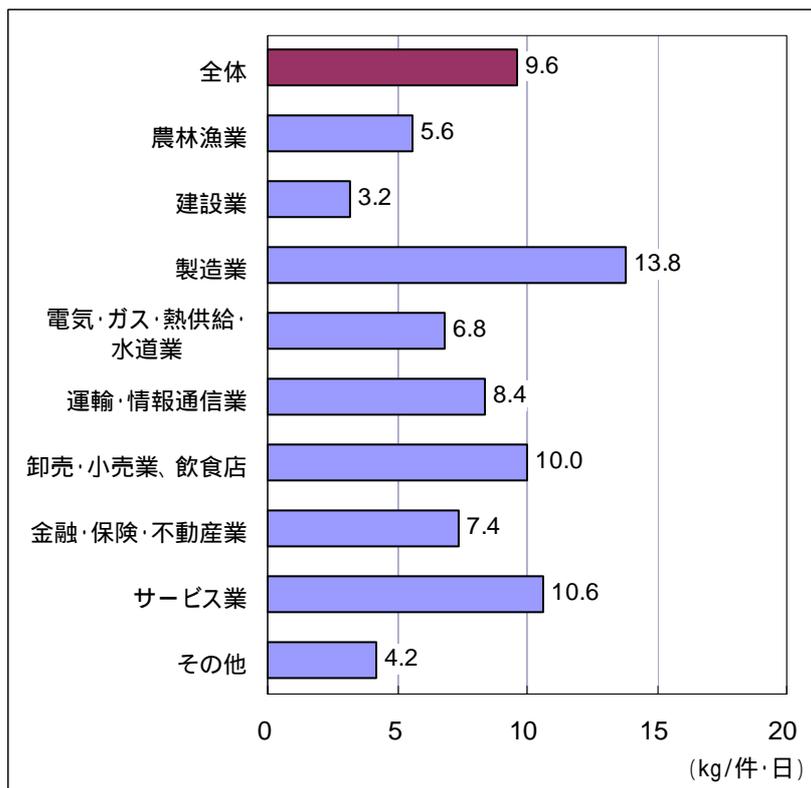


「サービス業」は宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業を含む。「その他」は公務を含む。以下同様

図表 III-39 業種別 1 社 1 日当たりごみ排出量(重量)

(kg/件・日)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
厨芥類等	2.1	0.7	0.5	2.0	0.7	1.9	4.3	0.7	2.9	0.9
紙類	5.3	4.1	1.7	7.6	5.4	4.9	3.7	6.3	5.2	2.8
繊維類	0.3	0.2	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
プラスチック類	0.8	0.3	0.4	1.4	0.5	0.8	0.7	0.2	0.8	0.3
金属類	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.4	0.1	0.4	0.1
びん類	0.4	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2	0.6	0.1	0.6	0.1
その他	0.5	0.0	0.3	1.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.5	0.0
合計	9.6	5.6	3.2	13.8	6.8	8.4	10.0	7.4	10.6	4.2

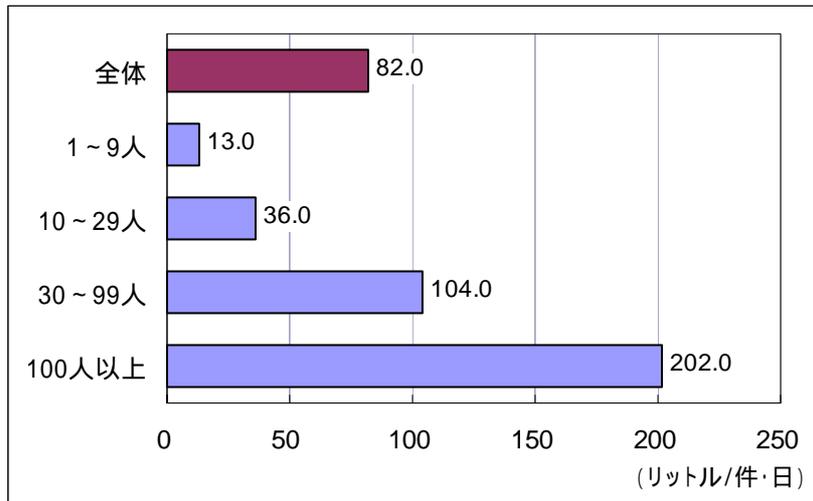


(イ) 従業員規模別ごみ排出量

図表 III-40 従業員規模別 1 社 1 日当たりごみ排出量(容積)

(リットル/件・日)

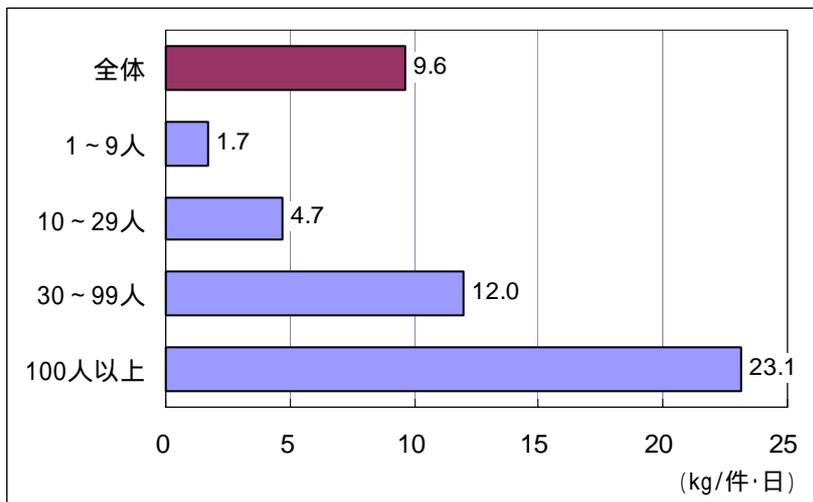
	全体	1～9人	10～29人	30～99人	100人以上
厨芥類等	15.0	4.0	8.0	22.0	30.0
紙類	45.0	6.0	18.0	47.0	119.0
繊維類	2.0	0.0	0.0	2.0	6.0
プラスチック類	12.0	1.0	5.0	17.0	30.0
金属類	2.0	1.0	2.0	4.0	4.0
びん類	1.0	0.0	1.0	2.0	2.0
その他	5.0	1.0	2.0	10.0	11.0
合計	82.0	13.0	36.0	104.0	202.0



図表 III-41 従業員規模別 1 社 1 日当たりごみ排出量(重量)

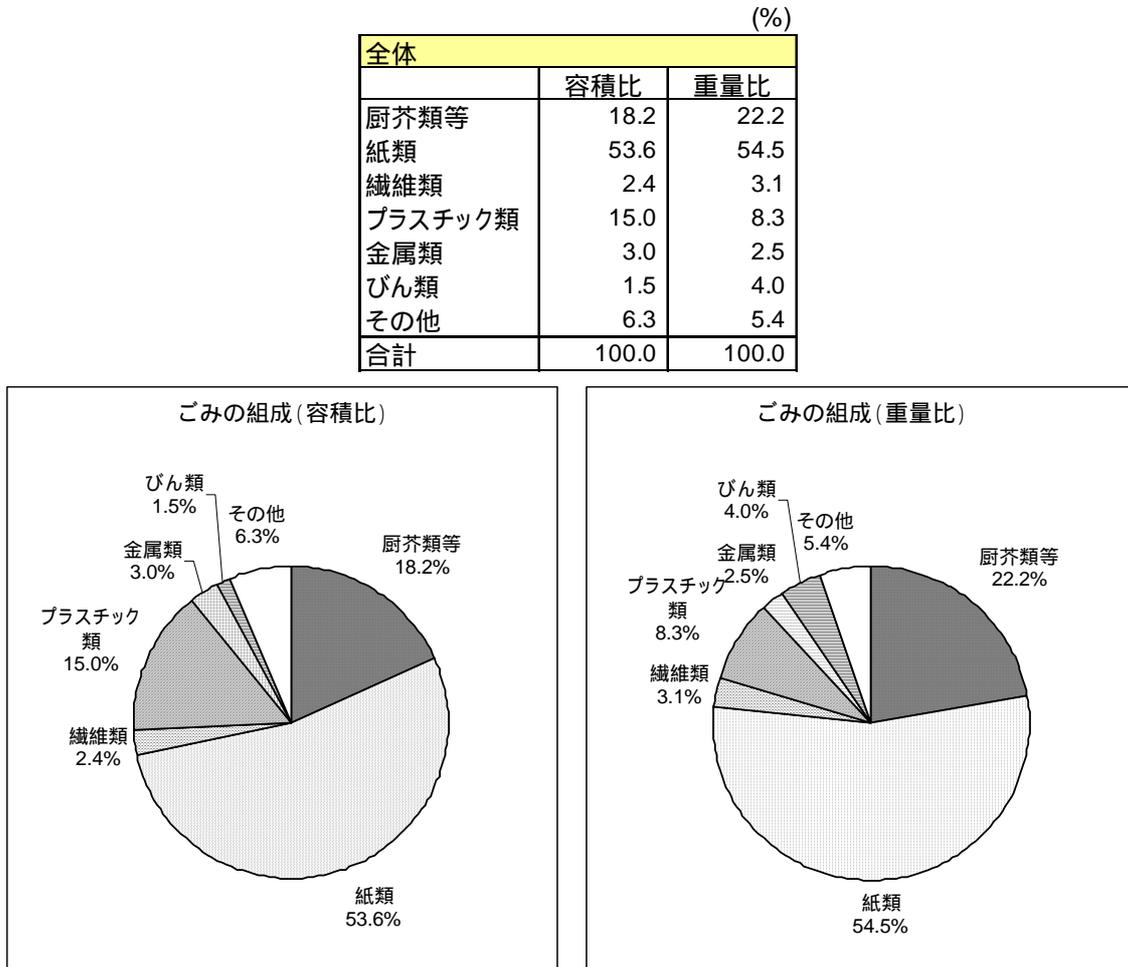
(kg/件・日)

	全体	1~9人	10~29人	30~99人	100人以上
厨芥類等	2.1	0.5	1.2	3.2	4.3
紙類	5.3	0.8	2.5	5.5	13.7
繊維類	0.3	0.0	0.0	0.3	0.9
プラスチック類	0.8	0.1	0.3	1.1	2.0
金属類	0.2	0.1	0.2	0.4	0.4
びん類	0.4	0.1	0.3	0.5	0.7
その他	0.5	0.1	0.2	1.0	1.1
合計	9.6	1.7	4.7	12.0	23.1



イ ごみの組成

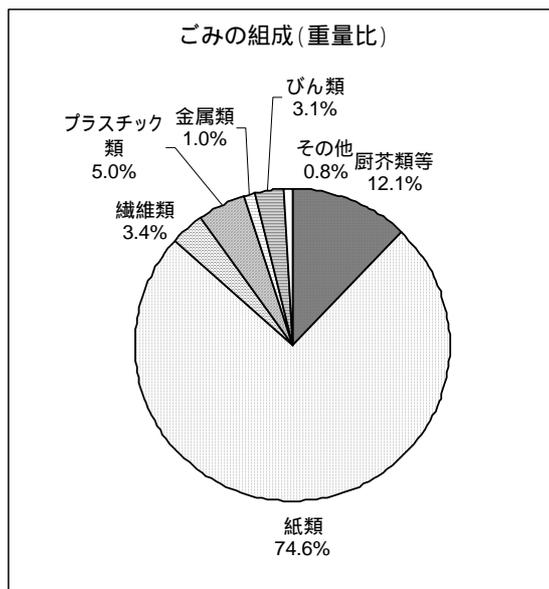
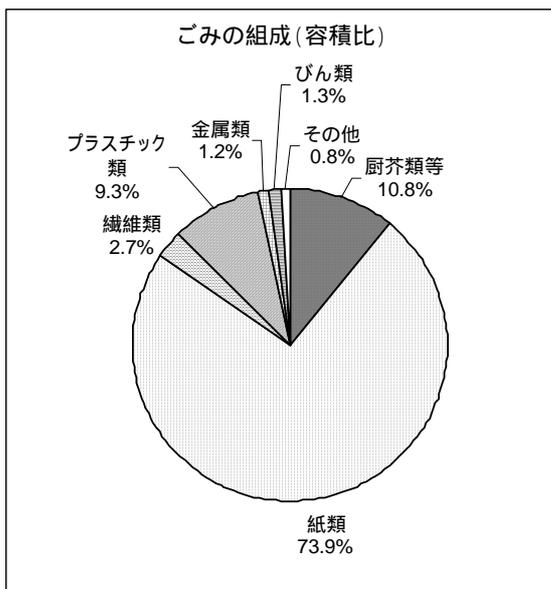
図表 III-42 ごみの組成(全体平均)



図表 III-43 ごみの組成(農林漁業)

(%)

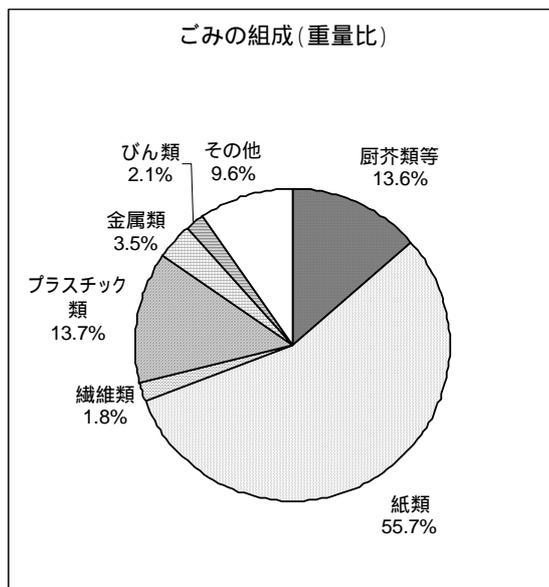
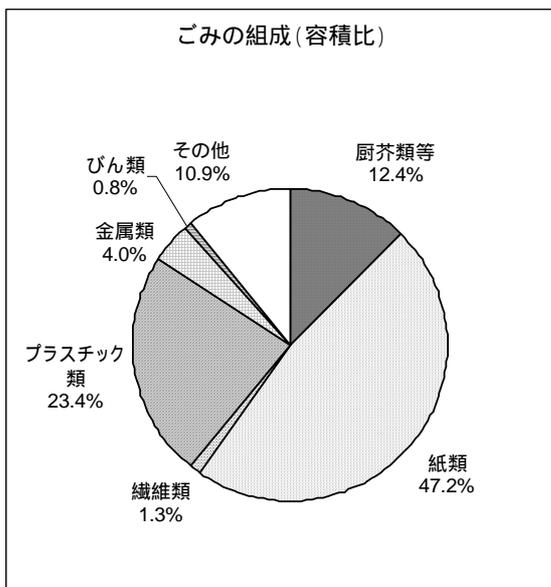
農林漁業		
	容積比	重量比
厨芥類等	10.8	12.1
紙類	73.9	74.6
繊維類	2.7	3.4
プラスチック類	9.3	5.0
金属類	1.2	1.0
びん類	1.3	3.1
その他	0.8	0.8
合計	100.0	100.0



図表 III-44 ごみの組成 (建設業)

(%)

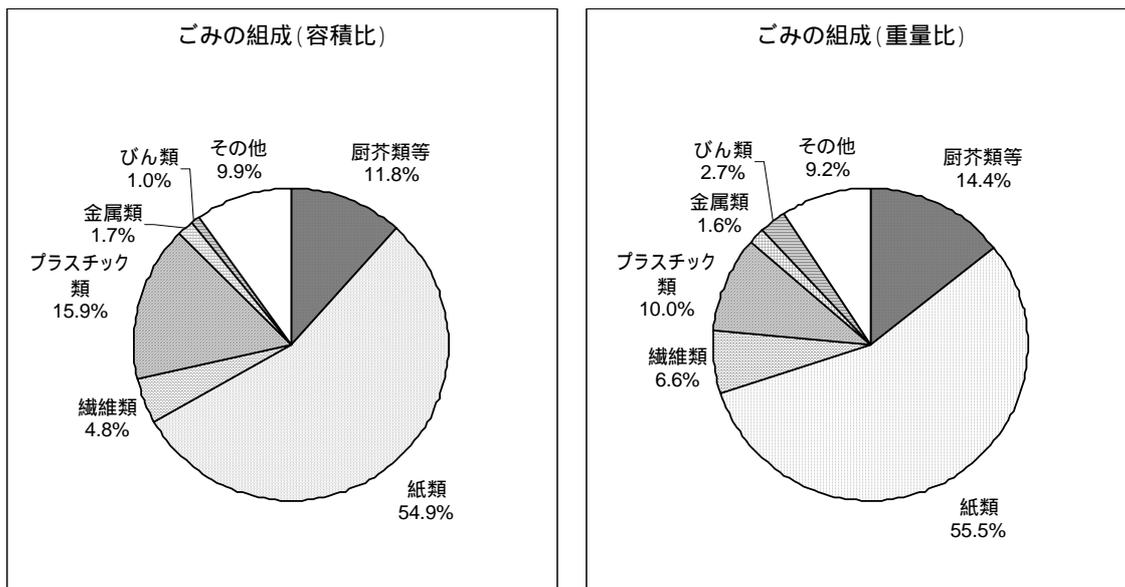
建設業		
	容積比	重量比
厨芥類等	12.4	13.6
紙類	47.2	55.7
繊維類	1.3	1.8
プラスチック類	23.4	13.7
金属類	4.0	3.5
びん類	0.8	2.1
その他	10.9	9.6
合計	100.0	100.0



図表 III-45 ごみの組成(製造業)

(%)

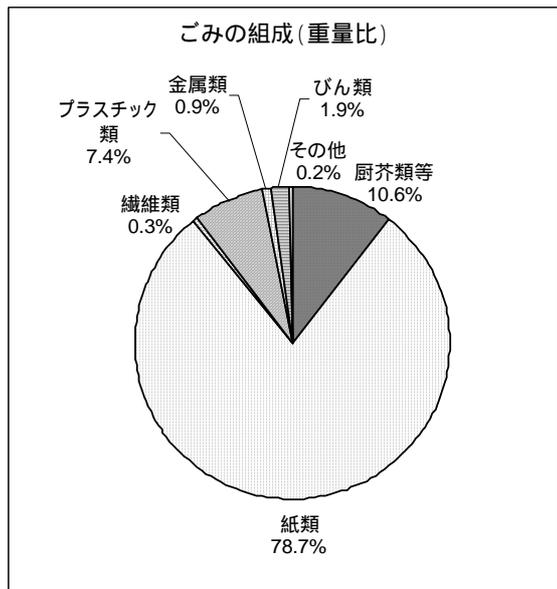
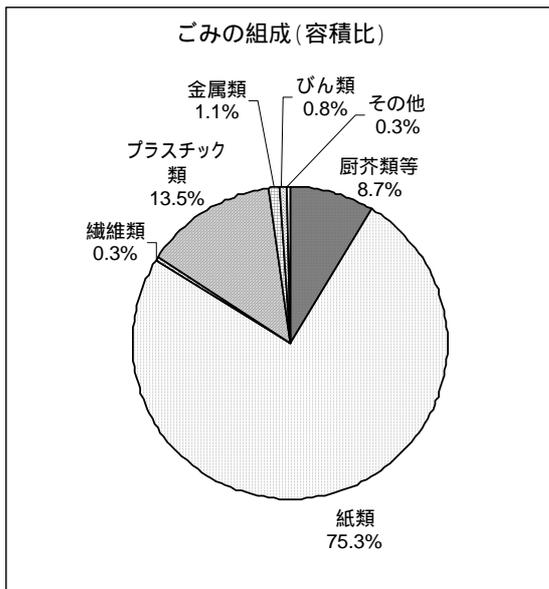
製造業		
	容積比	重量比
厨芥類等	11.8	14.4
紙類	54.9	55.5
繊維類	4.8	6.6
プラスチック類	15.9	10.0
金属類	1.7	1.6
びん類	1.0	2.7
その他	9.9	9.2
合計	100.0	100.0



図表 III-46 ごみの組成(電気・ガス・熱供給・水道業)

(%)

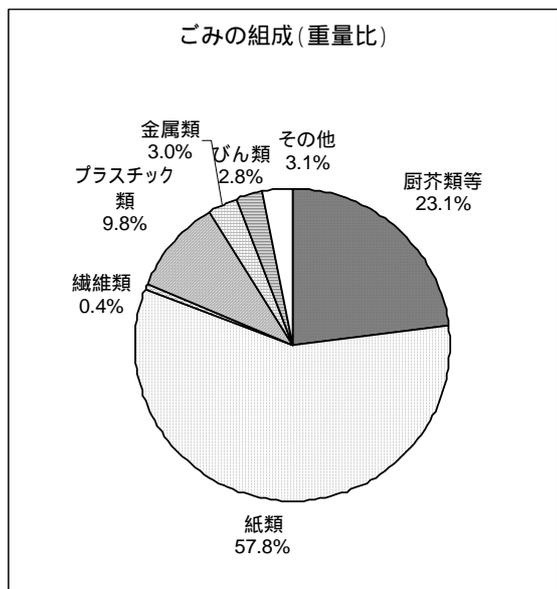
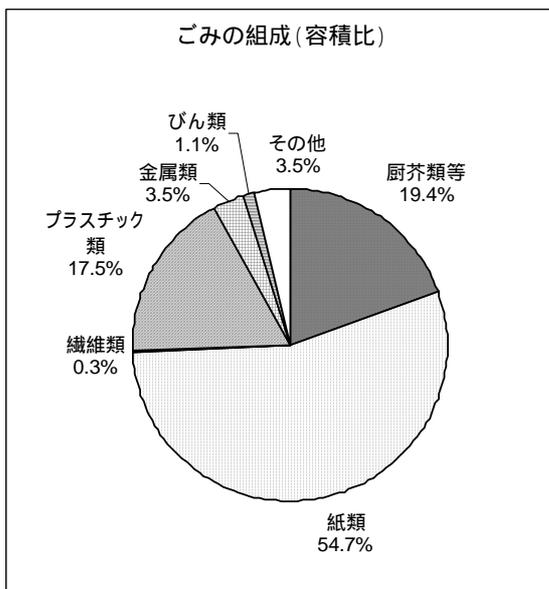
電気・ガス・熱供給・水道業		
	容積比	重量比
厨芥類等	8.7	10.6
紙類	75.3	78.7
繊維類	0.3	0.3
プラスチック類	13.5	7.4
金属類	1.1	0.9
びん類	0.8	1.9
その他	0.3	0.2
合計	100.0	100.0



図表 III-47 ごみの組成 (運輸・情報通信業)

(%)

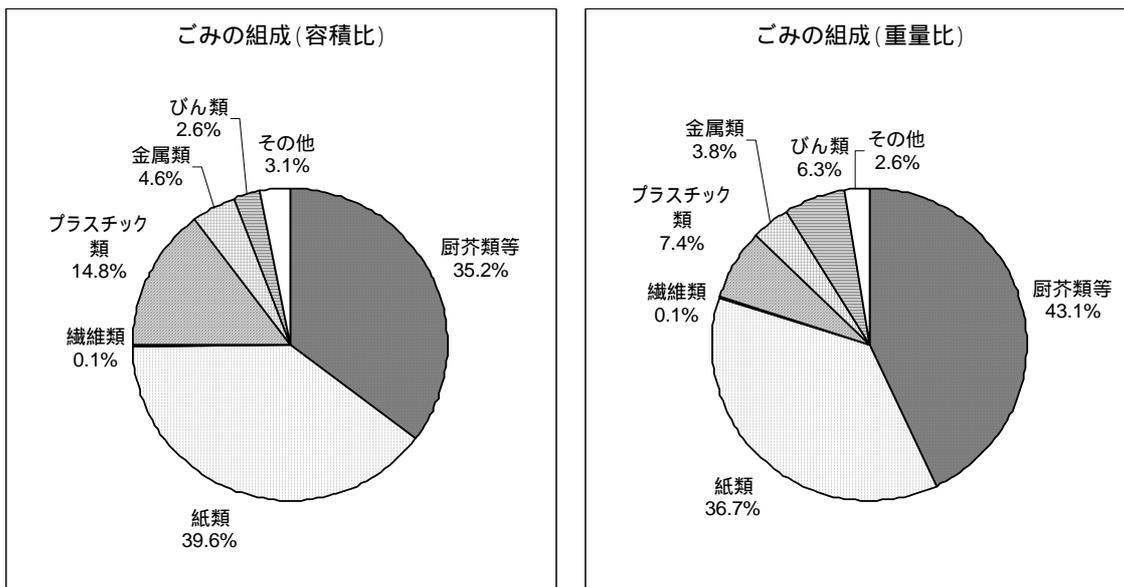
運輸・情報通信業		
	容積比	重量比
厨芥類等	19.4	23.1
紙類	54.7	57.8
繊維類	0.3	0.4
プラスチック類	17.5	9.8
金属類	3.5	3.0
びん類	1.1	2.8
その他	3.5	3.1
合計	100.0	100.0



図表 III-48 ごみの組成(卸売・小売業、飲食店)

(%)

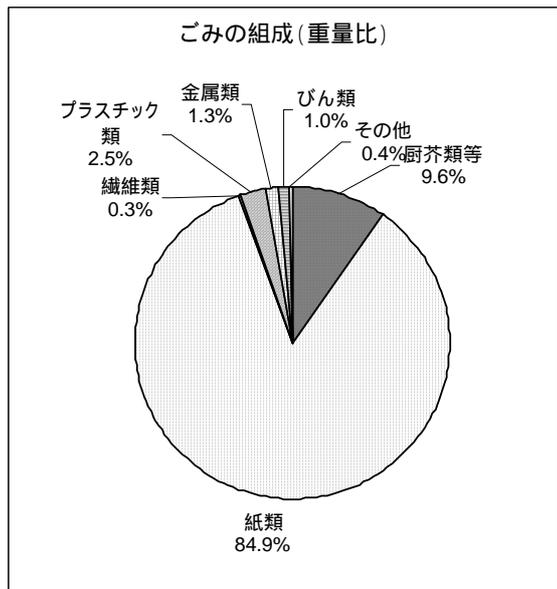
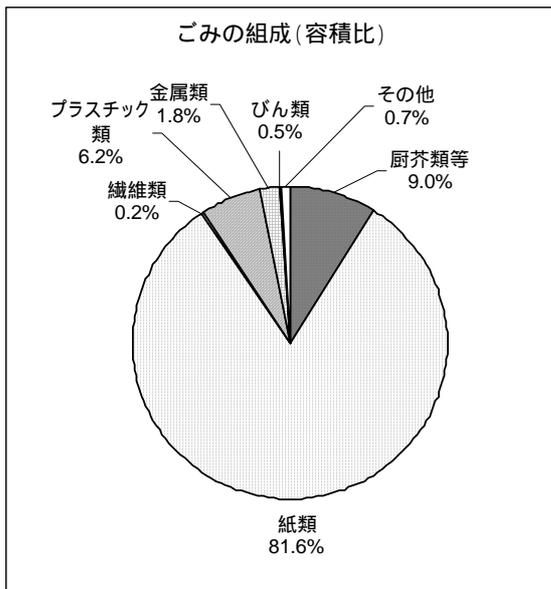
卸売・小売業、飲食店		
	容積比	重量比
厨芥類等	35.2	43.1
紙類	39.6	36.7
繊維類	0.1	0.1
プラスチック類	14.8	7.4
金属類	4.6	3.8
びん類	2.6	6.3
その他	3.1	2.6
合計	100.0	100.0



図表 III-49 ごみの組成(金融・保険・不動産業)

(%)

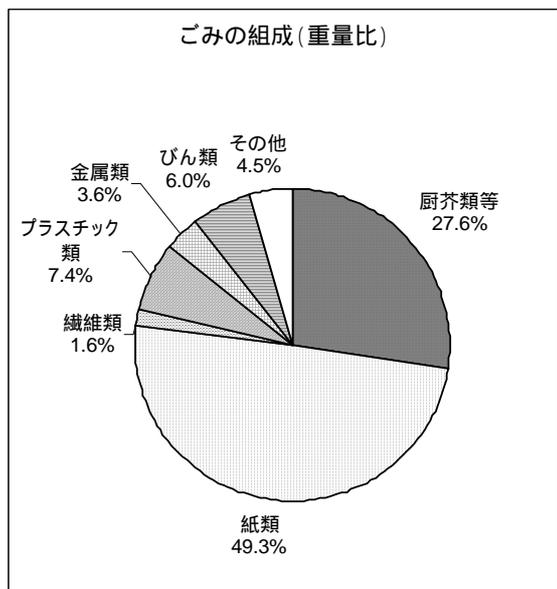
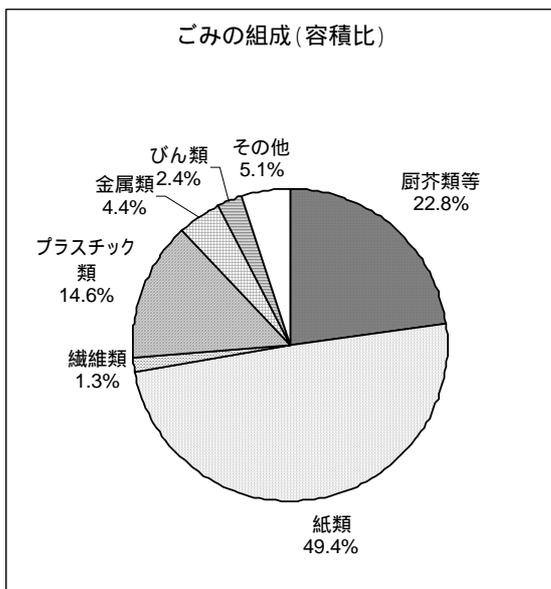
金融・保険・不動産業		
	容積比	重量比
厨芥類等	9.0	9.6
紙類	81.6	84.9
繊維類	0.2	0.3
プラスチック類	6.2	2.5
金属類	1.8	1.3
びん類	0.5	1.0
その他	0.7	0.4
合計	100.0	100.0



図表 III-50 ごみの組成 (サービス業)

(%)

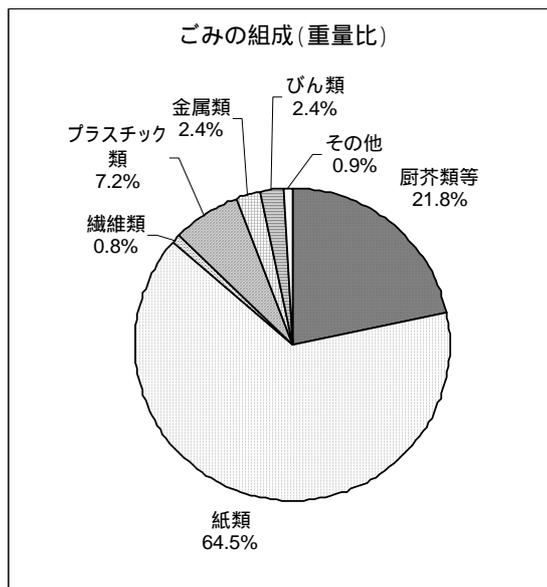
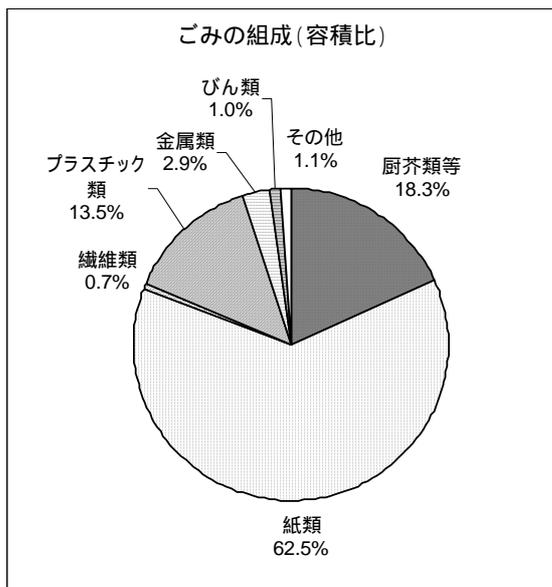
サービス業		
	容積比	重量比
厨芥類等	22.8	27.6
紙類	49.4	49.3
繊維類	1.3	1.6
プラスチック類	14.6	7.4
金属類	4.4	3.6
びん類	2.4	6.0
その他	5.1	4.5
合計	100.0	100.0



図表 III-51 ごみの組成(その他)

(%)

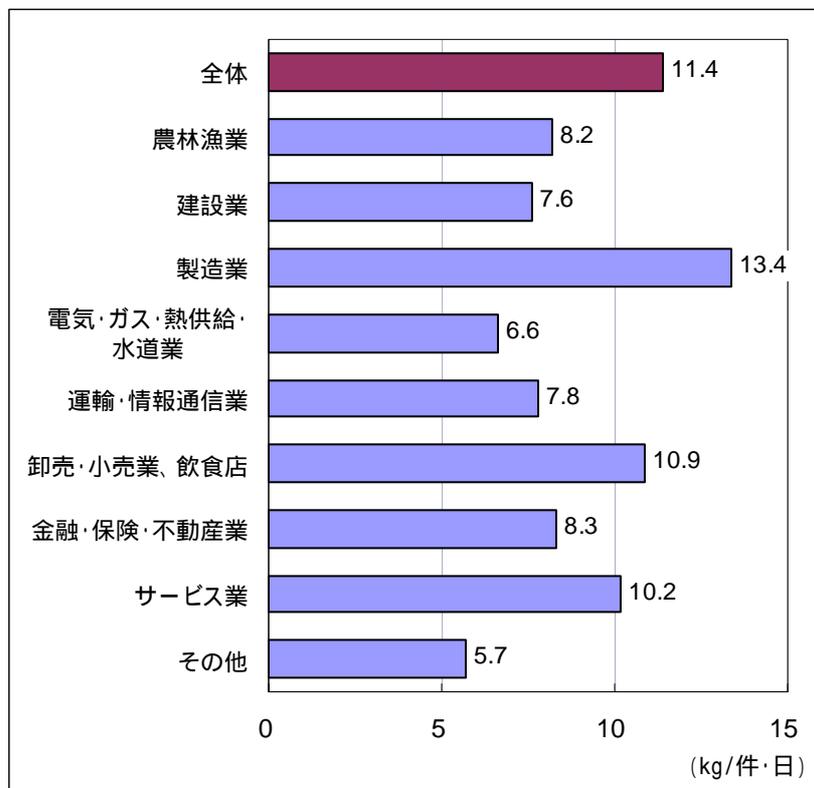
その他		
	容積比	重量比
厨芥類等	18.3	21.8
紙類	62.5	64.5
繊維類	0.7	0.8
プラスチック類	13.5	7.2
金属類	2.9	2.4
びん類	1.0	2.4
その他	1.1	0.9
合計	100.0	100.0



ウ 資源としての排出量

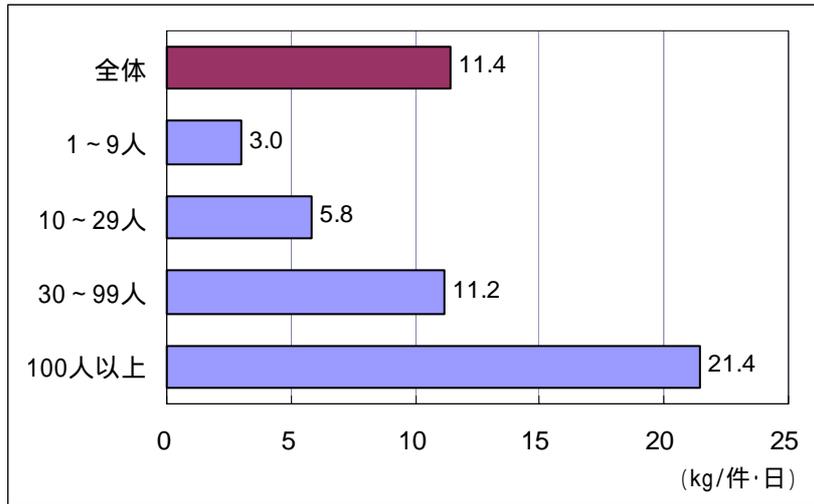
図表 III-52 業種別資源排出量(重量)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
厨芥類等	2.0	4.0	1.0	1.2	0.8	0.6	3.3	0.3	2.7	0.5
紙類	6.5	2.9	3.7	9.0	4.4	3.9	5.6	7.4	4.7	2.9
繊維類	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1
プラスチック類	1.2	0.9	2.1	1.4	0.4	0.5	0.7	0.3	0.8	0.9
金属類	0.9	0.2	0.5	1.0	0.6	1.3	0.7	0.2	1.0	1.0
びん類	0.5	0.2	0.3	0.3	0.4	1.5	0.5	0.1	0.8	0.3
合計	11.4	8.2	7.6	13.4	6.6	7.8	10.9	8.3	10.2	5.7



図表 III-53 従業員規模別資源排出量(重量)

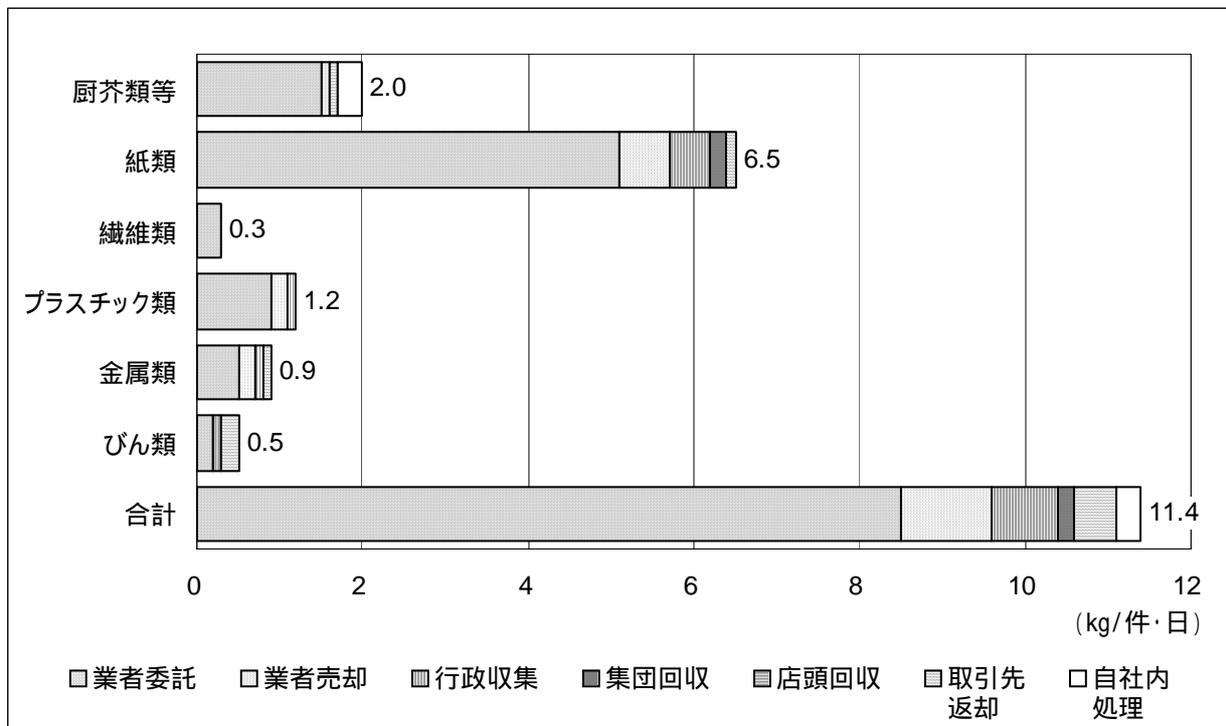
	全体	1~9人	10~29人	30~99人	100人以上
厨芥類等	2.0	0.8	0.9	1.9	3.6
紙類	6.5	1.0	3.4	5.8	13.4
繊維類	0.3	0.1	0.0	0.2	0.5
プラスチック類	1.2	0.6	0.5	1.0	1.9
金属類	0.9	0.3	0.5	1.6	1.2
びん類	0.5	0.2	0.5	0.7	0.8
合計	11.4	3.0	5.8	11.2	21.4



図表 III-54 処理方法別資源排出量(重量)

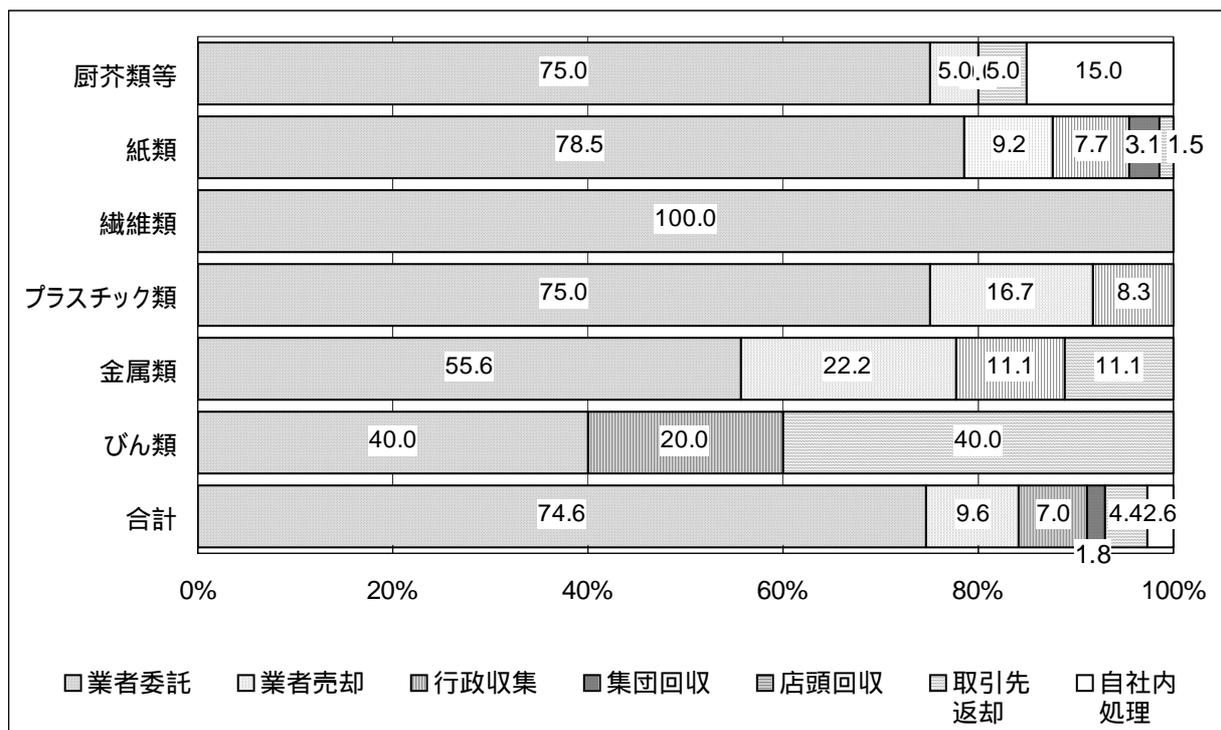
(kg/件・日)

	合計	業者委託	業者売却	行政収集	集団回収	店頭回収	取引先返却	自社内処理
厨芥類等	2.0	1.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3
紙類	6.5	5.1	0.6	0.5	0.2	0.0	0.1	0.0
繊維類	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
プラスチック類	1.2	0.9	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	0.9	0.5	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
びん類	0.5	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0
合計	11.4	8.5	1.1	0.8	0.2	0.0	0.5	0.3



図表 III-55 品目別処理方法割合

	合計	業者委託	業者売却	行政収集	集団回収	店頭回収	取引先返却	自社内処理
厨芥類等	100.0	75.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0
紙類	100.0	78.5	9.2	7.7	3.1	0.0	1.5	0.0
繊維類	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
プラスチック類	100.0	75.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	100.0	55.6	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
びん類	100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
合計	100.0	74.6	9.6	7.0	1.8	0.0	4.4	2.6



## エ 全県拡大推計

### (ア) 拡大推計方法

上記で推計した業種別 1 件(1 社) 1 日当たり排出量に県全体の業種別事業所数(平成 13 年事業所・企業統計調査)を乗じ、全県で 1 日当たりに排出されるごみ量を推計した。

### (イ) 県全体のごみ量

図表 III-56 県全体のごみ排出量(容積)

(キロリットル/日)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
事業所数	78,099	263	8,672	4,514	183	2,427	33,288	4,008	23,654	1,090
厨芥類等	1,605	1	35	68	1	34	965	20	473	8
紙類	2,859	9	121	316	8	97	1,099	168	1,017	24
繊維類	51	0	0	27	0	0	0	0	24	0
プラスチック類	885	1	61	90	1	32	399	12	284	5
金属類	258	0	9	9	0	7	133	4	95	1
びん類	121	0	0	5	0	2	67	0	47	0
その他	310	0	26	59	0	7	100	0	118	0
合計	6,089	11	252	574	10	179	2,763	204	2,058	38
排出比率(%)	100.0	0.2	4.1	9.4	0.2	2.9	45.4	3.4	33.8	0.6

図表 III-57 県全体のごみ排出量(重量)

(t/日)

	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・情報 通信業	卸売・小売 業、飲食店	金融・保険・ 不動産業	サービス 業	その他
事業所数	78,099	263	8,672	4,514	183	2,427	33,288	4,008	23,654	1,090
厨芥類等	234	0	4	9	0	5	143	3	69	1
紙類	337	1	15	34	1	12	123	25	123	3
繊維類	10	0	1	4	0	0	0	0	5	0
プラスチック類	54	0	3	6	0	2	23	1	19	0
金属類	25	0	1	1	0	1	13	0	9	0
びん類	37	0	1	2	0	0	20	0	14	0
その他	32	0	3	6	0	1	10	0	12	0
合計	729	1	28	62	1	21	332	29	251	4
排出比率(%)	100.0	0.1	3.8	8.5	0.1	2.9	45.5	4.0	34.4	0.7

### 3. アンケート調査原票

「ごみゼロ社会」をめざす事業所アンケート調査  
～事業系一般廃棄物の減量とリサイクルの推進に向けて～

#### ○はじめに

「環境の世紀」といわれる21世紀になり3年半が経過しました。この間、事業活動のさまざまな場面で「環境」や「エコ」が取り上げられるようになってきました。なかでも、増え続けるごみとその処理は、地球温暖化や資源の枯渇など、私たちの生活様式や事業活動のあり方に大きな問題を投げかけています。

三重県では現在、ごみを出さない暮らし方や事業活動によってごみを減らし、出されたごみは資源としてできるだけ利用する「ごみゼロ社会」を目指し、県民参画のもと「ごみゼロ社会実現プラン」を策定しています。

この調査は、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や、実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、県内事業者のみなさんに普段の取り組みや考えをお聴きするものです。

#### ○調査対象事業所

このアンケート調査は業種等を考慮して無作為に選んだ2,550件の事業所にお送りしています。

#### ○調査対象廃棄物

このアンケート調査では事業所から排出される廃棄物についていくつか設問しています。対象はあくまで「事業系一般廃棄物」であり、「産業廃棄物」は対象外となります。ご注意ください。

#### ○回答方法

回答はこの調査票に直接記入してください。

当てはまる番号を1つ選ぶもの、複数選ぶもの、文章で記入するものなどいろいろな問いがあります。設問をよく読んでお答えください。

#### ○回答の返送方法

同封の返信用封筒を使い、切手を貼らずまた名前を書かずに、平成16年11月30日(火)までに投函ください。

#### ○プライバシー

返送いただいた調査票はコンピュータを使って集計し、その結果を基礎資料として活用することになります。したがって、記入いただいた調査票をそのまま活用したり公表することは一切ありません。また、集計の段階で個々の事業所を特定することはありません。

なお、返信用封筒の郵便番号下に印刷してある番号、あるいは返送先下に印刷してあるバーコードはすべて、郵便局が返送先を判断する時に用いるもので、個人を特定するものではありません。

#### ○問合せ先

[調査内容について]

株式会社循環社会研究所 担当：勝畑（かつはた）、小山 電話 03-5363-0183



[三重県担当部署]

三重県環境森林部ごみゼロ推進室 電話 059-224-3126

◎ 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)の減量やリサイクルの取り組みについてお聞きします。

問1 あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか。(〇は1つ)

- 1 かなり取り組んでいる(⇒問2、問3へ)
- 2 ある程度取り組んでいる(⇒問2、問3へ)
- 3 あまり取り組んでいない(⇒問4へ)
- 4 全く取り組んでいない(⇒問4へ)

問2 (問1で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ) ごみ減量化に取り組む理由は何ですか。(〇は3つまで)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1 経費削減のため           | 2 社の宣伝やイメージアップのため |
| 3 企業としての社会的責任を果たすため | 4 法律の規制があるため      |
| 5 業界全体で取り組んでいるため    | 6 競合他社が取り組んでいるため  |
| 7 ごみの保管場所に困っているため   |                   |
| 8 その他(具体的に_____)    |                   |

問3 (問1で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ) あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか。(当てはまるすべてに〇)

- 1 ISO14001の認証取得等
- 2 ごみ箱の廃止、撤去(分別ボックス等の設置)
- 3 ごみ管理責任者の設置
- 4 生ごみの堆肥化
- 5 通函(通い箱)の活用など納入業者と協力した取り組み
- 6 ペーパーレス化の推進(コピー用紙等の削減)
- 7 自動販売機設置業者等による容器(空き缶等)の引き取り
- 8 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

問4 (問1で「3 あまり取り組んでいない」「4 全く取り組んでいない」と答えた方のみ) あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか。(〇は3つまで)

- 1 ごみ処理を一括契約しているため、ごみ量が減っても処理料金は変わらないため
- 2 もともと処理料金が安いので、ごみが減っても効果的な経費削減にはならないため
- 3 分別等に手間がかかり従業員の協力が得られないため
- 4 減らす努力をするほどごみが出ないため
- 5 ごみ減量化より事業優先のため
- 6 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

問5 あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？（〇は1つ）

- 1 事業所内で責任者や担当を決めて管理している
- 2 本社、本店で一括して管理している
- 3 処理委託先が管理も行っている
- 4 事業所が入っているテナント会社や建物管理会社が管理している
- 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

◎ あなたの事業所から出る事業系ごみ(事業系一般廃棄物)についてお聞きします。

問6 あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？（〇は1つ）

- 1 処理費を支払って収集運搬業者に委託している（⇒問7～問9へ）
- 2 自ら市町村の処理施設に持ち込んでいる（⇒問11へ）
- 3 本社等で各事業所のごみを一括して処理している（⇒問11へ）
- 4 家庭ごみが出される地域のごみ集積所に出している（⇒問10へ）
- 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）（⇒問11へ）

問7 （問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）  
収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか。（〇は1つ）

- 1 週1回以下
- 2 週2回
- 3 週3回
- 4 週4回
- 5 週5回
- 6 週6回
- 7 その他(週\_\_\_\_\_回)

問8 （問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）  
あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか。（〇は1つ）

- 1 毎月千円未満
- 2 毎月千円～5千円未満
- 3 毎月5千円～1万円未満
- 4 毎月1万円～3万円未満
- 5 毎月3万円～5万円未満
- 6 毎月5万円～10万円未満
- 7 毎月10万円～30万円未満
- 8 毎月30万円以上（おおよそ\_\_\_\_\_万円）

問9 （問6で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）  
ごみの処理料金はどのように決めていますか？（〇は1つ）

- 1 実際に出したごみ袋の個数やごみの重さなどによって料金が決まるしくみになっている
- 2 一定量までは同額とし、それ以上はごみの量に応じて料金が決まるしくみになっている
- 3 出すごみの量に関係なく、まとめて「月いくら」「年いくら」などというように料金を決めている
- 4 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

問10 (問6で「4 地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ)  
 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか。  
 (○は2つまで)

- 1 事業に伴って出るごみが少ないため
- 2 量が少なく業者が取りに来てくれないため
- 3 業者に委託すると、ごみ処理にかかる経費負担が大きくなるため
- 4 家庭ごみと事業ごみの区分けに手間がかかるため
- 5 地域のごみ集積所に出しておけば、市町村が収集してくれるため
- 6 その他(具体的に )

問11 1週間あたりのごみ排出量はおおよそどのくらいですか？45リットルのごみ袋に換算して、その個数でお答えください。(○は1つ)

- 1 45リットルごみ袋でおおよそ1袋未満
- 2 45リットルごみ袋でおおよそ1、2袋
- 3 45リットルごみ袋でおおよそ3、4袋
- 4 45リットルごみ袋でおおよそ5、6袋
- 5 45リットルごみ袋でそれ以上(おおよそ\_\_\_\_\_袋)
- 6 ほとんど出ない (⇒問13へ)

問12 あなたの事業所が出しているごみの中にはどのようなものが含まれていますか。

1週間あたりの量について、次の品目ごとに容積比で記入してください。  
 なお、ここで言う新聞、ダンボールなどは資源として分別されずに、生ごみなどと一緒に混ぜたまま出されているものの量を言います。

品目	回答欄		記入例
	ごみの構成		
生ごみ・厨芥類		割	1 割
木・草類		割	割
新聞		割	割
ダンボール		割	割
雑誌・書籍		割	割
事務用紙(コピー用紙等)		割	6 割
その他紙類		割	2 割
布類・繊維類		割	割
空きびん		割	割
空き缶		割	割
ペットボトル		割	1 割
その他プラスチック類		割	割
その他		割	割
合計	10割		10割

【記入例の説明】

たとえば、事業所から出されたごみの中身が、シュレッダーしたコピー用紙が約6割、ちり紙や紙くずが約2割、出がらしのお茶や弁当の食残しが約1割、ペットボトルが約1割というときは、このように記入してください。合計が10割となるよう、ご注意ください。

◎ あなたの事業所が資源として分別しているものについてお聞きします。

問13 あなたの事業所が資源として分別し、リサイクルしているものについて、品目ごとに1週間当たりの排出量と処理方法を、記入例を参考に記入してください。

品目	1週間当たりの発生量の記入欄 (①か②のいずれかの欄に記入してください)		処理方法の記入欄
	①( )におおよその数を記入	②具体的に重さを記入	③選択肢から当てはまる番号1つに○
生ごみ・厨芥類	45リットルごみ袋( )袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
木・草類	45リットルごみ袋( )袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
新聞	朝刊( )部程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
ダンボール	みかん箱( )箱程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
雑誌・書籍	週刊誌( )冊程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
事務用紙(コピー用紙等)	A4判( )枚程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
その他紙類	45リットルごみ袋( )袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
布類・繊維類	45リットルごみ袋( )袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
空きびん	空きびん( )本程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
空き缶	空き缶( )本程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
ペットボトル	500mlサイズ( )本程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7
その他プラスチック類	45リットルごみ袋( )袋程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7

記入例①:生ごみ・厨芥類	45リットルごみ袋( )袋程度	30 kg/週	1 2 3 4 5 6 7
記入例②:新聞	朝刊( 20)部程度	kg/週	1 2 3 4 5 6 7

【記入例の説明】

- ① 資源として分別した生ごみは、1週間当たり約30kgで、自社の施設で堆肥化し、敷地内の植木、花壇に堆肥として活用している。
- ② 新聞は、1週間当たり約20部で、ある程度貯めてから古紙回収業者に売却している。

●処理方法の選択肢

- 業者等に有償または無償で引き渡している
- 業者等に売却している
- 家庭ごみが出される地域のごみ集積所に出している
- 子ども会等が行う集団回収に出している
- 小売店や販売店の店頭回収に出している
- 納入業者等に返却している
- 堆肥化するなど自社内で処理している

◎ 今後の方策や意向についてお聞きします。

問14 今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか。（当てはまるすべてに○）

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 生ごみ・厨芥類           | 2 木・草類         |
| 3 新聞                | 4 ダンボール        |
| 5 雑誌・書籍             | 6 事務用紙(コピー用紙等) |
| 7 その他紙類             | 8 布類・繊維類       |
| 9 空きびん              | 10 空き缶         |
| 11 ペットボトル           | 12 その他プラスチック類  |
| 13 その他（具体的に         | )              |
| 14 特に減らしたいと考えるごみはない |                |

問15 あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか。（○は1つ）

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| 1 すでに定めている                 | 2 現段階ではないが定める予定がある |
| 3 現段階では定めておらず、今後定めるかどうかは不明 |                    |

問16 あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たってどのような問題がありますか。（○は2つまで）

- |   |   |
|---|---|
| 1 どのようにすれば、ごみを減らしたり、リサイクルできるのか、その方法がわからない |   |
| 2 資源として分別しても、量が少ないため、リサイクルのシステムがつかれない     |   |
| 3 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)と産業廃棄物の区分が障害になっている       |   |
| 4 ごみを減らした分だけ、経費が削減できるしくみになっていない           |   |
| 5 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)のことがよくわからない              |   |
| 6 ごみの減量と事業が両立しない                          |   |
| 7 その他(具体的に                                | ) |

問17 ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？（○は3つまで）

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| 1 市町村の広報やパンフレットを通じて        | 2 市町村のホームページを通じて |
| 3 市町村等主催の説明会を通じて           | 4 市町村の訪問指導を通じて   |
| 5 新聞などマスコミを通じて             | 6 業界からの情報を通じて    |
| 7 商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて |                  |
| 8 処理業者からの情報を通じて            |                  |
| 9 その他（具体的に                 | )                |

問18 今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取り組みを検討するうえでぜひ欲しいと思う情報はありますか。(〇は3つまで)

- 
- 1 処理業者・資源回収業者に関する情報
  - 2 法律や条例等の規制に関する情報
  - 3 県や市町村が実施する環境関連事業に関する情報
  - 4 今後の政策など国や県等の動向に関する情報
  - 5 ごみ減量化やリサイクルに関する成功事例や失敗事例
  - 6 その他(具体的に\_\_\_\_\_)
  - 7 特に必要ない

◎ あなたの事業所についてお聞きします。

問19 あなたの事業所はどのような業種にあてはまりますか。(〇は1つ)

- 
- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1 農林漁業            | 2 建設業     |
| 3 食品製造業           | 4 その他の製造業 |
| 5 電気・ガス・熱供給・水道業   | 6 情報通信業   |
| 7 運輸業             | 8 卸売業     |
| 9 小売業             | 10 金融・保険業 |
| 11 不動産業           | 12 飲食店    |
| 13 宿泊業            | 14 医療、福祉  |
| 15 教育、学習支援業       | 16 サービス業  |
| 17 公務             |           |
| 18 その他(具体的に_____) |           |

問20 あなたの事業所はどのような建物形態ですか。(〇は1つ)

- 
- 1 事業所は独立した1つの建物となっている
  - 2 事業所はテナントビルや住宅用マンションの中に入居している
  - 3 事業所は自宅と兼用になっている
  - 4 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

問21 あなたの事業所の従業員は何名ですか。(〇は1つ)

- 
- |            |          |          |
|------------|----------|----------|
| 1 1~4人     | 2 5~9人   | 3 10~19人 |
| 4 20~29人   | 5 30~49人 | 6 50~99人 |
| 7 100~299人 | 8 300人以上 |          |

問22 事業所の所在地はどちらですか。(〇は1つ)

- |         |         |        |          |
|---------|---------|--------|----------|
| 1 津市    | 2 四日市市  | 3 伊勢市  | 4 松阪市    |
| 5 桑名市   | 6 伊賀市   | 7 鈴鹿市  | 8 名張市    |
| 9 尾鷲市   | 10 亀山市  | 11 鳥羽市 | 12 熊野市   |
| 13 久居市  | 14 いなべ市 | 15 志摩市 | 16 多度町   |
| 17 長島町  | 18 木曾岬町 | 19 東員町 | 20 菰野町   |
| 21 楠町   | 22 朝日町  | 23 川越町 | 24 関町    |
| 25 河芸町  | 26 芸濃町  | 27 美里村 | 28 安濃町   |
| 29 香良洲町 | 30 一志町  | 31 白山町 | 32 嬉野町   |
| 33 美杉村  | 34 三雲町  | 35 飯南町 | 36 飯高町   |
| 37 多気町  | 38 明和町  | 39 大台町 | 40 勢和村   |
| 41 宮川村  | 42 玉城町  | 43 二見町 | 44 小俣町   |
| 45 南勢町  | 46 南島町  | 47 大宮町 | 48 紀勢町   |
| 49 御菌村  | 50 大内山村 | 51 度会町 | 52 紀伊長島町 |
| 53 海山町  | 54 御浜町  | 55 紀宝町 | 56 紀和町   |
| 57 鵜殿村  |         |        |          |

●ごみゼロ社会をつくっていくにあたって、ご意見等あれば、自由にご記入ください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、どうもありがとうございました。

三重県のごみゼロホームページ (<http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomi0/zero/>) もぜひご覧ください。ホームページには、「ごみゼロ社会実現プラン」の策定状況などの情報を掲載しています。

## IV. 市町村ごみ処理状況調査

---



## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

「ごみゼロ社会実現プラン」の策定に当たって、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿や実現に向けた具体的な施策を検討する際の基礎資料とするため、市町村のごみ減量化に関する施策の実施状況や考え方について調査した。

### (2) 調査対象

県内全市町村を調査対象とした。

### (3) 調査方法

郵送によって調査票を発送、回収した。

### (4) 調査期間

平成 16 年 10 月 5 日に調査票を発送し、10 月 22 日を回答期限として回収した。

### (5) 回答状況

全市町村から回答を得た。なお、調査票発送直前の 10 月 1 日に合併した志摩市については、旧市町村単位での回答をお願いした。

## 2. 調査結果

### (1) 家庭系ごみの減量・リサイクル施策について

問1 次の品目について、該当する処理方法に を付けてください。

図表 58 品目別処理状況

市町村名	容リ法対象外						容リ法対象											
	生ごみ	せん定枝	新聞	雑誌	衣類 布類	プラスチック	紙パック	段ボール	その他紙製容器	ペットボトル	白色トレイ	その他プラスチック製容器	アルミ缶	スチール缶	生きびん	無色びん	茶色びん	その他びん
津市	1	1	4	4	4	2	4	4	4	3	3	3	4	4	3	3	3	3
四日市市	1	1	4	4	4	2	4	4	4	4	2	2	4	4	3	3	3	3
伊勢市	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3
松阪市	1	1	4	4	4	1,2	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4
桑名市	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
上野市	5	5	4	4	4	5	4	4	4	3	5	5	4	4	4	3	3	3
鈴鹿市	1	1	4	4	4	2	4	4	1	3	2	2	4	4	4	4	4	4
名張市	1	1	4	4	4	2	4	4	4	3	3	2	4	4	4	4	4	3
尾鷲市	1	1	4	4	4	1	4	4	1	3	3	1	4	4	3	3	3	3
亀山市	1	1	4	4	4	1	4	4	1	1,4	1,4	1	4	4	4	4	4	1
鳥羽市	1	1	4	4	1	2	4	4	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3
熊野市	1	1	4	4	4	1	4	4	4	4	4	1	4	4	4	4	4	4
久居市	1	1	4	4	4	2	4	4	4	3	3	3	4	4	4	3	3	3
いなべ市(旧員弁町)	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
いなべ市(旧北勢、藤原町)	1	4	4	4	4	1	4	4	4	3	4	1	4	4	4	4	4	4
いなべ市(旧大安町)	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	1	1	4	4	4	4	4	4
多度町	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
長島町	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
木曾岬町	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
東員町	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
菰野町	1	1	4	4	4	1	3	4	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3
楠町	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	1	1	4	4	4	4	4	4
朝日町	1	1	4	4	4	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	4	4
川越町	1	1	4	4	4	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	4	4
関町	1	1	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4
河芸町	1	1	4	4	4	2	1	4	1	3	3	3	4	4	3	3	3	3
芸濃町	1	1	4	4	1	2	4	4	4	3	3	3	4	4	3	3	3	3
美里村	1	1	4	4	1	2	4	4	1	3	3	3	4	4	3	3	3	3
安濃町	1	1	4	4	4	2	4	4	4	3	4	3	4	4	3	3	3	3
香良洲町	1	1	4	4	4	2	4	4	4	3	3	3	4	4	3	3	3	3
一志町	1	1	4	4	1	2	4	4	1	3	3	3	4	4	3	3	3	3
白山町	1	1	4	4	1	2	4	4	4	3	3	3	4	4	4	3	3	3
嬉野町	1	1	4	4	1	2	4	4	1	3	3	3	4	4	3	3	3	3
美杉村	1	1	4	4	4	2	1	4	1	3	3	3	4	4	3	3	3	3
三雲町	1	1	4	4	4	2	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3
飯南町	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4

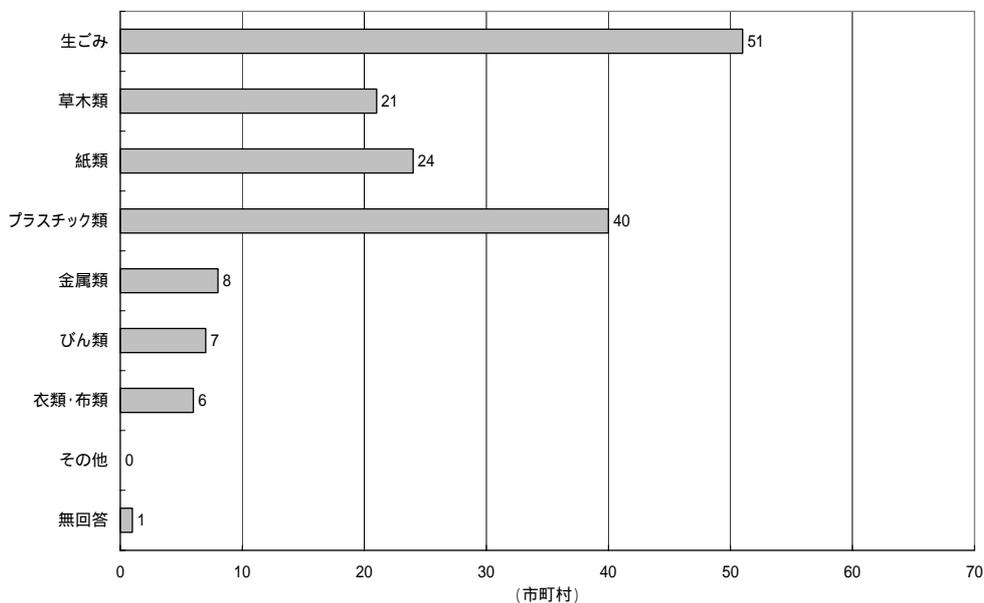
市町村名	容リ法対象外						容リ法対象											
	生ごみ	せん定枝	新聞	雑誌	衣類 布類	プラスチック	紙パック	段ボール	その他紙製容器	ペットボトル	白色トレイ	その他プラスチック製容器	アルミ缶	スチール缶	生きびん	無色びん	茶色びん	その他びん
飯高町	5	5	4	4	5	5	4	4	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4
多気町	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4
明和町	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3
大台町	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4
勢和村	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4
宮川村	5	5	4	4	5	5	4	4	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4
玉城町	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3
二見町	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3
小俣町	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3
南勢町	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	3	3	4	4	2	2	2	2
南島町	1	1	4	4	1	1	4	4	1	3	4	1	4	4	4	3	3	3
大宮町	5	5	4	4	5	5	5	4	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4
紀勢町	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4
御園村	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3
大内山村	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	4	4	4	4	4	4
度会町	1	1	4	4	4	1	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	3
伊賀町	5	5	4	4	4	5	4	4	5	3	5	5	4	4	4	3	3	3
鳥ヶ原村	5	5	4	4	4	5	4	4	5	3	5	5	4	4	4	3	3	3
阿山町	5	5	4	4	4	5	4	4	5	3	5	5	4	4	4	3	3	3
大山田村	5	5	4	4	4	5	4	4	4	3	5	5	4	4	3	3	3	3
青山町	1	1	4	4	4	2	4	4	4	3	3	2	4	4	4	4	4	3
浜島町	5	5	4	4	2	2	4	4	5	3	3	3	4	4	4	3	3	3
大王町	1	1	4	4	2	2	4	4	4	3	4	3	4	4	4	2	2	2
志摩町	1	1	4	4	1	2	4	4	1	4	3	3	4	4	4	2	2	2
阿児町	1	1	4	4	1	1	4	4	4	3	3	1	4	4	2	2	2	2
磯部町	1	1	4	4	1	2	4	4	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3
紀伊長島町	5	5	4	4	4	5	4	4	5	3	4	5	4	4	4	3	3	3
海山町	5	5	4	4	4	5	4	4	5	3	3	5	4	4	3	3	3	3
御浜町	5	5	4	4	4	2	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4
紀宝町	5	5	4	4	4	2	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4
紀和町	5	5	4	4	4	2	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4
鵜殿村	5	5	4	4	4	2	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4

1:焼却処理、2:埋立処分、3:容リ法ルートで資源化、4:その他ルートで資源化、5:RDF化

問2 家庭系ごみについて、今後重点的に減量・リサイクルに取り組むべきだと考える品目は、次のうちどれですか。（ は3つまで）

今後重点的に減量・リサイクルすべき家庭系ごみ品目は、「生ごみ」が51市町村と最も多く、「プラスチック類」も40市町村と多い。以下、「紙類」（24市町村）、「草木類」（21市町村）と続く。

図表 59 今後重点的に減量・リサイクルすべき家庭系ごみ品目

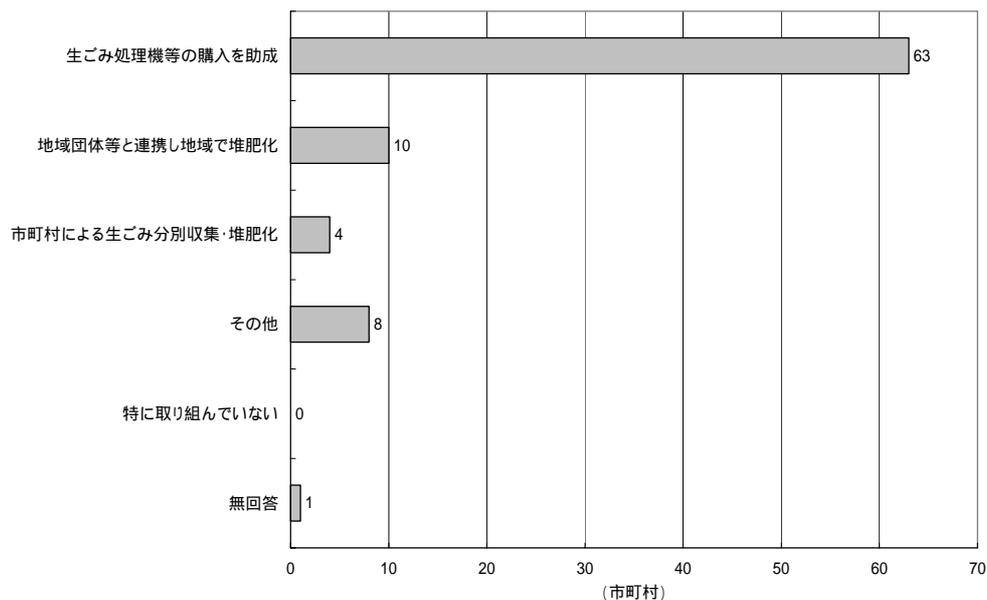


問3 生ごみの堆肥化についてお聞きします。

(1) 生ごみの堆肥化について、現在実施中の取り組みはありますか。（あてはまるすべてに ）

堆肥化の取り組みについては、「生ごみ処理機等の購入を助成」が63市町村と、ほとんどの市町村で生ごみ処理機等の助成が行われている。「地域団体等と連携し地域で堆肥化」も10市町村ある。

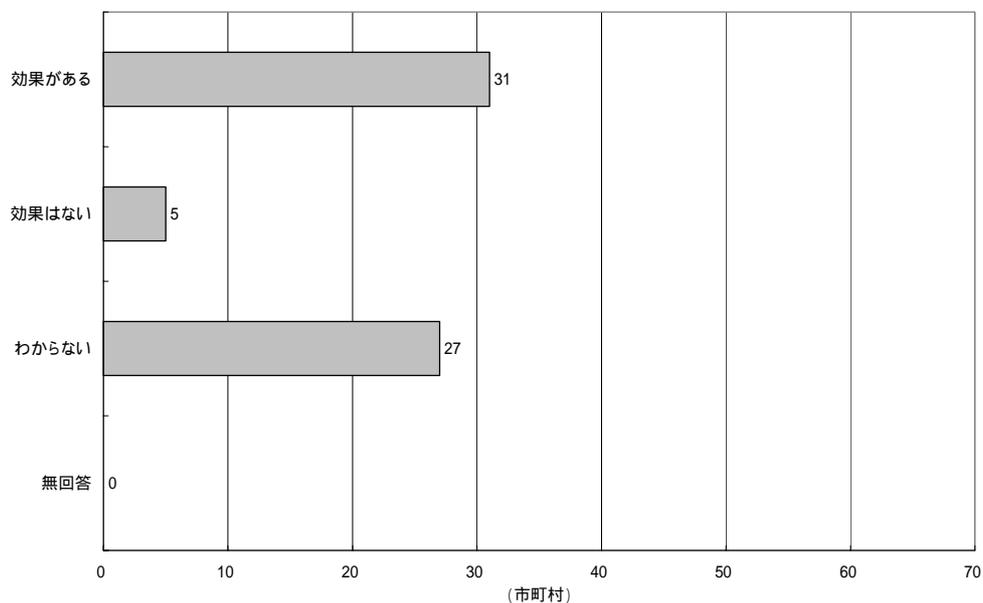
図表 60 堆肥化の取り組み



- (2) ((1)が「1 生ごみ処理機やコンポスト容器の購入助成をしている」場合のみ)  
これらの購入助成によるごみ減量の効果は見られますか。( は1つ)

購入助成に対する効果については、31 市町村が「効果がある」とし、5 市町村が「効果はない」としている。「わからない」も 27 市町村あり、効果検証がなされていない様子が見えてくる。

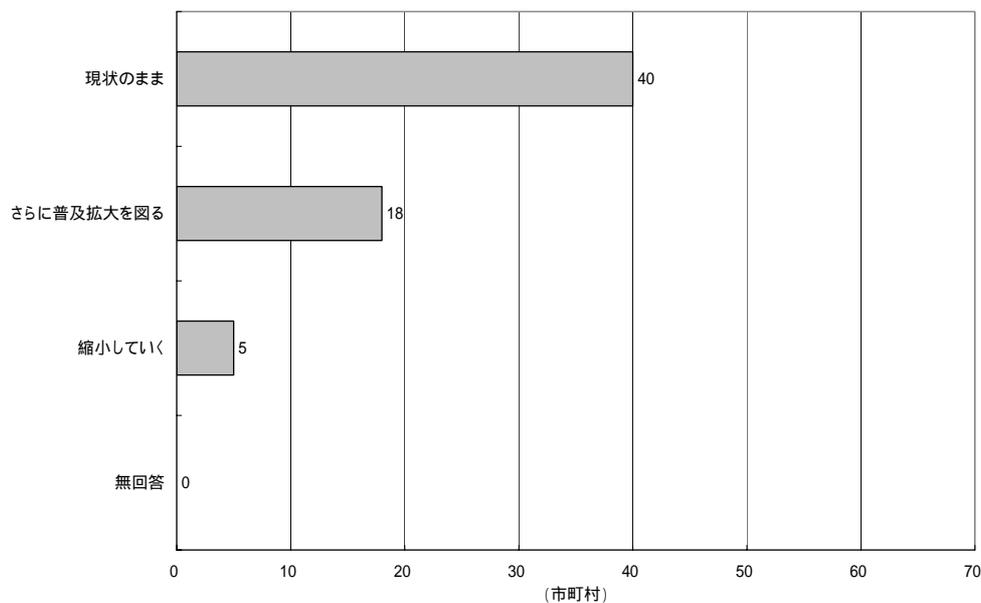
図表 61 購入助成に対する効果



- (3) ((1)が「1 生ごみ処理機やコンポスト容器の購入助成をしている」場合のみ)  
この購入助成について、今後どのようにお考えですか。( は1つ)

購入助成に対する今後の方針については、40 市町村が「現状のまま」、18 市町村が「さらに普及拡大を図る」とする一方、「縮小していく」は 5 市町村ある。

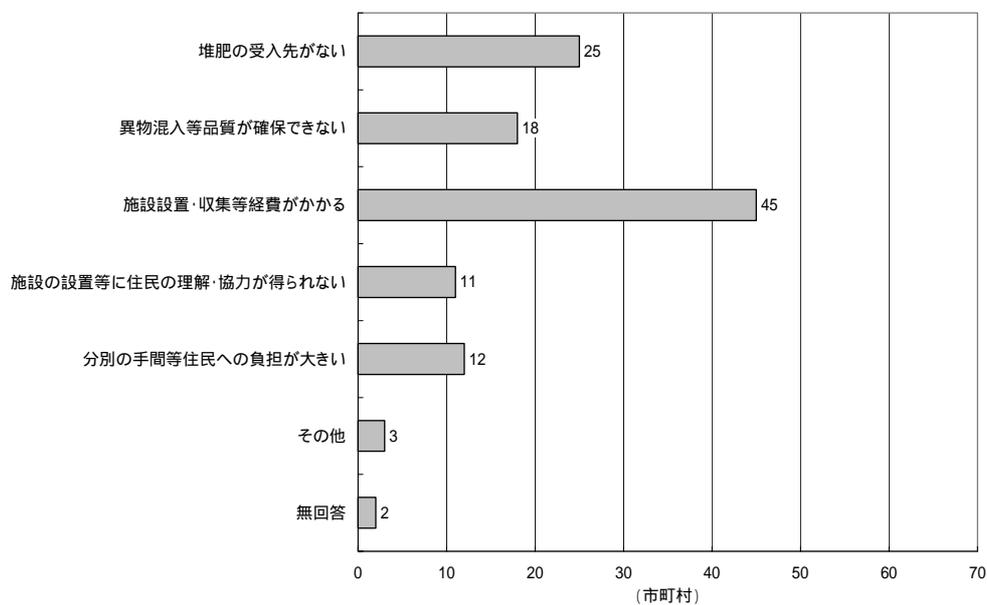
図表 62 購入助成に対する今後の方針



- (4) 市町村が生ごみを分別収集し、直営あるいは委託によって堆肥化とした場合、どのような課題が考えられますか。( は2つまで)

堆肥化システムの課題については、「施設設置・収集等経費がかかる」が 45 市町村と最も多く、以下、「堆肥の受入先がない」(25 市町村)、「異物混入等品質が確保できない」(18 市町村)と続く。

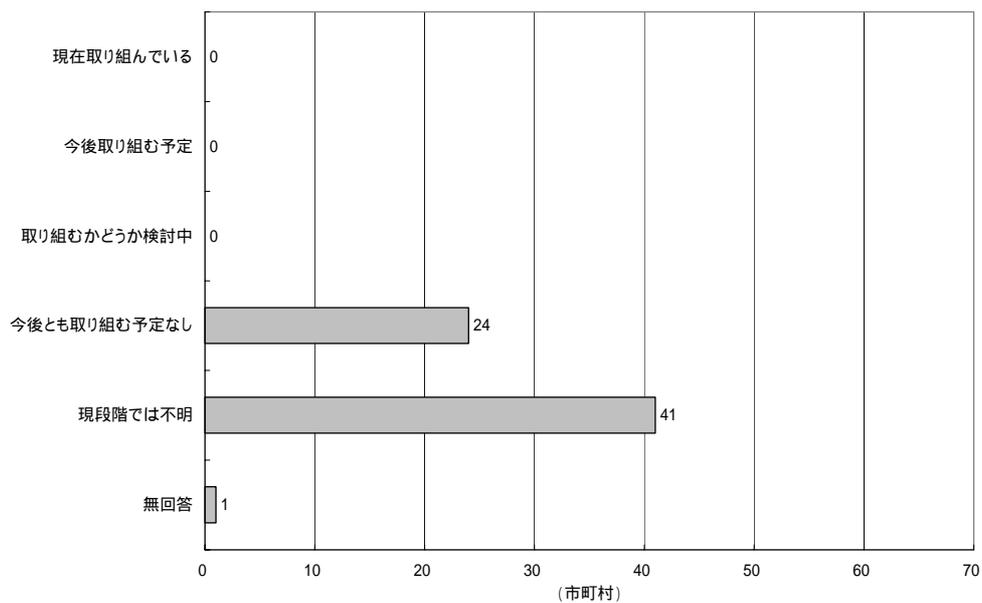
図表 63 堆肥化システムの課題



- (5) 生ごみ飼料化に取り組んでいますか。また今後取り組む予定はありますか。( は1つ)

飼料化の取り組みについては、「現段階では不明」が 41 市町村と最も多い。「今後とも取り組む予定なし」は 24 市町村ある。

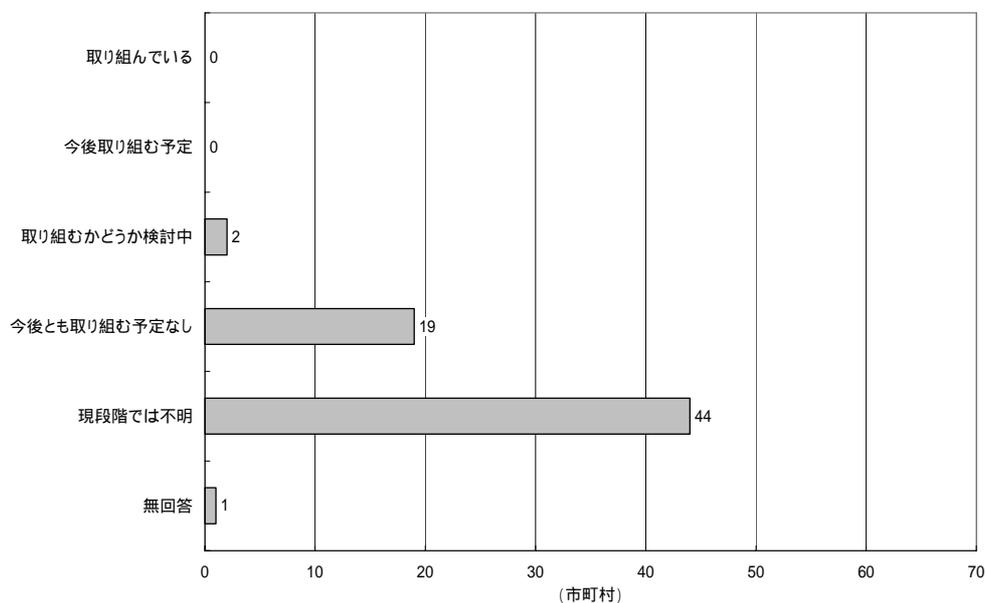
図表 64 飼料化の取り組み



(6) 生ごみのバイオガス化に取り組んでいますか。また今後取り組む予定はありますか。( は1つ)

バイオガス化の取り組みについては、「現段階では不明」が 44 市町村と最も多い。「今後とも取り組む予定なし」は 19 市町村、「取り組むかどうか検討中」は 2 市町村ある。

図表 65 バイオガス化の取り組み

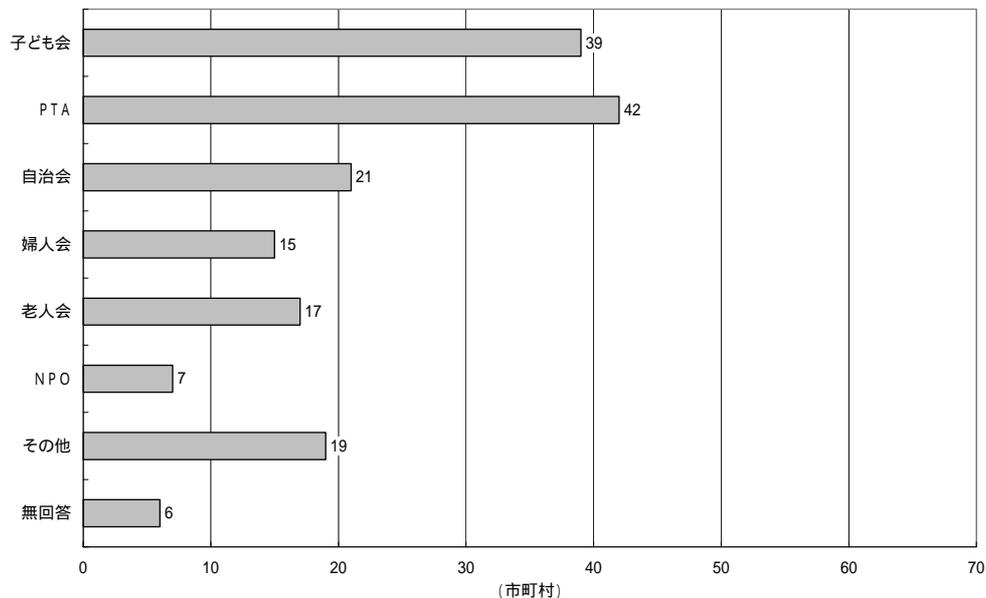


問 4 集団回収についてお聞きします。

(1) どのような団体が集団回収に取り組んでいますか。(あてはまるすべてに )

集団回収実施団体については、「PTA」をあげるのが 42 市町村、「子ども会」が 39 市町村となっている。以下、「自治会」(21 市町村)、「老人会」(17 市町村)、「婦人会」(15 市町村)と続く。

図表 66 集団回収実施団体

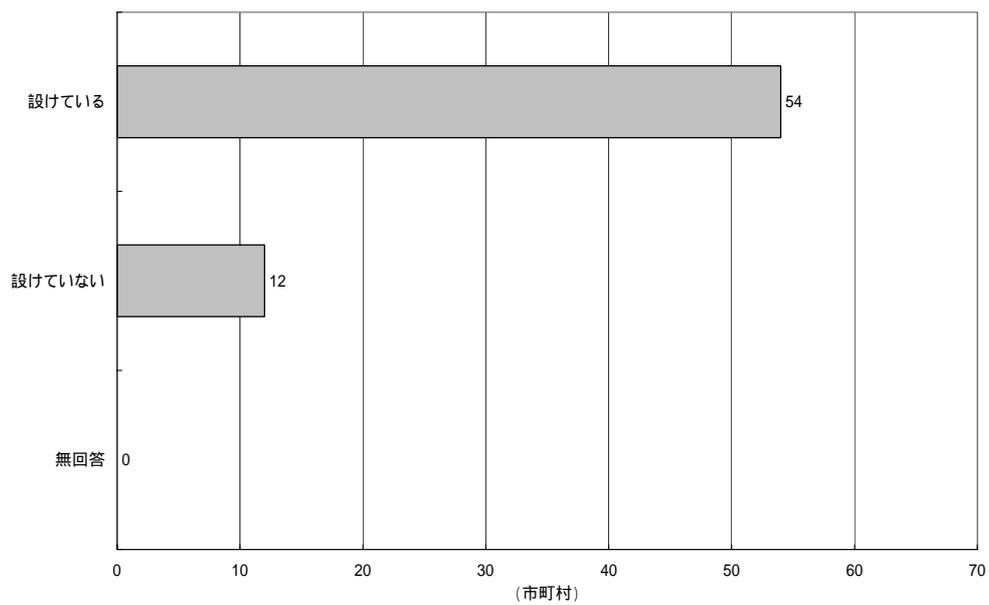


(2) 集団回収活動に対する助成制度を設けていますか。( は1つ)

集団回収助成制度の設置状況については、「設けている」ところが 54 市町村、「設けていない」ところが 12 市町村となっている。

助成単価は、kg 当たり 2～6 円の市町村が多くなっている。

図表 67 集団回収助成制度の設置状況



図表 68 集団回収に対する助成額

市町村名	集団回収助成単価
津市	4.5 円/kg
四日市市	5 円/kg
伊勢市	4 円/kg
松阪市	-
桑名市	2 円/kg
上野市	2 円/kg
鈴鹿市	5 円/kg、雑誌のみ 7 円/kg
名張市	-
尾鷲市	5 円/kg
亀山市	4 円/kg
鳥羽市	5 円/kg
熊野市	4 円/kg
久居市	6 円/kg
いなべ市	5 円/kg
多度町	5 円/kg
長島町	5 円/kg
木曽岬町	4 円/kg
東員町	6 円/kg
菰野町	2.5 円/kg
楠町	4 円/kg
朝日町	2 円/kg
川越町	5 円/kg
関町	5 円/kg
河芸町	5 円/kg
芸濃町	5 円/kg
美里村	6 円/kg
安濃町	7 円/kg
香良洲町	5 円/kg
一志町	7 円/kg
白山町	8 円/kg
嬉野町	6 円/kg
美杉村	8 円/kg
三雲町	5 円/kg
飯南町	紙類 5 円/kg、雑誌 7 円/kg、びん類 4 円/本
飯高町	紙・布類・缶 6 円/kg、びん類 4 円/本
多気町	5 円/kg
明和町	5 円/kg
大台町	紙・布・缶類 5 円/kg、びん類 2 円/本
勢和村	4 円/kg
宮川村	新聞・ダンボール・缶 5 円/kg、紙パック・雑誌類 7 円/kg、びん 4 円/本
玉城町	3 円/kg
二見町	4 円/kg
小俣町	4 円/kg
南勢町	乾電池のみ 8 円/個
南島町	-
大宮町	紙類 5 円/kg、缶類 3 円/kg、びん類 2 円/kg
紀勢町	紙 5 円/kg、缶 3 円/kg、びん 2 円/本
御園村	ダンボール・雑誌・新聞・布・缶・紙パックは 6 円/kg、びんは 3 円/本

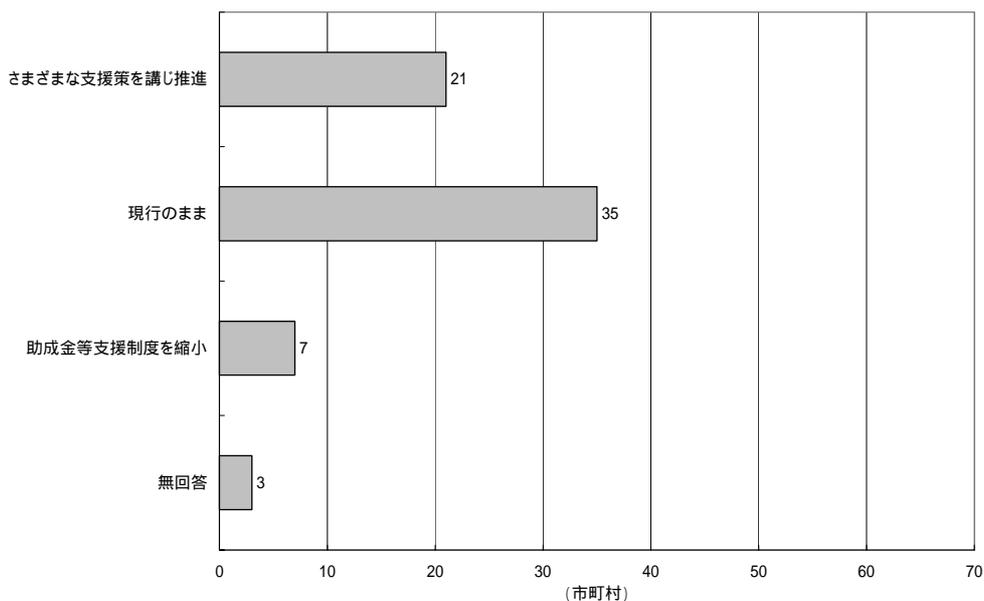
市町村名	集団回収助成単価
大内山村	紙 5 円/kg、缶 3 円/kg、びん 2 円/本
度会町	-
伊賀町	3 円/kg
島ヶ原村	3 円/kg
阿山町	3 円/kg
大山田村	3 円/kg
青山町	3 円/kg
浜島町	-
大王町	-
志摩町	5 円/kg
阿児町	8 円/kg
磯部町	-
紀伊長島町	5 円/kg
海山町	-
御浜町	-
紀宝町	-
紀和町	-
鵜殿村	-

「-」は助成なし

(3) 今後の集団回収活動について、どのようにお考えですか。( 1 つ )

集団回収に対する今後の方針については、「現行のまま」が 35 市町村、「さまざまな支援策を講じ推進」が 21 市町村あり、両者をあわせると今後も実施する市町村が 56 市町村になる。一方、「助成金等支援制度を縮小」は 7 市町村ある。

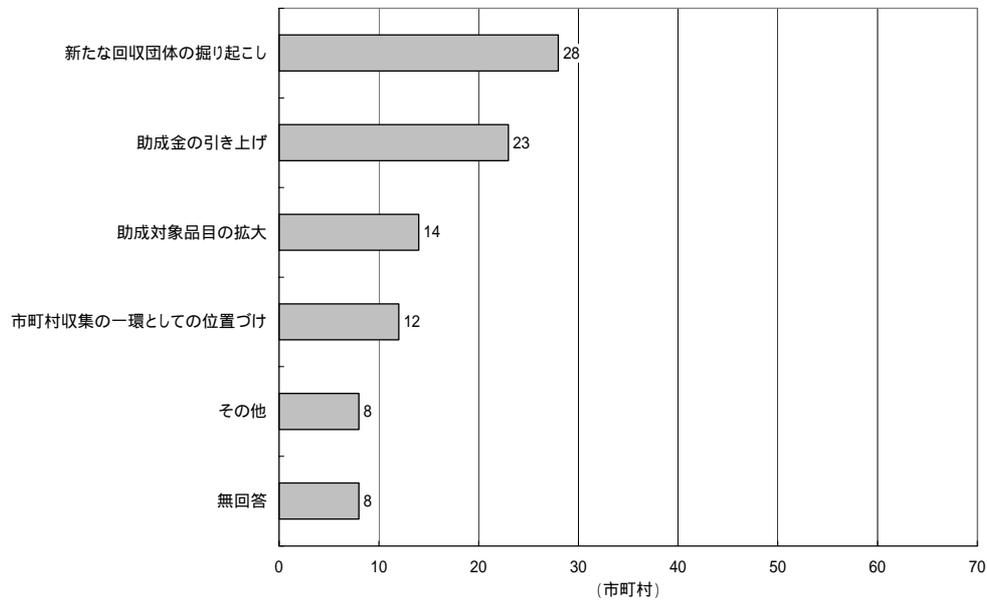
図表 69 集団回収に対する今後の方針



(4) 集団回収活動を活性化するためには、どのような施策が必要だと考えますか。( は2つまで)

集団回収活性化方策については、「新たな回収団体の掘り起こし」が 28 市町村と最も多く、以下、「助成金の引き上げ」が 23 市町村、「助成対象品目」が 14 市町村と制度の拡充に関する方策が続く。

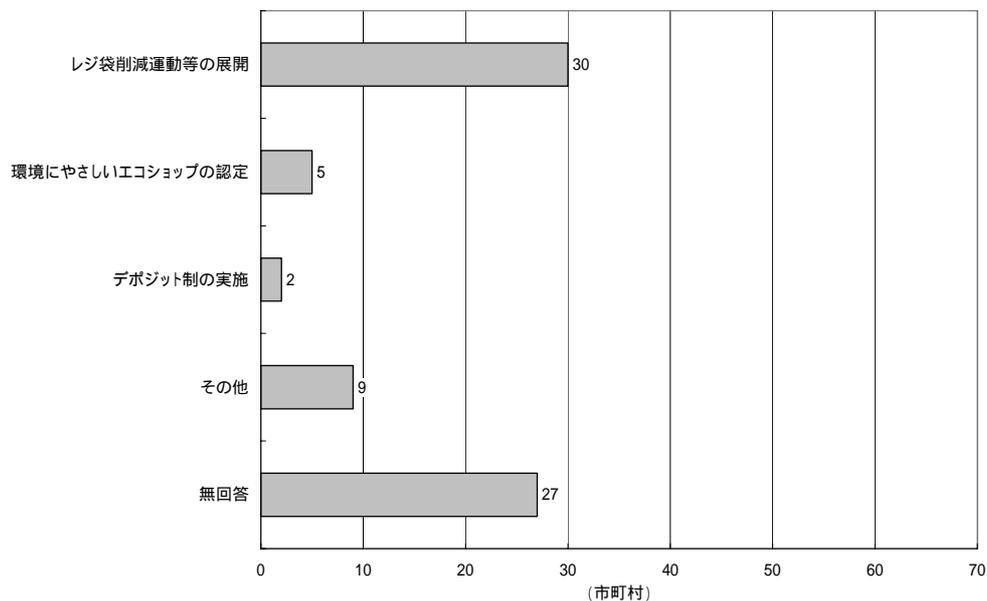
図表 70 集団回収活性化方策



問 5 ごみ減量・リサイクル促進策として次の取り組みをしていますか。(あてはまるすべてに )

ごみ減量化施策の実施状況については、「レジ袋削減運動等の展開」が最も多く 30 市町村ある。その他の意見では、ごみ減量化協力店制度、市民へのごみ減量・リサイクルの啓発活動、出前トーク、リサイクルマーケット、衣料品・毛布・タオル等の回収・海外支援、廃食油の代替燃料化などが見られる。

図表 71 ごみ減量化施策実施状況

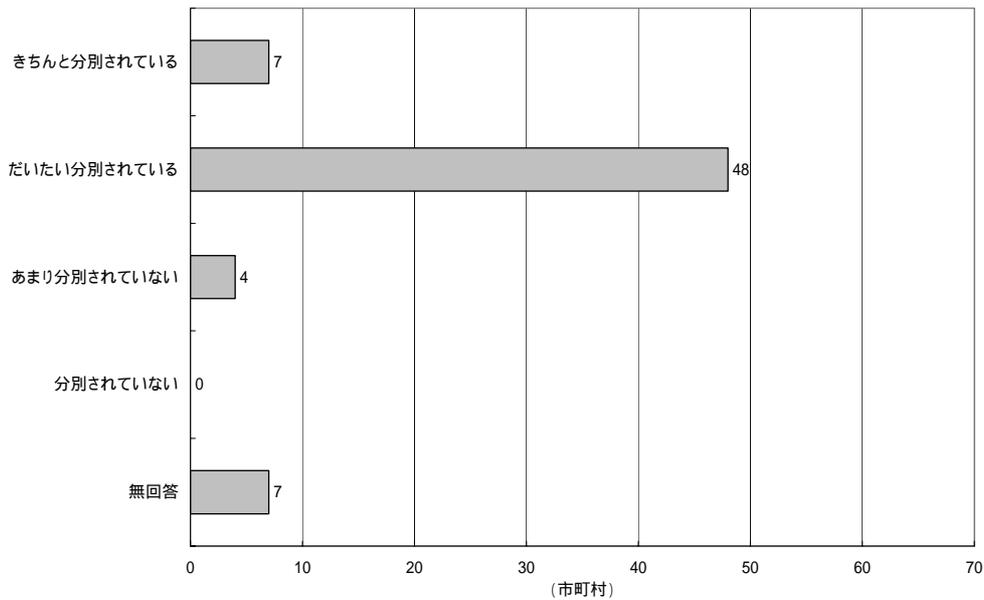


## (2) 分別ルールについて

問 6 家庭から出されるごみはきちんと分別されていますか。( は1つ)

家庭ごみの分別状況については、「だいたい分別されている」が 48 市町村と最も多く、「きちんと分別されている」の 7 市町村をあわせて、55 市町村が「分別は良好」と判断している。

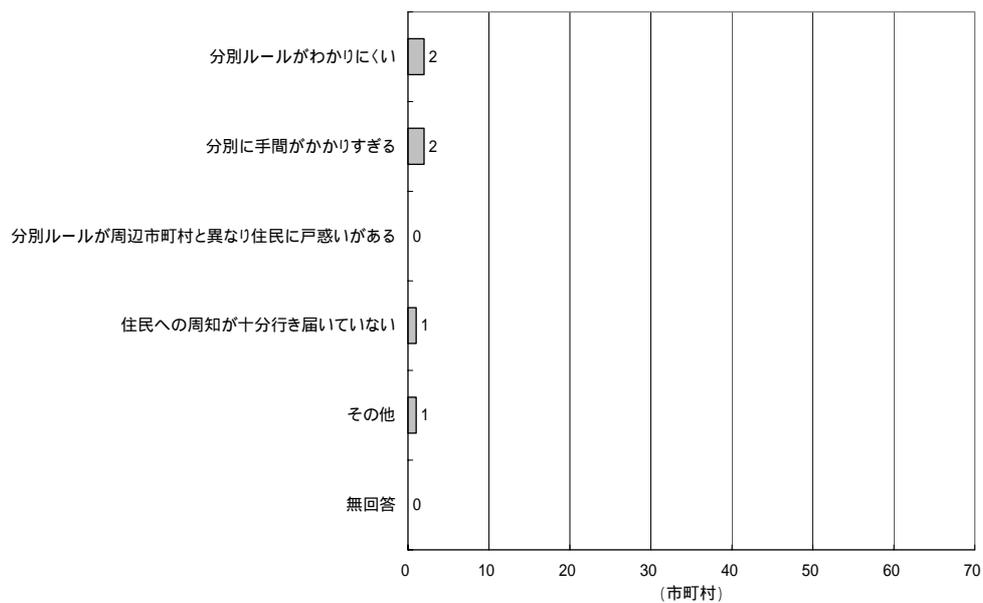
図表 72 家庭ごみの分別状況



問 7 (問 6 が「3 あまり分別されていない」「4 分別されていない」場合のみ)  
きちんと分別されていない理由としてどのようなことが考えられますか。( は2つまで)

家庭ごみ分別不徹底の理由としては、「分別ルールがわかりにくい」、「分別に手間がかかりすぎる」がそれぞれ 2 市町村となっている。

図表 73 家庭ごみ分別不徹底の理由

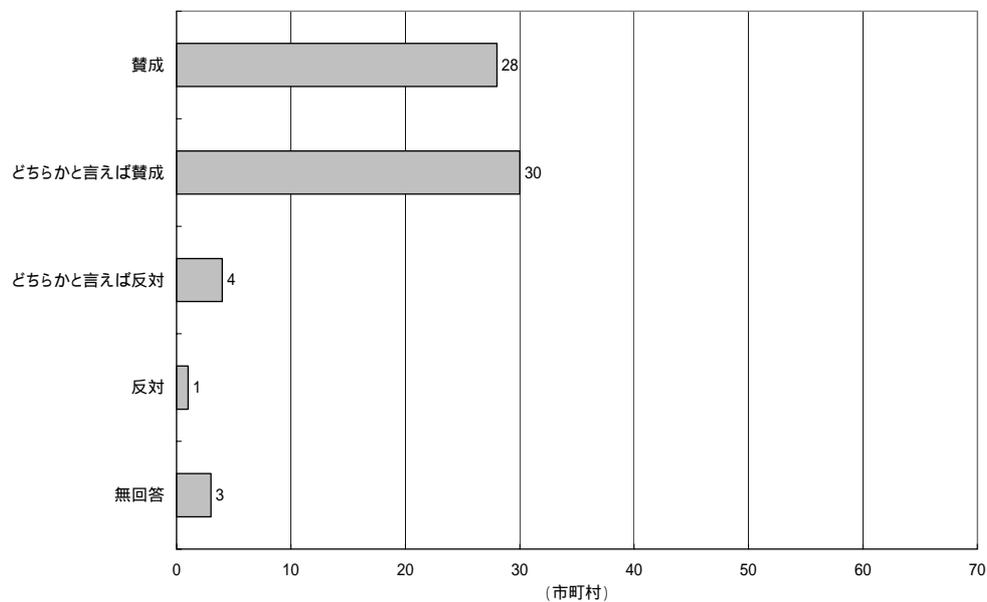


問 8 分別ルールを統一することについてお聞きします。

(1) 貴自治体では周辺市町村と分別ルールを統一することについてどう考えますか。( は1つ)

分別ルールの統一については、「賛成」が 28 市町村、「どちらかといえば賛成」が 30 市町村と、58 市町村が肯定的にとらえている。

図表 74 分別ルールの統一に対する考え方



(2) 賛成、あるいは反対の理由を具体的にお聞かせください。

賛成、反対の具体的意見については、賛成意見では、住民にわかりやすく転入者等の混乱を防止できるため、すでに一部事務組合等広域で実施しているためなどが多く見られる。また、統一は望ましいが、ごみ処理の実情が市町村ごとに異なるため条件整備の面で難しいといった中間意見も多い。反対意見は処理方式が異なるため困難などの意見である。

### 賛成意見

- 現在、広域でごみ処理を行っているが、広域管内においても、分別のルールが異なるので、住民からの問い合わせに困る。分別ルールを統一することで、広い範囲での施策が行える。
- 市民の分別に関する考え方が統一される。周辺市町村と意見の交換ができる。
- どこに住んでもわかりやすい。
- 市町村間で分別品目が異なれば、市外からの転入者が混乱するため。
- リサイクルプラザ整備による広域化処理が必要。
- 統一したほうが、住民も理解しやすい。
- 処理施設(方法)が同じであれば、分別ルールは統一すべき。
- 引越し先で、ごみの分別ルールが異なることになる。
- 広域清掃組合を構成している市町で分別ルールを統一しているので、住民に対して理解は得やすい。
- 今後の廃棄物処理は、広域すべき。
- 中間処理施設あるいは最終処理場が各々確保されているという条件で、どちらかと言えば賛成。ちなみに当町にはありませんが…。
- ルールが統一されていることにより、転出しても同じ出し方になる。市町村間でも協議できる。
- 焼却施設の処理方法により、統一できない面もあるが、周辺市町村と統一することにより、周辺市町村からの転入者等の分別に対する混乱が防げるとともに、住民に対しての説明においても有効であると考えられる。
- 住民運動に伴う住民の利便性を考えると、ある一定の統一があるべきと考えるため。ただし、予算上の制約はある。
- 分別ルールを統一することにより、住民の戸惑いが減ると考えられる。
- 市町村合併を控え、各市町村の格差をなくすため。
- 転入者等への説明や具体的施策の相談等が取り組み易い。
- 処理施設が組合(一組)運営のため。
- ごみの分別は種類が多様で、周辺市町村とルールが違っていると、混乱を招きかねない。
- 統一することにより、住民の方の戸惑いがなくなる。
- 現制度では、処理方法により仕方がないことと考えますが、収集運搬に工夫が可能であれば、できるだけ広域化し、処理場の数を少なくし分別ルールの統一ができれば理想と思う。
- ゴミのリサイクルや減量化に取り組むうえで、ある程度の分別ルールの統一は必要と考える。分別の少ない自治体から転入してきた人が細かな分別ルールになじめず、なかなか協力が得られなかった。
- この地域で広域環境組合を構成しており、構成市町村間でも分別ルールが統一されておらず、住民等からも苦情があるため。
- 周辺市町村との交流が多くなる。
- 転入、転出の際、住民がとまどう。
- 組合を構成しているが(広域)、分別ルールが統一されていない。
- 住民からすれば、統一されている方がわかりやすいから。
- ムダがなく、効率的なごみ収集ができる。
- ごみ処理は一部事務組合で行っているため。
- ごみの分別意識が高まる。
- 合併による新市誕生により、分別ルールを統一すべきである。
- いい町の参考になるし旧町の温度差の解消につながる。

- 周辺市町村住民の分別意識統一ができる。
- あまりに違うと、転入した場合に戸惑う。

## 中間意見

- 方向として分別ルール「統一」は望ましいと思う。ただし、条件整備が難しい。
- リサイクルは全国统一の方が分かりやすく良いと思う。ただし施設での受け入れの問題があるので現状では難しいと思われる。
- 本市の分別に統一してもらえれば一番良いが、緩和することは問題。強化することは、市民の理解を得ることが、むずかしそう！新たな施設整備が必要となる。
- 統一した方が、資源として排出する際に量が多くなり、リサイクルが促進される。ただ、ごみ処理施設の種別により排出方法が必然的に決まっている場合もあり、一概に統一できないところもある。
- 分かりやすいので賛成であるが、今と全く違うルールであれば、住民が混乱するので好ましくないと考えます。
- 周辺市町村からの転入者に分かりやすいが、各市町村によりごみ処理の実情が異なるため、分別ルールを統一することは困難である。
- 市町村のバランスを取るにより、リサイクルを進めやすくなる。ただし、34530 会で、H12 年ごろ三泗地区で実践したが、達成できなかった。原因は処理場の受け入れルールが統一されていないことが、大きな要因である。
- 現在、広域組合でごみ処理を実施しているため、周辺市町村と分別ルールを統一する方が住民の理解を得やすいと思う。しかし、現状の分別ルールを変更すると混乱が生じる恐れがある。

## 反対意見

- ごみ処理の方式が異なる(例えば、焼却と RDF 化)のに、分別ルールの統一は困難である。
- 分別ルールを統一するのは、住民の理解が不可欠であり、また、収集方法・ステーションの形態・処理施設の整備等、経費が必要となる。

(3) 家庭系可燃ごみの有料制について

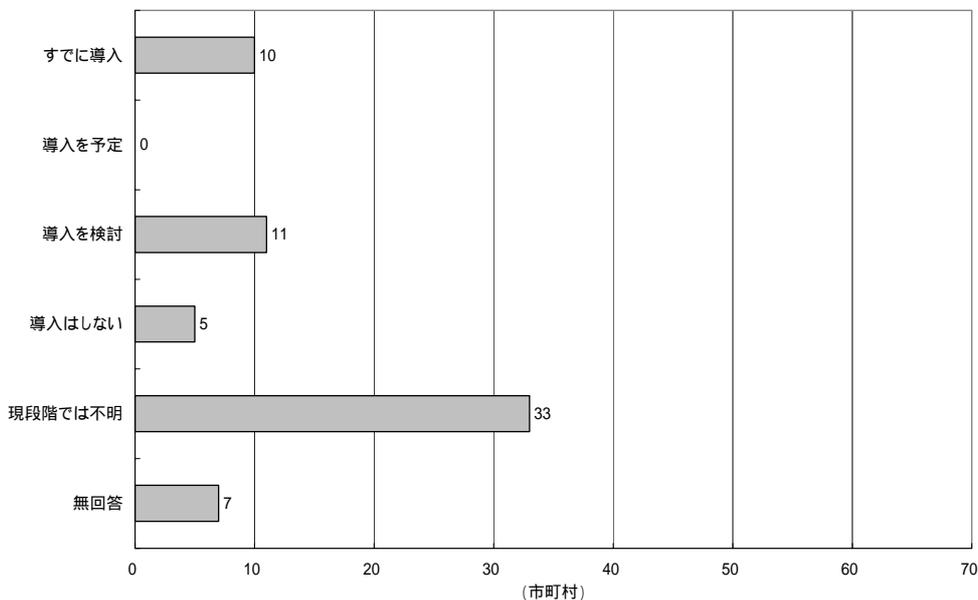
問9 家庭系可燃ごみの有料制についてお聞きします。

ここで言う「有料制」とは、単なる指定袋制ではなく、ごみ処理手数料を徴収するしくみを言います。環境省・中央環境審議会は有料化に関する検討に着手し、来年はじめにも基本方針をまとめる予定です。

(1) 貴自治体ではごみの有料制を導入していますか。( は1つ)

有料制の導入状況については、「すでに導入」が10市町村、「導入を検討」が11市町村ある。「現段階では不明」は33市町村と最も多く、「導入はしない」は5市町村となっている。

図表 75 有料制の導入状況



(2) ((1)が「1すでに導入済み」の場合のみ)

手数料金額はいくらですか。袋のサイズとその金額をご記入ください。

有料化市町村におけるごみ処理手数料は、40～45リットルの袋で30～50円が最も多く、最も低い桑名市では15円、最も高い南勢町、浜島町、志摩町、阿児町では100円となっている。

図表 76 有料化市町村のごみ処理手数料

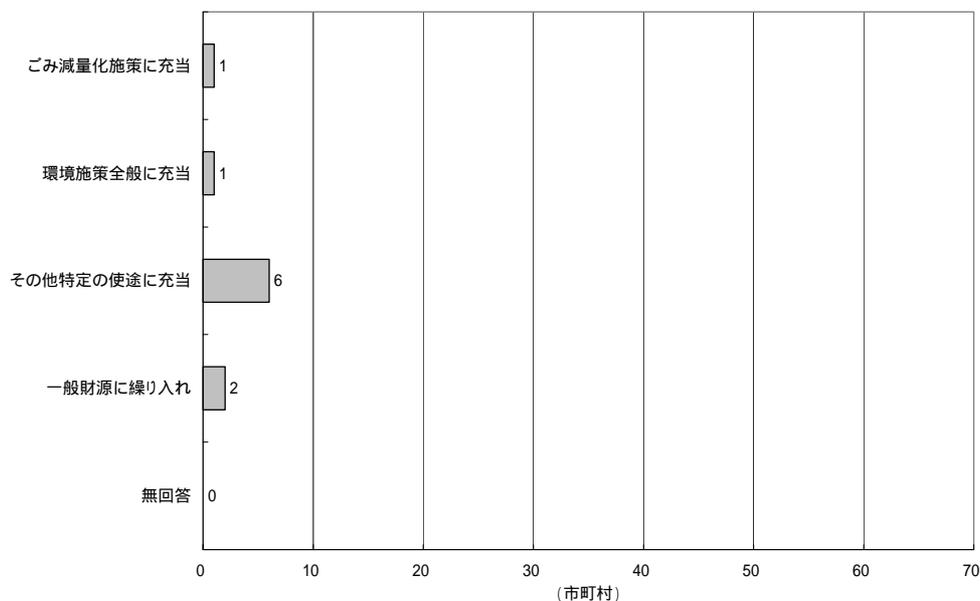
市町村名	手数料金額
桑名市	可燃:45リットル 15円、不燃:25リットル 15円、プラスチック:50リットル 15円
多度町	40リットル 36円、25リットル 25円
長島町	40リットル 35円、25リットル 25円
木曽岬町	40リットル 30円、25リットル 20円
南勢町	45リットル 100円、30リットル 50円、15リットル 30円
浜島町	40リットル 100円、20リットル 50円、10リットル 35円
大王町	40リットル 40円、20リットル 20円、10リットル 10円
志摩町	40リットル 100円、20リットル 50円
阿児町	40リットル 100円、20リットル 50円
磯部町	40リットル 22円、30リットル 17円、20リットル 15円

平成15年9月末現在

- (3) ((1)が「1 すでに導入済み」「2 導入を予定」の場合のみ)  
 徴収した手数料はどのように使われていますか、使われる予定ですか。( は1つ)

導入済み市町村における徴収した手数料の用途については、「ごみ減量化施策に充当」が1市町村、「環境施策全般に充当」が1市町村、「一般財源に繰り入れ」が2市町村あり、「その他特定の用途に充当」が6市町村となっている。「その他特定の用途」では、ごみ処理費用や清掃工場の財源などがあげられている。

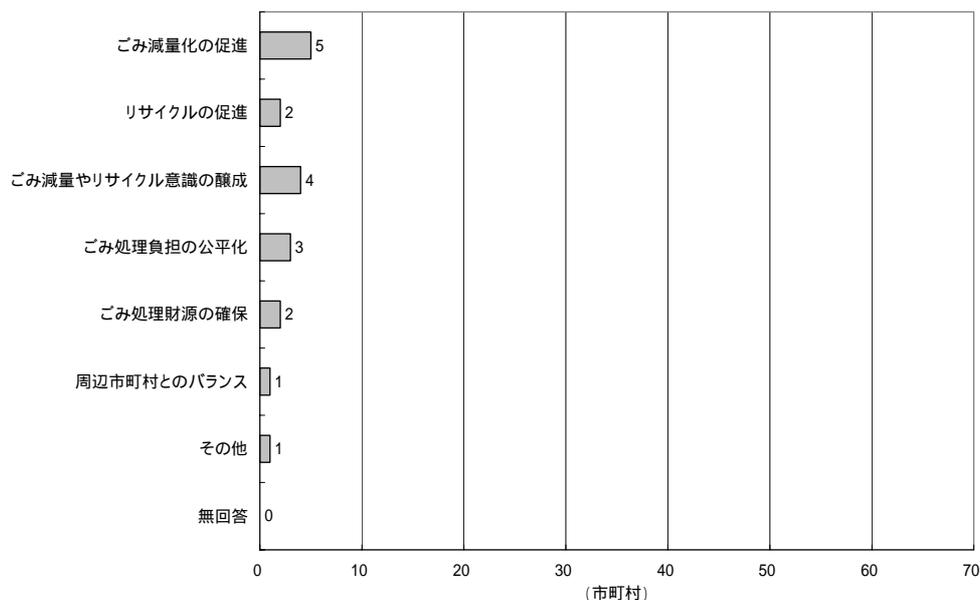
図表 77 徴収した手数料の用途



- (4) ((1)が「1 すでに導入済み」「2 導入を予定」の場合のみ)  
 有料制を導入した、あるいは導入を予定する目的は何ですか。( は2つまで)

導入済み市町村の有料制導入目的については、「ごみ減量化の促進」が5市町村、以下、「ごみ減量やリサイクル意識の醸成」(4市町村)、「ごみ処理負担の公平化」(3市町村)と続く。

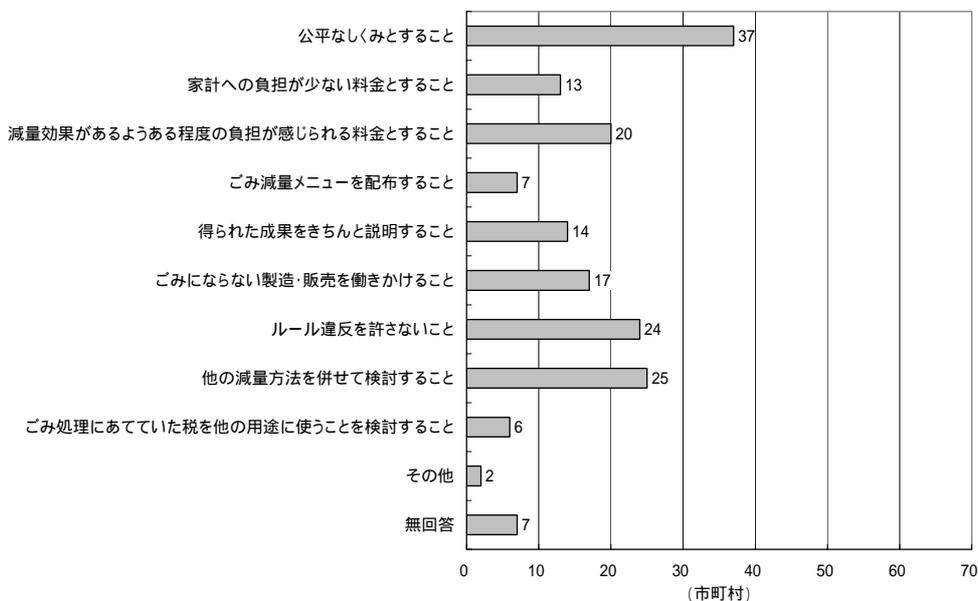
図表 78 有料制導入の目的(導入済・導入予定市町村)



- (5) ごみ有料化を検討する際、どのような点を重視すべきだと考えますか。  
( は重要なもの3つまで)

有料化にあたって重視すべき点については、「公平なくみとすること」が 37 市町村と最も多く、以下、「他の減量方法を併せて検討すること」(25 市町村)、「ルール違反を許さないこと」(24 市町村)、「減量効果があるようある程度の負担が感じられる料金とすること」(20 市町村)と続く。

図表 79 有料化にあたって重視すべき点

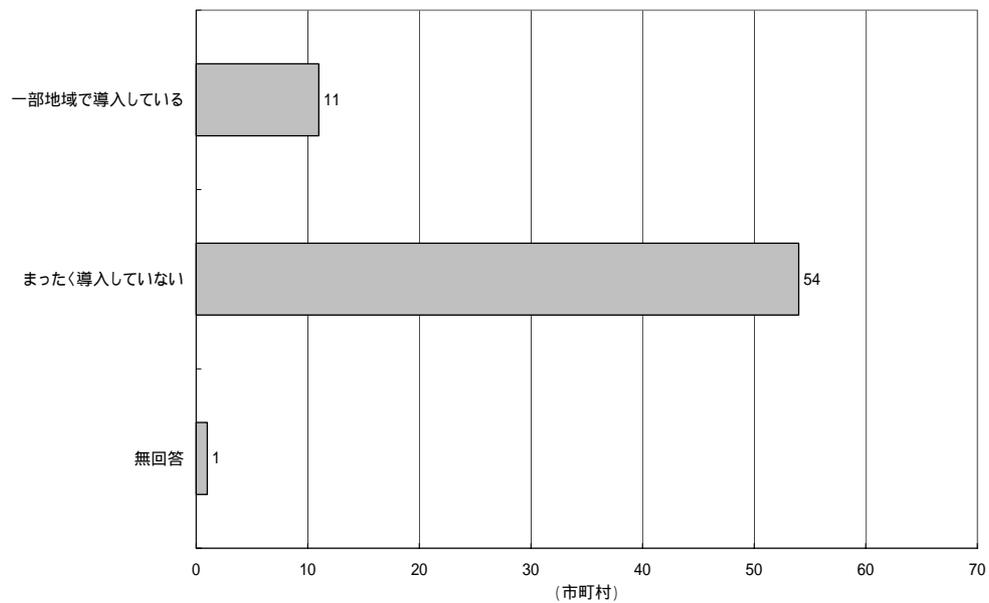


#### (4) 戸別収集について

問 10 可燃ごみについて、ごみを集積所ではなく玄関先から収集する戸別収集を導入していますか。  
( は1つ)

戸別収集については、「まったく導入していない」が54市町村、「一部地域で導入している」が11市町村ある。

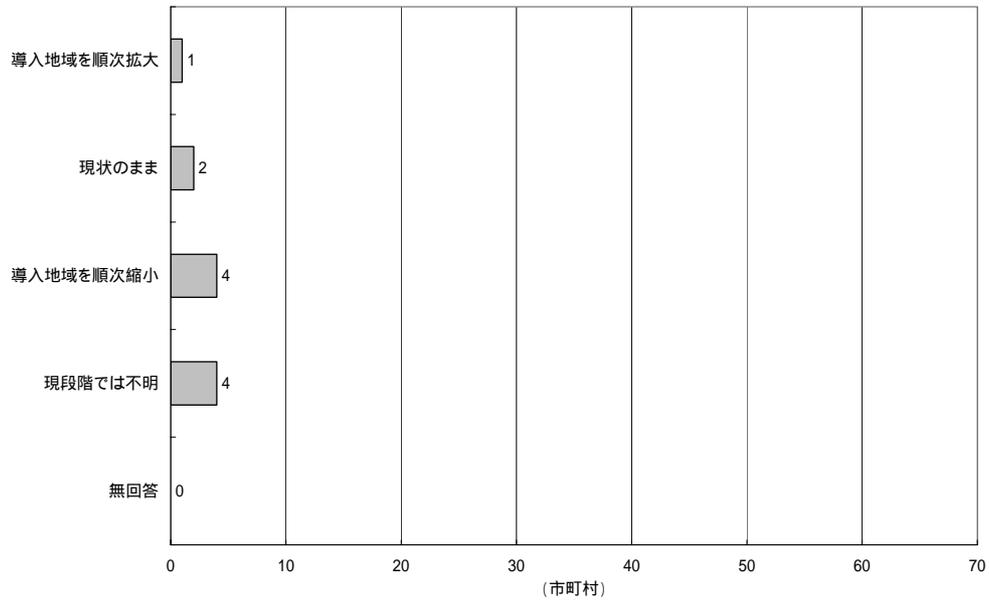
図表 80 戸別収集実施状況



問 11 (問 10 が「1 一部地域で導入している」場合のみ)  
今後の戸別収集について、どのような方針を持っていますか。( は1つ)

導入済み市町村における今後の戸別収集方針については、「導入地域を順次縮小」、「現段階では不明」が同数で、それぞれ 4 市町村となっている。

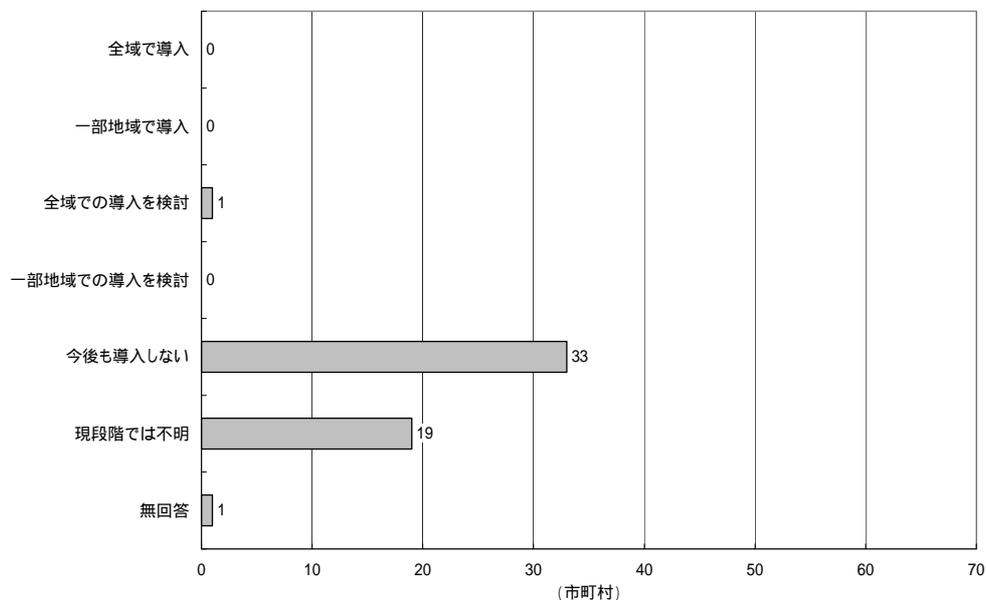
図表 81 戸別収集に対する今後の方針(導入済み市町村)



問 12 (問 10 が「2 まったく導入していない」場合のみ)  
 戸別収集について、今後どのような方針を持っていますか。( は1つ)

戸別収集を導入していない市町村における今後の導入方針については、「今後も導入しない」が 33 市町村と最も多く、「現段階では不明」は 19 市町村となっている。

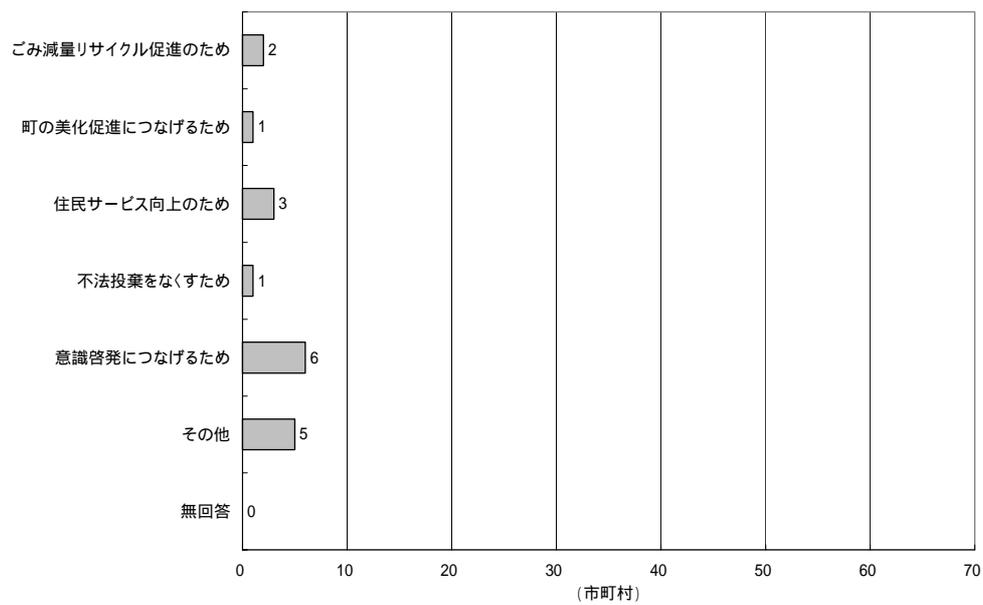
図表 82 戸別収集に対する今後の方針(未導入市町村)



問 13 (問 10 が「1 一部地域で導入している」、あるいは問 12 が「1 全域で導入する予定」「2 一部地域で導入する予定」「3 全域での導入について検討する予定」「4 一部地域での導入について検討する予定」の場合のみ)  
 導入している、あるいは導入を予定する目的は何ですか。( は2つまで)

戸別収集を導入済み、あるいは導入予定・検討予定の市町村における導入の目的については、「意識啓発につなげるため」が 6 市町村、「住民サービス向上のため」が 3 市町村となっている。

図表 83 戸別収集導入目的(導入済・導入予定市町村)

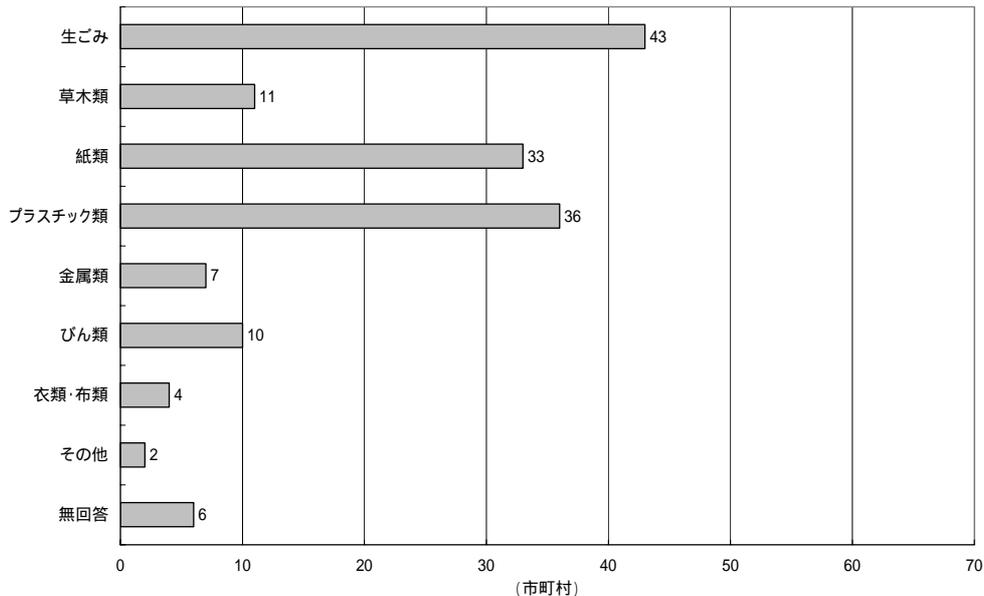


(5) 事業系ごみ(産廃除く)の減量・リサイクル施策について

問 14 事業系ごみについて、今後重点的に減量・リサイクルに取り組むべきだと考える品目は、次のうちどれですか。( は3つまで)

今後重点的に減量・リサイクルすべき事業系ごみ品目については、「生ごみ」が 43 市町村と最も多く、以下、「プラスチック類」(36 市町村)、「紙類」(33 市町村)と続く。家庭系ごみとほぼ同様の品目が対象として考えられている。

図表 84 今後重点的に減量・リサイクルすべき事業系ごみ品目

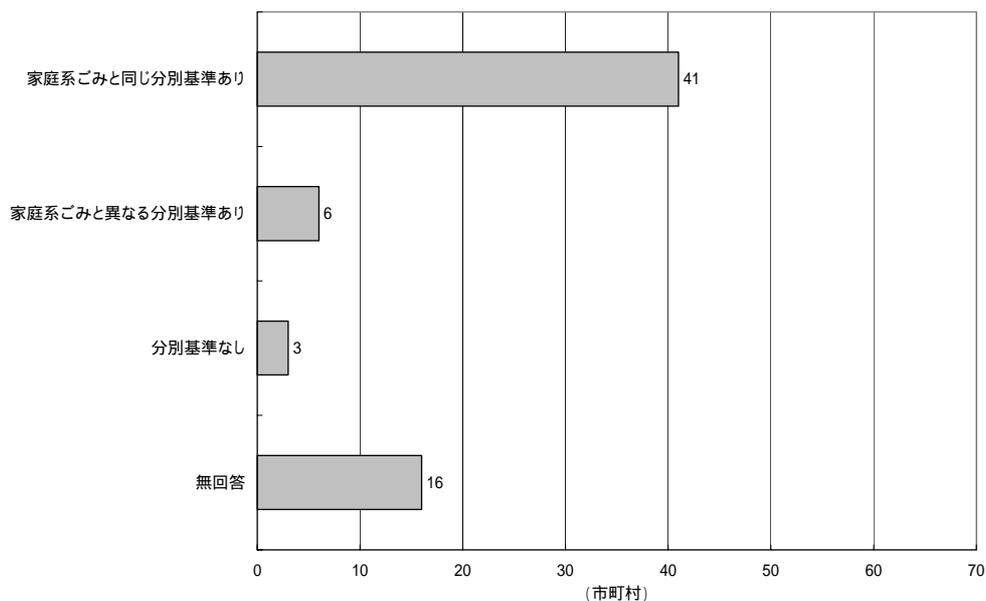


問 15 事業系ごみの排出ルールについてお聞きします。

(1) 事業系ごみを受け入れる際、分別基準はありますか。( は1つ)

事業系ごみ受入基準については、41 市町村が「家庭系ごみと同じ分別基準あり」となっている。

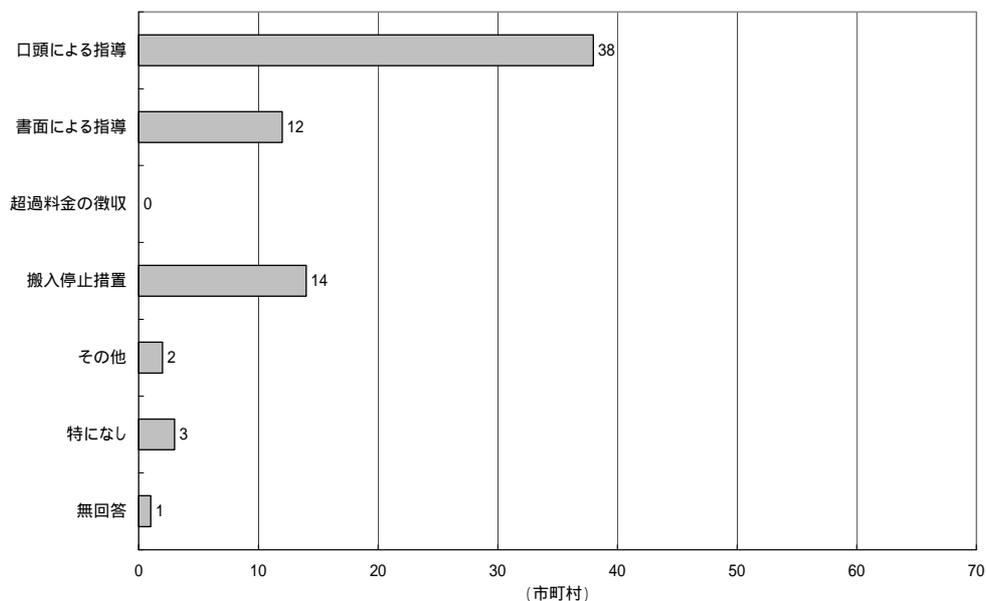
図表 85 事業系ごみ受入基準



- (2) (1)が「1 家庭系ごみと同じ分別基準で受け入れている」「2 家庭系ごみとは異なる分別基準で受け入れている」場合のみ  
 上記ルールを守らない搬入者に対してどのような措置を講じていますか。  
 (あてはまるすべてに )

違反者への措置については、「口頭による指導」が 38 市町村と最も多く、以下、「搬入停止措置」(14 市町村)、「書面による指導」(12 市町村)と続く。

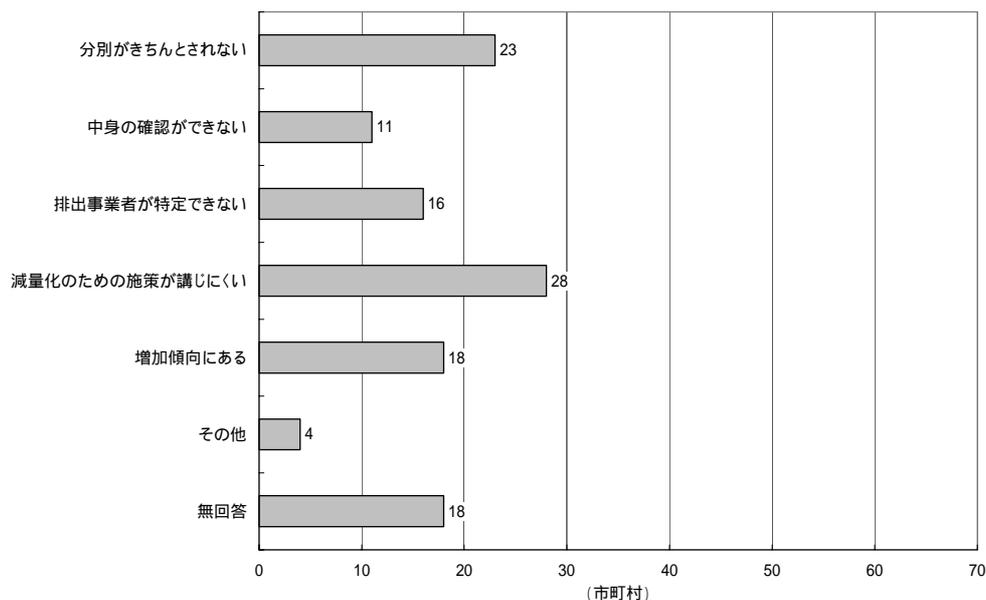
図表 86 違反者への措置



- (3) 事業系ごみに関し、どのような問題点がありますか。( は3つまで)

事業系ごみの問題点としては、「減量化のための施策が講じにくい」が 28 市町村と最も多く、以下、「分別がきちんとされない」(23 市町村)、「増加傾向にある」(18 市町村)、「排出事業者が特定できない」(16 市町村)と続く。

図表 87 事業系ごみの問題点



問 16 ごみ処理手数料についてお聞きします。

(1) 施設で受け入れるごみの処分単価はいくらですか。

事業系ごみの処理手数料(受け入れ単価)については、多くの市町村で重量による設定がなされている。

図表 88 ごみ処理手数料(施設での受け入れ単価)

市町村名	ごみ処分単価
津市	可燃:20kg 以下 300 円、20kg を超える際、10kg 増すごとに 150 円を 300 円に加算してゆく 不燃:車両の最大積載量が 500kg 未満は 5,000 円、500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、 1t 車両は 17,000 円、1t を越える際は 500kg 増すごとに 8,500 円を 17,000 円に加算
四日市市	搬入量が 100kg 以下のとき 1,100 円、搬入量が 100kg を超えるとき 10kg 当たり 105 円(10kg 未満の端数が生じる場合はこれを切り上げる)
伊勢市	160kg 未満は無料、160kg は 1,680 円、160kg を超える場合は 20kg ごとに 210 円を 1,680 円に加算
松阪市	10kg までは 100 円、10kg ごとに 100 円を加算
桑名市	100kg 以下 1,500 円、100kg を超えるとき 10kg 当たり 150 円
上野市	可燃ごみ 50kg500 円。金属、紙、布、ビン、その他不燃物 50kg500 円。土砂、コンクリート、レ ンガ、タイル 100kg500 円(車両の最大積載量)
鈴鹿市	20kg 当たり 210 円(20kg 未満の端数があるときは 20kg とみなす)
名張市	可燃ごみは 50kg ごとに 150 円、不燃ごみは 100kg ごとに 300 円
尾鷲市	車両の最大積載量 500kg までは 1,000 円、1,000kg までは 2,000 円、1,500kg までは 3,000 円、2,000kg までは 4,000 円、2,000kg を超える 1,000kg ごとに 2,000 円を加算
亀山市	10kg 当たり 100 円
鳥羽市	1t 当たり 5,000 円
熊野市	可燃ごみは 10kg 当たり 60 円、生ごみは 5 円/kg、ガラス、レンガ、タイル、瓦、陶器は 1t 未満 1,000 円、1t 以上 2t 未満 4,000 円、2t 以上 4t 未満 8,000 円、4t 以上 16,000 円
久居市	可燃は 100kg 当たり 1,500 円、その他は車両の最大積載量が 500kg 未満は 5,000 円、 500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、1t 車両は 17,000 円、1t を越える際は 500kg 増す ごとに 8,500 円を 17,000 円に加算
いなべ市	100kg 以下 1,500 円、100kg を超えるとき 10kg 当たり 150 円
多度町	100kg 以下 1,500 円、100kg を超えるとき 10kg 当たり 150 円

市町村名	ごみ処分単価
長島町	100kg 以下 1,500 円、100kg を超えるとき 10kg 当たり 150 円
木曾岬町	100kg 以下 1,500 円、100kg を超えるとき 10kg 当たり 150 円
東員町	100kg 以下 1,500 円、100kg を超えるとき 10kg 当たり 150 円
菰野町	100kg 以下 1,000 円、100kg を超えるとき 10kg ごとに 100 円
楠町	1,000kg までは 20kg ごと 210 円、2,000kg までは 20kg ごと 250 円、3,000kg までは 20kg ごと 260 円、3,000kg 以上は 20kg ごと 270 円
朝日町	搬入量が 100kg 以下のとき 1,600 円、100kg を超えるときは 10kg 当たり 160 円
川越町	搬入量が 100kg 以下のとき 1,600 円、100kg を超えるときは 10kg 当たり 160 円
関町	1kg 当たり 10 円
河芸町	10kg 当たり 60 円(可燃ごみのみを町の焼却施設で受け入れ)
芸濃町	可燃:20 円/kg、不燃・粗大:運搬車最大積載量が 500kg 未満の車両は 5,000 円、同 500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、同 1t の車両は 17,000 円、同 1t を超える車両は 1t 車の使用料に 1t を超える積載量が 500kg 増すごとに 8,500 円を加算
美里村	可燃:20 円/kg、不燃・粗大:運搬車最大積載量が 500kg 未満の車両は 5,000 円、同 500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、同 1t の車両は 17,000 円、同 1t を超える車両は 1t 車の使用料に 1t を超える積載量が 500kg 増すごとに 8,500 円を加算
安濃町	可燃:20 円/kg、不燃・粗大:運搬車最大積載量が 500kg 未満の車両は 5,000 円、同 500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、同 1t の車両は 17,000 円、同 1t を超える車両は 1t 車の使用料に 1t を超える積載量が 500kg 増すごとに 8,500 円を加算

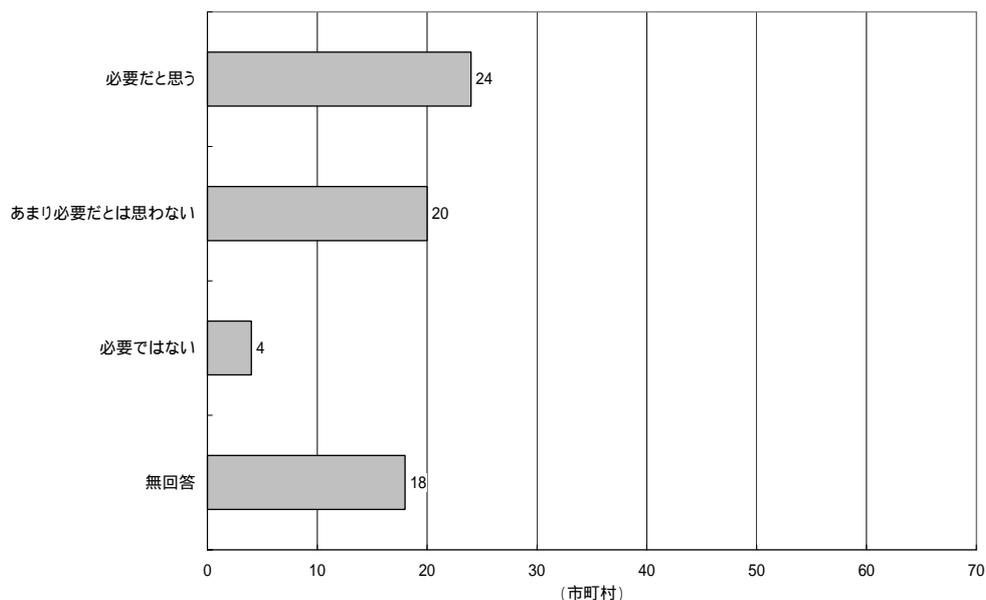
香良洲町	可燃は 100kg 当たり 1,500 円、その他は車両の最大積載量が 500kg 未満は 5,000 円、500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、1t 車両は 17,000 円、1t を越える際は 500kg 増すごとに 8,500 円を 17,000 円に加算
一志町	可燃は 100kg 当たり 1,500 円、その他は車両の最大積載量が 500kg 未満は 5,000 円、500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、1t 車両は 17,000 円、1t を越える際は 500kg 増すごとに 8,500 円を 17,000 円に加算
白山町	可燃は 100kg 当たり 1,500 円、その他は車両の最大積載量が 500kg 未満は 5,000 円、500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、1t 車両は 17,000 円、1t を越える際は 500kg 増すごとに 8,500 円を 17,000 円に加算
嬉野町	可燃は 100kg 当たり 1,500 円、その他は車両の最大積載量が 500kg 未満は 5,000 円、500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、1t 車両は 17,000 円、1t を越える際は 500kg 増すごとに 8,500 円を 17,000 円に加算
美杉村	可燃は 100kg 当たり 1,500 円、その他は車両の最大積載量が 500kg 未満は 5,000 円、500kg 以上 1t 未満の車両は 8,500 円、1t 車両は 17,000 円、1t を越える際は 500kg 増すごとに 8,500 円を 17,000 円に加算
三雲町	可燃は 100kg 当たり 1,500 円、事業系不燃は受け入れなし
飯南町	10kg 当たり 100 円
飯高町	10kg 当たり 100 円
多気町	10kg で 100 円、10kg ごとに 100 円
明和町	160kg 未満は無料、160kg は 1,680 円、160kg を超える場合は 20kg ごとに 210 円を 1,680 円に加算
大台町	10kg 当たり 100 円
勢和村	10kg 当たり 100 円
宮川村	10kg 当たり 100 円
玉城町	160kg 未満は無料、160kg は 1,680 円、160kg を超える場合は 20kg ごとに 210 円を 1,680 円に加算
二見町	160kg 未満は無料、160kg は 1,680 円、160kg を超える場合は 20kg ごとに 210 円を 1,680 円に加算
小俣町	160kg 未満は無料、160kg は 1,680 円、160kg を超える場合は 20kg ごとに 210 円を 1,680 円に加算
南勢町	魚介類処理残骨 1kg 当たり 5 円、粗大可燃物(木材、ベッド、タンス等)1kg 当たり 3 円
南島町	可燃:10kg 当たり 30 円、粗大ごみ(その他不燃物を含む):1 個当たり 200 円

市町村名	ごみ処分単価
大宮町	10kg 当たり 100 円
紀勢町	10kg 当たり 100 円
御園村	160kg 未満は無料、160kg は 1,680 円、160kg を超える場合は 20kg ごとに 210 円を 1,680 円に加算
大内山村	10kg 当たり 100 円
度会町	160kg 未満は無料、160kg は 1680 円、160kg を超える場合は 20kg ごとに 210 円を 1,680 円に加算
伊賀町	可燃ごみ 50kg500 円。金属、紙、布、ビン、その他不燃物 50kg500 円。土砂、コンクリート、レンガ、タイル 100kg500 円(車両の最大積載量)
島ヶ原村	可燃ごみ 50kg500 円。金属、紙、布、ビン、その他不燃物 50kg500 円。土砂、コンクリート、レンガ、タイル 100kg500 円(車両の最大積載量)
阿山町	可燃ごみ 50kg500 円。金属、紙、布、ビン、その他不燃物 50kg500 円。土砂、コンクリート、レンガ、タイル 100kg500 円(車両の最大積載量)
大山田村	可燃ごみ 50kg500 円。金属、紙、布、ビン、その他不燃物 50kg500 円。土砂、コンクリート、レンガ、タイル 100kg500 円(車両の最大積載量)
青山町	可燃ごみは 50kg ごとに 150 円、不燃ごみは 100kg ごとに 300 円
浜島町	可燃と資源：指定ごみ袋(45リットル入り 100 円/1 枚、35リットル入り 50 円、10リットル入り 35 円)、不燃：100kg まで 400 円、100kg 以上は 10kg ごとに 40 円加算(端数は切り上げ)
大王町	20kg 未満は無料、20kg 以上 100kg 未満は 300 円、100kg 以上は 10kg ごとに 30 円加算(端数は切り上げ)
志摩町	100kg まで 500 円、100kg 以上は 100kg ごとに 500 円加算(端数は切り上げ)
阿児町	可燃は 100kg まで 300 円、100kg 以上 200kg 未満 600 円、200kg 以上 300kg 未満 900 円、300kg 以上 500kg 未満 1,600 円、500kg 以上 1,000kg 未満 3,400 円、1,000kg 以上 1,500kg 未満 5,300 円、1,500kg 以上 2,000kg 未満 7,300 円、以降 100kg 増すごとに 500 円加算 不燃は 100kg までは 300 円、10kg 増すごとに 30 円加算
磯部町	100kg まで 300 円、100kg 以上は 10kg ごとに 30 円加算(端数は切り上げ)
紀伊長島町	可燃：100kg まで 300 円、100kg を超えるものについては 100kg 単位ごとに 200 円増。不燃(廃材)：車両の最大積載量で 500kg 未満は 1,100 円、500kg 以上 1,000kg 未満は 2,100 円、1,000kg 以上 2,000kg 未満は 4,100 円、2,000kg 以上に関しては 1,000kg 増すごとに 2,000 円が 4,100 円に加算される
海山町	500kg 以下は 510 円、501kg 以上 1t 以下は 1,030 円、1t 増すごとに 1,030 円増加
御浜町	(事業系ごみの受け入れなし)
紀宝町	(事業系ごみの受け入れなし)
紀和町	(事業系ごみの受け入れなし)
鵜殿村	利用料 1 ヶ月 1,000 円(堆肥化のため生ごみのみ利用料を徴収)

(2) 事業系ごみについて、ごみ処理手数料の見直しは必要だと思いますか。( は 1 つ )

事業系ごみ処理手数料見直しの必要性については、「必要だと思う」が 24 市町村、「あまり必要だとは思わない」と「必要ではない」が合わせて 24 市町村と同数になっている。

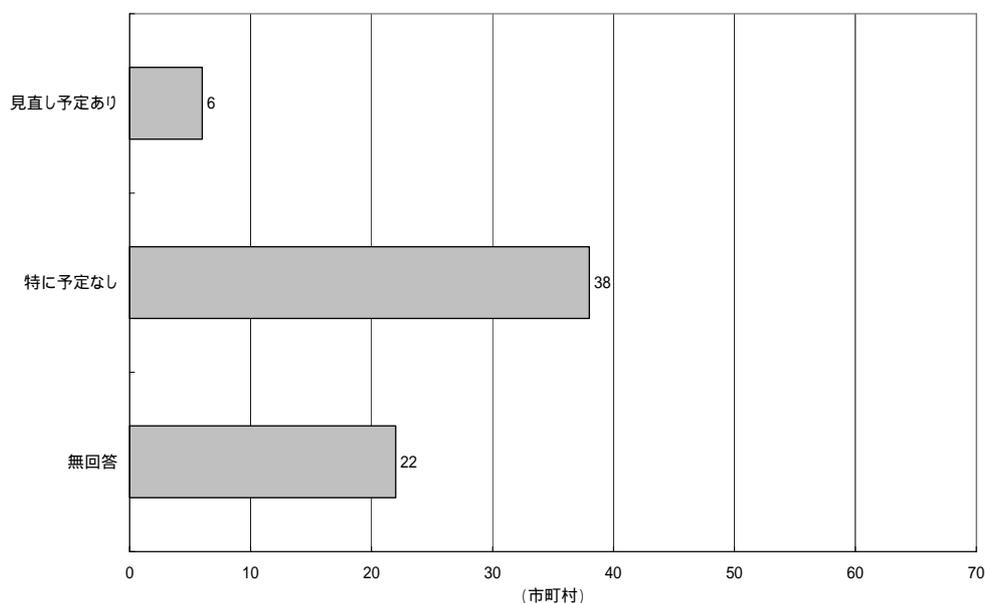
図表 89 事業系ごみ処理手数料見直しの必要性



(3) ごみ処理手数料見直しの予定はありますか。( は1つ)

事業系ごみ処理手数料の見直し予定については、38 市町村が「特に予定なし」としているが、「見直し予定あり」も 6 市町村ある。

図表 90 事業系ごみ処理手数料見直し予定



(4) ((3)が「1 見直し予定あり」の場合のみ)  
見直しをする場合、減量化以外の理由があれば具体的にお書きください。

「見直し予定あり」の市町村の具体的理由としては、近隣市町村との整合や合併に伴う改定といった点があげられている。

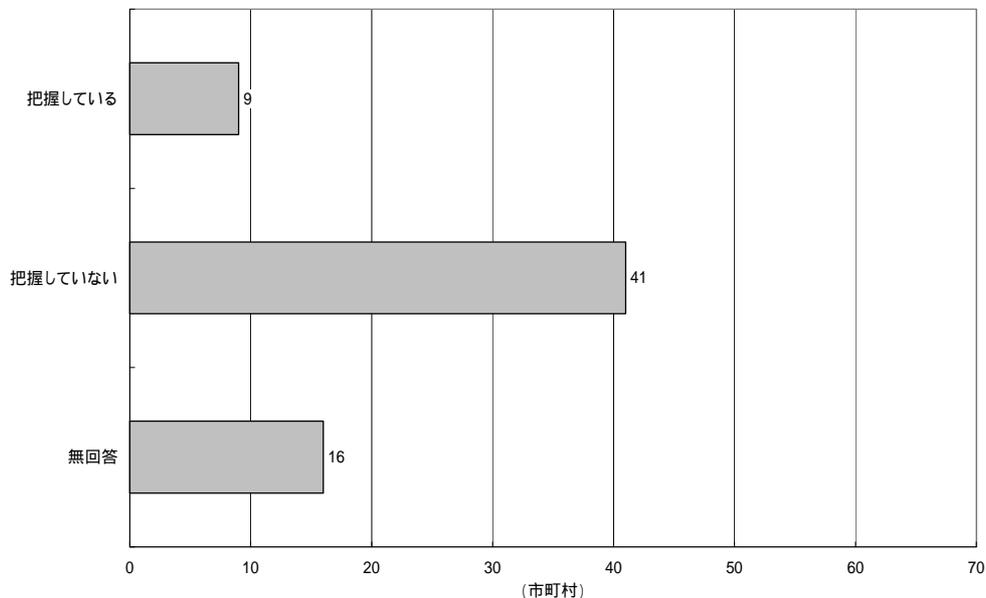
- 近隣市町村との整合
- 周辺市町村に比べ安いと、市域外ごみの搬入の恐れがある。家庭ごみの有料化をする場合には、料金も必然的に上げることとなる。
- 市町村合併に伴う、手数料統一。

問 17 多量排出事業者対策についてお答えください。

(1) 多量に事業系ごみを排出している事業所を把握していますか。( は1つ)

多量排出事業者の把握状況については、「把握していない」が41市町村と、「把握している」の9市町村を大きく上回っている。

図表 91 多量排出事業者の把握

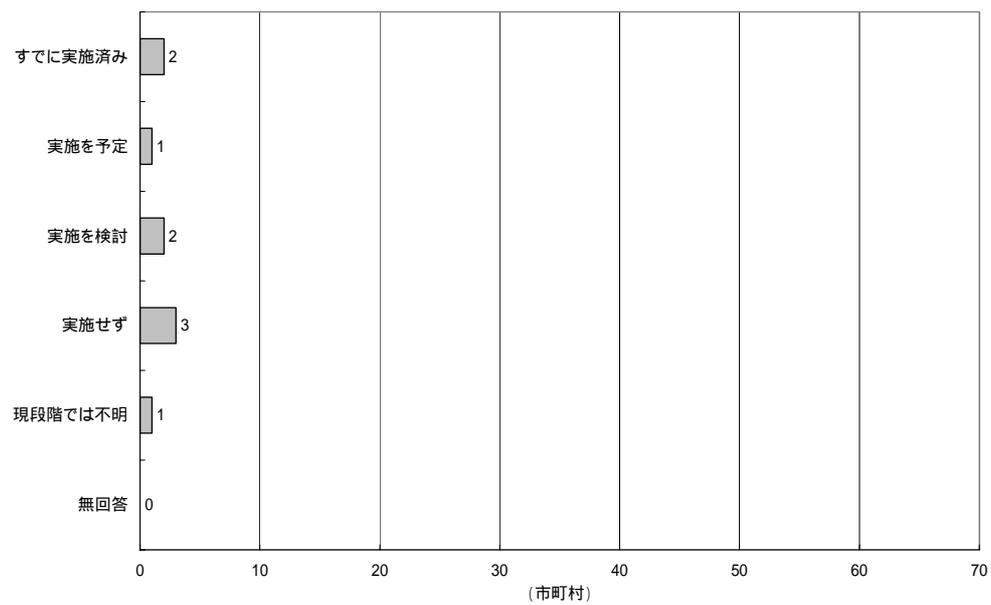


(2) ((1)が「1 把握している」場合のみ)

事業所に廃棄物減量計画書等を提出してもらっていますか。( は1つ)

多量排出事業者を把握している市町村における廃棄物減量計画書等の提出の有無については、「すでに実施済み」が2市町村、「実施を予定」と「実施を検討」があわせて3市町村、「実施せず」は3市町村となっている。

図表 92 廃棄物減量計画書等の提出



(3) (1)が「1 把握している」場合のみ)

廃棄物減量計画書以外では、多量に事業系ごみを排出する事業所に対してどのような指導を行っていますか。具体的にお書きください。

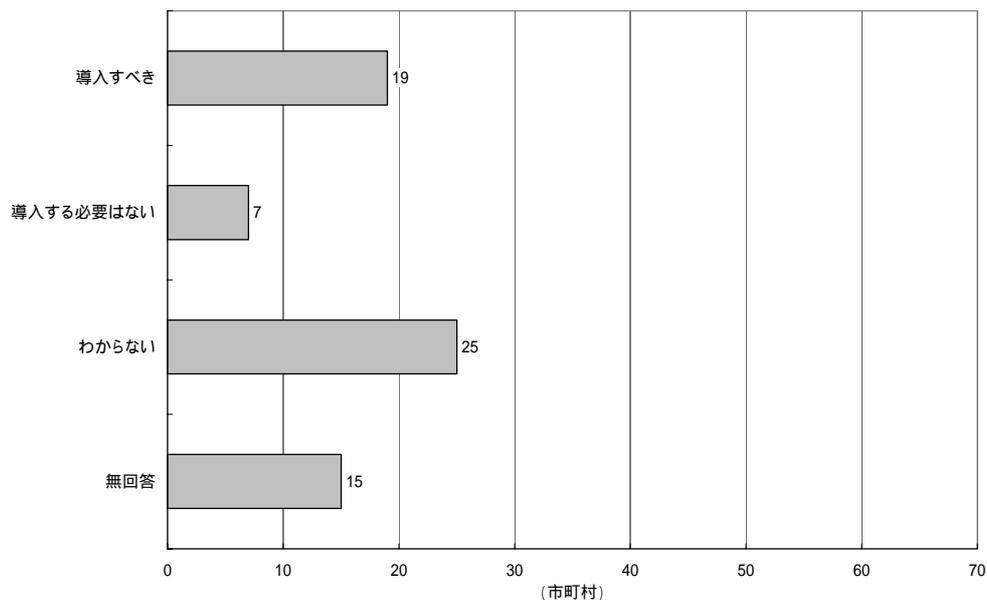
多量排出事業者に対する指導方法としては、ごみの抜き取り検査や許可更新時の聴き取り、訪問指導などがあげられている。

- 月に1回、焼却施設で事業系ごみのごみ検査(ピット前指導)を行っており、分別等できていない場合、排出元へ分別指導を行なっている。
- 許可更新時による面談、聴き取り
- 正しい排出方法をとっているか、各事業所に出向き確認・啓発指導を実施(H15年度事業)

(4) 多量に廃棄物を排出する事業所とその処理ルートを特定するために、事業系一般廃棄物についてもマニフェスト制度を導入することについてどう考えますか。(は1つ)

事業系一般廃棄物へのマニフェスト制度の導入については、「導入すべき」が19市町村あり、「導入する必要はない」の7市町村を上回っている。「わからない」は25市町村ある。

図表 93 マニフェスト制度の導入に対する考え方

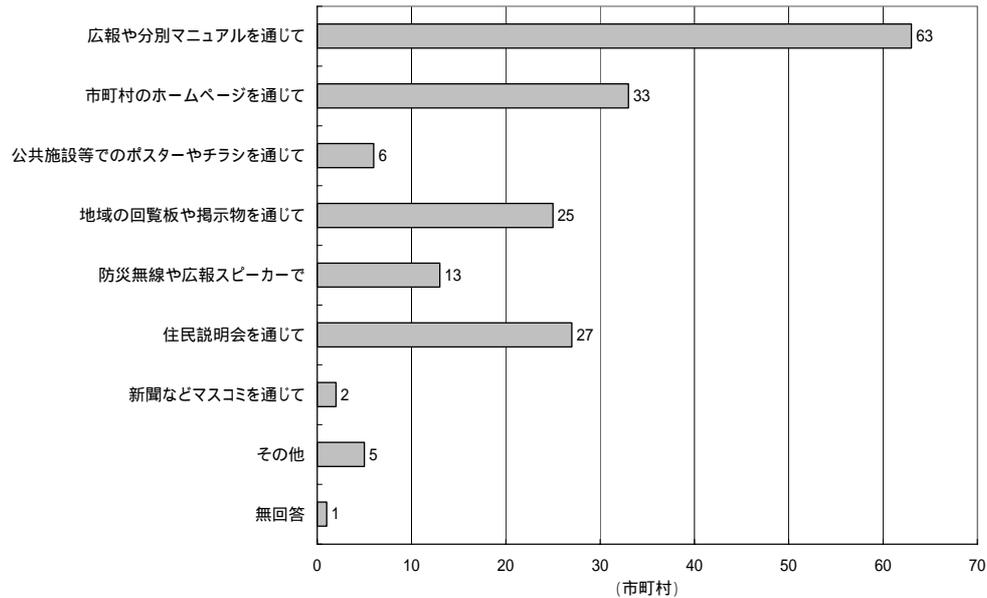


(6) 住民・事業者との連携等について

問 18 住民や事業者に対する情報提供は、主にどのような方策によっていますか。（ は3つまで）

情報提供の方策については、「広報や分別マニュアルを通じて」が 63 市町村と最も多く、以下、「市町村のホームページを通じて」(33 市町村)、「住民説明会を通じて」(27 市町村)、「地域の回覧板や掲示物を通じて」(25 市町村)と続く。  
「その他」では、「ケーブルテレビを通じて」が 4 市町村ある。

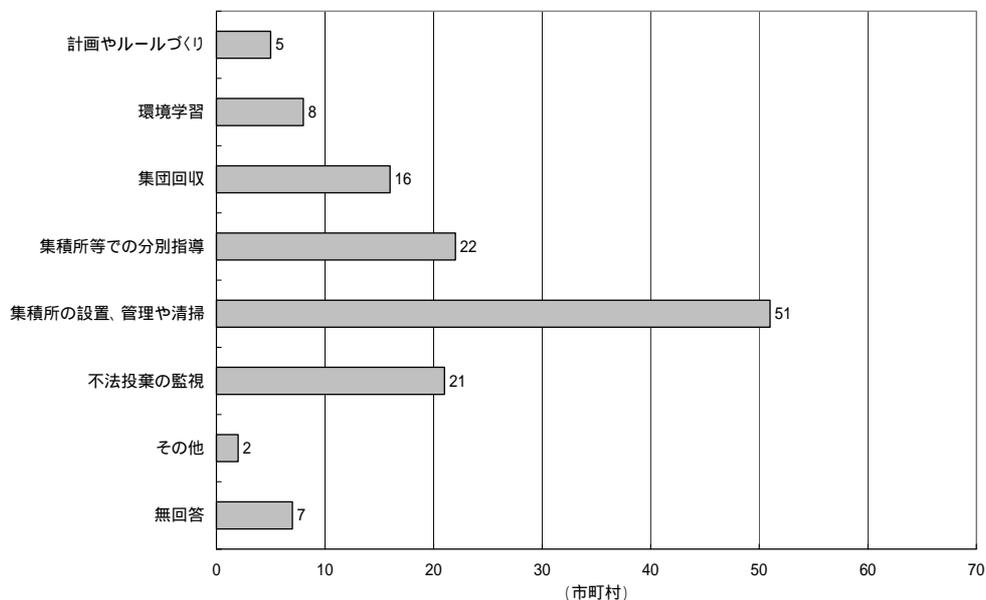
図表 94 情報提供の方策



問 19 行政が実施する施策の中で、自治会と連携をとって進めているものはありますか。  
 (あてはまるすべてに )

自治会と連携した施策については、「集積所の設置、管理や清掃」が 51 市町村と最も多く、以下、「集積所等での分別指導」(22 市町村)、「不法投棄の監視」(21 市町村)と続く。

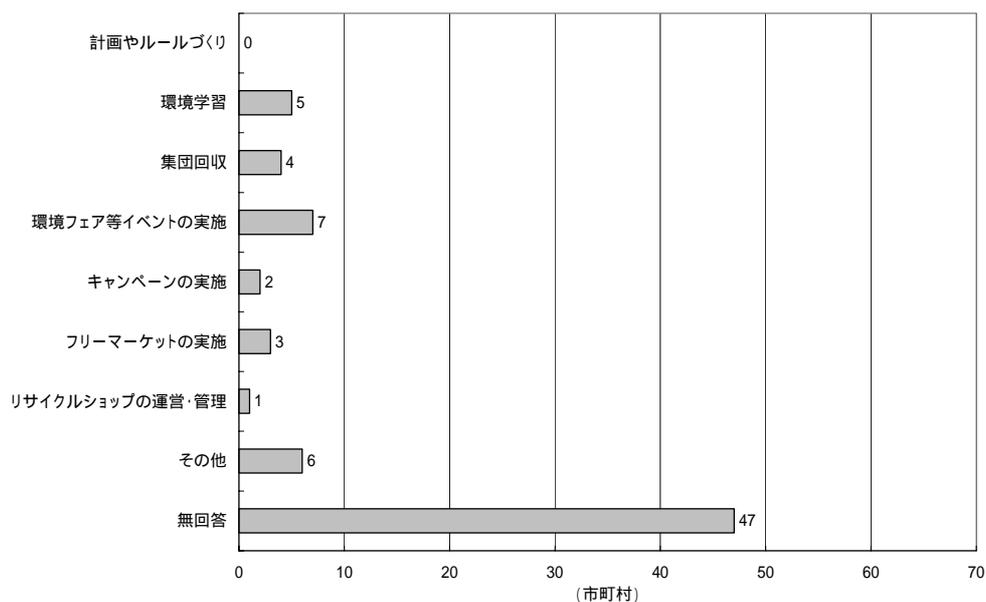
図表 95 自治会と連携した施策



問 20 行政が実施する施策の中で、NPOと連携をとって進めているものはありますか。  
 (あてはまるすべてに )

NPOと連携した施策については、「環境フェア等イベントの実施」の 7 市町村、「環境学習」の 5 市町村が上位を占める。

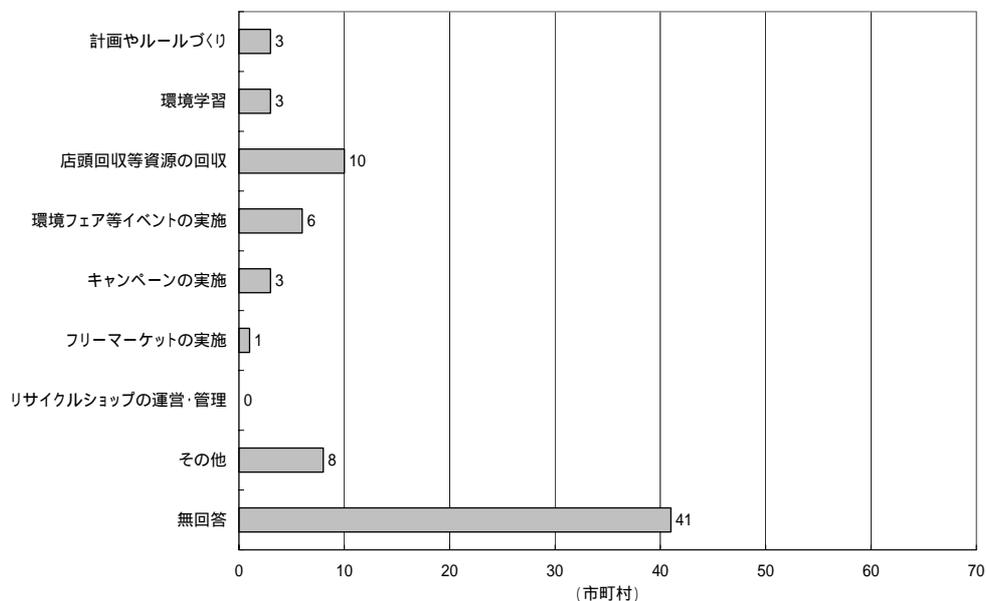
図表 96 NPOと連携した施策



問 21 行政が実施する施策の中で、事業者と連携をとって進めているものはありますか。  
 (あてはまるすべてに )

事業者と連携した施策としては、「店頭回収等資源の回収」が 10 市町村、「環境フェア等イベントの実施」が 6 市町村となっている。  
 「その他」は、マイバック運動、生ごみ堆肥化事業などの施策である。

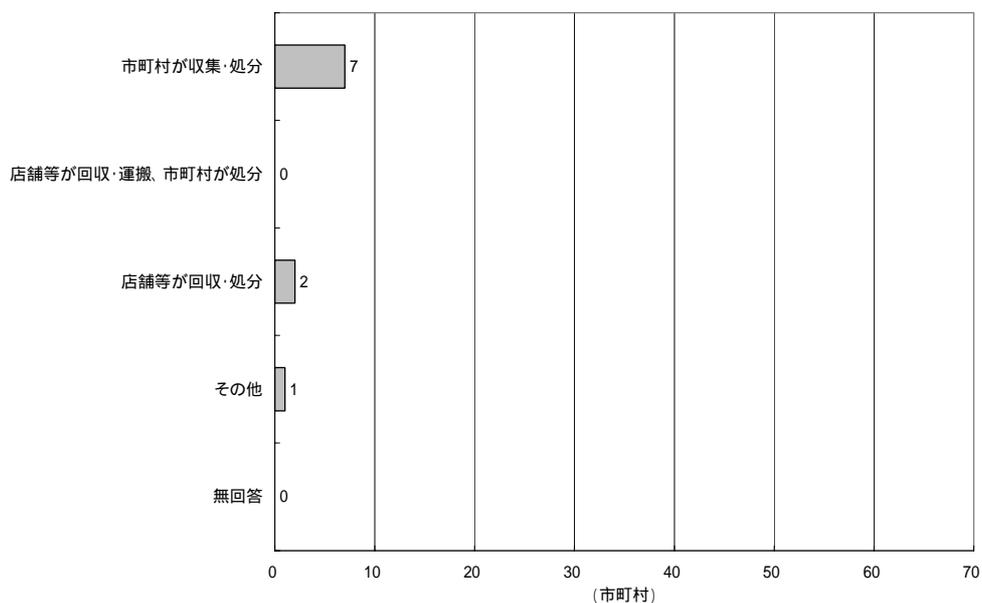
図表 97 事業者と連携した施策



問 22 (問 21 で「3 店頭回収など資源の回収」で連携している場合のみ)  
 店頭回収はどのように行っていますか。( は 1 つ)

店頭回収等による資源の回収については、回収された資源を「市町村が収集・処分」するところが 7 市町村、店舗等が回収から処分まで行うところが 2 市町村となっている。

図表 98 店頭回収の実施状況

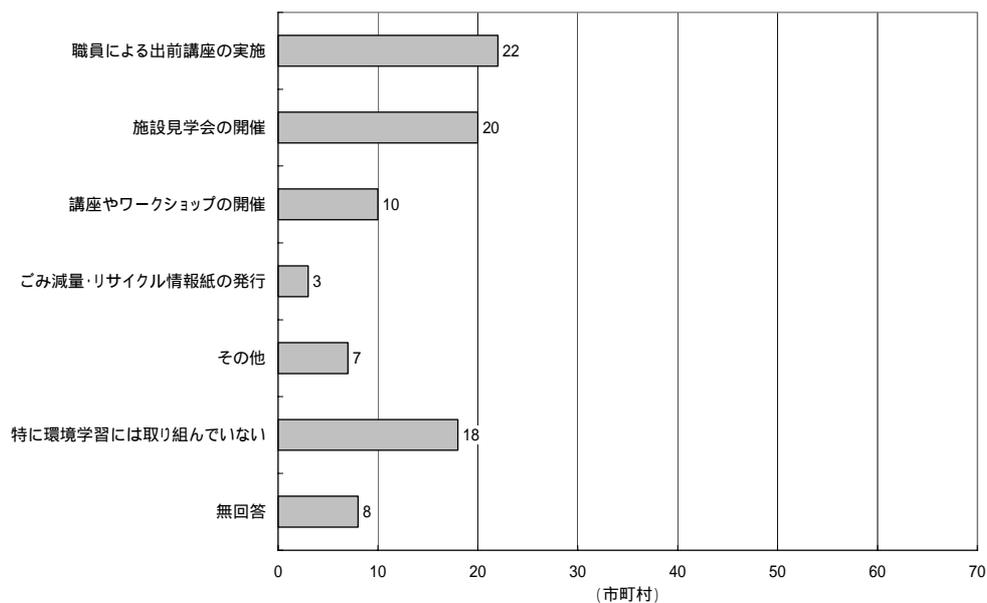


問 23 次のうち、どのような環境学習の取り組みをしていますか。( はいくつでも )

環境学習に対する取り組みとしては、「職員による出前講座の実施」(22 市町村)、「施設見学会の開催」(20 市町村)が上位を占める。一方、「特に環境学習には取り組んでいない」が18市町村ある。

「その他」の意見としては、小学生対象の副読本の作成、ごみ減量・リサイクルのポスターコンクール、生ごみ堆肥化の学習会、イベント時の環境コーナーの設置などの取り組みがあげられている。

図表 99 環境学習に対する取り組み

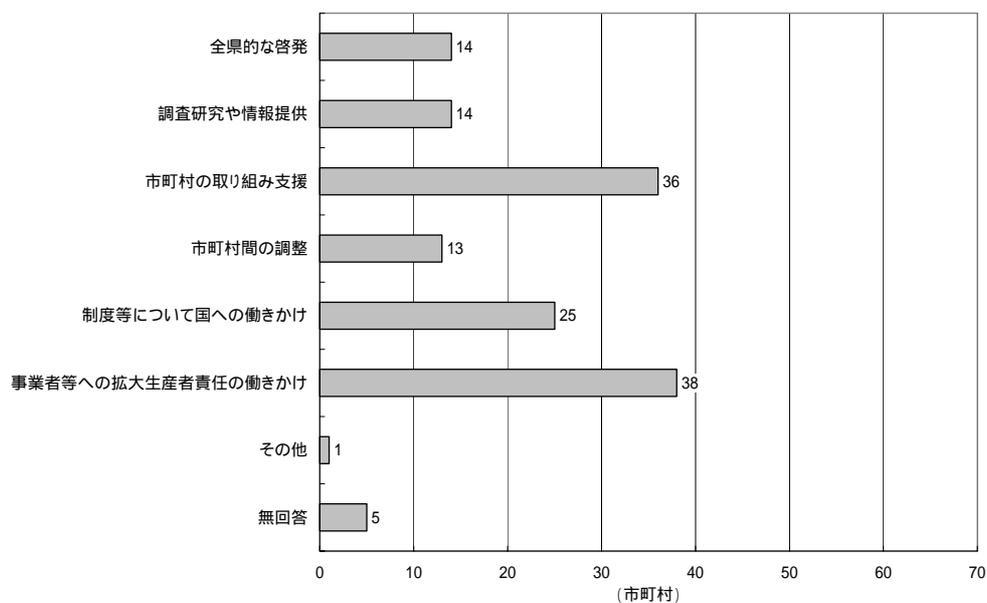


(7) 県に期待する役割について

問 24 貴自治体では、県に対してどのような役割を期待していますか。( は3つまで)

県に期待する役割については、「事業者等への拡大生産者責任の働きかけ」(38 市町村)、「市町村の取り組み支援」(36 市町村)、「制度等について国への働きかけ」(25 市町村)が上位を占める。

図表 100 県に期待する役割



### 3. アンケート調査原票

#### 市町村ごみ処理状況調査

#### ◎ 家庭系ごみの減量・リサイクル施策についてお聞きします。

問1 次の品目について、該当する処理方法に○を付けてください。なお、今後1年以内に処理方法を変更する品目については、「変更予定の有無」欄に○を付けてください。

品目	処理方法	あてはまる欄に○					備考(※)	
		焼却処理	埋立処分	資源化		RDF		今後1年以内の変更予定の有無
				容リ法ルート	その他			
容リ法対象外	生ごみ(台所ごみ)							
	せん定枝							
	新聞							
	雑誌							
	衣類・布類							
	プラスチック							
容リ法対象	紙パック							
	段ボール							
	その他紙製容器包装							
	ペットボトル							
	白色トレイ							
	その他プラ製容器包装							
	アルミ缶							
	スチール缶							
	生きびん							
	ガラスびん(無色)							
	ガラスびん(茶色)							
ガラスびん(その他)								

※「備考」欄には、○を付けた処理方法以外に、重点的に取り組んでいる施策があれば記入してください。(記入例:生ごみの場合であれば、「焼却処理を基本としているものの、町域の一部では、分別した生ごみを町で収集し、堆肥化している。」といった感じで記入してください。)

問2 家庭系ごみについて、今後重点的に減量・リサイクルに取り組むべきだと考える品目は、次のうちどれですか。（〇は3つまで）

- |            |              |       |
|------------|--------------|-------|
| 1 生ごみ      | 2 草木類(せん定枝等) | 3 紙類  |
| 4 プラスチック類  | 5 金属類        | 6 びん類 |
| 7 衣類・布類    |              |       |
| 8 その他（具体的に |              | ）     |

問3 生ごみの堆肥化についてお聞きします。

(1) 生ごみの堆肥化について、現在実施中の取り組みはありますか。  
（あてはまるすべてに〇）

- |                                       |  |   |
|---------------------------------------|--|---|
| 1 生ごみ処理機やコンポスト容器の購入助成をしている            |  |   |
| 2 NPOや地域団体等と連携して、地域で堆肥化を行っている         |  |   |
| 3 市町村が自ら生ごみを分別収集し、直営あるいは委託によって堆肥化している |  |   |
| 4 その他（具体的に                            |  | ） |
| 5 特に取り組んでいない                          |  |   |

(2) ((1)が「1 生ごみ処理機やコンポスト容器の購入助成をしている」場合のみ)  
これらの購入助成によるごみ減量の効果は見られますか。（〇は1つ）

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 効果がある | 2 効果はない | 3 わからない |
|---------|---------|---------|

(3) ((1)が「1 生ごみ処理機やコンポスト容器の購入助成をしている」場合のみ)  
この購入助成について、今後どのようにお考えですか。（〇は1つ）

- |         |              |          |
|---------|--------------|----------|
| 1 現状のまま | 2 さらに普及拡大を図る | 3 縮小していく |
|---------|--------------|----------|

(4) (すべての方)

市町村が生ごみを分別収集し、直営あるいは委託によって堆肥化するとした場合、どのような課題が考えられますか。（〇は2つまで）

- |                            |  |   |
|----------------------------|--|---|
| 1 大量にできた堆肥の受入先が見つからない      |  |   |
| 2 異物の混入で堆肥の品質が確保できない       |  |   |
| 3 施設の設置や収集のための経費がかかる       |  |   |
| 4 施設や集積所の設置に住民の理解や協力が得られない |  |   |
| 5 分別に手間がかかるなど住民への負担が大きい    |  |   |
| 6 その他（具体的に                 |  | ） |

(5) 生ごみ飼料化に取り組んでいますか。また今後取り組む予定はありますか。（〇は1つ）

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 現在取り組んでいる      | 2 今後取り組む予定である   |
| 3 取り組むかどうか検討している | 4 今後とも取り組む予定はない |
| 5 現段階ではわからない     |                 |

(6) 生ごみのバイオガス化に取り組んでいますか。また今後取り組む予定はありますか。  
(○は1つ)

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 現在取り組んでいる      | 2 今後取り組む予定である   |
| 3 取り組むかどうか検討している | 4 今後とも取り組む予定はない |
| 5 現段階ではわからない     |                 |

問4 集団回収についてお聞きします。

(1) どのような団体が集団回収に取り組んでいますか。(あてはまるすべてに○)

- |        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
| 1 子ども会 | 2 PTA | 3 自治会 | 4 婦人会 |
| 5 老人会  | 6 NPO | 7 その他 |       |

(2) 集団回収活動に対する助成制度を設けていますか。(○は1つ)

- 1 設けている(⇒ 助成単価は、回収量キログラム当たり\_\_\_\_\_円)
- 2 設けていない

(3) 今後の集団回収活動について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1 さまざまな支援策を講じ、推進すべきである
- 2 現行のまま
- 3 助成金等支援制度は縮小し、各実施団体にゆだねる

(4) 集団回収活動を活性化するためには、どのような施策が必要だと考えますか。  
(○は2つまで)

- 1 広報・啓発による新たな回収団体の掘り起こし
- 2 助成金の引き上げ
- 3 助成対象品目の拡大
- 4 収集カレンダーに載せるなど市町村収集の一環として位置づける
- 5 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

問5 ごみ減量・リサイクル促進策として次の取り組みをしていますか。  
(あてはまるすべてに○)

- 1 レジ袋削減運動・マイバッグ持参運動の展開
- 2 環境にやさしいエコショップの認定
- 3 デポジット制の実施
- 4 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

◎ 分別ルールについて

問6 家庭から出されるごみはきちんと分別されていますか。(○は1つ)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 きちんと分別されている (⇒問 8へ) | 2 だいたい分別されている (⇒問 8へ) |
| 3 あまり分別されていない         | 4 分別されていない            |

問7 (問6が「3 あまり分別されていない」「4 分別されていない」場合のみ) きちんと分別されていない理由としてどのようなことが考えられますか。(○は2つまで)

- 1 分別ルールが複雑でわかりにくい
- 2 洗う、キャップをはずす、ラベルをはがすなど、分別に手間がかかりすぎる
- 3 分別ルールが周辺市町村と異なり、住民に戸惑いがある
- 4 住民への啓発・周知が十分行き届いていない
- 5 その他 (具体的に )

問8 (すべての方) 分別ルールを統一することについてお聞きします。

(1) 貴自治体では周辺市町村と分別ルールを統一することについてどう考えますか。(○は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 2 どちらかと言えば賛成 |
| 3 どちらかと言えば反対 | 4 反対         |

(2) 賛成、あるいは反対の理由を具体的にお聞かせください。

.....

.....

.....

◎ 家庭系可燃ごみの有料制について

問9 家庭系可燃ごみの有料制についてお聞きします。

※ ここで言う「有料制」とは、単なる指定袋制ではなく、ごみ処理手数料を徴収するしくみを言います。環境省・中央環境審議会は有料化に関する検討に着手し、来年はじめにも基本方針をまとめる予定です。

(1) 貴自治体ではごみの有料制を導入していますか。(○は1つ)

- 1 すでに導入済み (導入年度 ⇒ 平成\_\_\_\_年度)
- 2 導入を予定 (導入予定年度 ⇒ 平成\_\_\_\_年度) (⇒(3)へ)
- 3 導入を検討 (⇒(5)へ)
- 4 導入しない (⇒(5)へ)
- 5 現段階ではわからない (⇒(5)へ)

- (2) ((1)が「1 すでに導入済み」の場合のみ)  
手数料金額はいくらですか。袋のサイズとその金額をご記入ください。

袋のサイズ	手数料金額	
リットル相当	1枚	円

- (3) ((1)が「1 すでに導入済み」「2 導入を予定」の場合のみ)  
徴収した手数料はどのように使われていますか、使われる予定ですか。(〇は1つ)

- 1 ごみ減量やリサイクル施策に充当する
- 2 環境施策全般に充当する
- 3 その他特定の用途に充当する  
(具体的に )
- 4 用途は特定せず一般財源に繰り入れる

- (4) ((1)が「1 すでに導入済み」「2 導入を予定」の場合のみ)  
有料制を導入した、あるいは導入を予定する目的は何ですか。(〇は2つまで)

- 1 ごみの減量化の促進
- 2 リサイクルの促進
- 3 ごみ減量やリサイクル意識の醸成
- 4 ごみ減量・リサイクルに取り組む人とそうでない人との負担の公平化
- 5 ごみ処理に要する財源の確保
- 6 周辺市町村とのバランス
- 7 その他 (具体的に )

- (5) (すべての方)  
ごみ有料化を検討する際、どのような点を重視すべきだと考えますか。  
(〇は重要なもの3つまで)

- 1 ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なくみとすること
- 2 家計への負担が少ない料金とすること
- 3 ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること
- 4 一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること
- 5 有料化によって得られた成果をきちんと説明すること
- 6 ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること
- 7 ルール違反(不法投棄など)を許さないこと
- 8 有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること
- 9 有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途(福祉や教育等)に使うことを検討すること
- 10 その他 (具体的に )

◎ 戸別収集について

問10 可燃ごみについて、ごみを集積所ではなく玄関先から収集する戸別収集を導入していますか。(〇は1つ)

- 1 一部地域で導入している (⇒問 11へ)    2 まったく導入していない (⇒問 12へ)

問11 (問 10が「1 一部地域で導入している」場合のみ)

今後の戸別収集について、どのような方針を持っていますか。(〇は1つ)

- 1 導入地域を順次拡大していく予定  
2 現状のままとする予定  
3 導入地域を順次縮小していく予定  
4 現段階ではわからない
- } (⇒問 13へ)

問12 (問 10が「2 まったく導入していない」場合のみ)

戸別収集について、今後どのような方針を持っていますか。(〇は1つ)

- 1 全域で導入する予定  
2 一部地域で導入する予定  
3 全域での導入について検討する予定  
4 一部地域での導入について検討する予定  
5 今後も導入しない (⇒問 14へ)  
6 現段階ではわからない (⇒問 14へ)
- } (⇒問 13へ)

問13 (問 10が「1 一部地域で導入している」、あるいは問 12が「1 全域で導入する予定」「2 一部地域で導入する予定」「3 全域での導入について検討する予定」「4 一部地域での導入について検討する予定」の場合のみ)

導入している、あるいは導入を予定する目的は何ですか。(〇は2つまで)

- 1 ごみ減量化やリサイクル促進のため  
2 きれいなごみ出しによって、町の美化促進につなげるため  
3 高齢化などを背景とする住民サービス向上のため  
4 持ち込みごみ防止など、不法投棄をなくすため  
5 排出者が出すごみに責任を持つよう、意識啓発につなげるため  
6 その他 (具体的に )

◎ 事業系ごみ(産廃除く)の減量・リサイクル施策について

問14 (すべての方)

事業系ごみについて、今後重点的に減量・リサイクルに取り組むべきだと考える品目は、次のうちどれですか。(〇は3つまで)

- |           |              |       |
|-----------|--------------|-------|
| 1 生ごみ     | 2 草木類(せん定枝等) | 3 紙類  |
| 4 プラスチック類 | 5 金属類        | 6 びん類 |
| 7 衣類・布類   | 8 その他(具体的に   | )     |

問15 事業系ごみの排出ルールについてお聞きします。

(1) 事業系ごみを受け入れる際、分別基準はありますか。(〇は1つ)

- 1 家庭系ごみと同じ分別基準で受け入れている
- 2 家庭系ごみとは異なる分別基準で受け入れている  
(⇒分別基準を具体的に )  
(※ 記入に代えて分別基準が記載された表等を添付していただいても結構です)
- 3 分別基準はない (⇒(3)へ)

(2) ((1)が「1 家庭系ごみと同じ分別基準で受け入れている」「2 家庭系ごみとは異なる分別基準で受け入れている」場合のみ)

上記ルールを守らない搬入者に対してどのような措置を講じていますか。  
(あてはまるすべてに〇)

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 1 口頭による指導 | 2 書面による指導  | 3 超過料金の徴収 |
| 4 搬入停止措置  | 5 その他(具体的に | )         |
| 6 特になし    |            |           |

(3) (すべての方)

事業系ごみに関し、どのような問題点がありますか。(〇は3つまで)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 分別がきちんとされない  | 2 中身の確認ができない      |
| 3 排出事業者が特定できない | 4 減量化のための施策が講じにくい |
| 5 増加傾向にある      |                   |
| 6 その他(具体的に     | )                 |

問16 ごみ処理手数料についてお聞きします。

(1) 施設で受け入れるごみの処分単価はいくらですか。(記入に代えて料金表を添付していただいても結構です)

具体的に \_\_\_\_\_

- (2) 事業系ごみについて、ごみ処理手数料の見直しは必要だと思いますか。(〇は1つ)
- 1 必要だと思う                      2 あまり必要だとは思わない      3 必要ではない
- (3) ごみ処理手数料見直しの予定はありますか。(〇は1つ)
- 1 見直し予定あり(予定年度⇒平成\_\_\_\_年度、手数料額⇒\_\_\_\_\_)
- 2 特に予定なし(⇒問17へ)
- (4) ((3)が「1 見直し予定あり」の場合のみ)  
見直しをする場合、減量化以外の理由があれば具体的にお書きください。

---



---



---

問17 (すべての方)  
多量排出事業者対策についてお答えください。

- (1) 多量に事業系ごみを排出している事業所を把握していますか。(〇は1つ)
- 1 把握している                      2 把握していない(⇒(4)へ)
- (2) ((1)が「1 把握している」場合のみ)  
事業所に廃棄物減量計画書を提出してもらっていますか。(〇は1つ)
- 1 すでに実施済み  
(⇒対象事業所の要件\_\_\_\_\_)
- 2 実施を予定(⇒実施予定平成\_\_\_\_年頃)  
(⇒対象事業所の要件\_\_\_\_\_)
- 3 実施を検討
- 4 実施せず
- 5 現段階ではわからない
- (3) ((1)が「1 把握している」場合のみ)  
廃棄物減量計画書以外では、多量に事業系ごみを排出する事業所に対してどのような指導を行っていますか。具体的にお書きください。

---



---



---

- (4) (すべての方)  
多量に廃棄物を排出する事業所とその処理ルートを特定するために、事業系一般廃棄物についてもマニフェスト制度を導入することについてどう考えますか。(〇は1つ)
- 1 導入すべき                      2 導入する必要はない              3 わからない

◎ 住民・事業者との連携等について

問18 住民や事業者に対する情報提供は、主にどのような方策によっていますか。  
(○は3つまで)

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1 各戸配布の広報や分別マニュアルを通じて  | 2 市町村のホームページを通じて |
| 3 公共施設などでのポスターやチラシを通じて | 4 地域の回覧板や掲示物を通じて |
| 5 防災無線や広報スピーカーで        | 6 住民説明会を通じて      |
| 7 新聞などマスコミを通じて         |                  |
| 8 その他 (具体的に            | )                |

問19 行政が実施する施策の中で、自治会と連携をとって進めているものはありますか。  
(あてはまるすべてに○)

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1 計画やルールづくり                   |   |
| 2 環境学習(施設見学や学習会など)            |   |
| 3 集団回収                        |   |
| 4 集積所等での分別指導(分別指導員や集積所の立ち番など) |   |
| 5 集積所の設置、管理や清掃                |   |
| 6 不法投棄の監視                     |   |
| 7 その他 (具体的に                   | ) |

問20 行政が実施する施策の中で、NPOと連携をとって進めているものはありますか。  
(あてはまるすべてに○)

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1 計画やルールづくり        |   |
| 2 環境学習(施設見学や学習会など) |   |
| 3 集団回収             |   |
| 4 環境フェアなどイベントの実施   |   |
| 5 キャンペーンの実施        |   |
| 6 フリーマーケットの実施      |   |
| 7 リサイクルショップの運営・管理  |   |
| 8 その他 (具体的に        | ) |

問21 行政が実施する施策の中で、事業者と連携をとって進めているものはありますか。  
(あてはまるすべてに○)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1 計画やルールづくり            | 2 環境学習(施設見学や学習会など) |
| 3 店頭回収など資源の回収 (⇒問 22へ) | 4 環境フェアなどイベントの実施   |
| 5 キャンペーンの実施            | 6 フリーマーケットの実施      |
| 7 リサイクルショップの運営・管理      |                    |
| 8 その他 (具体的に            | )                  |

問22 (問21で「3 店頭回収など資源の回収」で連携している場合のみ)  
店頭回収はどのように行っていますか。(〇は1つ)

- 1 ショッピングセンター等を回収拠点として位置づけ、回収されたごみは市町村が収集・処分している
- 2 ショッピングセンター等は回収して市町村の処理施設に搬入し、市町村はそれを処分するという形で役割分担をしている
- 3 ショッピングセンター等に回収も、処分も任せている
- 4 その他(具体的に )

問23 (すべての方)

次のうち、どのような環境学習の取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

- 1 職員による出前講座の実施
- 2 施設見学会の開催
- 3 講座やワークショップの開催
- 4 ごみ減量・リサイクル情報紙の発行
- 5 その他(具体的に )
- 6 特に環境学習には取り組んでいない

### ◎ 県に期待する役割について

問24 貴自治体では、県に対してどのような役割を期待していますか。(〇は3つまで)

- 1 全県的な啓発(キャンペーン等の実施)
- 2 調査研究や情報提供
- 3 市町村の取り組み支援
- 4 市町村間の調整
- 5 制度等について国への働きかけ
- 6 事業者や業界に対する拡大生産者責任の働きかけ
- 7 その他(具体的に )

●ごみゼロ社会を創っていくにあたってご意見等あれば、自由にご記入ください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、どうもありがとうございました。

なお、三重県のごみゼロホームページ（<http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomi0/zero/>）もぜひご覧ください。ホームページには、「ごみゼロ社会実現プラン」の策定状況や各種催しに関する情報を掲載しています。

貴市町村名	
ご担当部署名	
ご担当者名	
電話番号／ファックス番号	
Eメールアドレス(ある場合)	